

第2部 子ども・若者の意識と生活に関する調査

第1章 調査の概要

1. 調査の目的・対象・方法等

(1) 調査の目的

この調査は、すべての子どもが生活環境に左右されず、夢を持って成長していけるよう、日常生活や社会生活の自立と安定を目指した支援の検討にあたって市内の子どもたちの意識と生活実態を把握するために行いました。

(2) 調査の種類及び対象者

この調査の種類と対象者は下表のとおりです。

図表 2-1-1 調査の種類と対象者

種類	対象者	対象者数
小学5年生対象調査	小学5年生の子どもがいる世帯の子どもと保護者	3,167 世帯
中学2年生対象調査	中学2年生の子どもがいる世帯の子どもと保護者	3,248 世帯
16～17歳対象調査	16～17歳の子どもがいる世帯の子どもと保護者	800 世帯

※抽出日：令和5年11月1日

(3) 抽出方法

小学5年生対象調査：小学5年生の子どもがいる全世帯

中学2年生対象調査：中学2年生の子どもがいる全世帯

16～17歳対象調査：住民基本台帳からの無作為抽出

(4) 調査方法

小学5年生対象調査

〔配布〕学校を通じての配布及び郵送配布（私立小学校に在籍している人のみ）

〔回収〕郵送回収又はインターネット回答

中学2年生対象調査

〔配布〕学校を通じての配布及び郵送配布（私立中学校に在籍している人のみ）

〔回収〕郵送回収又はインターネット回答

16～17歳対象調査

〔配布〕郵送配布

〔回収〕郵送回収又はインターネット回答

(5) 調査期間

令和5年12月4日（月）から令和6年1月26日（金）まで

2. 回収結果

回収結果は下表のとおりです。

図表 2-2-1 有効回答数（上段）及び有効回答率（下段）

区分	配布数	子ども票	保護者票	親子マッチング できた票数
小学5年生対象調査	3,178	1,259	1,152	954
		39.6%	36.2%	30.0%
中学2年生対象調査	3,257	1,129	994	766
		34.7%	30.5%	23.5%
16～17歳対象調査	800	246	259	202
		30.8%	32.4%	25.3%

3. 報告書の見方

- ・本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱います。
- ・設問の構成比は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数として百分率（％）で示しています。
- ・グラフ上で基数はnで表しています。
- ・比率は全て百分率（％）で表し、小数点以下第2位を四捨五入しているため合計が100％にならない場合があります。
- ・複数回答については、回答者数を基数として百分率（％）で示しています、したがって、合計値は100％を超える場合もあります。
- ・複数回答の設問は、図表タイトルの後ろに「(複数回答)」と記してあり、それ以外は単数回答とします。
- ・サンプル数が30未満のものについては参考値として掲載しています。

第2章 回答者の基本属性

1. 回答者の基本属性について

(1) 保護者の年齢

保護者の年齢は下表のとおりとなっています。

図表 2-2-1-1 保護者の年齢

	39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳以上	無回答	合計	平均値
小学5年生	261	761	104	4	22	1152	43.2歳
	22.7%	66.1%	9.0%	0.3%	1.9%	100.0%	
中学2年生	94	692	184	3	21	994	45.5歳
	9.5%	69.6%	18.5%	0.3%	2.1%	100.0%	
16～17歳	11	136	96	8	8	259	48.5歳
	4.2%	52.5%	37.1%	3.1%	3.1%	100.0%	

(2) 保護者（回答者）と子どもの続柄

保護者（回答者）と子どもの続柄は下表のとおりとなっています。

図表 2-2-1-2 保護者（回答者）と子どもの続柄

	母親（継母を含む）	父親（継父を含む）	祖父母	兄弟	その他	無回答	合計
小学5年生	1007	133	2	0	3	7	1152
	87.4%	11.5%	0.2%	0.0%	0.3%	0.6%	100.0%
中学2年生	890	100	1	0	0	3	994
	89.5%	10.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.3%	100.0%
16～17歳	218	37	3	0	0	1	259
	84.2%	14.3%	1.2%	0.0%	0.0%	0.4%	100.0%

(3) 保護者の国籍

保護者の国籍は下表のとおりとなっています。

図表 2-2-1-3 保護者（回答者）と子どもの続柄

	母親			父親			合計
	日本	日本以外	無回答	日本	日本以外	無回答	
小学5年生	1126	20	6	1105	12	35	1152
	97.7%	1.7%	0.5%	95.9%	1.0%	3.0%	100.0%
中学2年生	977	15	2	954	10	30	994
	98.3%	1.5%	0.2%	96.0%	1.0%	3.0%	100.0%
16～17歳	257	1	1	244	2	13	259
	99.2%	0.4%	0.4%	94.2%	0.8%	5.0%	100.0%

(4) 世帯タイプ

世帯タイプは下表のとおりとなっています。

図表 2-2-1-4 世帯タイプ

	一般（ふたり親）家庭		ひとり親家庭		無回答	合計
	二世帯	三世帯	二世帯	三世帯		
小学5年生	987	80	62	17	6	1152
	85.7%	6.9%	5.4%	1.5%	0.5%	100.0%
中学2年生	855	67	61	10	1	994
	86.0%	6.7%	6.1%	1.0%	0.1%	100.0%
16～17歳	192	24	33	8	2	259
	74.1%	9.3%	12.7%	3.1%	0.8%	100.0%

2. 「生活困難」について

(1) 本調査における「生活困難」とは

本報告では、子どもの生活における「生活困難」を以下①～③の3つの要素から分類しています。

- ①低所得
- ②家計のひっ迫
- ③子どもの体験や所有物の欠如

「①低所得」は、先進諸国の貧困の測定に最も一般的に用いられ、厚生労働省も用いている指標ですが、本調査は自記式の質問紙調査であるため、把握できる世帯所得の精緻度が限られています。そこで、所得データを補完するために「②家計のひっ迫」と「③子どもの体験や所有物の欠如」に用いられている物質的はく奪指標を用いています。物質的はく奪指標とは、所得データによる貧困率と一緒に用いることで、貧困の測定の精緻化が可能であることが欧州連合などを始め国内外の研究より判明しています。それぞれの詳細な定義は以下のとおりです。

①低所得

「低所得」の定義を、世帯所得（勤労収入、事業収入等＋社会保障給付）を、世帯人数の平方根で割り算した値（＝等価世帯所得）が、厚生労働省「令和4年国民生活基礎調査」から算出される基準未満の世帯としています。なお、低所得世帯の割合は、世帯所得の把握の方法や、可処分所得ではなく当初所得を用いている点などの違いがあるため、厚生労働省「令和4年国民生活基礎調査」にて公表されている「子どもの貧困率」（11.5％）と比較できません。

②家計のひっ迫

「家計のひっ迫」は、経済的な制約を子どもに課し、生活水準を低下させるだけでなく、親の心理的なゆとりや、心身の健康状態の悪化を通して子どもに悪影響をもたらす可能性があると言われています。そこで、家計のひっ迫を、家計の中で大きな比重を占め、これらの欠乏により基本的な生活水準を保つことが難しいと考えられる公共料金や食料・衣類の費用が捻出できない状況とします。具体的には、保護者票において過去1年間に、経済的な理由で電話、電気、ガス、水道、家賃の料金の滞納があったか、また、過去1年間に「家族が必要とする食料が買えなかった経験」「家族が必要とする衣類が買えなかった経験」があったかの7つの項目のうち、1つ以上が該当する場合を「家計のひっ迫」とあると定義します。

③子どもの体験や所有物の欠如

上記①と②は、世帯全体の生活困難を表しましたが、子ども自身の生活困難を表す指標として、「子どもの体験や所有物の欠如」を用います。ここで用いられる子どもの体験や所有物とは、日本社会において、大多数の子どもが一般的に享受していると考えられる経験や物品です。

具体的には、保護者回答の調査票において過去1年間に「海水浴に行く」「博物館・科学館・美術館などに行く」「キャンプやバーベキューに行く」「スポーツ観戦や劇場に行く」「遊園地やテーマパークに行く」ことが「(金銭的な理由で)ない」、または「毎月お小遣いを渡す」「毎年新しい洋服・靴を買う」「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」「お誕生日のお祝いをする」「1年に1回くらい家族旅行に行く」「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」ことが「経済的に出来ない」、または「子どもの年齢に合った本」「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」「子どもが自宅で宿題(勉強)ができる場所」が「経済的理由のために世帯にない」の全15項目です。

これらの項目のうち3つ以上が該当している場合に、「子どもの体験や所有物の欠如」の状況にあると定義します。

(2) 「生活困難層」の定義について

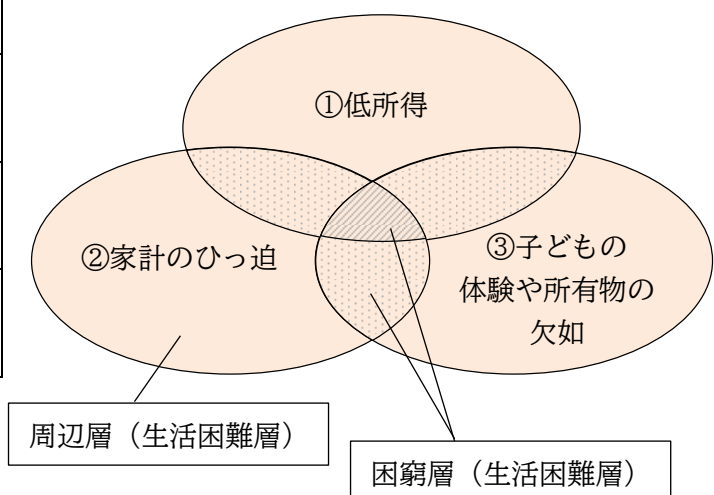
本報告では、子どもの「生活困難」を以下の3つの要素に基づいて分類しました。その上で、要素への該当数により、世帯を生活困難度で分類しました。

図表 2-2-2-1 生活困難について

①低所得	③子どもの体験や所有物の欠如
等価世帯所得が厚生労働省「令和4年国民生活基礎調査」から算出される基準未満の世帯 <低所得基準> 世帯所得の中央値 423 万円 ÷ √平均世帯人数 (2.37 人) × 50% = 137 万円	子どもの体験や所有物などに関する 15 項目のうち、経済的な理由で、欠如している項目が3つ以上該当 1 海水浴に行く 2 博物館・科学館・美術館などに行く 3 キャンプやバーベキューに行く 4 スポーツ観戦や劇場に行く 5 遊園地やテーマパークに行く 6 毎月お小遣いを渡す 7 毎年新しい洋服・靴を買う 8 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる 9 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう） 10 お誕生日のお祝いをする 11 1年に1回くらい家族旅行に行く 12 クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる 13 子どもの年齢に合った本 14 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ 15 子どもが自宅で宿題（勉強）をすることができる場所
②家計のひっ迫	
経済的な理由で、公共料金や家賃を支払えなかった経験、食料・衣服を買えなかった経験などの7項目のうち、1つ以上が該当 1 電話料金 2 電気料金 3 ガス料金 4 水道料金 5 家賃 6 家族が必要とする食料が買えなかった 7 家族が必要とする衣類が買えなかった	

◆生活困難の要素による生活困難度の分布

分類		内容
生活困難層	困窮層	2つまたは3つの要素に該当
	周辺層	いずれか1つの要素に該当
一般層		いずれの要素にも該当しない

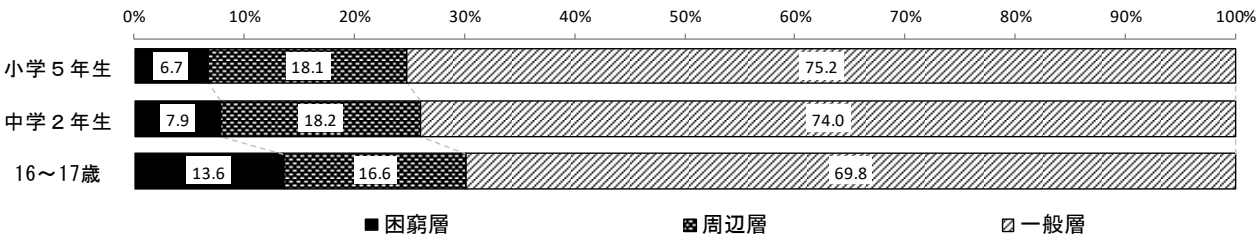


(3) 生活困難層の割合

生活困難層等の割合は下表のとおりとなっています。

図表 2-2-2-2 生活困難層の割合（全体）

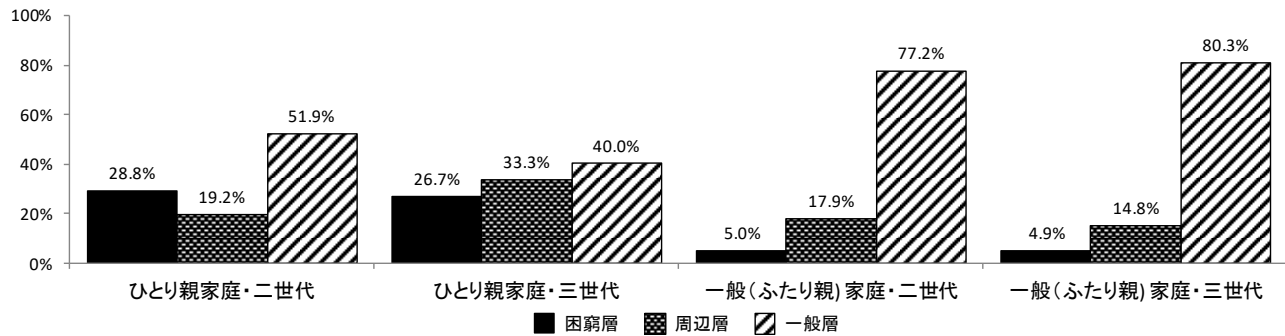
区分	小学5年生		中学2年生		16～17歳	
	令和5年度	平成30年度	令和5年度	平成30年度	令和5年度	平成30年度
生活困難層	24.8%	27.2%	26.0%	28.1%	30.2%	25.6%
困窮層	6.7%	8.6%	7.9%	9.6%	13.6%	8.7%
周辺層	18.1%	18.6%	18.2%	18.5%	16.6%	16.9%
一般層	75.2%	72.8%	74.0%	71.9%	69.8%	74.4%



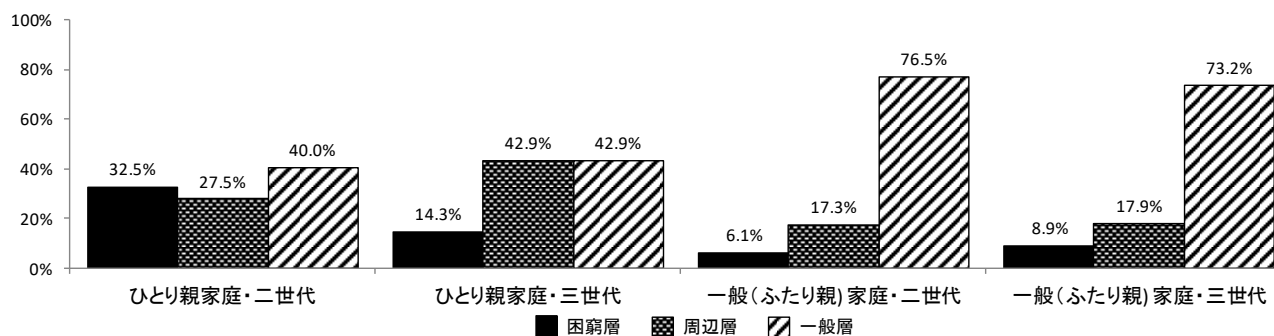
図表 2-2-2-3 生活困難層の割合：世帯タイプ別

区分		年齢層	ひとり親家庭・二世帯	ひとり親家庭・三世帯	一般（ふたり親）家庭・二世帯	一般（ふたり親）家庭・三世帯
生活困難層	困窮層	小学5年生	28.8%	26.7%	5.0%	4.9%
		中学2年生	32.5%	14.3%	6.1%	8.9%
		16～17歳	30.8%	50.0%	8.7%	17.6%
	周辺層	小学5年生	19.2%	33.3%	17.9%	14.8%
		中学2年生	27.5%	42.9%	17.3%	17.9%
		16～17歳	19.2%	16.7%	16.0%	17.6%
一般層	一般層	小学5年生	51.9%	40.0%	77.2%	80.3%
		中学2年生	40.0%	42.9%	76.5%	73.2%
		16～17歳	50.0%	33.3%	75.3%	64.7%

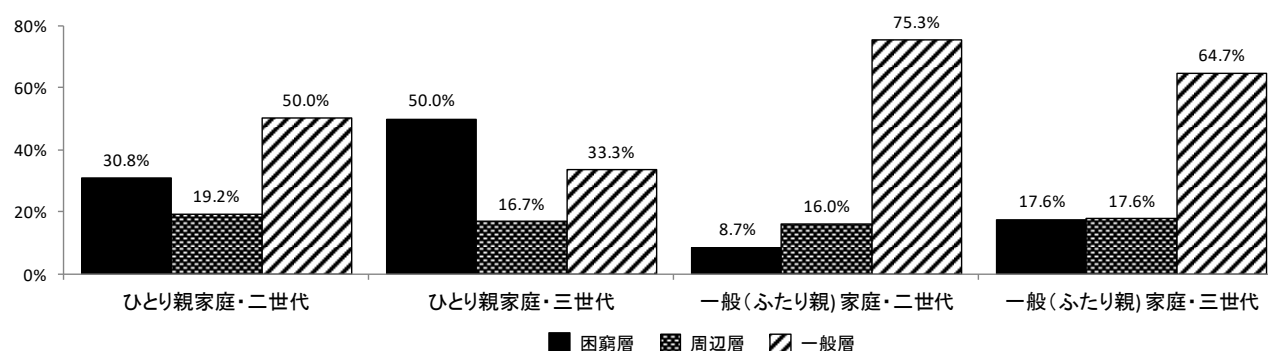
小学5年生



中学2年生



16～17歳



図表 2-2-2-4 3要素の該当状況による生活困難層の割合

小学5年生

困窮層	3つに該当	低所得+家計のひっ迫+子どもの体験や所有物の欠如	1.4%
		低所得+家計のひっ迫	0.3%
	2つに該当	低所得+子どもの体験や所有物の欠如	1.4%
		家計のひっ迫+子どもの体験や所有物の欠如	3.7%
周辺層	1つに該当	低所得	8.1%
		家計のひっ迫	3.1%
		子どもの体験や所有物の欠如	6.9%

中学2年生

困窮層	3つに該当	低所得+家計のひっ迫+子どもの体験や所有物の欠如	1.4%
		低所得+家計のひっ迫	0.4%
	2つに該当	低所得+子どもの体験や所有物の欠如	1.5%
		家計のひっ迫+子どもの体験や所有物の欠如	4.6%
周辺層	1つに該当	低所得	8.5%
		家計のひっ迫	3.0%
		子どもの体験や所有物の欠如	6.6%

16～17歳

困窮層	3つに該当	低所得+家計のひっ迫+子どもの体験や所有物の欠如	3.5%
	2つに該当	低所得+家計のひっ迫	0.5%
		低所得+子どもの体験や所有物の欠如	1.0%
		家計のひっ迫+子どもの体験や所有物の欠如	8.5%
周辺層	1つに該当	低所得	5.5%
		家計のひっ迫	2.0%
		子どもの体験や所有物の欠如	9.0%

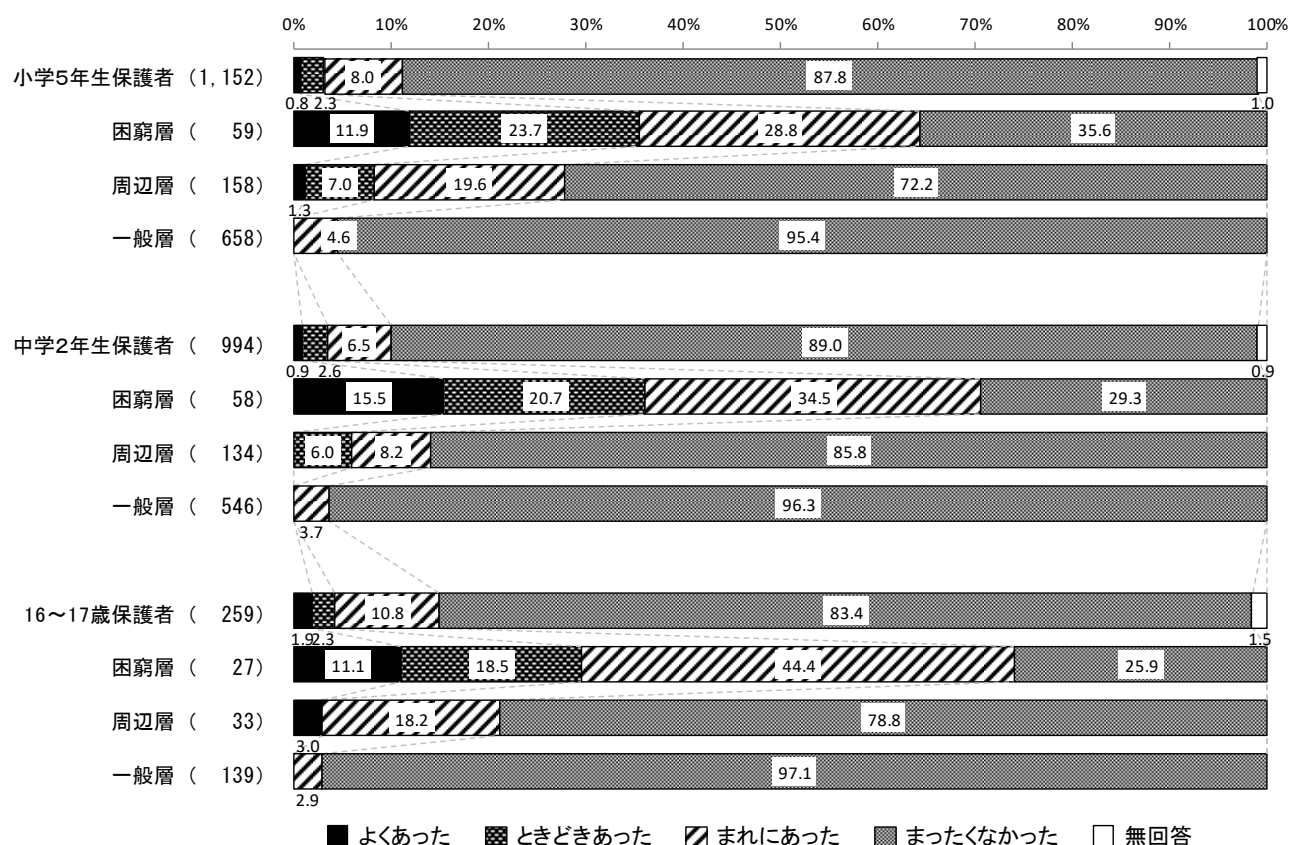
第3章 生活困難の状況

1. 生活困窮の状況

(1) 食料を買えなかった経験

過去1年間に食料を買えなかった経験について、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」を合わせた『あった』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で64.4%、周辺層で27.9%、一般層で4.6%、中学2年生の困窮層で70.7%、周辺層で14.2%、一般層で3.7%、16～17歳の困窮層で74.0%、周辺層で21.2%、一般層で2.9%となっています。

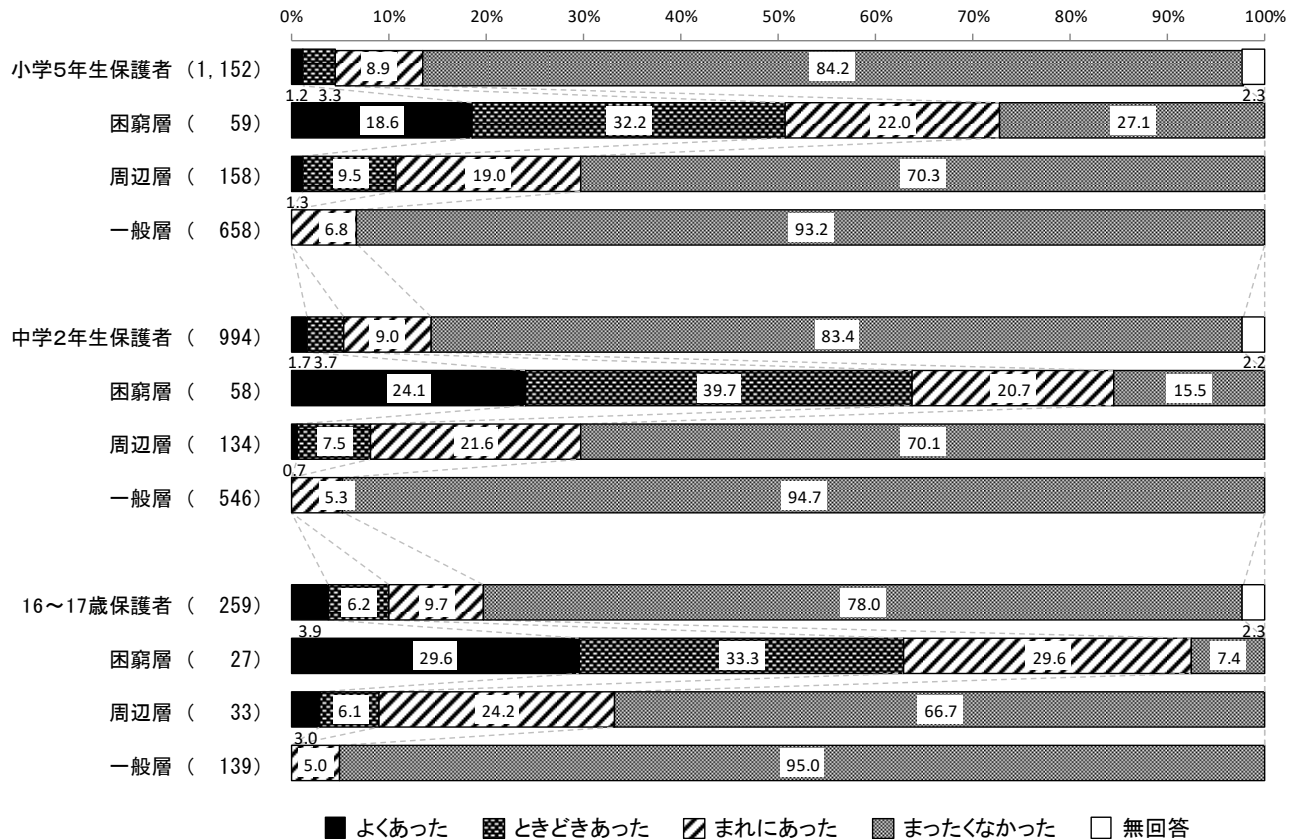
図表 2-3-1-1 食料を買えなかった経験：生活困難度別



(2) 衣類を買えなかった経験

過去1年間に衣類を買えなかった経験について、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」を合わせた『あった』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で72.8%、周辺層で29.8%、一般層で6.8%、中学2年生の困窮層で84.5%、周辺層で29.8%、一般層で5.3%、16～17歳の困窮層で92.5%、周辺層で33.3%、一般層で5.0%となっています。

図表 2-3-1-2 衣類を買えなかった経験：生活困難度別

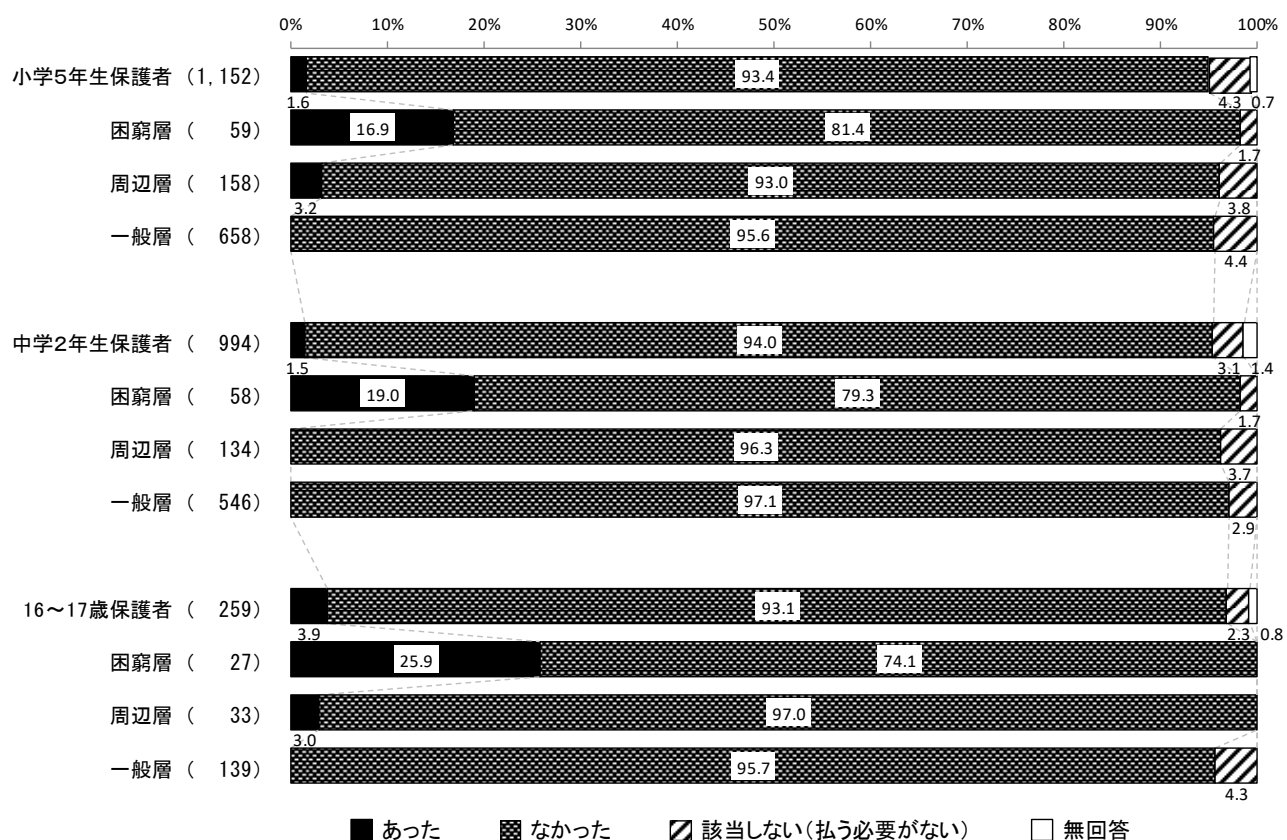


(3) 公共料金等の滞納経験

①電話料金

電話料金の滞納経験について、「あった」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 16.9%、周辺層で 3.2%、一般層で 0.0%、中学2年生の困窮層で 19.0%、周辺層で 0.0%、一般層で 0.0%、16～17歳の困窮層で 25.9%、周辺層で 3.0%、一般層で 0.0%となっています。

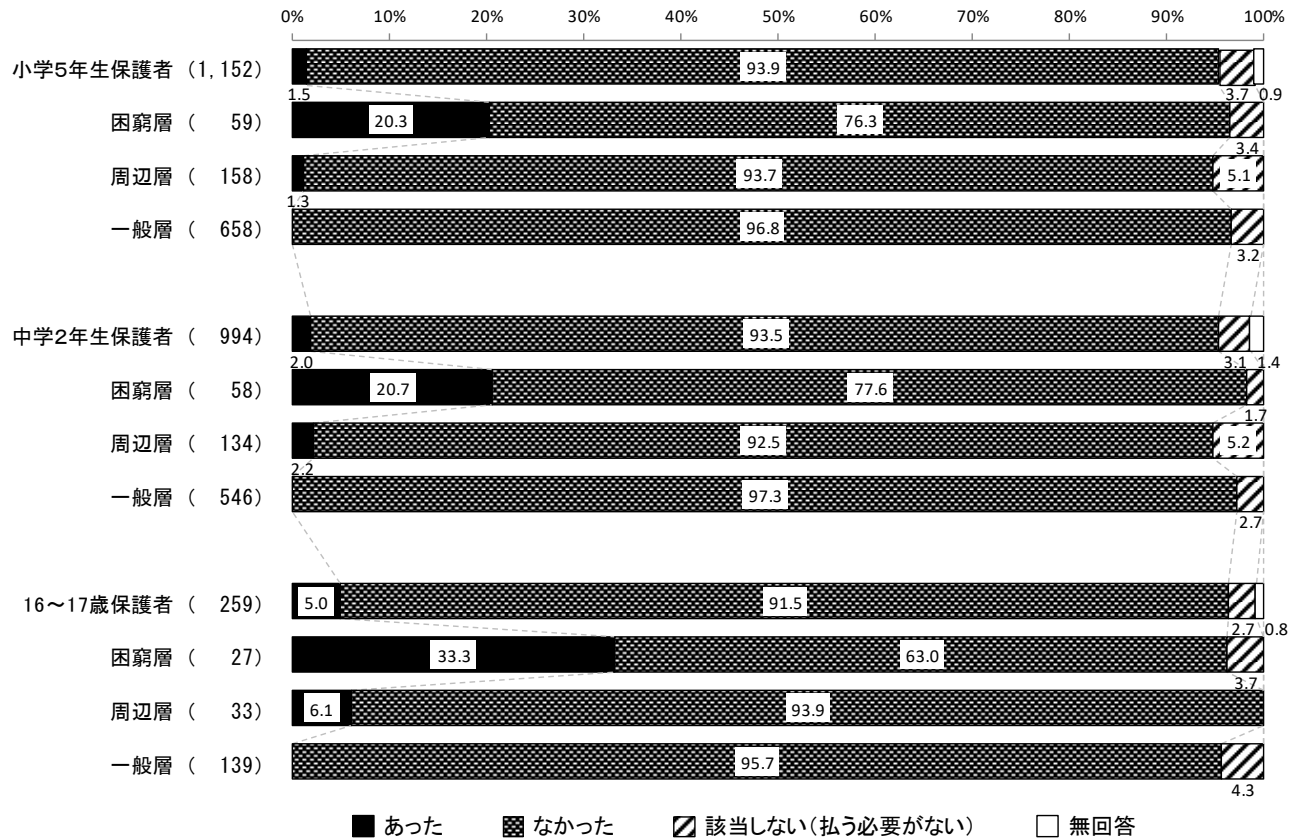
図表 2-3-1-3-1 電話料金の滞納経験：生活困難度別



②電気料金

電気料金の滞納経験について、「あった」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 20.3%、周辺層で 1.3%、一般層で 0.0%、中学2年生の困窮層で 20.7%、周辺層で 2.2%、一般層で 0.0%、16～17歳の困窮層で 33.3%、周辺層で 6.1%、一般層で 0.0%となっています。

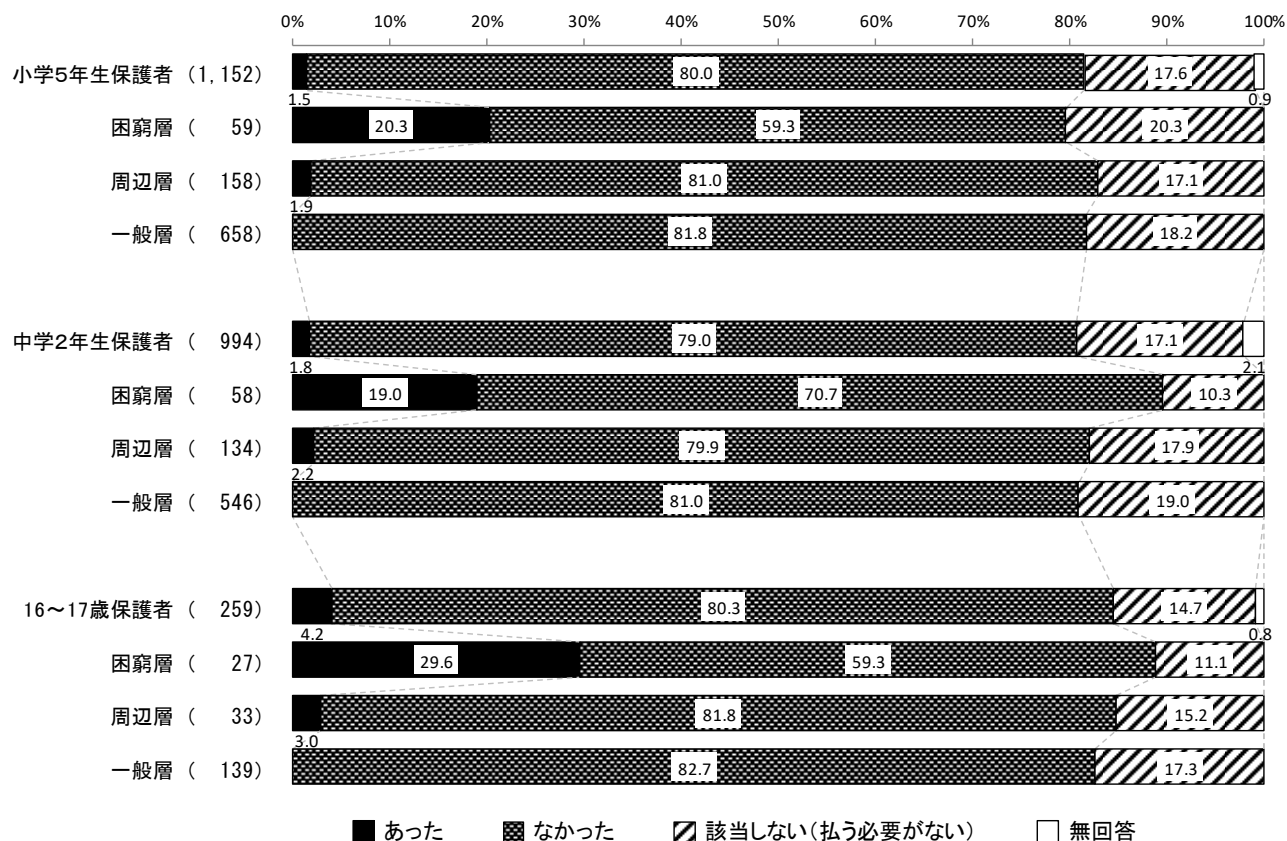
図表 2-3-1-3-2 電気料金の滞納経験：生活困難度別



③ガス料金

ガス料金の滞納経験について、「あった」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 20.3%、周辺層で 1.9%、一般層で 0.0%、中学2年生の困窮層で 19.0%、周辺層で 2.2%、一般層で 0.0%、16～17歳の困窮層で 29.6%、周辺層で 3.0%、一般層で 0.0%となっています。

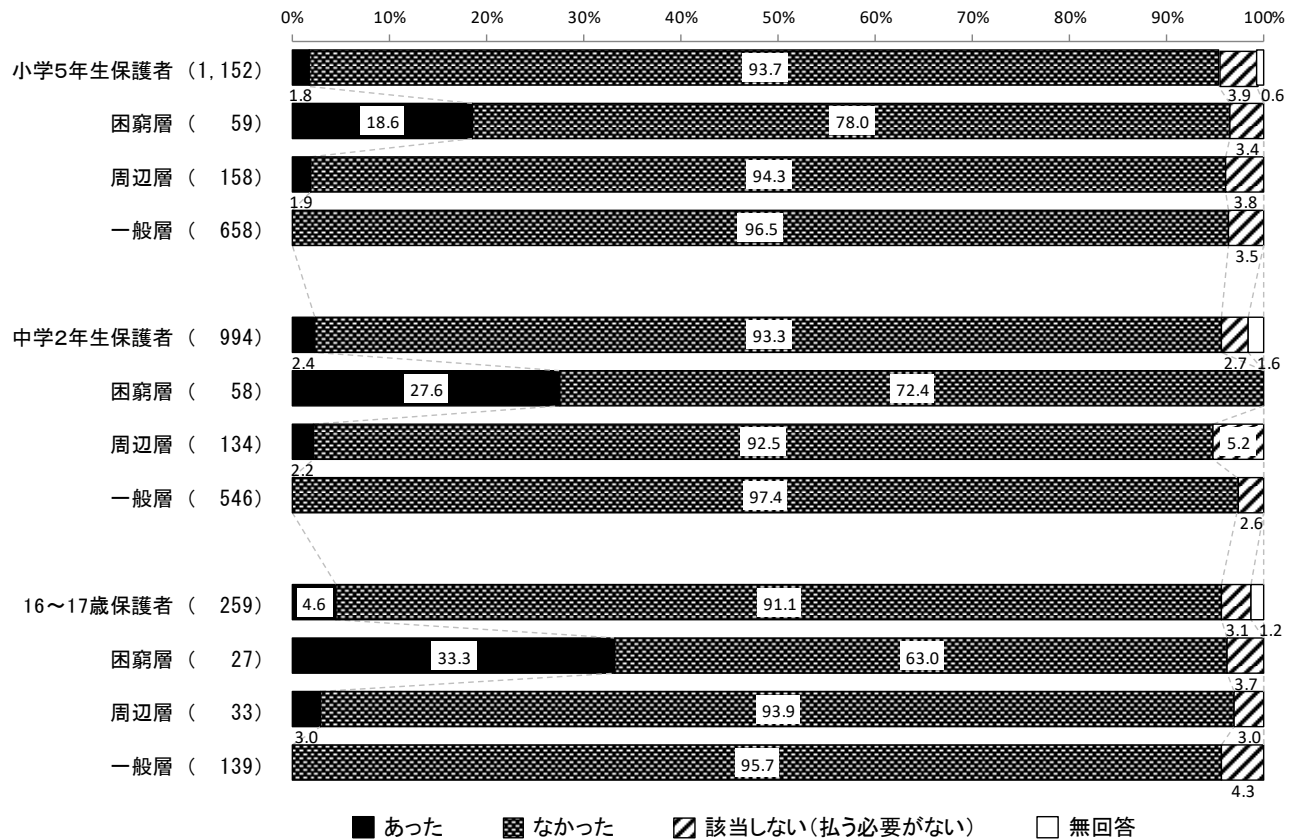
図表 2-3-1-3-3 ガス料金の滞納経験：生活困難度別



④水道料金

水道料金の滞納経験について、「あった」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で18.6%、周辺層で1.9%、一般層で0.0%、中学2年生の困窮層で27.6%、周辺層で2.2%、一般層で0.0%、16～17歳の困窮層で33.3%、周辺層で3.0%、一般層で0.0%となっています。

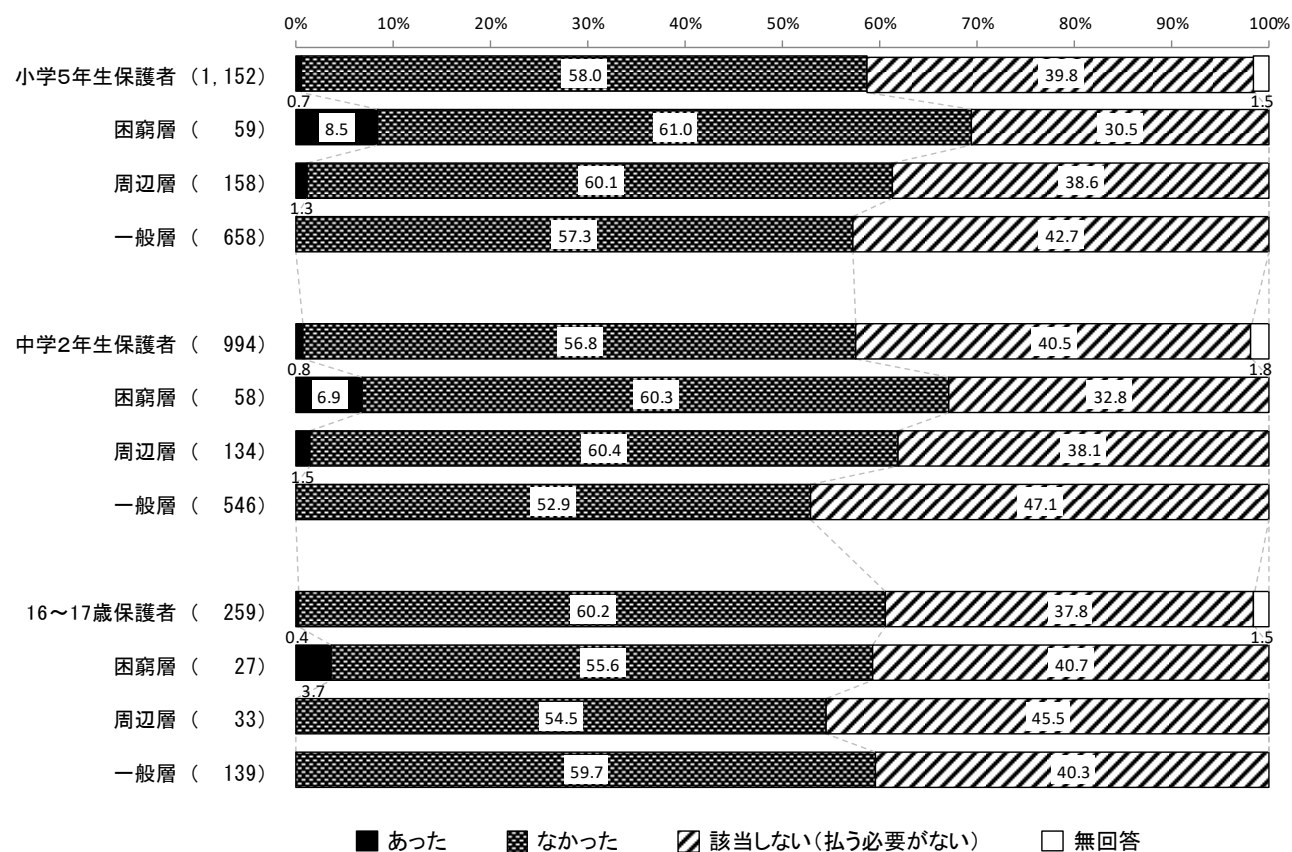
図表 2-3-1-3-4 水道料金の滞納経験：生活困難度別



⑤家賃

家賃の滞納経験について、「あった」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で8.5%、周辺層で1.3%、一般層で0.0%、中学2年生の困窮層で6.9%、周辺層で1.5%、一般層で0.0%、16～17歳の困窮層で3.7%、周辺層で0.0%、一般層で0.0%となっています。

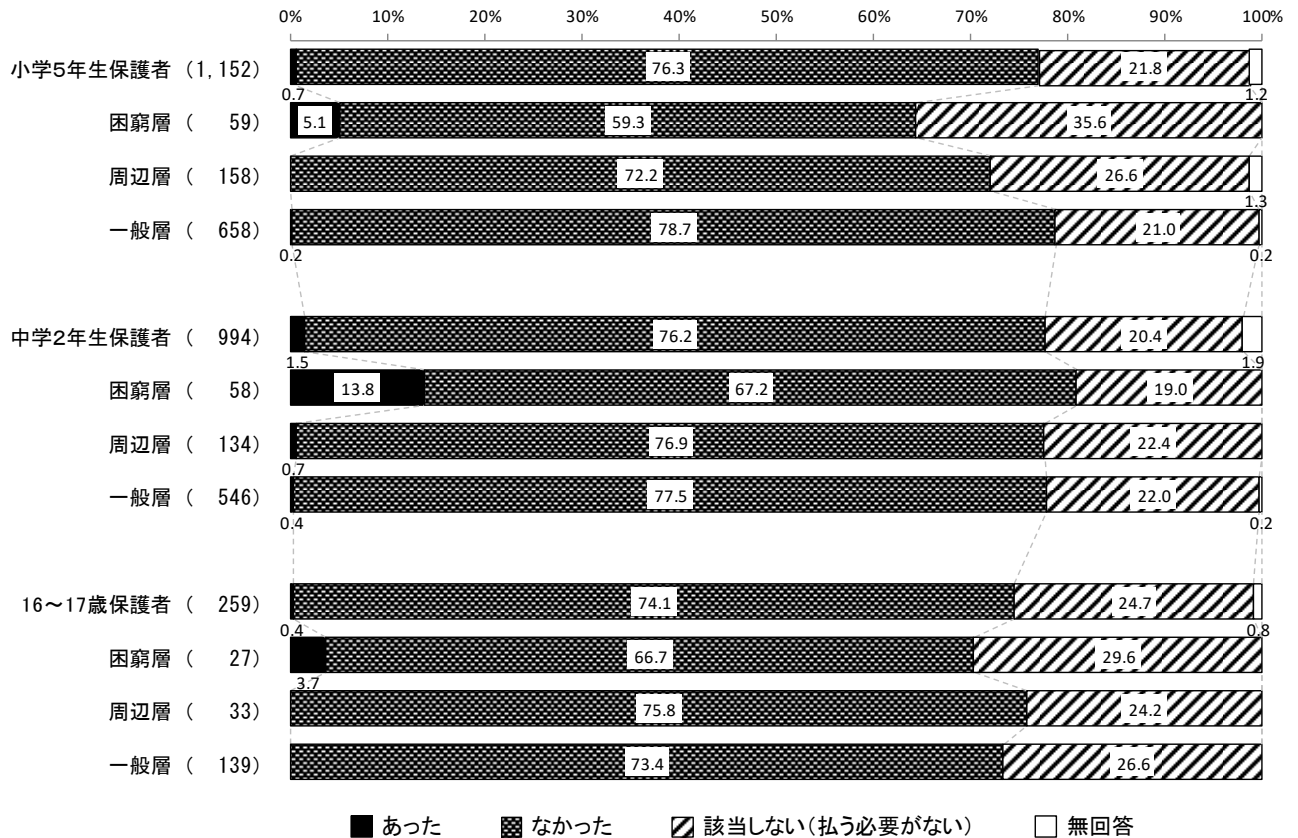
図表 2-3-1-3-5 家賃の滞納経験：生活困難度別



⑥住宅ローン

住宅ローンの滞納経験について、「あった」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 5.1%、周辺層で 0.0%、一般層で 0.2%、中学2年生の困窮層で 13.8%、周辺層で 0.7%、一般層で 0.4%、16～17歳の困窮層で 3.7%、周辺層で 0.0%、一般層で 0.0%となっています。

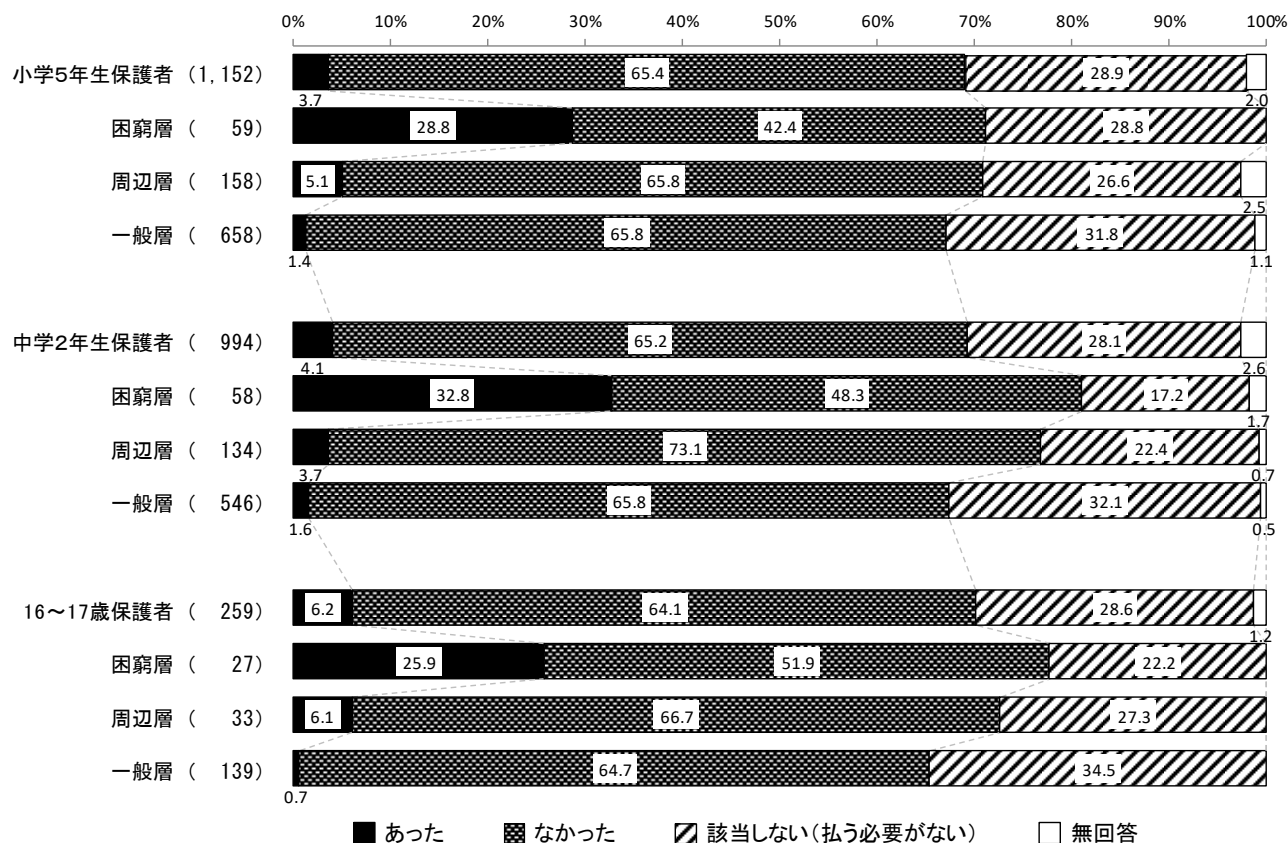
図表 2-3-1-3-6 住宅ローンの滞納経験：生活困難度別



⑦その他の債務

その他の債務の滞納経験について、「あった」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 28.8%、周辺層で 5.1%、一般層で 1.4%、中学2年生の困窮層で 32.8%、周辺層で 3.7%、一般層で 1.6%、16～17歳の困窮層で 25.9%、周辺層で 6.1%、一般層で 0.7%となっています。

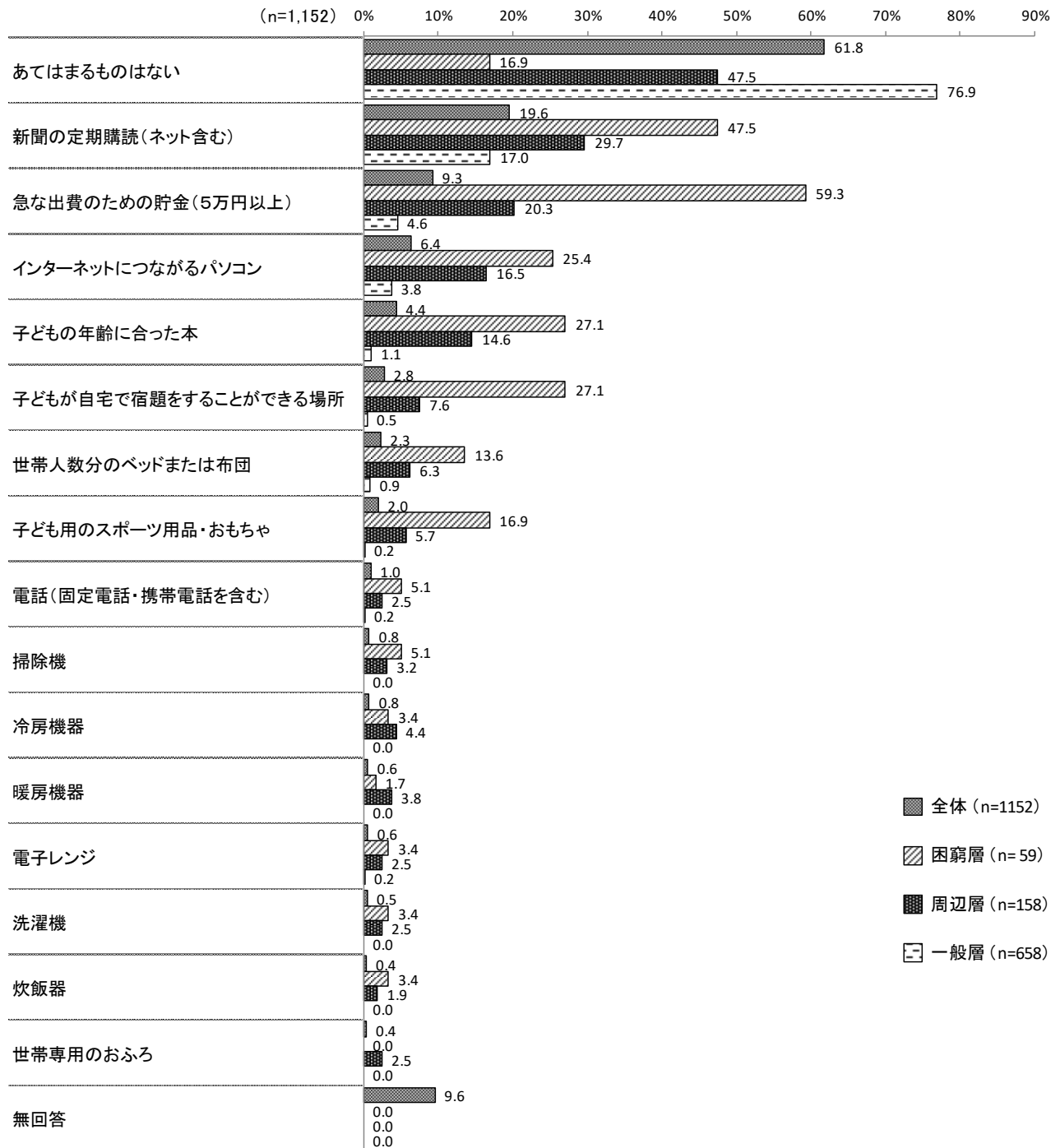
図表 2-3-1-3-7 その他の債務の滞納経験：生活困難度別



(4) 物品等の所有状況

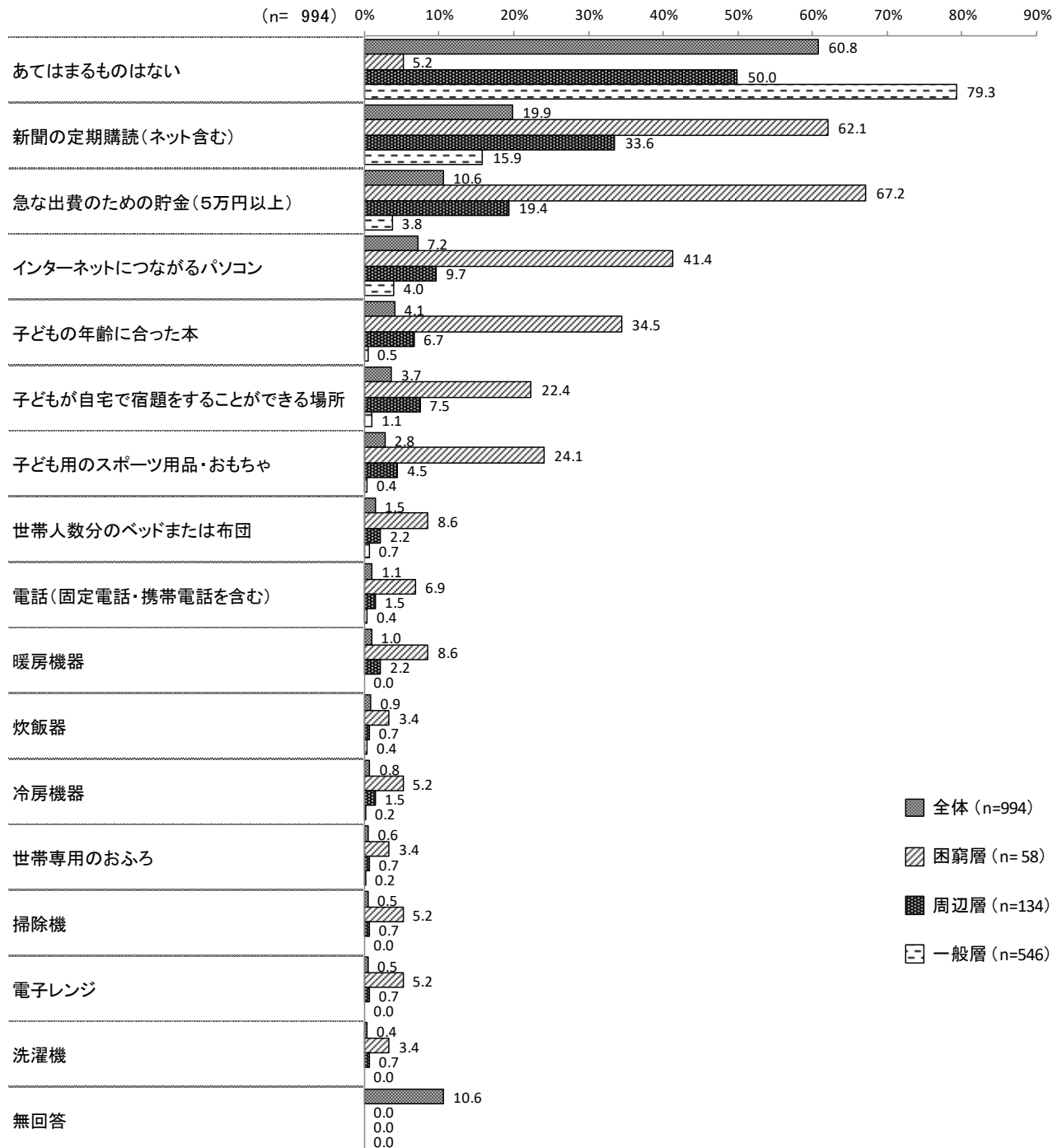
経済的理由のために世帯にないものを複数回答で聞いたところ、小学5年生の困窮層の状況を見ると、周辺層・一般層と比べて10ポイント以上の差で「ない」割合が高いのは「新聞の定期購読(ネット含む)」「急な出費のための貯金(5万円以上)」「子どもの年齢に合った本」「子どもが自宅で宿題をすることができる場所」「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」となっています。

図表 2-3-1-4-1 物品等の所有状況(複数回答)(小学5年生保護者):生活困難度別



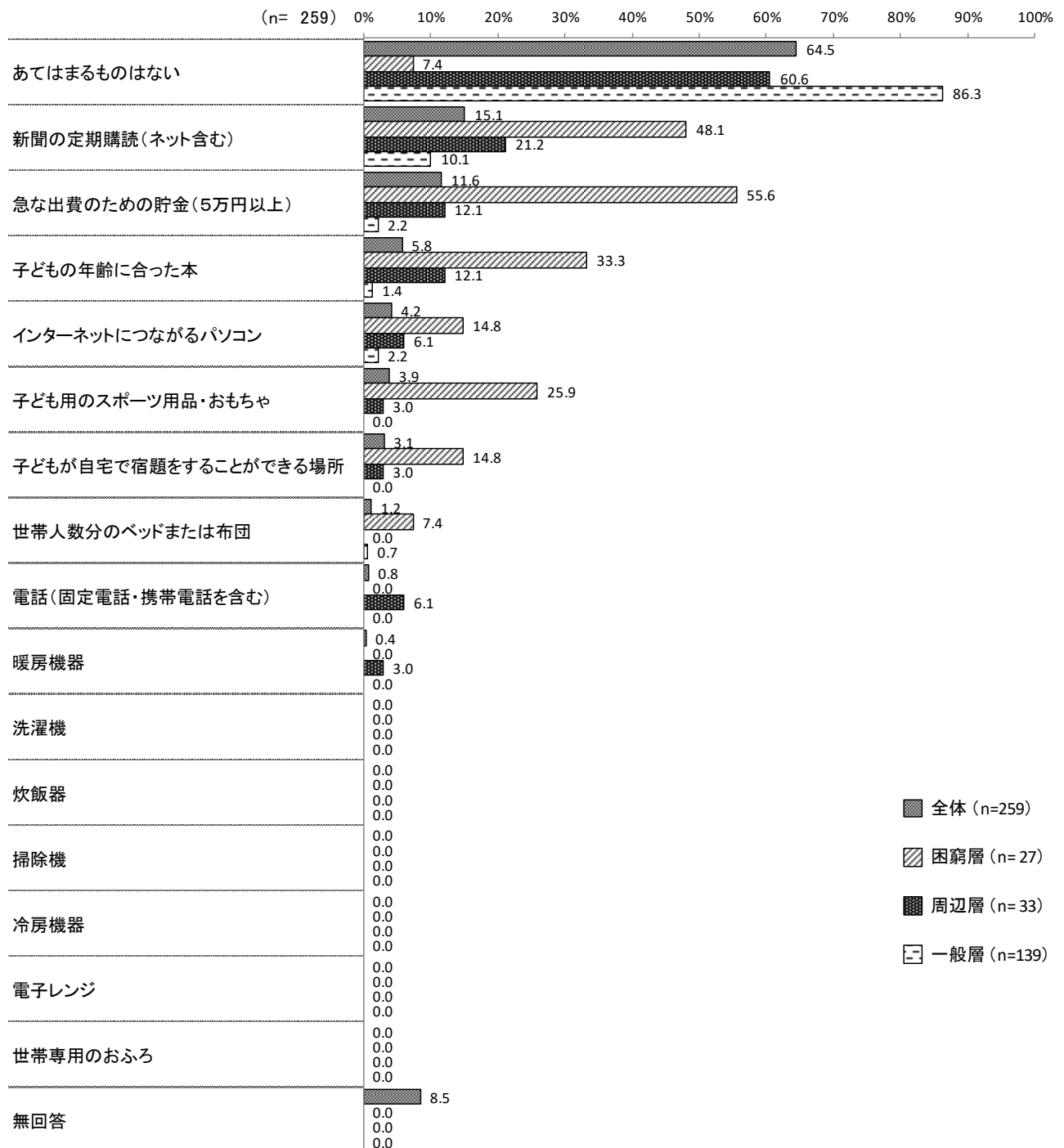
経済的理由のために世帯にないものを複数回答で聞いたところ、中学2年生の困窮層の状況を見ると、周辺層・一般層と比べて10ポイント以上の差で「ない」割合が高いのは「新聞の定期購読(ネット含む)」「急な出費のための貯金(5万円以上)」「インターネットにつながるパソコン」「子どもの年齢に合った本」「子どもが自宅で宿題をすることができる場所」「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」となっています。

図表 2-3-1-4-2 物品等の所有状況(複数回答)(中学2年生保護者):生活困難度別



経済的理由のために世帯にないものを複数回答で聞いたところ、16～17歳の困窮層の状況を見ると、周辺層・一般層と比べて10ポイント以上の差で「ない」割合が高いのは「新聞の定期購読(ネット含む)」「急な出費のための貯金(5万円以上)」「子どもの年齢に合った本」「子どもが自宅で宿題をすることができる場所」「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」となっています。

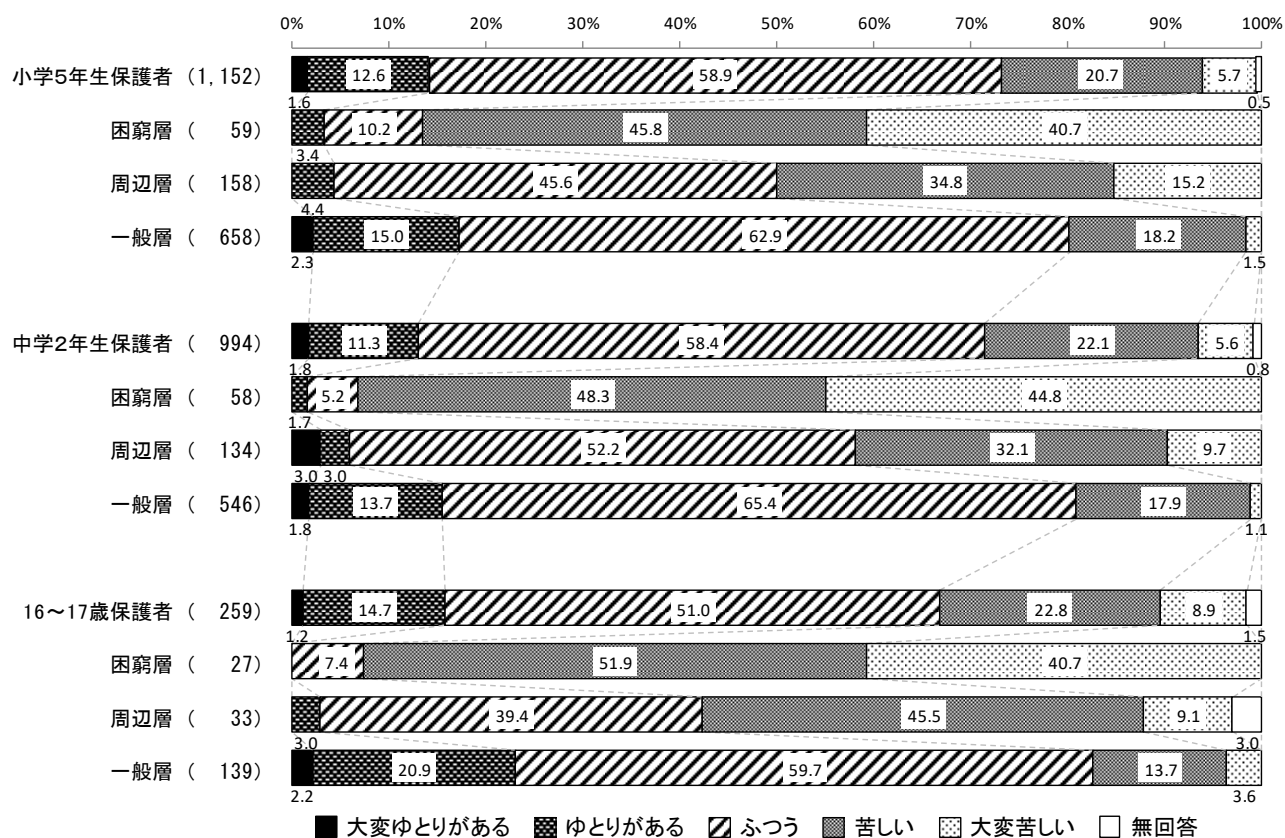
図表 2-3-1-4-3 物品等の所有状況(複数回答)(16～17歳保護者):生活困難度別



(5) 現在の(主観的)暮らし向き

現在の暮らし向きについて、「大変ゆとりがある」「ゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で3.4%、周辺層で4.4%、一般層で17.3%、中学2年生の困窮層で1.7%、周辺層で6.0%、一般層で15.5%、16～17歳の困窮層で0.0%、周辺層で3.0%、一般層で23.1%となっています。

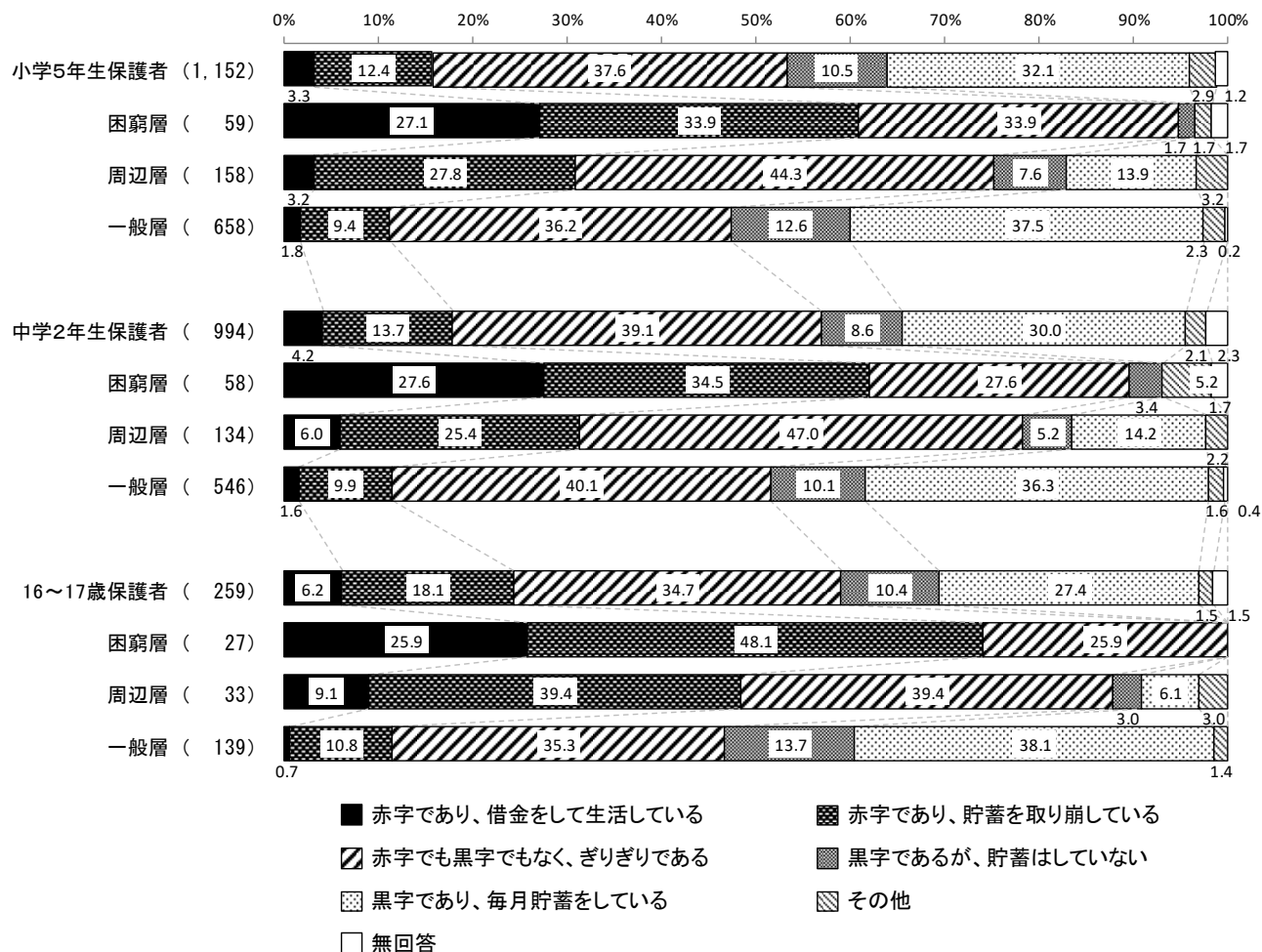
図表 2-3-1-5 現在の暮らし向き：生活困難度別



(6) 家計の収支状況

家計の収支状況について、「赤字であり、借金をして生活している」「赤字であり、貯金を取り崩している」を合わせた『赤字である』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で61.0%、周辺層で31.0%、一般層で11.2%、中学2年生の困窮層で62.1%、周辺層で31.4%、一般層で11.5%、16～17歳の困窮層で74.0%、周辺層で48.5%、一般層で11.5%となっています。

図表 2-3-1-6 家計の収支状況：生活困難度別



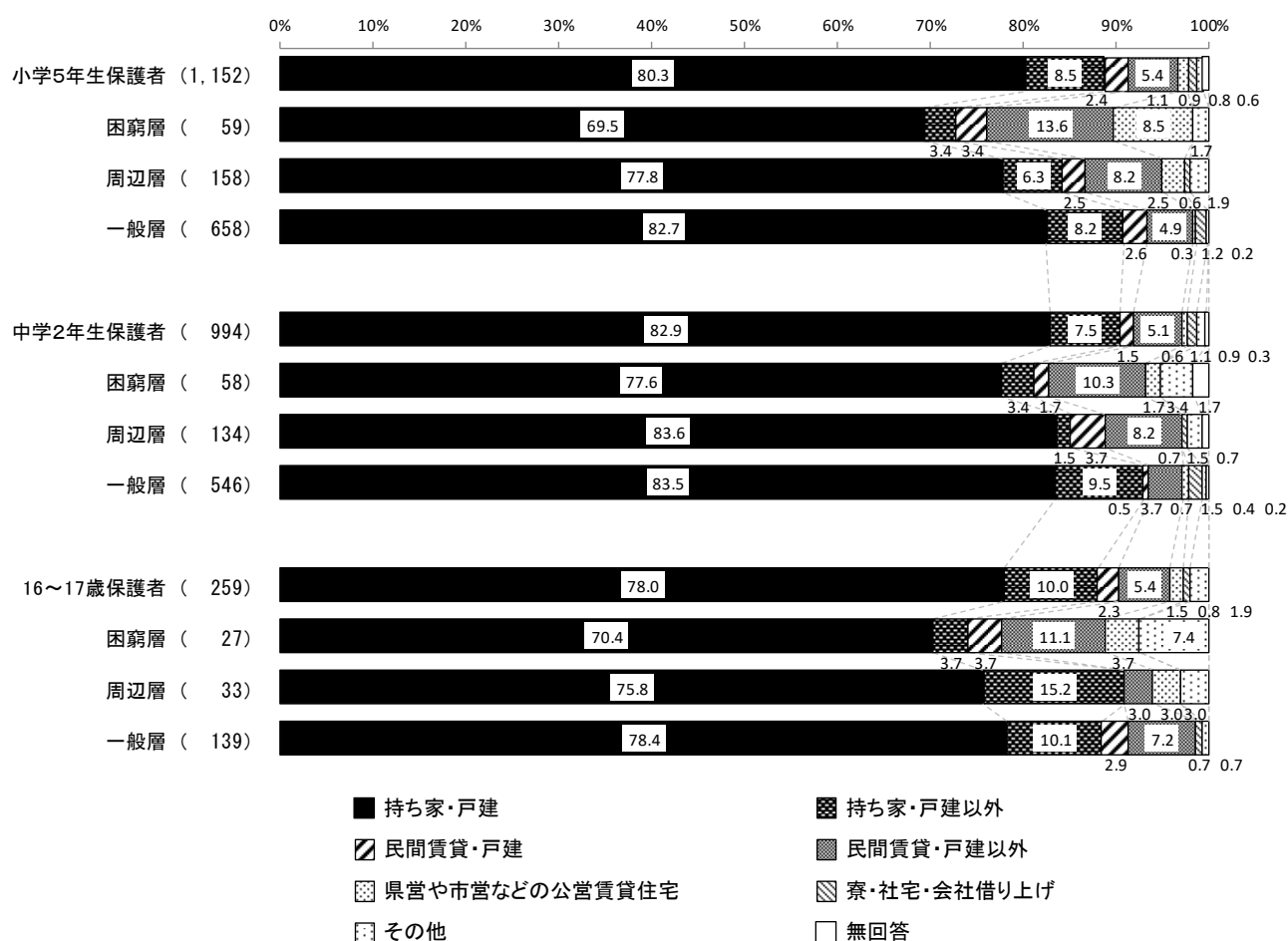
(7) 住宅の状況

①住宅の種類

住宅の種類について、「持ち家・戸建」の割合は、小学5年生の困窮層で69.5%、周辺層で77.8%、一般層で82.7%、中学2年生の困窮層で77.6%、周辺層で83.6%、一般層で83.5%、16～17歳の困窮層で70.4%、周辺層で75.8%、一般層で78.4%となっています。

いずれの年齢層でも、「民間賃貸・戸建以外」の割合は、「持ち家・戸建」と逆に生活困難度が高いほど割合が高くなっています。

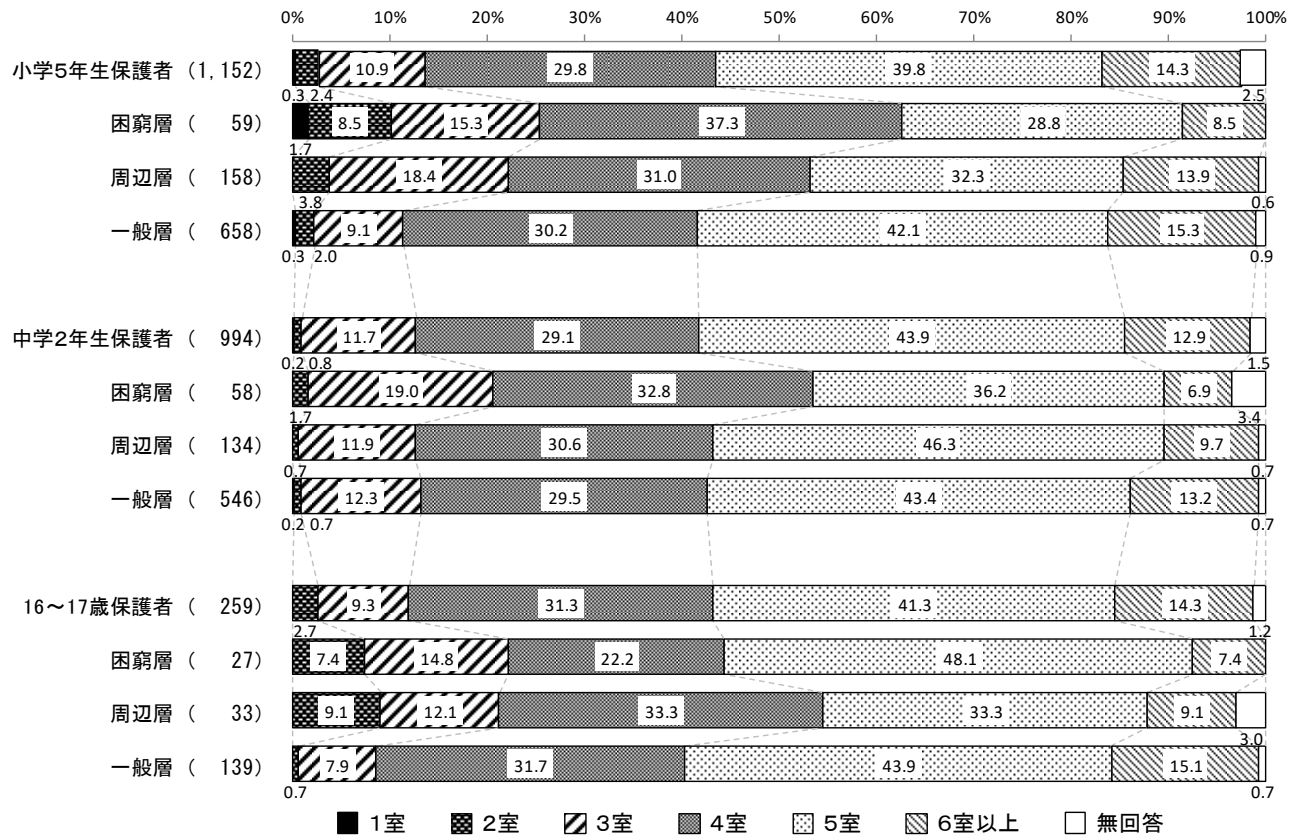
図表 2-3-1-7-1 住宅の種類：生活困難度別



②住宅の広さ（部屋数）

玄関や風呂等を含めない部屋数については、小学5年生では困窮層で「4室」が37.3%、周辺層で「5室」が32.3%、一般層で「5室」が42.1%で最も高くなっています。中学2年生ではいずれの層も「5室」が最も多く、困窮層で36.2%、周辺層で46.3%、一般層で43.4%となっています。16～17歳では困窮層で「5室」が48.1%、周辺層で「4室」「5室」が33.3%、一般層で「5室」が43.9%で最も高くなっています。

図表 2-3-1-7-2 住居用の部屋数：生活困難度別

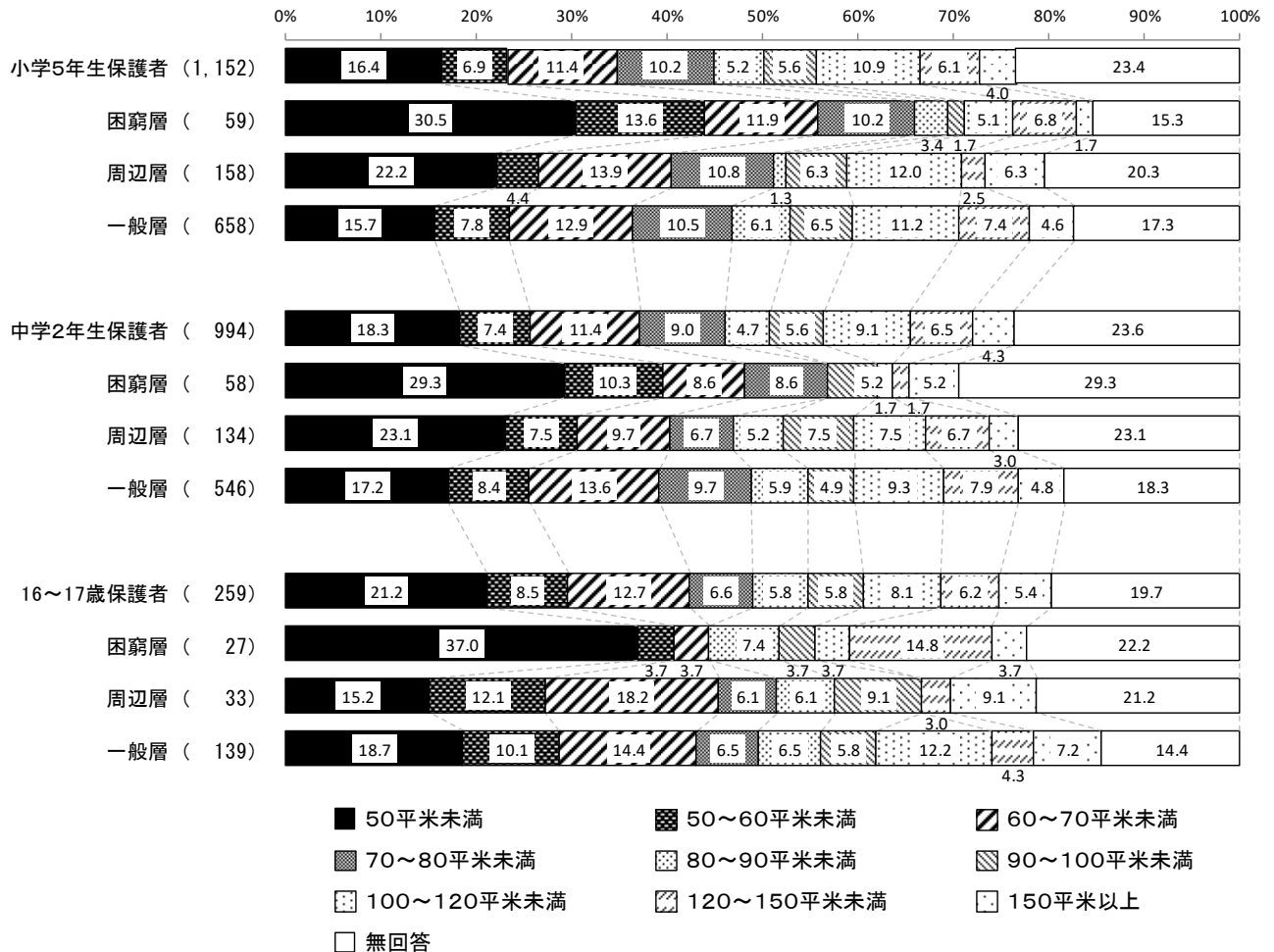


③住宅の広さ（平米数）

住宅の広さの合計について、「50 平米未満」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 30.5%、周辺層で 22.2%、一般層で 15.7%、中学2年生の困窮層で 29.3%、周辺層で 23.1%、一般層で 17.2%、16～17 歳の困窮層で 37.0%、周辺層で 15.2%、一般層で 18.7%となっています。

16～17 歳の周辺層を除き、「50 平米未満」が最も高くなっているが、生活困難度が高いほど、全体に占める「50 平米未満」の割合が高くなっています。

図表 2-3-1-7-3 住宅の広さの合計：生活困難度別

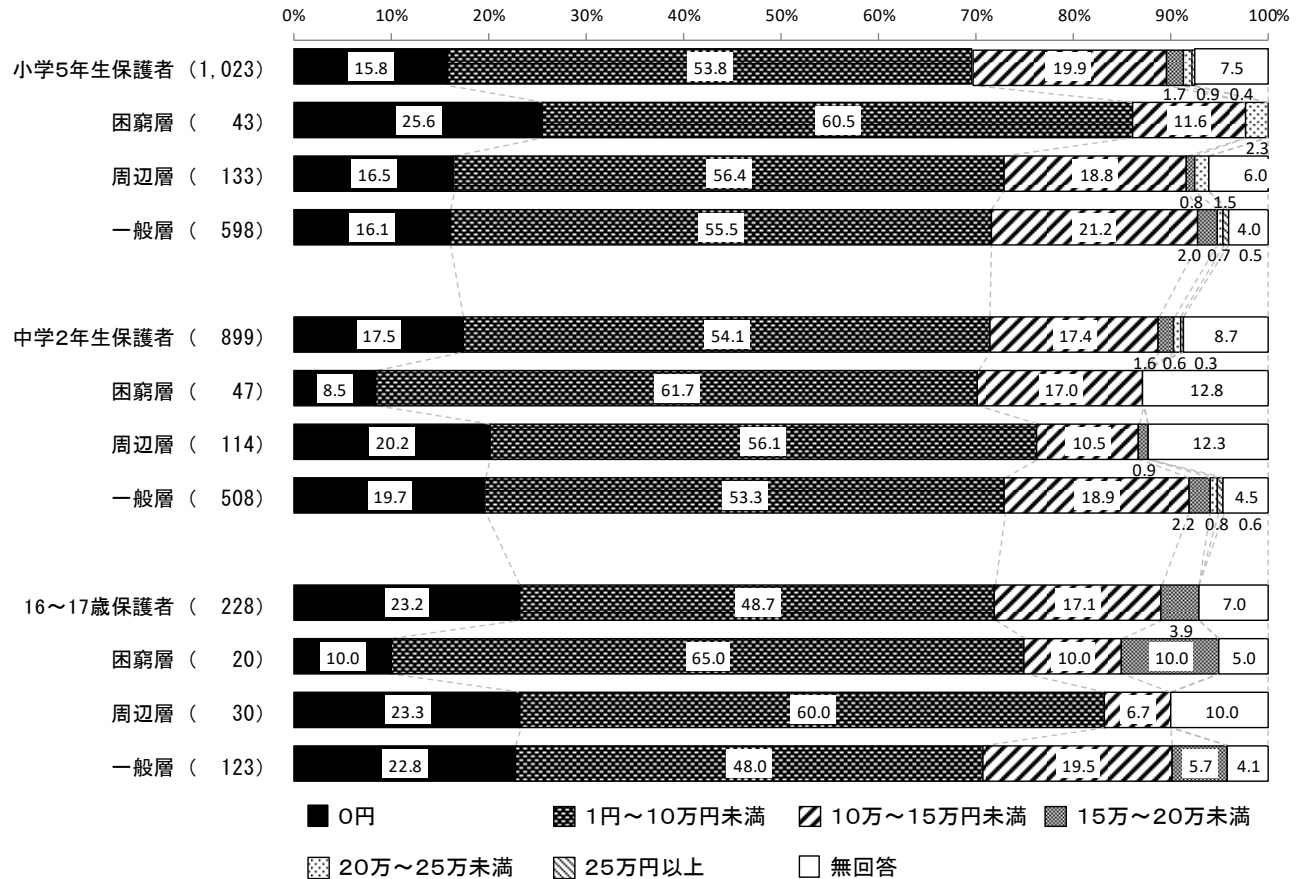


④住居費（持ち家【1か月当たりの住宅ローン返済額】）

持ち家の1か月当たりの住宅ローン返済額について、「0円」の割合をみると、小学5年生の全体で15.8%、中学2年生の全体で17.5%、16～17歳の全体で23.2%となっています。

小学5年生の困窮層で「0円」の割合が25.6%と他の年齢層に比べて高くなっています。

図表 2-3-1-7-4 1か月当たりの住宅ローン返済額：生活困難度別

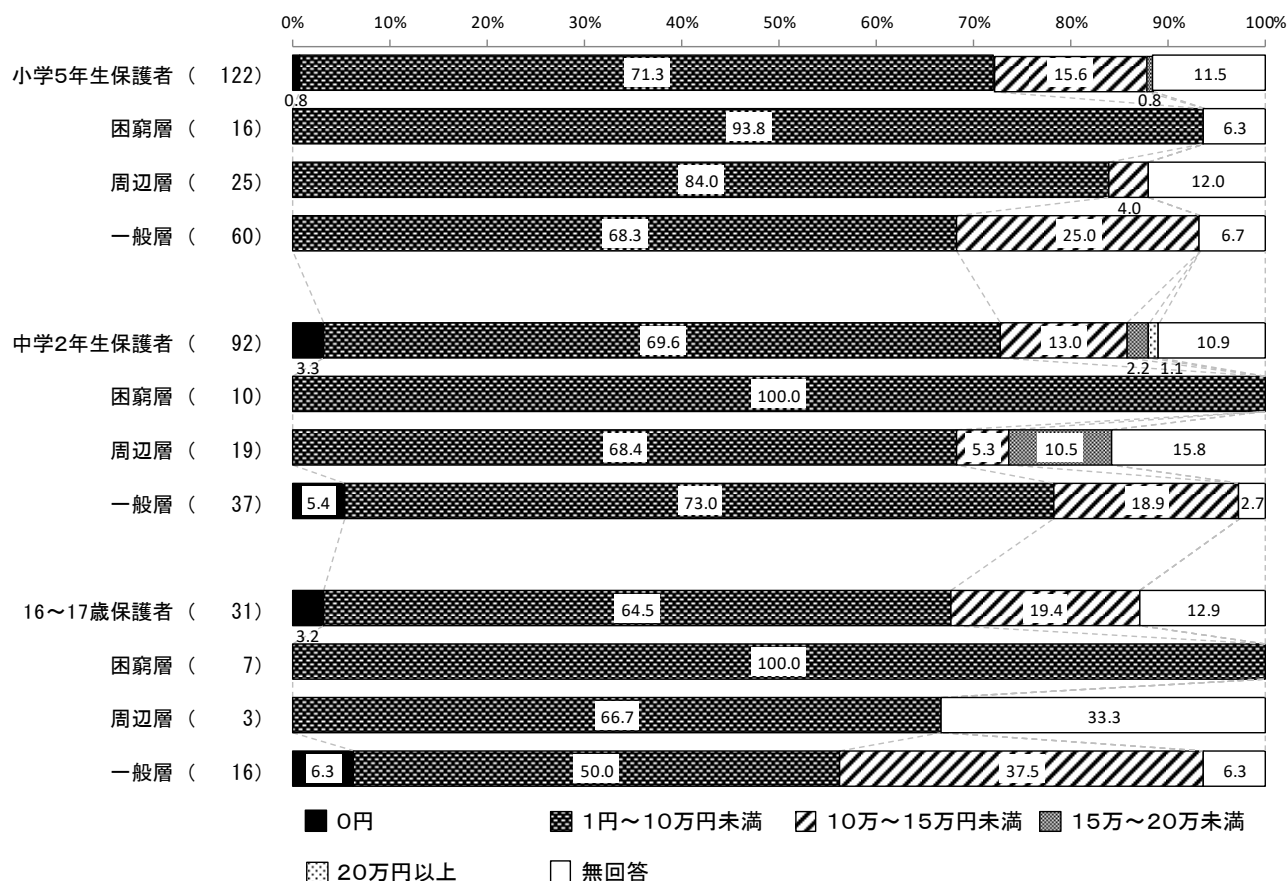


⑤住居費（賃貸住宅【家賃・間代】）

賃貸住宅の家賃・間代について、「1円～10万円未満」の割合をみると、小学5年生の困窮層で93.8%、周辺層で84.0%、一般層で68.3%、中学2年生の困窮層で100.0%、周辺層で68.4%、一般層で73.0%、16～17歳の困窮層で100.0%、周辺層で66.7%、一般層で50.0%となっています。

いずれの年齢層でも、10万円以上の家賃・間代を支払っている割合は、一般層の割合が高くなっています。

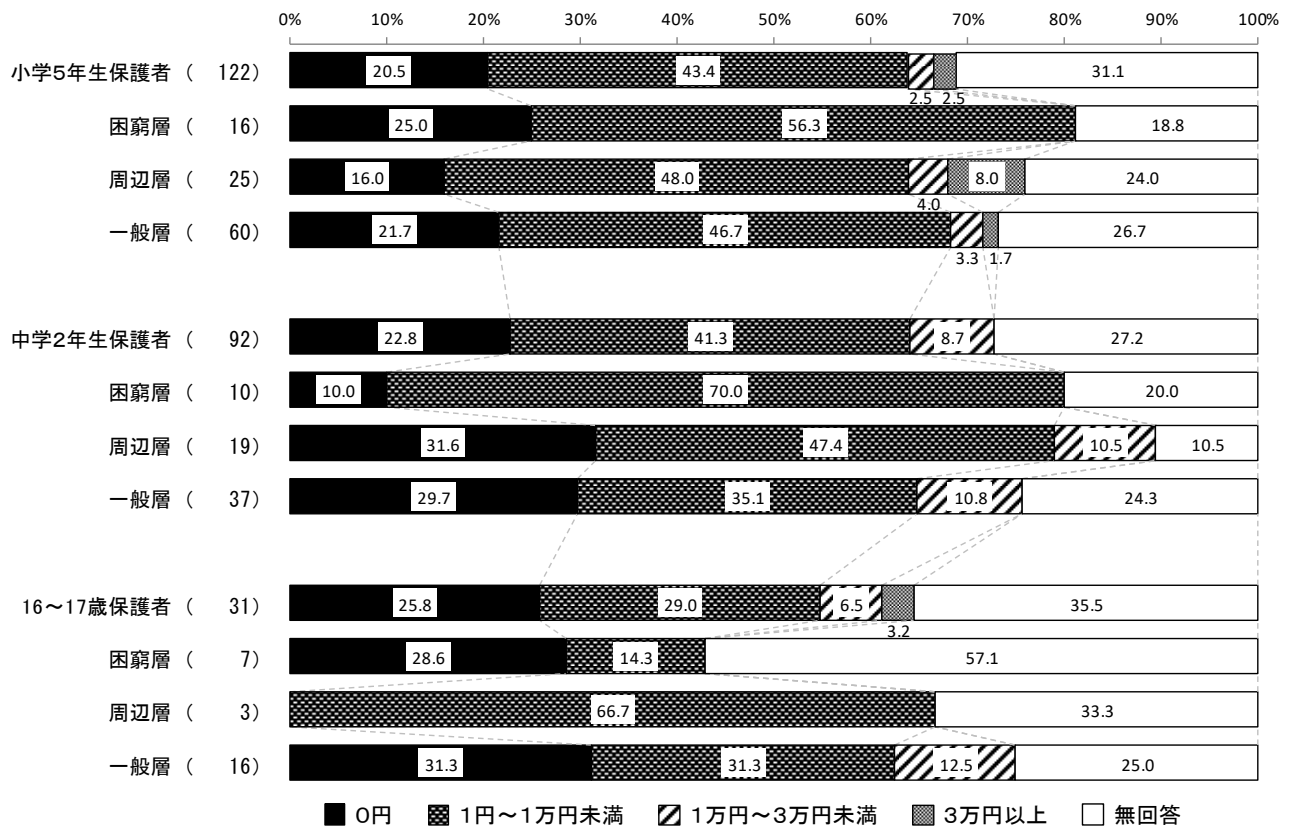
図表 2-3-1-7-5 賃貸住宅の家賃・間代：生活困難度別



⑥住居費（賃貸住宅【共益費・管理費】）

賃貸住宅の共益費・管理費について、「1円～1万円未満」の割合をみると、小学5年生の困窮層で56.3%、周辺層で48.0%、一般層で46.7%、中学2年生の困窮層で70.0%、周辺層で47.4%、一般層で35.1%、16～17歳の困窮層で14.3%、周辺層で66.7%、一般層で31.3%となっています。

図表 2-3-1-7-6 賃貸住宅の共益費・管理費：生活困難度別



2. 子どもの生活水準（所有物と体験）

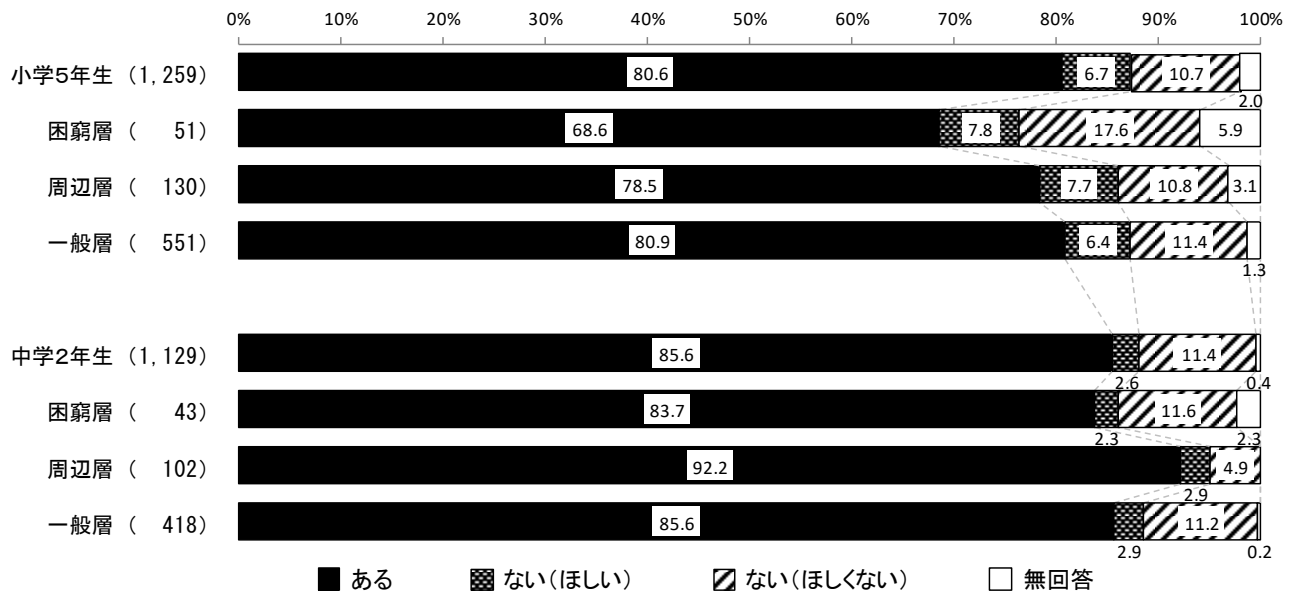
（1）小・中学生の所有物の状況

①自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）

「自分だけの本」について、「ない(ほしい)」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で7.8%、周辺層で7.7%、一般層で6.4%、中学2年生の困窮層で2.3%、周辺層で2.9%、一般層で2.9%となっています。

小学5年生で、生活困難度が高いほど所有しておらず、「ほしい」と考えていることがわかります。

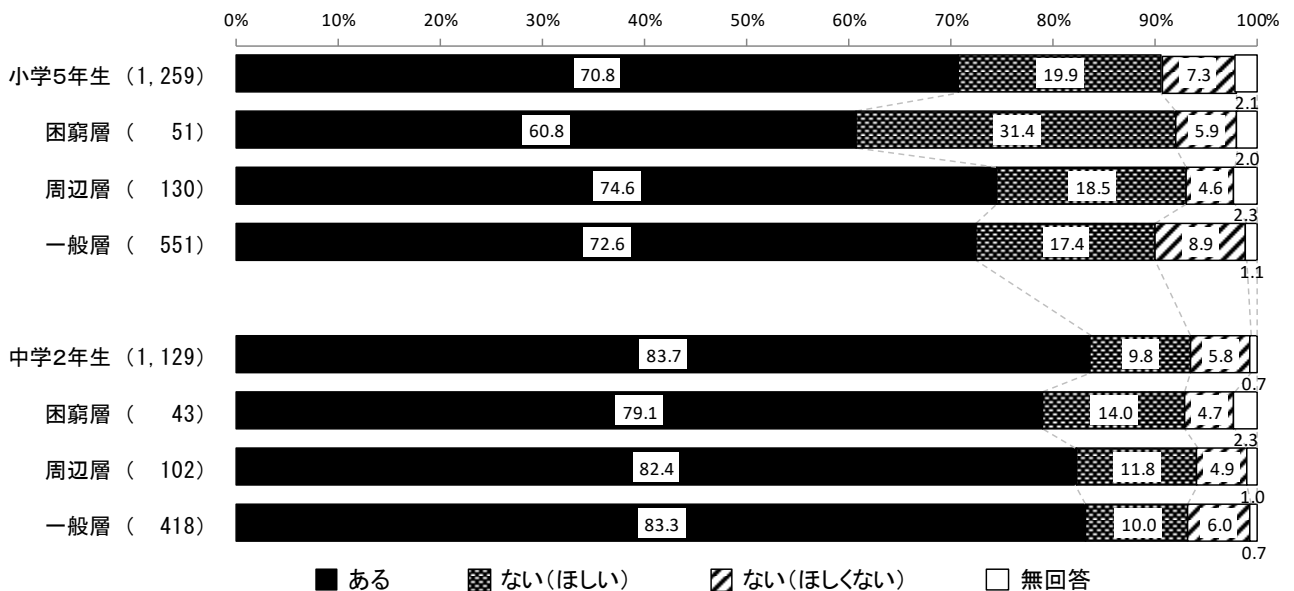
図表 2-3-2-1-1 使うことができるもの／自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）
：生活困難度別



②子ども部屋（きょうだいと使っている場合も含む）

「子ども部屋」について、「ない(ほしい)」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で31.4%、周辺層で18.5%、一般層で17.4%、中学2年生の困窮層で14.0%、周辺層で11.8%、一般層で10.0%となっています。

図表 2-3-2-1-2 使うことができるもの／子ども部屋（きょうだいと使っている場合も含む）
：生活困難度別

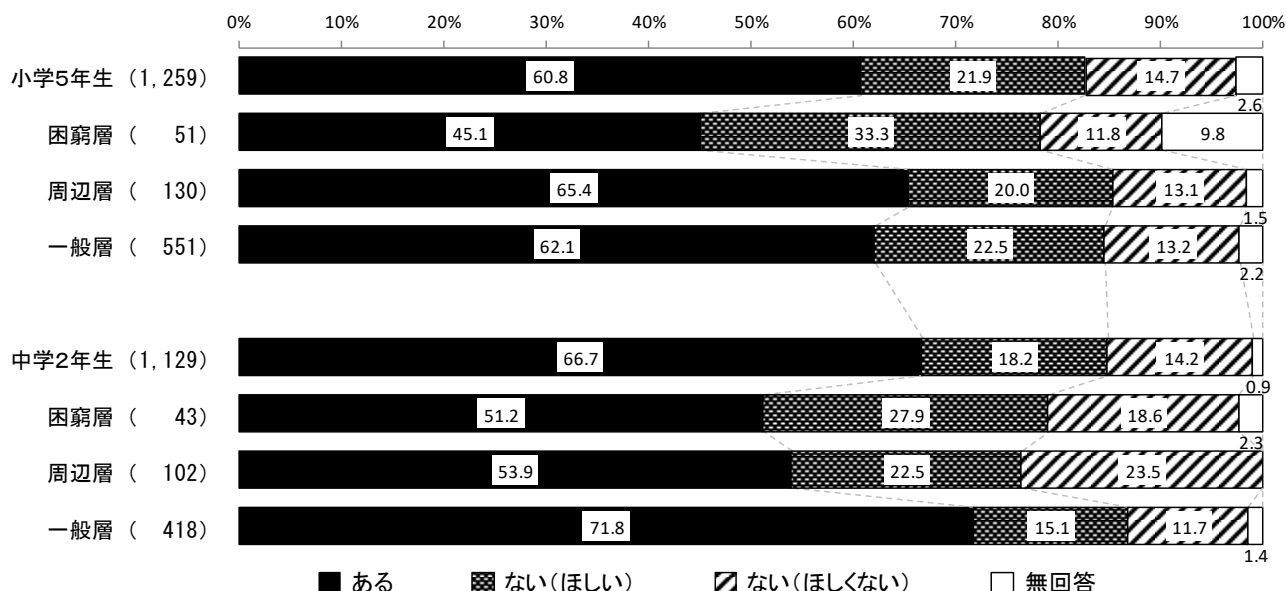


③（自宅で）インターネットにつながるパソコン

「インターネットにつながるパソコン」について、「ない(ほしい)」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で33.3%、周辺層で20.0%、一般層で22.5%、中学2年生の困窮層で27.9%、周辺層で22.5%、一般層で15.1%となっています。

中学2年生で、生活困難度が高いほど所有していない割合が高いことがわかりました。

図表 2-3-2-1-3 使うことができるもの／（自宅で）インターネットにつながるパソコン
：生活困難度別

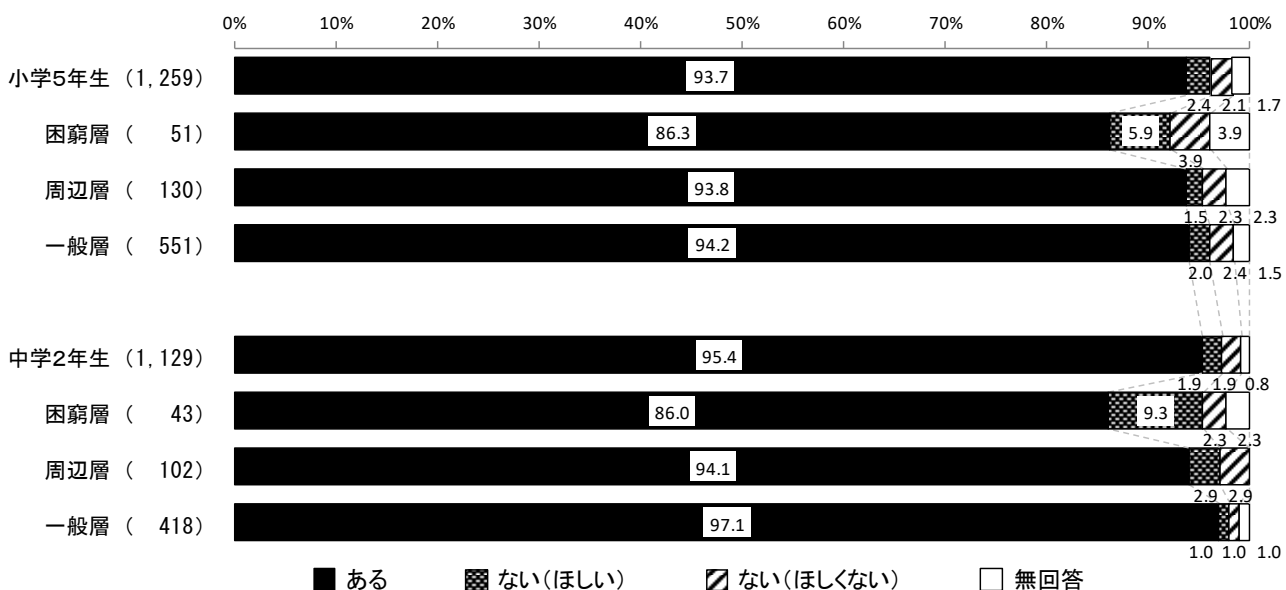


④自宅で宿題をすることができる場所

「自宅で宿題をすることができる場所」について、「ない(ほしい)」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で5.9%、周辺層で1.5%、一般層で2.0%、中学2年生の困窮層で9.3%、周辺層で2.9%、一般層で1.0%となっています。

中学2年生で、生活困難度が高いほど自宅で宿題をすることができる場所がない割合が高いことがわかりました。

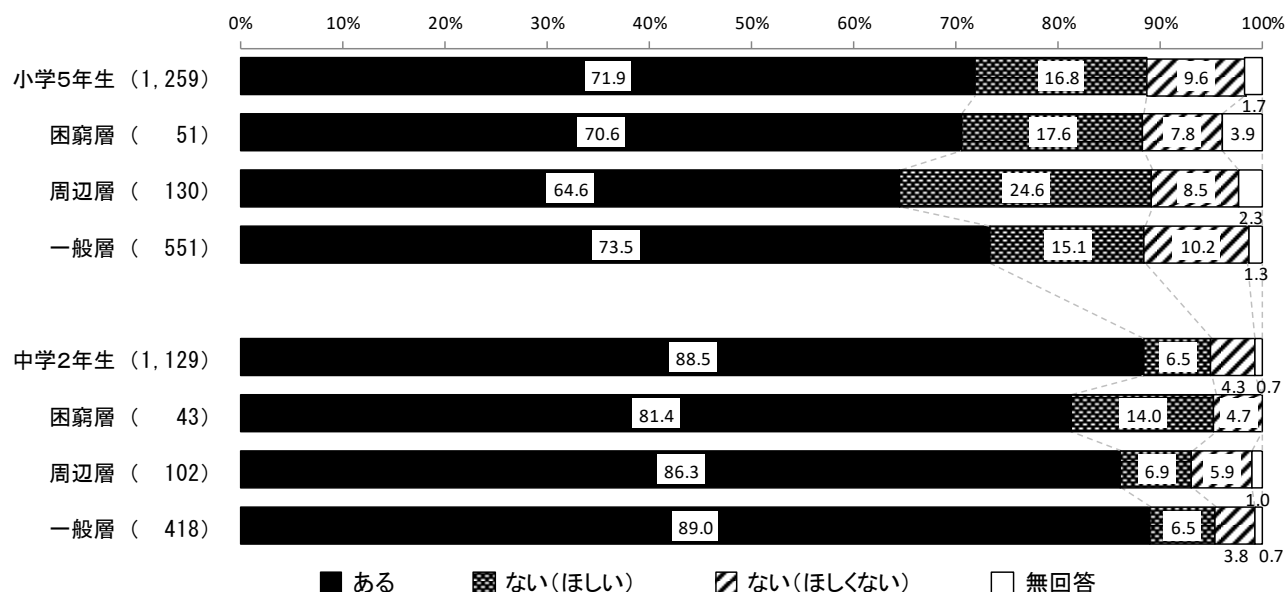
図表 2-3-2-1-4 使うことができるもの／自宅で宿題をすることができる場所：生活困難度別



⑤自分専用の勉強机

「自分専用の勉強机」について、「ない（ほしい）」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で17.6%、周辺層で24.6%、一般層で15.1%、中学2年生の困窮層で14.0%、周辺層で6.9%、一般層で6.5%となっています。

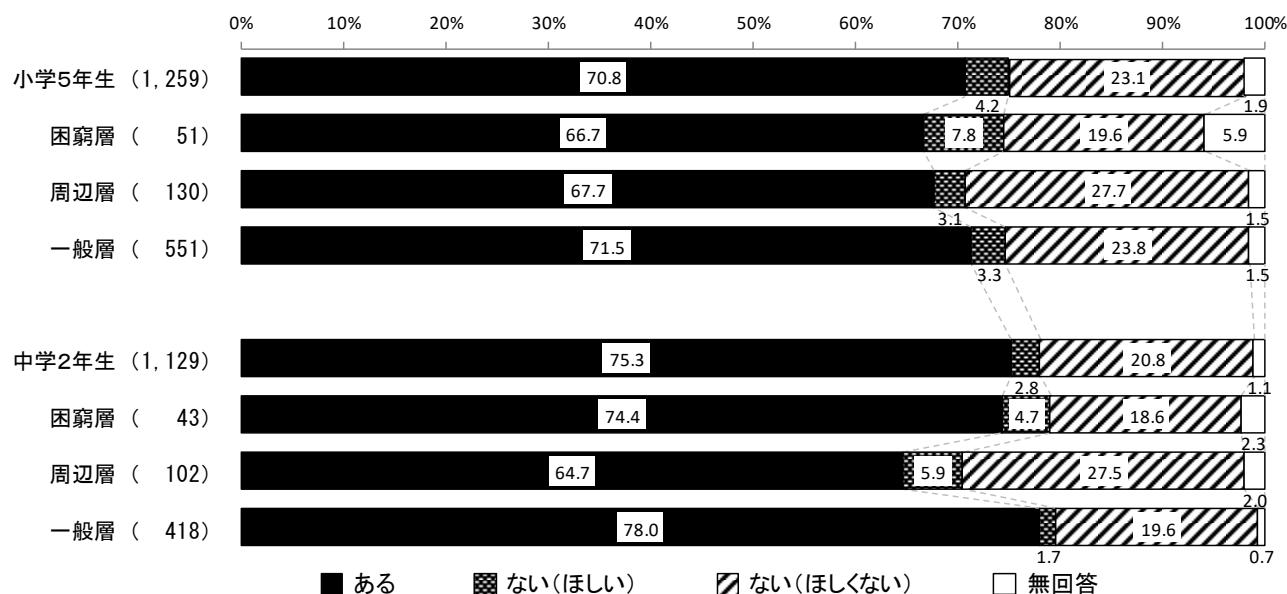
図表 2-3-2-1-5 使うことができるもの／自分専用の勉強机：生活困難度別



⑥スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）

「スポーツ用品」について、「ない（ほしい）」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で7.8%、周辺層で3.1%、一般層で3.3%、中学2年生の困窮層で4.7%、周辺層で5.9%、一般層で1.7%となっています。

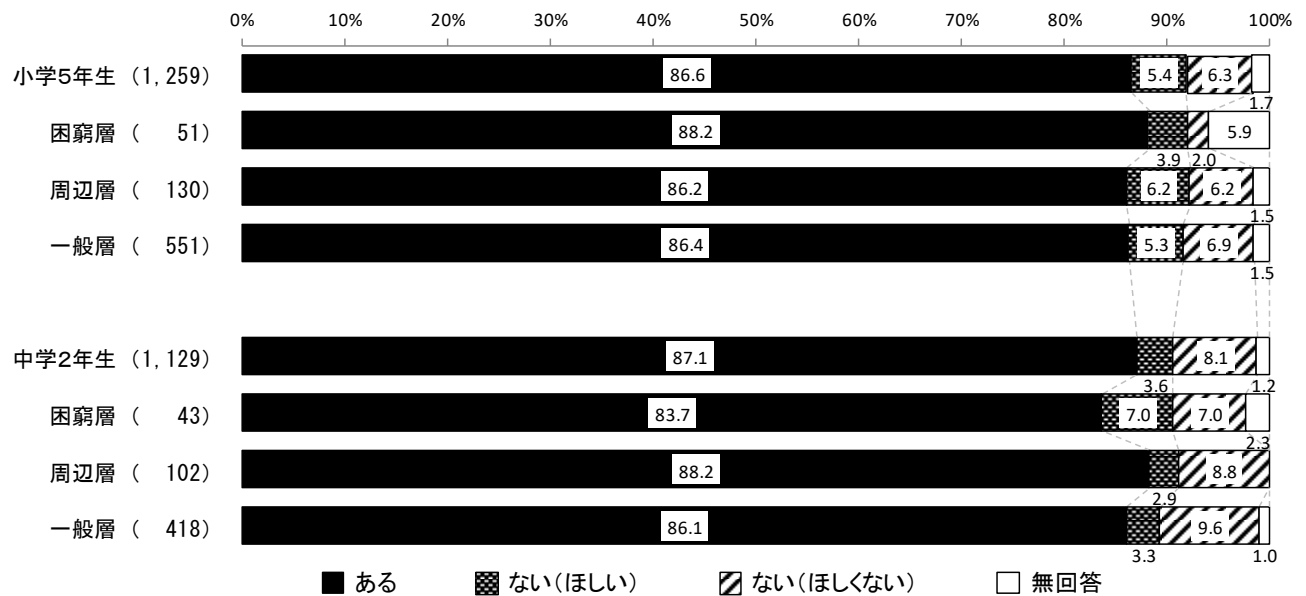
図表 2-3-2-1-6 使うことができるもの／スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）：生活困難度別



⑦ゲーム機

「ゲーム機」について、「ない(ほしい)」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で3.9%、周辺層で6.2%、一般層で5.3%、中学2年生の困窮層で7.0%、周辺層で2.9%、一般層で3.3%となっています。

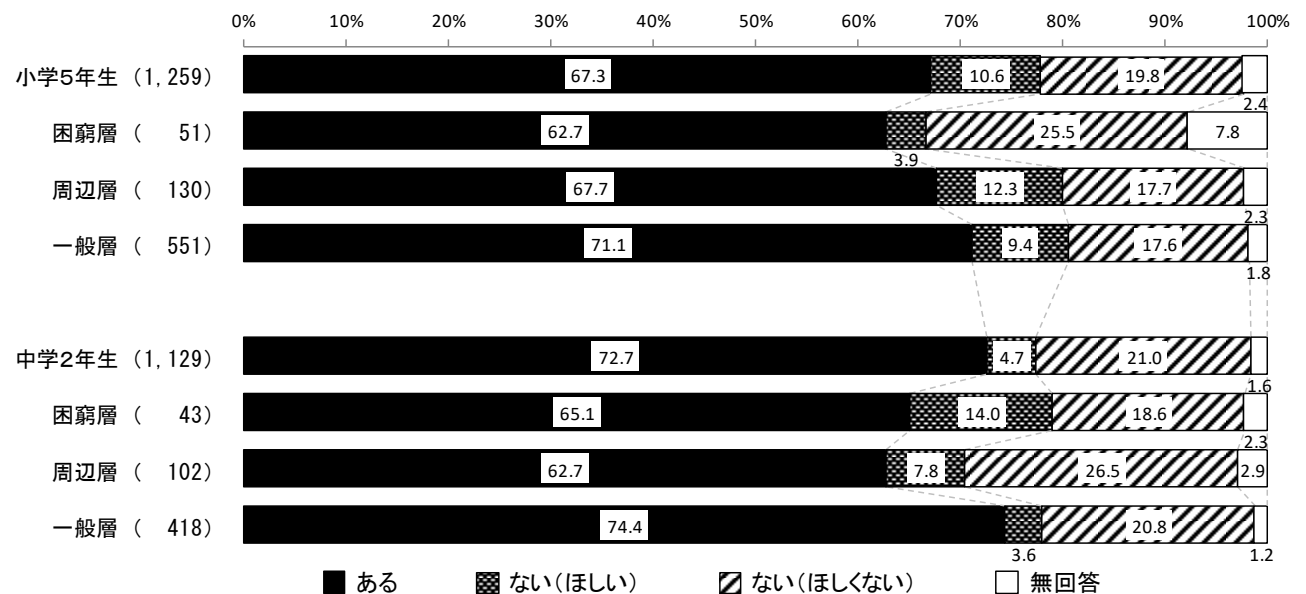
図表 2-3-2-1-7 使うことができるもの／ゲーム機：生活困難度別



⑧たいていの友だちが持っているおもちゃ

「たいていの友だちが持っているおもちゃ」について、「ない(ほしい)」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で3.9%、周辺層で12.3%、一般層で9.4%、中学2年生の困窮層で14.0%、周辺層で7.8%、一般層で3.6%となっています。

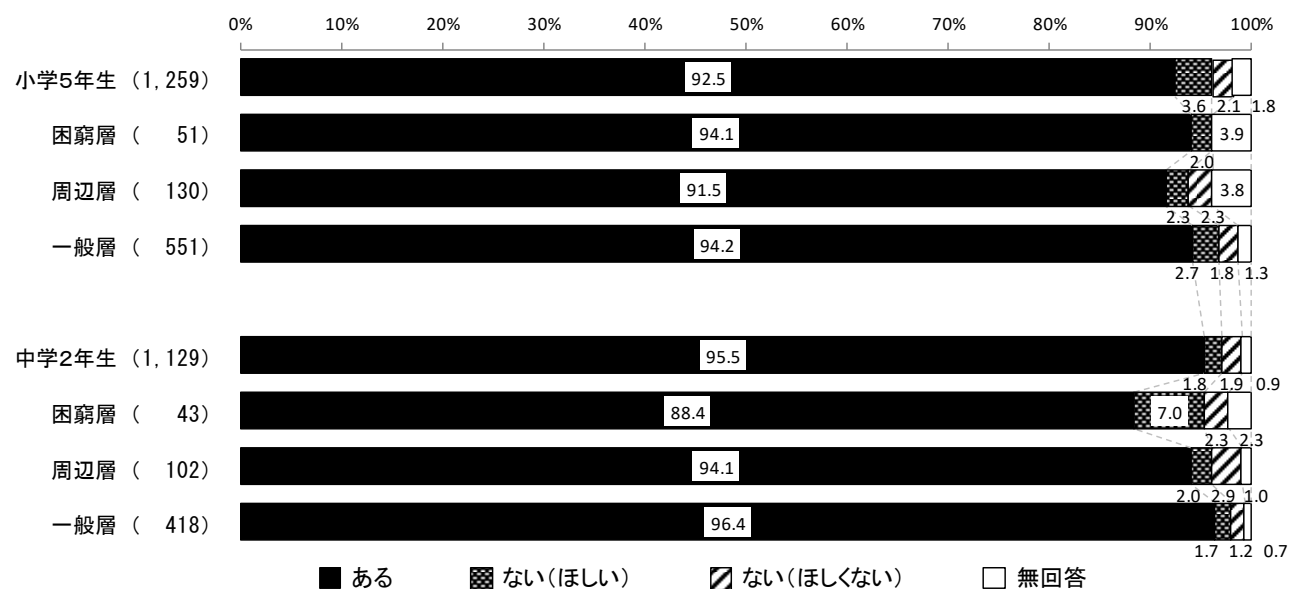
図表 2-3-2-1-8 使うことができるもの／たいていの友だちが持っているおもちゃ：生活困難度別



⑨自転車

「自転車」について、「ない（ほしい）」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で2.0%、周辺層で2.3%、一般層で2.7%、中学2年生の困窮層で7.0%、周辺層で2.0%、一般層で1.7%となっています。

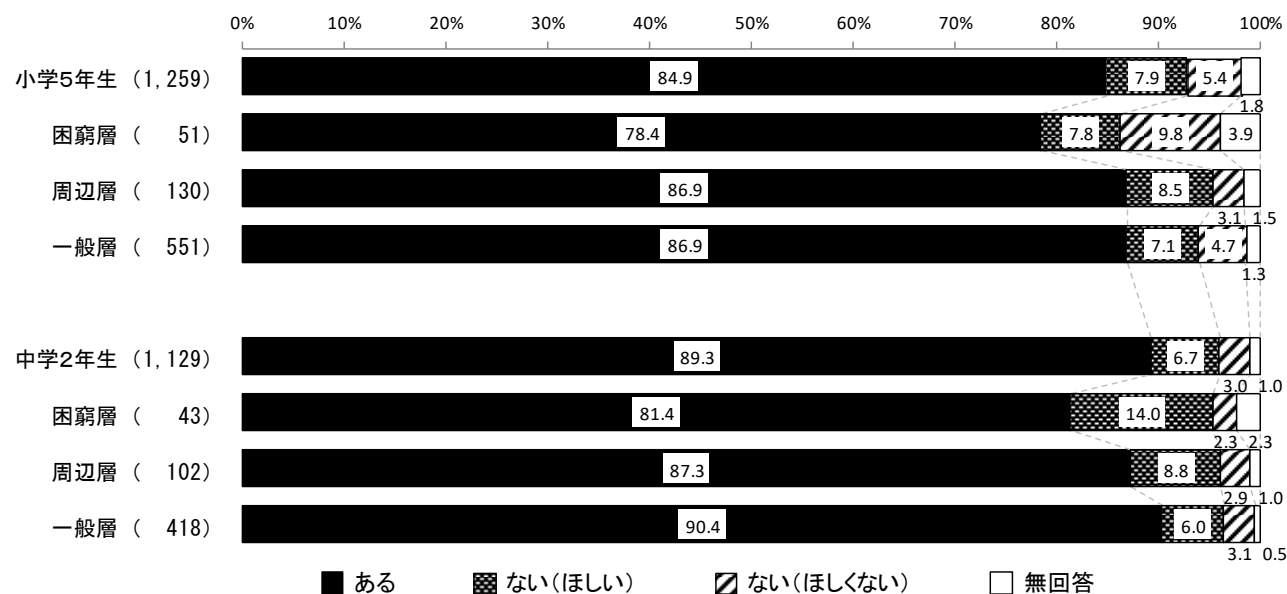
図表 2-3-2-1-9 使うことができるもの／自転車：生活困難度別



⑩おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うお小遣い

「おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うお小遣い」について、「ない（ほしい）」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で7.8%、周辺層で8.5%、一般層で7.1%、中学2年生の困窮層で14.0%、周辺層で8.8%、一般層で6.0%となっています。

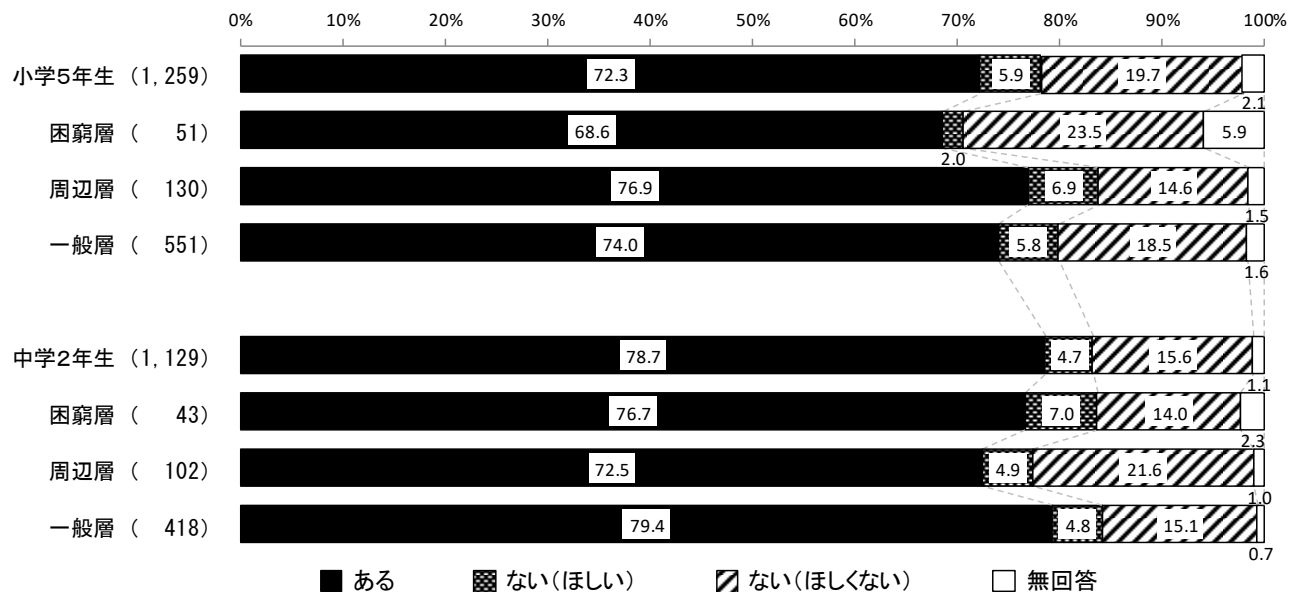
図表 2-3-2-1-10 使うことができるもの／おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うお小遣い：生活困難度別



⑪友だちが着ているのと同じような服

「友だちが着ているのと同じような服」について、「ない（ほしい）」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で2.0%、周辺層で6.9%、一般層で5.8%、中学2年生の困窮層で7.0%、周辺層で4.9%、一般層で4.8%となっています。

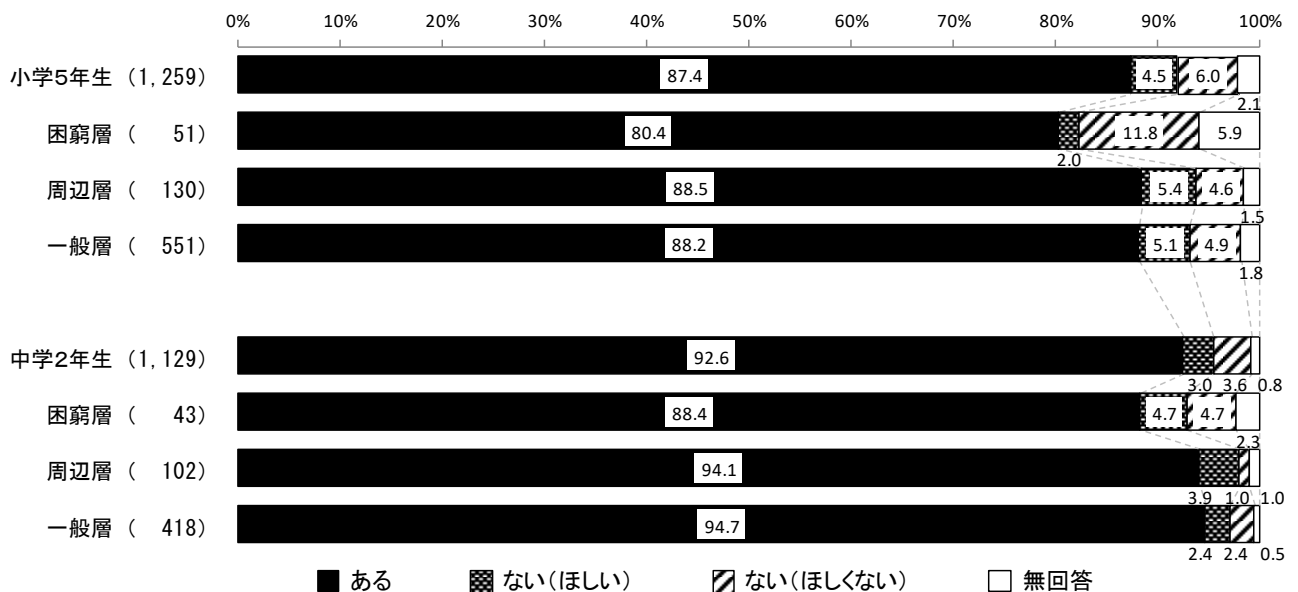
図表 2-3-2-1-11 使うことができるもの／友だちが着ているのと同じような服：生活困難度別



⑫2足以上のサイズのあった靴

「2足以上のサイズのあった靴」について、「ない（ほしい）」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で2.0%、周辺層で5.4%、一般層で5.1%、中学2年生の困窮層で4.7%、周辺層で3.9%、一般層で2.4%となっています。

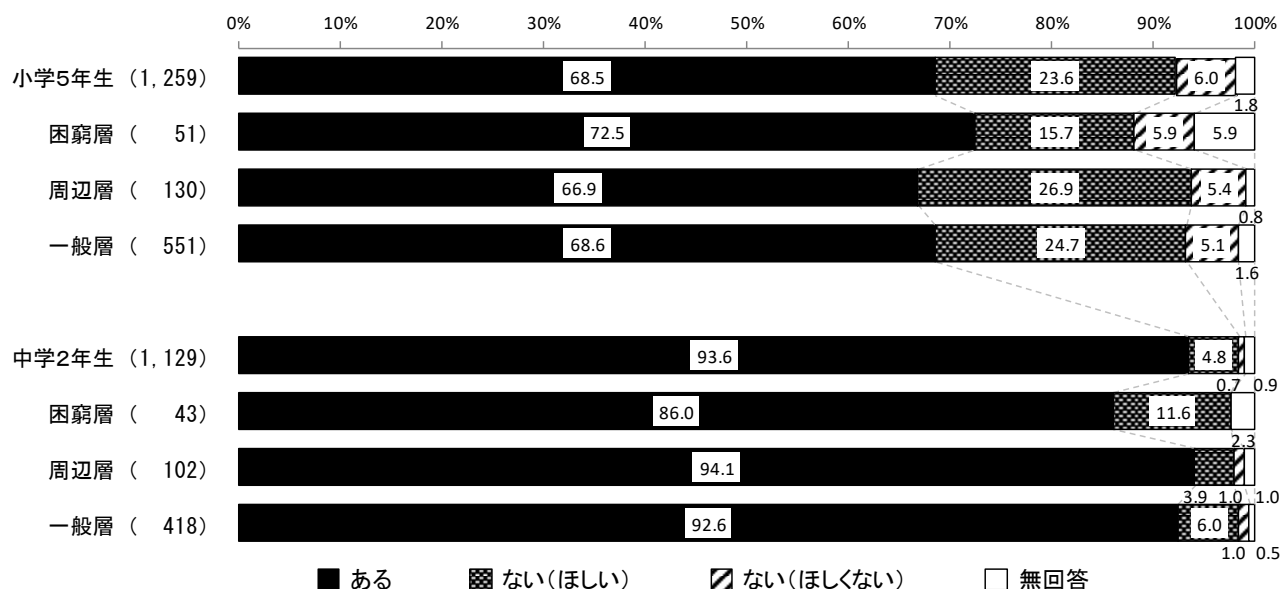
図表 2-3-2-1-12 使うことができるもの／2足以上のサイズのあった靴：生活困難度別



⑬携帯電話、スマートフォン、タブレット端末

「携帯電話、スマートフォン、タブレット端末」について、「ない（ほしい）」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で15.7%、周辺層で26.9%、一般層で24.7%、中学2年生の困窮層で11.6%、周辺層で3.9%、一般層で6.0%となっています。

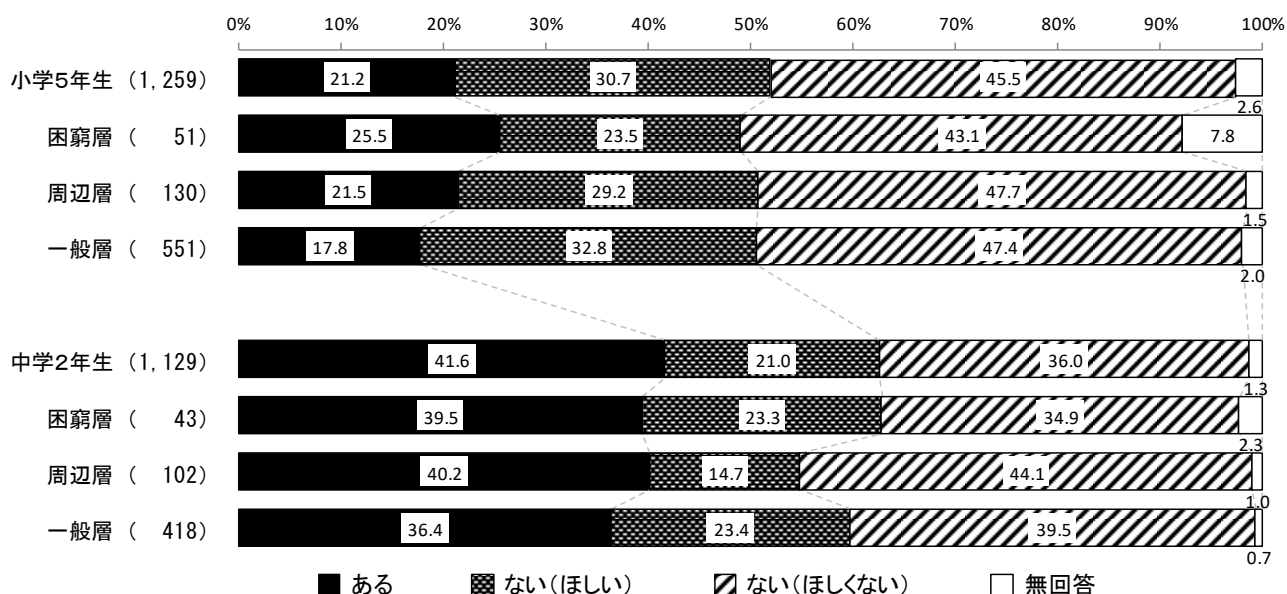
図表 2-3-2-1-13 使うことができるもの／携帯電話、スマートフォン、タブレット端末
：生活困難度別



⑭携帯音楽プレーヤー

「携帯音楽プレーヤー」について、「ない（ほしい）」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で23.5%、周辺層で29.2%、一般層で32.8%、中学2年生の困窮層で23.3%、周辺層で14.7%、一般層で23.4%となっています。

図表 2-3-2-1-14 使うことができるもの／携帯音楽プレーヤー：生活困難度別



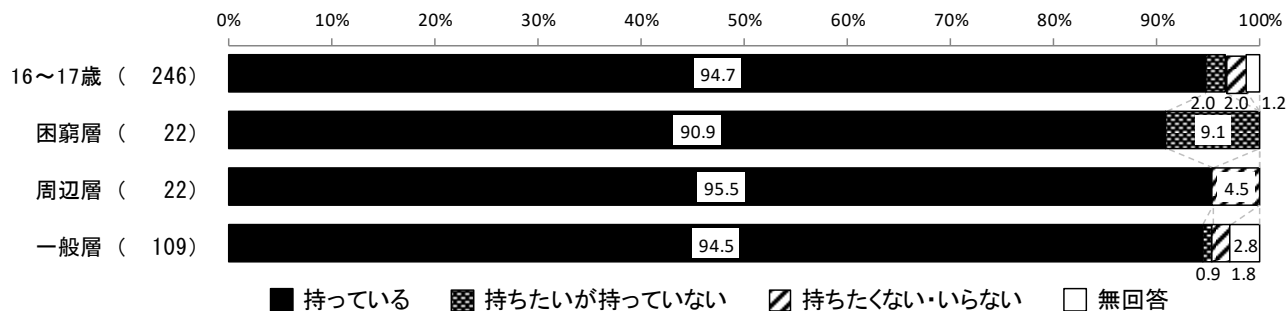
(2) 16～17歳の所有物の状況

①新しい（古着ではない）洋服

「新しい（古着ではない）洋服」について、「持っている」と回答した割合は、困窮層で 90.9%、周辺層で 95.5%、一般層で 94.5%となっています。

「持ちたいが持っていない」をみると、困窮層で 9.1%と割合が高くなっています。

図表 2-3-2-2-1 所有物の状況／新しい（古着ではない）洋服：生活困難度別

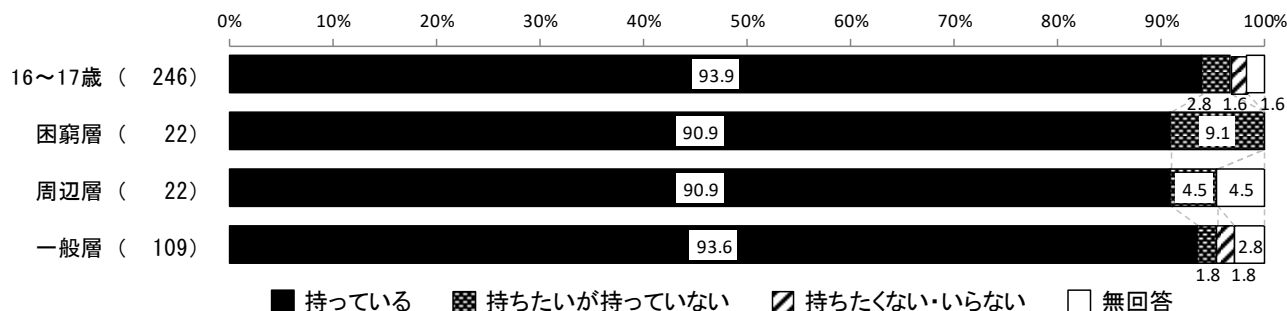


②最低2足以上のサイズのあった靴

「最低2足以上のサイズのあった靴」について、「持っている」と回答した割合は、困窮層で 90.9%、周辺層で 90.9%、一般層で 93.6%となっています。

「持ちたいが持っていない」をみると、困窮層で 9.1%と割合が高くなっています。

図表 2-3-2-2-2 所有物の状況／最低2足以上のサイズのあった靴：生活困難度別

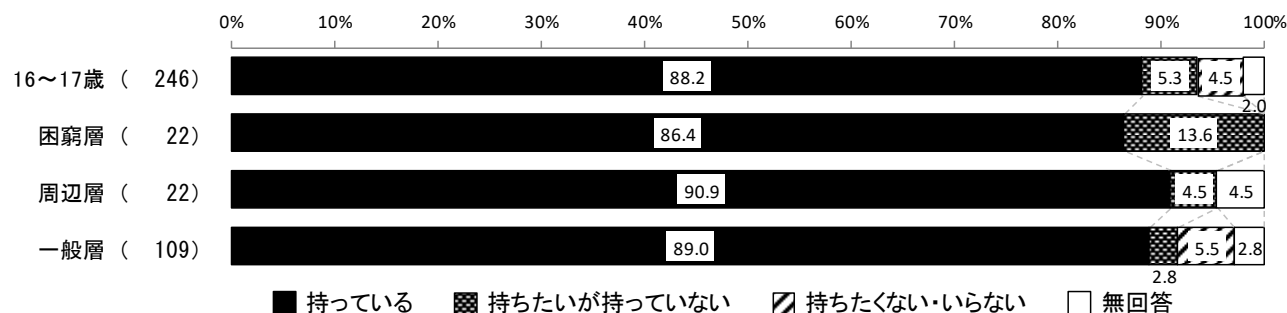


③冬用のダウンジャケット・ダウンコート

「冬用のダウンジャケット・ダウンコート」について、「持っている」と回答した割合は、困窮層で 86.4%、周辺層で 90.9%、一般層で 89.0%となっています。

「持ちたいが持っていない」をみると、困窮層で 13.6%と割合が高くなっています。

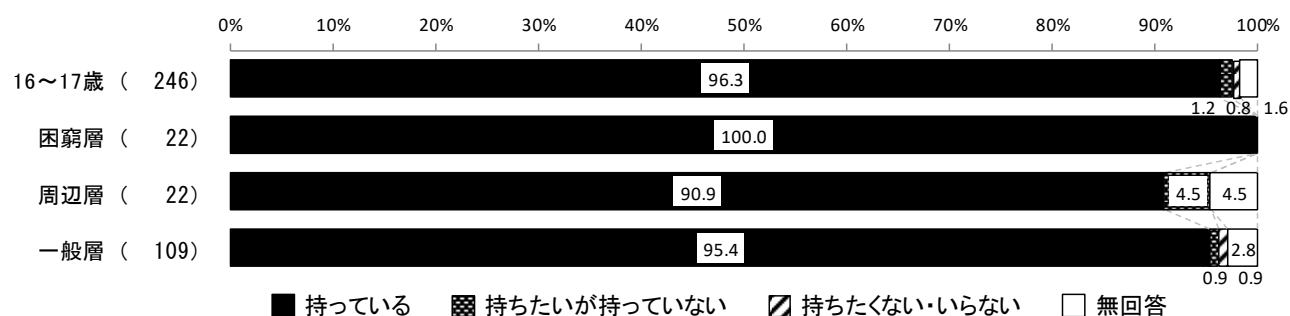
図表 2-3-2-2-3 所有物の状況／冬用のダウンジャケット・ダウンコート：生活困難度別



④自分専用のふとん、またはベッド

「自分専用のふとん、またはベッド」について、「持っている」と回答した割合は、困窮層で100.0%、周辺層で90.9%、一般層で95.4%となっています。

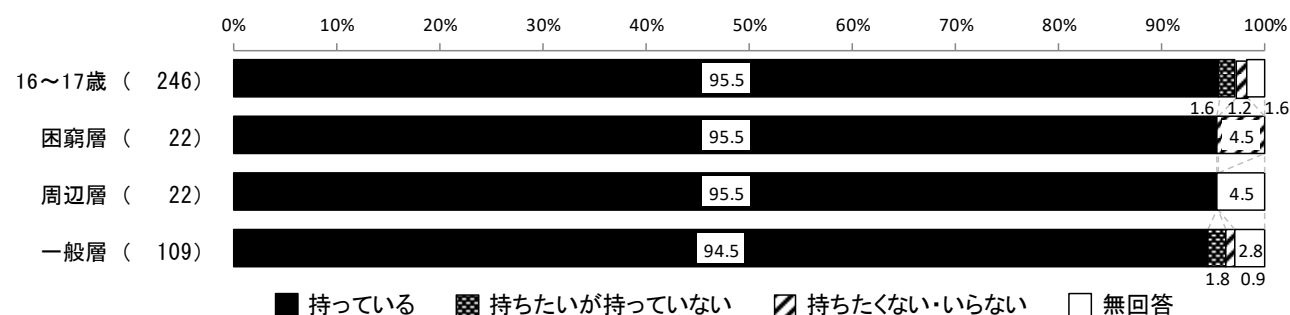
図表 2-3-2-2-4 所有物の状況／自分専用のふとん、またはベッド：生活困難度別



⑤家の中で勉強ができる場所

「家の中で勉強ができる場所」について、「持っている」と回答した割合は、困窮層で95.5%、周辺層で95.5%、一般層で94.5%となっています。

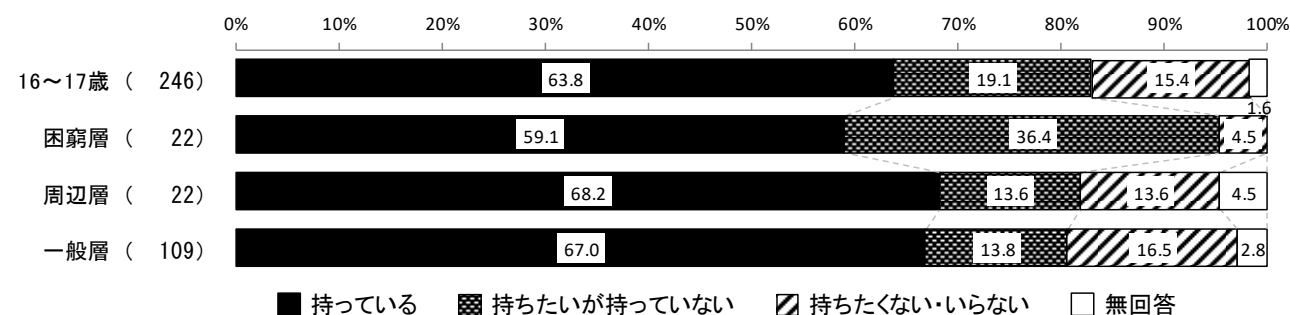
図表 2-3-2-2-5 所有物の状況／家の中で勉強ができる場所：生活困難度別



⑥インターネットにつながるパソコン

「インターネットにつながるパソコン」について、「持ちたいが持っていない」と回答した割合は、困窮層で36.4%、周辺層で13.6%、一般層で13.8%となっており、困窮層が最も高くなっています。

図表 2-3-2-2-6 所有物の状況／インターネットにつながるパソコン：生活困難度別

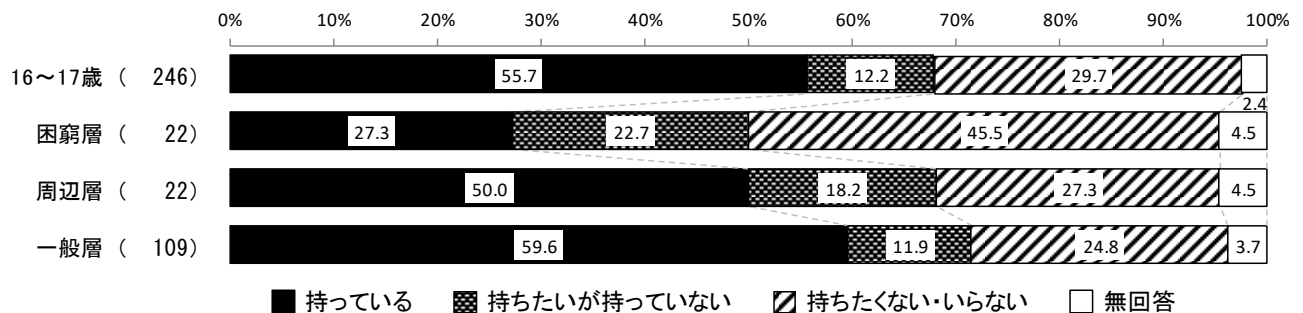


⑦電子辞書

「電子辞書」について、「持っている」と回答した割合は、困窮層で 27.3%、周辺層で 50.0%、一般層で 59.6%となっています。

「持ちたいが持っていない」をみると、困窮層で 22.7%と割合が高くなっています。

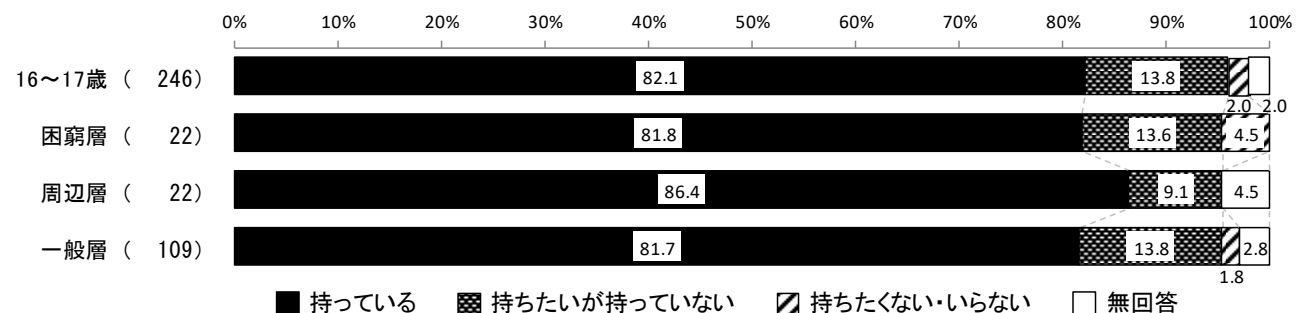
図表 2-3-2-2-7 所有物の状況／電子辞書：生活困難度別



⑧自分の部屋

「自分の部屋」について、「持っている」と回答した割合は、困窮層で 81.8%、周辺層で 86.4%、一般層で 81.7%となっています。

図表 2-3-2-2-8 所有物の状況／自分の部屋：生活困難度別

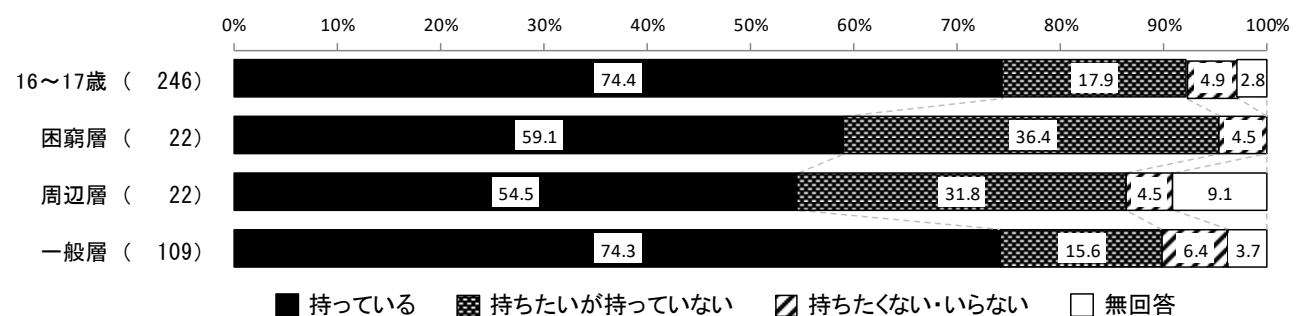


⑨月 5,000 円ほどの、自分で自由に使えるお金

「月 5,000 円ほどの、自分で自由に使えるお金」について、「持っている」と回答した割合は、困窮層で 59.1%、周辺層で 54.5%、一般層で 74.3%となっています。

「持ちたいが持っていない」をみると、困窮層で 36.4%と割合が高くなっています。

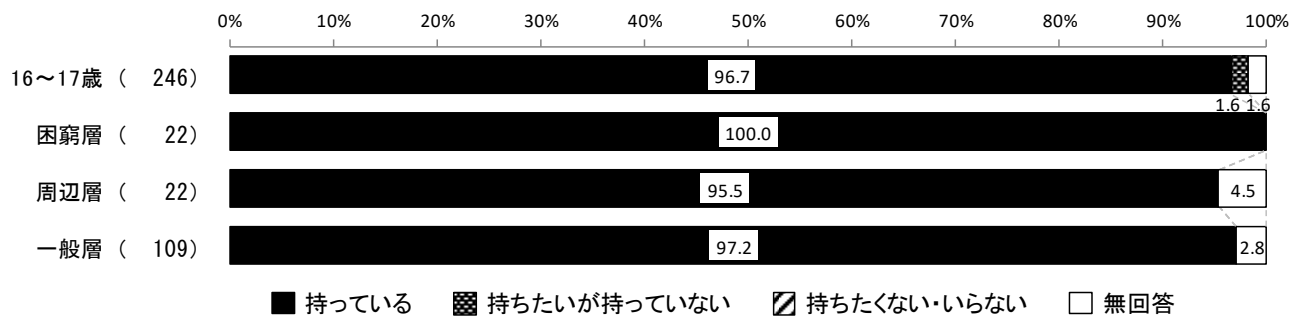
図表 2-3-2-2-9 所有物の状況／月 5,000 円ほどの、自分で自由に使えるお金：生活困難度別



⑩携帯電話、スマートフォン、タブレット端末

「携帯電話、スマートフォン、タブレット端末」について、「持っている」と回答した割合は、困窮層で100.0%、周辺層で95.5%、一般層で97.2%となっています。

図表 2-3-2-2-10 所有物の状況／携帯電話、スマートフォン、タブレット端末：生活困難度別

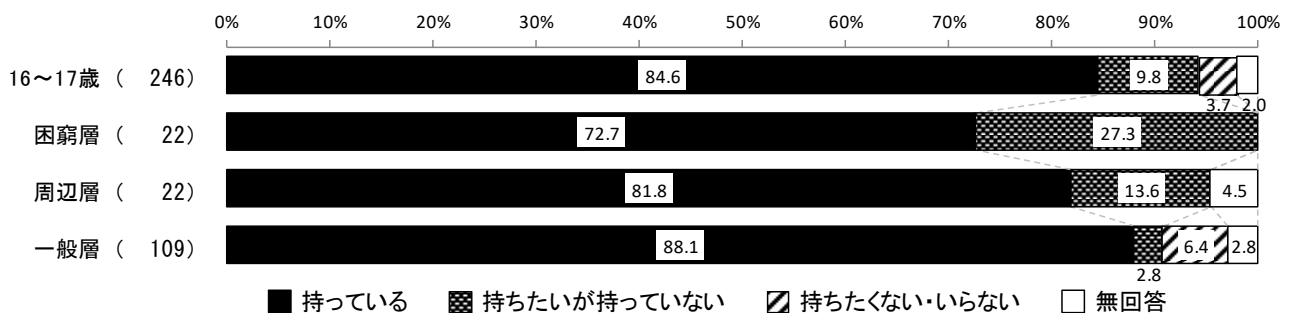


⑪友だちと遊びに出かけるお金

「友だちと遊びに出かけるお金」について、「持っている」と回答した割合は、困窮層で72.7%、周辺層で81.8%、一般層で88.1%となっています。

「持ちたいが持っていない」をみると、困窮層で27.3%と割合が高くなっています。

図表 2-3-2-2-11 所有物の状況／友だちと遊びに出かけるお金：生活困難度別

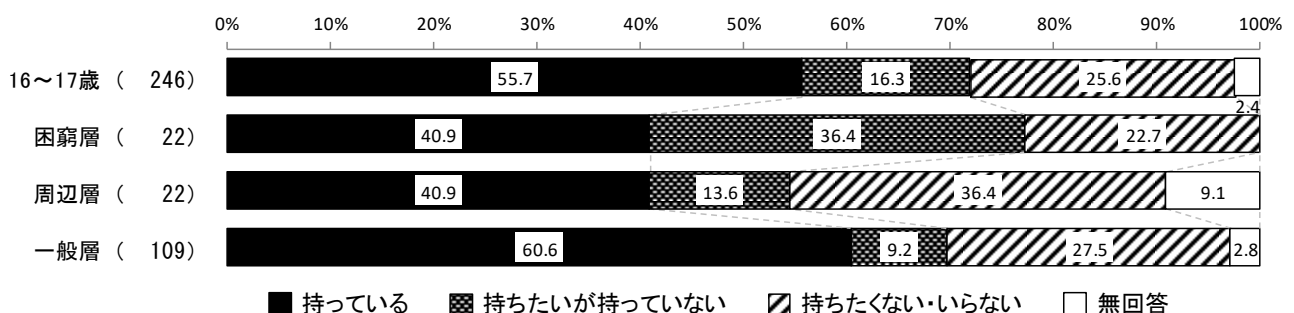


⑫自分に投資するお金（自分のためになる本、職業訓練コースなど）

「自分に投資するお金」について、「持っている」と回答した割合は、困窮層で40.9%、周辺層で40.9%、一般層で60.6%となっています。

「持ちたいが持っていない」をみると、困窮層で36.4%と割合が高くなっています。

図表 2-3-2-2-12 所有物の状況／自分に投資するお金（自分のためになる本、職業訓練コースなど）：生活困難度別

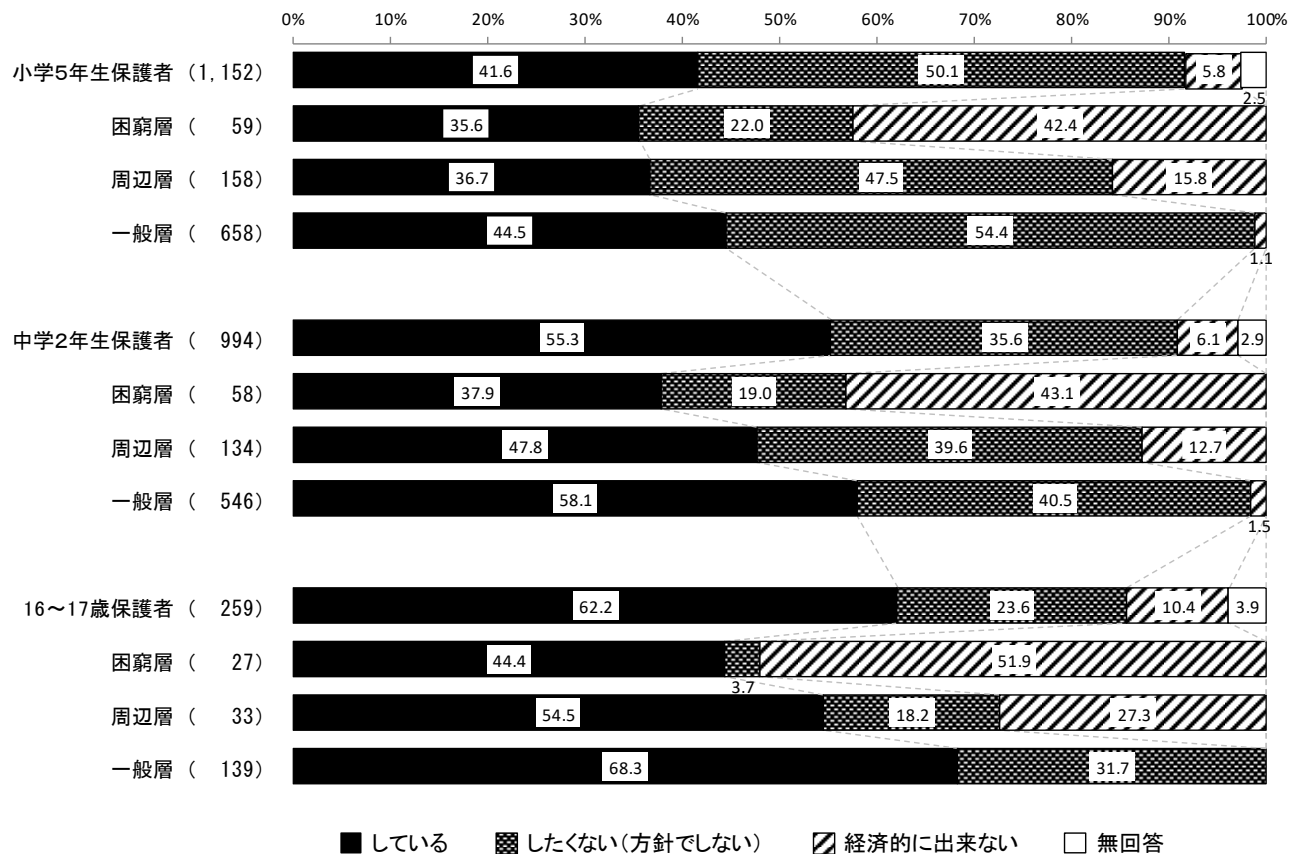


(3) 子どもへの支出

①毎月お小遣いを渡す

「毎月お小遣いを渡す」について、「経済的にできない」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で42.4%、周辺層で15.8%、一般層で1.1%、中学2年生の困窮層で43.1%、周辺層で12.7%、一般層で1.5%、16～17歳の困窮層で51.9%、周辺層で27.3%、一般層で0.0%となっています。

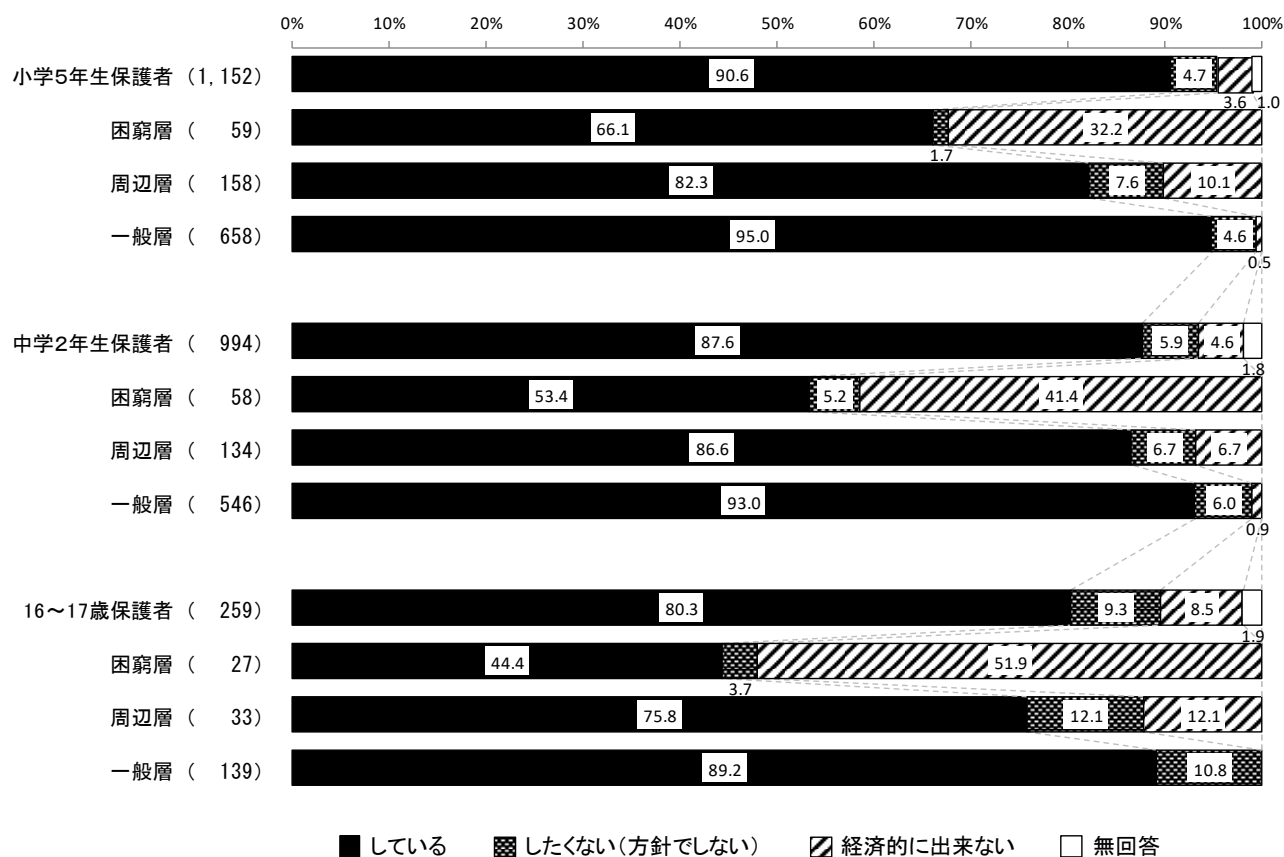
図表 2-3-2-3-1 子どもにしていること／毎月お小遣いを渡す：生活困難度別



②毎年新しい洋服・靴を買う

「毎年新しい洋服・靴を買う」について、「経済的にできない」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 32.2%、周辺層で 10.1%、一般層で 0.5%、中学2年生の困窮層で 41.4%、周辺層で 6.7%、一般層で 0.9%、16～17歳の困窮層で 51.9%、周辺層で 12.1%、一般層で 0.0%となっています。

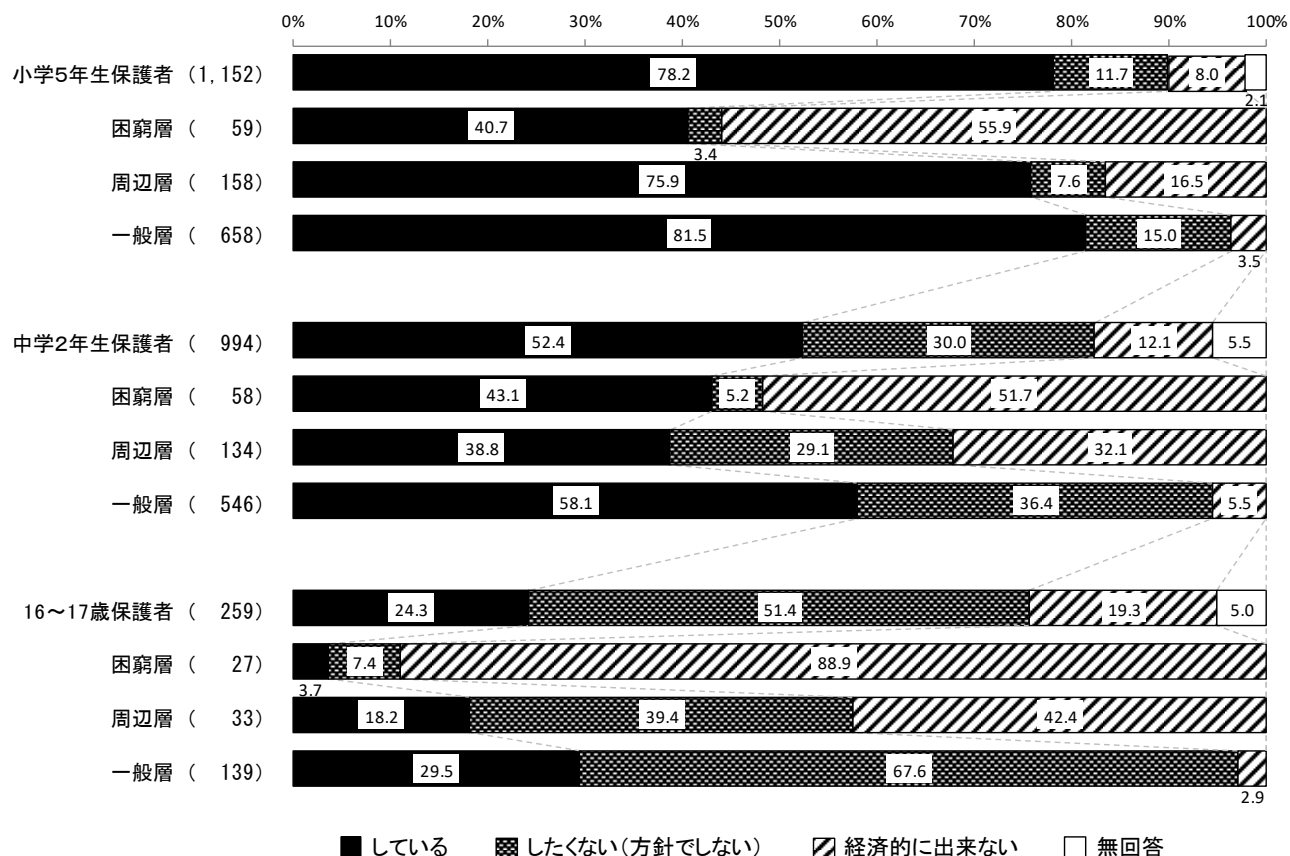
図表 2-3-2-3-2 子どもにしていること／毎年新しい洋服・靴を買う：生活困難度別



③習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる

「習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる」について、「経済的にできない」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 55.9%、周辺層で 16.5%、一般層で 3.5%、中学2年生の困窮層で 51.7%、周辺層で 32.1%、一般層で 5.5%、16～17歳の困窮層で 88.9%、周辺層で 42.4%、一般層で 2.9%となっています。

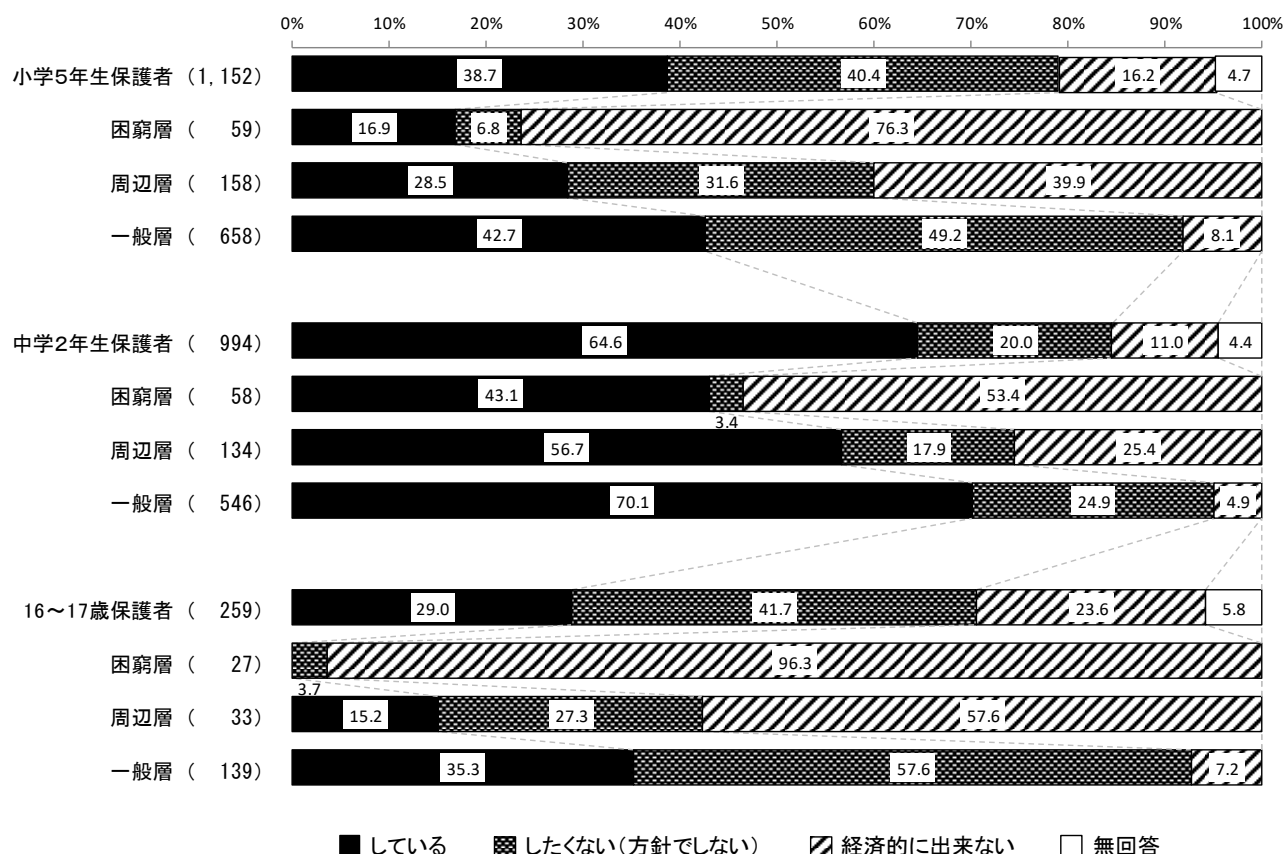
図表 2-3-2-3-3 子どもにしていること／習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる
：生活困難度別



④学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）

「学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）」について、「経済的にできない」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 76.3%、周辺層で 39.9%、一般層で 8.1%、中学2年生の困窮層で 53.4%、周辺層で 25.4%、一般層で 4.9%、16～17歳の困窮層で 96.3%、周辺層で 57.6%、一般層で 7.2%となっています。

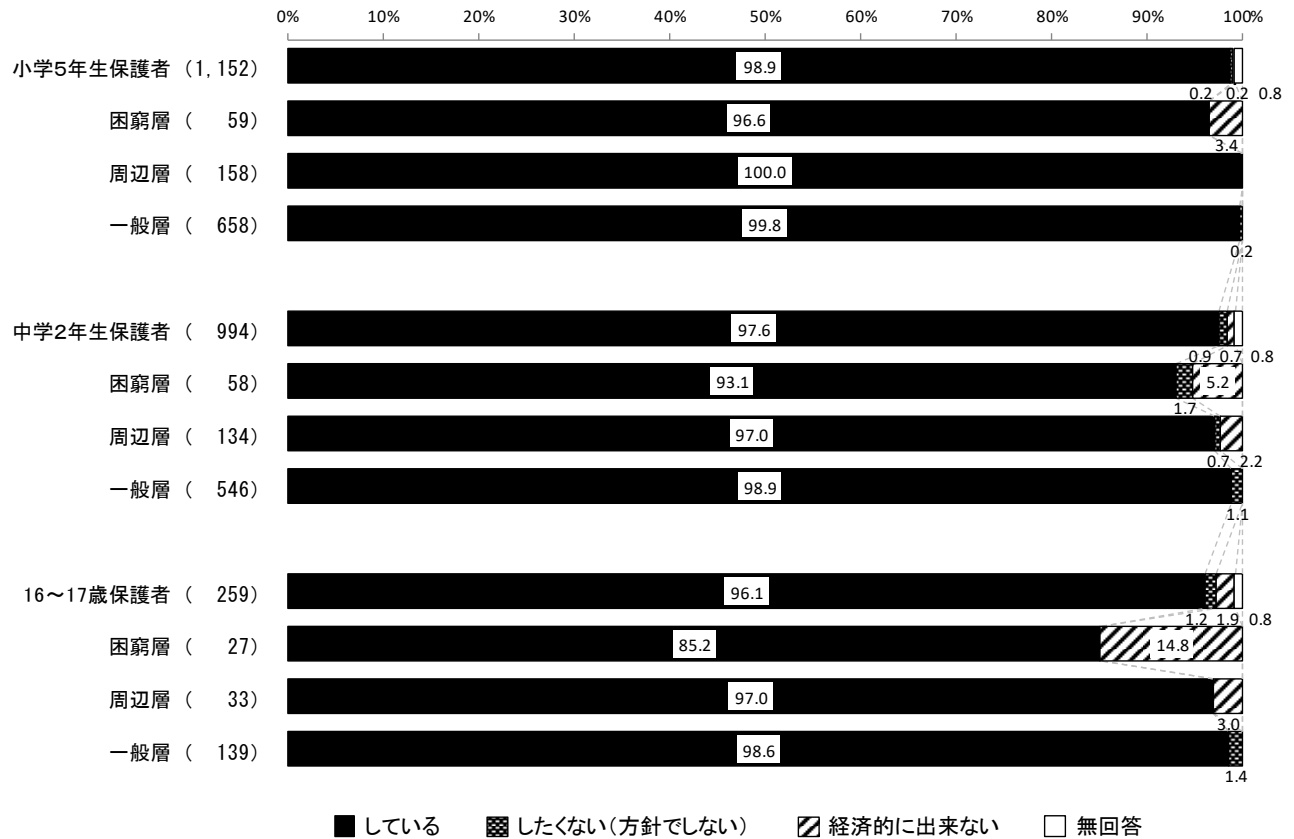
図表 2-3-2-3-4 子どもにしていること／学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）
：生活困難度別



⑤お誕生日のお祝いをする

「お誕生日のお祝いをする」について、「している」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で96.6%、周辺層で100.0%、一般層で99.8%、中学2年生の困窮層で93.1%、周辺層で97.0%、一般層で98.9%、16～17歳の困窮層で85.2%、周辺層で97.0%、一般層で98.6%となっています。

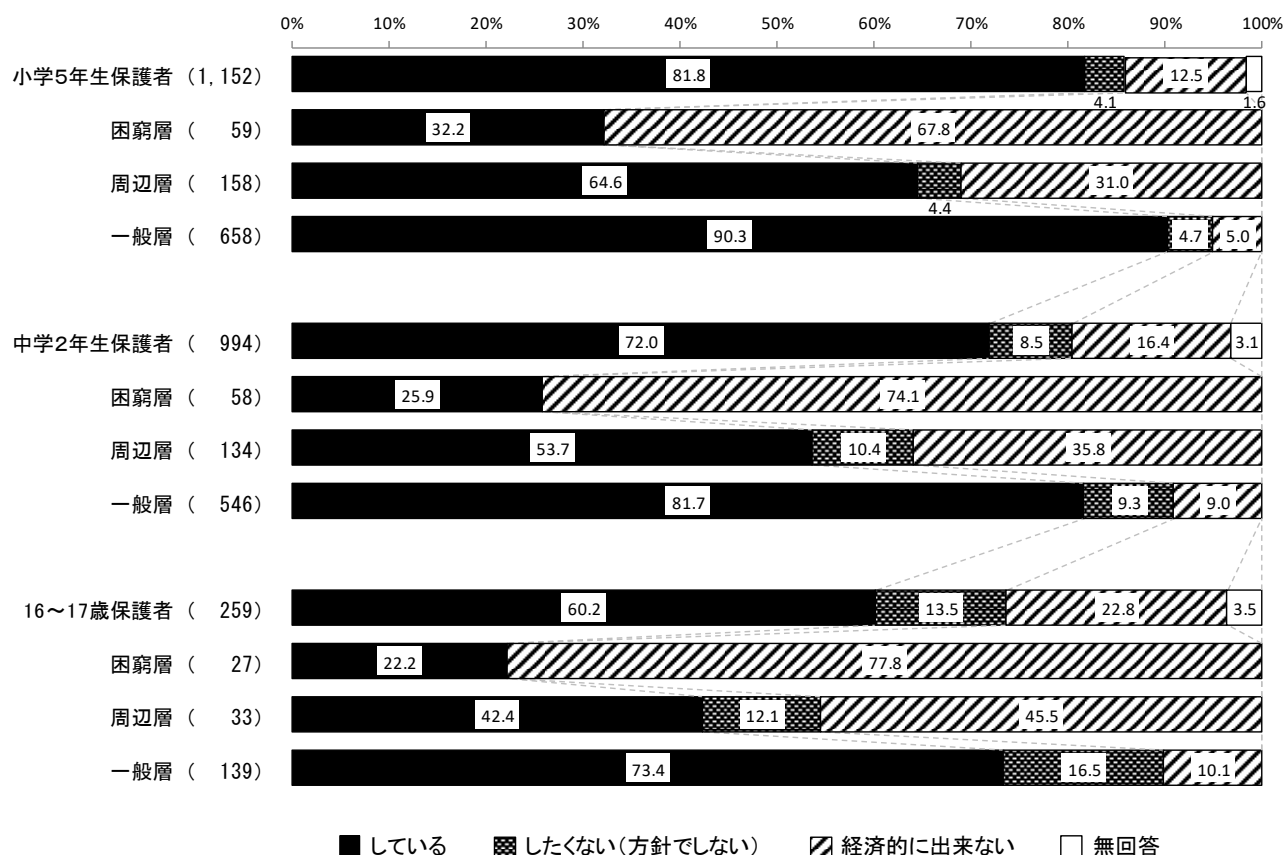
図表 2-3-2-3-5 子どもにしていること／お誕生日のお祝いをする：生活困難度別



⑥ 1年に1回くらい家族旅行に行く

「1年に1回くらい家族旅行に行く」について、「経済的にできない」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で67.8%、周辺層で31.0%、一般層で5.0%、中学2年生の困窮層で74.1%、周辺層で35.8%、一般層で9.0%、16～17歳の困窮層で77.8%、周辺層で45.5%、一般層で10.1%となっています。

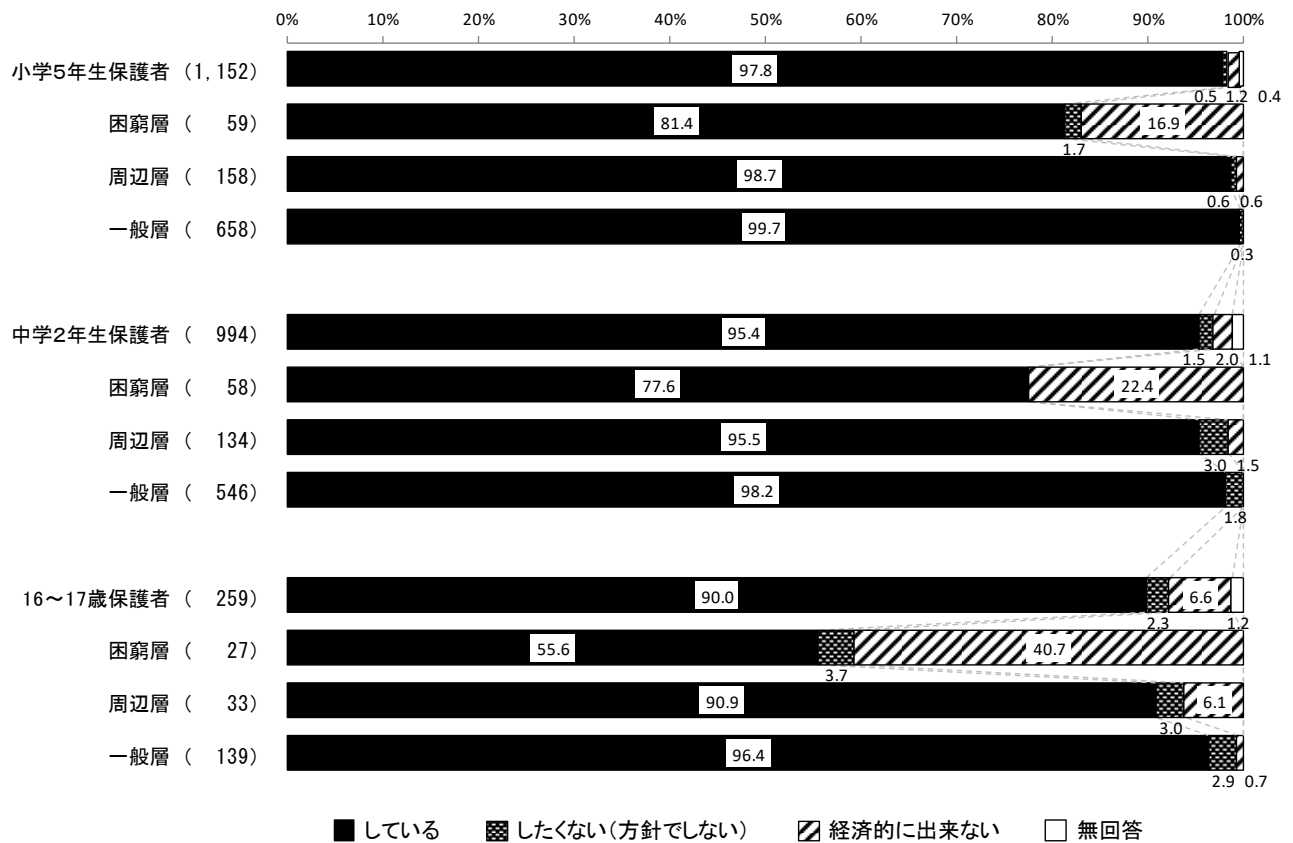
図表 2-3-2-3-6 子どもにしていること／1年に1回くらい家族旅行に行く：生活困難度別



⑦クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」について、「経済的にできない」と回答した割合は、いずれの年齢層でも困窮層で大きく上がっており、小学5年生の困窮層で16.9%、中学2年生の困窮層で22.4%、16～17歳の困窮層で40.7%となっています。

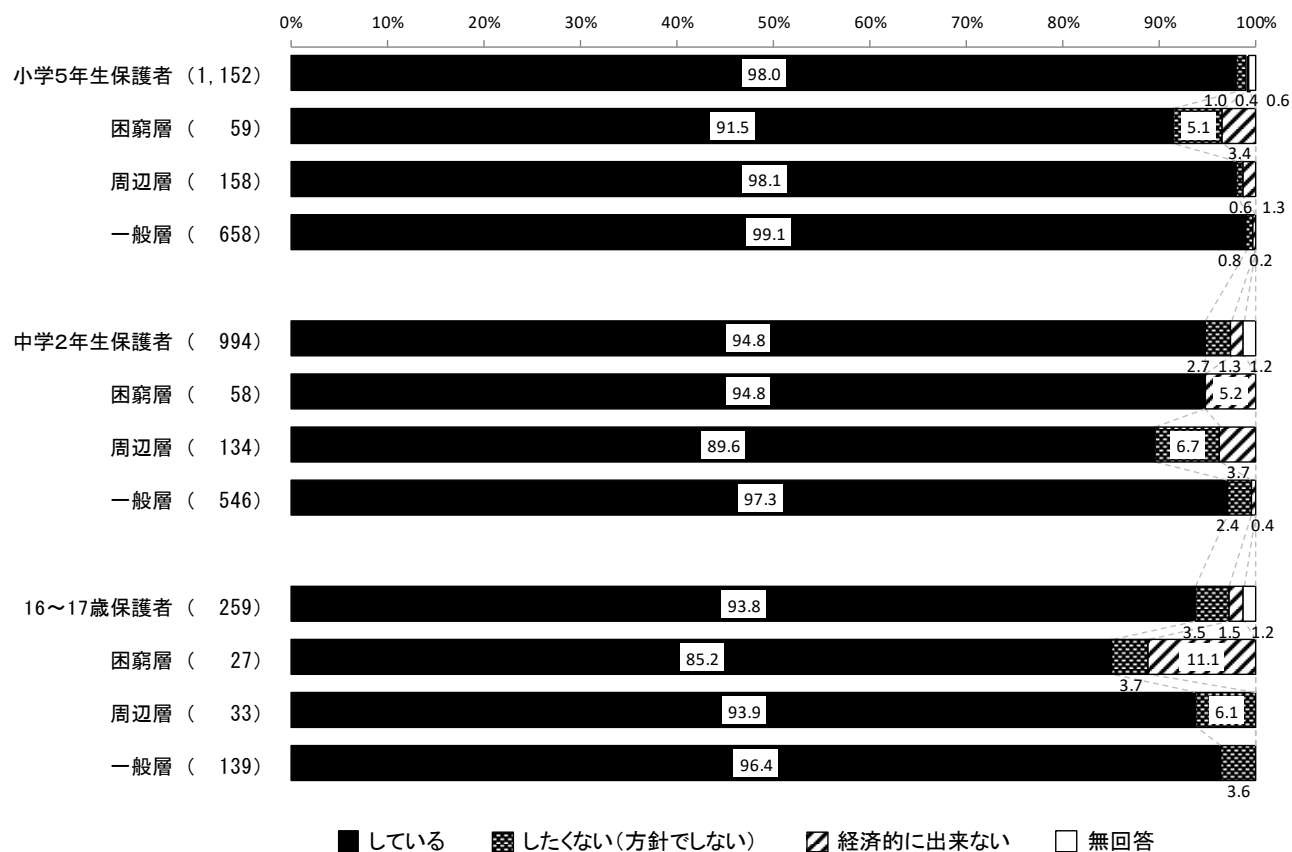
図表 2-3-2-3-7 子どもにしていること／クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる
：生活困難度別



⑧子どもの学校行事などへ親が参加する

「子どもの学校行事などへ親が参加する」について、「している」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 91.5%、周辺層で 98.1%、一般層で 99.1%、中学2年生の困窮層で 94.8%、周辺層で 89.6%、一般層で 97.3%、16～17歳の困窮層で 85.2%、周辺層で 93.9%、一般層で 96.4%となっています。

図表 2-3-2-3-8 子どもにしていること／子どもの学校行事などへ親が参加する：生活困難度別

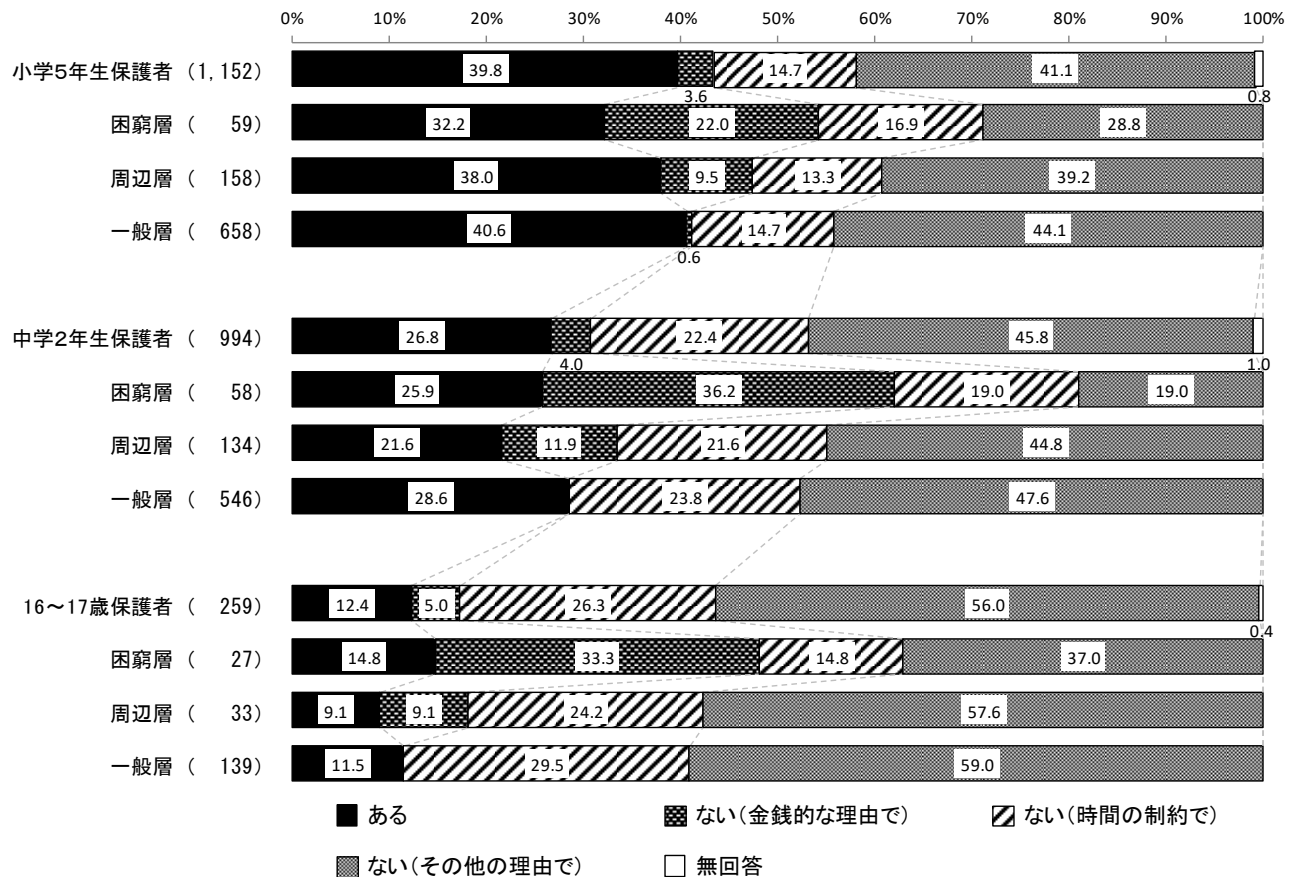


(4) 子どもとの体験

①海水浴に行く

「海水浴に行く」について、「ない(金銭的な理由で)」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で22.0%、周辺層で9.5%、一般層で0.6%、中学2年生の困窮層で36.2%、周辺層で11.9%、一般層で0.0%、16～17歳の困窮層で33.3%、周辺層で9.1%、一般層で0.0%となっています。

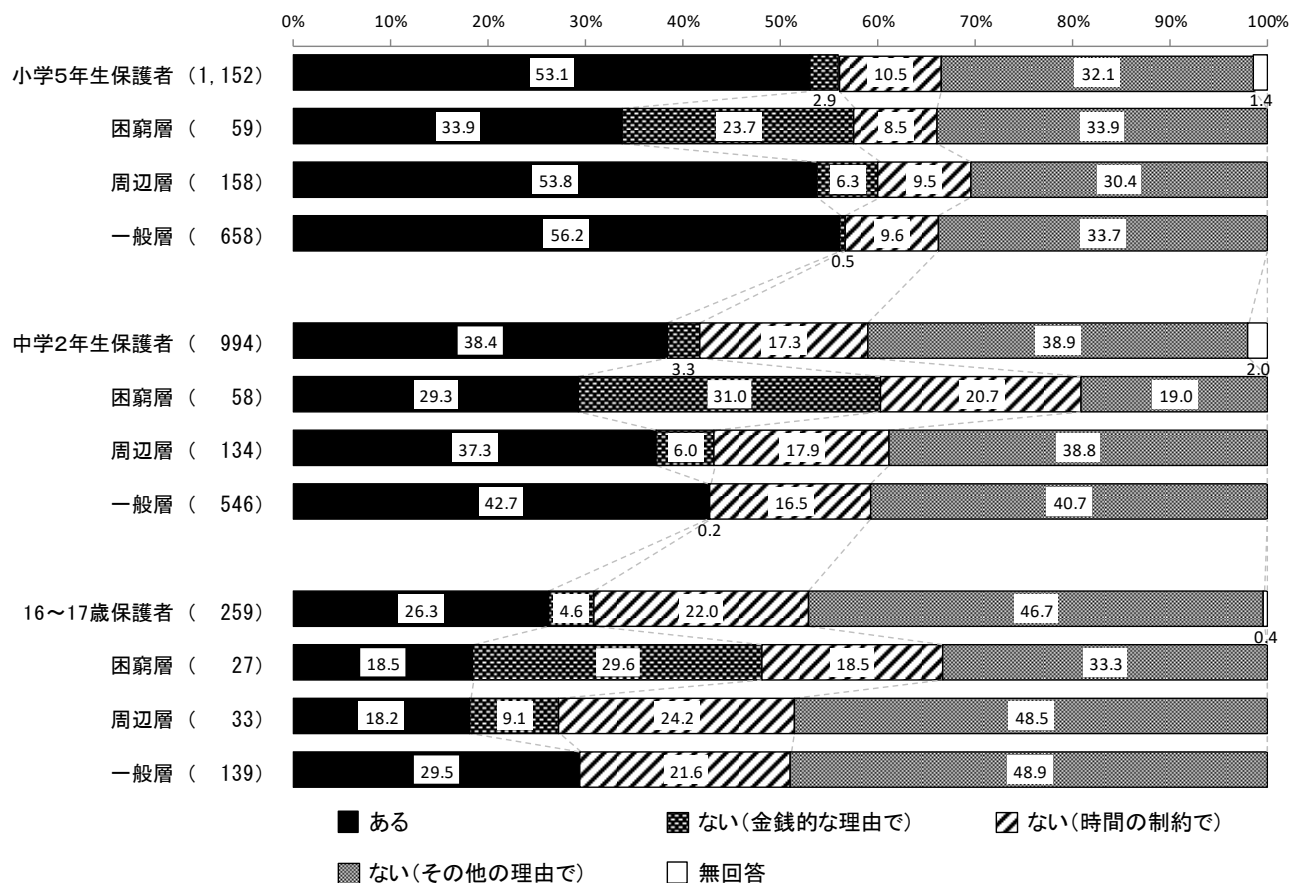
図表 2-3-2-4-1 子どもとの体験／海水浴に行く：生活困難度別



②博物館・科学館・美術館などに行く

「博物館・科学館・美術館などに行く」について、「ない(金銭的な理由で)」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で23.7%、周辺層で6.3%、一般層で0.5%、中学2年生の困窮層で31.0%、周辺層で6.0%、一般層で0.2%、16～17歳の困窮層で29.6%、周辺層で9.1%、一般層で0.0%となっています。

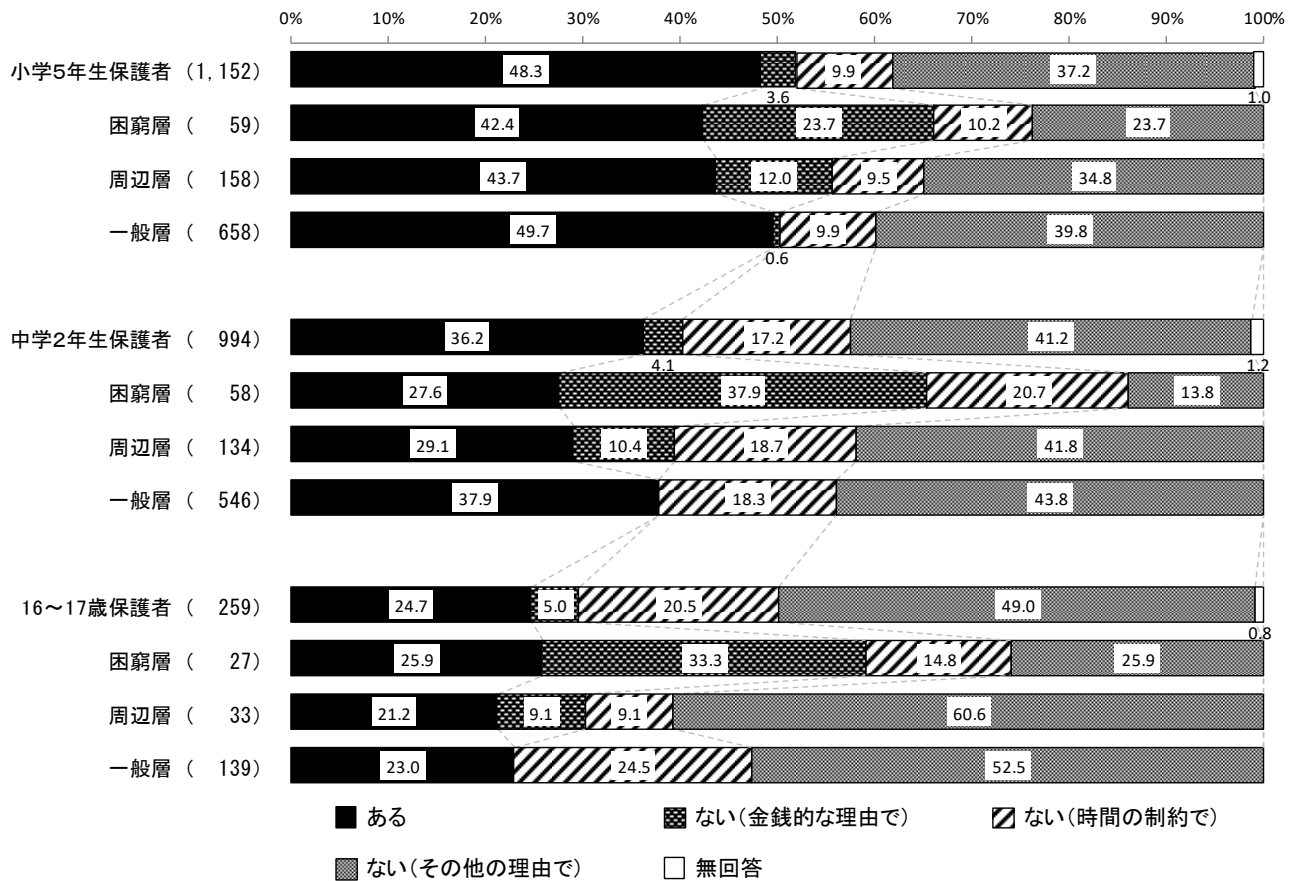
図表 2-3-2-4-2 子どもとの体験／博物館・科学館・美術館などに行く：生活困難度別



③キャンプやバーベキューに行く

「キャンプやバーベキューに行く」について、「ない(金銭的な理由で)」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で23.7%、周辺層で12.0%、一般層で0.6%、中学2年生の困窮層で37.9%、周辺層で10.4%、一般層で0.0%、16～17歳の困窮層で33.3%、周辺層で9.1%、一般層で0.0%となっています。

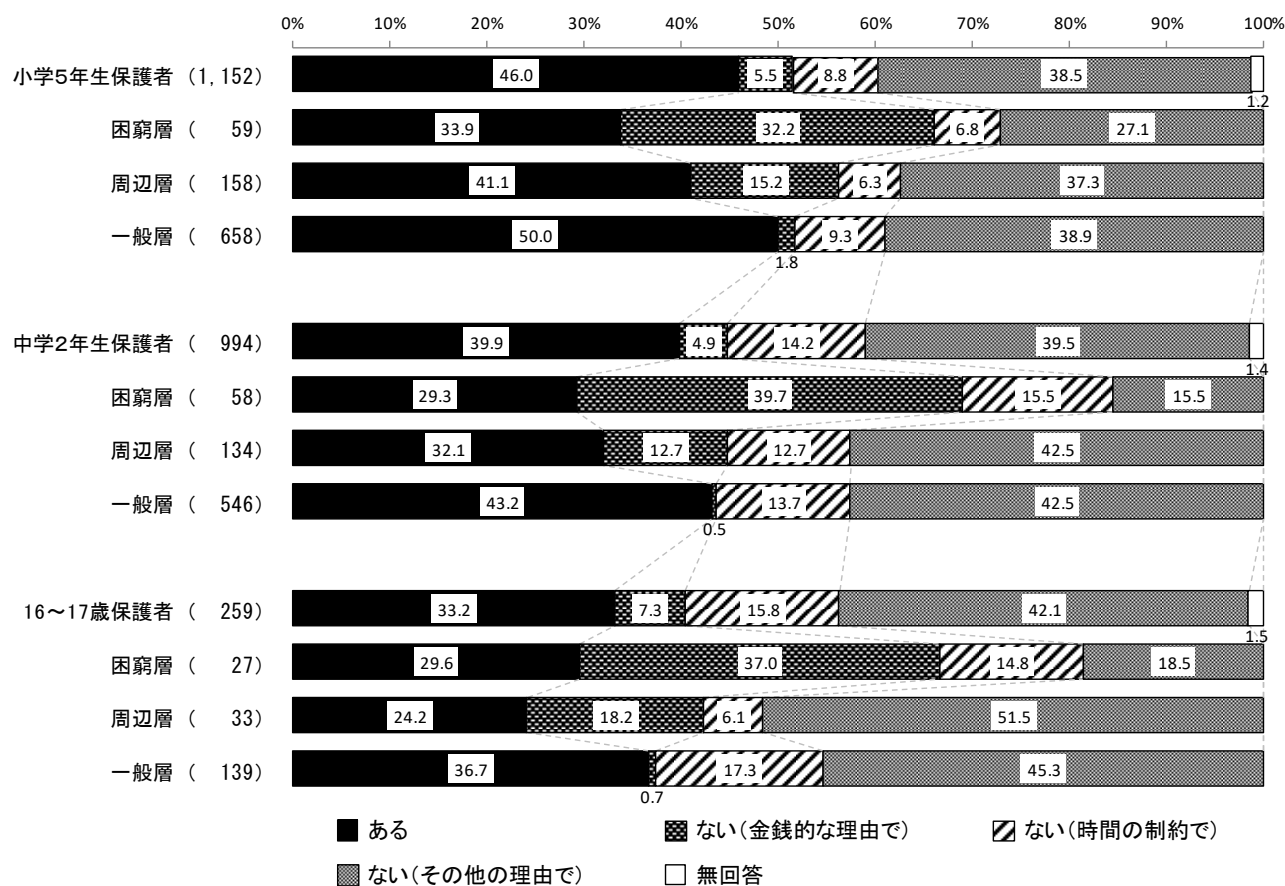
図表 2-3-2-4-3 子どもとの体験／キャンプやバーベキューに行く：生活困難度別



④スポーツ観戦や劇場に行く

「スポーツ観戦や劇場に行く」について、「ない(金銭的な理由で)」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 32.2%、周辺層で 15.2%、一般層で 1.8%、中学2年生の困窮層で 39.7%、周辺層で 12.7%、一般層で 0.5%、16～17歳の困窮層で 37.0%、周辺層で 18.2%、一般層で 0.7%となっています。

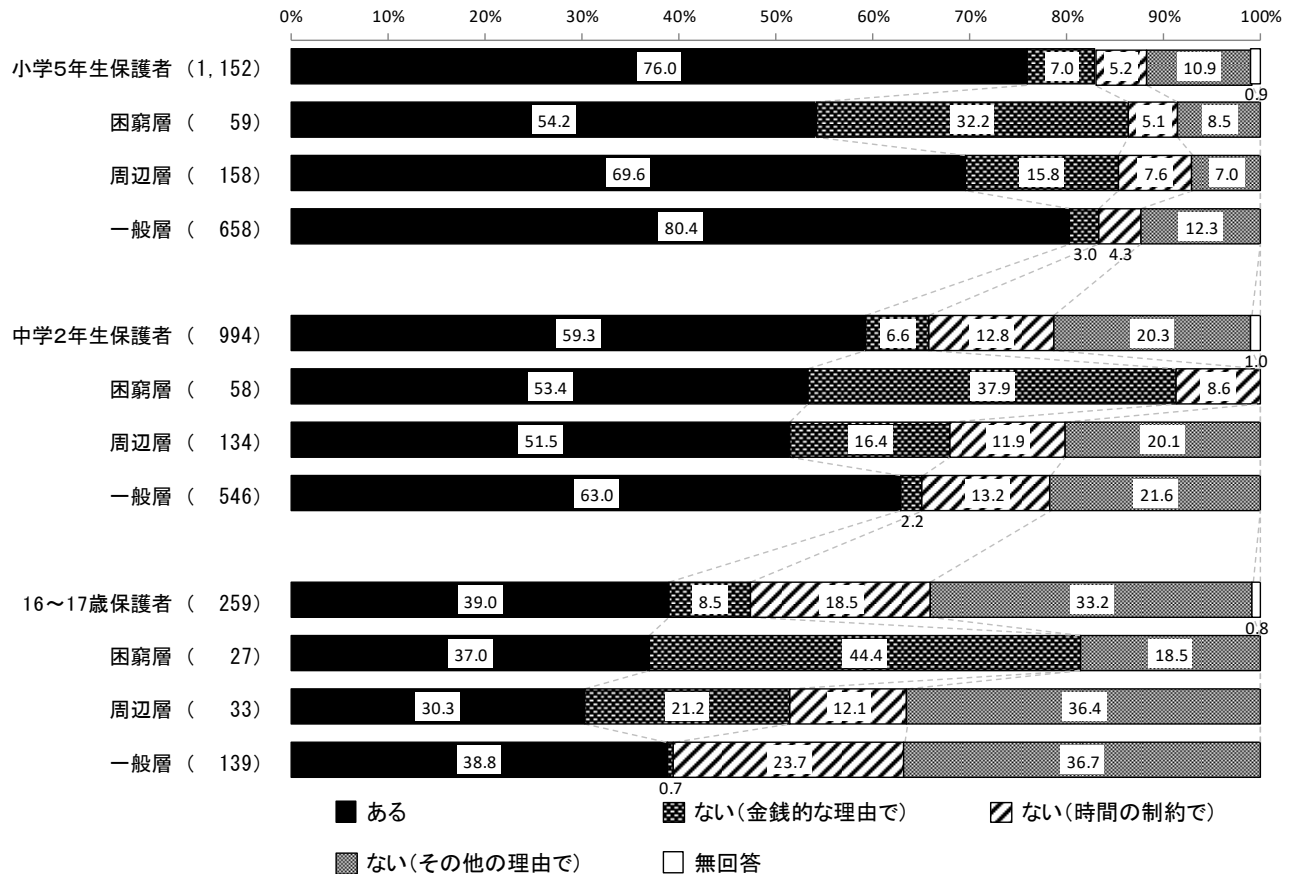
図表 2-3-2-4-4 子どもとの体験／スポーツ観戦や劇場に行く：生活困難度別



⑤遊園地やテーマパークに行く

「遊園地やテーマパークに行く」について、「ない(金銭的な理由で)」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で32.2%、周辺層で15.8%、一般層で3.0%、中学2年生の困窮層で37.9%、周辺層で16.4%、一般層で2.2%、16～17歳の困窮層で44.4%、周辺層で21.2%、一般層で0.7%となっています。

図表 2-3-2-4-5 子どもとの体験／遊園地やテーマパークに行く：生活困難度別



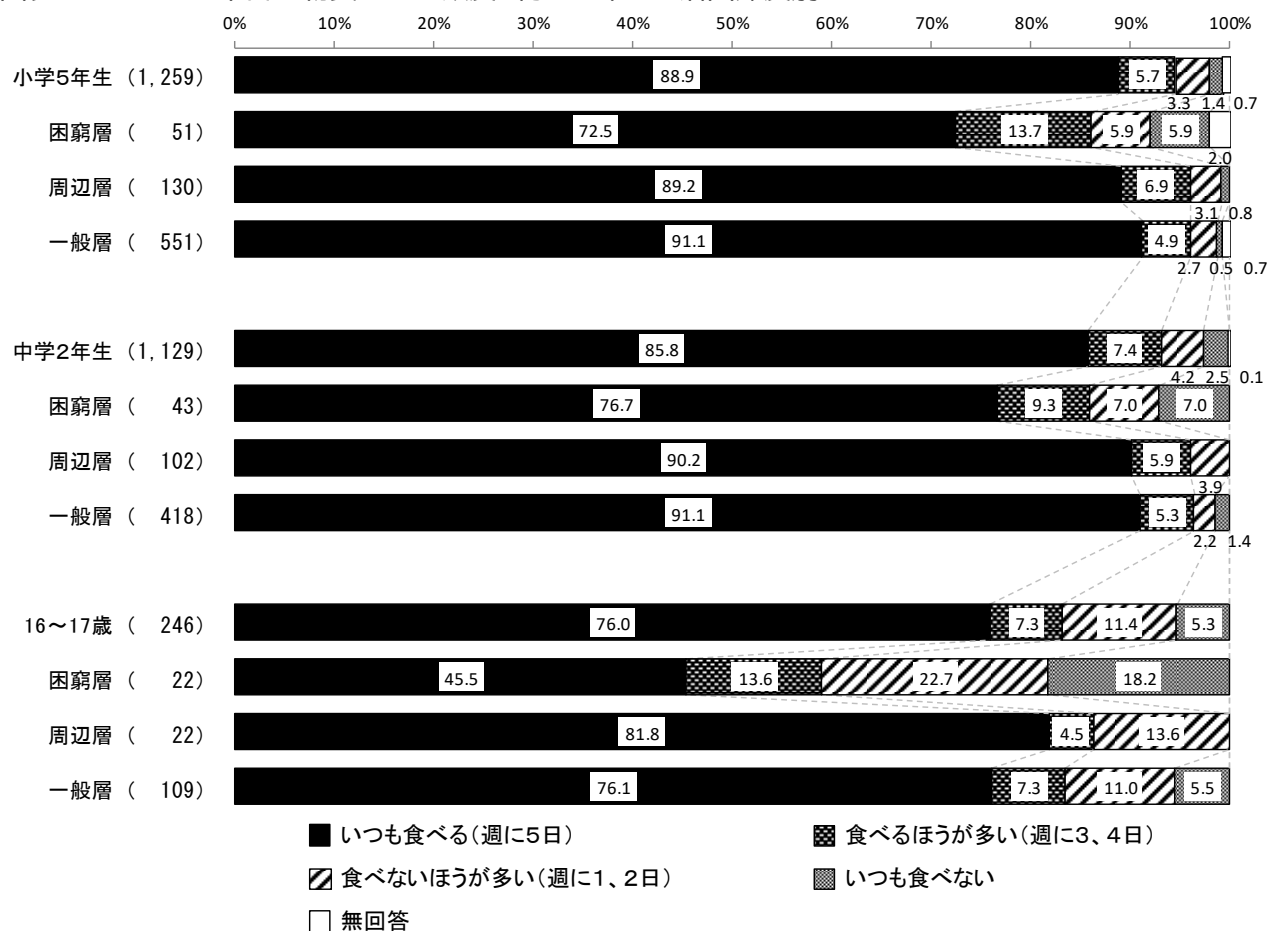
3. 子どもの食と栄養

(1) 朝食の摂取頻度

①子ども

子どもの平日の朝食の摂取頻度について、「食べないほうが多い（週に1、2日）」「いつも食べない」を合わせた割合は、小学5年生の困窮層で11.8%、周辺層で3.9%、一般層で3.2%、中学2年生の困窮層で14.0%、周辺層で3.9%、一般層で3.6%、16～17歳の困窮層で40.9%、周辺層で13.6%、一般層で16.5%となっています。

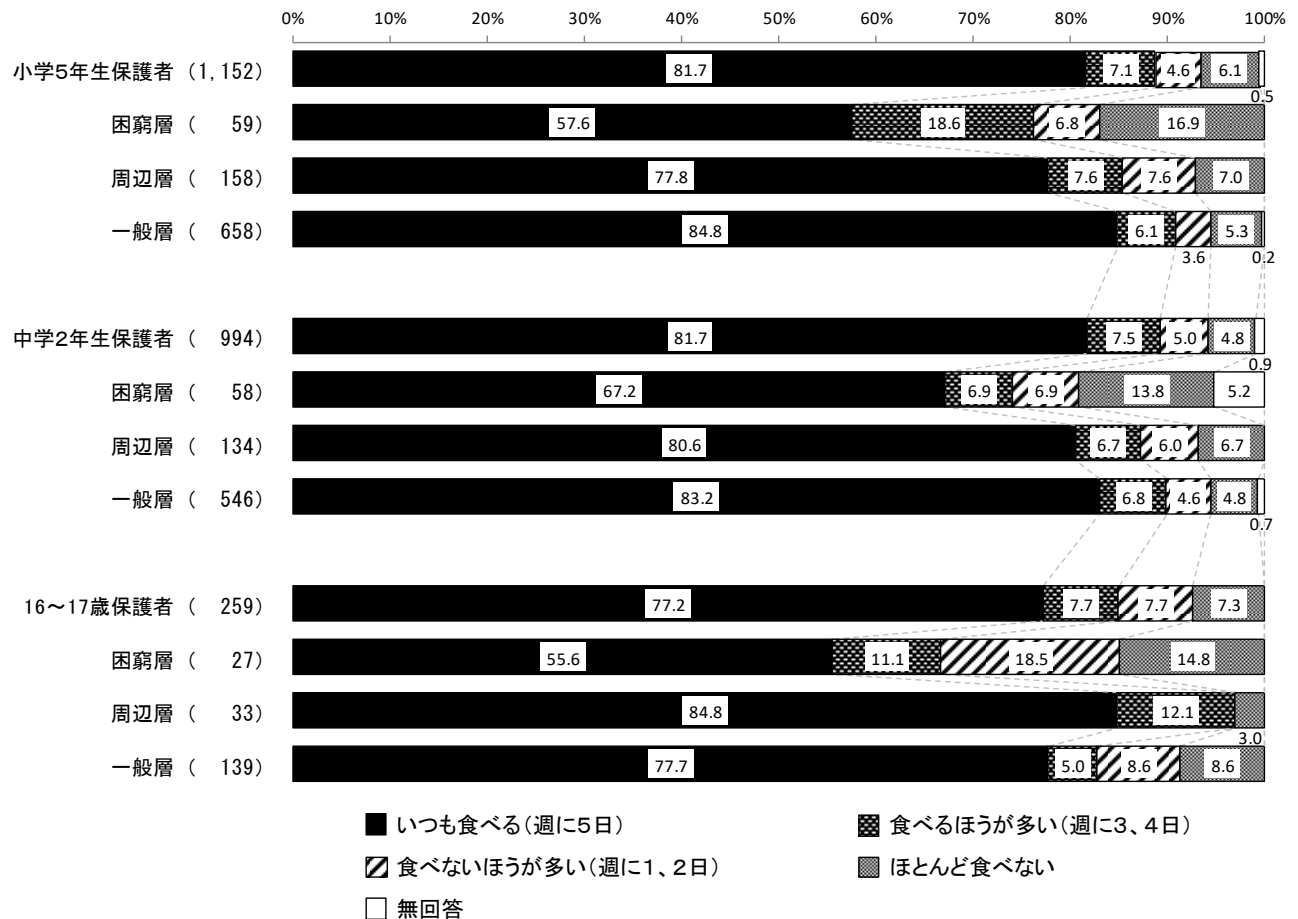
図表 2-3-3-1-1 平日に朝食をとる頻度（子ども）：生活困難度別



②保護者

保護者の平日の朝食の摂取頻度について、「食べないほうが多い（週に1、2日）」「いつも食べない」を合わせた割合は、小学5年生の困窮層で23.7%、周辺層で14.6%、一般層で8.9%、中学2年生の困窮層で20.7%、周辺層で12.7%、一般層で9.4%、16～17歳の困窮層で33.3%、周辺層で3.0%、一般層で17.2%となっています。

図表 2-3-3-1-2 平日に朝食をとる頻度（保護者）：生活困難度別

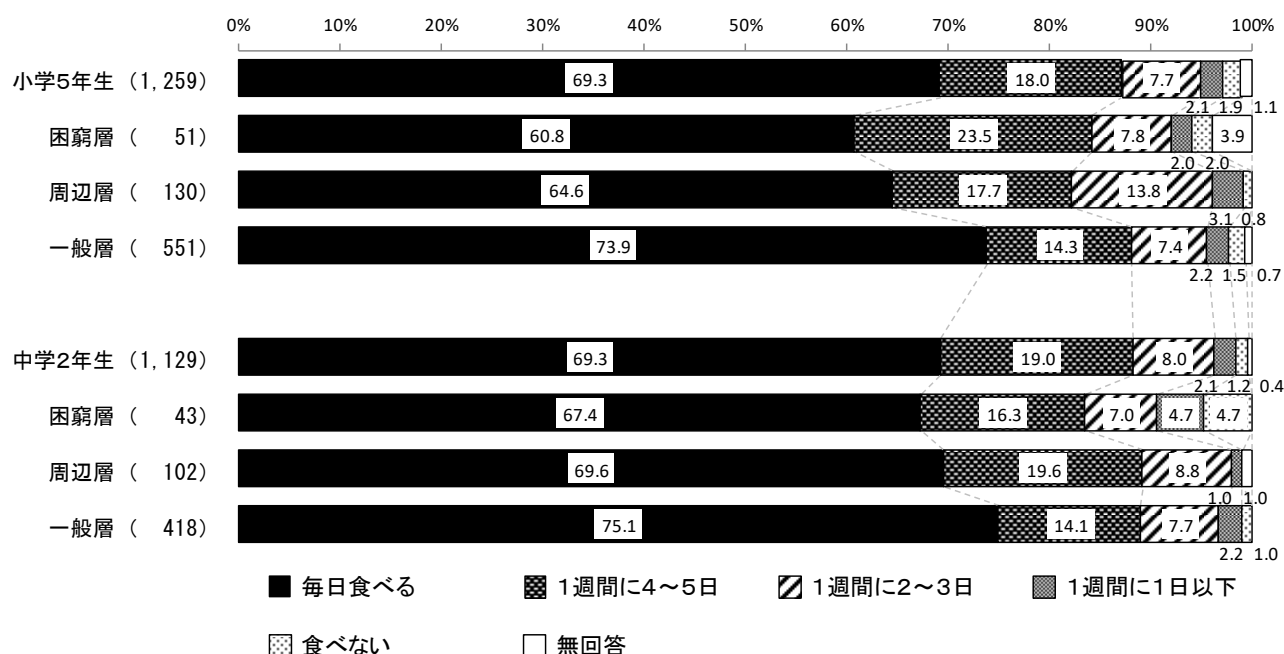


(2) 小・中学生の栄養群別の摂取頻度

①野菜

野菜の摂取状況について、「毎日食べる」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 60.8%、周辺層で 64.6%、一般層で 73.9%、中学2年生の困窮層で 67.4%、周辺層で 69.6%、一般層で 75.1% となっています。

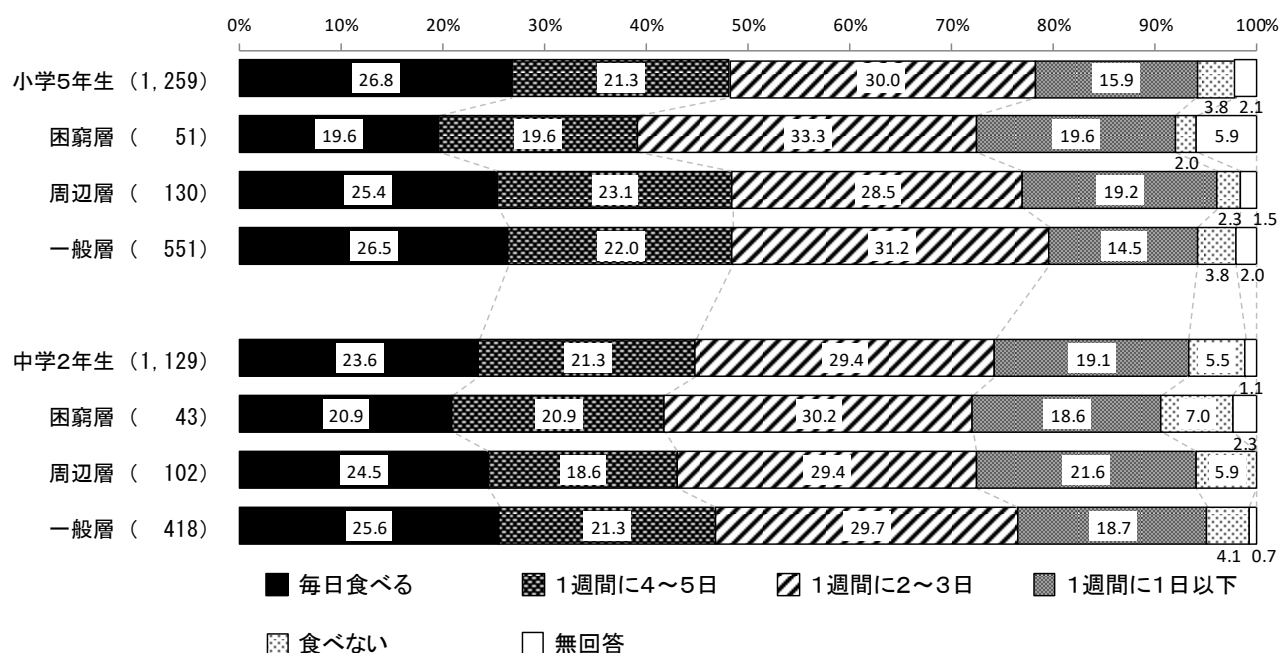
図表 2-3-3-2-1 摂取頻度／野菜：生活困難度別



②くだもの

くだもの摂取状況について、「毎日食べる」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 19.6%、周辺層で 25.4%、一般層で 26.5%、中学2年生の困窮層で 20.9%、周辺層で 24.5%、一般層で 25.6% となっています。

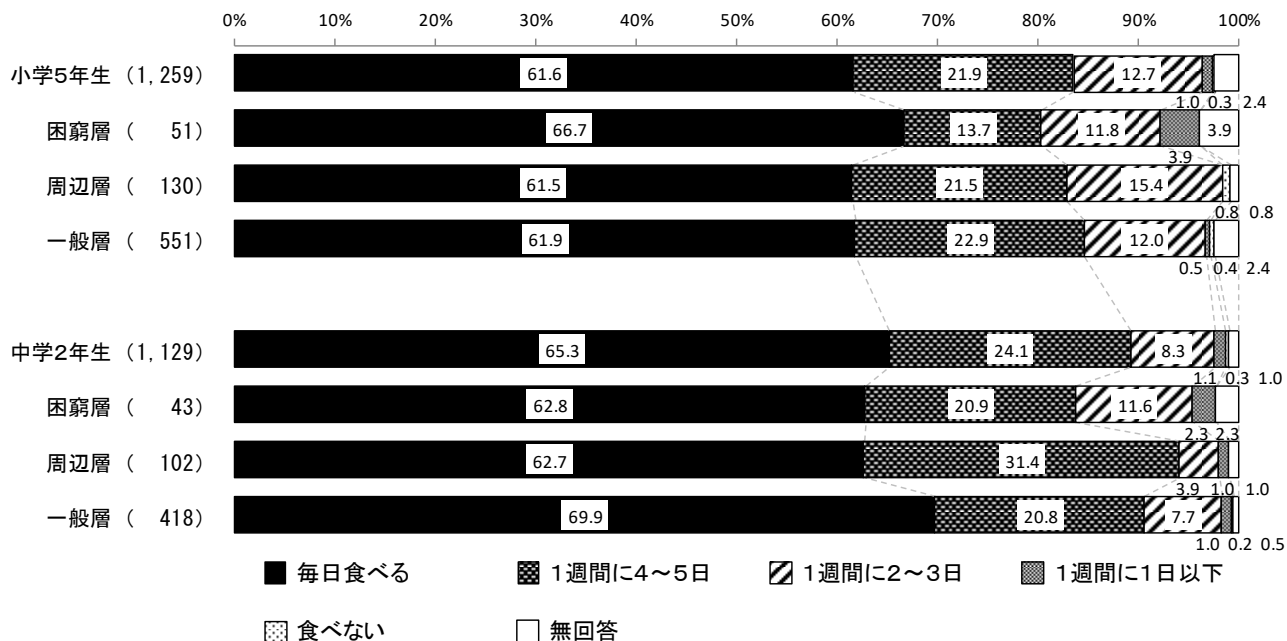
図表 2-3-3-2-2 摂取頻度／くだもの：生活困難度別



③肉か魚

肉か魚の摂取状況について、「毎日食べる」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 66.7%、周辺層で 61.5%、一般層で 61.9%、中学2年生の困窮層で 62.8%、周辺層で 62.7%、一般層で 69.9%となっています。

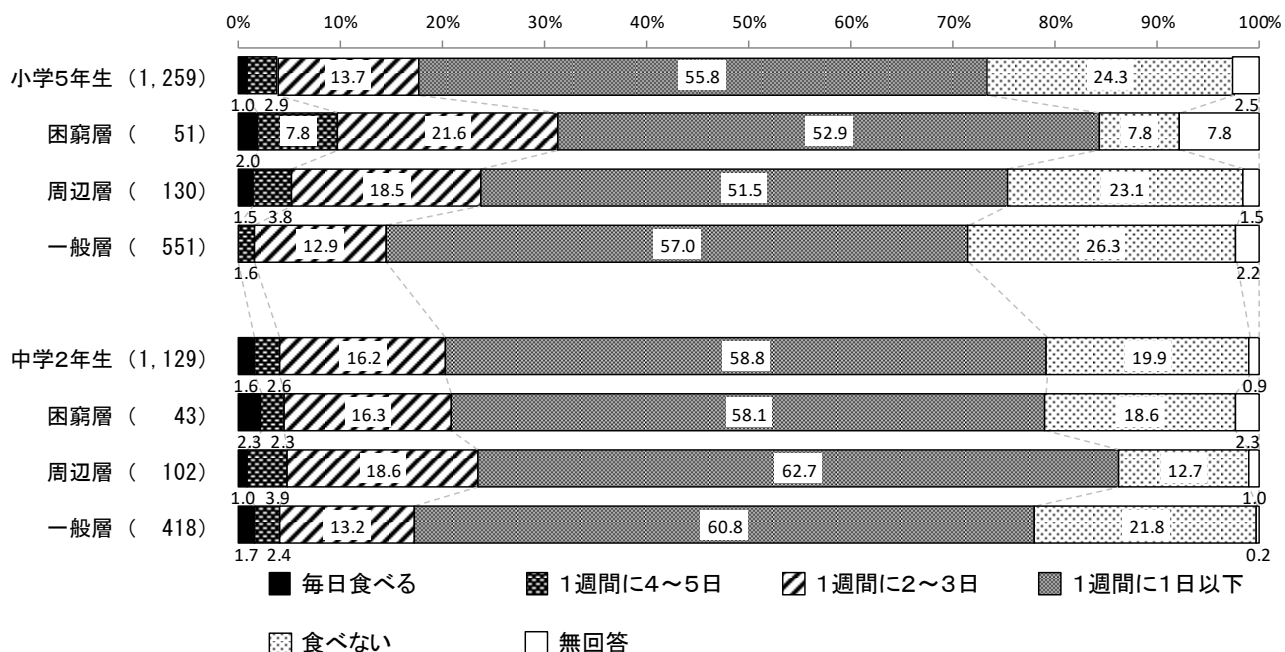
図表 2-3-3-2-3 摂取頻度／肉か魚：生活困難度別



④カップめん・インスタントめん

カップめん・インスタントめんの摂取状況について、「毎日食べる」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 2.0%、周辺層で 1.5%、一般層で 0.0%、中学2年生の困窮層で 2.3%、周辺層で 1.0%、一般層で 1.7%となっています。

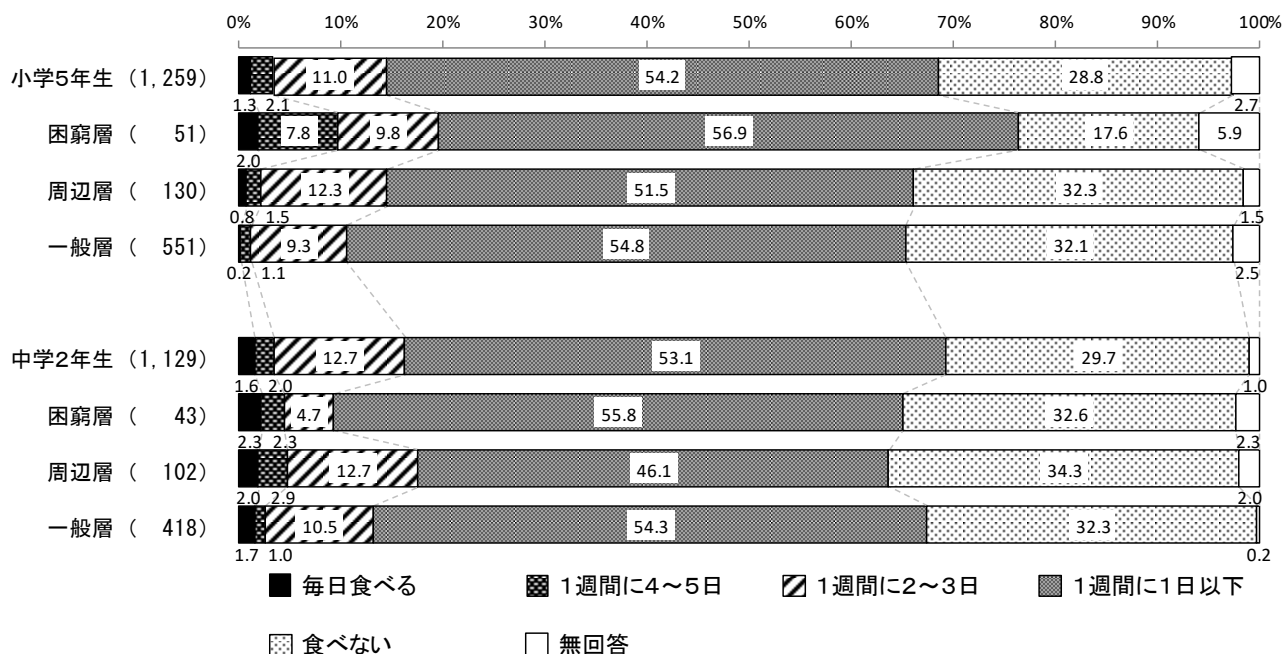
図表 2-3-3-2-4 摂取頻度／カップめん・インスタントめん：生活困難度別



⑤コンビニのおにぎり・お弁当

コンビニのおにぎり・お弁当の摂取状況について、「毎日食べる」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で2.0%、周辺層で0.8%、一般層で0.2%、中学2年生の困窮層で2.3%、周辺層で2.0%、一般層で1.7%となっています。

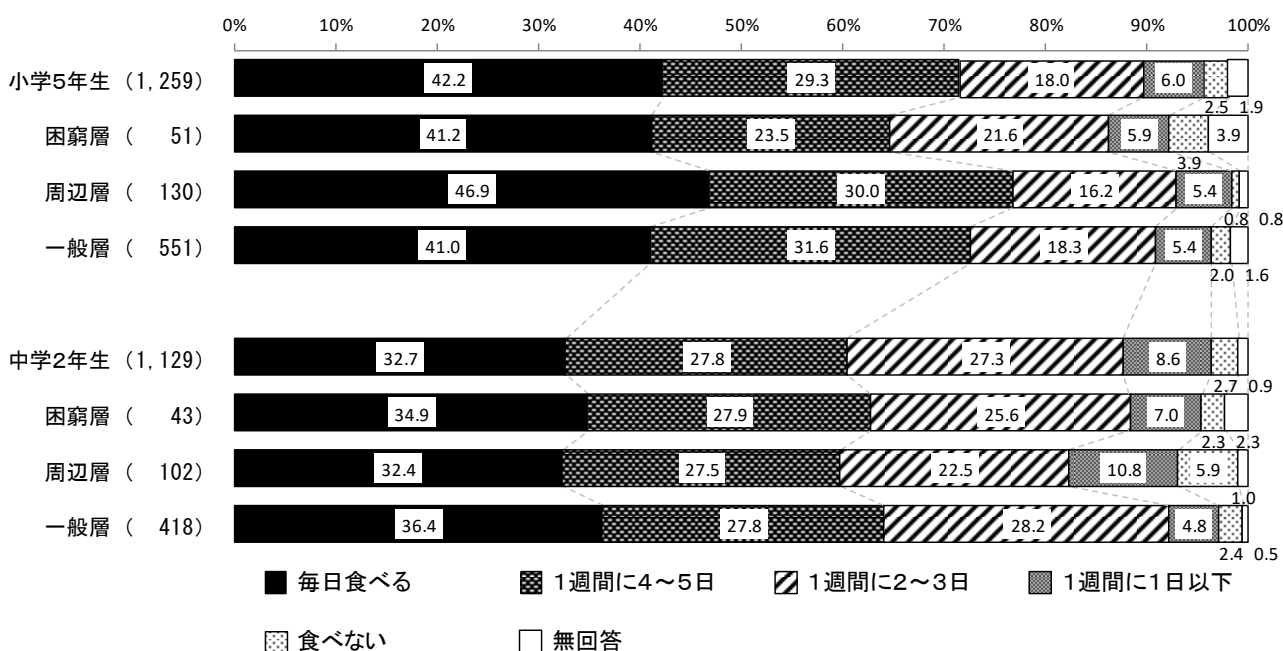
図表 2-3-3-2-5 摂取頻度／コンビニのおにぎり・お弁当：生活困難度別



⑥お菓子

お菓子の摂取状況について、「毎日食べる」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で41.2%、周辺層で46.9%、一般層で41.0%、中学2年生の困窮層で34.9%、周辺層で32.4%、一般層で36.4%となっています。

図表 2-3-3-2-6 摂取頻度／お菓子：生活困難度別

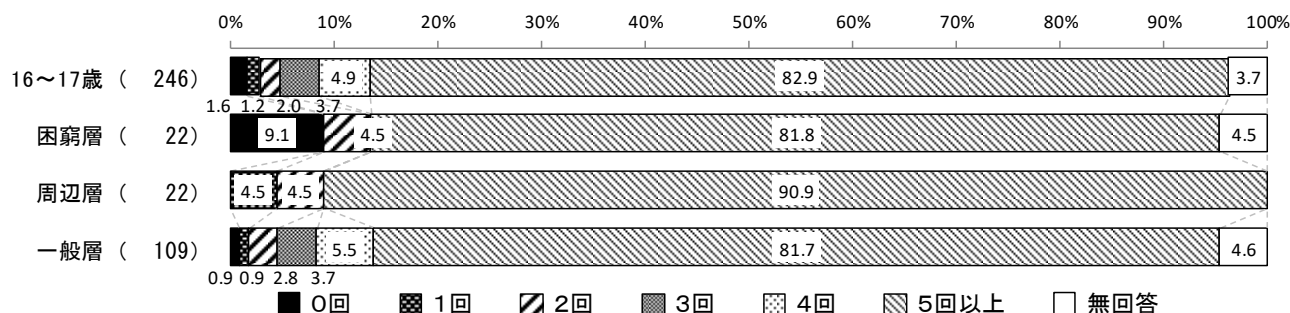


(3) 16～17歳の平日の夕食の内容

①家族が作った食事

平日の夕食に食べるものについて「家族が作った食事」の回数は、「5回以上」と回答した割合は、困窮層で81.8%、周辺層で90.9%、一般層で81.7%となっています。

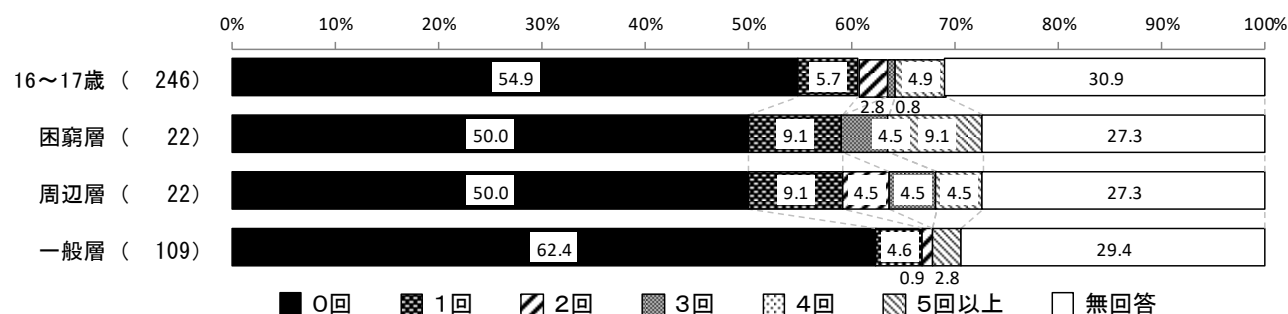
図表 2-3-3-3-1 平日の夕食（1週間当たりの回数）／家族が作った食事：生活困難度別



②家族と自分が一緒に作った食事

平日の夕食に食べるものについて「家族と自分が一緒に作った食事」の回数は、「5回以上」と回答した割合は、困窮層で9.1%、周辺層で4.5%、一般層で2.8%となっています。

図表 2-3-3-3-2 平日の夕食（1週間当たりの回数）／家族と自分が一緒に作った食事：生活困難度別



③自分が作った食事

平日の夕食に食べるものについて「自分が作った食事」の回数は、「1回」と回答した割合は、困窮層で13.6%、周辺層で18.2%、一般層で0.9%となっています。

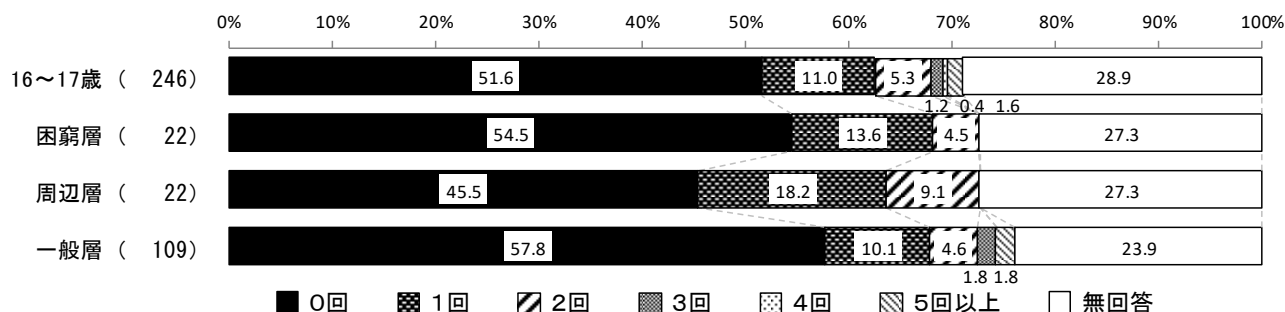
図表 2-3-3-3-3 平日の夕食（1週間当たりの回数）／自分が作った食事：生活困難度別



④コンビニなどで購入したもののみ

平日の夕食に食べるものについて「コンビニなどで購入したもののみ」の回数は、「1回」と回答した割合は、困窮層で13.6%、周辺層で18.2%、一般層で10.1%となっています。

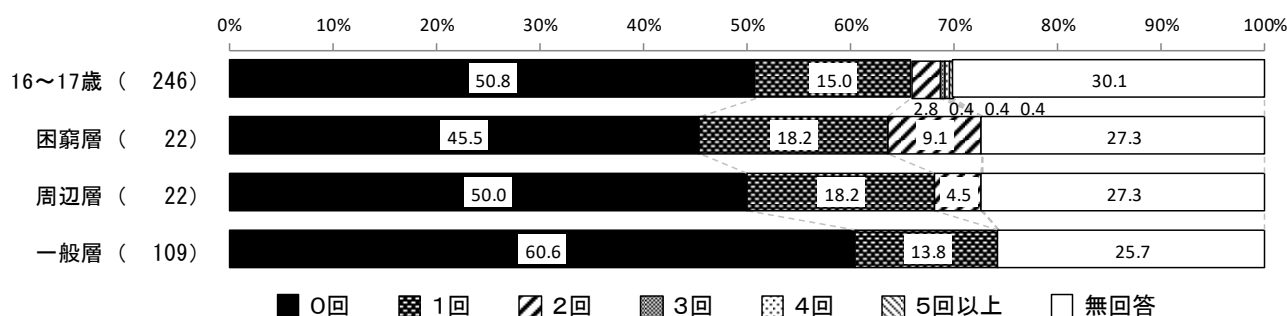
図表 2-3-3-3-4 平日の夕食（1週間当たりの回数）／コンビニなどで購入したもののみ：生活困難度別



⑤ファストフード

平日の夕食に食べるものについて「ファストフード」の回数は、「1回」と回答した割合は、困窮層で18.2%、周辺層で18.2%、一般層で13.8%となっています。

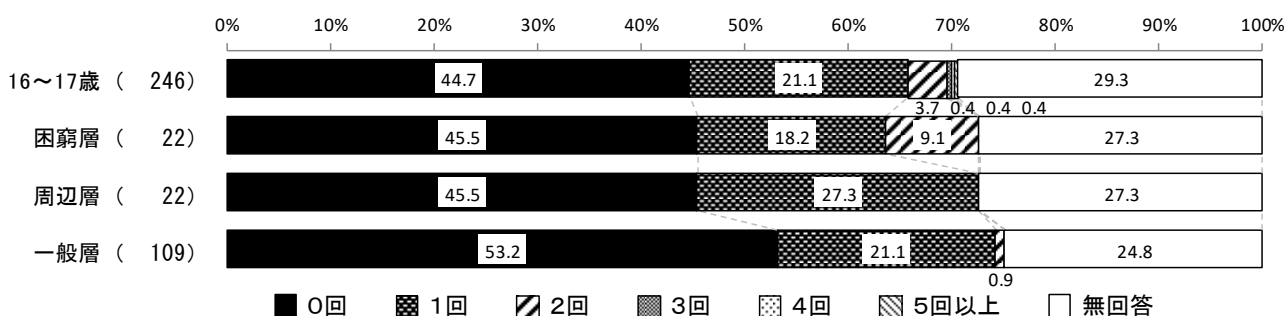
図表 2-3-3-3-5 平日の夕食（1週間当たりの回数）／ファストフード：生活困難度別



⑥飲食店での外食

平日の夕食に食べるものについて「飲食店での外食」の回数は、「1回」と回答した割合は、困窮層で18.2%、周辺層で27.3%、一般層で21.1%となっています。

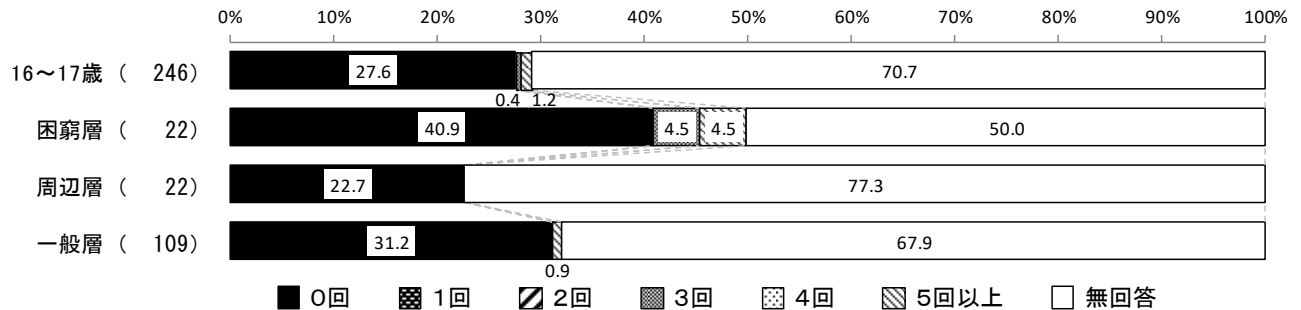
図表 2-3-3-3-6 平日の夕食（1週間当たりの回数）／飲食での外食：生活困難度別



⑦その他

平日の夕食に食べるものについて「その他」の回数は、「0回」と回答した割合は、困窮層で40.9%、周辺層で22.7%、一般層で31.2%となっています。

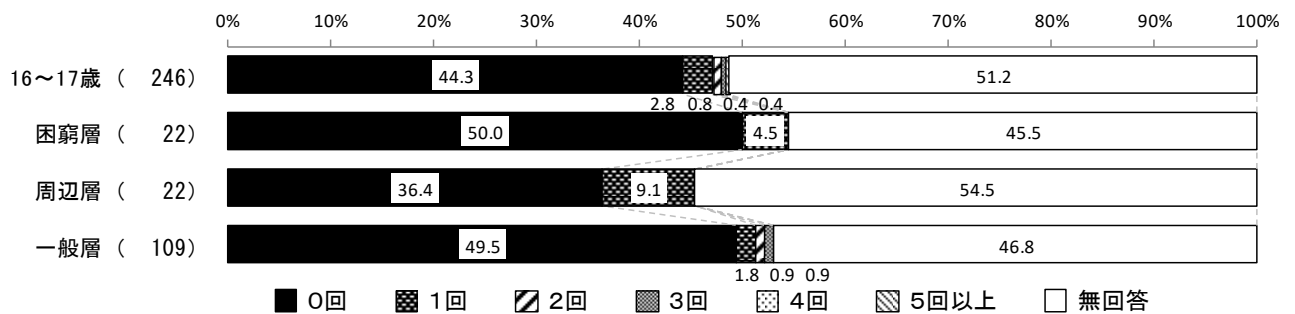
図表 2-3-3-3-7 平日の夕食（1週間当たりの回数）／その他：生活困難度別



⑧夕食を食べない

平日の夕食に食べるものについて「夕食を食べない」回数は、「1回」と回答した割合は、困窮層で4.5%、周辺層で9.1%、一般層で1.8%となっています。

図表 2-3-3-3-8 平日の夕食（1週間当たりの回数）／夕食を食べない：生活困難度別



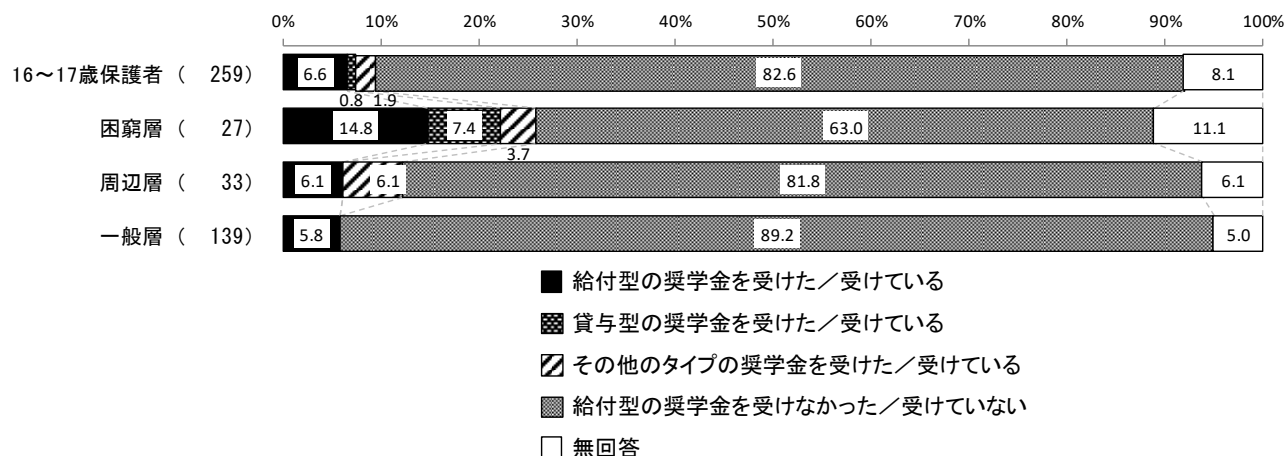
第4章 家計の状況

1. 家計の状況

(1) 奨学金受給の有無／1か月当たりの受給額

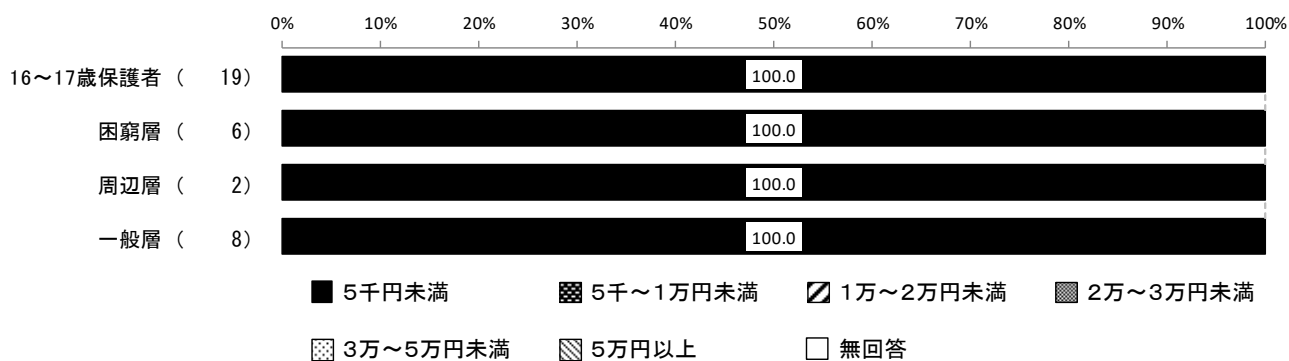
16～17歳の奨学金の受給の有無について、「給付型」「貸与型」「その他のタイプ」を合わせた『奨学金を受けた／受けている』と回答した割合は、困窮層で25.9%、周辺層で12.2%、一般層で5.8%となっています。

図表 2-4-1-1-1 奨学金の受給状況：生活困難度別



1か月当たりの受給額は、サンプル数は少ないものの全員5千円未満と回答していました。

図表 2-4-1-1-2 1か月当たりの受給額：生活困難度別

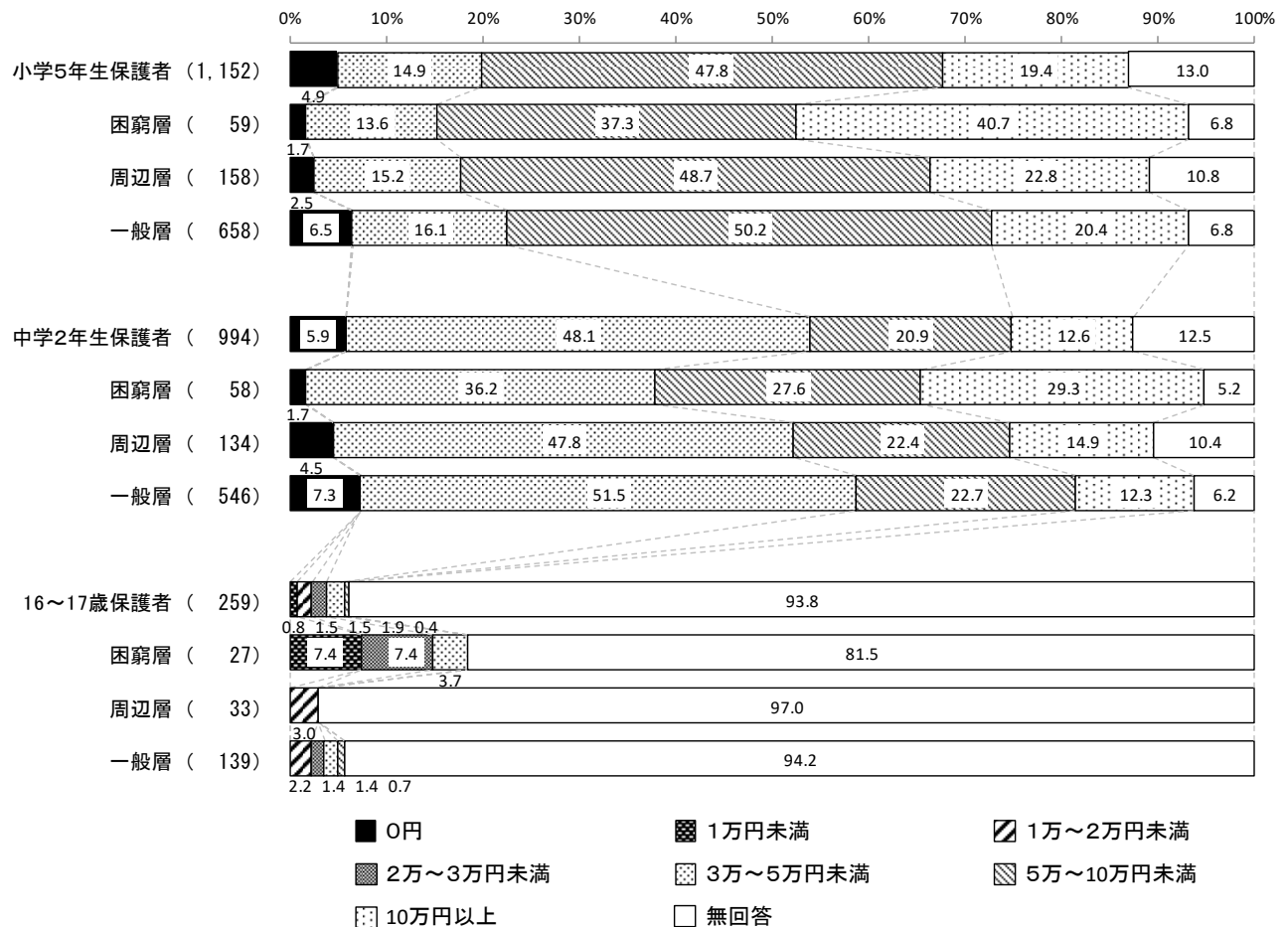


(2) 社会保障支給額

① 児童手当

児童手当の1回あたりの受給額について、「10万円以上」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で40.7%、周辺層で22.8%、一般層で20.4%、中学2年生の困窮層で29.3%、周辺層で14.9%、一般層で12.3%、となっています。

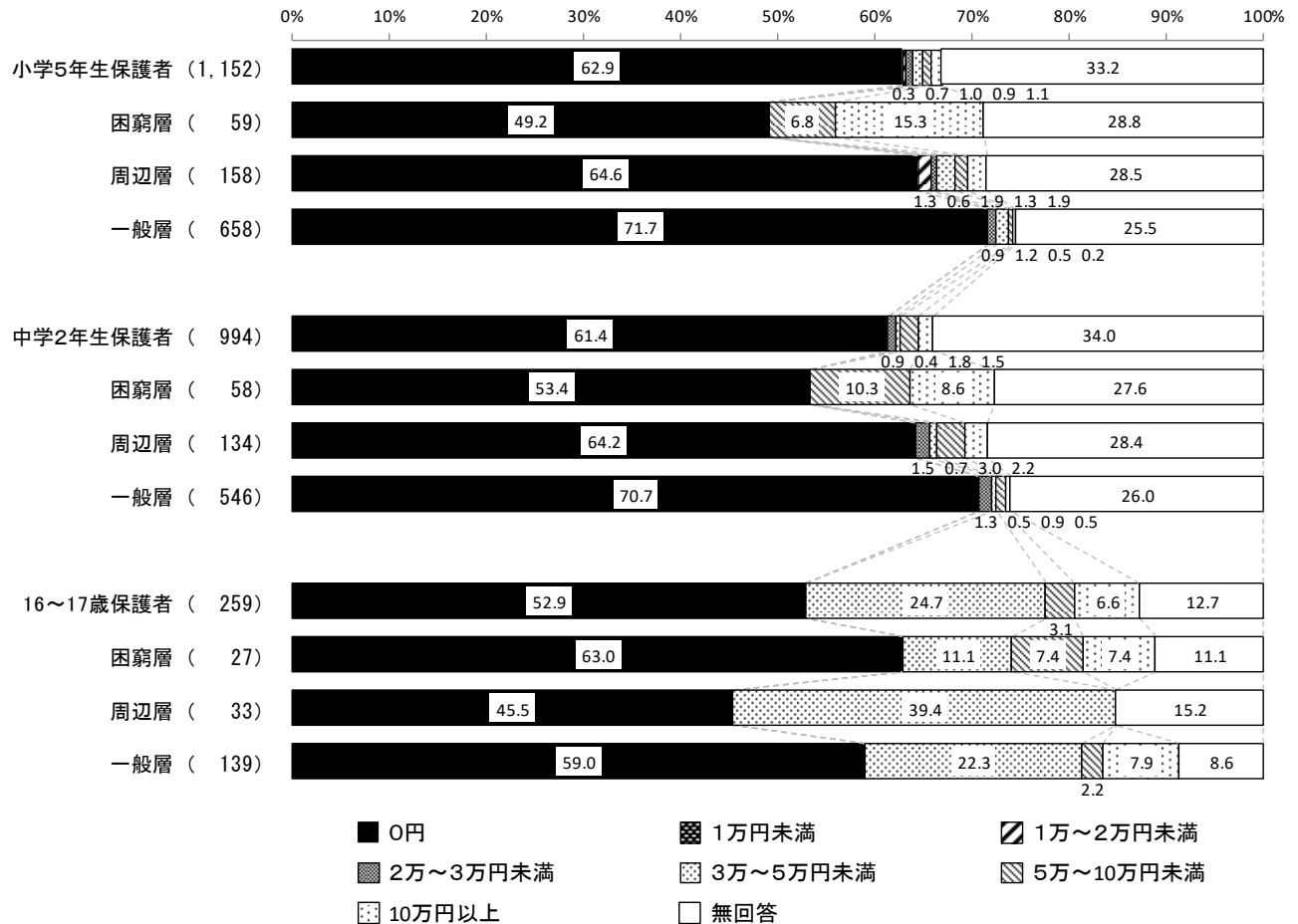
図表 2-4-1-2-1 受給額／児童手当：生活困難度別



②児童扶養手当

児童扶養手当の1回あたりの受給額について、「10万円以上」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で15.3%、周辺層で1.9%、一般層で0.2%、「5万～10万円未満」と回答した割合は、中学2年生の困窮層で10.3%、周辺層で3.0%、一般層で0.9%、「3万～5万円未満」と回答した割合は、16～17歳の困窮層で11.1%、周辺層で39.4%、一般層で22.3%となっています。

図表 2-4-1-2-2 受給額／児童扶養手当：生活困難度別

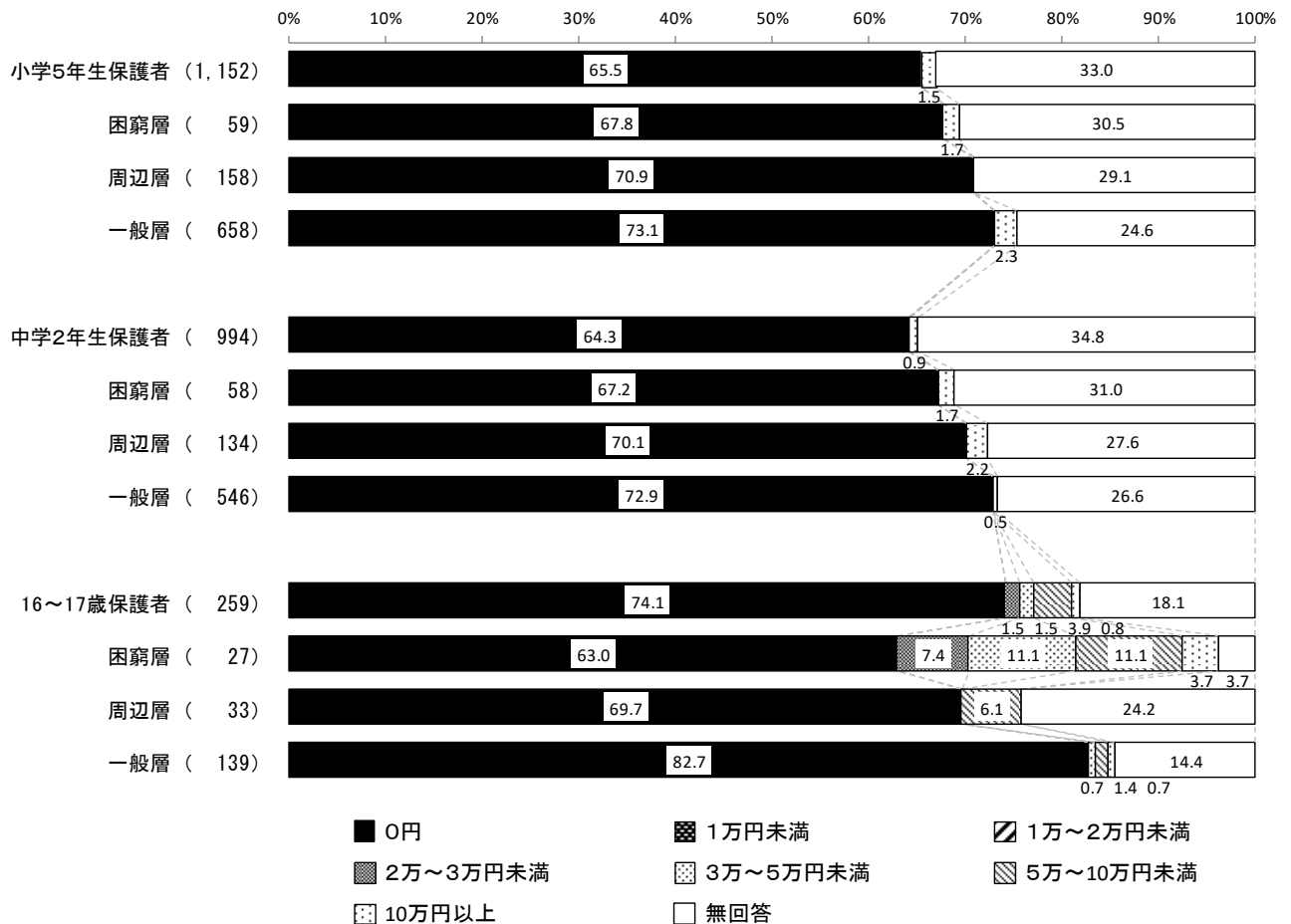


③特別児童扶養手当

特別児童扶養手当の1回あたりの受給額について、いずれの層でも60%以上が「0円」と回答しています。

「5万～10万円未満」と回答した割合は、16～17歳の困窮層で11.1%、周辺層で6.1%、一般層で1.4%となっています。

図表 2-4-1-2-3 受給額／特別児童扶養手当：生活困難度別

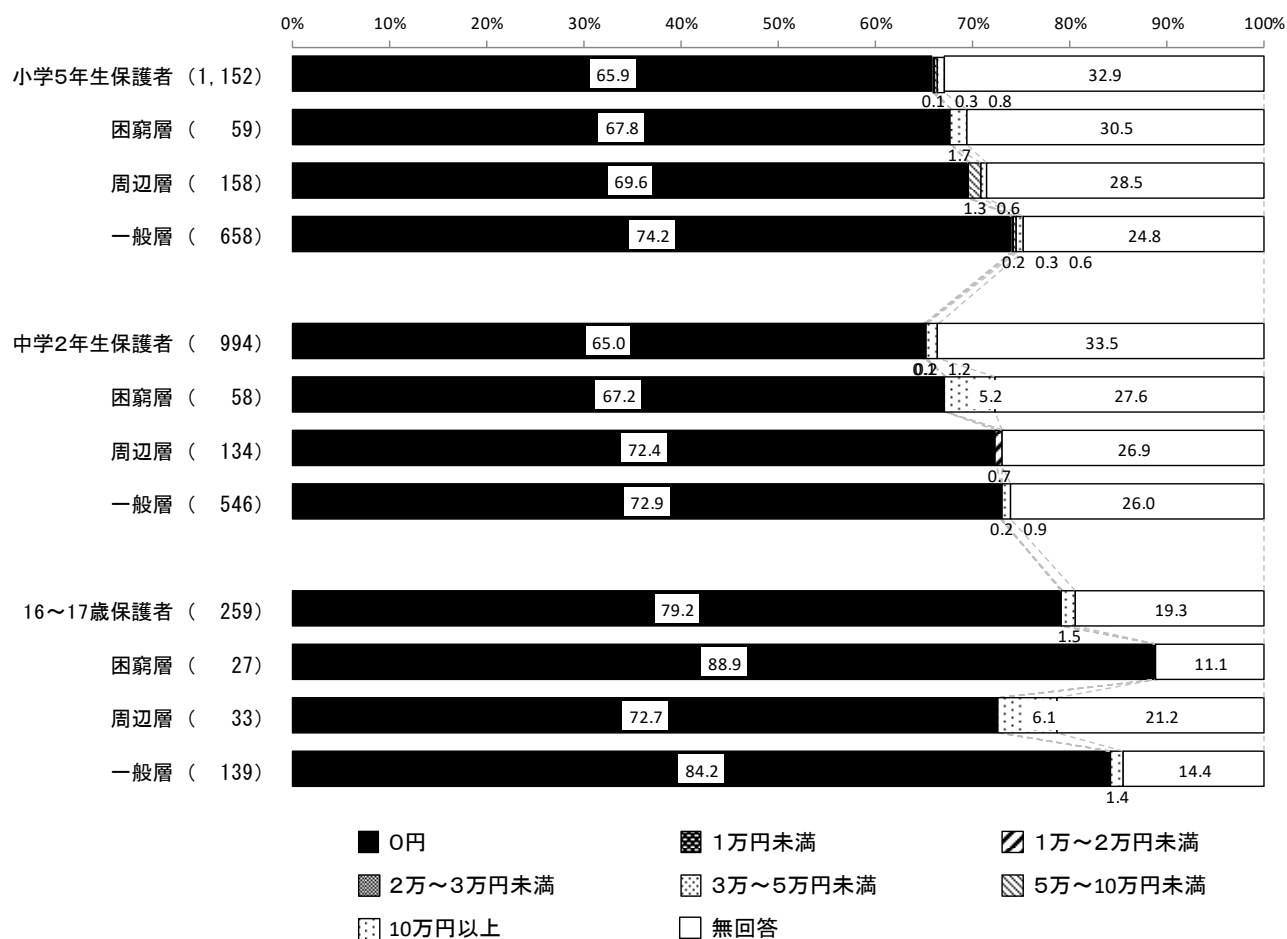


④年金（遺族年金、老齢年金）

年金（遺族年金、老齢年金）の1回あたりの受給額について、いずれの層でも65%以上が「0円」と回答しています。

「3万～5万円未満」と回答した割合は、中学2年生の困窮層で5.2%、16～17歳の周辺層で6.1%となっています。

図表 2-4-1-2-4 受給額／年金（遺族年金、老齢年金）：生活困難度別

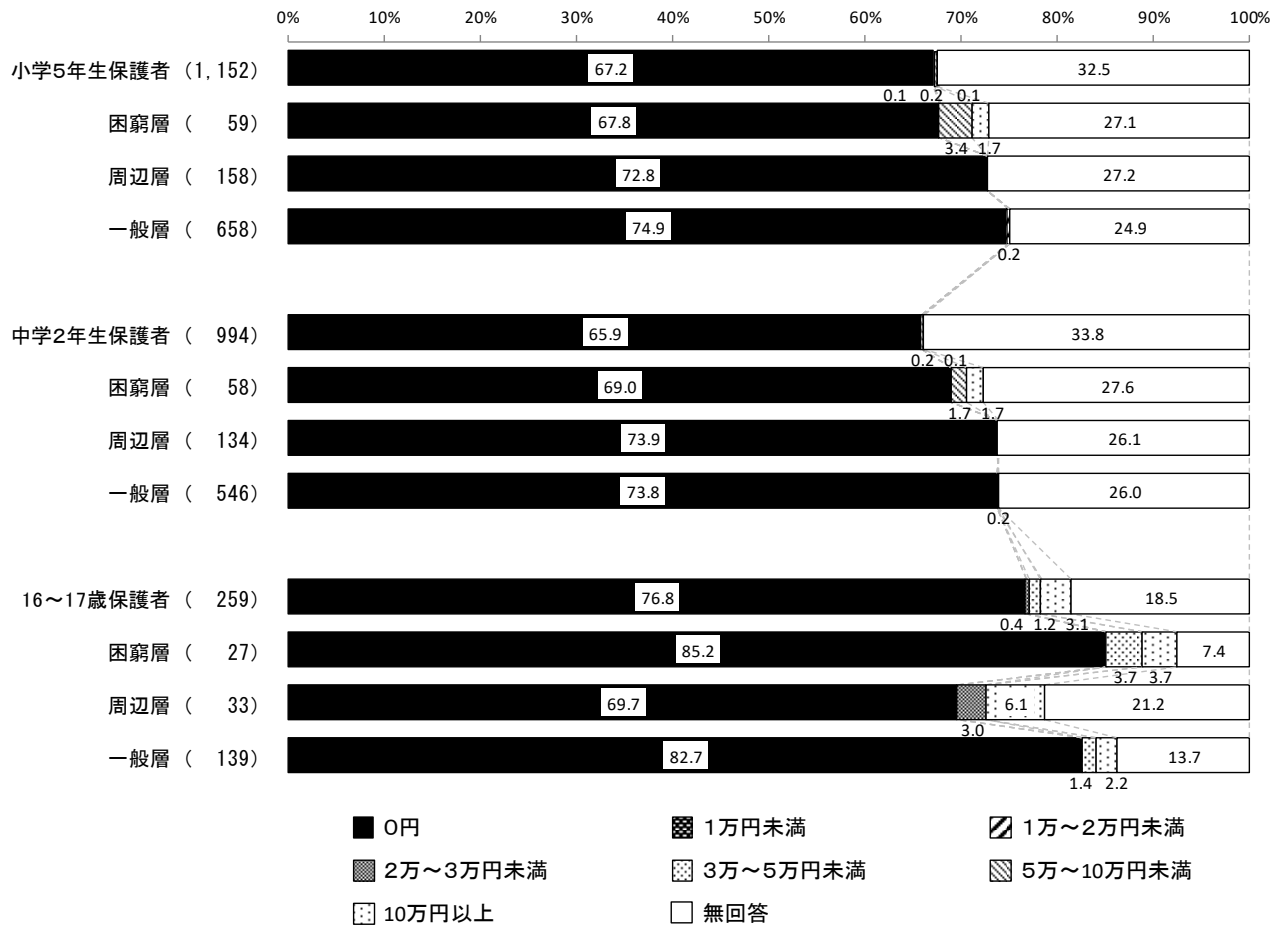


⑤生活保護

生活保護の受給額について、いずれの層でも 70%近くが「0円」と回答しています。

「10万円以上」と回答した割合は、16～17歳の困窮層で 3.7%、周辺層で 6.1%、一般層で 2.2%となっています。

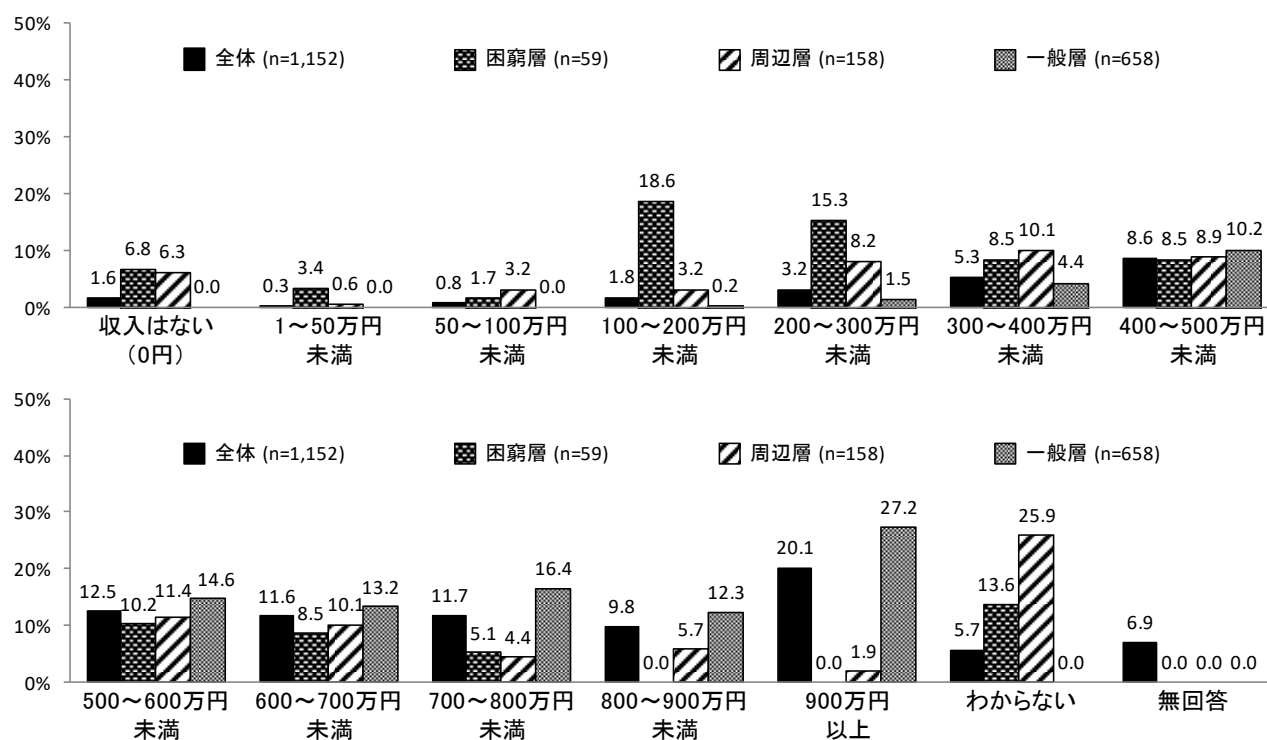
図表 2-4-1-2-5 支給額／生活保護：生活困難度別



(3) 世帯収入

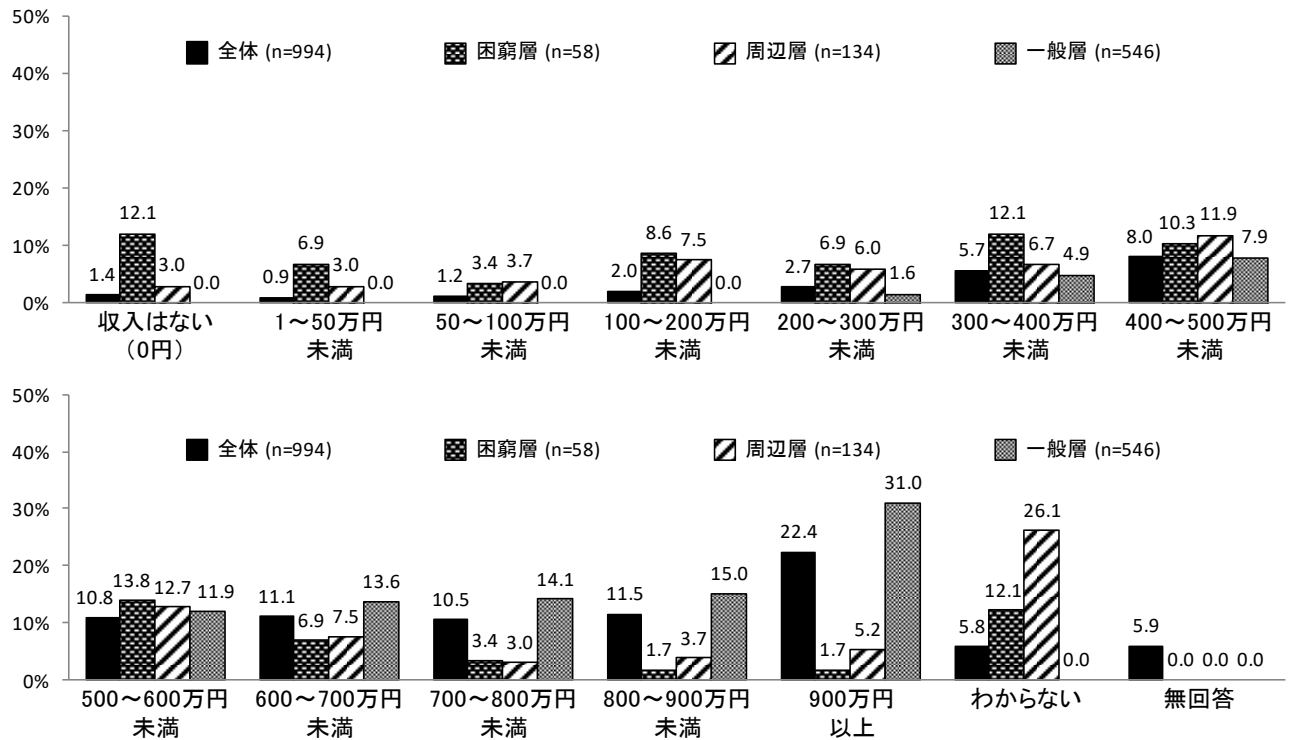
小学5年生全体の世帯収入は、「900万円以上」が20.1%で最も高く、次いで「500～600万円未満」が12.5%、「700～800万円未満」が11.7%となっています。困窮層では「100～200万円未満」が18.6%で最も高く、次いで「200～300万円未満」が15.3%、「500～600万円未満」が10.2%となっています。

図表 2-4-1-3-1 世帯収入：生活困難度別（小学5年生）



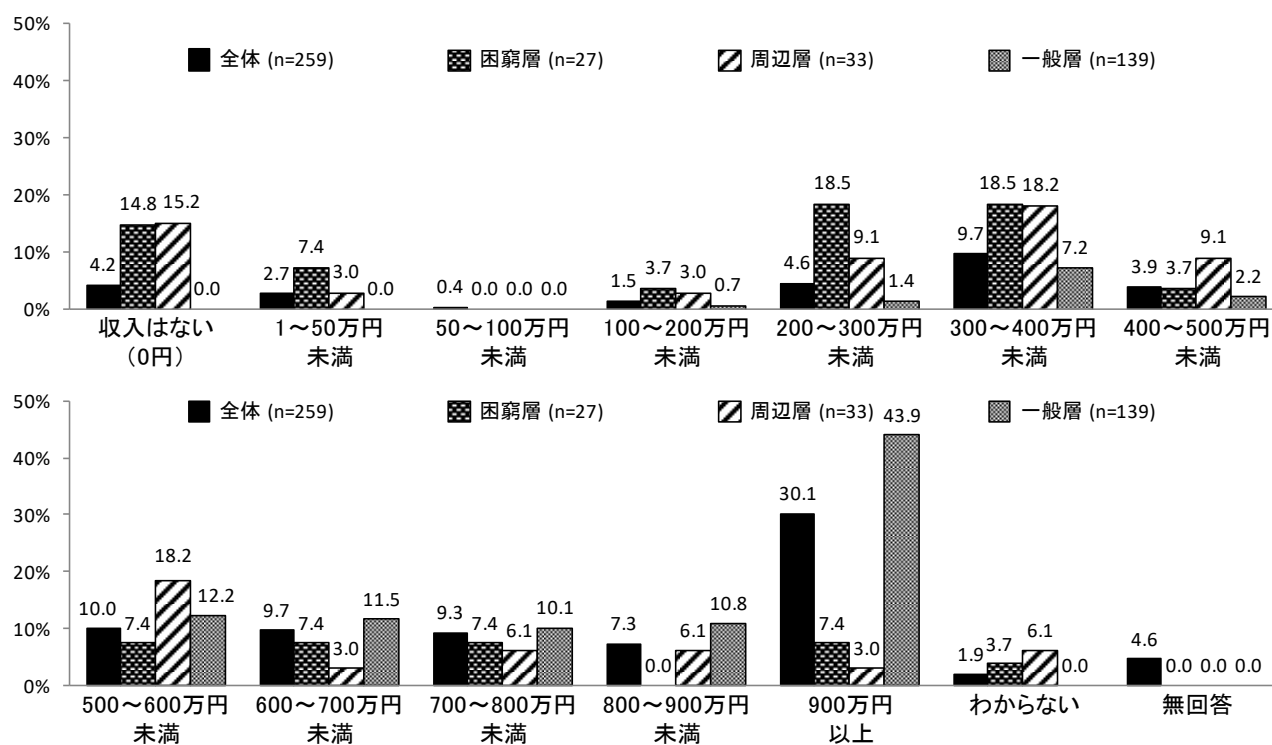
中学2年生全体の世帯収入は、「900万円以上」が22.4%で最も高く、次いで「800～900万円未満」が11.5%、「600～700万円未満」が11.1%となっています。困窮層では「500～600万円未満」が13.8%で最も高く、次いで「300～400万円未満」が12.1%、「収入はない(0円)」が12.1%となっています。

図表 2-4-1-3-2 世帯収入：生活困難度別（中学2年生）



16～17歳全体の世帯収入は、「900万円以上」が30.1%で最も高く、次いで「500～600万円未満」が10.0%、「300～400万円未満」「600～700万円未満」が9.7%となっています。困窮層では「300～400万円未満」「200～300万円未満」が18.5%で最も高く、次いで「収入はない(0円)」が14.8%となっています。

図表 2-4-1-3-3 世帯収入：生活困難度別（16～17歳）



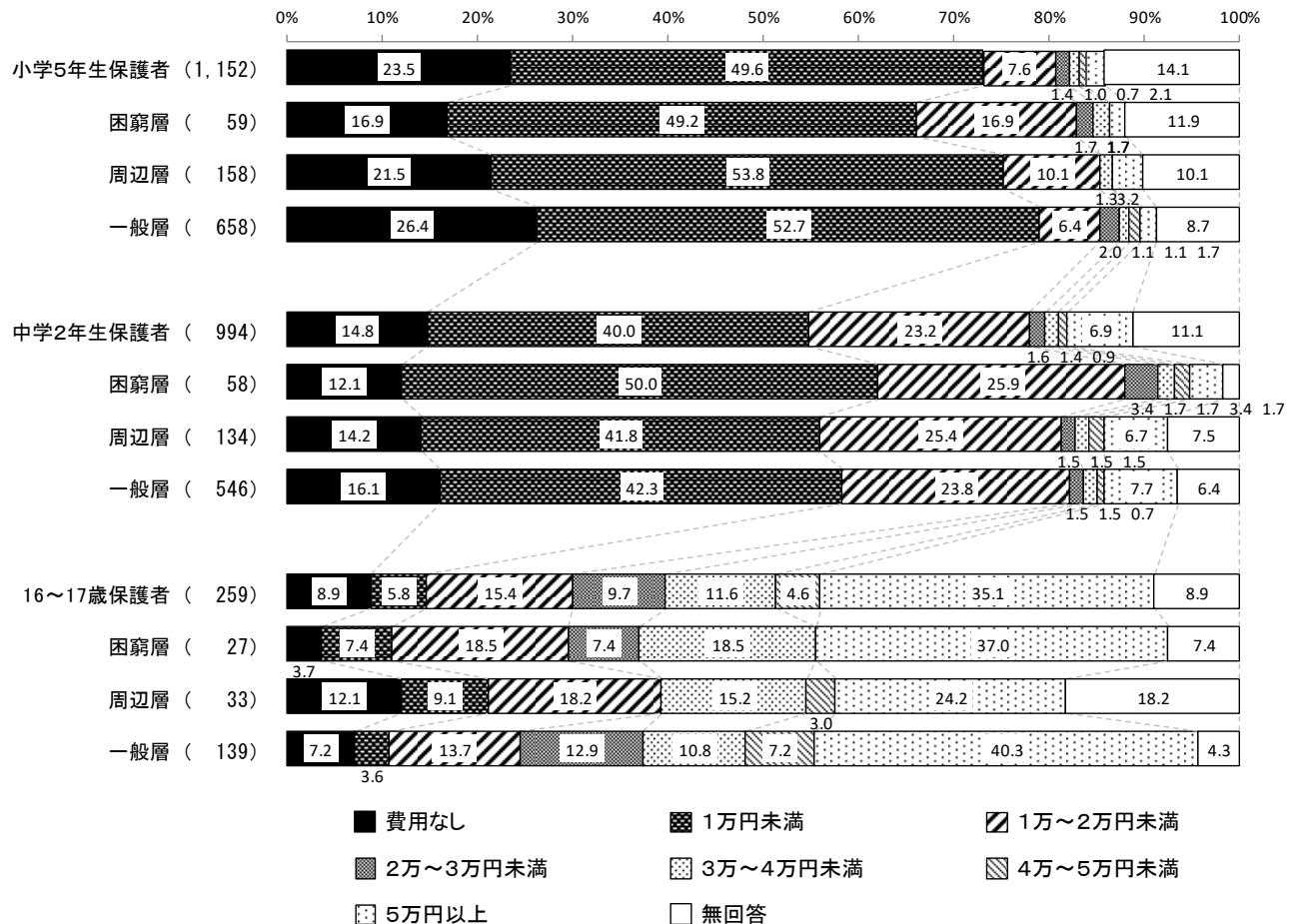
2. 子育てにかかる費用と子どもの負担割合

(1) 子育てにかかる費用

①授業料・学校納付金

授業料・学校納付金の1か月あたりの費用について、小学5年生、中学2年生とも「1万円未満」がすべての層で40%を超えて最も高くなっています。16～17歳の全体では「5万円以上」が35.1%で最も高く、次いで「1万～2万円未満」が15.4%、「3万～4万円未満」が11.6%となっています。

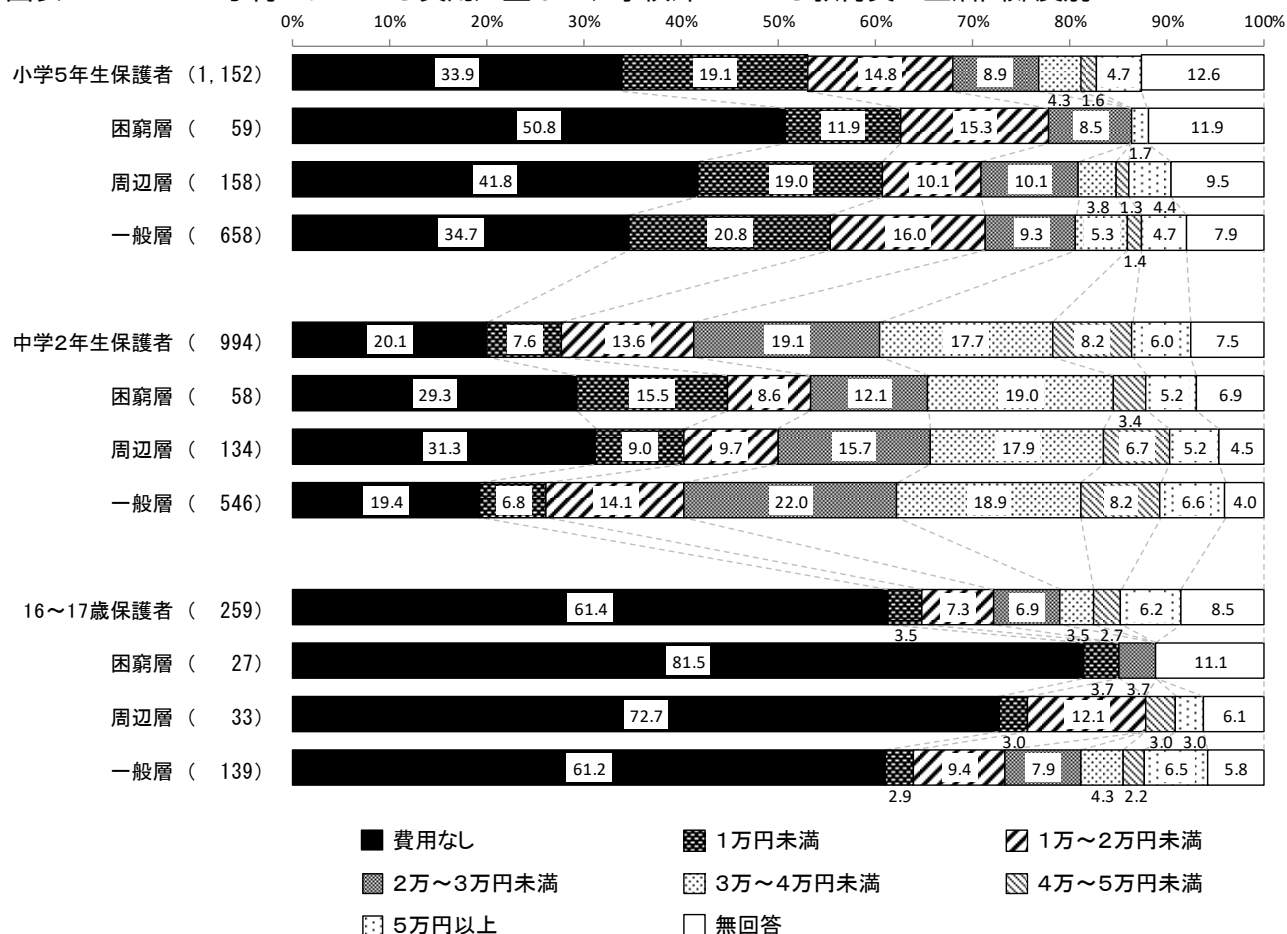
図表 2-4-2-1-1 子育てにかかる費用／授業料・学校納付金：生活困難度別



②塾など、学校外でかかる教育費

塾など、学校外でかかる1か月あたりの教育費について、「費用なし」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で50.8%、周辺層で41.8%、一般層で34.7%、中学2年生の困窮層で29.3%、周辺層で31.3%、一般層で19.4%、16～17歳の困窮層で81.5%、周辺層で72.7%、一般層で61.2%となっています。

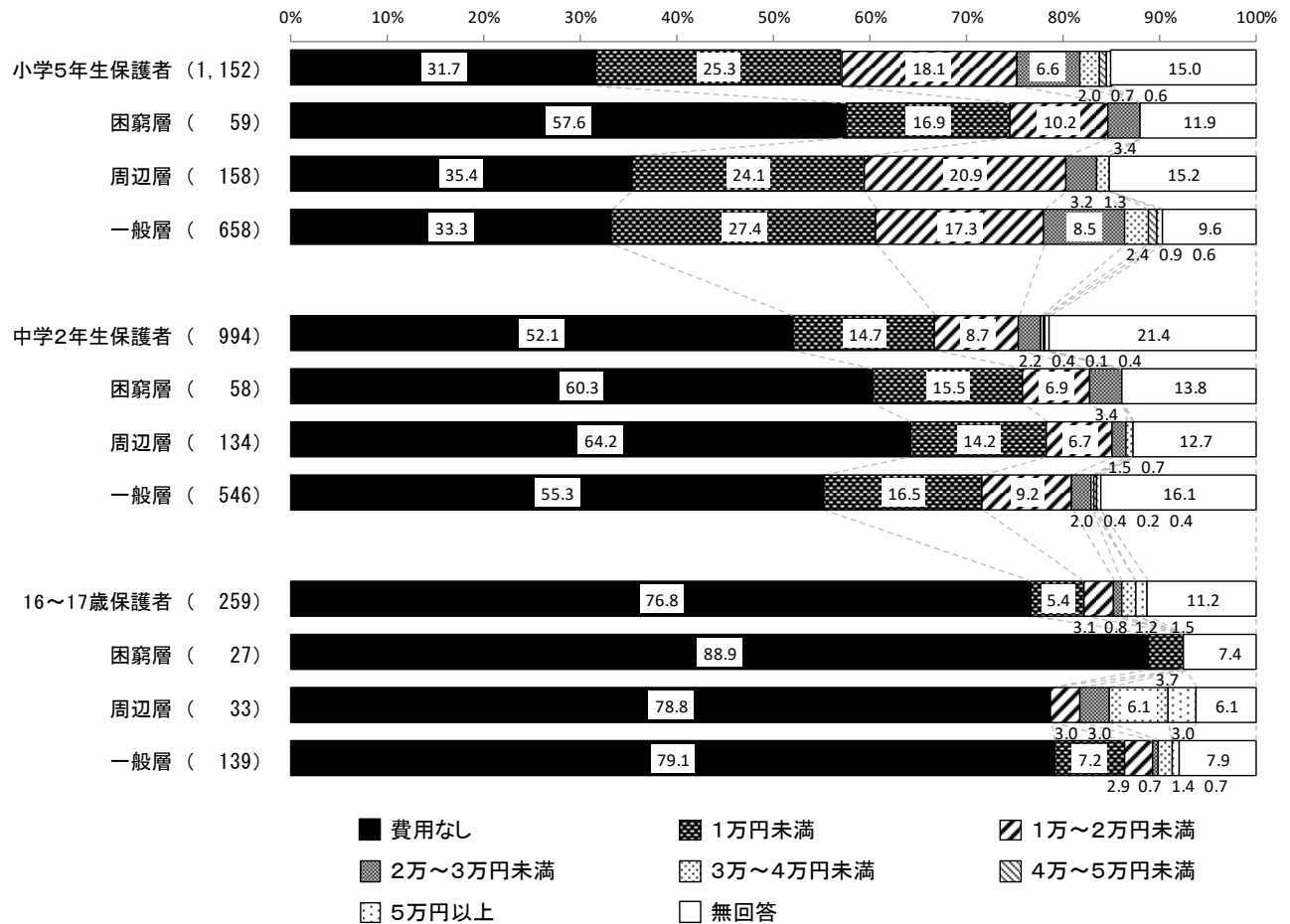
図表 2-4-2-1-2 子育てにかかる費用／塾など、学校外でかかる教育費：生活困難度別



③習い事（スポーツクラブなど以外）

習い事（スポーツクラブなど以外）の1か月あたりの費用について、「費用なし」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 57.6%、周辺層で 35.4%、一般層で 33.3%、中学2年生の困窮層で 60.3%、周辺層で 64.2%、一般層で 55.3%、16～17歳の困窮層で 88.9%、周辺層で 78.8%、一般層で 79.1%となっています。

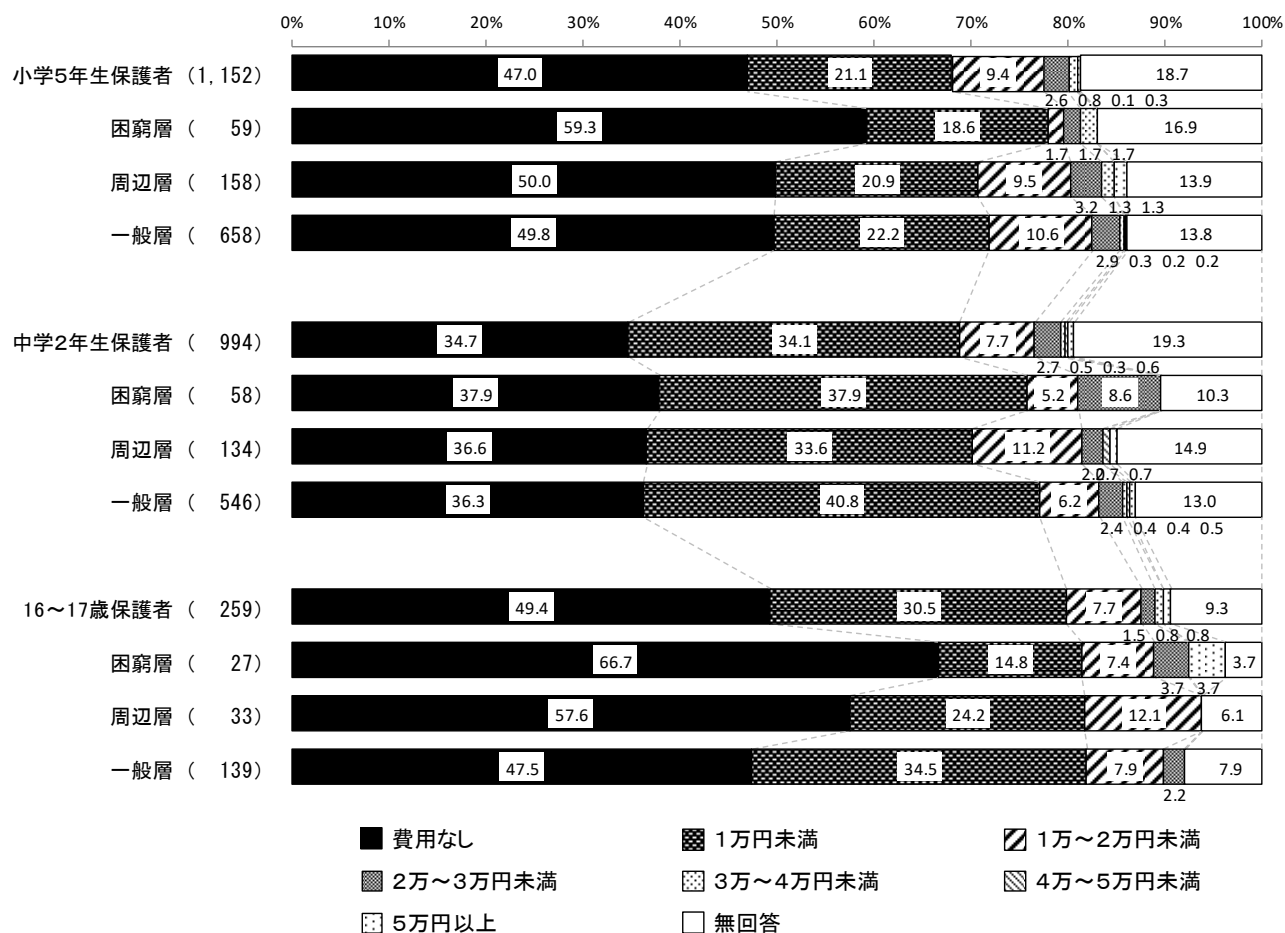
図表 2-4-2-1-3 子育てにかかる費用／習い事（スポーツクラブなど以外）：生活困難度別



④スポーツクラブ・部活

スポーツクラブ・部活の1か月あたりの費用について、「費用なし」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で59.3%、周辺層で50.0%、一般層で49.8%、中学2年生の困窮層で37.9%、周辺層で36.6%、一般層で36.3%、16～17歳の困窮層で66.7%、周辺層で57.6%、一般層で47.5%となっています。

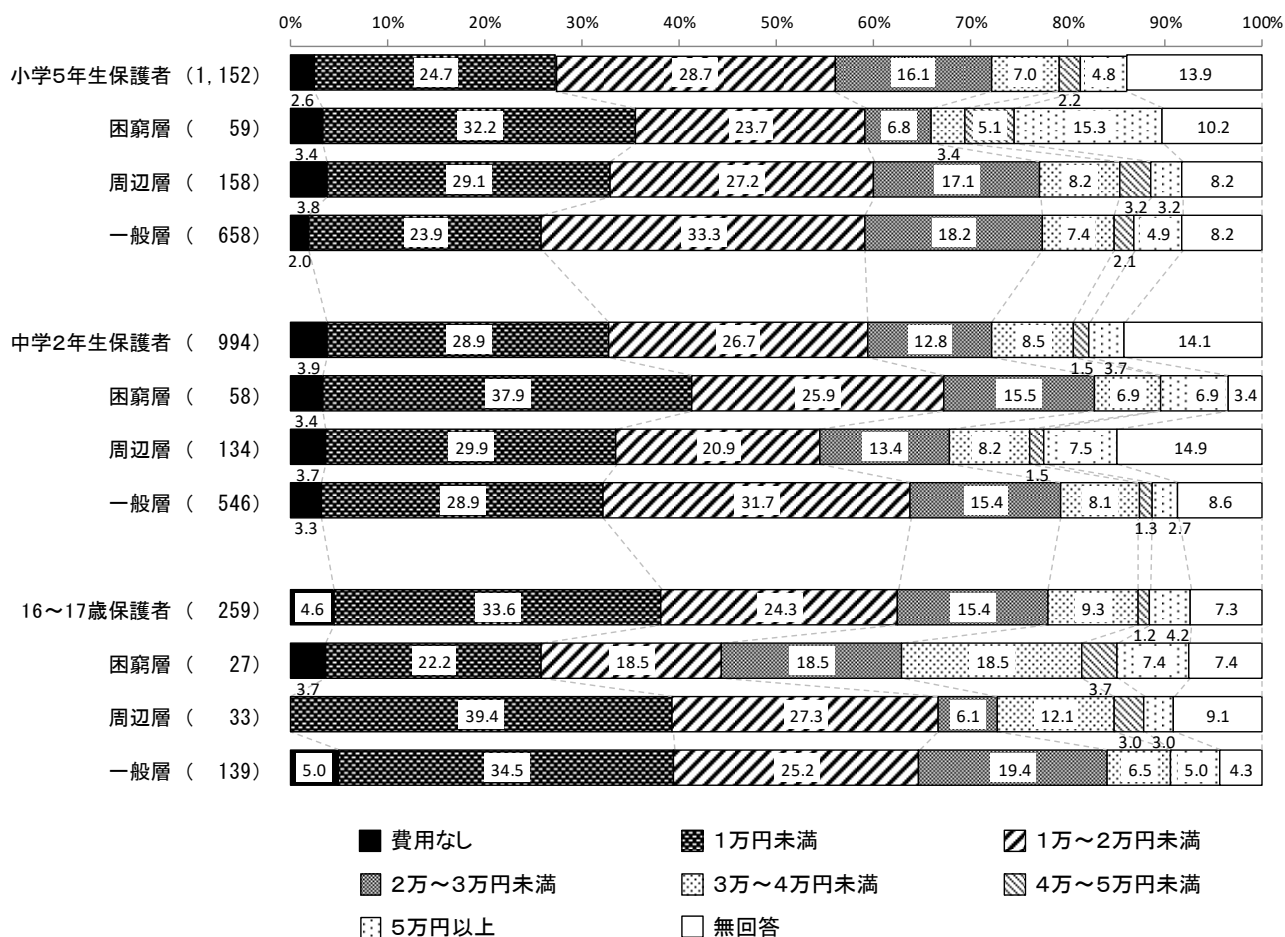
図表 2-4-2-1-4 子育てにかかる費用／スポーツクラブ・部活：生活困難度別



⑤子どもの昼食代、夕食代、おやつ代（外食含む）

1 か月あたりの子どもの昼食代、夕食代、おやつ代（外食含む）について、「1 万円未満」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 32.2%、周辺層で 29.1%、一般層で 23.9%、中学2年生の困窮層で 37.9%、周辺層で 29.9%、一般層で 28.9%、16～17 歳の困窮層で 22.2%、周辺層で 39.4%、一般層で 34.5%となっています。

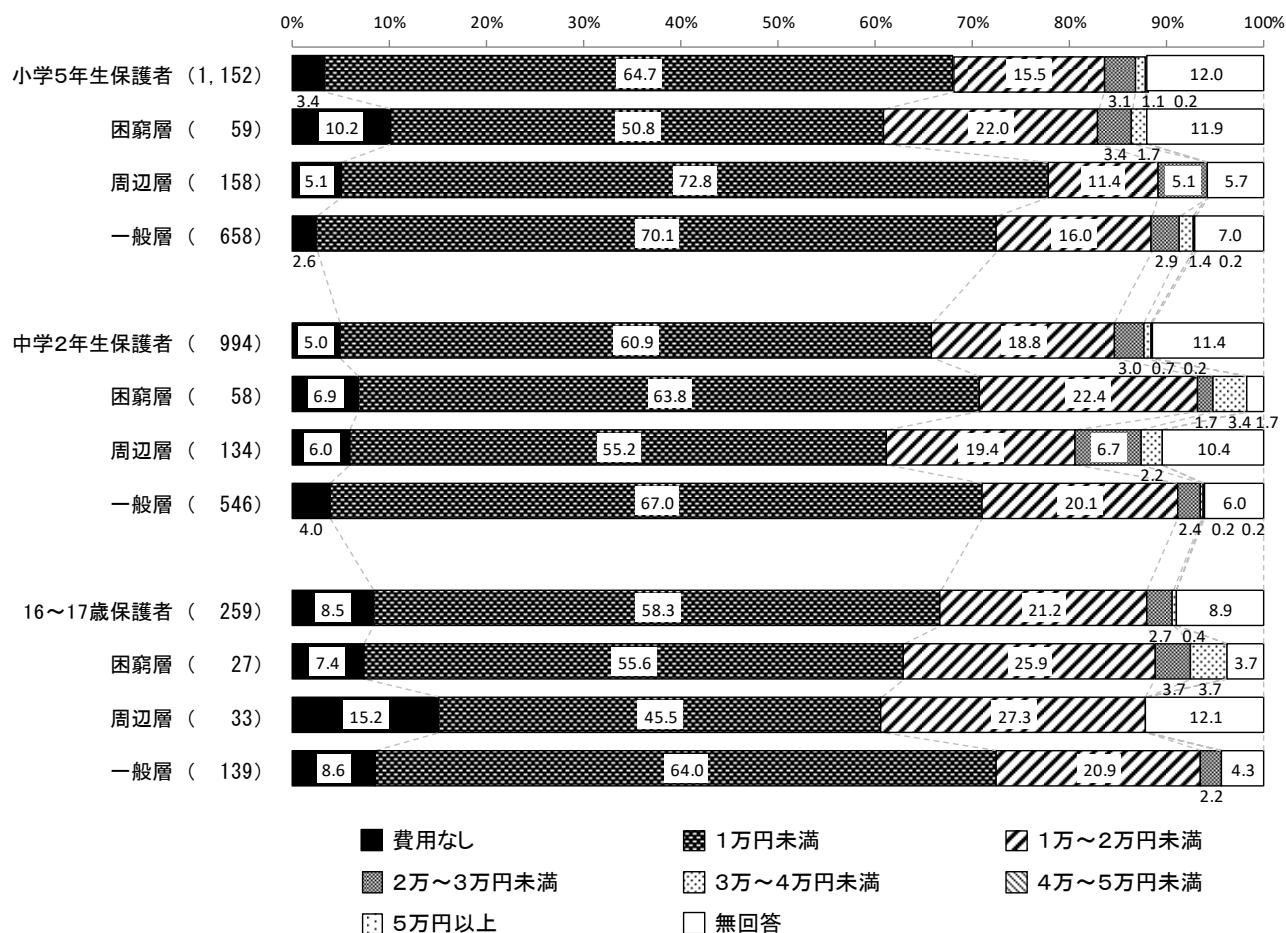
図表 2-4-2-1-5 子育てにかかる費用／子どもの昼食代、夕食代、おやつ代（外食含む）
：生活困難度別



⑥子どもの服・靴

子どもの服・靴の1か月あたりの費用について、「1万円未満」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で50.8%、周辺層で72.8%、一般層で70.1%、中学2年生の困窮層で63.8%、周辺層で55.2%、一般層で67.0%、16～17歳の困窮層で55.6%、周辺層で45.5%、一般層で64.0%となっています。

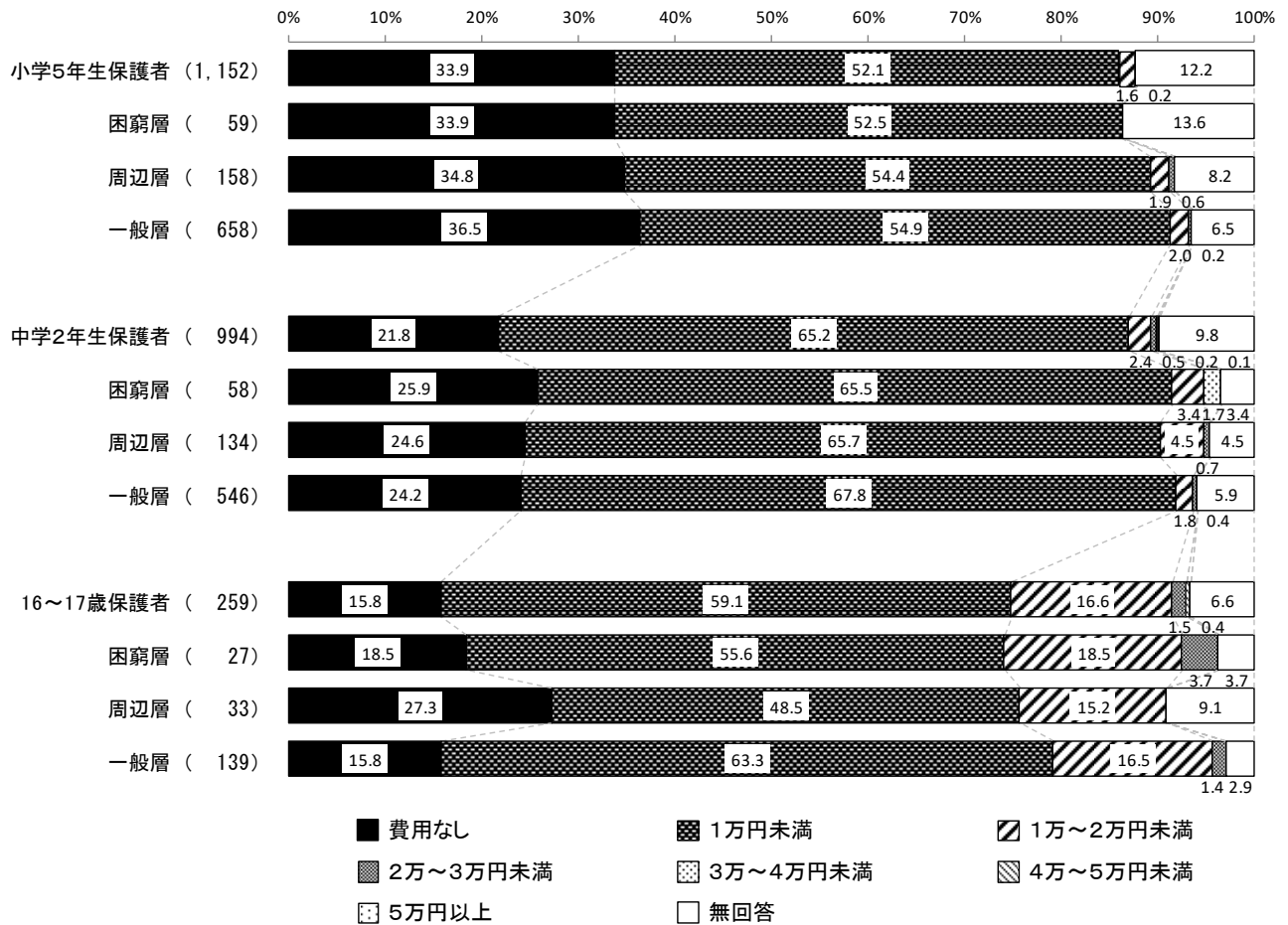
図表 2-4-2-1-6 子育てにかかる費用／子どもの服・靴：生活困難度別



⑦お小遣い

1 か月あたりのお小遣いについて、「1万円未満」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で52.5%、周辺層で54.4%、一般層で54.9%、中学2年生の困窮層で65.5%、周辺層で65.7%、一般層で67.8%、16～17歳の困窮層で55.6%、周辺層で48.5%、一般層で63.3%となっています。

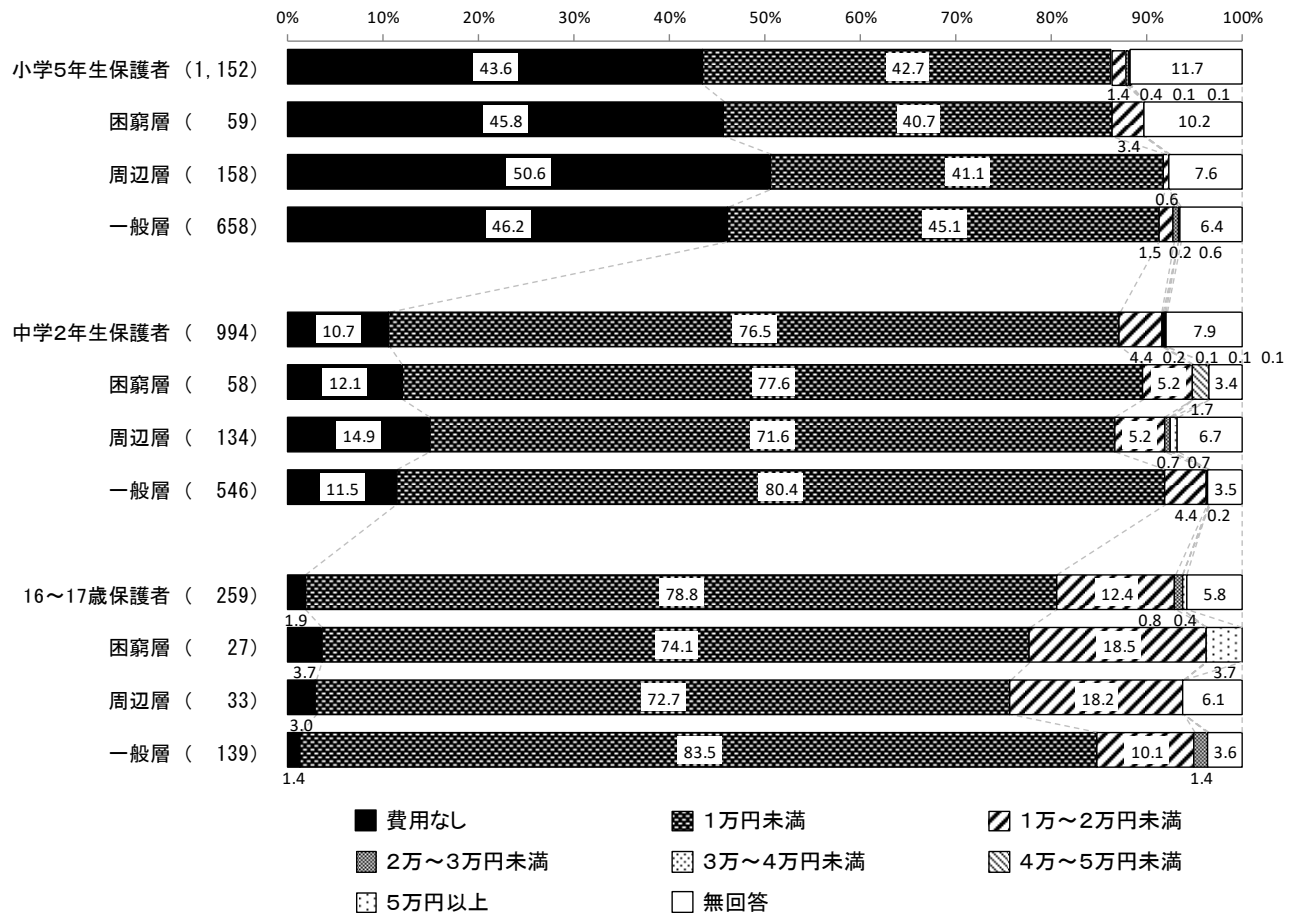
図表 2-4-2-1-7 子育てにかかる費用／お小遣い：生活困難度別



⑧（このお子さんの）携帯・スマートフォンの代金

（このお子さんの）携帯・スマートフォンの1か月あたりの代金について、「費用なし」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で45.8%、周辺層で50.6%、一般層で46.2%、「1万円未満」と回答した割合は、中学2年生の困窮層で77.6%、周辺層で71.6%、一般層で80.4%、16～17歳の困窮層で74.1%、周辺層で72.7%、一般層で83.5%となっています。

図表 2-4-2-1-8 子育てにかかる費用／（このお子さんの）携帯・スマートフォンの代金
：生活困難度別

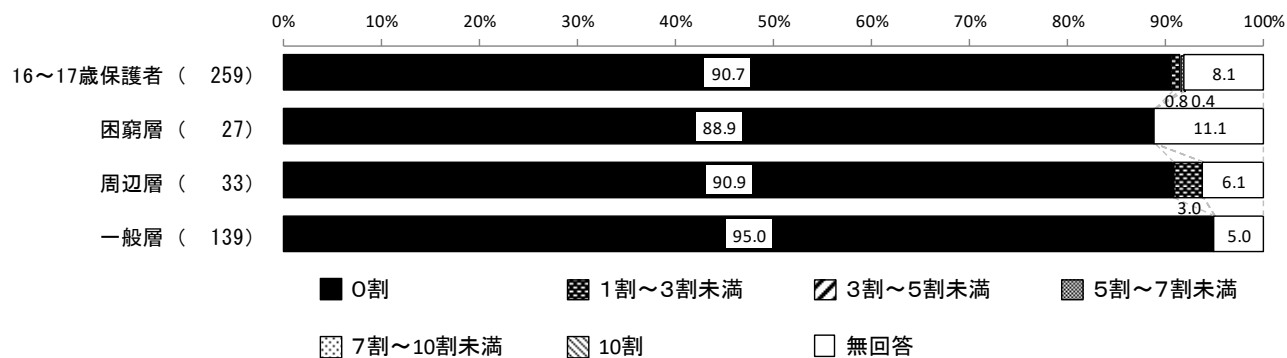


(2) 16～17歳の子どもが負担する割合

①授業料・学校納付金

16～17歳の保護者を対象とした調査では子育てにかかる費用について子どもが負担しているか、負担している場合はそのおおよその割合を聞きました。「授業料・学校納付金」の費用の負担について子どもの負担を「0割」と回答した割合は、困窮層で88.9%、周辺層で90.9%、一般層で95.0%となっています。

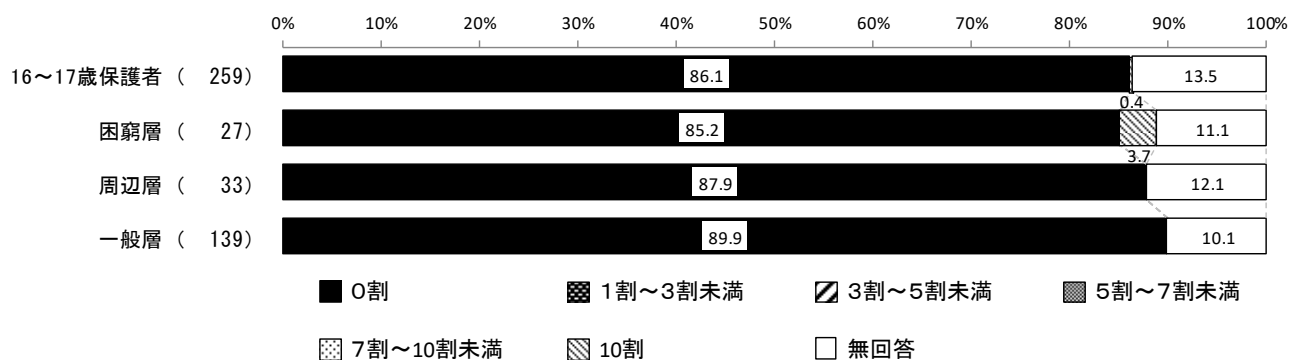
図表 2-4-2-2-1 子どもが負担する割合／授業料・学校納付金：生活困難度別



②塾など、学校外でかかる教育費

16～17歳の子どもが負担する「塾など、学校外でかかる教育費」の費用について、「0割」と回答した割合は、困窮層で85.2%、周辺層で87.9%、一般層で89.9%となっています。

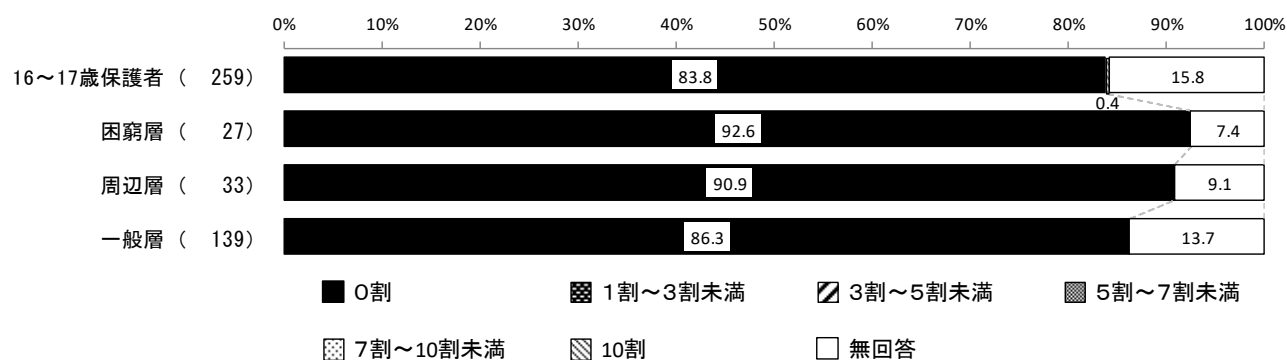
図表 2-4-2-2-2 子どもが負担する割合／塾など、学校外でかかり教育費：生活困難度別



③習い事（スポーツクラブなど以外）

16～17歳の子どもが負担する「習い事（スポーツクラブなど以外）」の費用について、「0割」と回答した割合は、困窮層で92.6%、周辺層で90.9%、一般層で86.3%となっています。

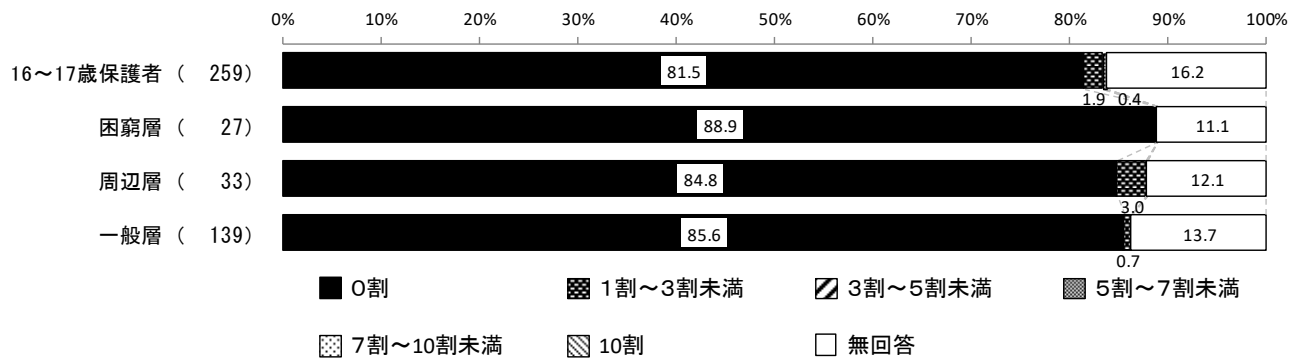
図表 2-4-2-2-3 子どもが負担する割合／習い事（スポーツクラブなど以外）：生活困難度別



④スポーツクラブ・部活

16～17 歳の子どもが負担する「スポーツクラブ・部活」の費用について、「0割」と回答した割合は、困窮層で 88.9%、周辺層で 84.8%、一般層で 85.6%となっています。

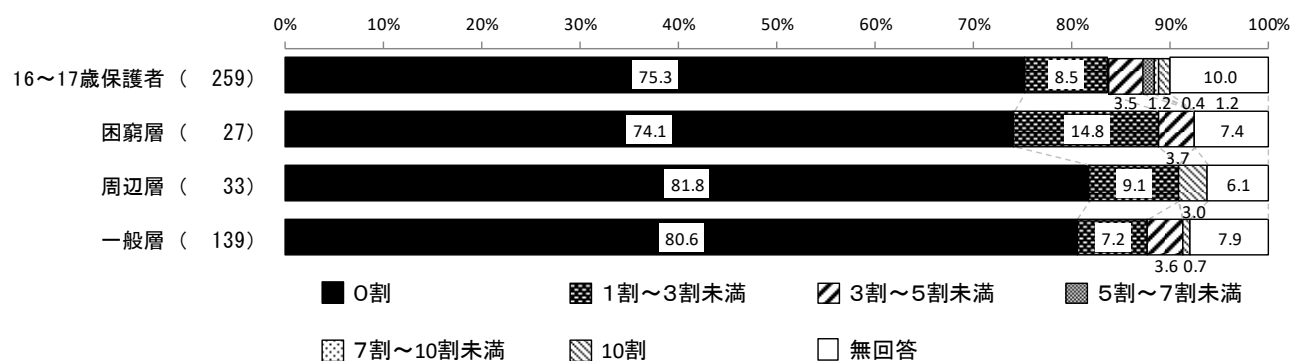
図表 2-4-2-2-4 子どもが負担する割合／スポーツクラブ・部活：生活困難度別



⑤子どもの昼食代、夕食代、おやつ代（外食含む）

16～17 歳の子どもが負担する「子どもの昼食代、夕食代、おやつ代（外食含む）」の費用について、「1割～3割未満」と回答した割合は、困窮層で 14.8%、周辺層で 9.1%、一般層で 7.2%となっています。

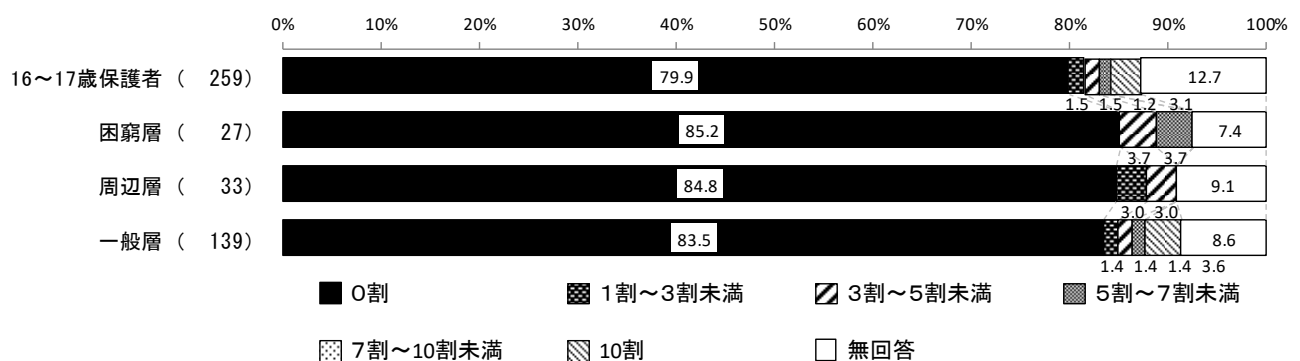
図表 2-4-2-2-5 子どもが負担する割合／子どもの昼食代、夕食代、おやつ代（外食含む）：生活困難度別



⑥子どもの服・靴

16～17 歳の子どもが負担する「子どもの服・靴」の費用について、「0割」と回答した割合は、困窮層で 85.2%、周辺層で 84.8%、一般層で 83.5%となっています。

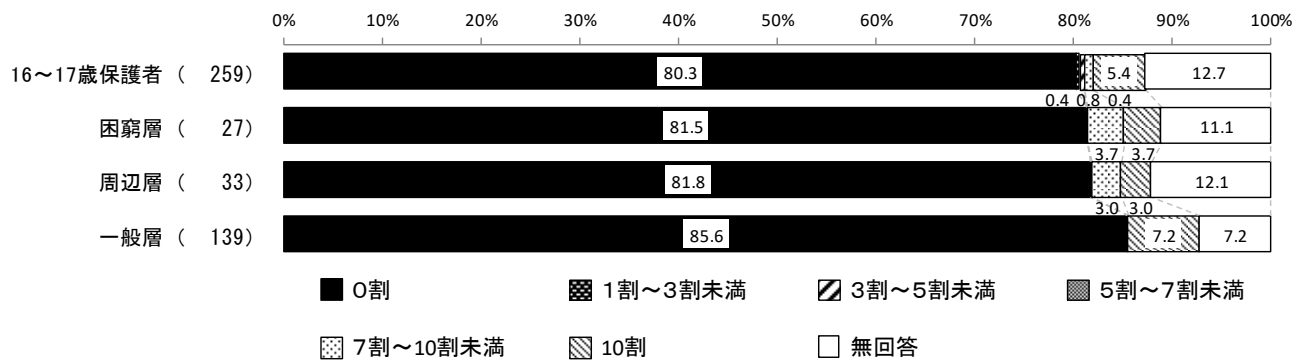
図表 2-4-2-2-6 子どもが負担する割合／子どもの服・靴：生活困難度別



⑦お小遣い

16～17 歳の子どもが負担する「お小遣い」の費用について、「10 割」と回答した割合は、困窮層で 3.7%、周辺層で 3.0%、一般層で 7.2%となっています。

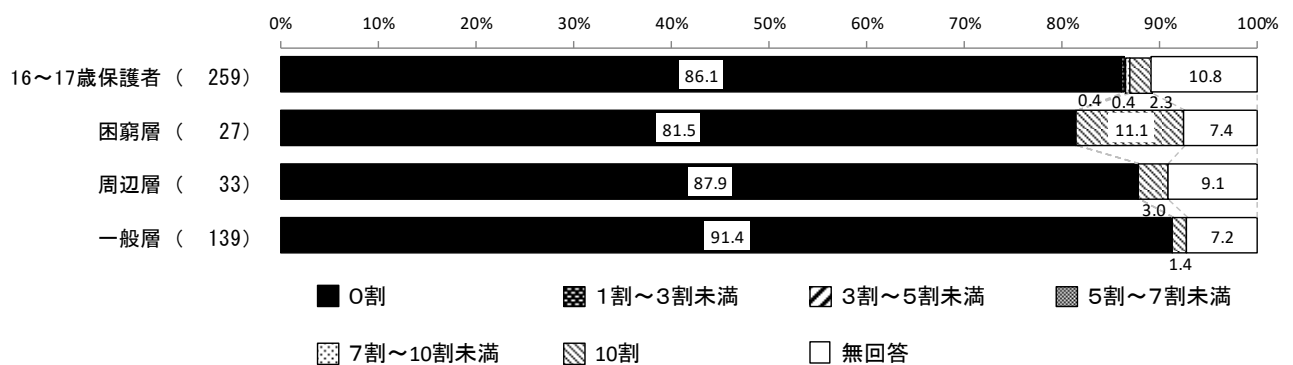
図表 2-4-2-2-7 子どもが負担する割合／お小遣い：生活困難度別



⑧（このお子さんの）携帯・スマートフォンの代金

16～17 歳の子どもが負担する「（このお子さんの）携帯・スマートフォンの代金」の費用について、「10 割」と回答した割合は、困窮層で 11.1%、周辺層で 3.0%、一般層で 1.4%となっています。

図表 2-4-2-2-8 子どもが負担する割合／（このお子さんの）携帯・スマートフォンの代金：生活困難度別



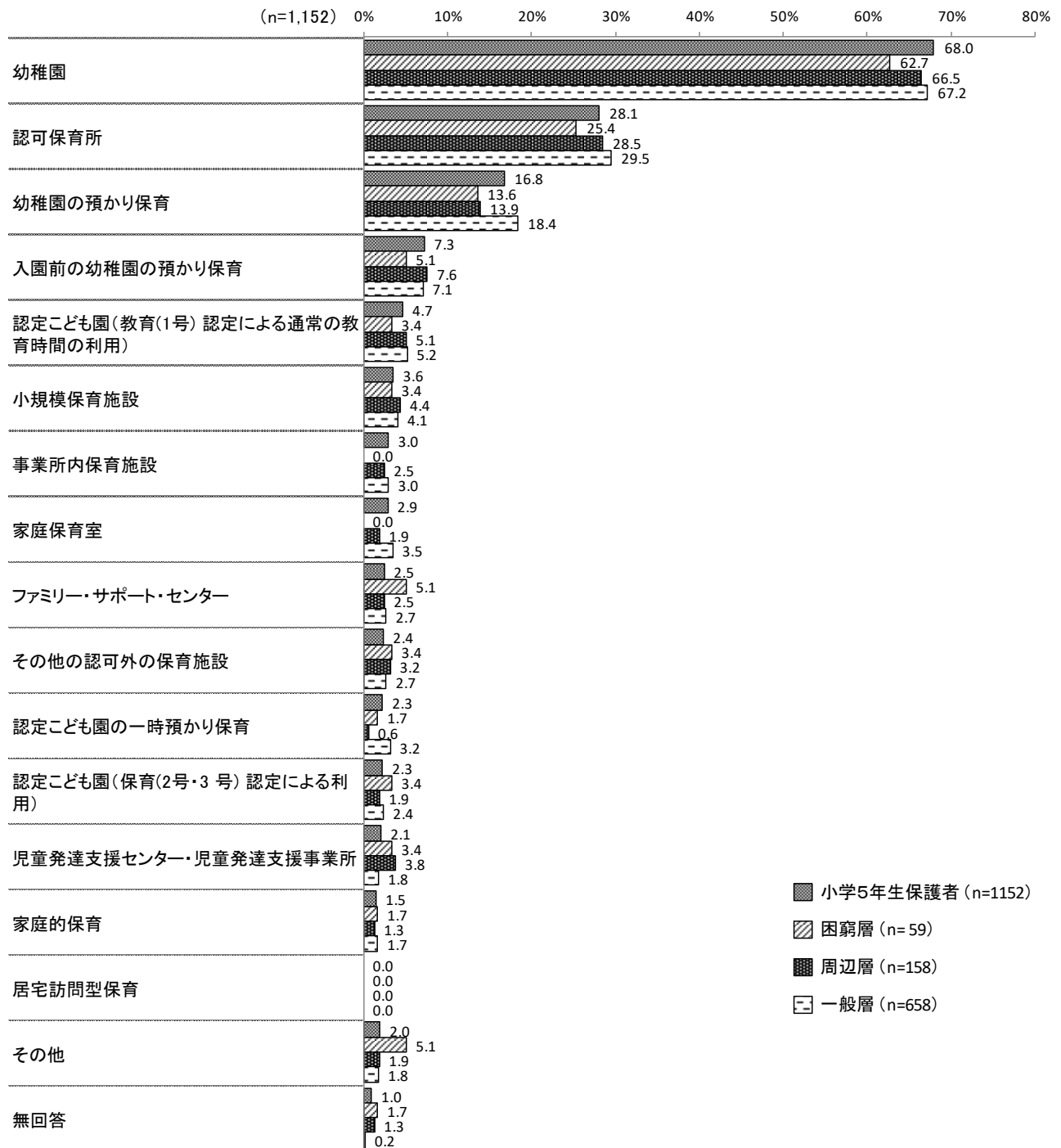
第5章 子どもの学びと学校生活

1. 学校について

(1) 子どもがこれまでに通った教育・保育施設

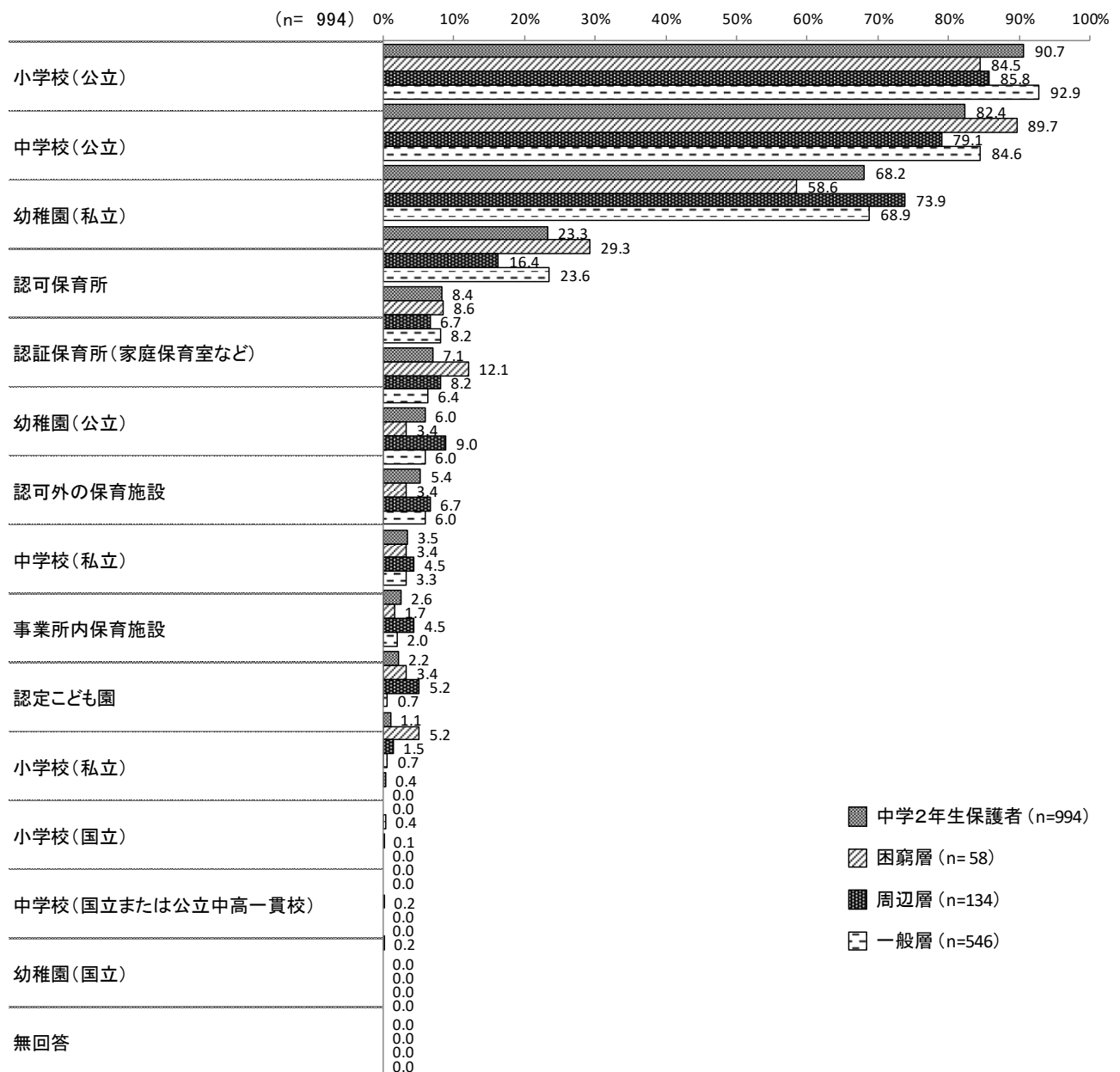
小学5年生の子どもがこれまでに通ったことがある教育・保育施設についてみると、「幼稚園」は困窮層で 62.7%、周辺層で 66.5%、一般層で 67.2%となり、「認可保育所」は困窮層で 25.4%、周辺層で 28.5%、一般層で 29.5%となっています。

図表 2-5-1-1-1 子どもがこれまでに通った教育・保育施設（複数回答）（小学5年生）
：生活困難度別



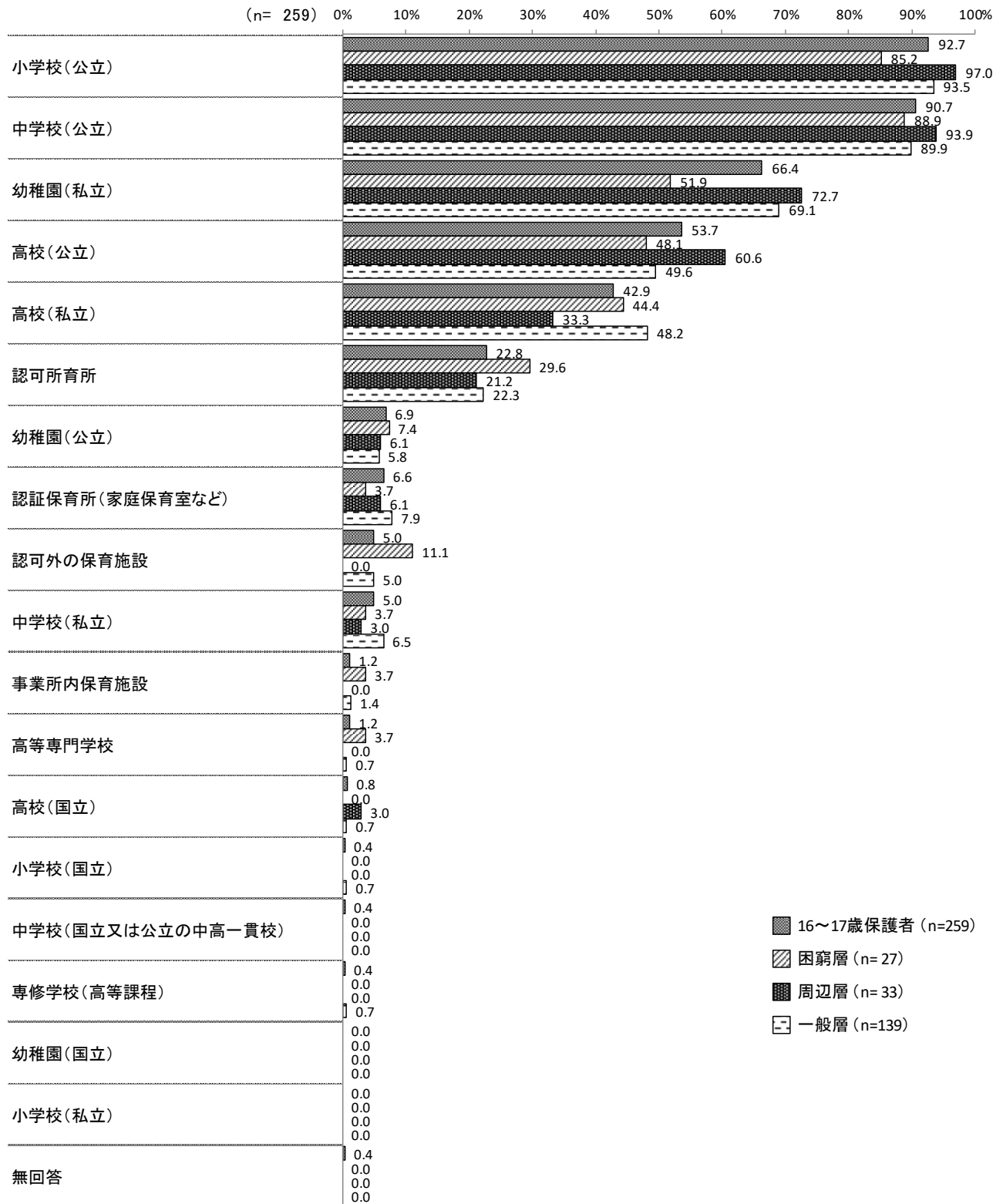
中学2年生の子どもがこれまでに通ったことがある教育・保育施設についてみると、「小学校(公立)」は困窮層で84.5%、周辺層で85.8%、一般層で92.9%となり、「中学校(公立)」は困窮層で89.7%、周辺層で79.1%、一般層で84.6%となっています。

図表 2-5-1-1-2 子どもがこれまでに通った教育・保育施設（複数回答）（中学2年生）
：生活困難度別



16～17 歳の子どもがこれまでに通ったことがある教育・保育施設についてみると、「小学校(公立)」は困窮層で 85.2%、周辺層で 97.0%、一般層で 93.5%となり、「中学校(公立)」は困窮層で 88.9%、周辺層で 93.9%、一般層で 89.9%となっています。

図表 2-5-1-1-3 子どもがこれまでに通った教育・保育施設（複数回答）（16～17 歳）
：生活困難度別

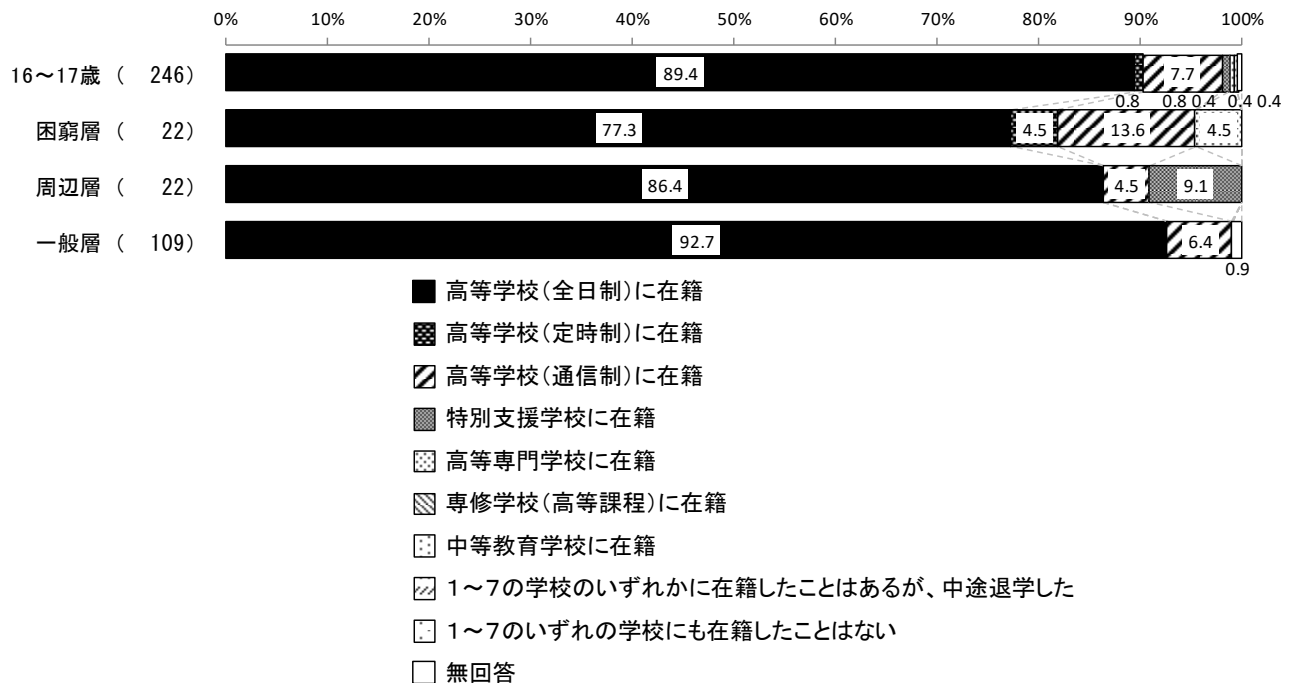


(2) 16～17歳の就学の状況

①在籍している学校

現在、在籍している状況について、「高等学校（全日制）に在籍」と回答した割合は、困窮層で77.3%、周辺層で86.4%、一般層で92.7%となっています。

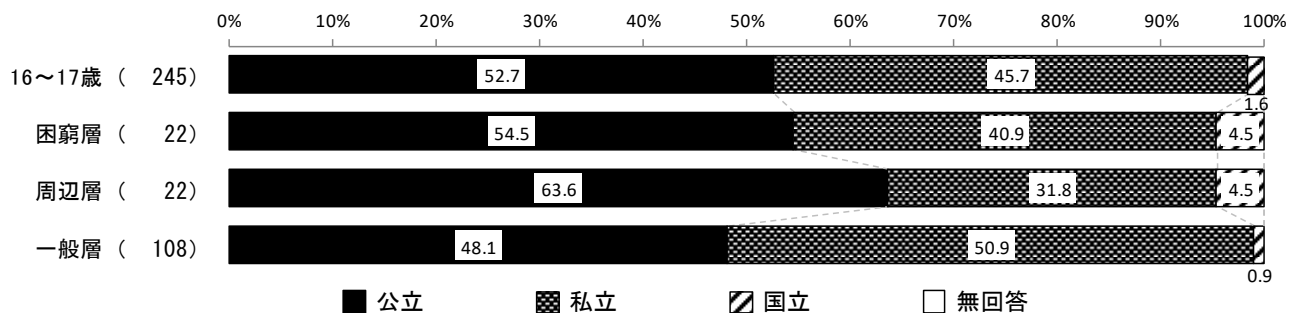
図表 2-5-1-2-1 在籍している学校：生活困難度別



②在籍している（していた）学校の種類

在籍している（していた）学校の種類について、「公立」は、困窮層で54.5%、周辺層で63.6%、一般層で48.1%、「私立」は、困窮層で40.9%、周辺層で31.8%、一般層で50.9%、「国立」は、困窮層で4.5%、周辺層で4.5%、一般層で0.9%となっています。

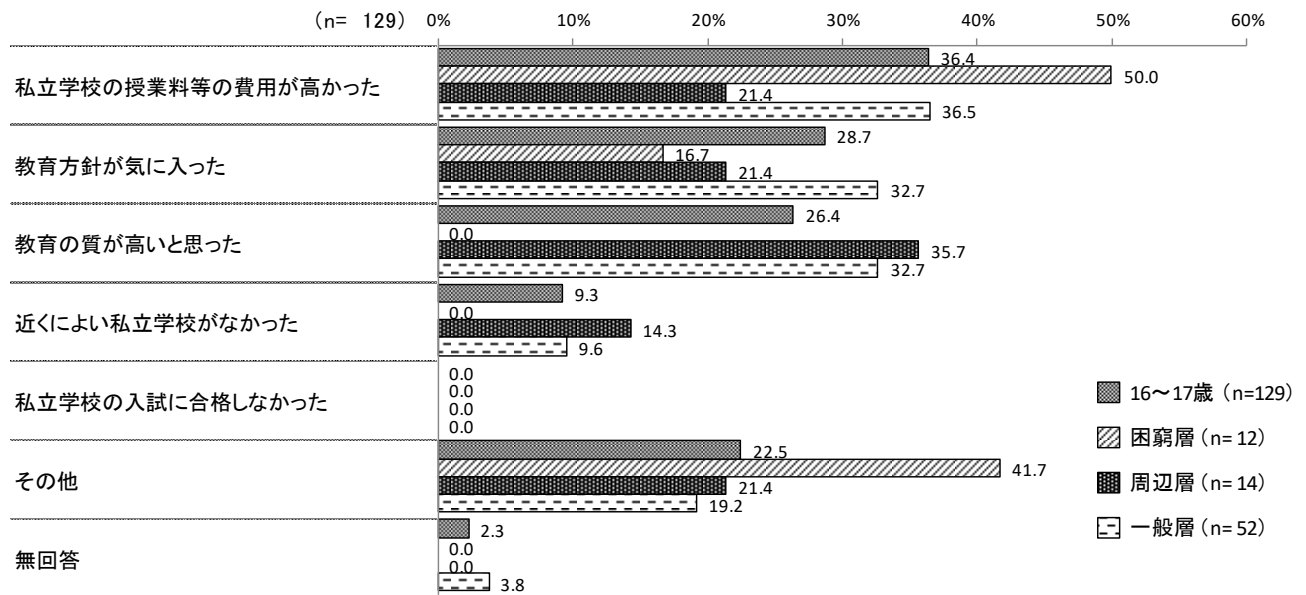
図表 2-5-1-2-2 在籍している（していた）学校の種類：生活困難度別



③公立の学校に進学した理由

公立の学校に進学した理由について複数回答で聞いたところ、「私立学校の授業料等の費用が高かった」は、困窮層で50.0%、周辺層で21.4%、一般層で36.5%となっています。

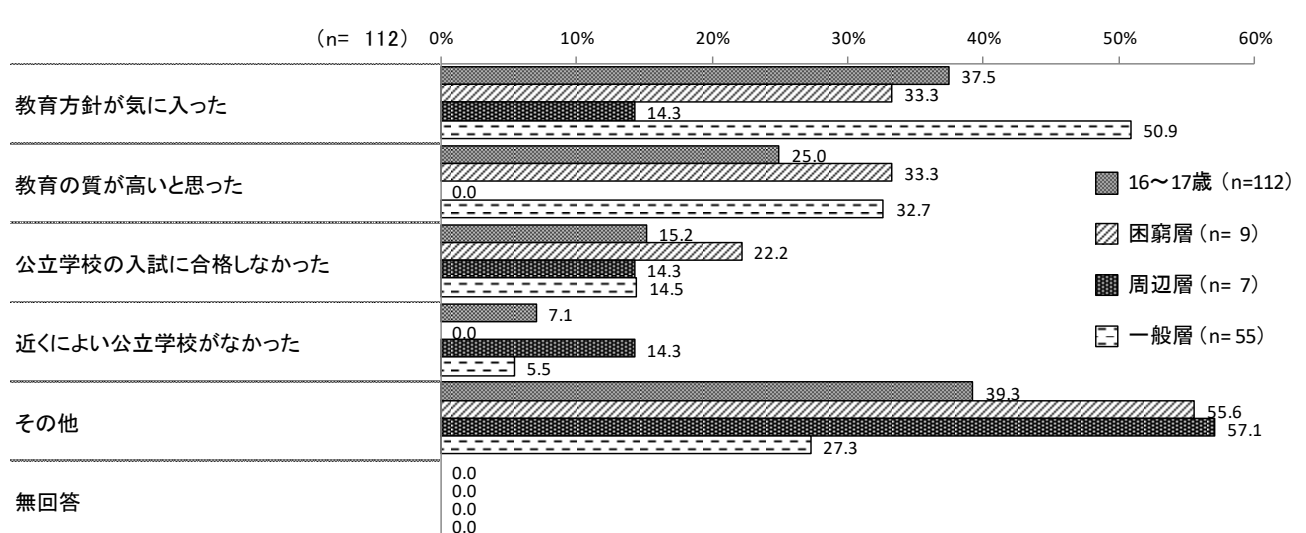
図表 2-5-1-2-3 公立の学校に進学した理由（複数回答）：生活困難度別



④私立の学校に進学した理由

私立の学校に進学した理由について複数回答で聞いたところ、「教育方針が気に入った」は、困窮層で33.3%、周辺層で14.3%、一般層で50.9%となっています。

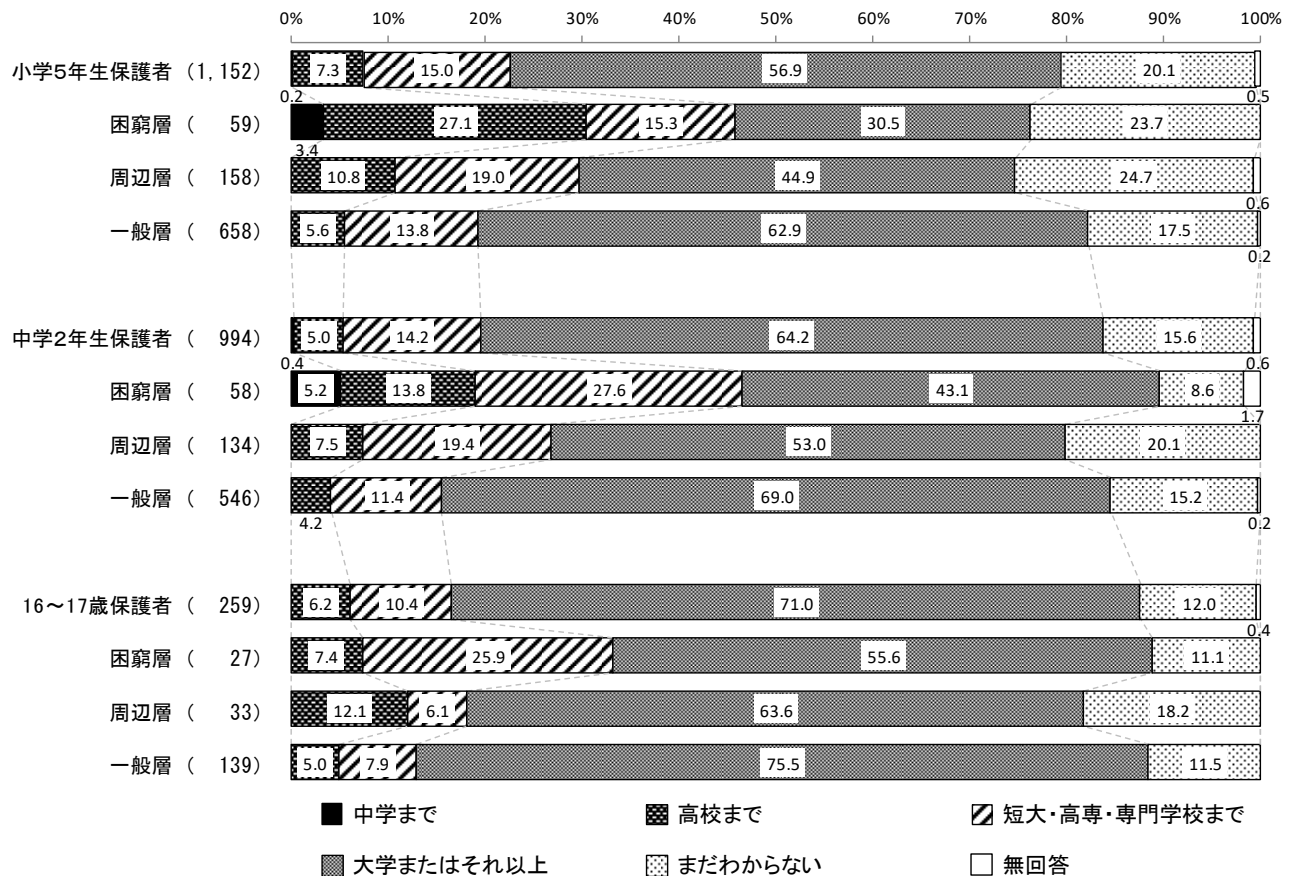
図表 2-5-1-2-4 私立の学校に進学した理由（複数回答）：生活困難度別



(3) 子どもに希望する進学段階

子どもに希望する進学段階について、「大学またはそれ以上」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で30.5%、周辺層で44.9%、一般層で62.9%、中学2年生の困窮層で43.1%、周辺層で53.0%、一般層で69.0%、16～17歳の困窮層で55.6%、周辺層で63.6%、一般層で75.5%となっています。

図表 2-5-1-3 子どもに希望する進学段階：生活困難度別

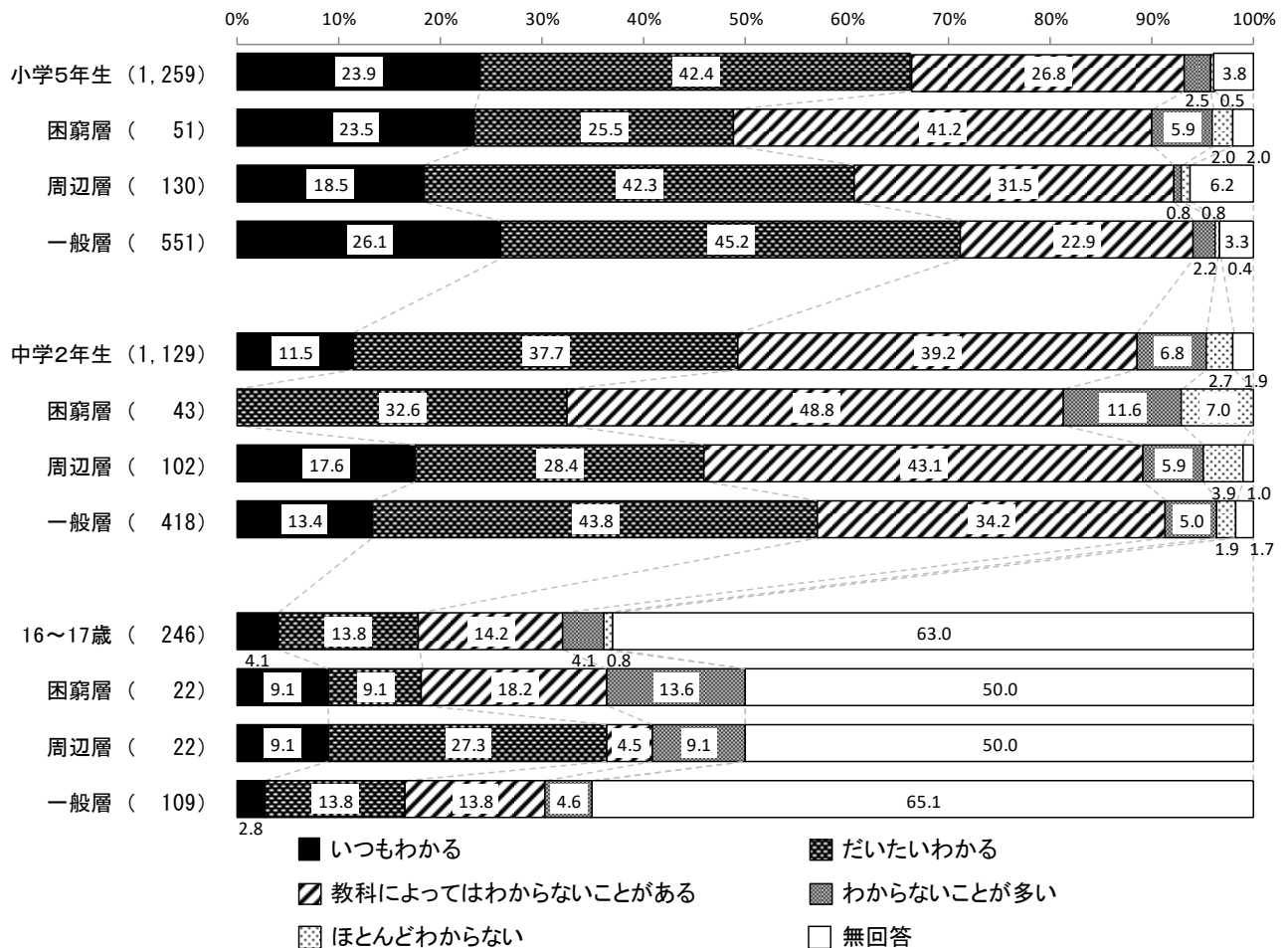


2. 授業の理解度や学習の状況

(1) 授業の理解度

学校の授業の理解度について、「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」を合わせた『わからない』の割合は、小学5年生の困窮層で 49.1%、周辺層で 33.1%、一般層で 25.5%、中学2年生の困窮層で 67.4%、周辺層で 52.9%、一般層で 41.1%、16～17歳の困窮層で 31.8%、周辺層で 13.6%、一般層で 18.4%となっています。

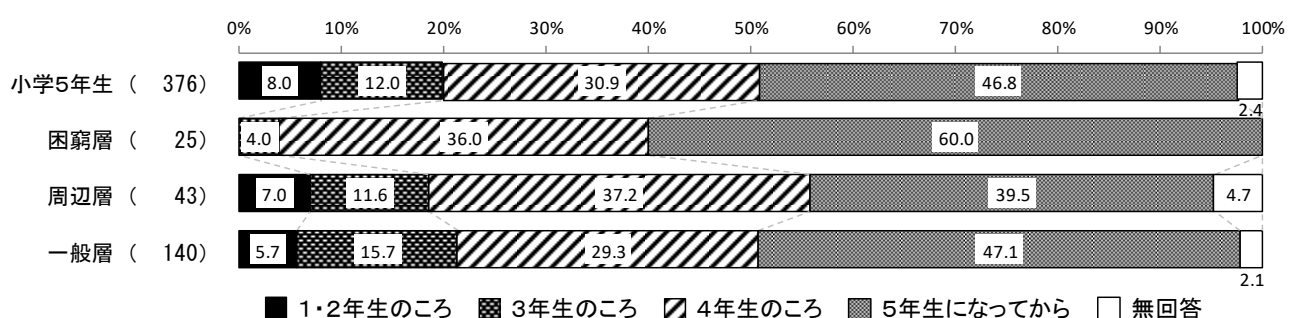
図表 2-5-2-1 授業の理解度：生活困難度別



(2) 授業がわからなくなった時期

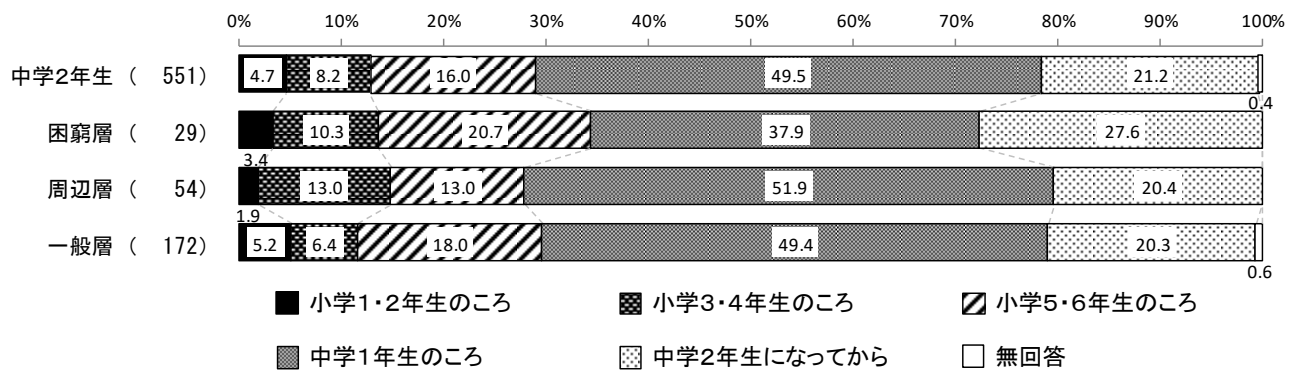
小学5年生の授業がわからなくなった時期について、いずれの層でも「5年生になってから」と回答した割合が最も高く、困窮層では 60.0%と高くなっています。

図表 2-5-2-2-1 授業がわからなくなった時期（小学5年生）：生活困難度別



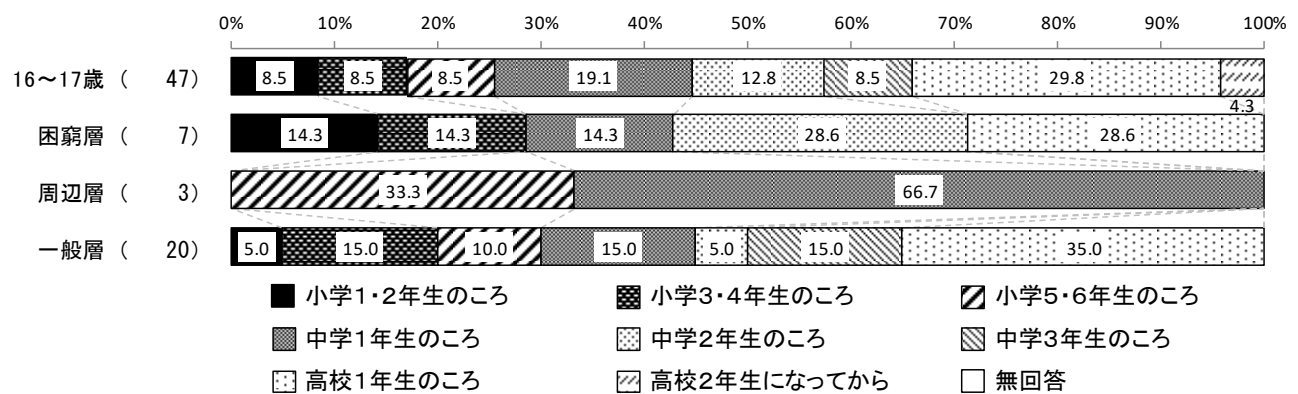
中学2年生の授業がわからなくなった時期について、「中学1年生のころ」と回答した割合は、困窮層で37.9%、周辺層で51.9%、一般層で49.4%となっています。

図表 2-5-2-2-2 授業がわからなくなった時期（中学2年生）：生活困難度別



16～17歳の授業がわからなくなった時期について、全体では「中学2年生のころ」と回答した割合が29.8%で最も高いが、周辺層では「中学1年生のころ」が66.7%と最も高くなっています。

図表 2-5-2-2-3 授業がわからなくなった時期（16～17歳）：生活困難度別

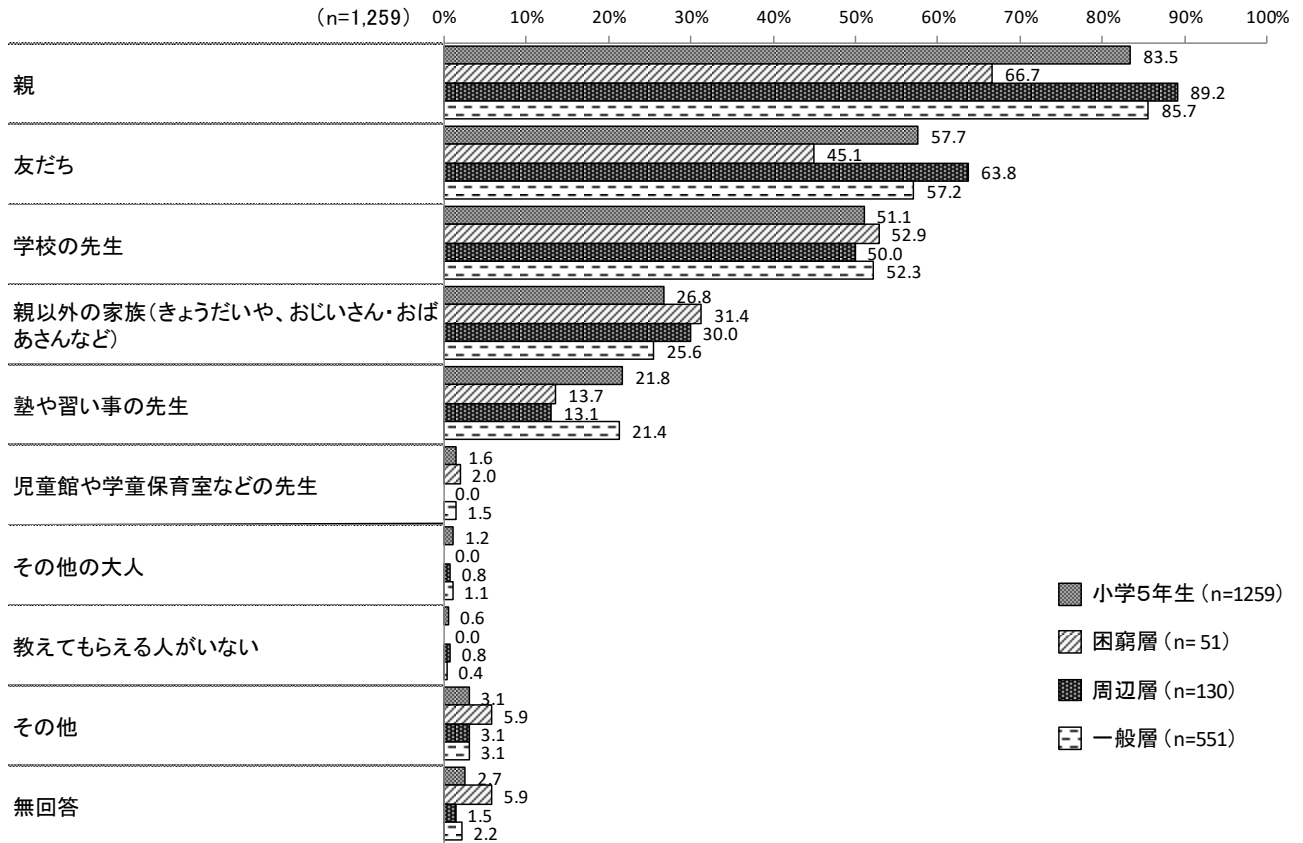


3. 学校外での学習・勉強の状況

(1) 勉強を教えてくれる人

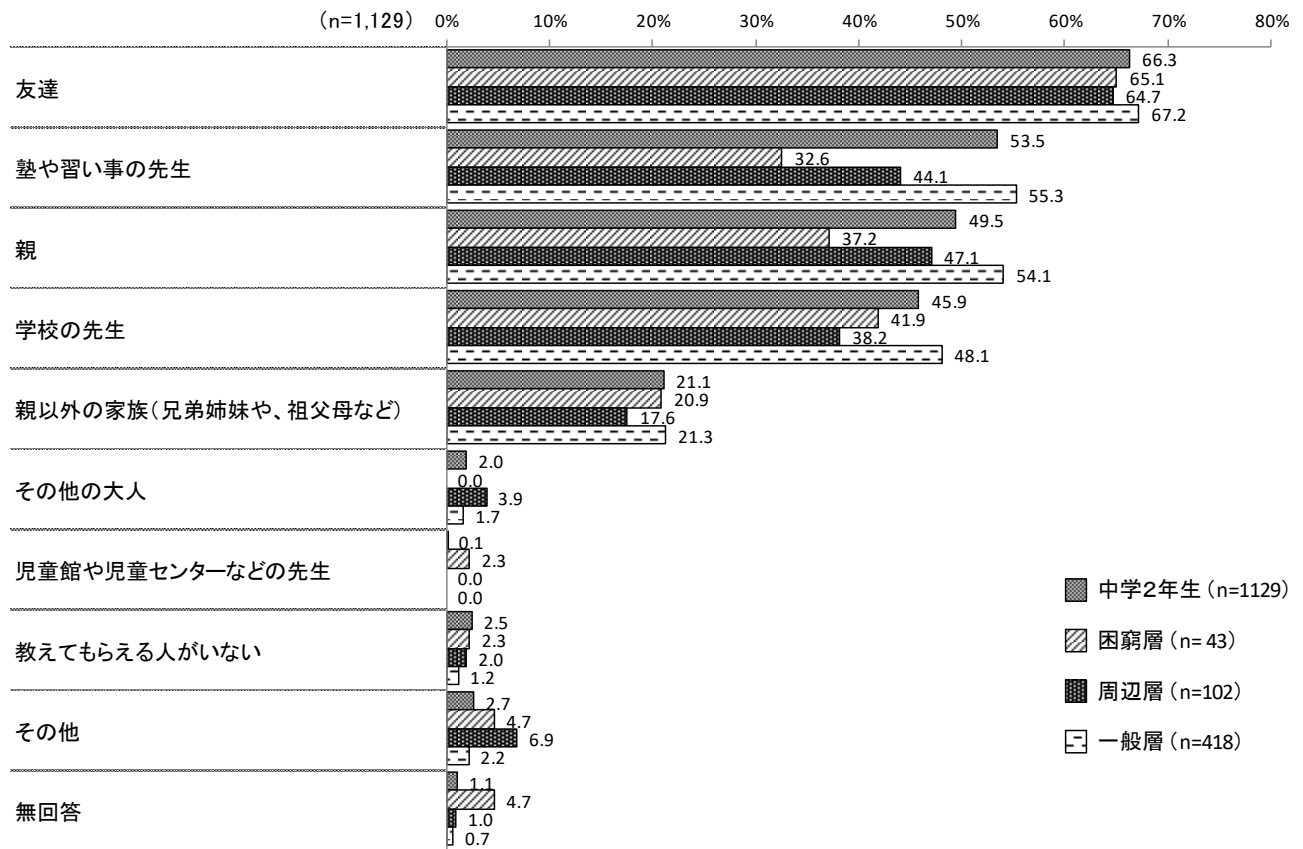
小学5年生に勉強を教えてくれる人について複数回答で聞いたところ、「親」と回答した割合は、困窮層で 66.7%、周辺層で 89.2%、一般層で 85.7%となっています。「友だち」と回答した割合は、困窮層で 45.1%、周辺層で 63.8%、一般層で 57.2%となっています。

図表 2-5-3-1-1 勉強を教えてくれる人（複数回答）（小学5年生）：生活困難度別



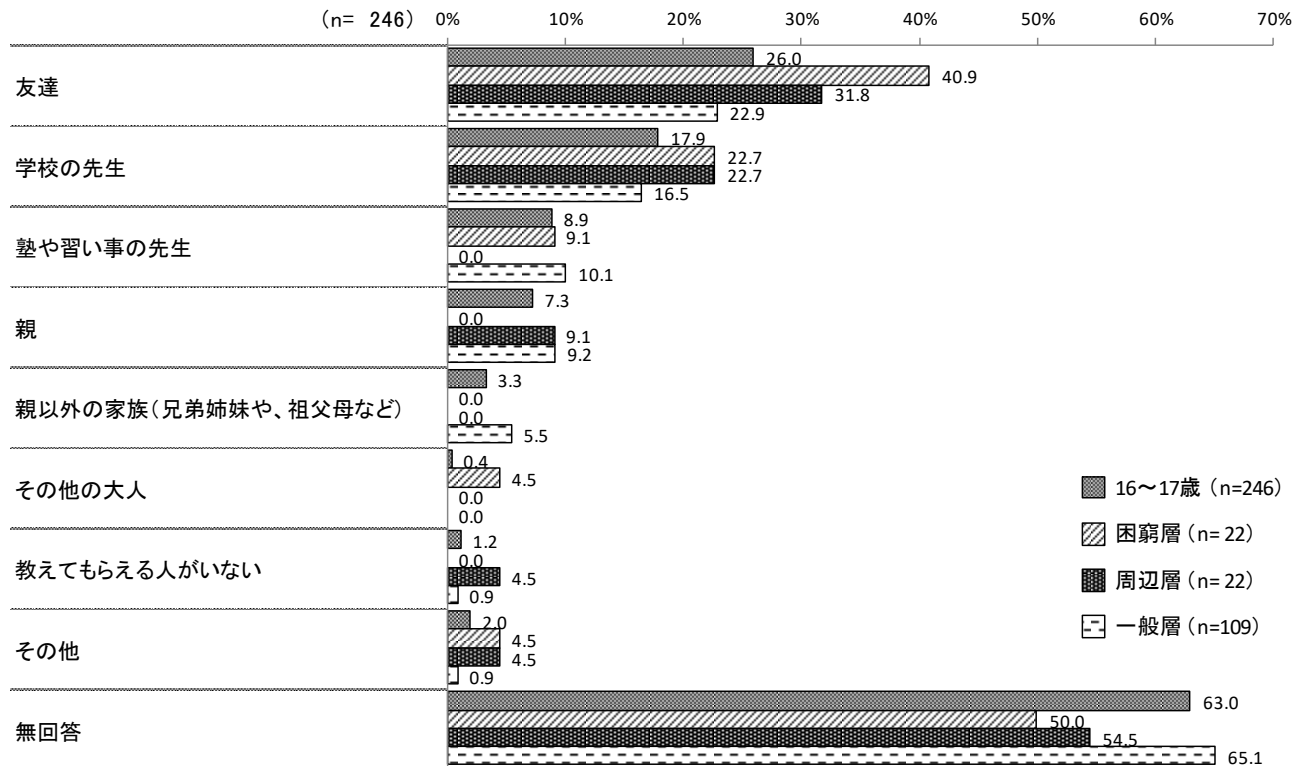
中学2年生に勉強を教えてくれる人について複数回答で聞いたところ、「友だち」と回答した割合は、困窮層で 65.1%、周辺層で 64.7%、一般層で 67.2%となっています。「塾や習い事の先生」と回答した割合は、困窮層で 32.6%、周辺層で 44.1%、一般層で 55.3%となっています。

図表 2-5-3-1-2 勉強を教えてくれる人（複数回答）（中学2年生）：生活困難度別



16～17 歳に勉強を教えてくれる人について複数回答で聞いたところ、「友だち」と回答した割合は、困窮層で 40.9%、周辺層で 31.8%、一般層で 22.9%となっています。「学校の先生」と回答した割合は、困窮層、周辺層ともに同率で 22.7%、一般層で 16.5%となっています。

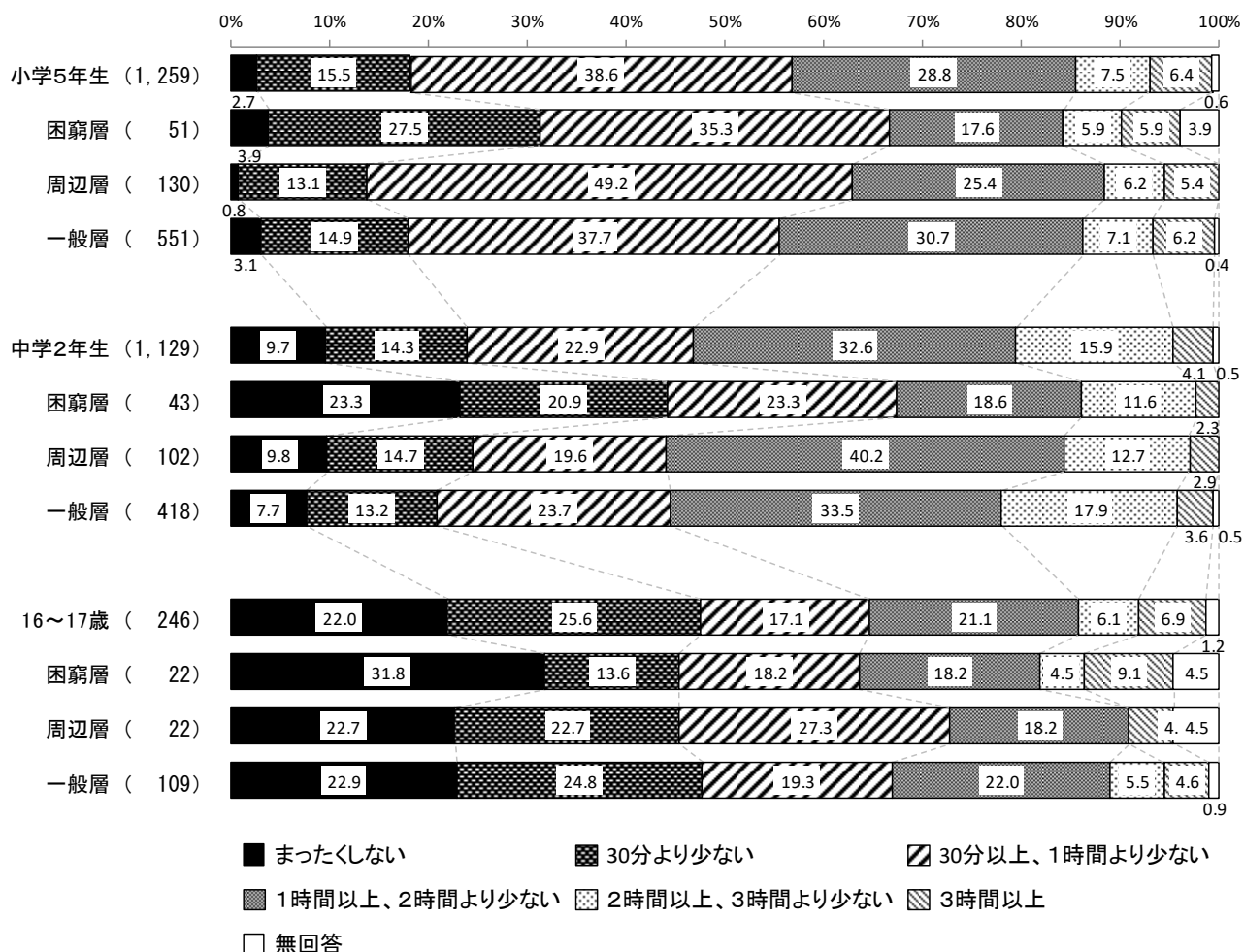
図表 2-5-3-1-3 勉強を教えてくれる人（複数回答）（16～17 歳）：生活困難度別



(2) 学校の授業以外での勉強時間

学校の授業以外での勉強時間について、「30分以上、1時間より少ない」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で35.3%、周辺層で49.2%、一般層で37.7%、「1時間以上、2時間より少ない」と回答した割合は、中学2年生の困窮層で18.6%、周辺層で40.2%、一般層で33.5%、「30分より少ない」と回答した割合は、16～17歳の困窮層で13.6%、周辺層で22.7%、一般層で24.8%となっています。

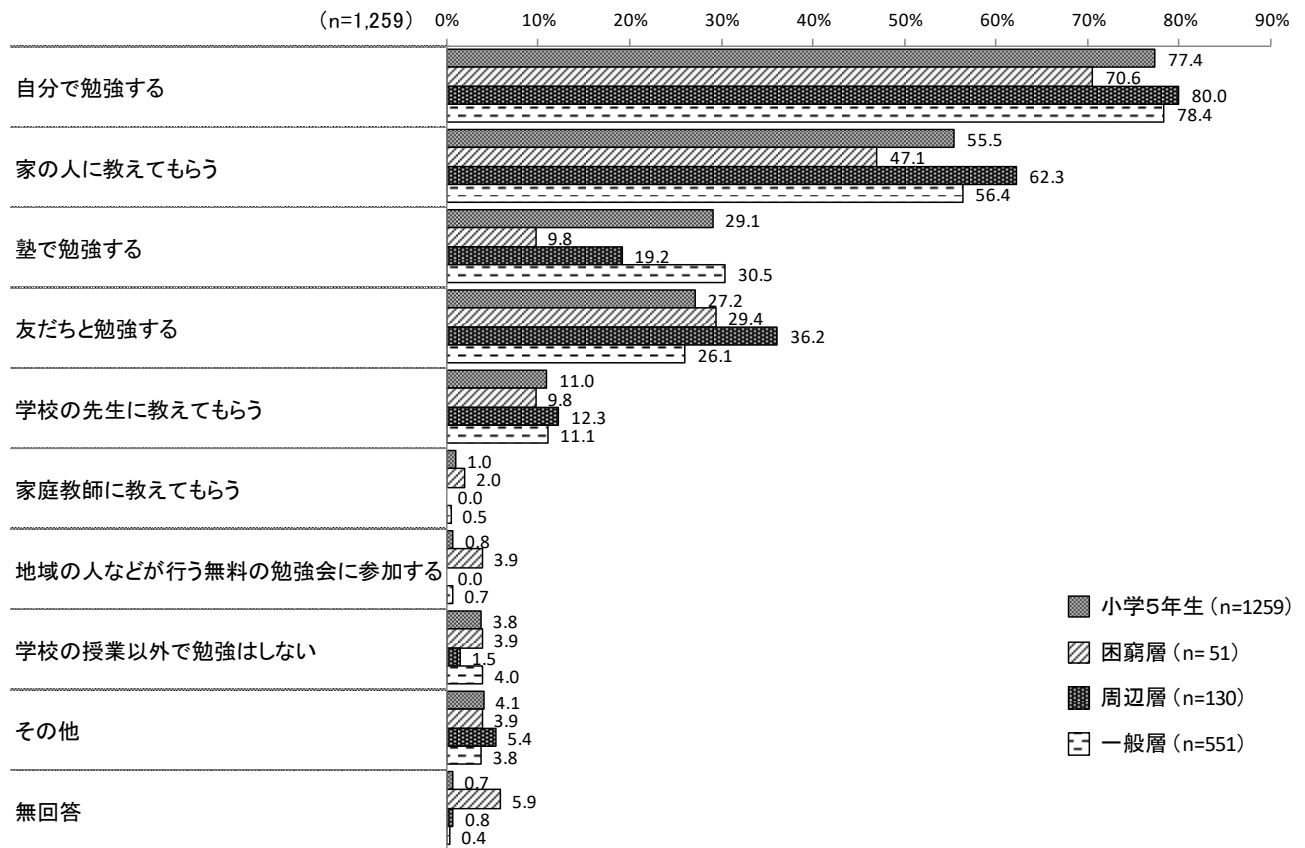
図表 2-5-3-2 学校の授業以外での勉強時間：生活困難度別



(3) 学校の授業以外での勉強方法

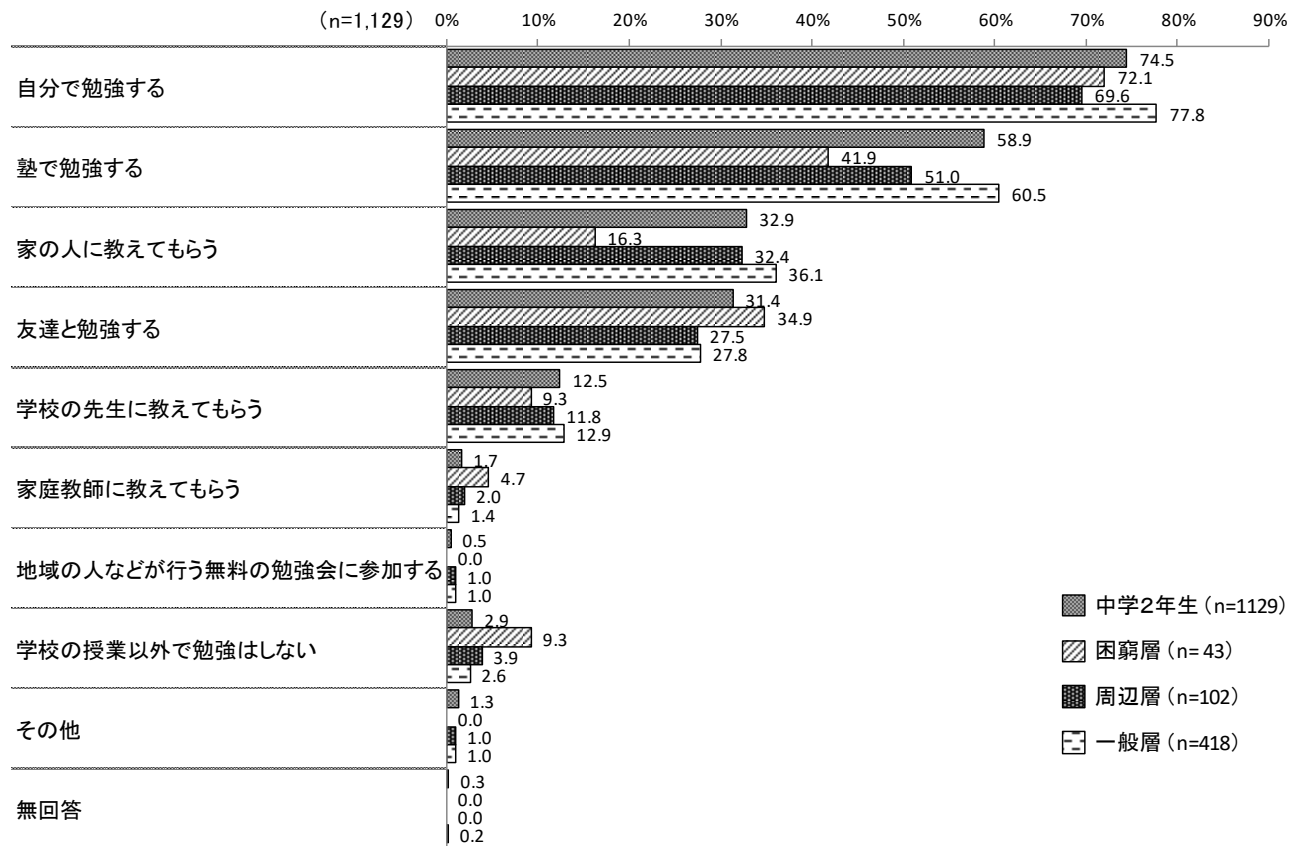
小学5年生に学校の授業以外での勉強方法について複数回答で聞いたところ、「自分で勉強する」と回答した割合は、困窮層で70.6%、周辺層で80.0%、一般層で78.4%となっています。

図表 2-5-3-3-1 学校の授業以外での勉強方法（複数回答）（小学5年生）：生活困難度別



中学2年生に学校の授業以外での勉強方法について複数回答で聞いたところ、「自分で勉強する」と回答した割合は、困窮層で72.1%、周辺層で69.6%、一般層で77.8%となっています。

図表 2-5-3-3-2 学校の授業以外での勉強方法（複数回答）（中2年生）：生活困難度別

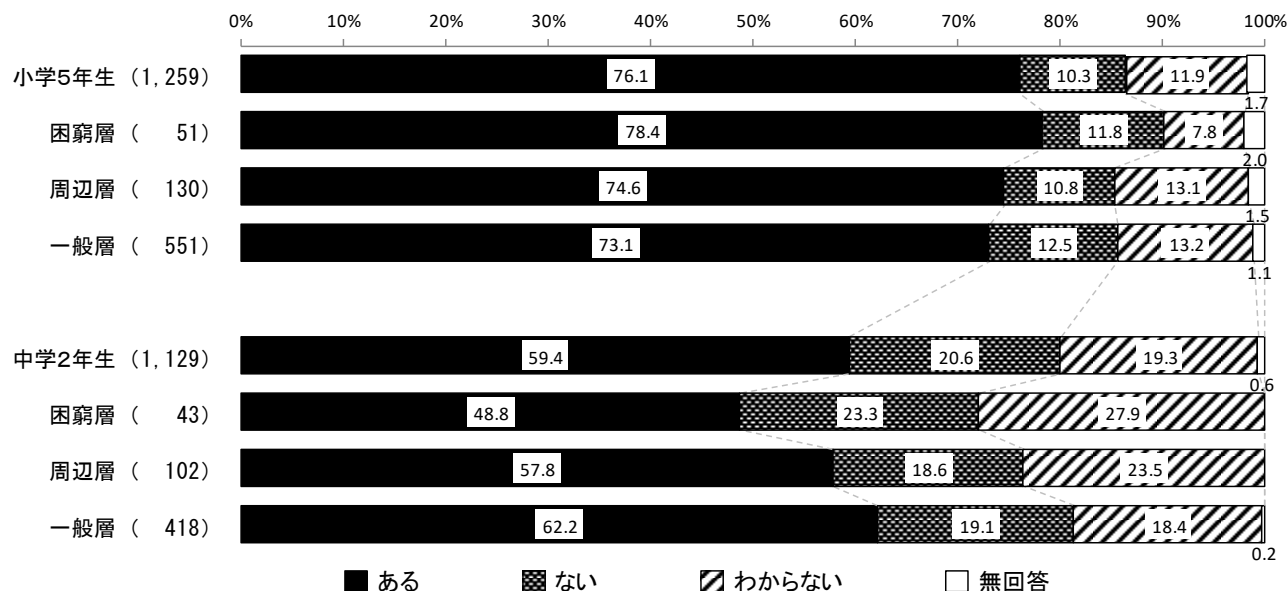


4. 将来の夢について

(1) 将来の夢の有無

将来の夢について、「ある」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で78.4%、周辺層で74.6%、一般層で73.1%、中学2年生の困窮層で48.8%、周辺層で57.8%、一般層で62.2%となっています。

図表 2-5-4-1 将来の夢の有無：生活困難度別



(2) 将来の夢

将来の夢が「ある」と回答した人に、その夢の内容を自由記入形式で聞いたところ、年齢層別の上位5項目は以下の内容となっています。

図表 2-5-4-2 将来の夢の内容

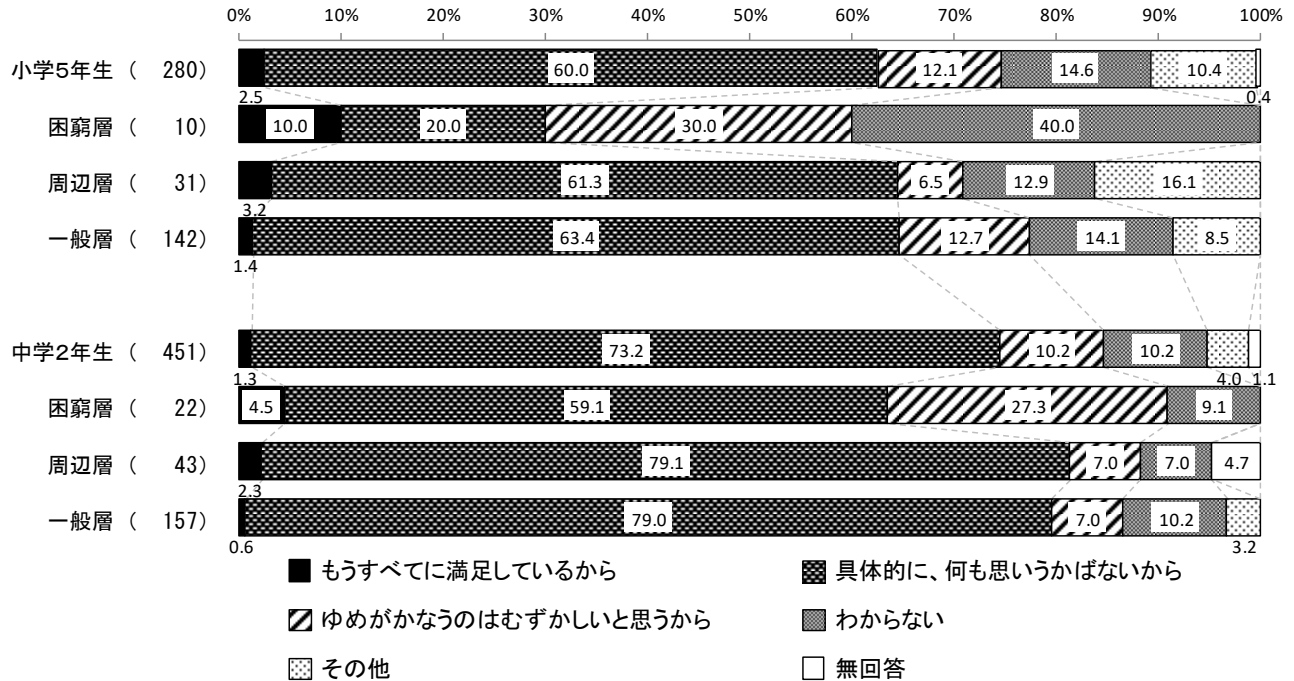
小学5年生	
1位 サッカー選手	56 件
2位 YouTuber	50 件
3位 医者	43 件
4位 野球(ソフトボール)選手	40 件
5位 イラストレーター	37 件

中学2年生	
1位 教師	54 件
2位 お金持ち	40 件
3位 サッカー選手・サッカー関連	28 件
4位 ゲーマー・プログラマー	23 件
5位 医者	22 件

(3) 将来の夢がない理由

将来の夢がない理由について、「具体的に、何も思いうかばないから」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で20.0%、周辺層で61.3%、一般層で63.4%、中学2年生の困窮層で59.1%、周辺層で79.1%、一般層で79.0%となっています。

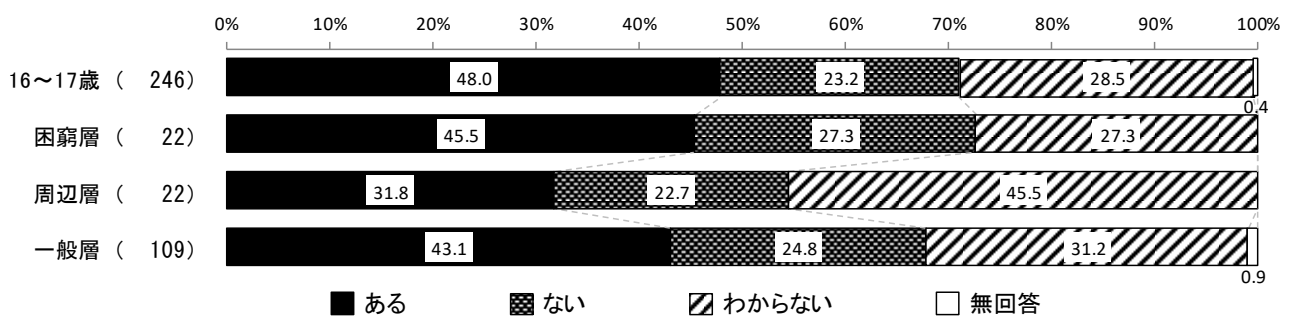
図表 2-5-4-3 将来の夢がない理由：生活困難度別



(4) 将来なりたい職業の有無

16～17歳が将来なりたい職業について「ある」と回答した割合は、困窮層で45.5%、周辺層で31.8%、一般層で43.1%となっています。

図表 2-5-4-4 将来なりたい職業の有無：生活困難度別



（５）将来なりたい職業

将来なりたい職業が「ある」と回答した人に、その職業を自由記入形式で聞いたところ、上位５項目は以下の内容となっています。

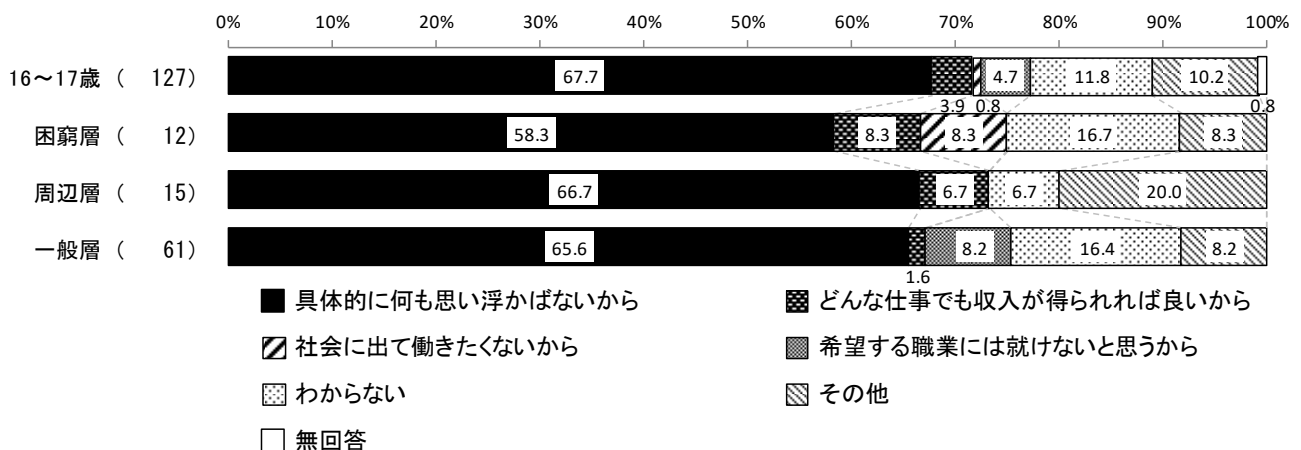
図表 2-5-4-5 将来なりたい職業

1 位 教師	19 件
2 位 公務員	8 件
3 位 システムエンジニア（同率）	7 件
3 位 看護師（同率）	7 件
5 位 医師	6 件

（６）なりたい職業がない理由

将来なりたい職業がない理由について、「具体的に何も思い浮かばないから」と回答した割合は、困窮層で 58.3%、周辺層で 66.7%、一般層で 65.6%となっています。

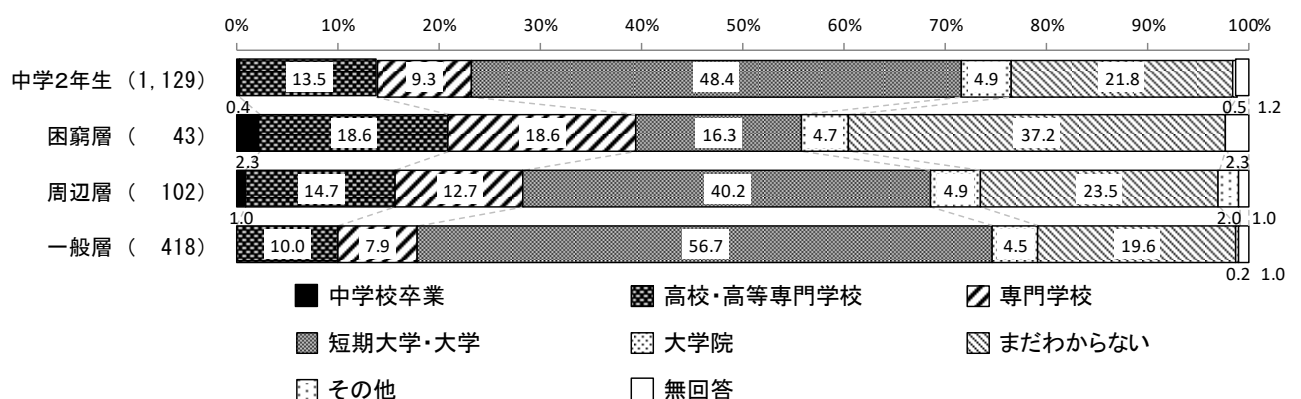
図表 2-5-4-6 なりたい職業がない理由：生活困難度別



（７）中学生の将来の進学希望

中学２年生の将来の進学希望について、「短期大学・大学」と回答した割合は、困窮層で 16.3%、周辺層で 40.2%、一般層で 56.7%となっています。「高校・高等専門学校」と回答した割合は、困窮層で 18.6%、周辺層で 14.7%、一般層で 10.0%となっています。

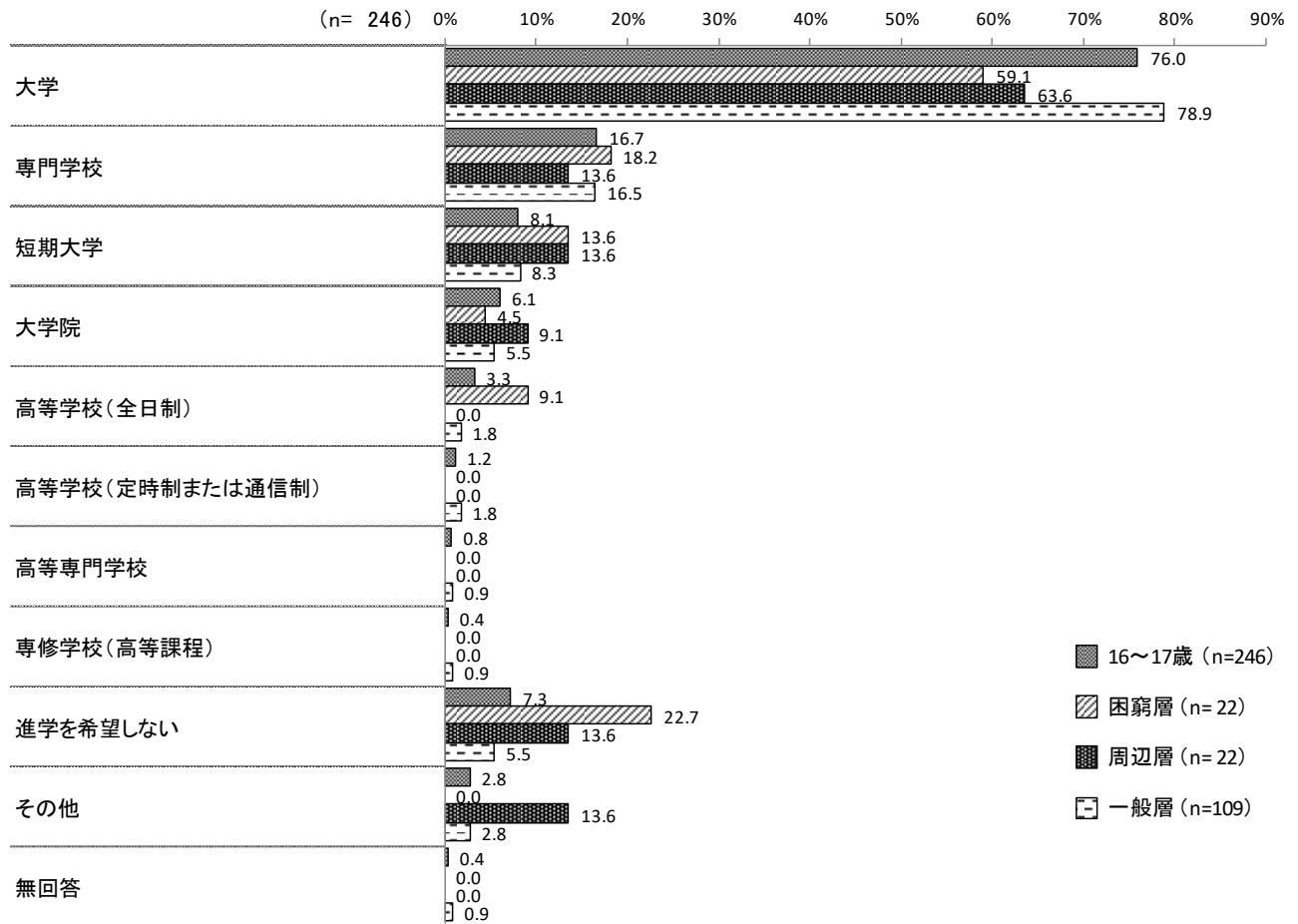
図表 2-5-4-7 中学生の将来の進学希望：生活困難度別



(8) 16～17歳の今後の進学希望

16～17 歳に今後の進学希望について複数回答で聞いたところ、「大学」と回答した割合は、困窮層で 59.1%、周辺層で 63.6%、一般層で 78.9%となっています。「専門学校」と回答した割合は、困窮層で 18.2%、周辺層で 13.6%、一般層で 16.5%となっています。

図表 2-5-4-8 16～17 歳の今後の進学希望（複数回答）：生活困難度別



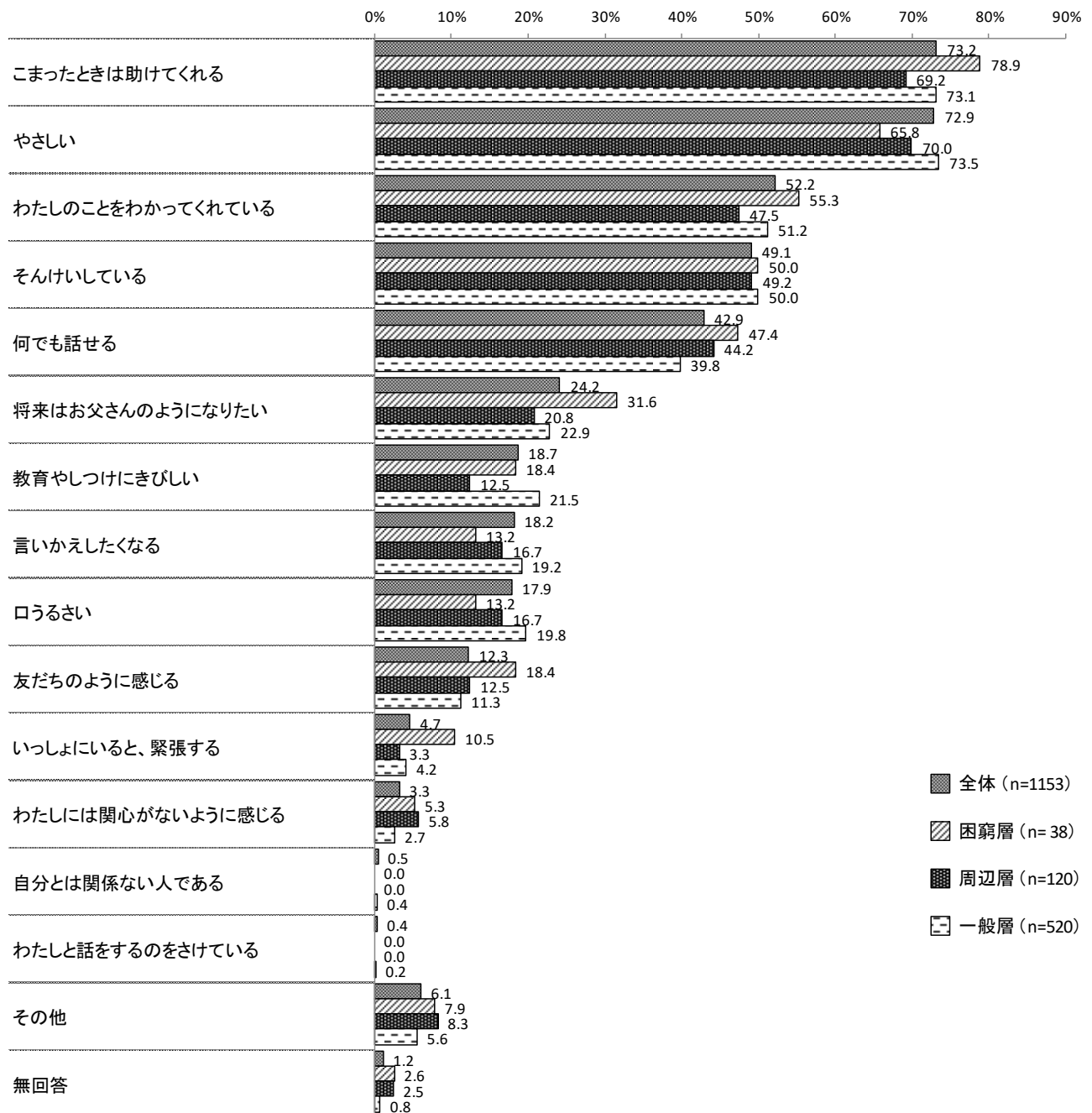
第6章 子どもの生活・家族関係

1. 家族との関係

(1) 父親に対して感じていること

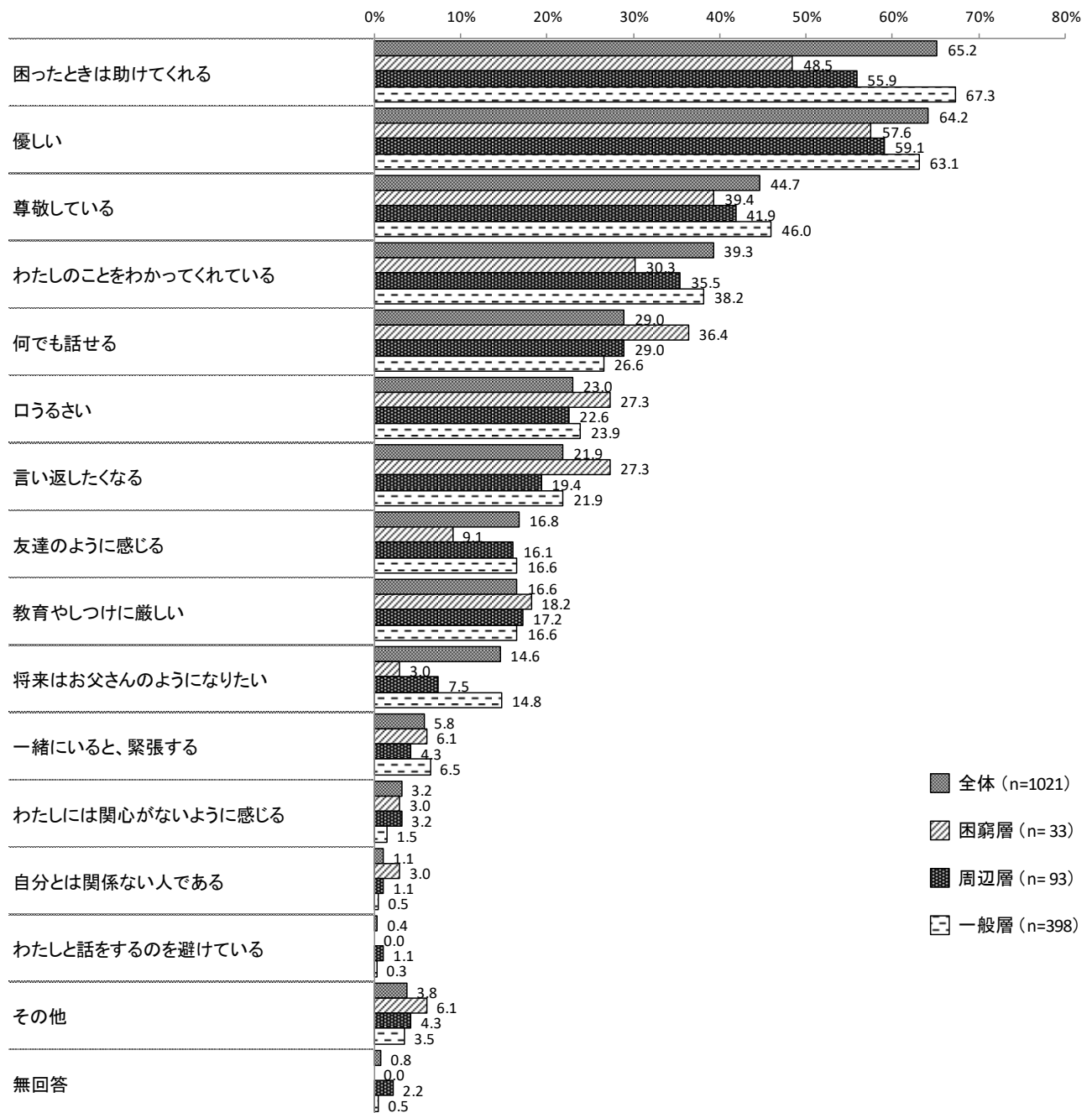
小学5年生に父親に対して感じていることについて複数回答で聞いたところ、「こまったときは助けてくれる」と回答した割合は、困窮層で 78.9%、周辺層で 69.2%、一般層で 73.1%となっています。「やさしい」と回答した割合は、困窮層で 65.8%、周辺層で 70.0%、一般層で 73.5%となっています。

図表 2-6-1-1-1 父親に対して感じていること（複数回答）（小学5年生）：生活困難度別



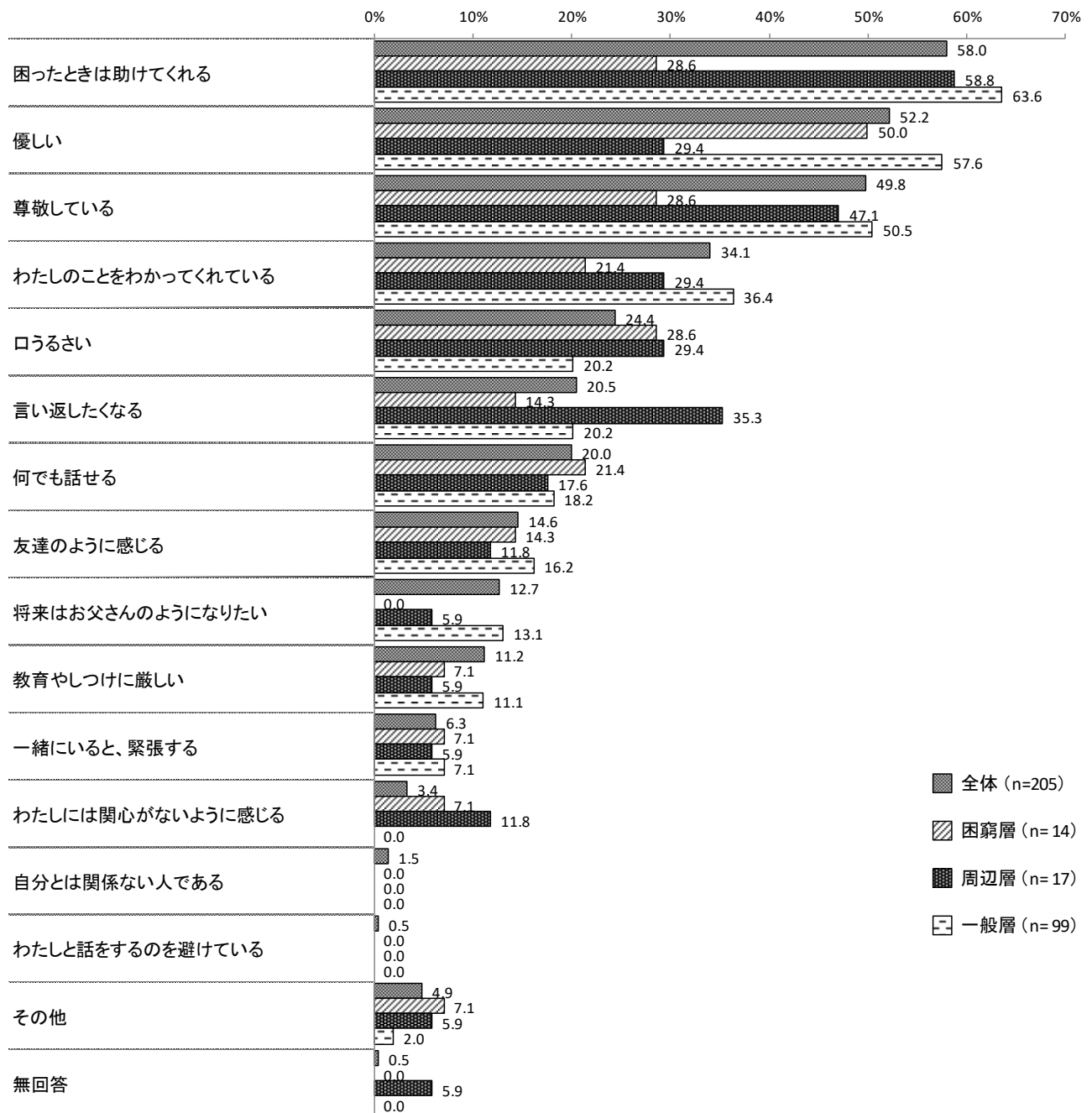
中学2年生に父親に対して感じていることについて複数回答で聞いたところ、「困ったときは助けてくれる」と回答した割合は、困窮層で48.5%、周辺層で55.9%、一般層で67.3%となっています。「優しい」と回答した割合は、困窮層で57.6%、周辺層で59.1%、一般層で63.1%となっています。

図表 2-6-1-1-2 父親に対して感じていること（複数回答）（中学2年生）：生活困難度別



16～17 歳に父親に対して感じていることについて複数回答で聞いたところ、「困ったときは助けてくれる」と回答した割合は、困窮層で 28.6%、周辺層で 58.8%、一般層で 63.6%となっています。「優しい」と回答した割合は、困窮層で 50.0%、周辺層で 29.4%、一般層で 57.6%となっています。

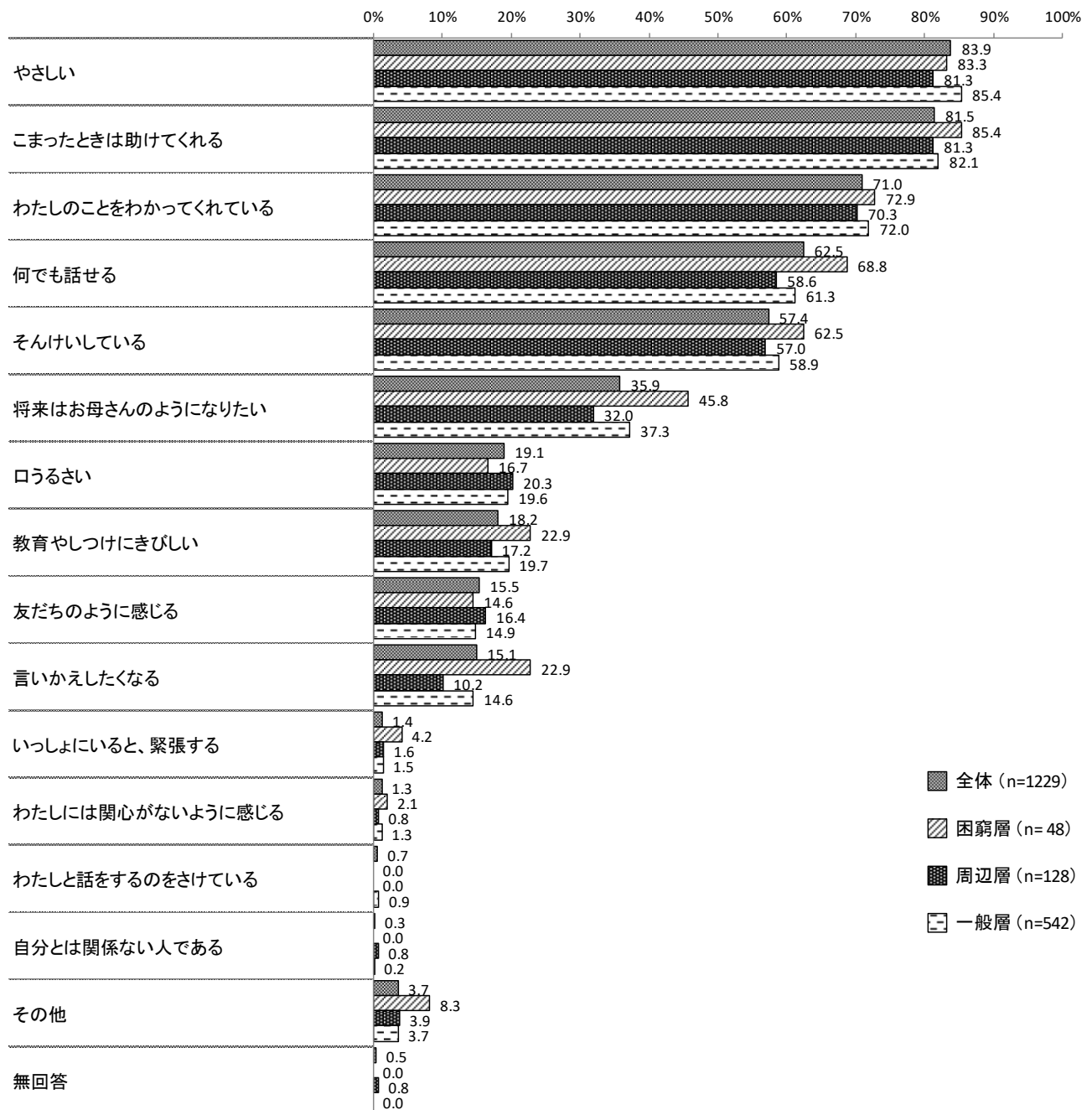
図表 2-6-1-1-3 父親に対して感じていること（複数回答）（16～17 歳）：生活困難度別



(2) 母親に対して感じていること

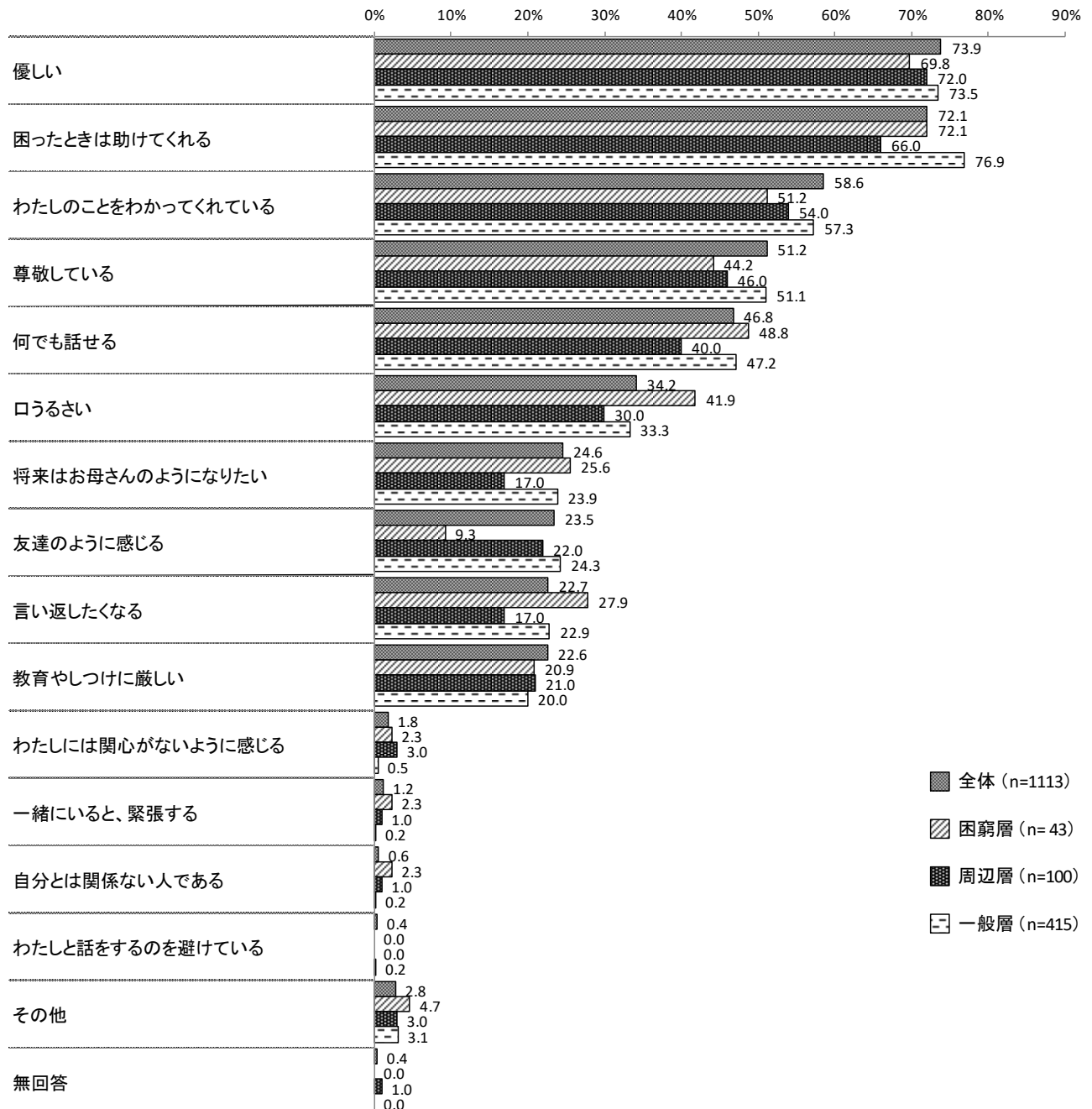
小学5年生に母親に対して感じていることについて複数回答で聞いたところ、「やさしい」と回答した割合は、困窮層で 83.3%、周辺層で 81.3%、一般層で 85.4%となっています。「こまったときは助けてくれる」と回答した割合は、困窮層で 85.4%、周辺層で 81.3%、一般層で 82.1%となっています。

図表 2-6-2-1-1 母親に対して感じていること（複数回答）（小学5年生）：生活困難度別



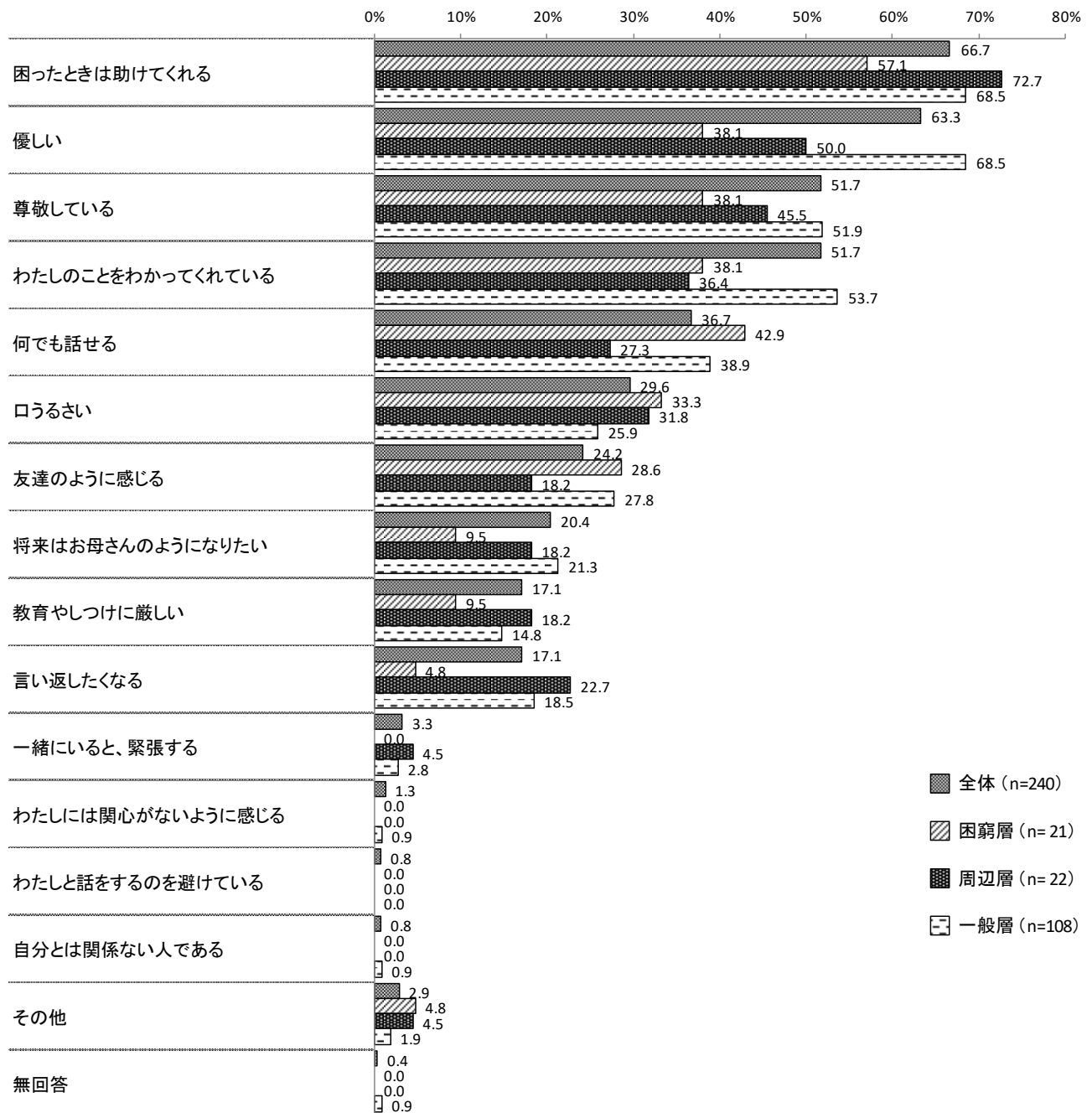
中学2年生に母親に対して感じていることについて複数回答で聞いたところ、「優しい」と回答した割合は、困窮層で 69.8%、周辺層で 72.0%、一般層で 73.5%となっています。「困ったときは助けてくれる」と回答した割合は、困窮層で 72.1%、周辺層で 66.0%、一般層で 76.9%となっています。

図表 2-6-2-1-2 母親に対して感じていること（複数回答）（中学2年生）：生活困難度別



16～17 歳に母親に対して感じていることについて複数回答で聞いたところ、「困ったときは助けてくれる」と回答した割合は、困窮層で 57.1%、周辺層で 72.7%、一般層で 68.5%となっています。「優しい」と回答した割合は、困窮層で 38.1%、周辺層で 50.0%、一般層で 68.5%となっています。

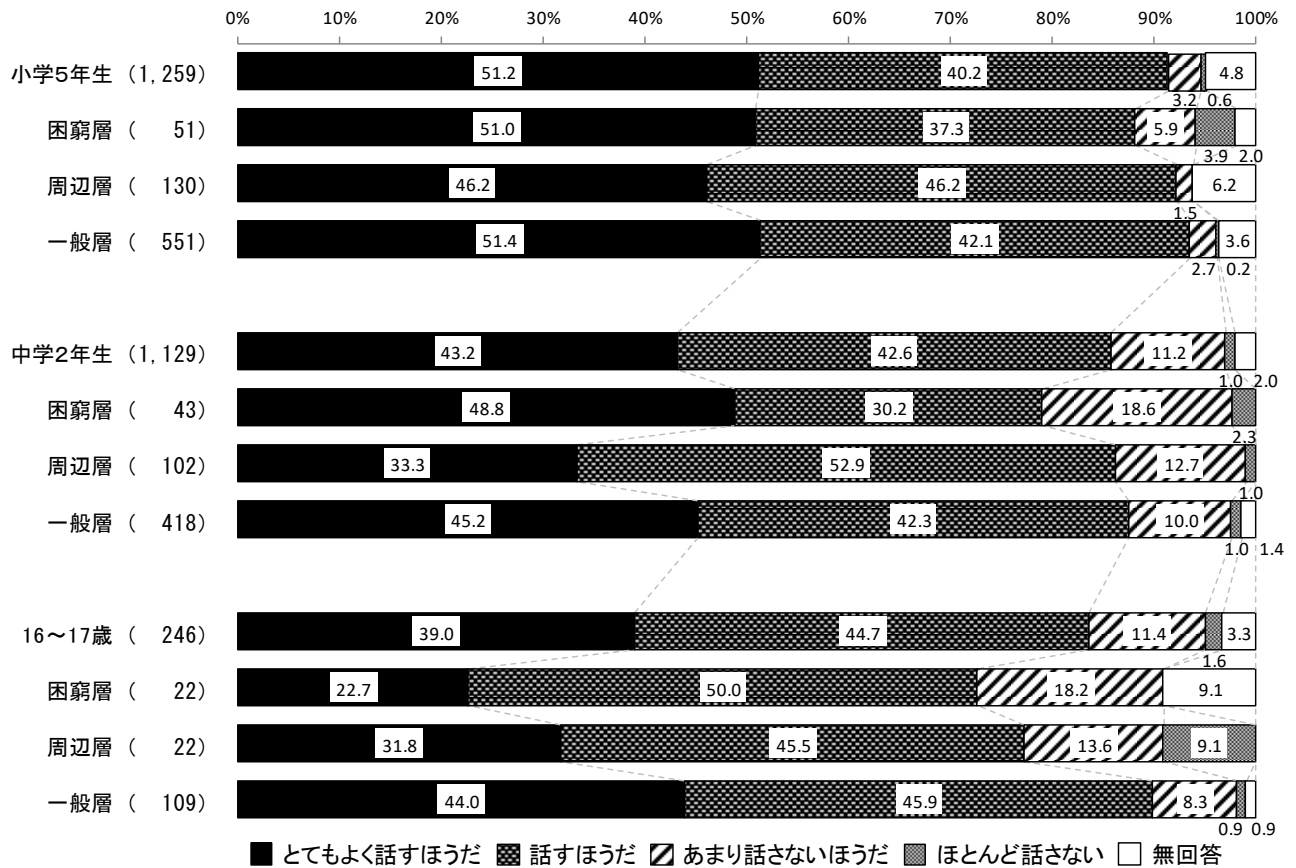
図表 2-6-2-1-3 母親に対して感じていること（複数回答）（16～17 歳）：生活困難度別



(3) 家での会話の頻度

家での会話の頻度について、「とてもよく話すほうだ」「話すほうだ」を合わせた『話す』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 88.3%、周辺層で 92.4%、一般層で 93.5%、中学2年生の困窮層で 79.0%、周辺層で 86.2%、一般層で 87.5%、16～17歳の困窮層で 72.7%、周辺層で 77.3%、一般層で 89.9%となっています。

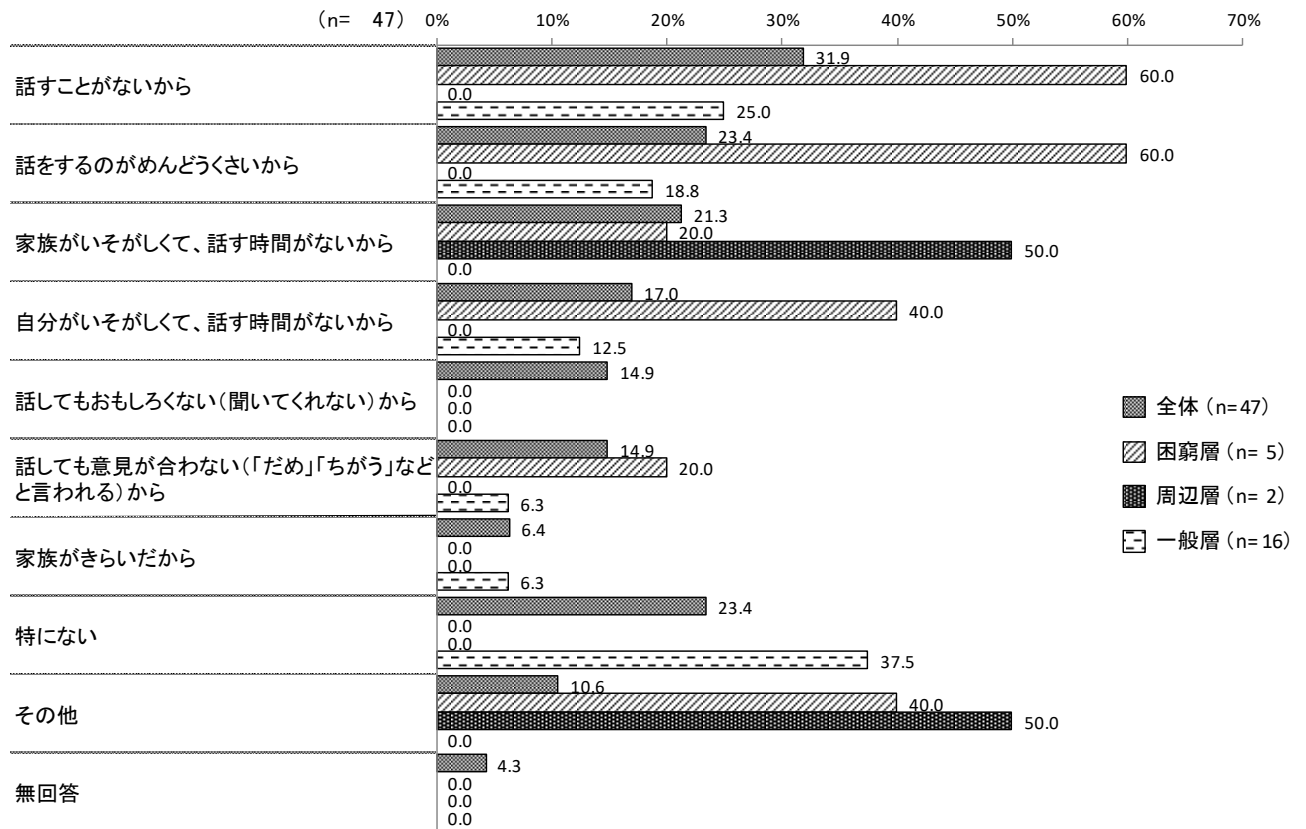
図表 2-6-1-3 会話の頻度：生活困難度別



(4) 家で話さない理由

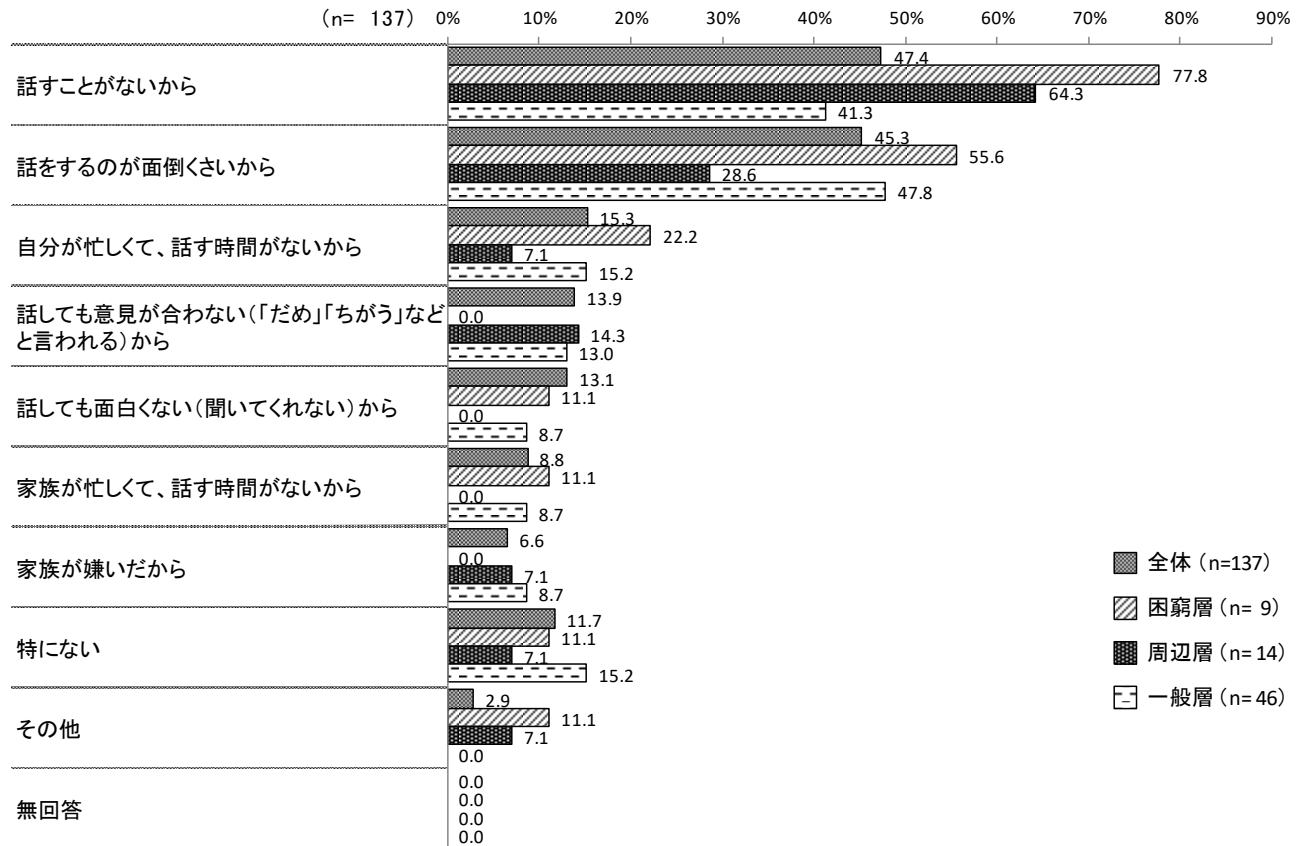
小学5年生に家で話さない理由について複数回答で聞いたところ、「話すことがないから」と回答した割合は、困窮層で60.0%、一般層で25.0%となっています。

図表 2-6-1-4-1 家で話さない理由（複数回答）（小学5年生）：生活困難度別



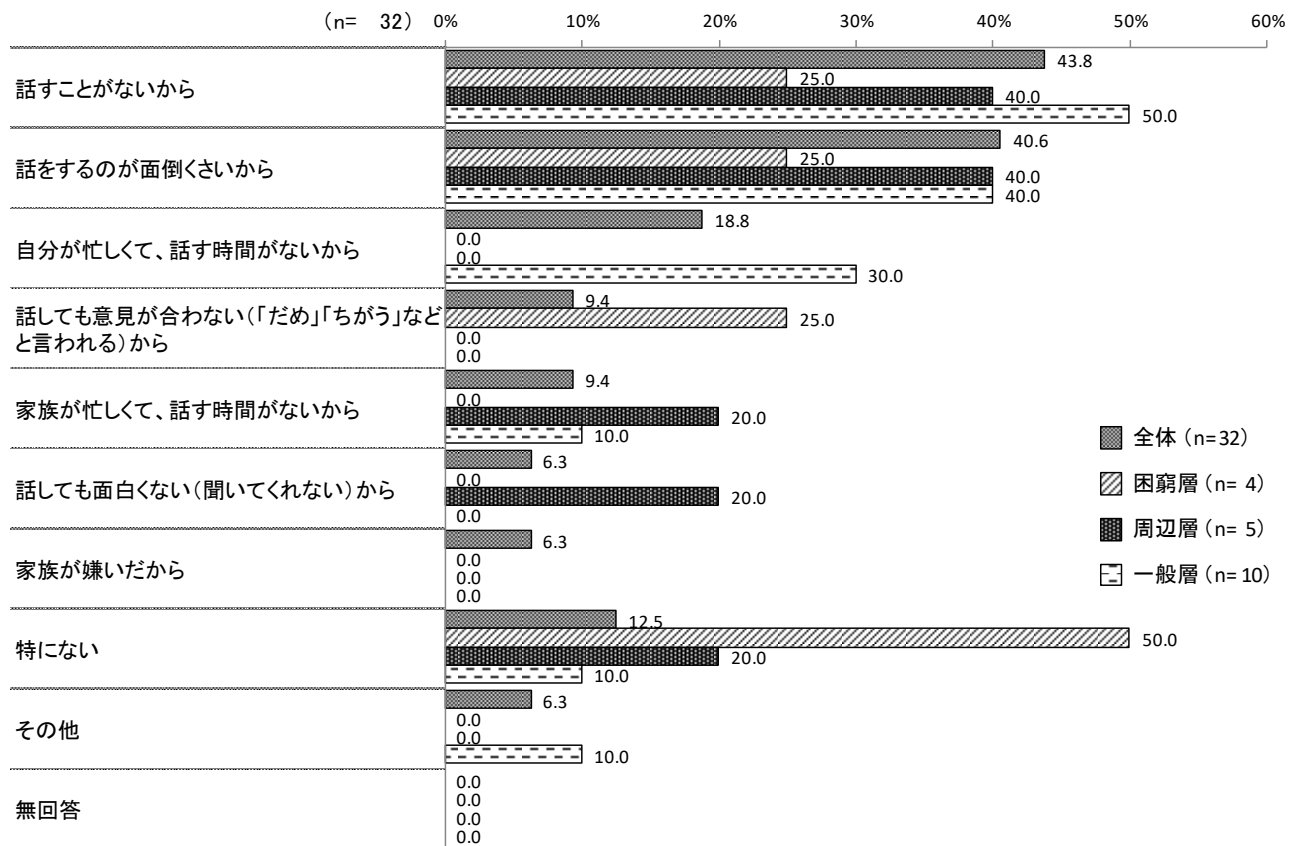
中学2年生に家で話さない理由について複数回答で聞いたところ、「話すことがないから」と回答した割合は、困窮層で77.8%、周辺層で64.3%、一般層で41.3%となっています。

図表 2-6-1-4-2 家で話さない理由（複数回答）（中学2年生）：生活困難度別



16～17 歳に家で話さない理由について複数回答で聞いたところ、「話すことがないから」と回答した割合は、困窮層で 25.0%、周辺層で 40.0%、一般層で 50.0%となっています。

図表 2-6-1-4-3 家で話さない理由（複数回答）（16～17 歳）：生活困難度別

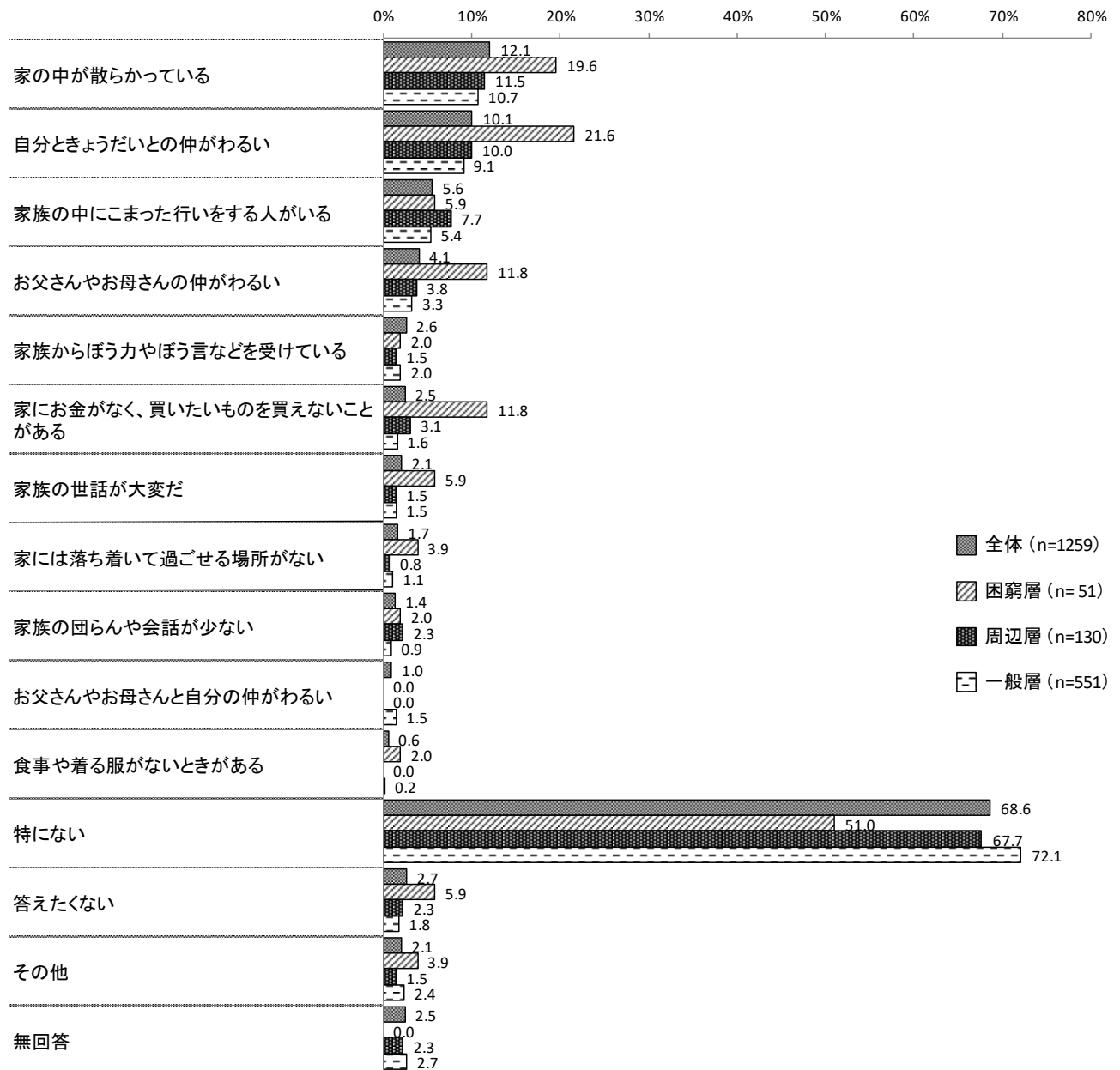


(5) 家族のことで困っていることやいやなこと

小学5年生に家族のことで困っていることやいやなことについて複数回答で聞いたところ、「家にお金がなく、買いたいものを買えないことがある」と回答した割合は、困窮層で 11.8%、周辺層で 3.1%、一般層で 1.6%となっています。

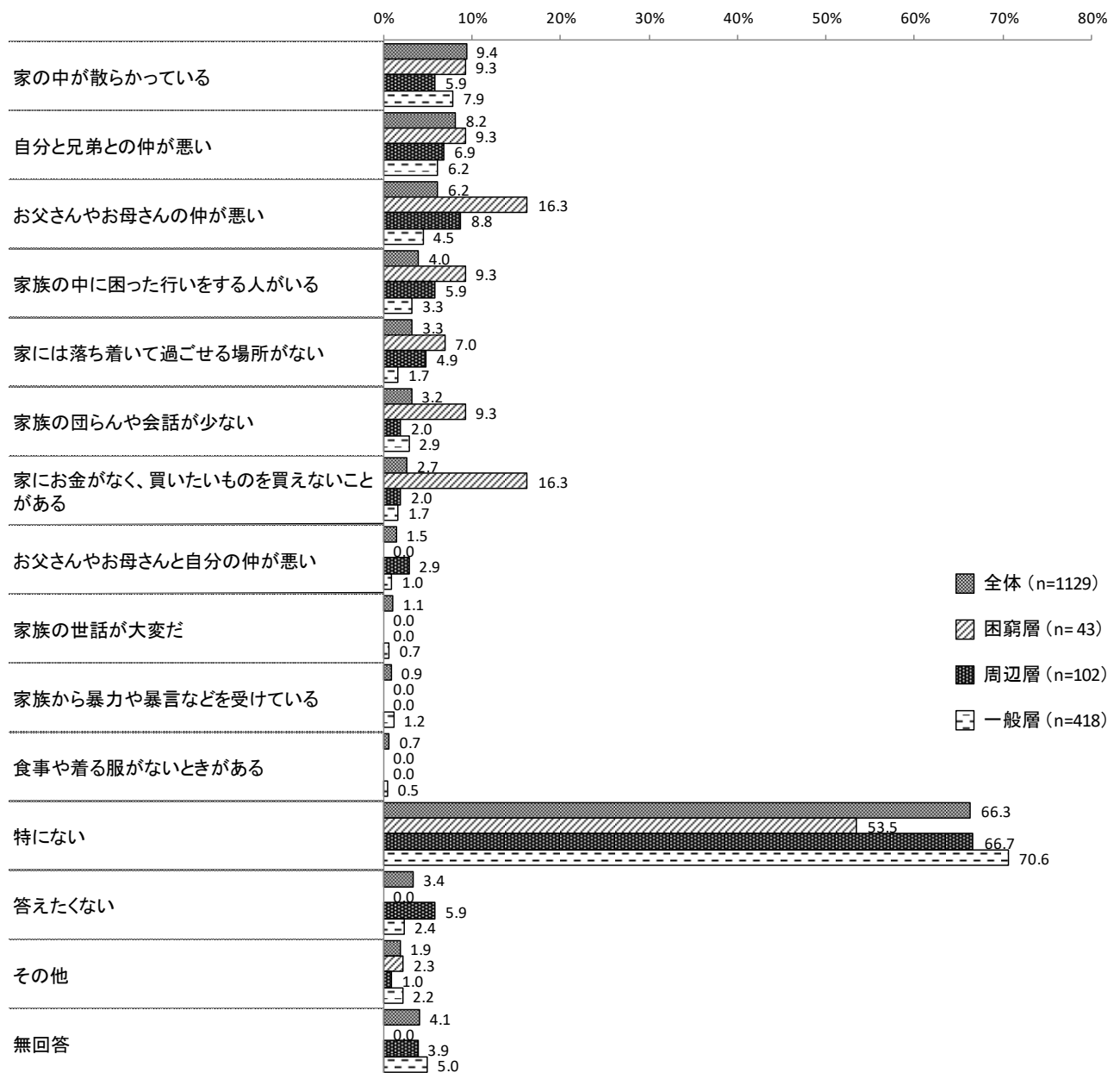
図表 2-6-1-5-1 家族のことで困っていることやいやなこと（複数回答）（小学5年生）

：生活困難度別



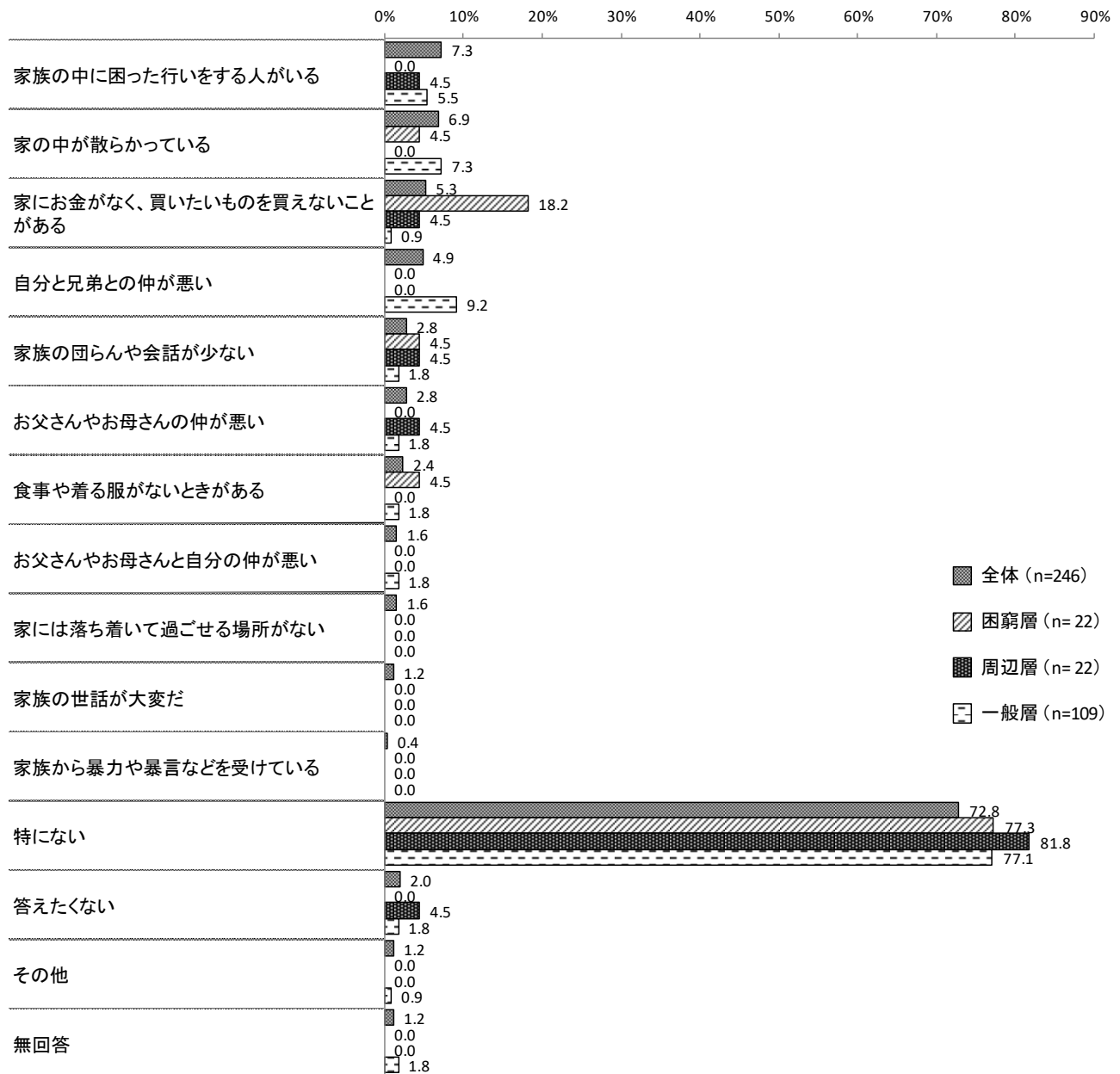
中学2年生に家族のことで困っていることやいやなことについて複数回答で聞いたところ、「家にお金がなく、買いたいものを買えないことがある」と回答した割合は、困窮層で16.3%、周辺層で2.0%、一般層で1.7%となっています。

図表 2-6-1-5-2 家族のことで困っていることやいやなこと（複数回答）（中学2年生）
：生活困難度別



16～17 歳に家族のことで困っていることやいやなことについて複数回答で聞いたところ、「家にお金がなく、買いたいものを買えないことがある」と回答した割合は、困窮層で 18.2%、周辺層で 4.5%、一般層で 0.9%となっています。

図表 2-6-1-5-3 家族のことで困っていることやいやなこと（複数回答）（16～17 歳）
：生活困難度別

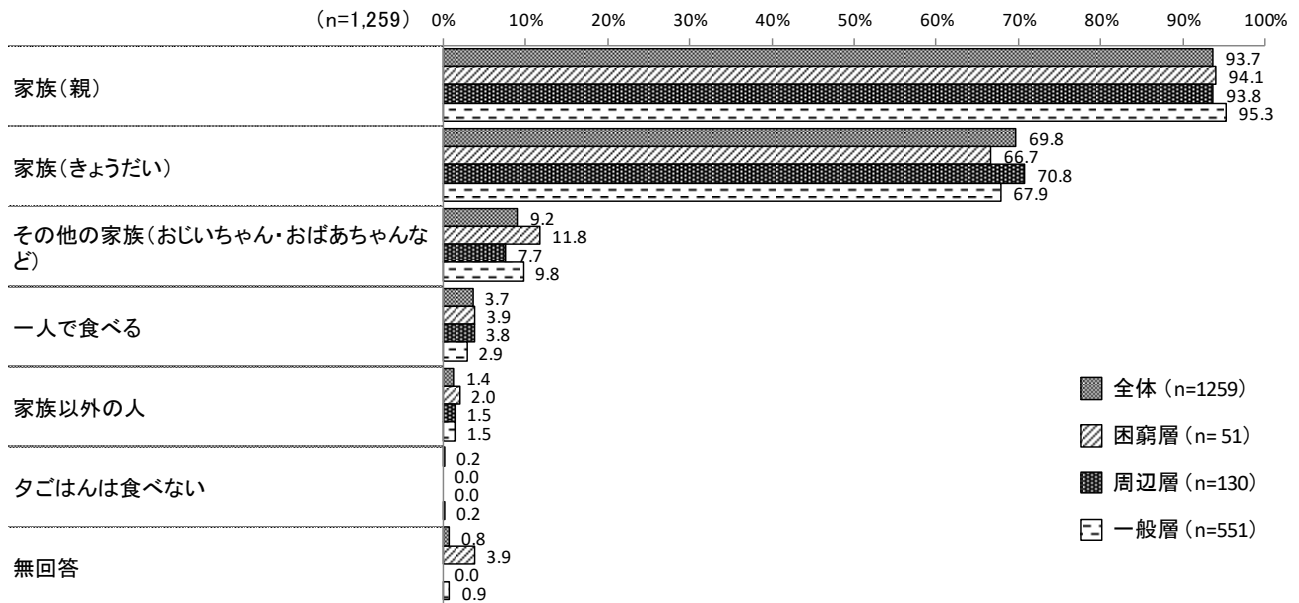


2. 平日の食事

(1) 夕食を一緒に食べる人

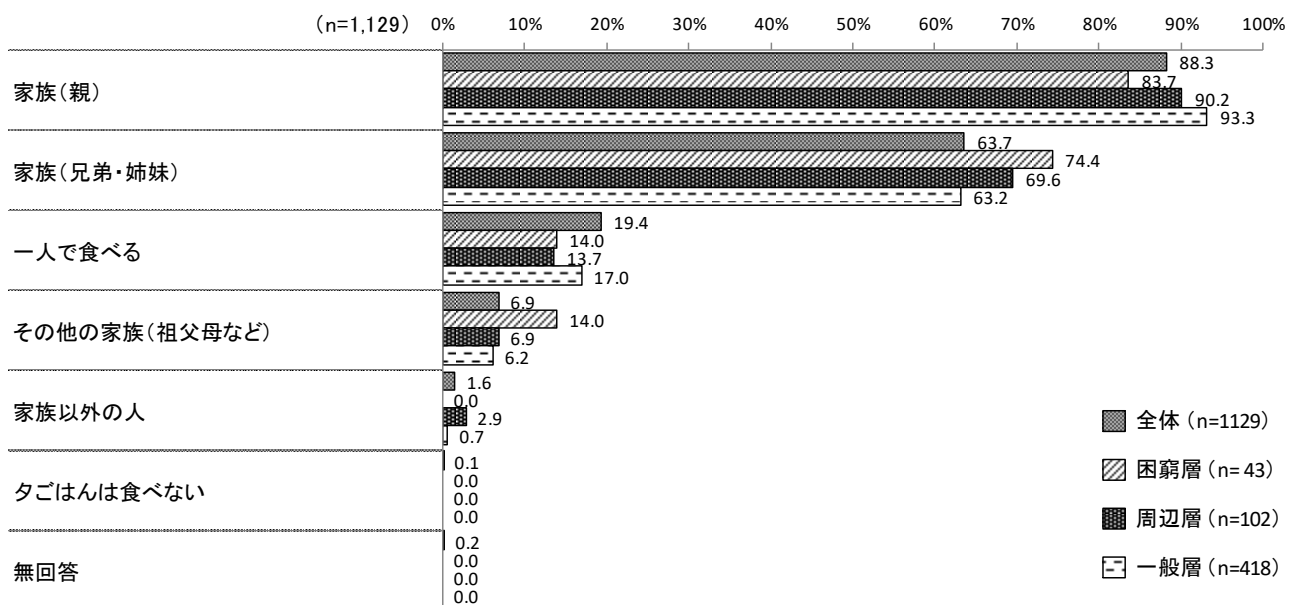
小学5年生に平日の夕食を一緒に食べる人について複数回答で聞いたところ、「家族(親)」と回答した割合は、困窮層で94.1%、周辺層で93.8%、一般層で95.3%となっています。「家族(きょうだい)」と回答した割合は、困窮層で66.7%、周辺層で70.8%、一般層で67.9%となっています。

図表 2-6-2-1-1 夕食を一緒に食べる人(複数回答)(小学5年生):生活困難度別



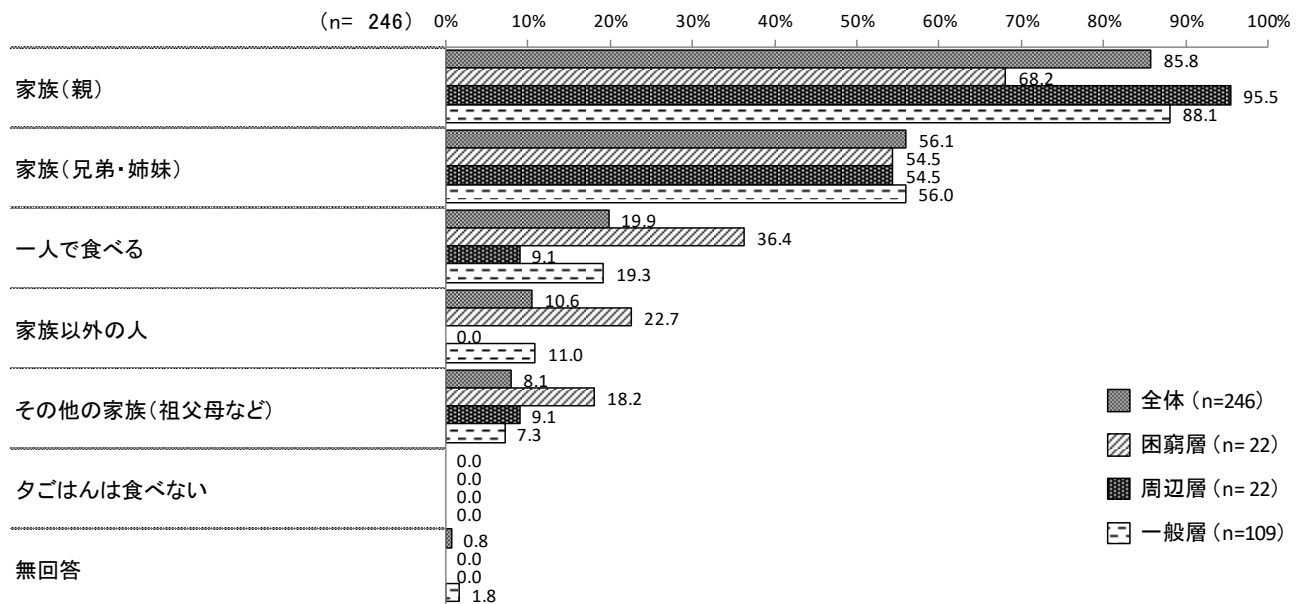
中学2年生に平日の夕食を一緒に食べる人について複数回答で聞いたところ、「家族(親)」と回答した割合は、困窮層で83.7%、周辺層で90.2%、一般層で93.3%となっています。「家族(兄弟・姉妹)」と回答した割合は、困窮層で74.4%、周辺層で69.6%、一般層で63.2%となっています。

図表 2-6-2-1-2 夕食を一緒に食べる人(複数回答)(中学2年生):生活困難度別



16～17 歳に平日の夕食を一緒に食べる人について複数回答で聞いたところ、「家族(親)」と回答した割合は、困窮層で 68.2%、周辺層で 95.5%、一般層で 88.1%となっています。「家族(兄弟・姉妹)」と回答した割合は、困窮層で 54.5%、周辺層で 54.5%、一般層で 56.0%となっています。

図表 2-6-2-1-3 夕食を一緒に食べる人（複数回答）（16～17 歳）：生活困難度別



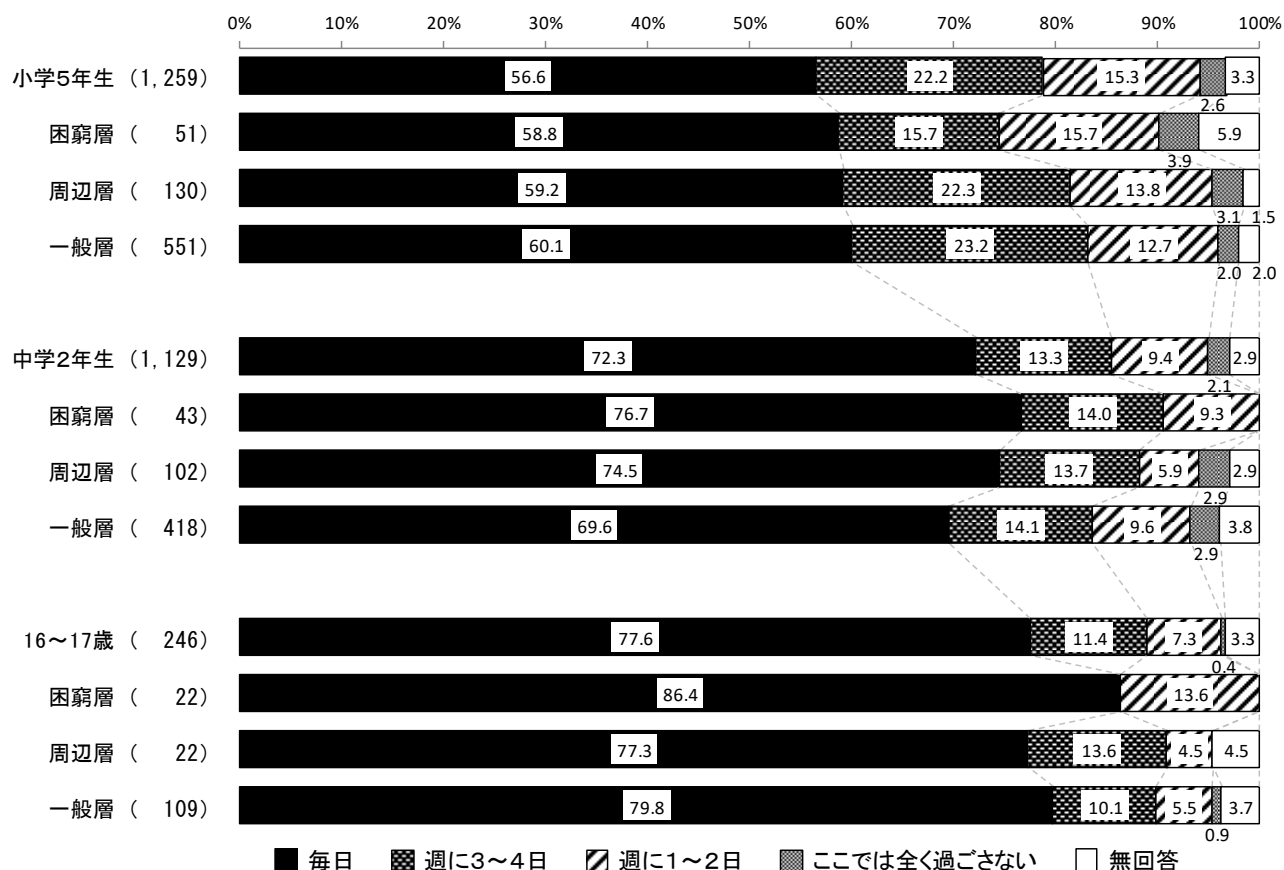
3. 平日の放課後の過ごし方

(1) 平日の放課後を過ごす場所と頻度

①自分の家

平日の放課後を「自分の家」で過ごす頻度について、「毎日」「週に3～4日」を合わせた回答の割合は、小学5年生の困窮層で74.5%、周辺層で81.5%、一般層で83.3%、中学2年生の困窮層で90.7%、周辺層で88.2%、一般層で83.7%、16～17歳の困窮層で86.4%、周辺層で90.9%、一般層で89.9%となっています。

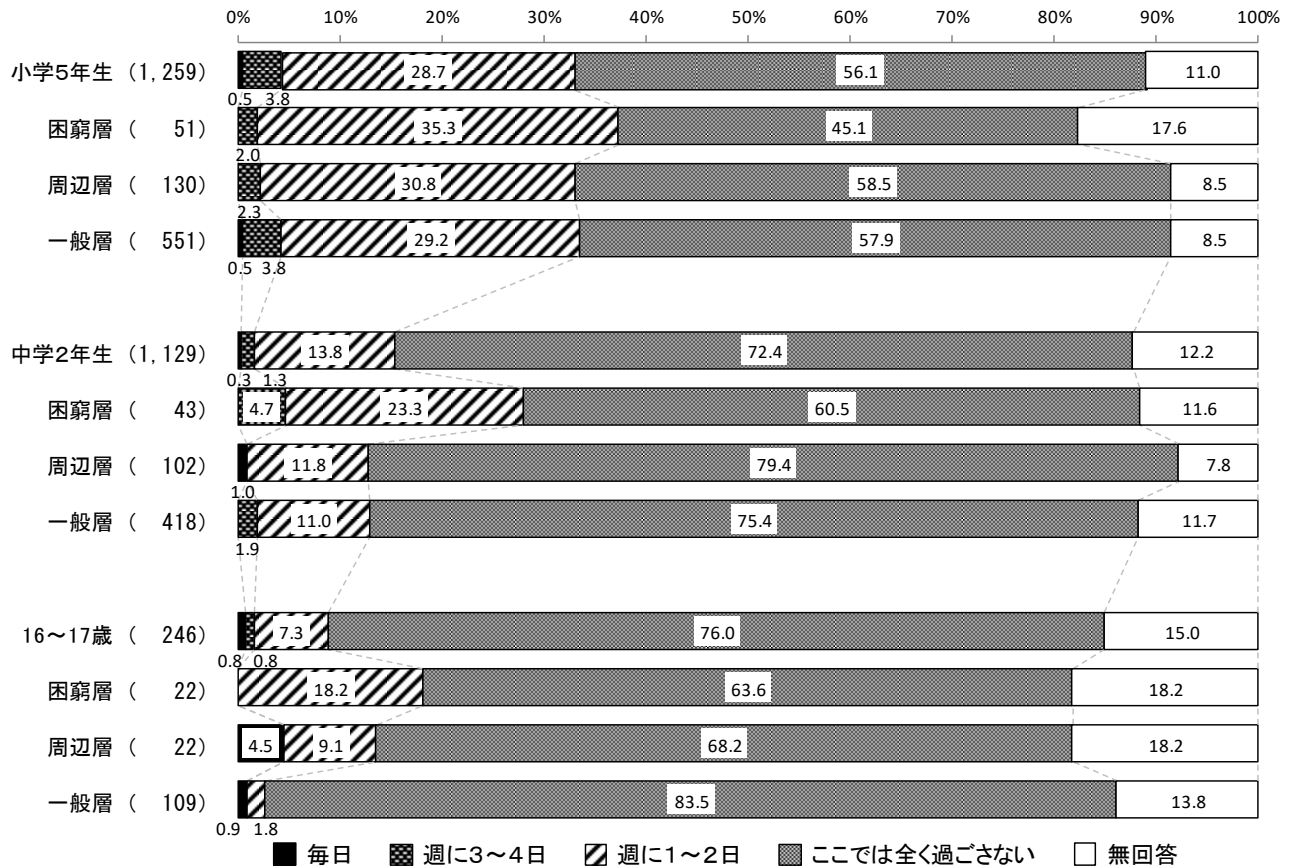
図表 2-6-3-1-1 平日の放課後を過ごす場所と頻度／自分の家：生活困難度別



②友だちの家

平日の放課後を「友だちの家」で過ごす頻度について、「ここでは全く過ごさない」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 45.1%、周辺層で 58.5%、一般層で 57.9%、中学2年生の困窮層で 60.5%、周辺層で 79.4%、一般層で 75.4%、16～17歳の困窮層で 63.6%、周辺層で 68.2%、一般層で 83.5%となっています。

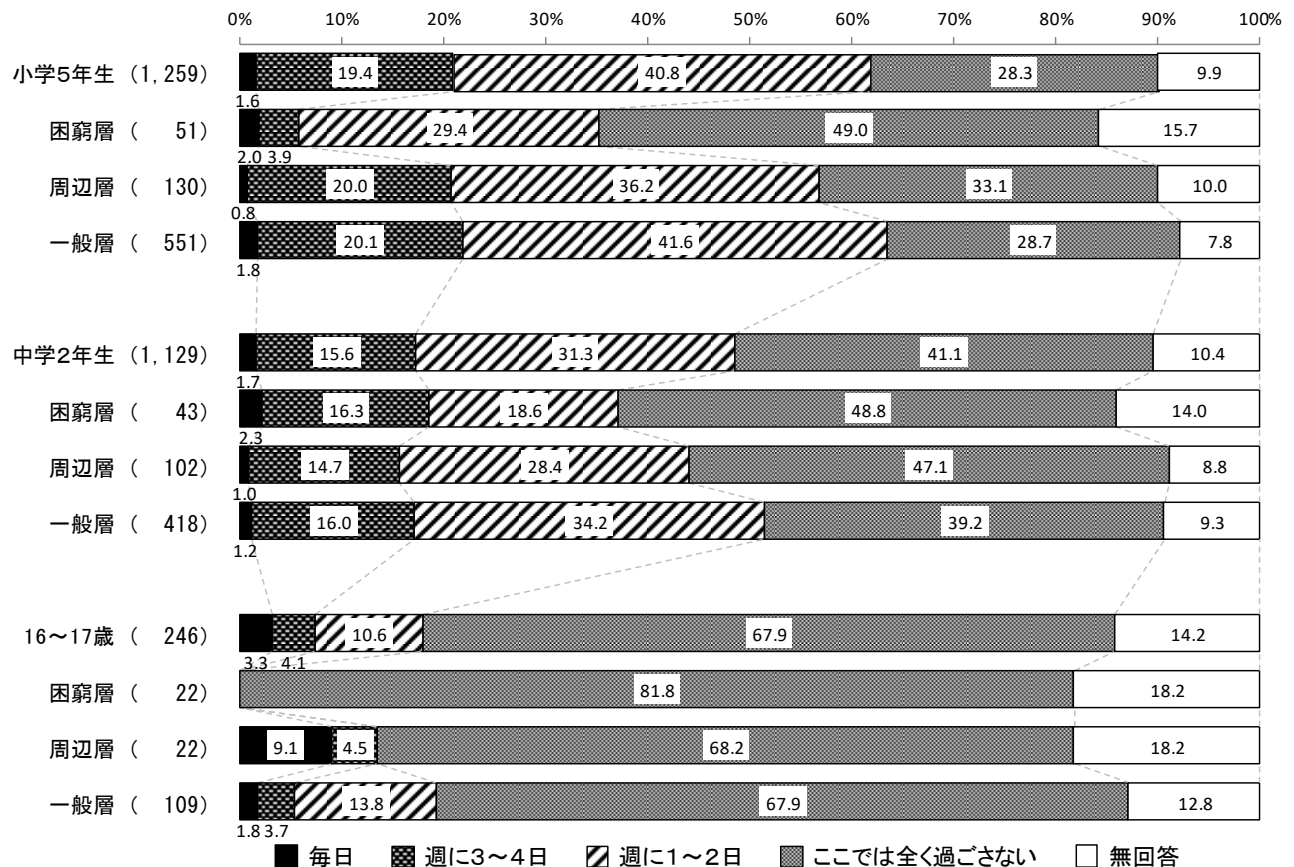
図表 2-6-3-1-2 平日の放課後を過ごす場所と頻度／友だちの家：生活困難度別



③塾や習い事

平日の放課後を「塾や習い事」で過ごす頻度について、「ここでは全く過ごさない」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 49.0%、周辺層で 33.1%、一般層で 28.7%、中学2年生の困窮層で 48.8%、周辺層で 47.1%、一般層で 39.2%、16～17歳の困窮層で 81.8%、周辺層で 68.2%、一般層で 67.9%となっています。

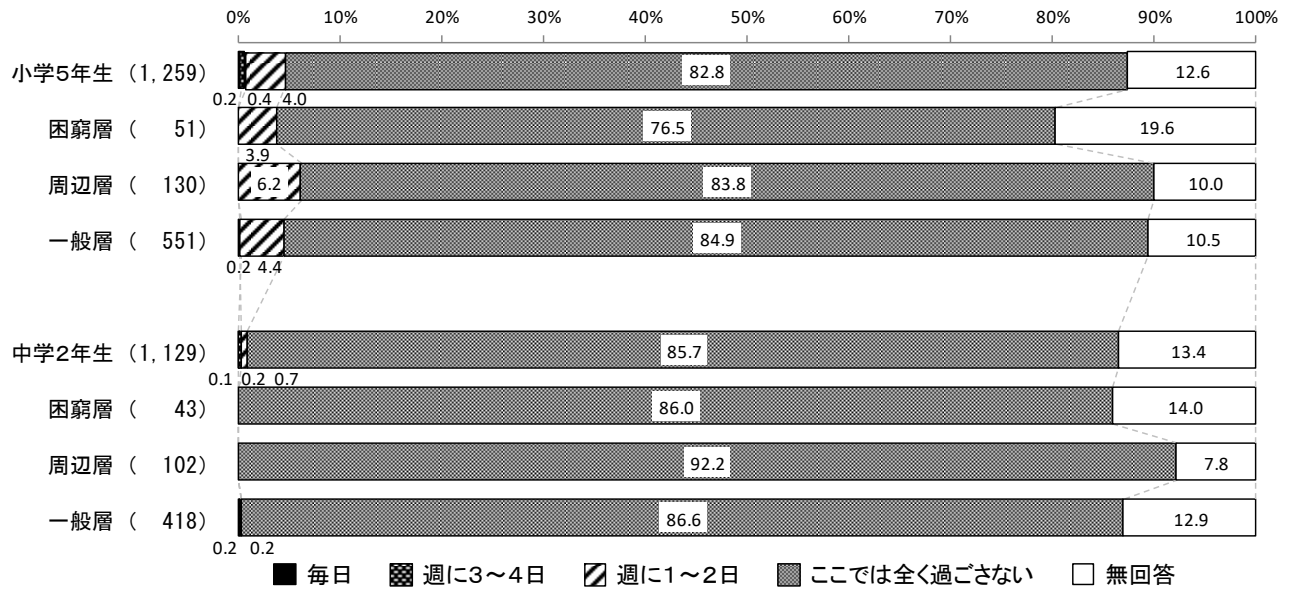
図表 2-6-3-1-3 平日の放課後を過ごす場所と頻度／塾や習い事：生活困難度別



④児童館・児童センター

平日の放課後を「児童館・児童センター」で過ごす頻度について、「ここでは全く過ごさない」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で76.5%、周辺層で83.8%、一般層で84.9%、中学2年生の困窮層で86.0%、周辺層で92.2%、一般層で86.6%となっています。

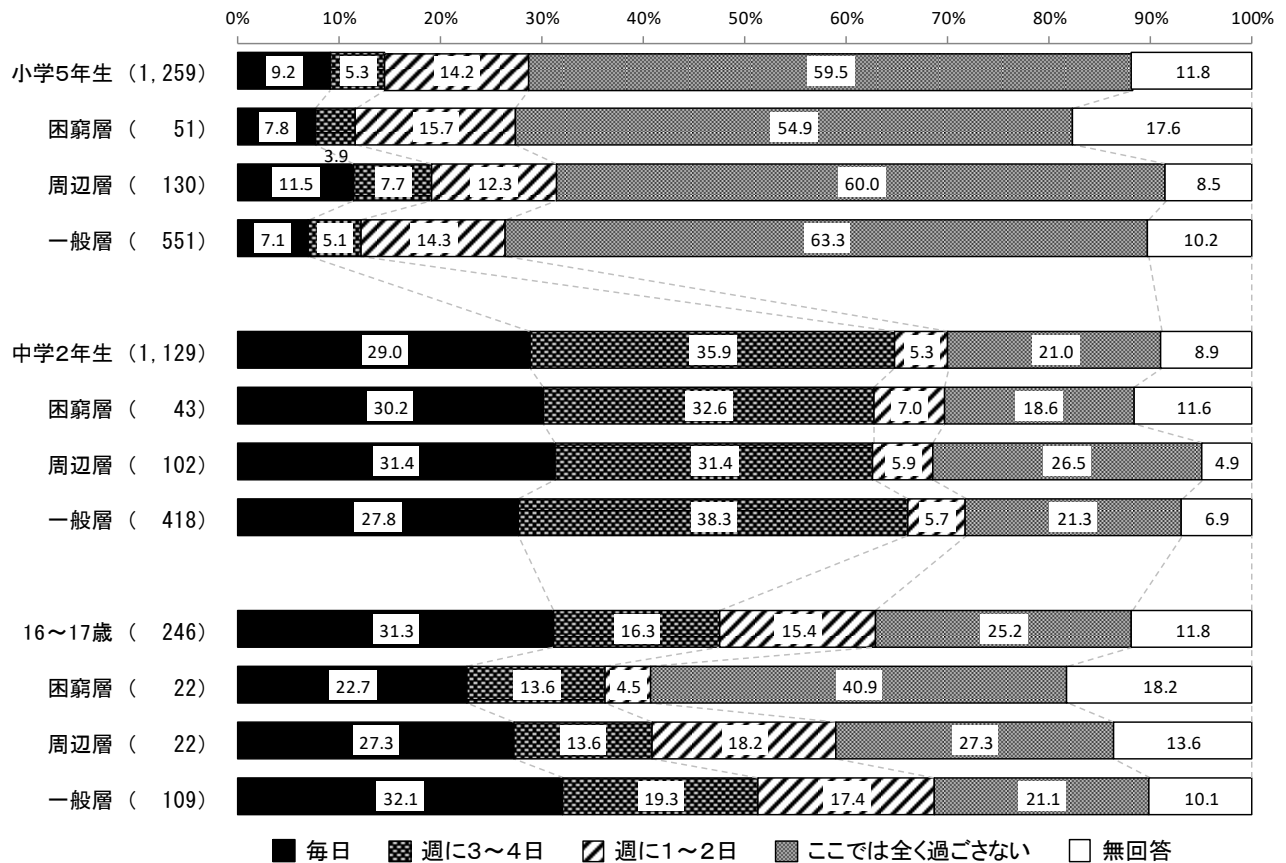
図表 2-6-3-1-4 平日の放課後を過ごす場所と頻度／児童館・児童センター：生活困難度別



⑤学校（部活など）

平日の放課後を「学校（部活など）」で過ごす頻度について、「ここでは全く過ごさない」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 54.9%、周辺層で 60.0%、一般層で 63.3%、「週に3～4日」と回答した割合は、中学2年生の困窮層で 32.6%、周辺層で 31.4%、一般層で 38.3%、「ここではまったく過ごさない」と回答した割合は、16～17歳の困窮層で 40.9%、周辺層で 27.3%、一般層で 21.1%となっています。

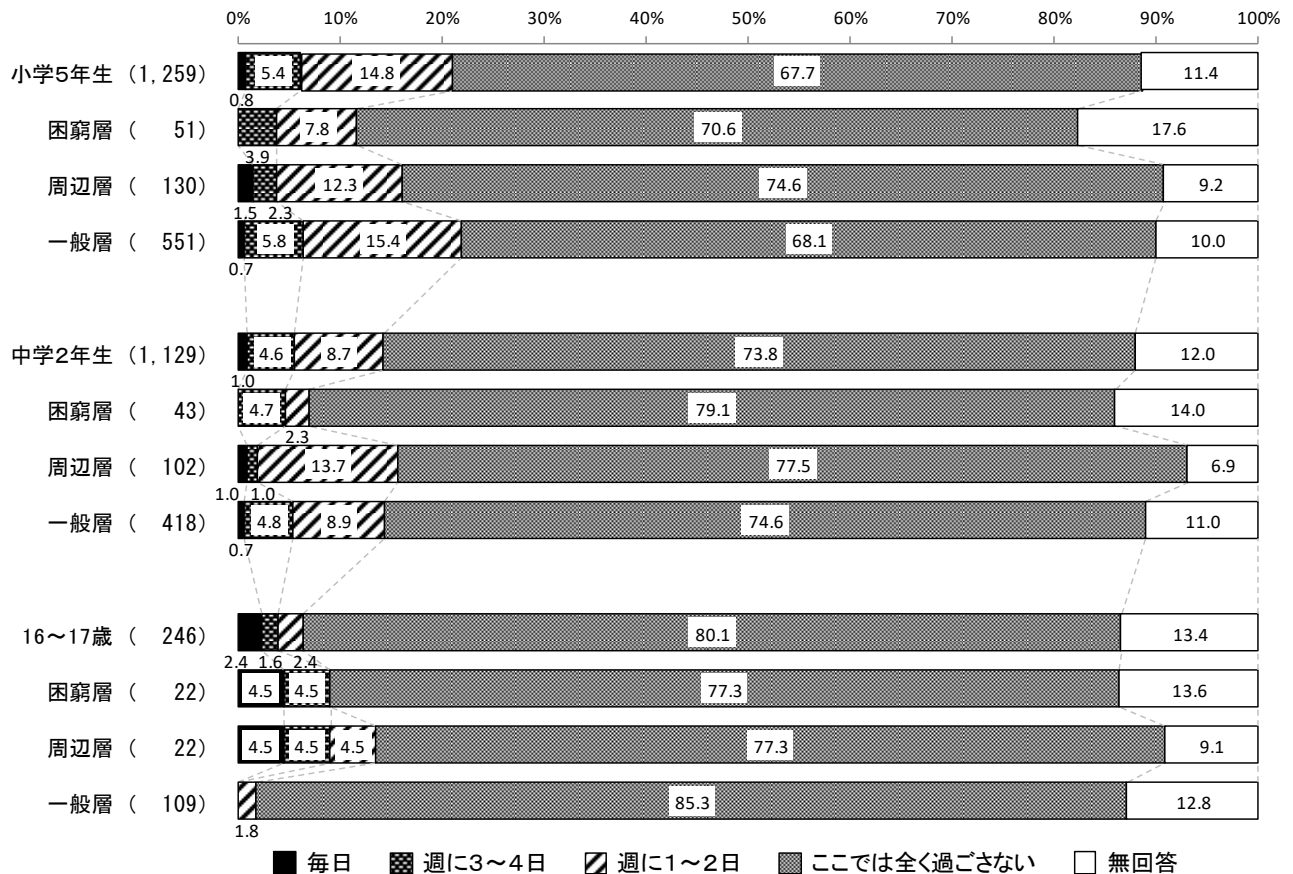
図表 2-6-3-1-5 平日の放課後を過ごす場所と頻度／学校（部活など）：生活困難度別



⑥スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）

平日の放課後を「スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）」で過ごす頻度について、「ここでは全く過ごさない」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 70.6%、周辺層で 74.6%、一般層で 68.1%、中学2年生の困窮層で 79.1%、周辺層で 77.5%、一般層で 74.6%、16～17 歳の困窮層で 77.3%、周辺層で 77.3%、一般層で 85.3%となっています。

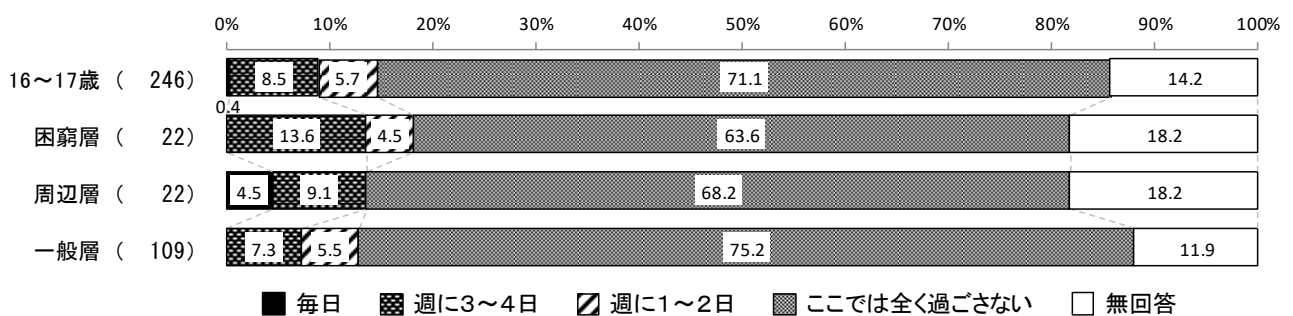
図表 2-6-3-1-6 平日の放課後を過ごす場所と頻度／スポーツクラブの活動の場
（野球場、サッカー場など）：生活困難度別



⑦アルバイトなどの職場

平日の放課後を「アルバイトなどの職場」で過ごす頻度について、「週に3～4日」と回答した割合は、16～17歳の困窮層で 13.6%、周辺層で 9.1%、一般層で 7.3%となっています。

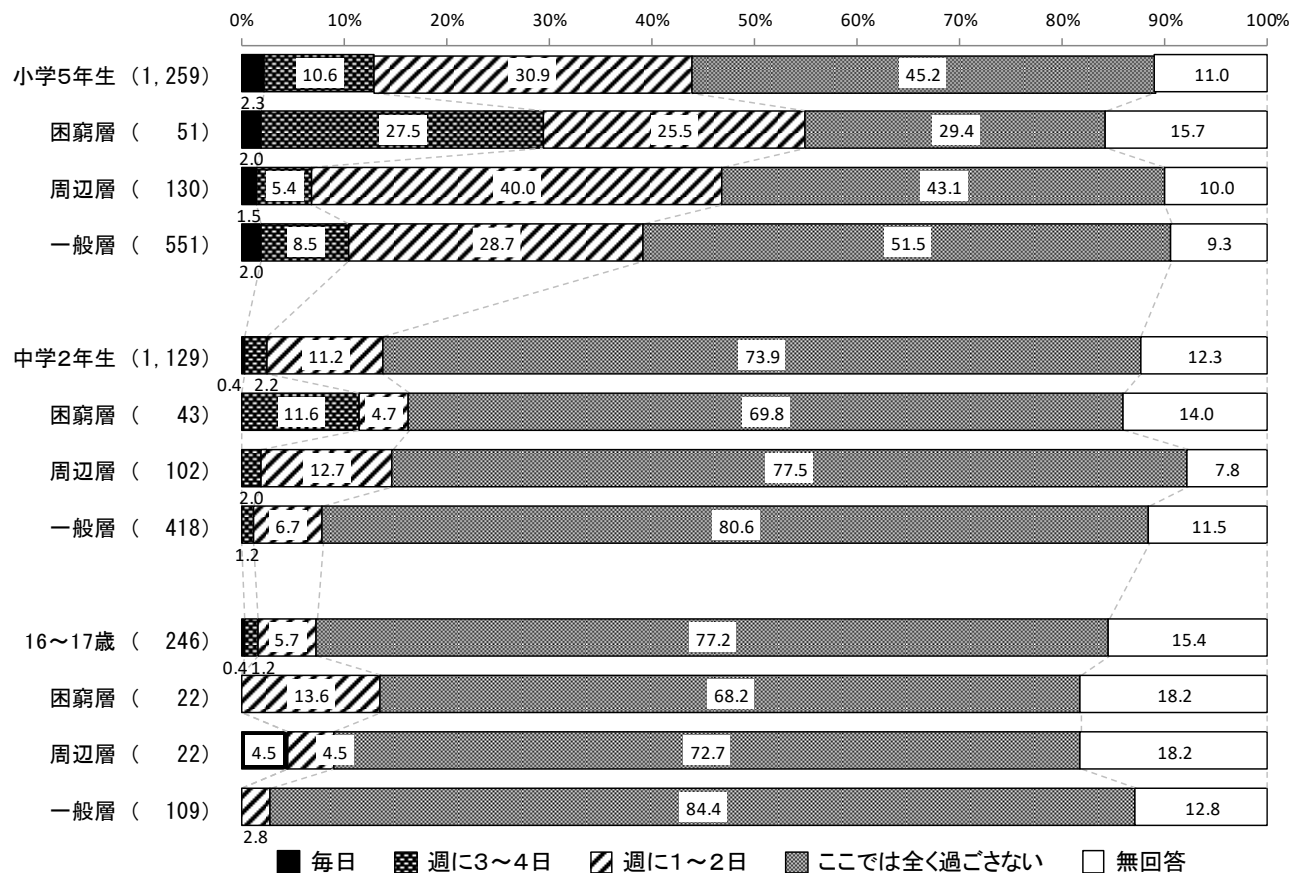
図表 2-6-3-1-7 平日の放課後を過ごす場所と頻度／アルバイトなどの職場：生活困難度別



⑧公園

平日の放課後を「公園」で過ごす頻度について、「週に1～2日」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で25.5%、周辺層で40.0%、一般層で28.7%、中学2年生の困窮層で4.7%、周辺層で12.7%、一般層で6.7%、16～17歳の困窮層で13.6%、周辺層で4.5%、一般層で2.8%となっています。

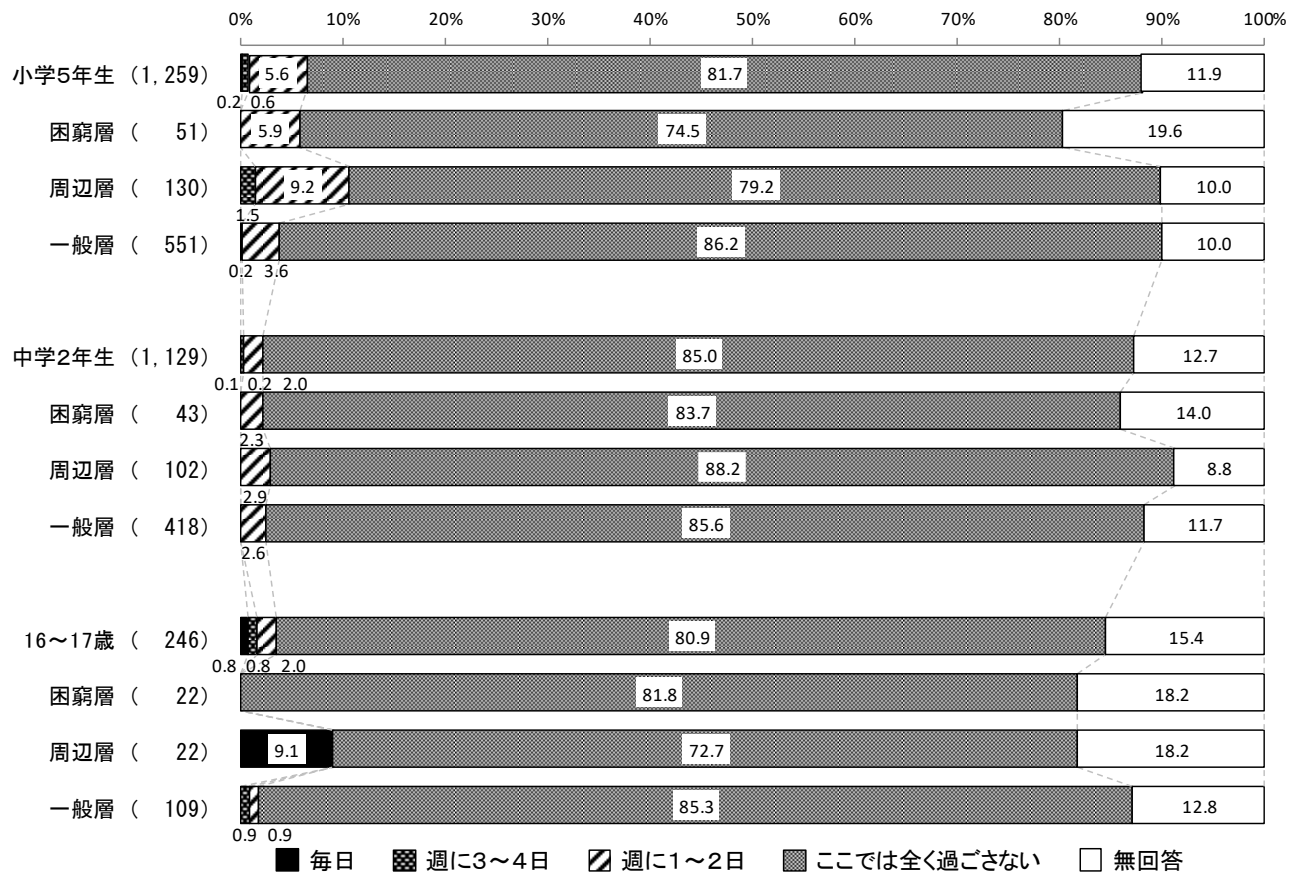
図表 2-6-3-1-8 平日の放課後を過ごす場所と頻度／公園：生活困難度別



⑨図書館

平日の放課後を「図書館」で過ごす頻度について、「ここでは全く過ごさない」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で74.5%、周辺層で79.2%、一般層で86.2%、中学2年生の困窮層で83.7%、周辺層で88.2%、一般層で85.6%、16～17歳の困窮層で81.8%、周辺層で72.7%、一般層で85.3%となっています。

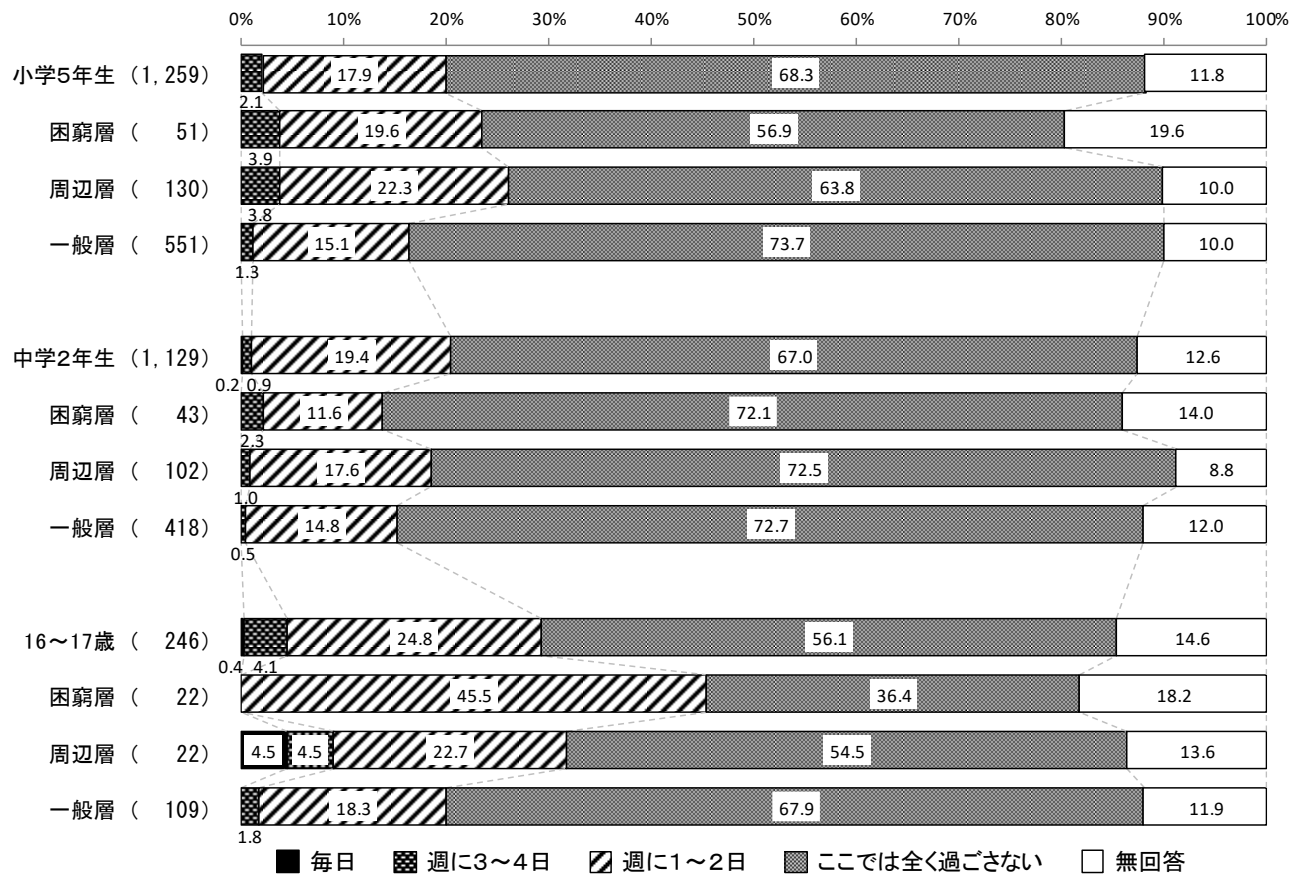
図表 2-6-3-1-9 平日の放課後を過ごす場所と頻度／図書館：生活困難度別



⑩商店街やショッピングモール

平日の放課後を「商店街やショッピングモール」で過ごす頻度について、「週に1～2日」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で19.6%、周辺層で22.3%、一般層で15.1%、中学2年生の困窮層で11.6%、周辺層で17.6%、一般層で14.8%、16～17歳の困窮層で45.5%、周辺層で22.7%、一般層で18.3%となっています。

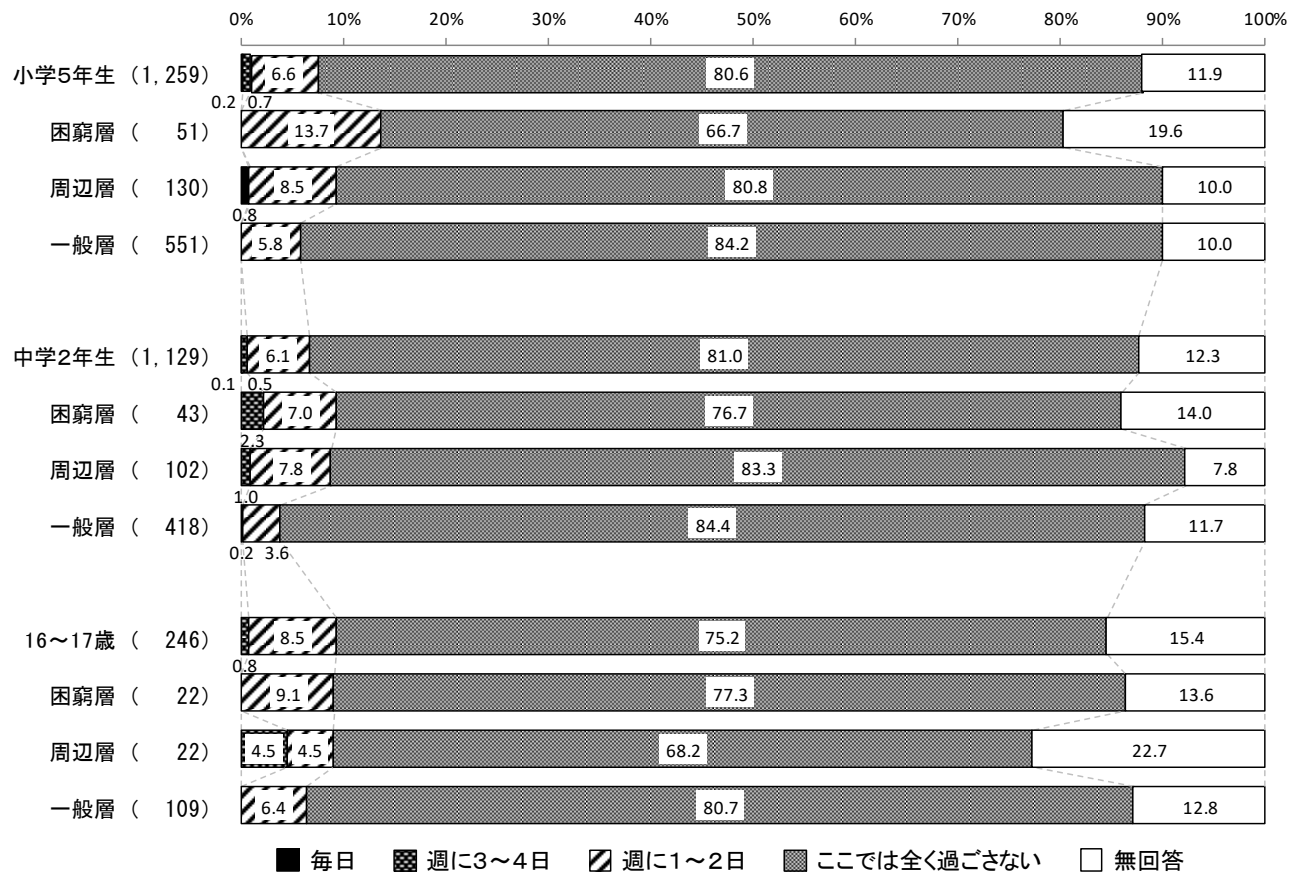
図表 2-6-3-1-10 平日の放課後を過ごす場所と頻度／商店街やショッピングモール：生活困難度別



⑪ゲームセンター

平日の放課後を「ゲームセンター」で過ごす頻度について、「週に1～2日」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で13.7%、周辺層で8.5%、一般層で5.8%、中学2年生の困窮層で7.0%、周辺層で7.8%、一般層で3.6%、16～17歳の困窮層で9.1%、周辺層で4.5%、一般層で6.4%となっています。

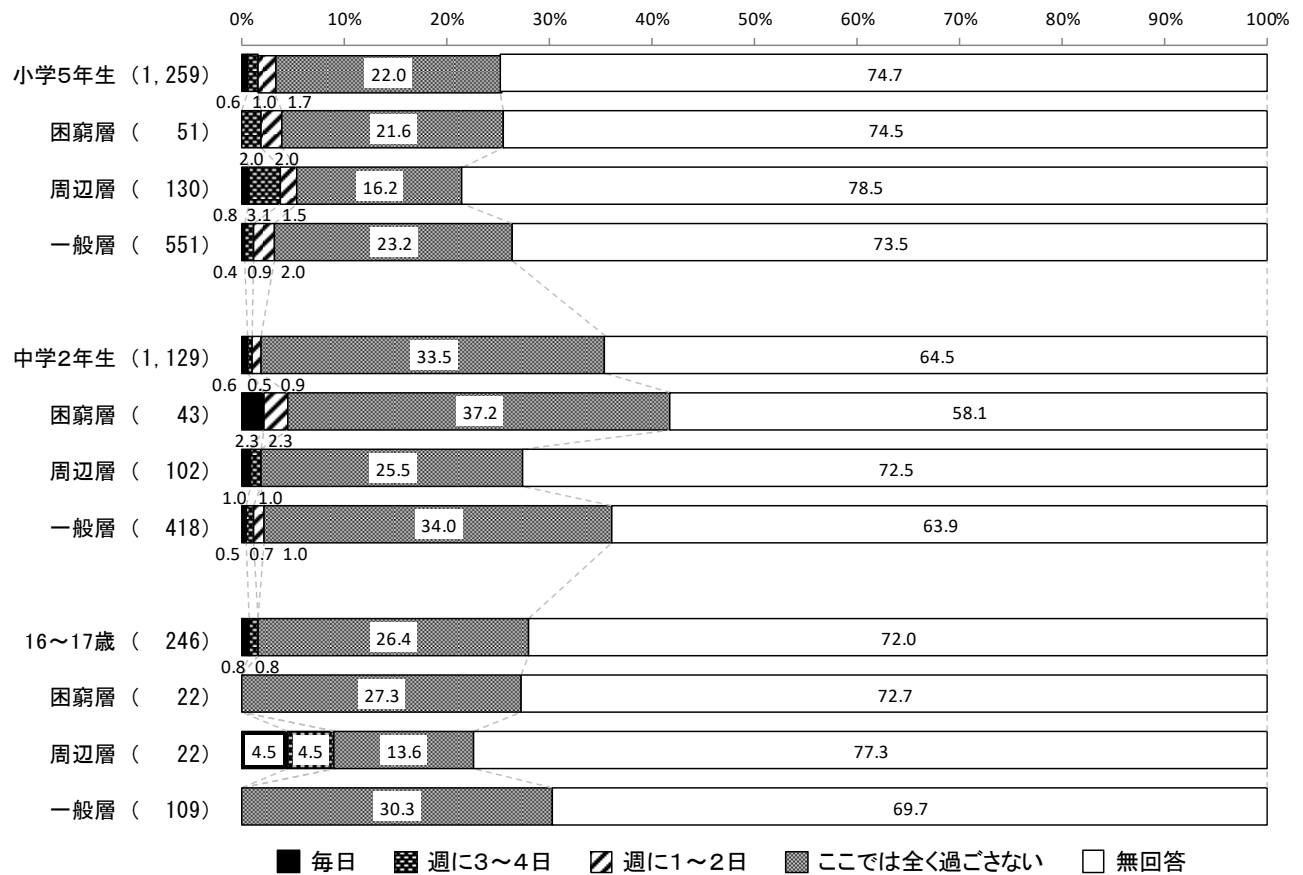
図表 2-6-3-1-11 平日の放課後を過ごす場所と頻度／ゲームセンター：生活困難度別



⑫その他

平日の放課後を「その他」で過ごす頻度について、「ここでは全く過ごさない」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で21.6%、周辺層で16.2%、一般層で23.2%、中学2年生の困窮層で37.2%、周辺層で25.5%、一般層で34.0%、16～17歳の困窮層で27.3%、周辺層で13.6%、一般層で30.3%となっています。

図表 2-6-3-1-12 平日の放課後を過ごす場所と頻度／その他：生活困難度別

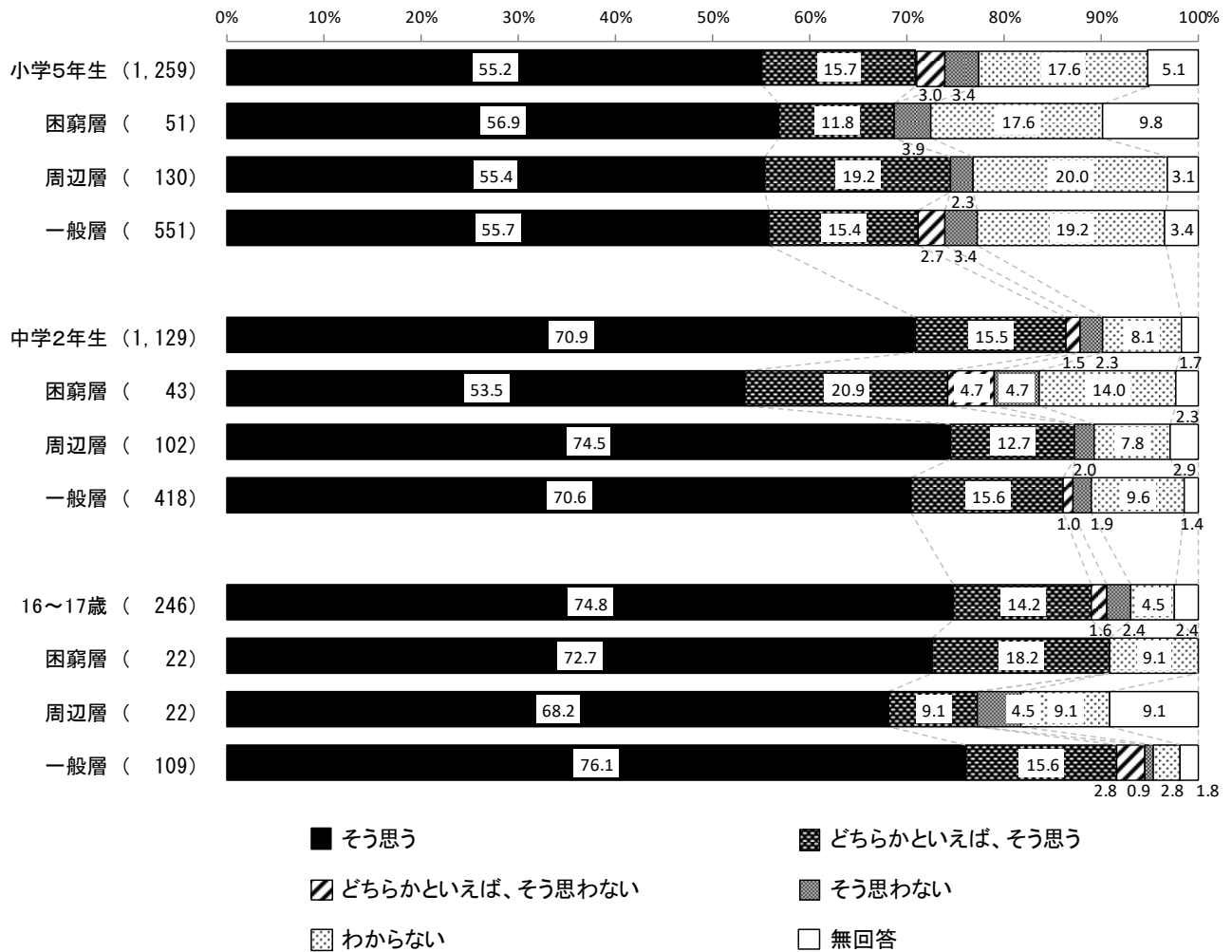


(2) ほっとできる居場所

①自分の部屋

「自分の部屋」がほっとできる居場所かどうかについて、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 68.7%、周辺層で 74.6%、一般層で 71.1%、中学2年生の困窮層で 74.4%、周辺層で 87.2%、一般層で 86.2%、16～17歳の困窮層で 90.9%、周辺層で 77.3%、一般層で 91.7%となっています。

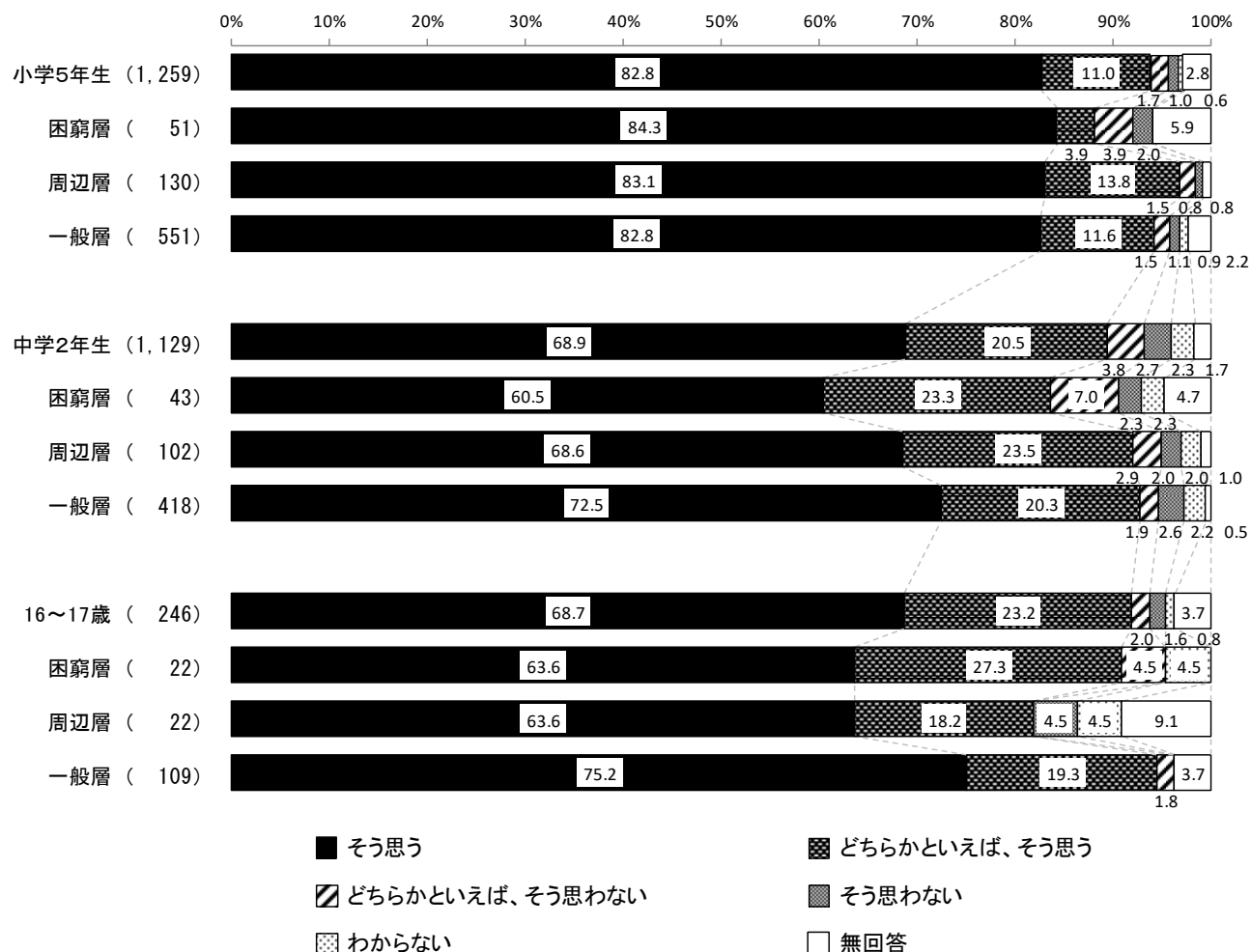
図表 2-6-3-2-1 ほっとできる居場所／自分の部屋：生活困難度別



②自分の家

「自分の家」がほっとできる居場所かどうかについて、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 88.2%、周辺層で 96.9%、一般層で 94.4%、中学2年生の困窮層で 83.8%、周辺層で 92.1%、一般層で 92.8%、16～17 歳の困窮層で 90.9%、周辺層で 81.8%、一般層で 94.5%となっています。

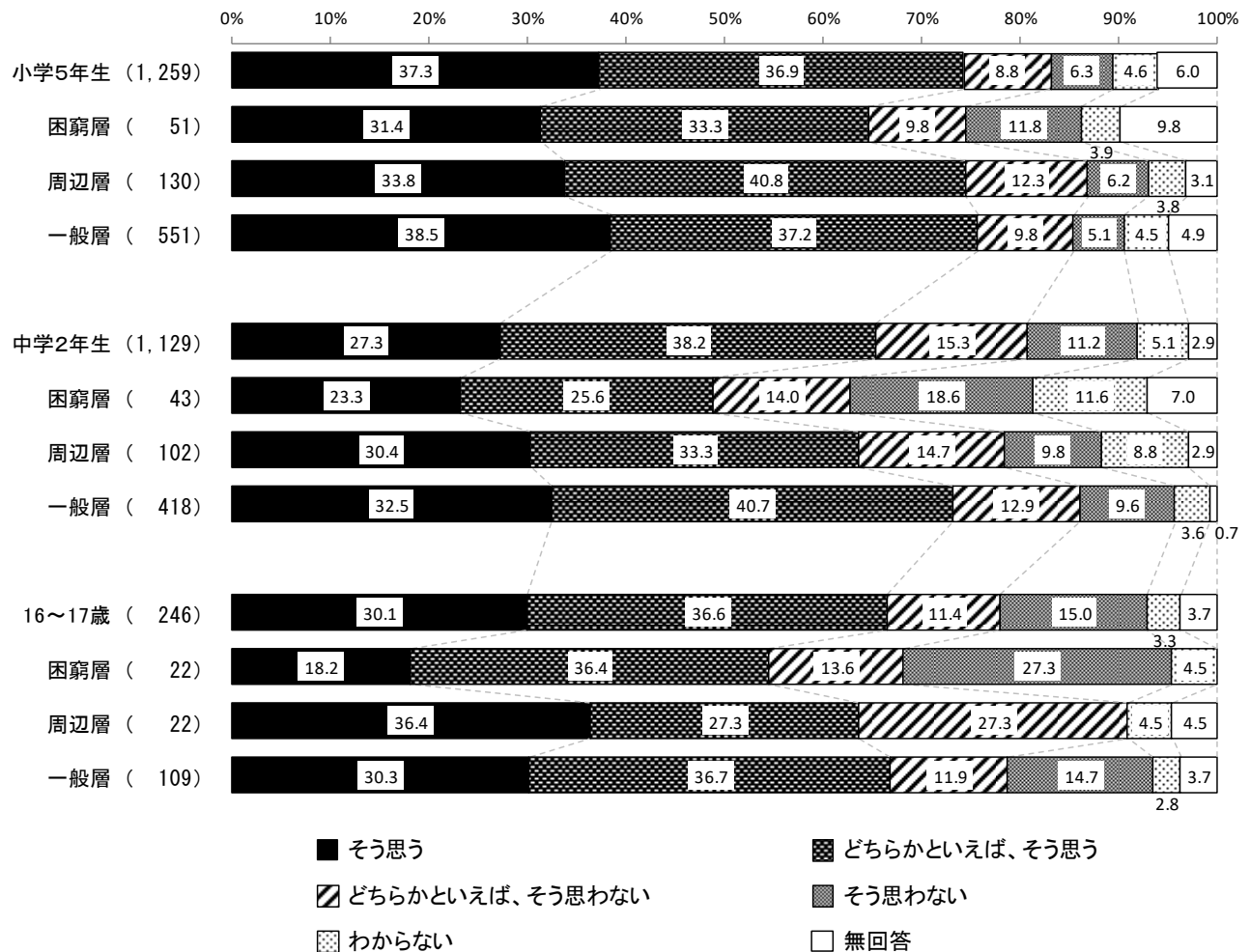
図表 2-6-3-2-2 ほっとできる居場所／自分の家：生活困難度別



③学校

「学校」がほっとできる居場所かどうかについて、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『思わない』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 21.6%、周辺層で 18.5%、一般層で 14.9%、中学2年生の困窮層で 32.6%、周辺層で 24.5%、一般層で 22.5%、16～17歳の困窮層で 40.9%、周辺層で 27.3%、一般層で 26.6%となっています。

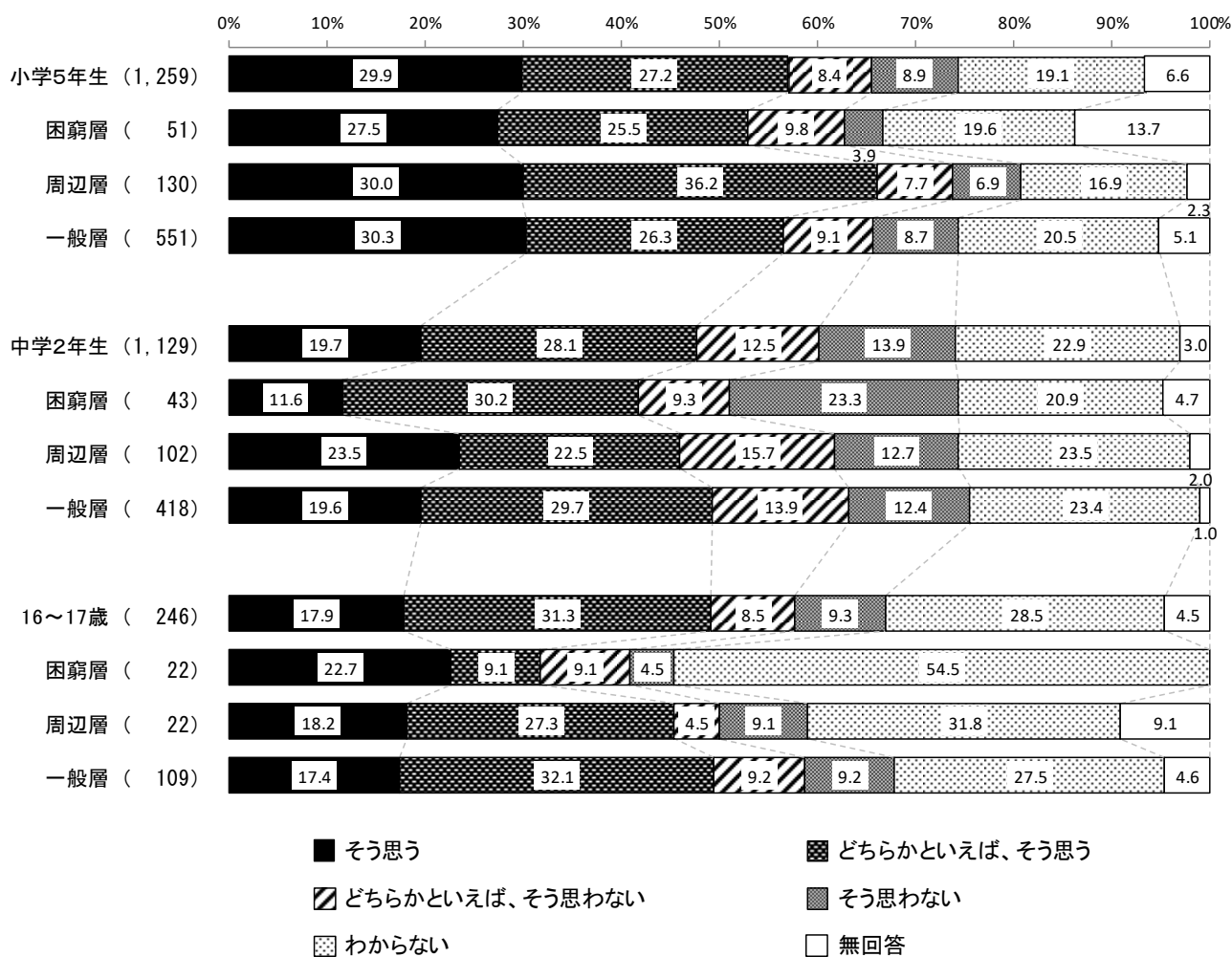
図表 2-6-3-2-3 ほっとできる居場所／学校：生活困難度別



④地域（図書館、公民館や公園など、いま住んでいる場所やそこにある建物）

「地域（図書館、公民館や公園など、いま住んでいる場所やそこにある建物）」がほっとできる居場所かどうかについて、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『思わない』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で13.7%、周辺層で14.6%、一般層で17.8%、中学2年生の困窮層で32.6%、周辺層で28.4%、一般層で26.3%、16～17歳の困窮層で13.6%、周辺層で13.6%、一般層で18.4%となっています。

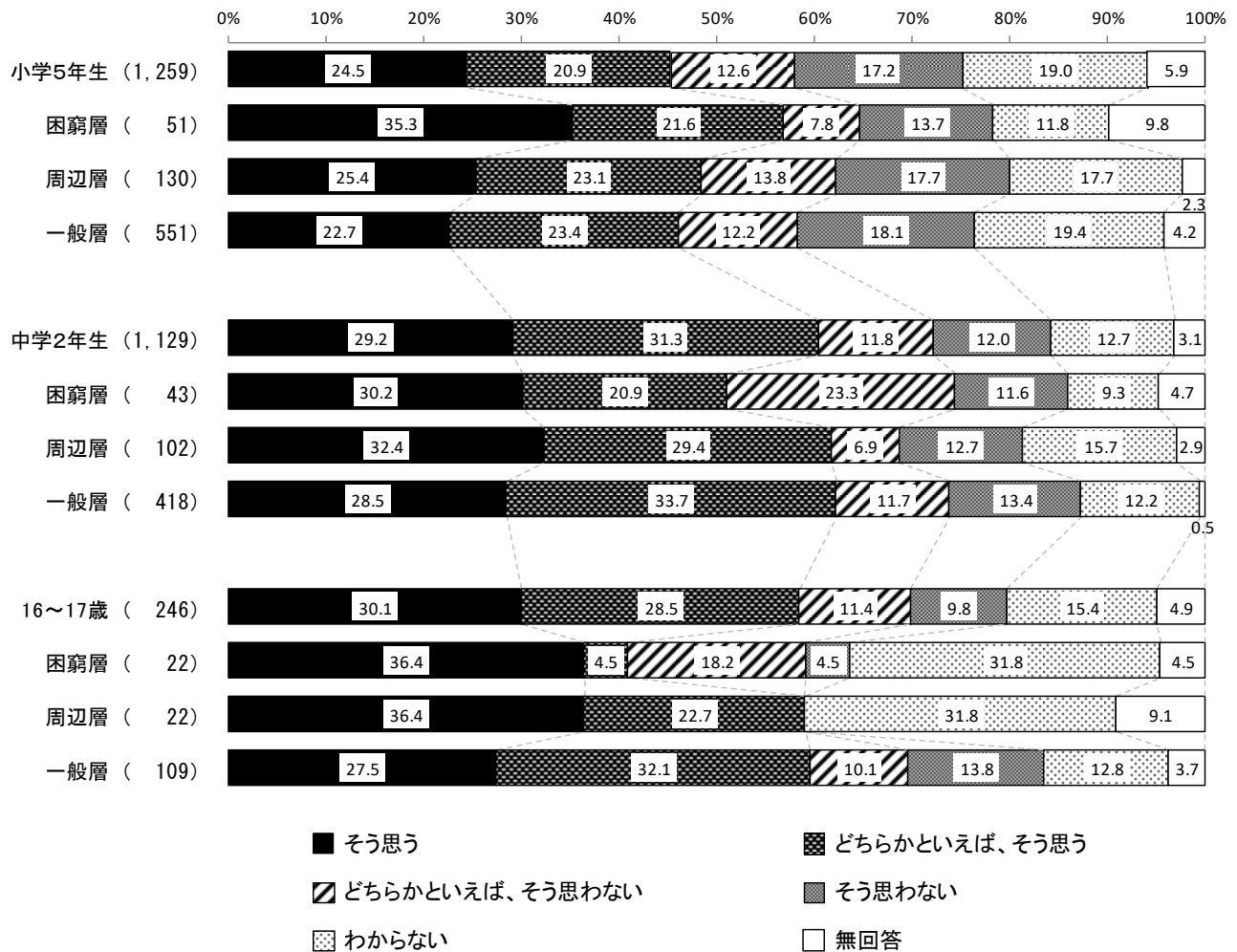
図表 2-6-3-2-4 ほっとできる居場所／地域（図書館、公民館や公園など、いま住んでいる場所やそこにある建物）：生活困難度別



⑤インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）

「インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）」がほっとできる居場所かどうかについて、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で56.9%、周辺層で48.5%、一般層で46.1%、中学2年生の困窮層で51.1%、周辺層で61.8%、一般層で62.2%、16～17歳の困窮層で40.9%、周辺層で59.1%、一般層で59.6%となっています。

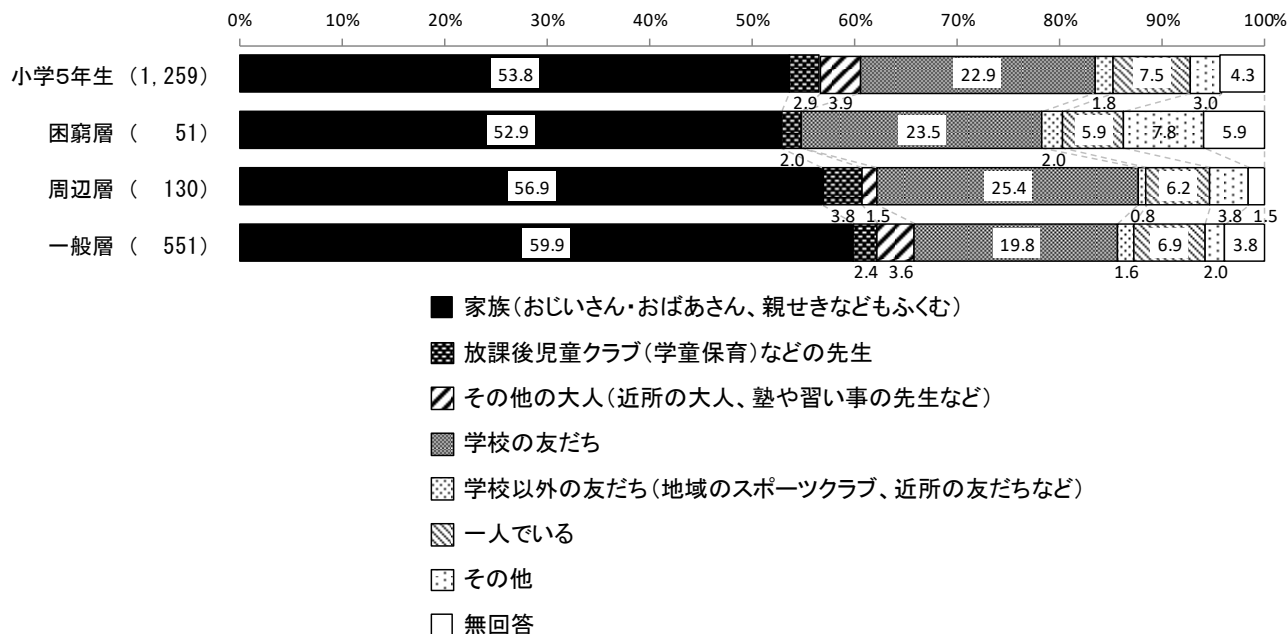
図表 2-6-3-2-5 ほっとできる居場所／インターネット空間
（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）：生活困難度別



(3) 放課後・自由時間を一緒に過ごす人

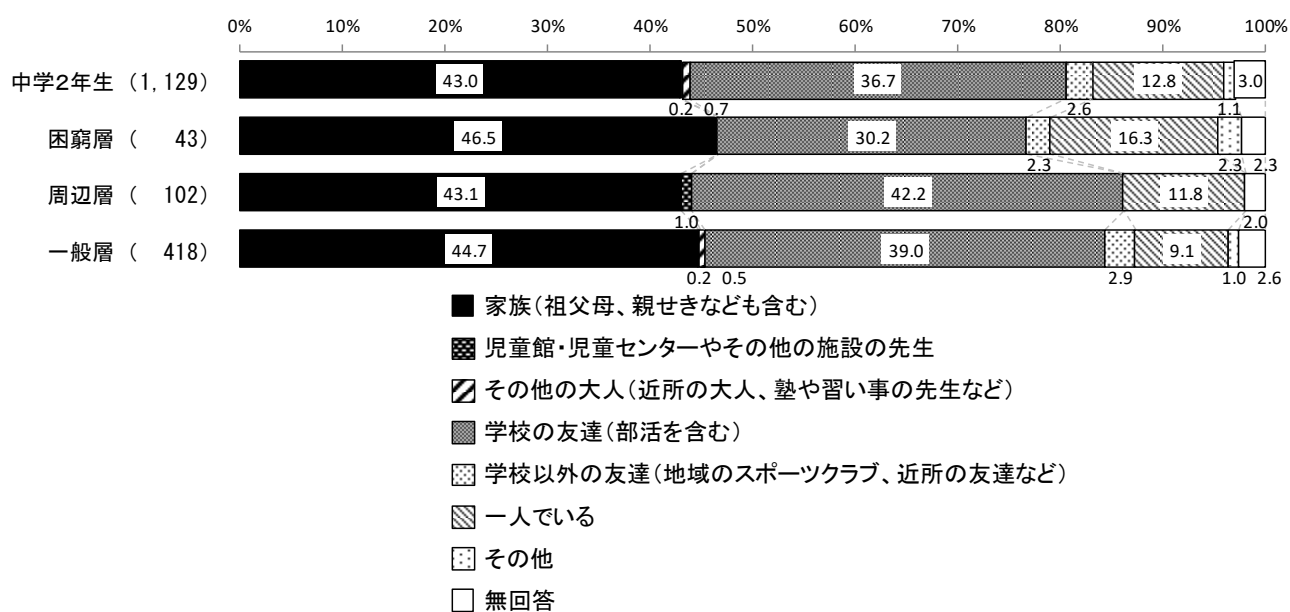
小学5年生が平日の放課後に一緒に過ごすことが一番多い人について、「家族(おじいさん・おばあさん・親せきなども含む)」と回答した割合は、困窮層で 52.9%、周辺層で 56.9%、一般層で 59.9%となっています。

図表 2-6-3-3-1 平日の放課後に一緒に過ごすことが一番多い人(小学5年生):生活困難度別



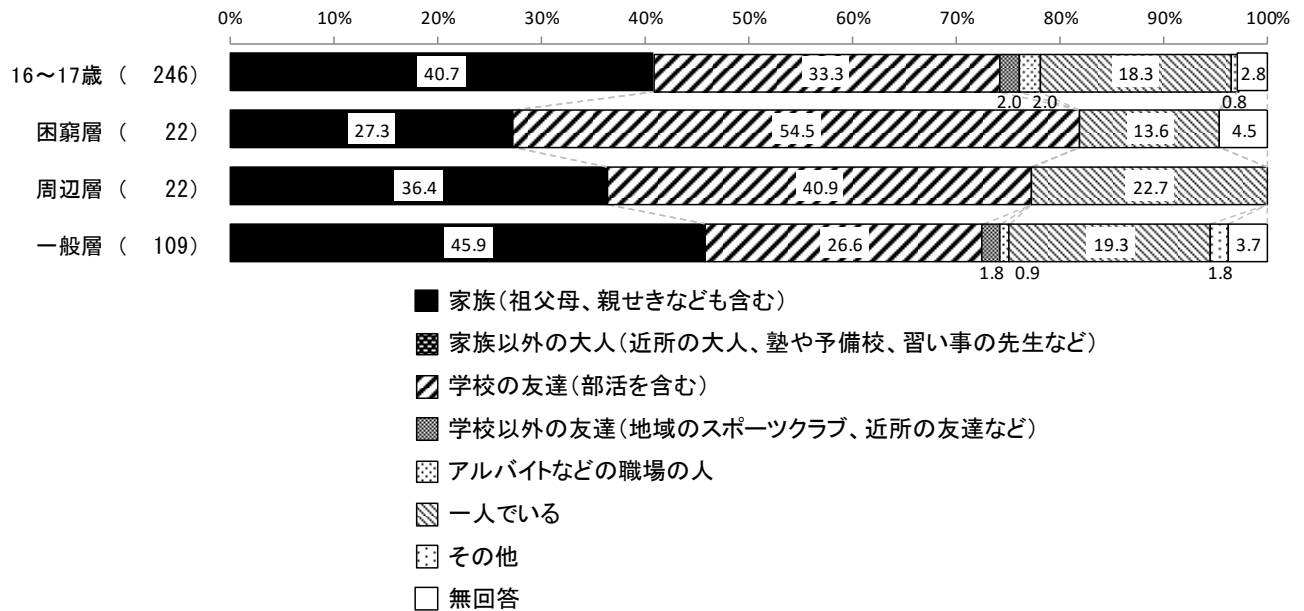
中学2年生が平日の放課後に一緒に過ごすことが一番多い人について、「家族(祖父母・親せきなども含む)」と回答した割合は、困窮層で 46.5%、周辺層で 43.1%、一般層で 44.7%となっています。

図表 2-6-3-3-2 平日の放課後に一緒に過ごすことが一番多い人(中学2年生):生活困難度別



16～17 歳が平日の自由時間に一緒に過ごすことが一番多い人について、「家族以外の大人(近所の大人、塾や予備校、習い事の先生など)」と回答した割合は、困窮層で 54.5%、周辺層で 40.9%、一般層で 26.6%となっています。

図表 2-6-3-3-3 平日の自由時間に一緒に過ごすことが一番多い人（16～17 歳）：生活困難度別

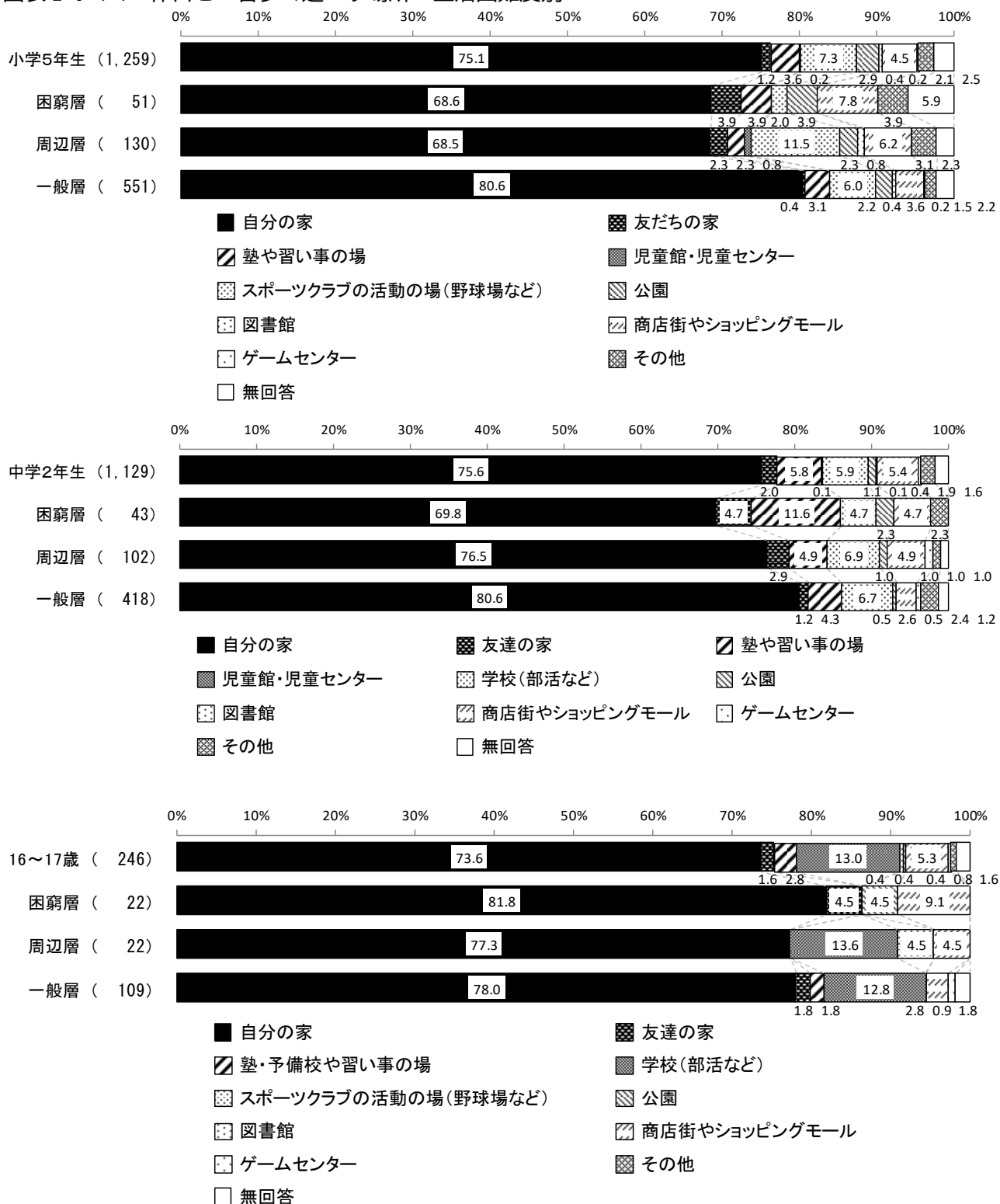


4. 休日の過ごし方

(1) 休日を一番多く過ごす場所

休日を過ごす場所について、「自分の家」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 68.6%、周辺層で 68.5%、一般層で 80.6%、中学2年生の困窮層で 69.8%、周辺層で 76.5%、一般層で 80.6%、16～17歳の困窮層で 81.8%、周辺層で 77.3%、一般層で 78.0%となっています。

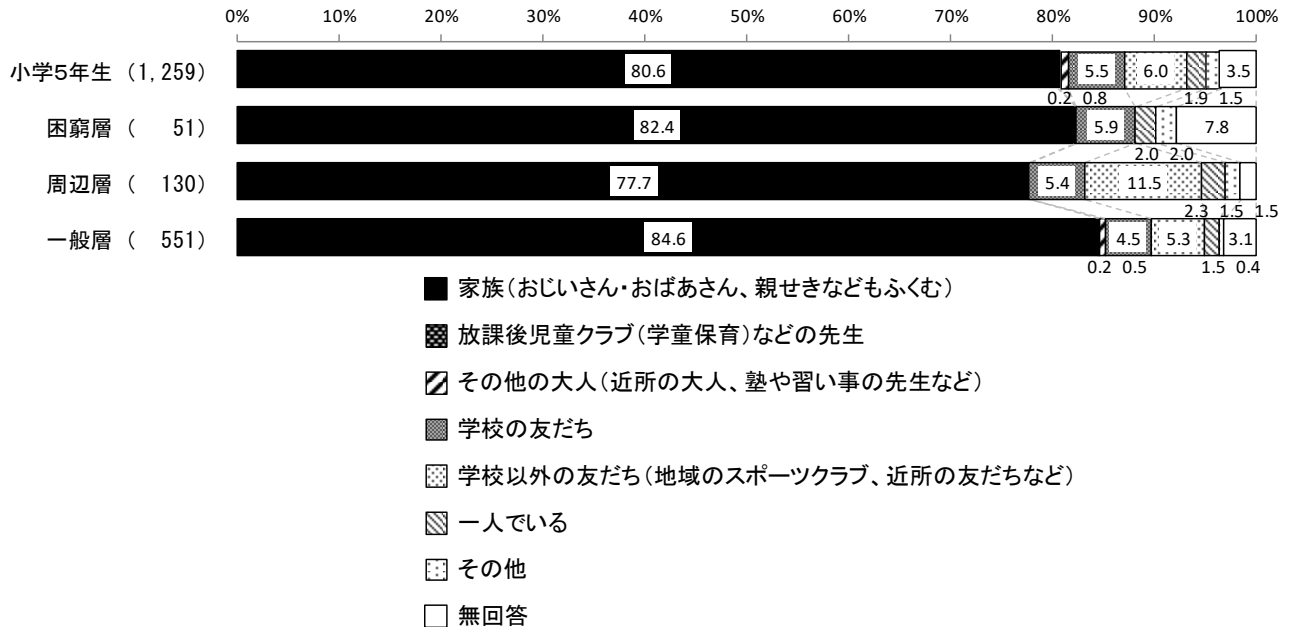
図表 2-6-4-1 休日を一番多く過ごす場所：生活困難度別



(2) 休日を一緒に過ごす人

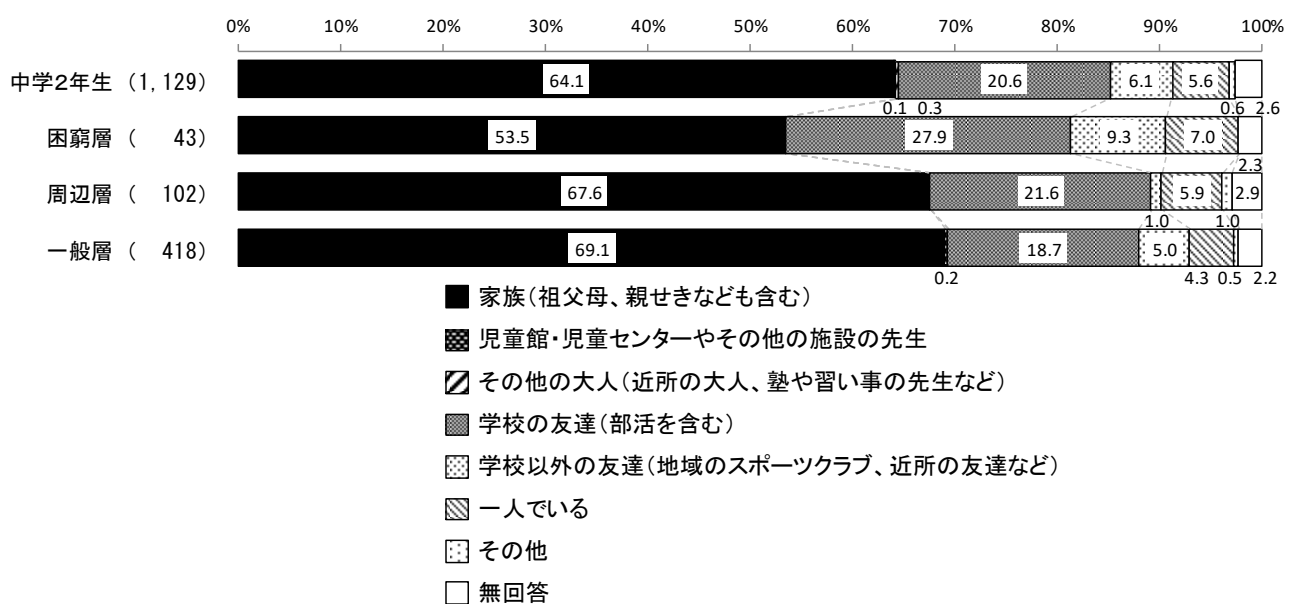
小学5年生が休日を一緒に過ごすことが一番多い人について、「家族(おじいさん・おばあさん・親せきなども含む)」と回答した割合は、困窮層で 82.4%、周辺層で 77.7%、一般層で 84.6%となっています。

図表 2-6-4-2-1 休日を一緒に過ごす人：生活困難度別（小学5年生）



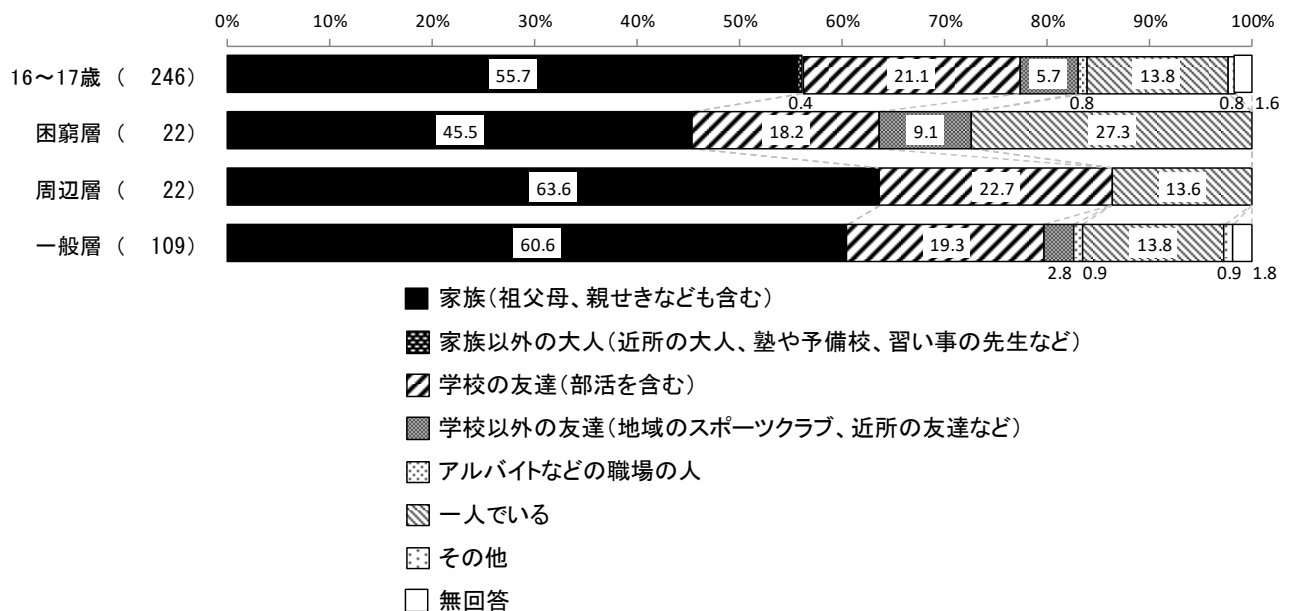
中学2年生が休日を一緒に過ごすことが一番多い人について、「家族(祖父母・親せきなども含む)」と回答した割合は、困窮層で 53.5%、周辺層で 67.6%、一般層で 69.1%となっています。「学校の友だち(部活を含む)」と回答した割合は、困窮層で 27.9%、周辺層で 21.6%、一般層で 18.7%となっています。

図表 2-6-4-2-2 休日を一緒に過ごす人：生活困難度別（中学2年生）



16～17 歳が休日と一緒に過ごすことが一番多い人について、「家族(祖父母・親せきなども含む)」と回答した割合は、困窮層で 45.5%、周辺層で 63.6%、一般層で 60.6%となっています。「一人である」と回答した割合は、困窮層で 27.3%、周辺層で 13.6%、一般層で 13.8%となっています。

図表 2-6-4-2-3 休日と一緒に過ごす人：生活困難度別（16～17 歳）

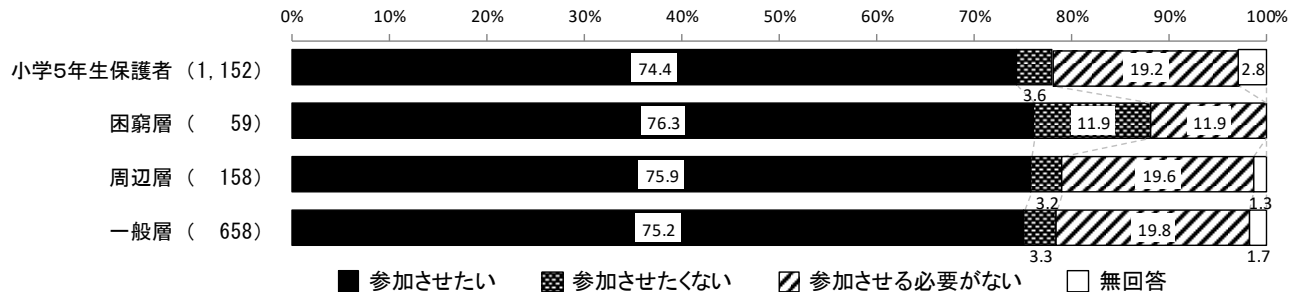


5. 放課後子ども教室・クラブ活動

(1) 放課後子ども教室の参加意向

小学5年生の保護者が「放課後子ども教室」に子どもを「参加させたい」と回答した割合は、困窮層で76.3%、周辺層で75.9%、一般層で75.2%となっています。

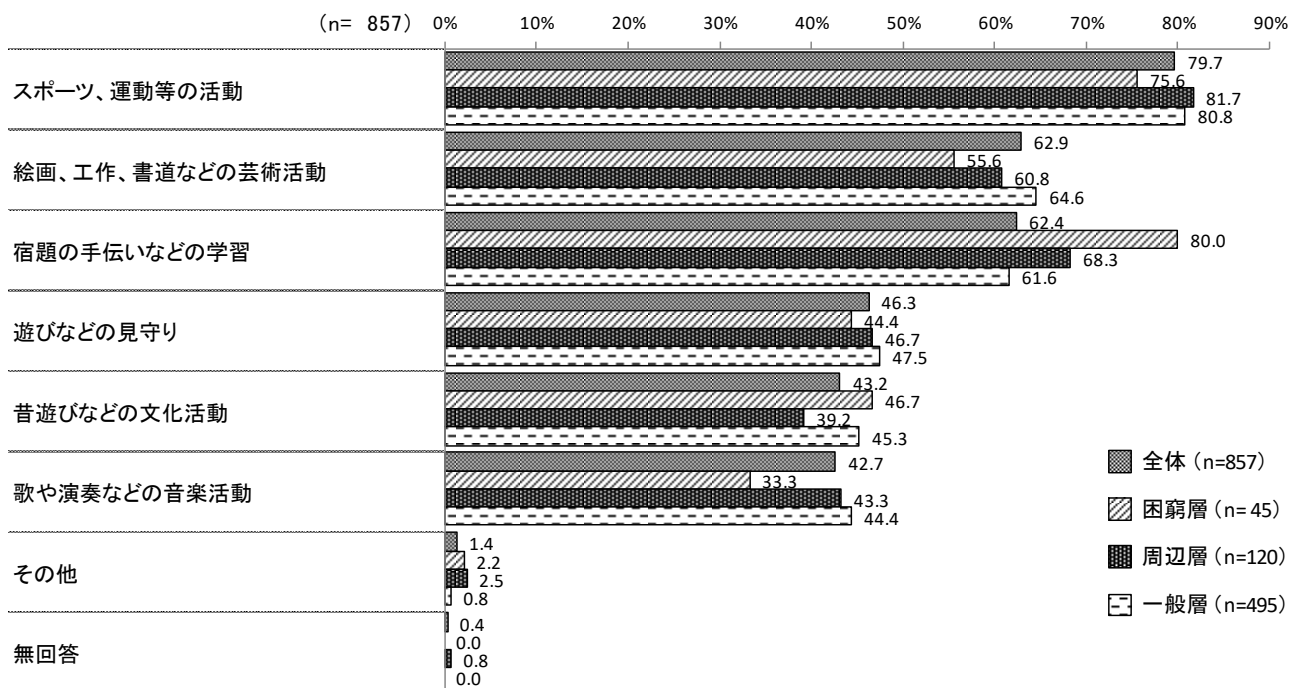
図表 2-6-5-1 放課後子ども教室の参加意向：生活困難度別



(2) 参加させたい活動

参加させたい活動について複数回答で聞いたところ、「スポーツ、運動等の活動」と回答した割合は、困窮層で75.6%、周辺層で81.7%、一般層で80.8%となっています。「絵画、工作、書道などの芸術活動」と回答した割合は、困窮層で55.6%、周辺層で60.8%、一般層で64.6%となっています。

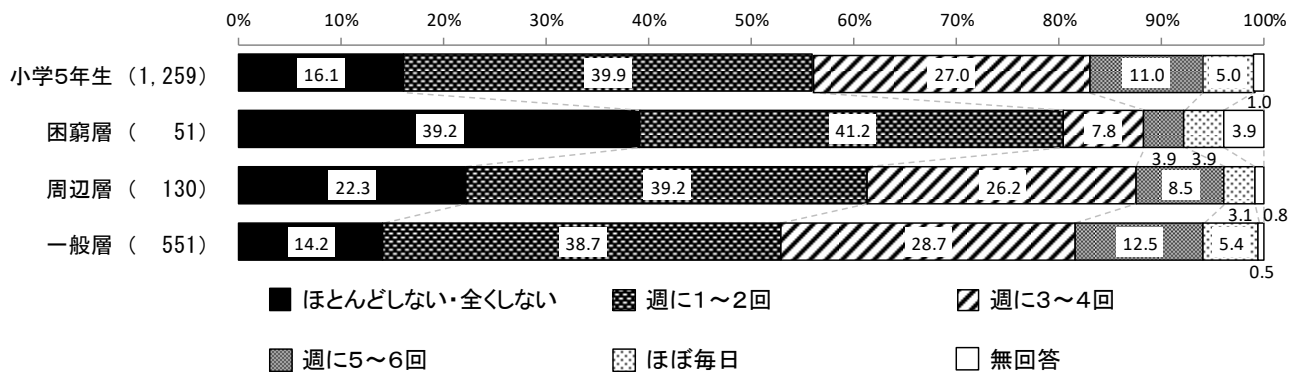
図表 2-6-5-2 参加させたい活動（複数回答）：生活困難度別



(3) 習い事の頻度

小学5年生の習い事の頻度について、「ほとんどしない・全くしない」と回答した割合は、困窮層で39.2%、周辺層で22.3%、一般層で14.2%となっています。

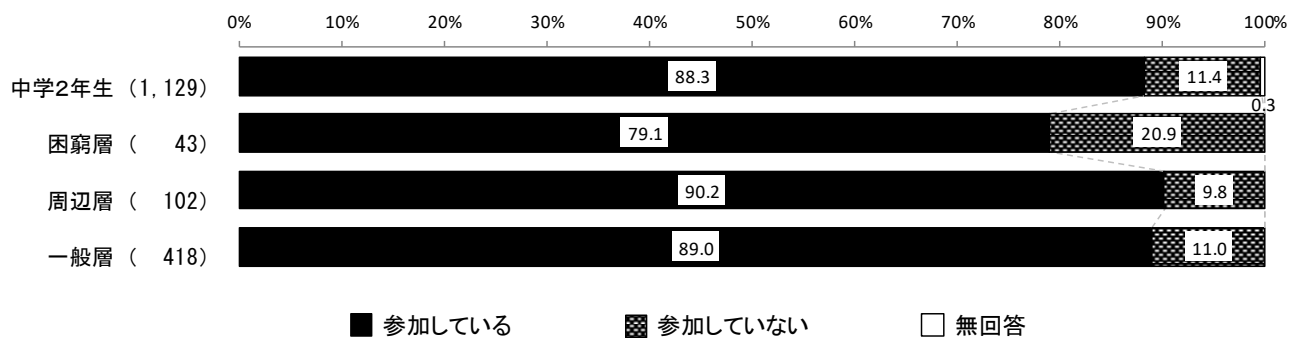
図表 2-6-5-3 習い事の頻度：生活困難度別



(4) 部活動への参加状況

中学2年生の部活動への参加状況について、「参加している」と回答した割合は、困窮層で79.1%、周辺層で90.2%、一般層で89.0%となっています。

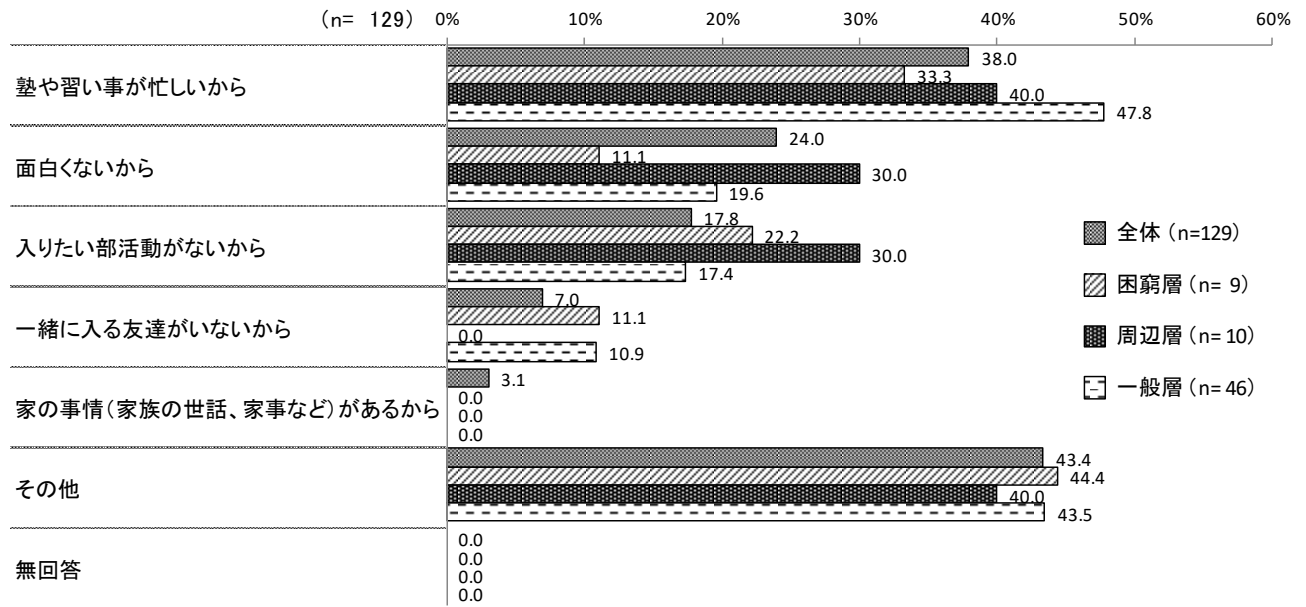
図表 2-6-5-4 部活動への参加状況：生活困難度別



(5) 部活動に参加しない理由

中学2年生に部活動に参加しない理由について複数回答で聞いたところ、「塾や習い事が忙しいから」と回答した割合は、困窮層で 33.3%、周辺層で 40.0%、一般層で 47.8%となっています。「面白くないから」と回答した割合は、困窮層で 11.1%、周辺層で 30.0%、一般層で 19.6%となっています。

図表 2-6-5-5 部活動に参加しない理由（複数回答）：生活困難度別



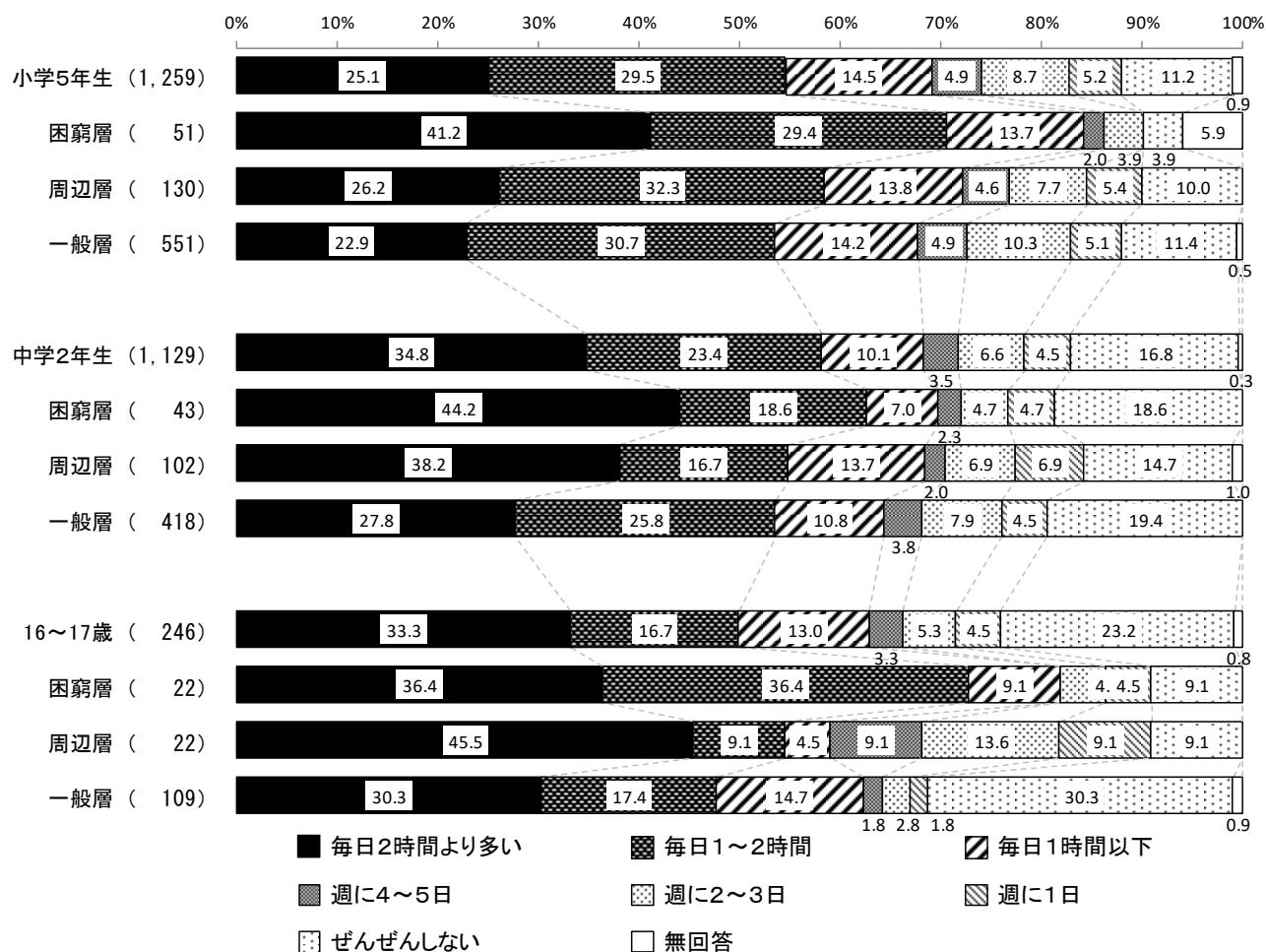
6. 活動と外出の状況

(1) 活動の状況

① ゲーム機で遊ぶ

ゲーム機で遊ぶ頻度について、「毎日2時間より多い」「毎日1～2時間」を合わせた割合は、小学5年生の困窮層で70.6%、周辺層で58.5%、一般層で53.6%、中学2年生の困窮層で62.8%、周辺層で54.9%、一般層で53.6%、16～17歳の困窮層で72.8%、周辺層で54.6%、一般層で47.7%となっています。

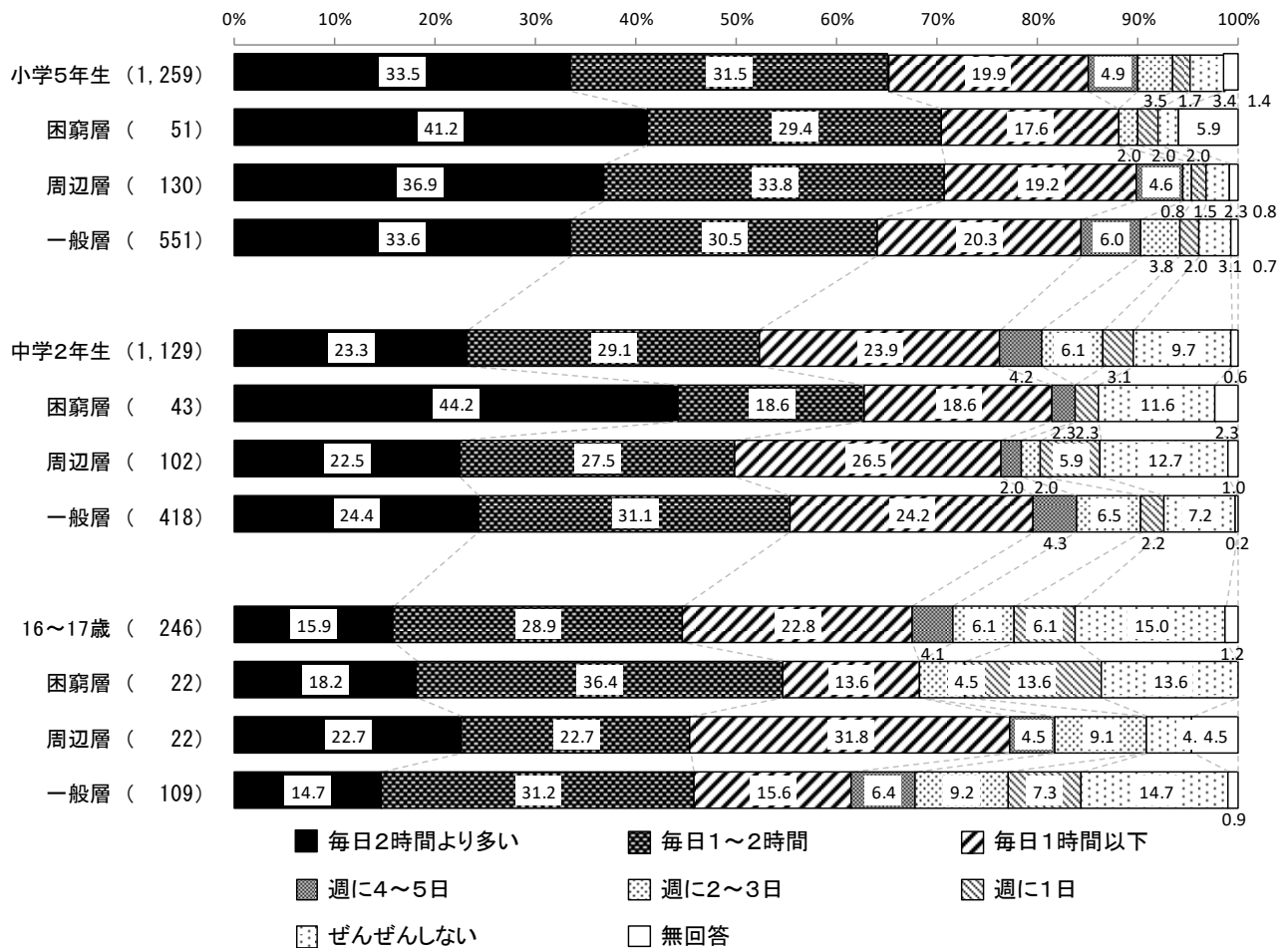
図表 2-6-6-1-1 活動頻度／ゲーム機で遊ぶ：生活困難度別



②テレビを見る

テレビを見る頻度について、「毎日2時間より多い」「毎日1～2時間」を合わせた割合は、小学5年生の困窮層で70.6%、周辺層で70.7%、一般層で64.1%、中学2年生の困窮層で62.8%、周辺層で50.0%、一般層で55.5%、16～17歳の困窮層で54.6%、周辺層で45.4%、一般層で45.9%となっています。

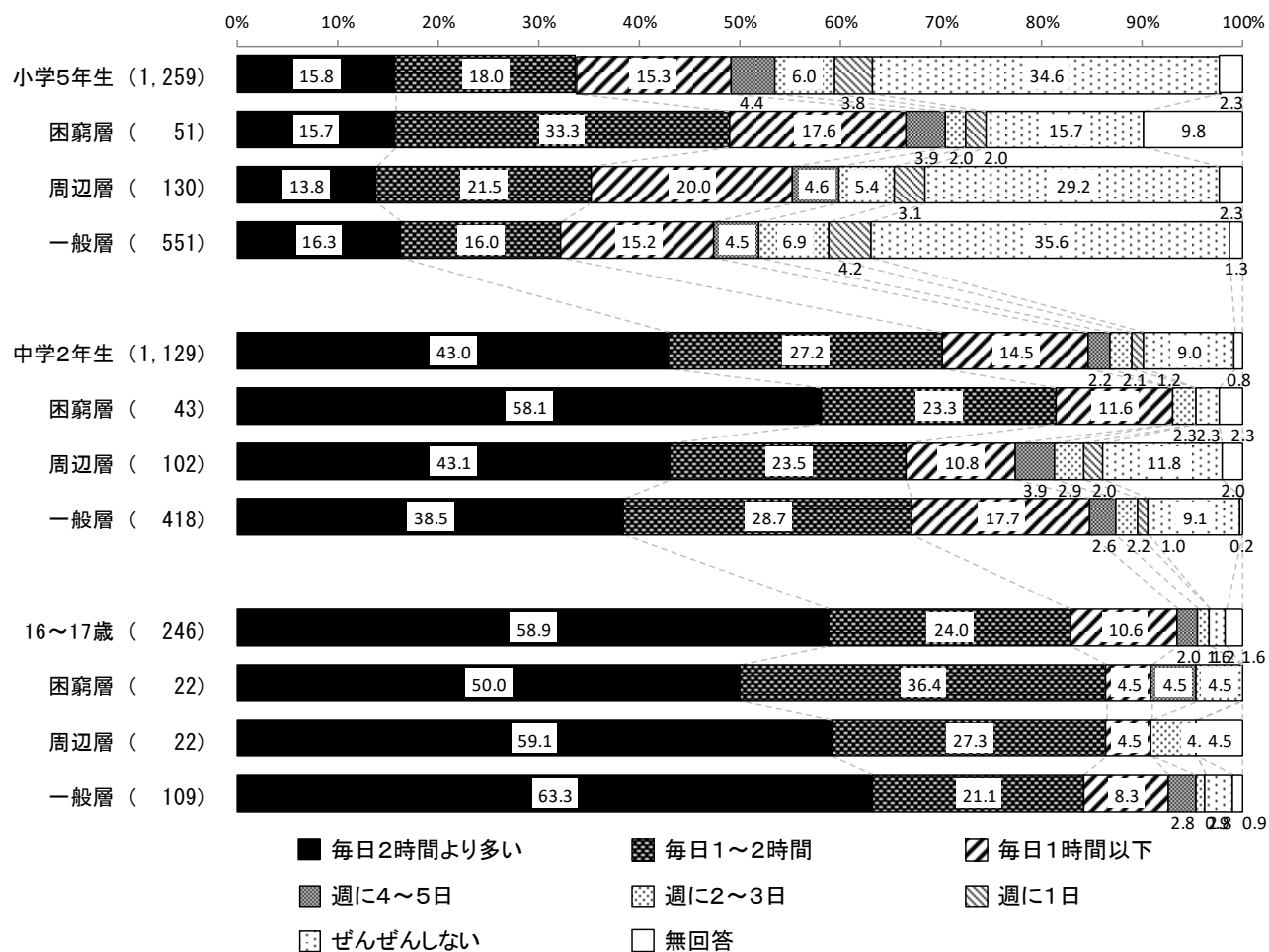
図表 2-6-6-1-2 活動頻度／テレビを見る：生活困難度別



③インターネットやSNSを見る

インターネットやSNSを見る頻度について、「毎日2時間より多い」「毎日1～2時間」を合わせた割合は、小学5年生の困窮層で49.0%、周辺層で35.3%、一般層で32.3%、中学2年生の困窮層で81.4%、周辺層で66.6%、一般層で67.2%、16～17歳の困窮層で86.4%、周辺層で86.4%、一般層で84.4%となっています。

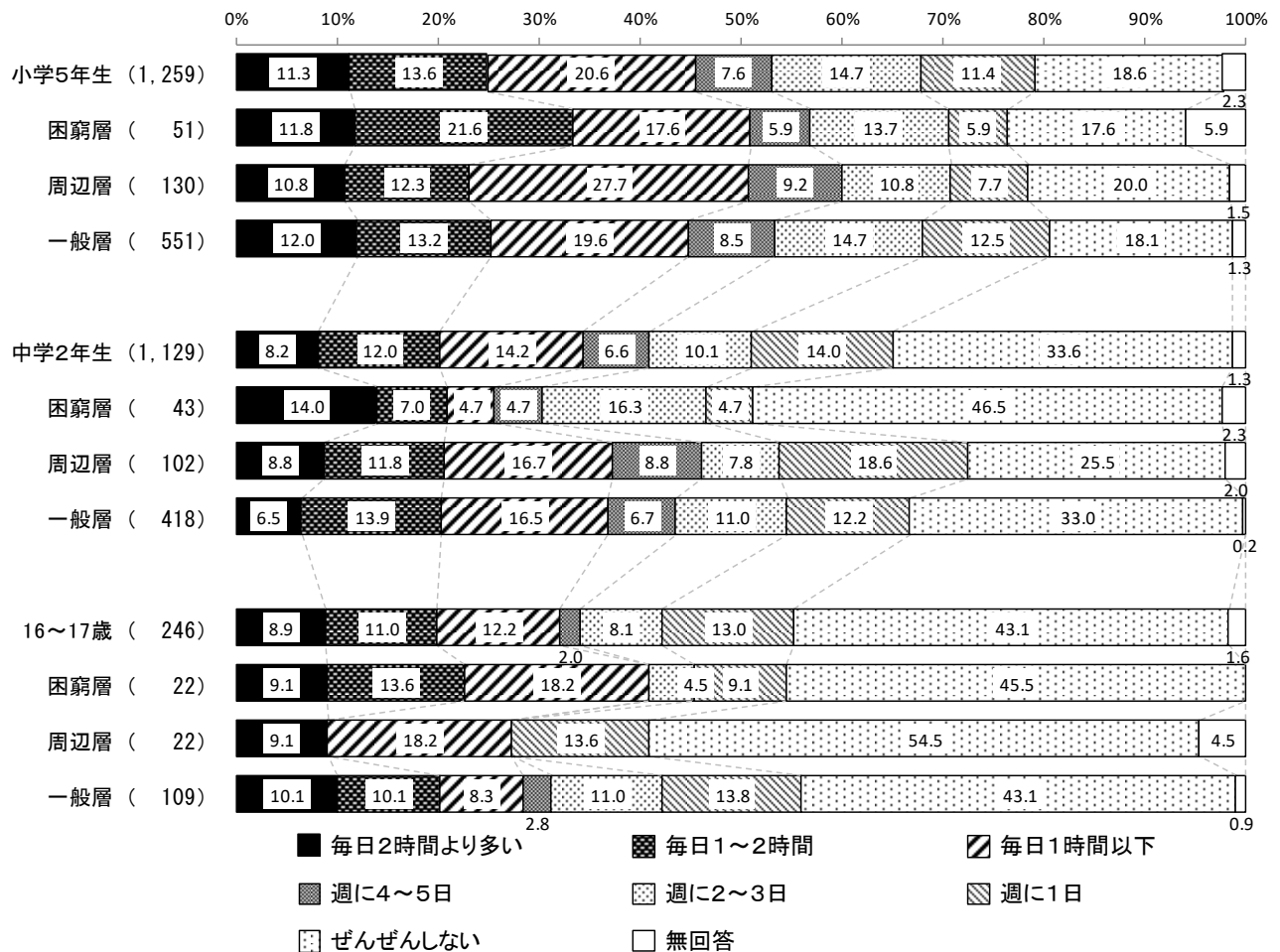
図表 2-6-6-1-3 活動頻度／インターネットやSNSを見る：生活困難度別



④室内でのほかの活動（読書、室内遊びなど）

室内でのほかの活動（読書、室内遊びなど）をする頻度について、「毎日2時間より多い」「毎日1～2時間」を合わせた割合は、小学5年生の困窮層で33.4%、周辺層で23.1%、一般層で25.2%、中学2年生の困窮層で21.0%、周辺層で20.6%、一般層で20.4%、16～17歳の困窮層で22.7%、周辺層で9.1%、一般層で20.2%となっています。

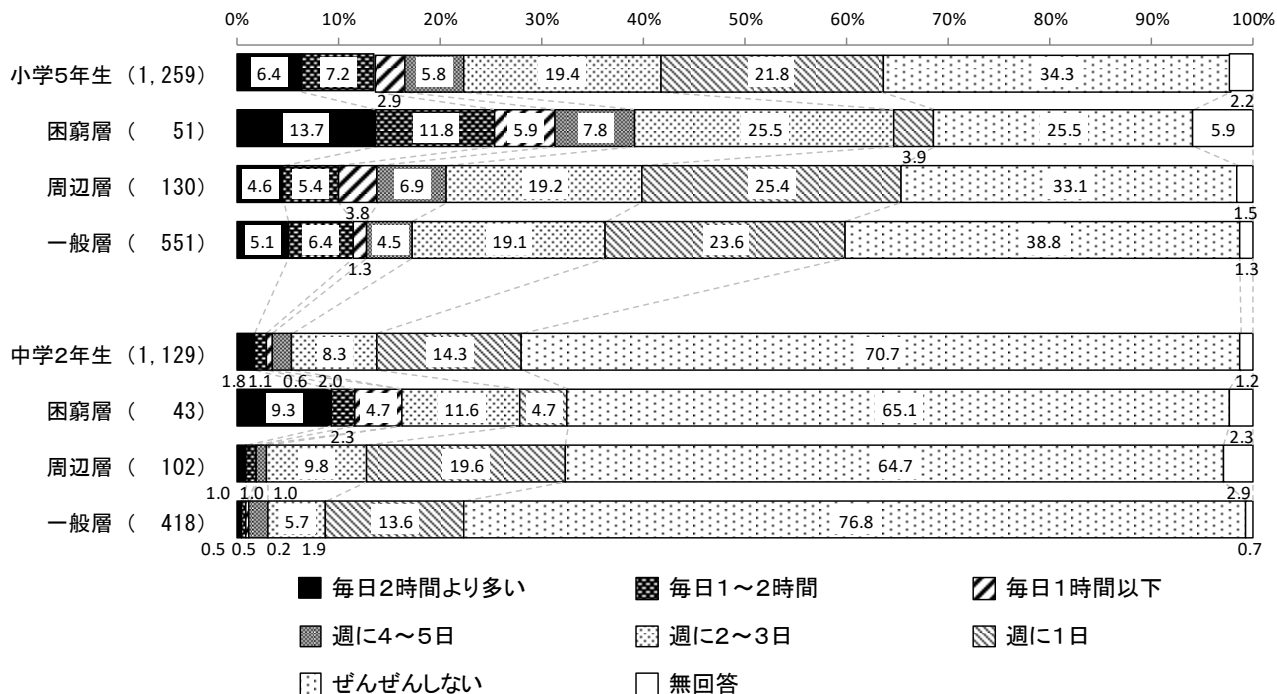
図表 2-6-6-1-4 活動頻度／室内でのほかの活動（読書、室内遊びなど）：生活困難度別



⑤公園で遊ぶ

公園で遊ぶ頻度について、「ぜんぜんしない」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 25.5%、周辺層で 33.1%、一般層で 38.8%、中学2年生の困窮層で 65.1%、周辺層で 64.7%、一般層で 76.8%となっています。

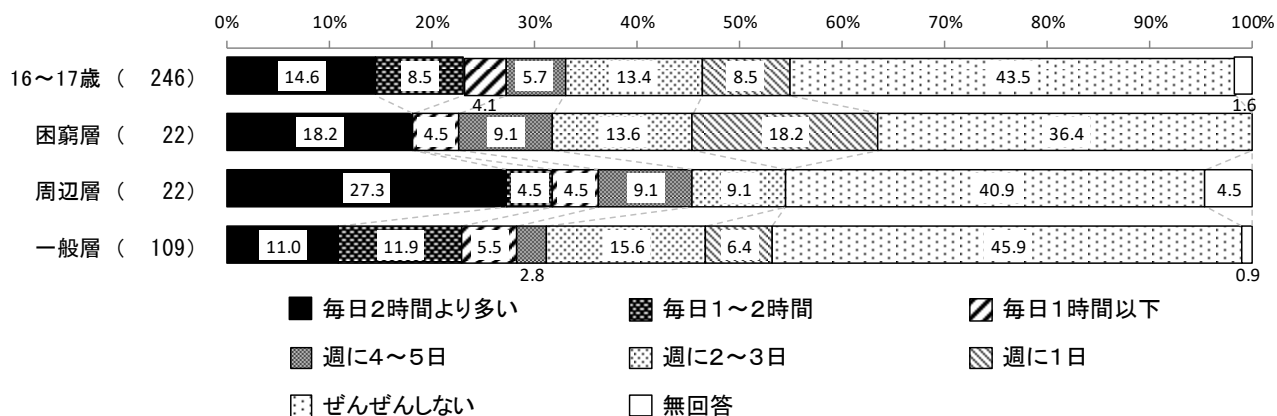
図表 2-6-6-1-5 活動頻度／公園で遊ぶ：生活困難度別



⑥屋外での運動

屋外での運動をする頻度について、「ぜんぜんしない」と回答した割合は、16～17歳の困窮層で 36.4%、周辺層で 40.9%、一般層で 45.9%となっています。

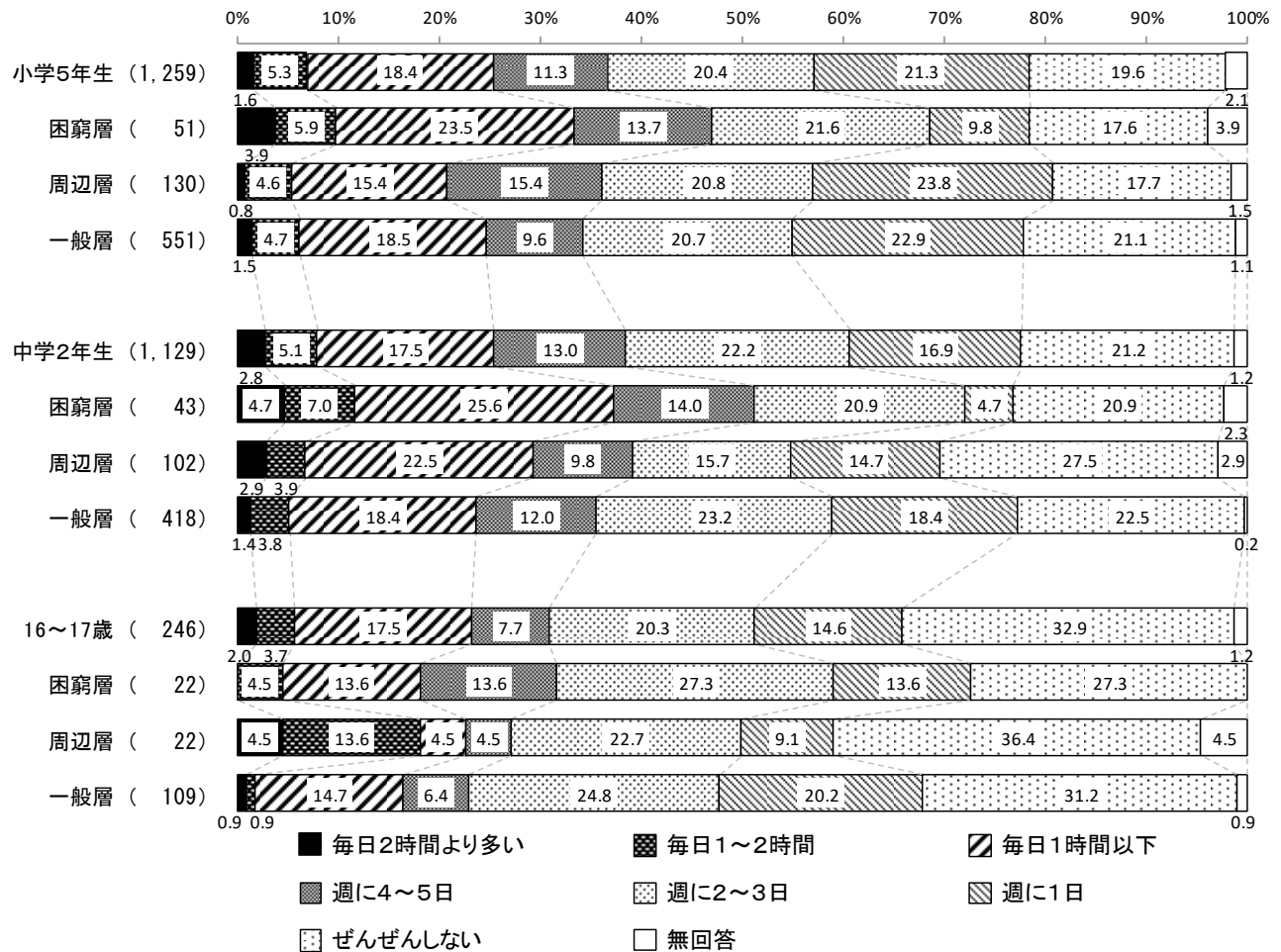
図表 2-6-6-1-6 活動頻度／屋外での運動：生活困難度別



⑦家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）

家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）をする頻度について、「週に1日」「ぜんぜんしない」を合わせた割合は、小学5年生の困窮層で27.4%、周辺層で41.5%、一般層で44.0%、中学2年生の困窮層で25.6%、周辺層で42.2%、一般層で40.9%、16～17歳の困窮層で40.9%、周辺層で45.5%、一般層で51.4%となっています。

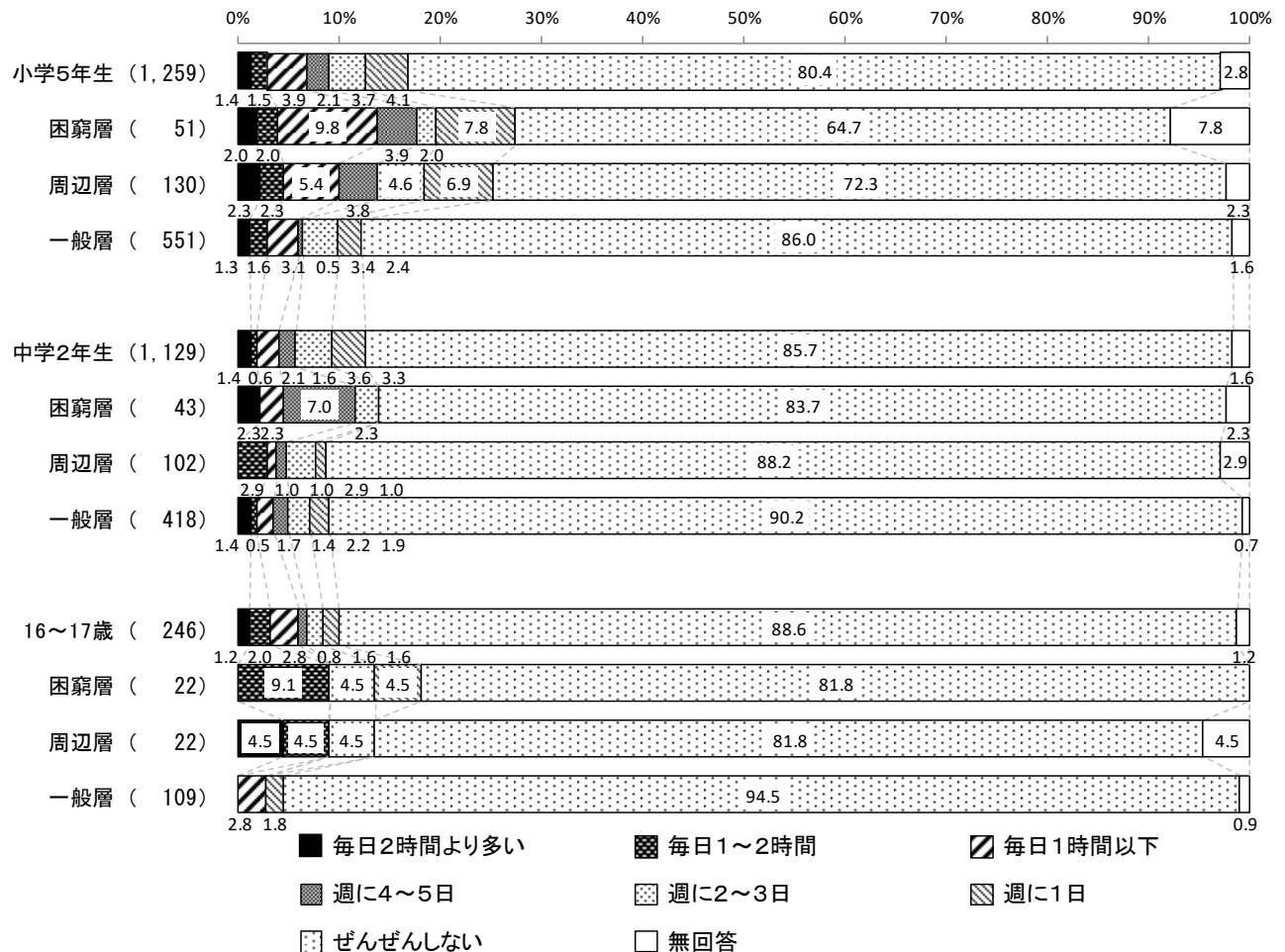
図表 2-6-6-1-7 活動頻度／家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）：生活困難度別



⑧家族の看病や世話

家族の看病や世話をする頻度について、「週に1日」「ぜんぜんしない」を合わせた割合は、小学5年生の困窮層で72.5%、周辺層で79.2%、一般層で88.4%、中学2年生の困窮層で83.7%、周辺層で89.2%、一般層で92.1%、16～17歳の困窮層で86.3%、周辺層で81.8%、一般層で96.3%となっています。

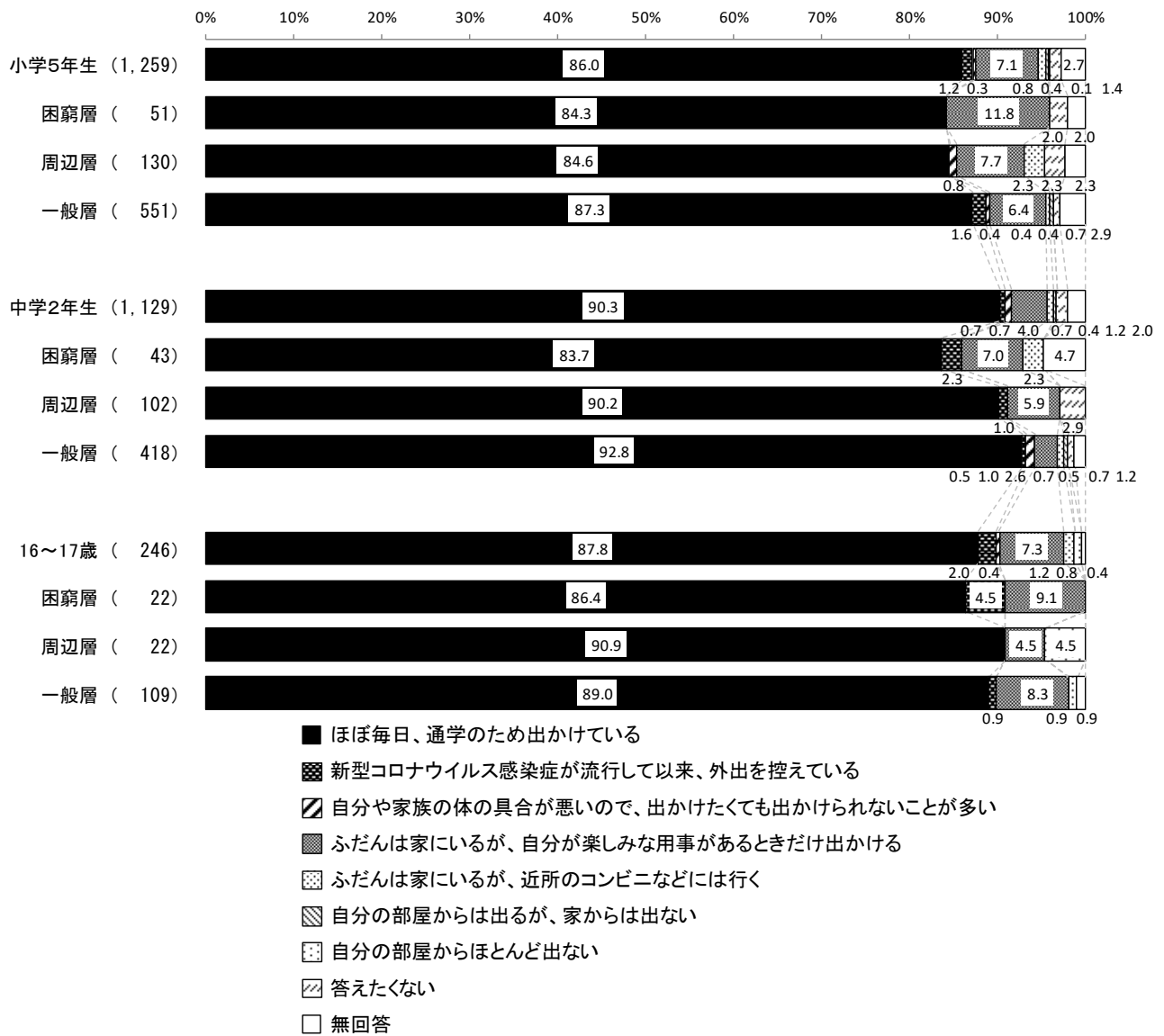
図表 2-6-6-1-8 活動頻度／家族の看病や世話：生活困難度別



(2) 外出頻度

外出頻度について、「自分や家族の体の具合が悪いので、出かけたくても出かけられないことが多い」「ふだんは家にいるが、自分が楽しみな用事があるときだけ出かける」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには行く」「自分の部屋からは出るが、家からは出ない」「自分の部屋からほとんど出ない」を合わせた『外出頻度が少ない』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 11.8%、周辺層で 10.8%、一般層で 7.6%、中学2年生の困窮層で 9.3%、周辺層で 5.9%、一般層で 4.8%、16～17歳の困窮層で 9.1%、周辺層で 9.0%、一般層で 9.2%となっています。

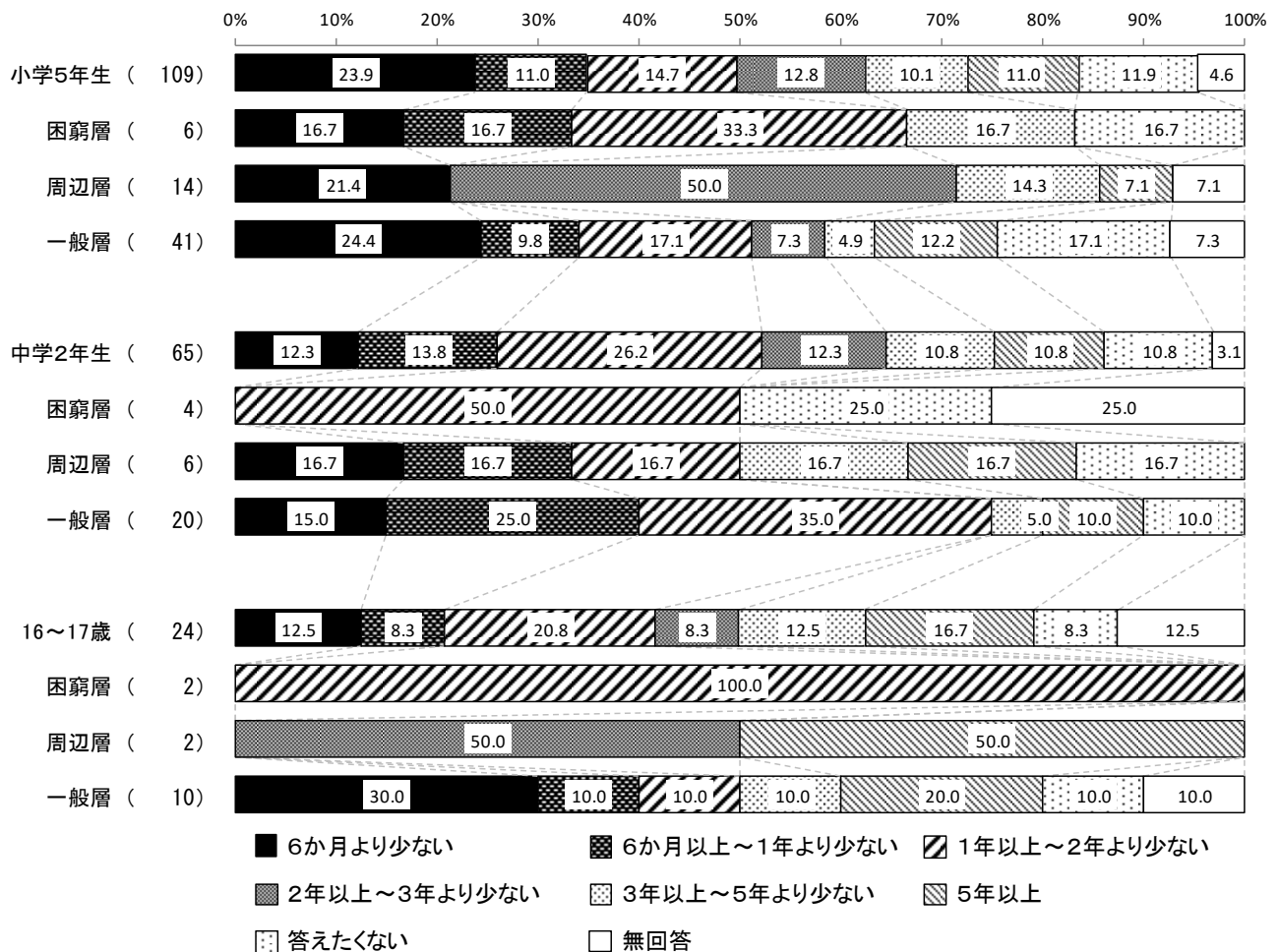
図表 2-6-6-2 外出頻度：生活困難度別



(3) 外出頻度が少なくなってから期間

外出頻度が少なくなってから期間について、『6か月以上』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 66.7%、周辺層で 71.4%、一般層で 51.3%、中学2年生の困窮層で 50.0%、周辺層で 66.8%、一般層で 75.0%、16～17歳はサンプル数は少ないものの困窮層で 100.0%、周辺層で 100.0%、一般層で 50.0%となっています。

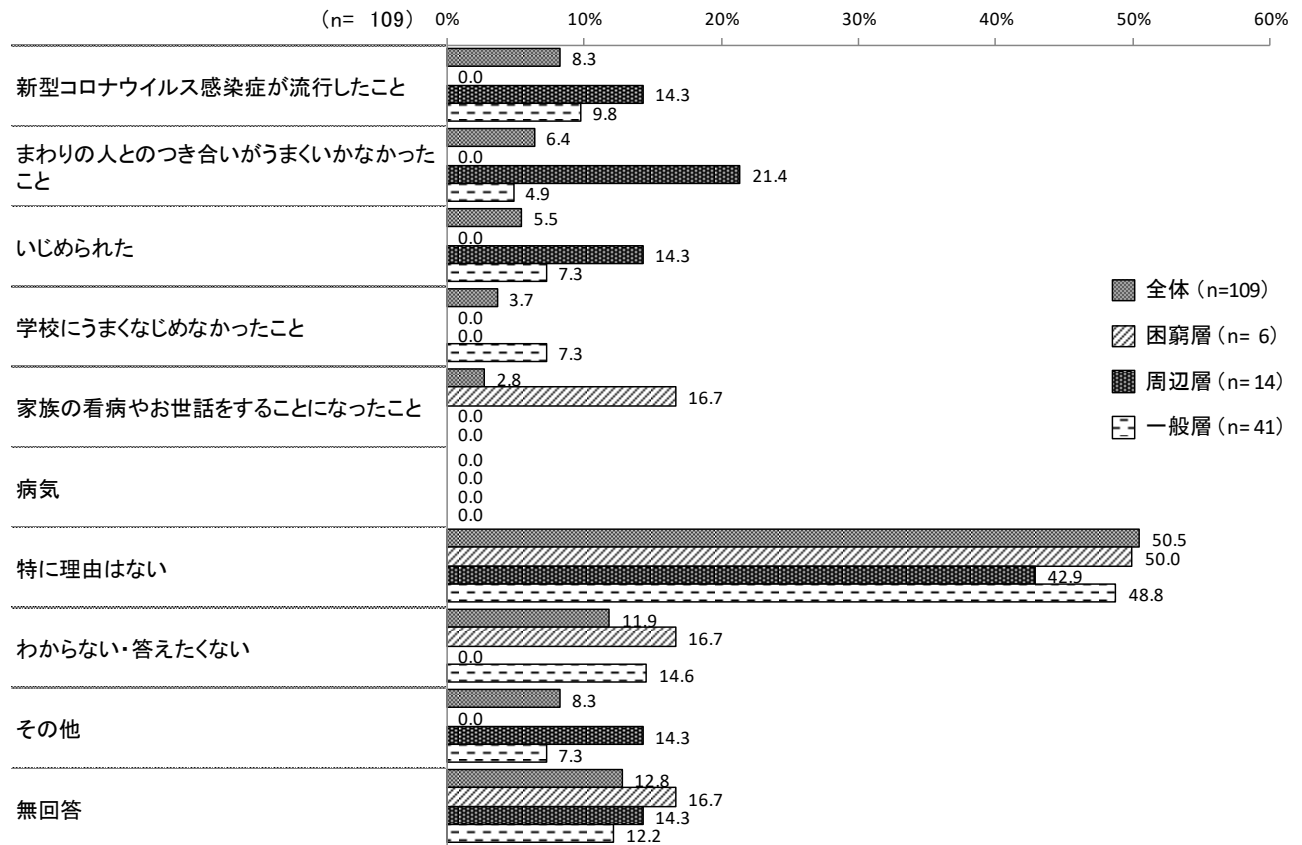
図表 2-6-6-3 外出頻度が少なくなってから期間：生活困難度別



(4) 外出頻度が少なくなった理由

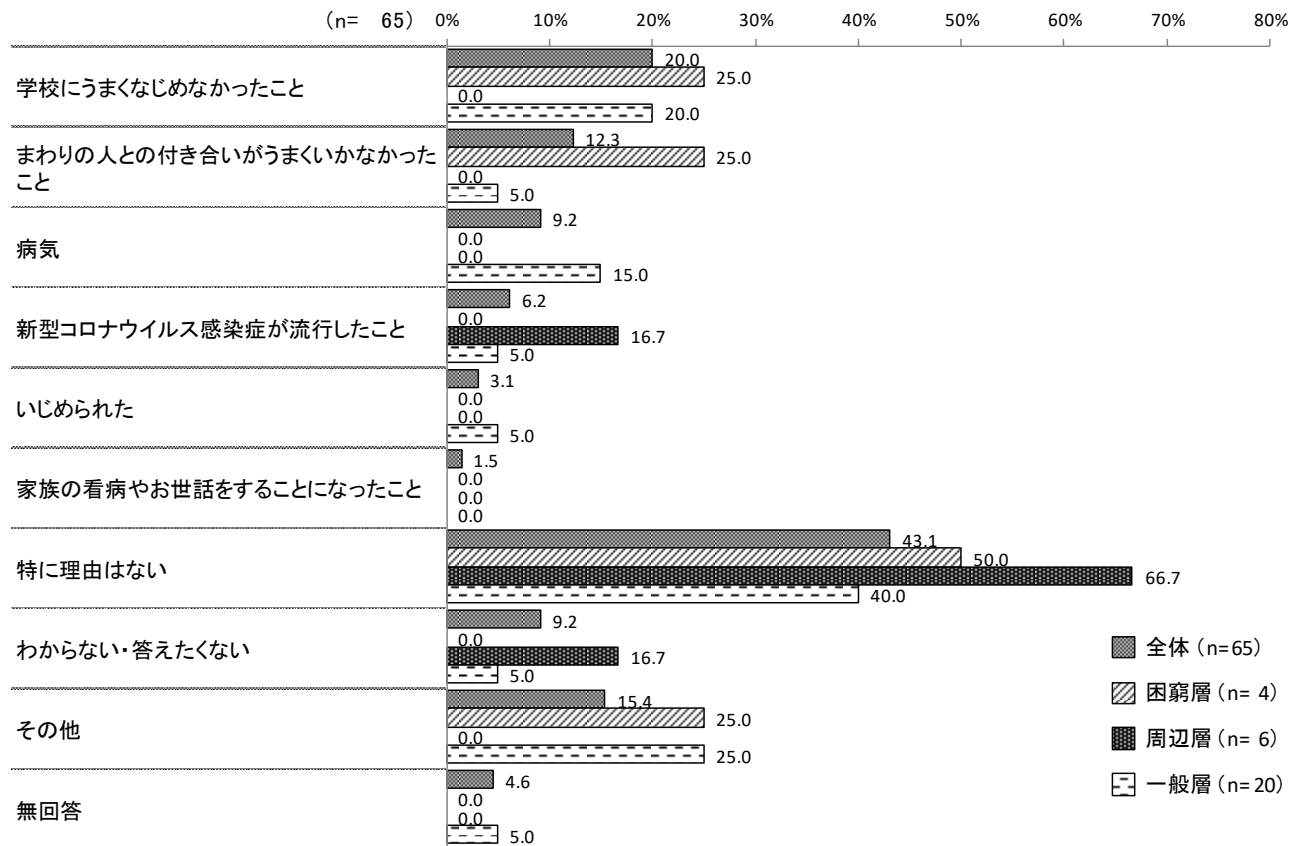
小学5年生に外出頻度が少なくなった理由について複数回答で聞いたところ、「特に理由はない」と回答した割合は、困窮層で50.0%、周辺層で42.9%、一般層で48.8%となっています。

図表 2-6-6-4-1 外出頻度が少なくなった理由（複数回答）（小学5年生）：生活困難度別



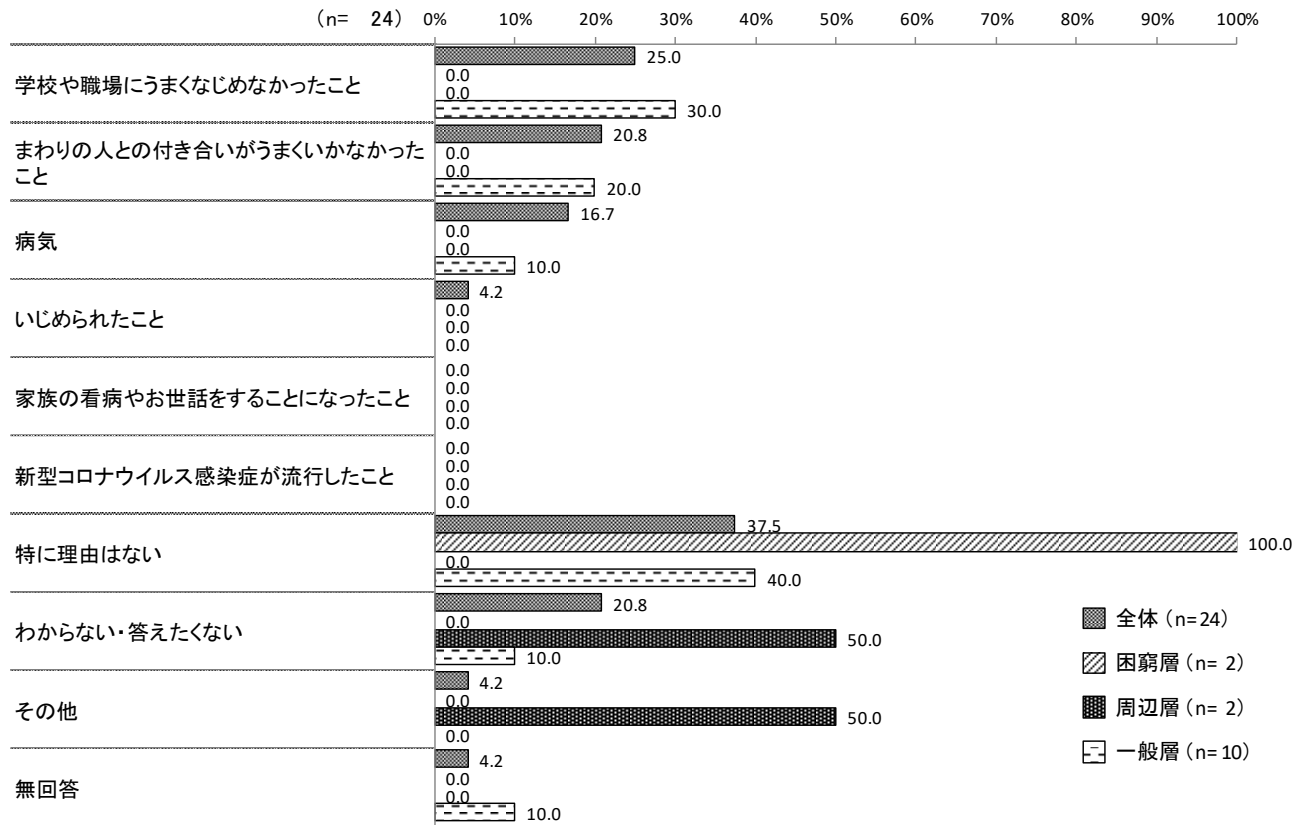
中学2年生に外出頻度が少なくなった理由について複数回答で聞いたところ、「特に理由はない」と回答した割合は、困窮層で50.0%、周辺層で66.7%、一般層で40.0%となっています。

図表 2-6-6-4-2 外出頻度が少なくなった理由（複数回答）（中学2年生）：生活困難度別



16～17 歳に外出頻度が少なくなった理由について複数回答で聞いたところ、サンプル数は少ないものの「特に理由はない」と回答した割合は、困窮層で 100.0%、周辺層で 0.0%、一般層で 40.0% となっています。

図表 2-6-6-4-3 外出頻度が少なくなった理由（複数回答）（16～17 歳）：生活困難度別



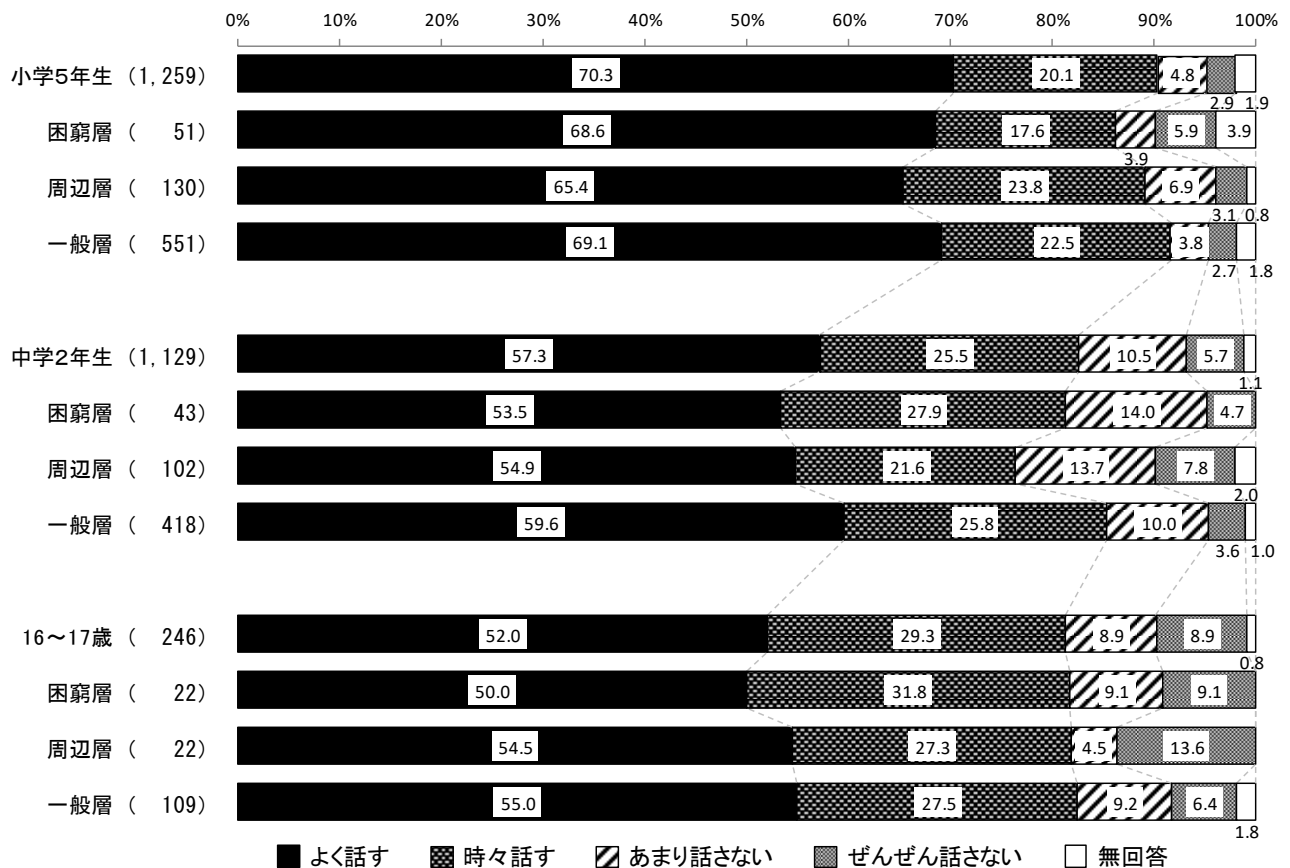
7. 会話の頻度

(1) 会話の頻度

①家族（親）

家族（親）との会話について、「よく話す」「時々話す」を合わせた『話す』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で86.2%、周辺層で89.2%、一般層で91.6%、中学2年生の困窮層で81.4%、周辺層で76.5%、一般層で85.4%、16～17歳の困窮層で81.8%、周辺層で81.8%、一般層で82.5%となっています。

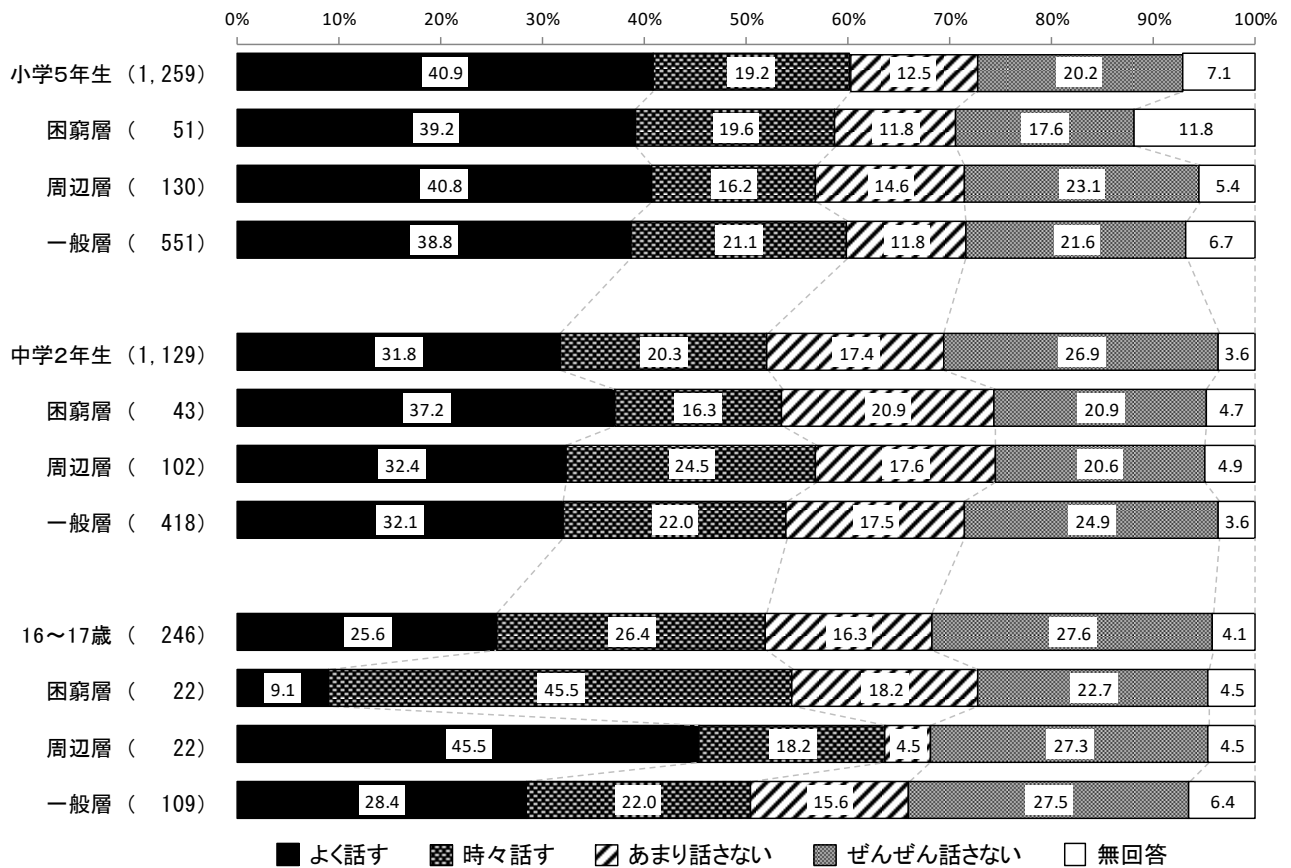
図表 2-6-7-1-1 会話の頻度／家族（親）：生活困難度別



②家族（きょうだい）

家族（きょうだい）との会話について、「よく話す」「時々話す」を合わせた『話す』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 58.8%、周辺層で 57.0%、一般層で 59.9%、中学2年生の困窮層で 53.5%、周辺層で 56.9%、一般層で 54.1%、16～17歳の困窮層で 54.6%、周辺層で 63.7%、一般層で 50.4%となっています。

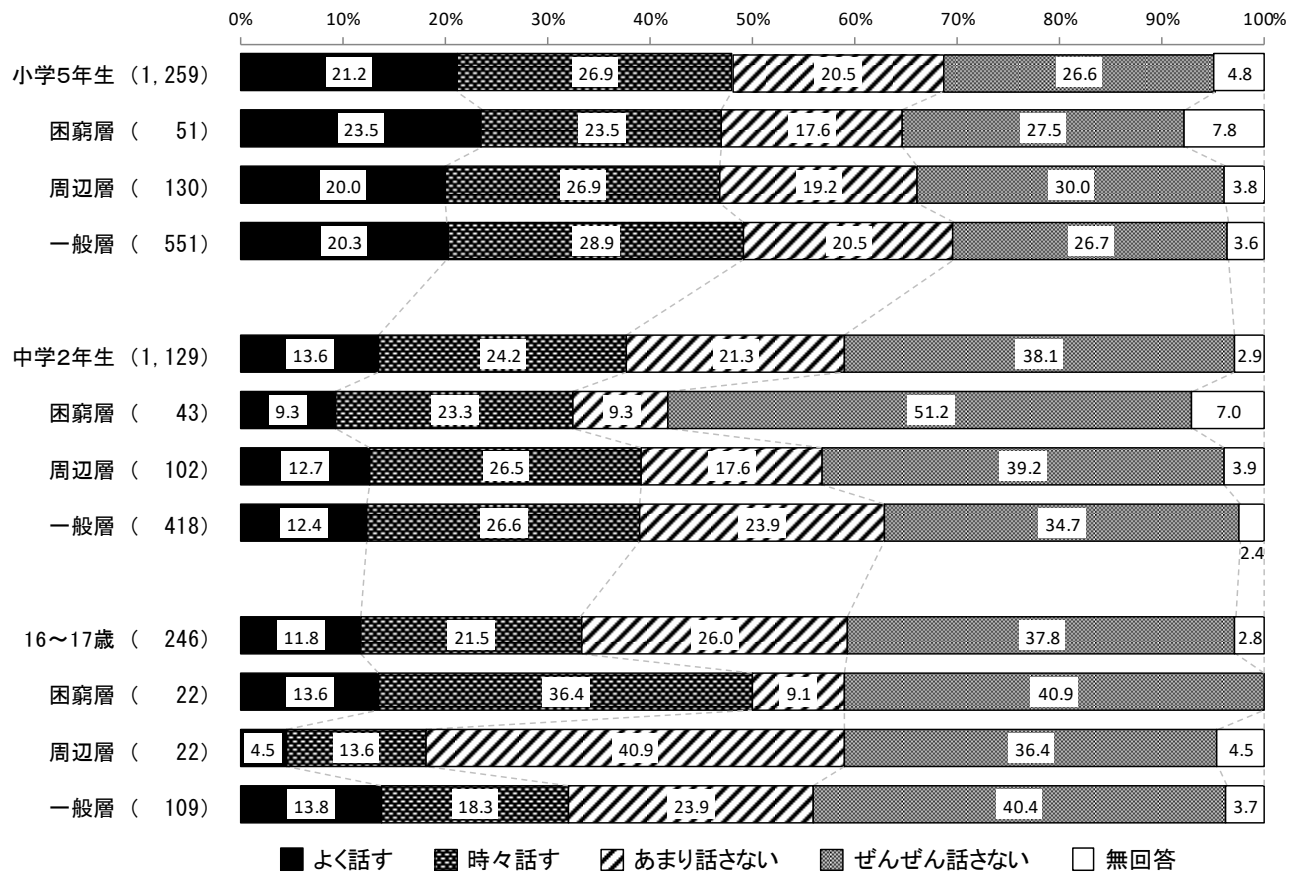
図表 2-6-7-1-2 会話の頻度／家族（きょうだい）：生活困難度別



③家族（祖父母など）

家族（祖父母など）との会話について、「よく話す」「時々話す」を合わせた『話す』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で47.0%、周辺層で46.9%、一般層で49.2%、中学2年生の困窮層で32.6%、周辺層で39.2%、一般層で39.0%、16～17歳の困窮層で50.0%、周辺層で18.1%、一般層で32.1%となっています。

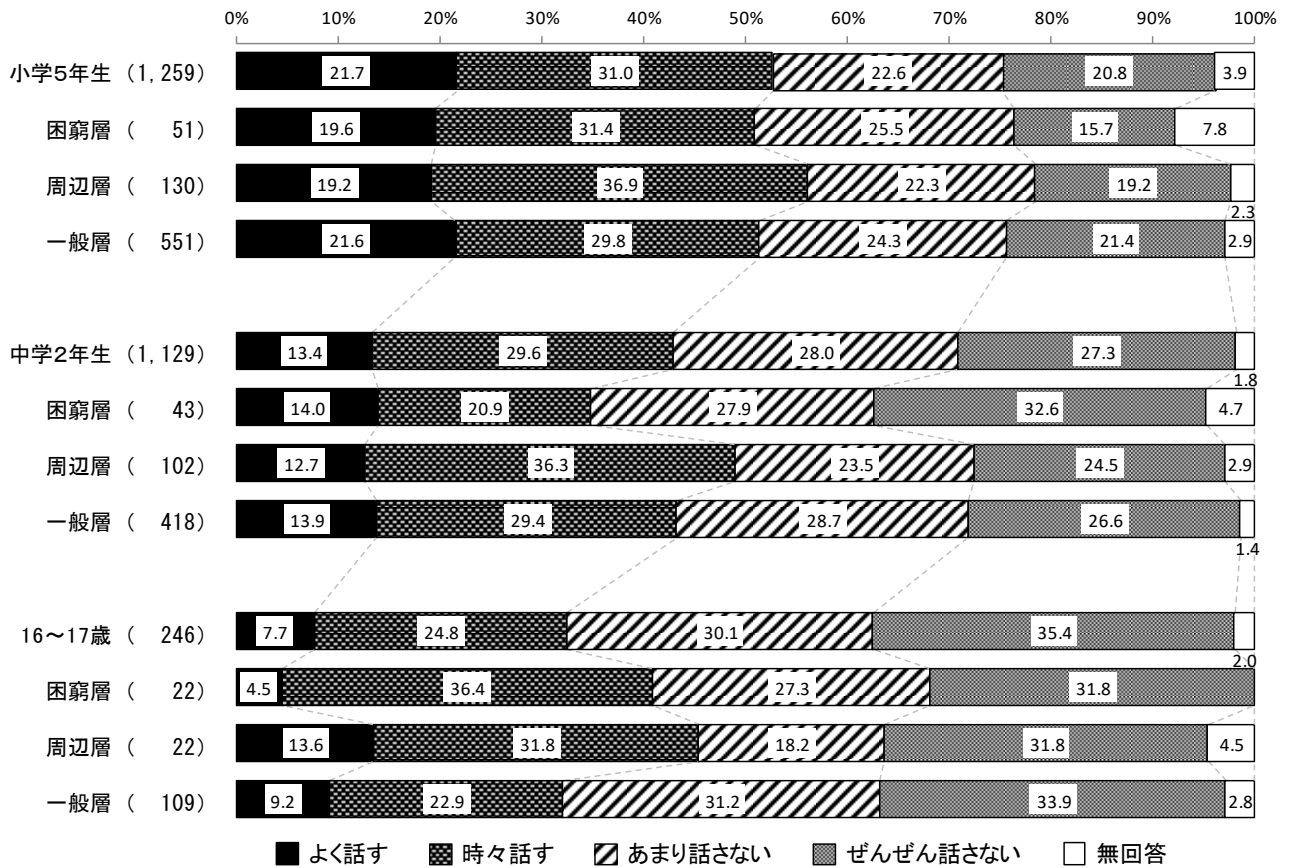
図表 2-6-7-1-3 会話の頻度／家族（祖父母など）：生活困難度別



④学校の先生

学校の先生との会話について、「よく話す」「時々話す」を合わせた『話す』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で51.0%、周辺層で56.1%、一般層で51.4%、中学2年生の困窮層で34.9%、周辺層で49.0%、一般層で43.3%、16～17歳の困窮層で40.9%、周辺層で45.4%、一般層で32.1%となっています。

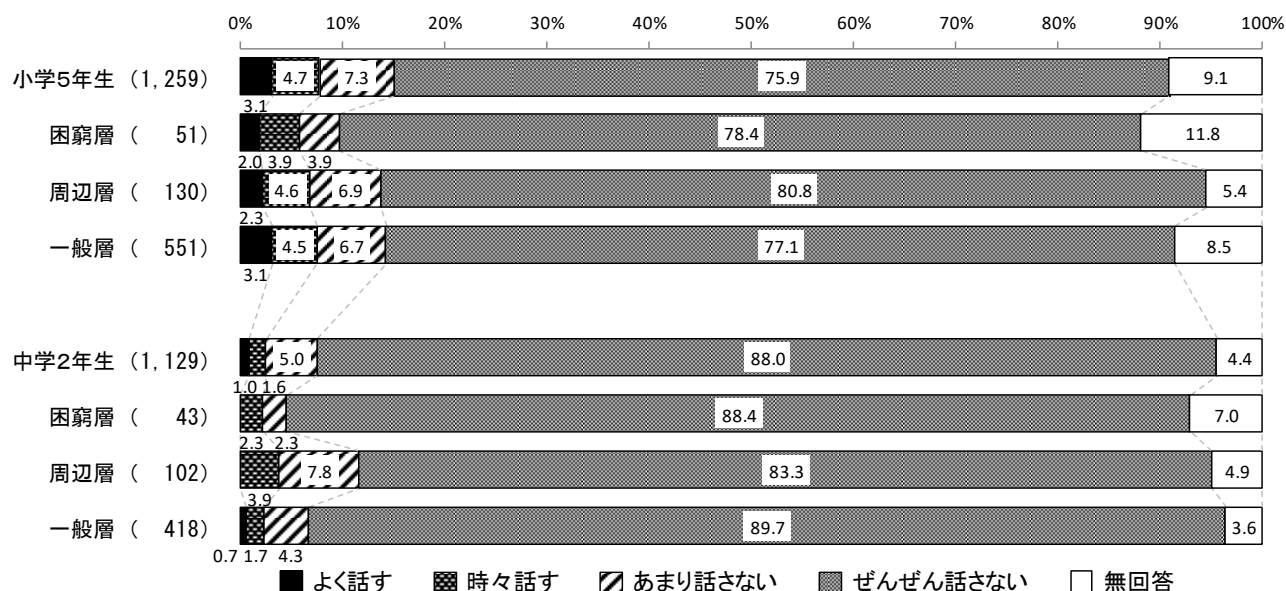
図表 2-6-7-1-4 会話の頻度／学校の先生：生活困難度別



⑤放課後児童クラブ（学童保育）、児童館や児童センターなどの先生

放課後児童クラブ（学童保育）、児童館や児童センターなどの先生との会話について、「よく話す」「時々話す」を合わせた『話す』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 5.9%、周辺層で 6.9%、一般層で 7.6%、中学2年生の困窮層で 2.3%、周辺層で 3.9%、一般層で 2.4%となっています。

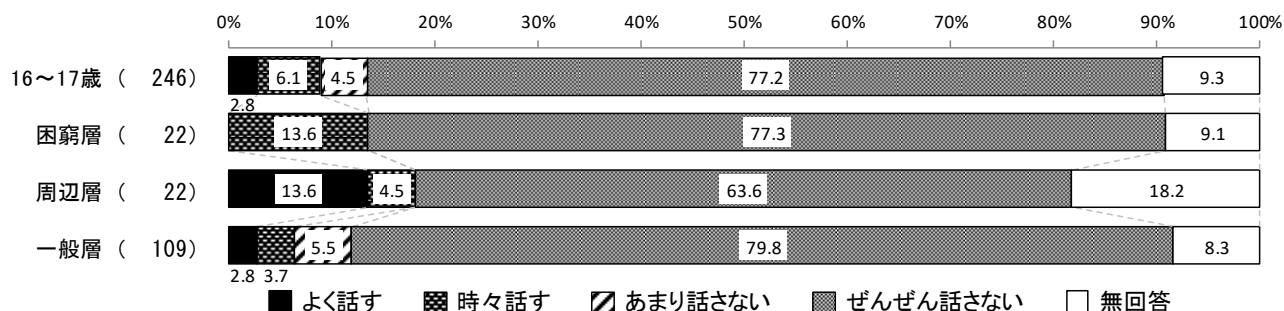
図表 2-6-7-1-5 会話の頻度／放課後児童クラブ（学童保育）、児童館や児童センターなどの先生：生活困難度別



⑥アルバイトなどの職場の人

アルバイトなどの職場の人との会話について、「よく話す」「時々話す」を合わせた『話す』と回答した割合は、16～17歳の困窮層で 13.6%、周辺層で 18.1%、一般層で 6.5%となっています。

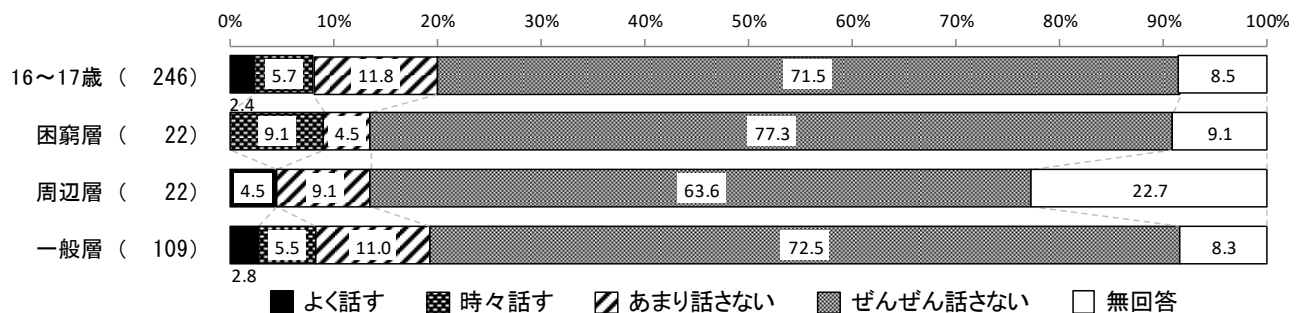
図表 2-6-7-1-6 会話の頻度／アルバイトなどの職場の人：生活困難度別



⑦クラブスポーツ活動の先生

クラブスポーツ活動の先生との会話について、「よく話す」「時々話す」を合わせた『話す』と回答した割合は、16～17歳の困窮層で9.1%、周辺層で4.5%、一般層で8.3%となっています。

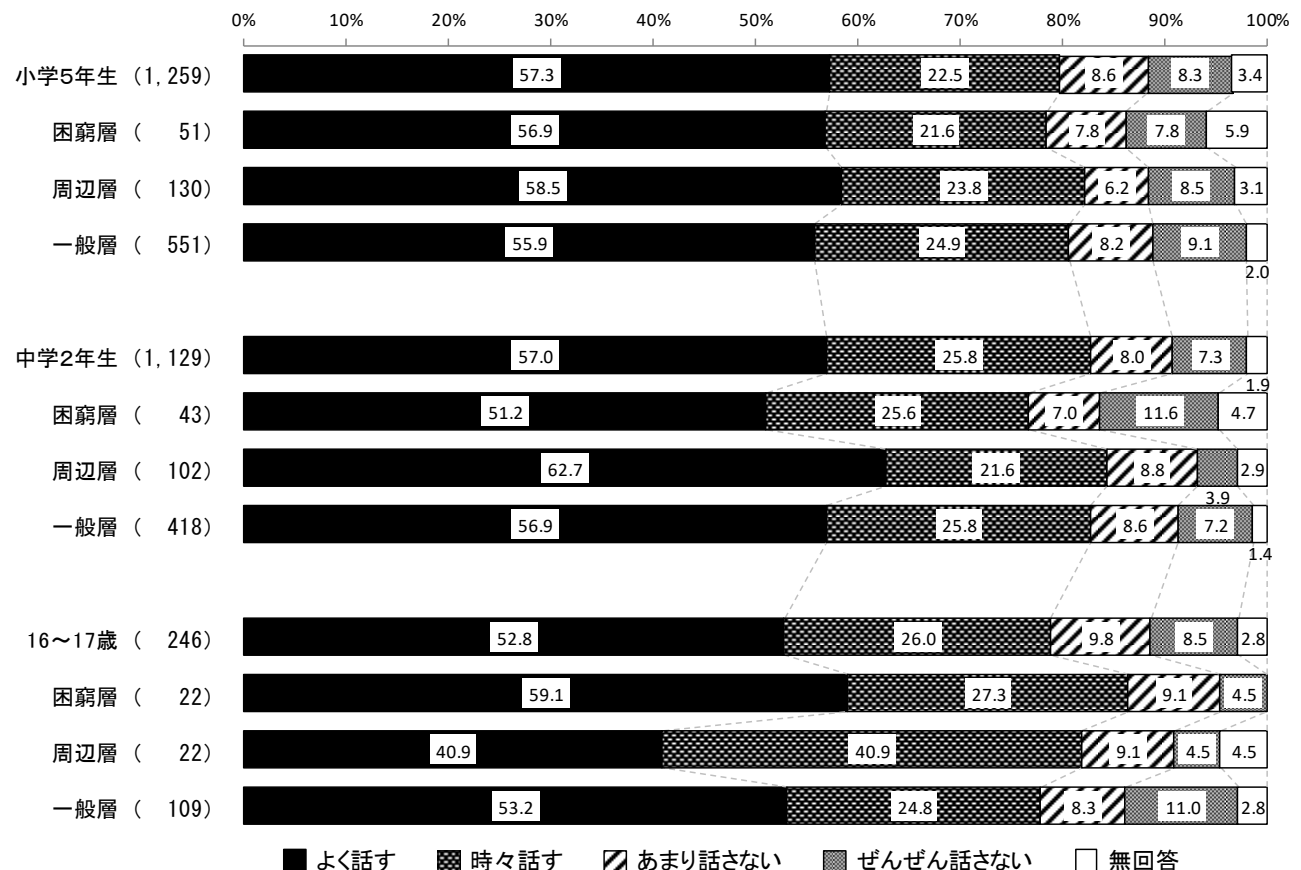
図表 2-6-7-1-7 会話の頻度／クラブスポーツ活動の先生：生活困難度別



⑧友だち

友だちとの会話について、「よく話す」「時々話す」を合わせた『話す』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で78.5%、周辺層で82.3%、一般層で80.8%、中学2年生の困窮層で76.8%、周辺層で84.3%、一般層で82.7%、16～17歳の困窮層で86.4%、周辺層で81.8%、一般層で78.0%となっています。

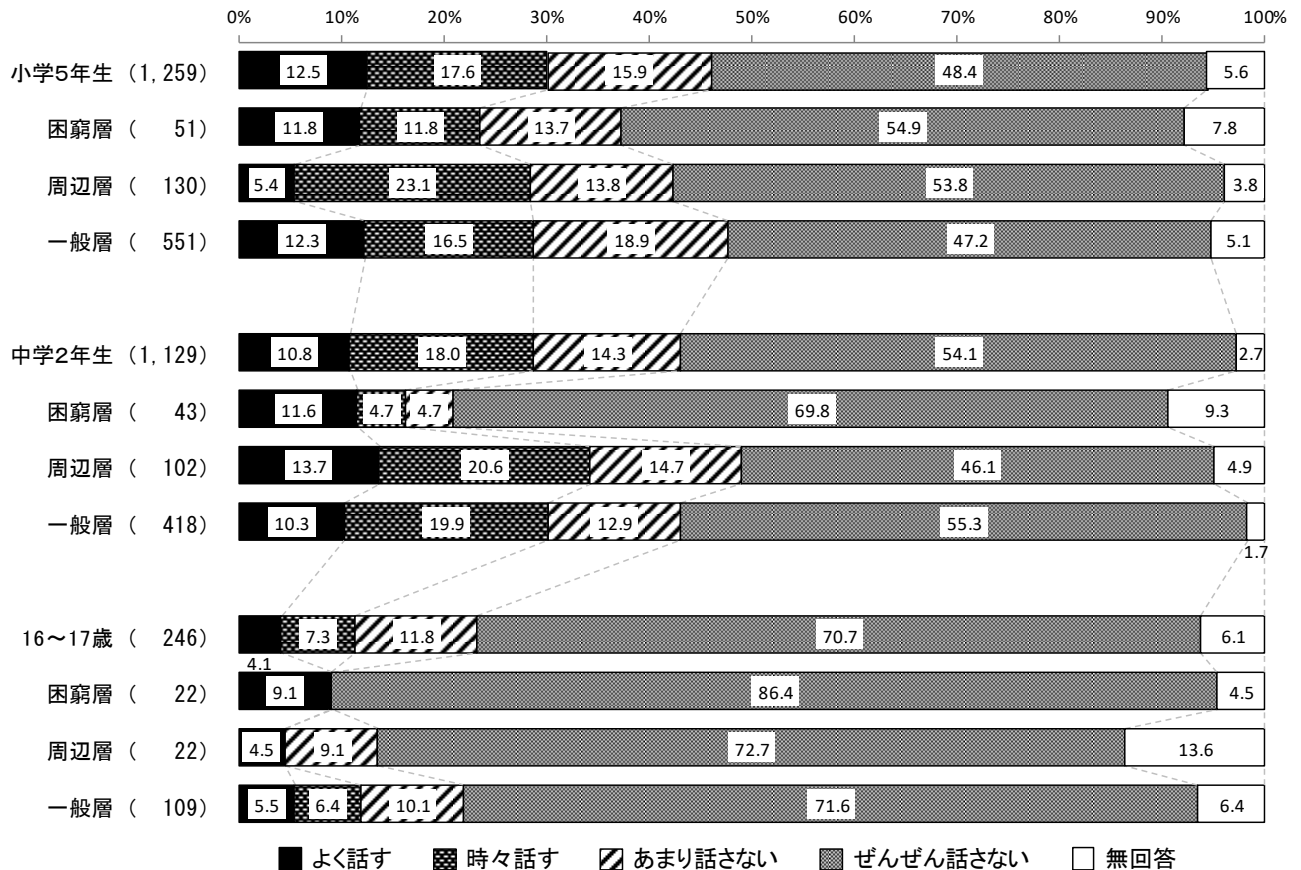
図表 2-6-7-1-8 会話の頻度／友だち：生活困難度別



⑨その他の大人（近所の大人、塾や習い事の先生など）

その他の大人（近所の大人、塾や習い事の先生など）との会話について、「よく話す」「時々話す」を合わせた『話す』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 23.6%、周辺層で 28.5%、一般層で 28.8%、中学2年生の困窮層で 16.3%、周辺層で 34.3%、一般層で 30.2%、16～17歳の困窮層で 9.1%、周辺層で 4.5%、一般層で 11.9%となっています。

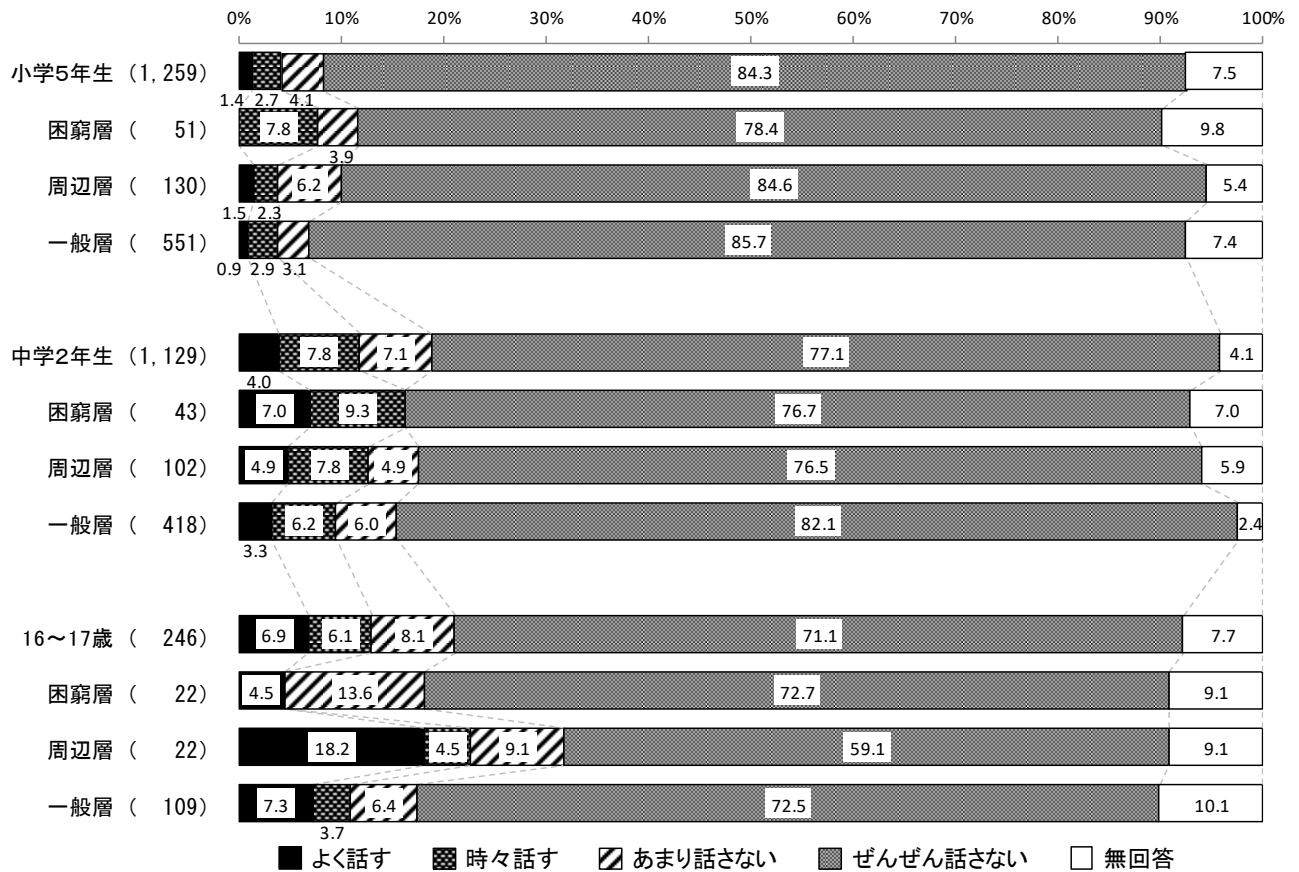
図表 2-6-7-1-9 会話の頻度／その他の大人（近所の大人、塾や習い事の先生など）：生活困難度別



⑩インターネットなどで知り合った人

インターネットなどで知り合った人との会話について、「よく話す」「時々話す」を合わせた『話す』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で7.8%、周辺層で3.8%、一般層で3.8%、中学2年生の困窮層で16.3%、周辺層で12.7%、一般層で9.5%、16～17歳の困窮層で4.5%、周辺層で22.7%、一般層で11.0%となっています。

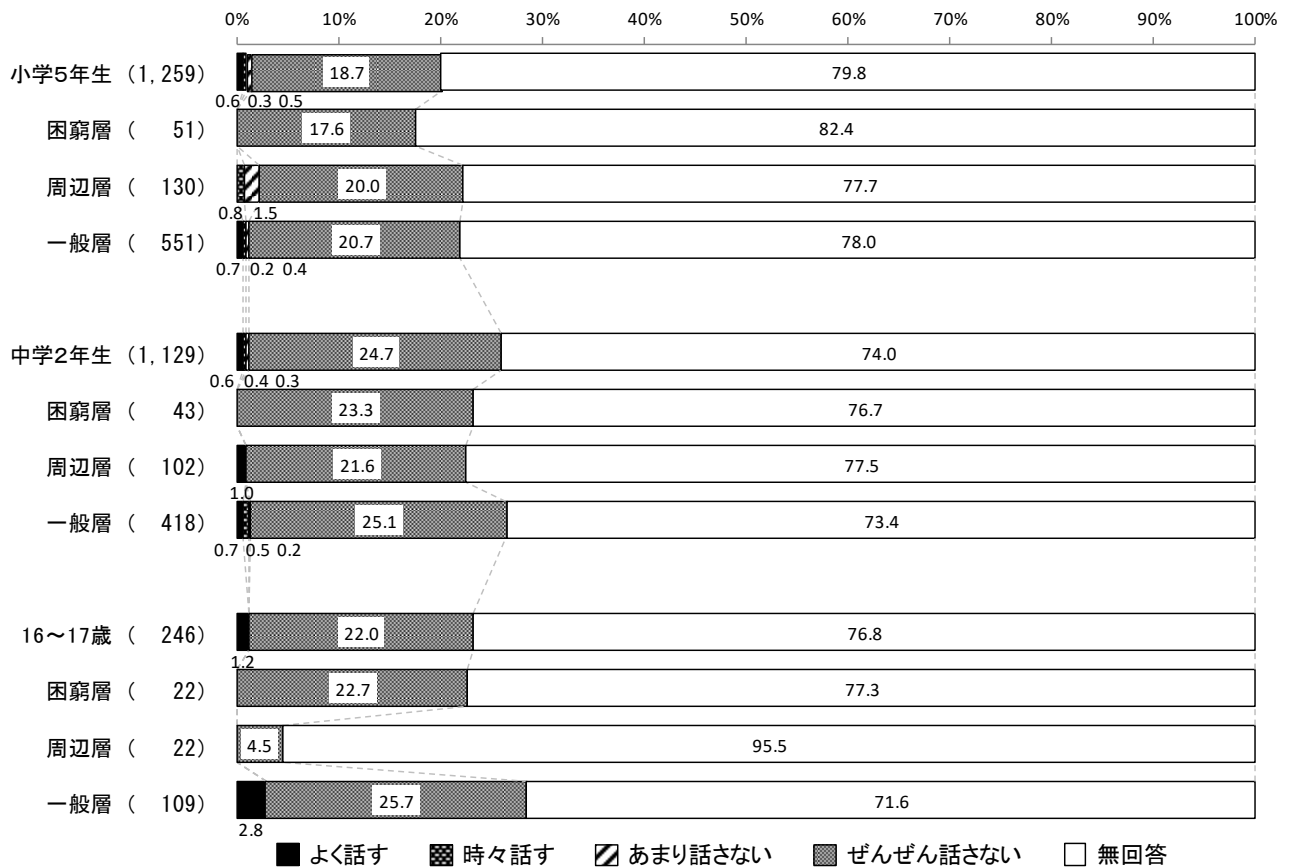
図表 2-6-7-1-10 会話の頻度／インターネットなどで知り合った人：生活困難度別



⑪その他

その他の人との会話について、「よく話す」「時々話す」を合わせた『話す』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で0.0%、周辺層で0.8%、一般層で0.9%、中学2年生の困窮層で0.0%、周辺層で1.0%、一般層で1.2%、16～17歳の困窮層で0.0%、周辺層で0.0%、一般層で2.8%となっています。

図表 2-6-7-1-11 会話の頻度／その他：生活困難度別



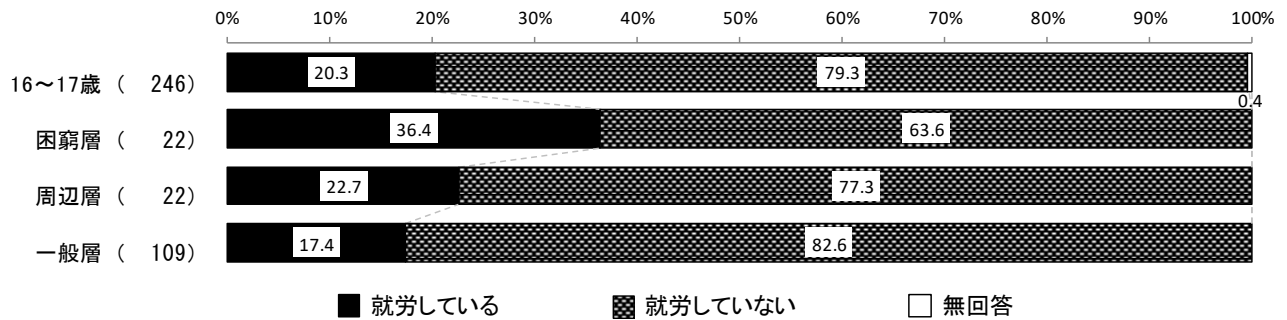
8. 16～17歳の就労状況

(1) 就労状況

①就労の有無

16～17歳の就労状況について、「就労している」と回答した割合は、困窮層で36.4%、周辺層で22.7%、一般層で17.4%となっています。

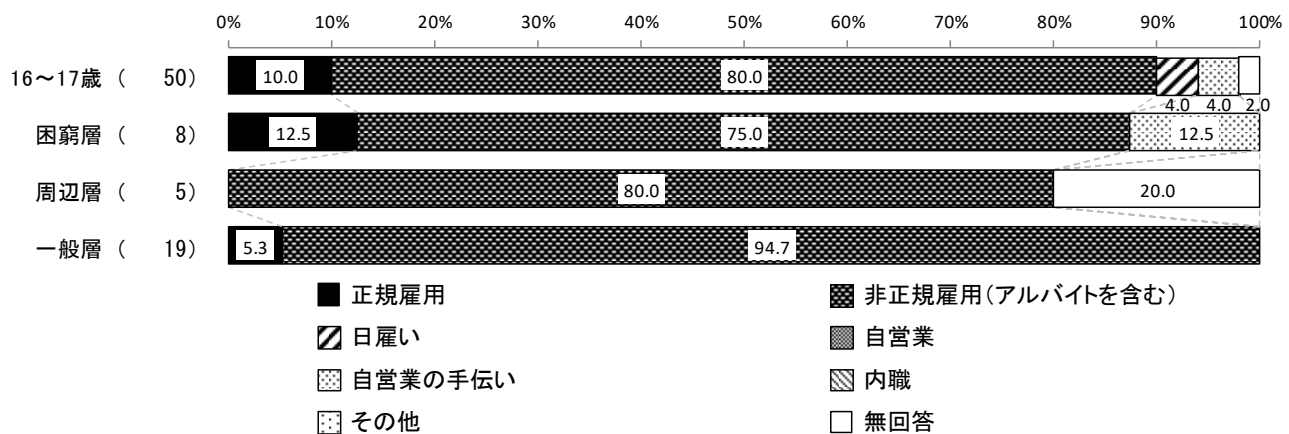
図表 2-6-8-1-1 就労状況：生活困難度別



②雇用形態

現在就労している16～17歳の雇用形態について、「非正規雇用(アルバイトを含む)」と回答した割合は、困窮層で75.0%、周辺層で80.0%、一般層で94.7%となっています。

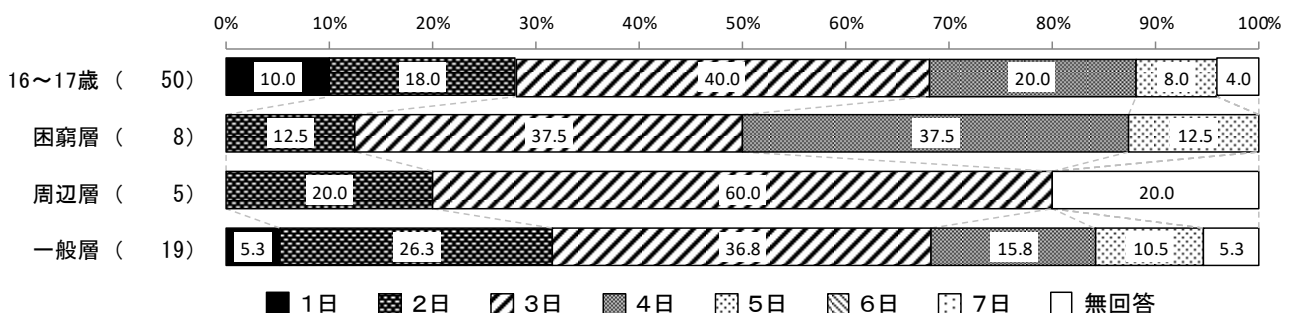
図表 2-6-8-1-2 雇用形態：生活困難度別



③1週間当たりの就労日数

現在就労している16～17歳の1週間当たりの就労日数について、困窮層で「3日」「4日」がともに37.5%、周辺層で「3日」が60.0%、一般層で「3日」が36.8%で最も高くなっています。

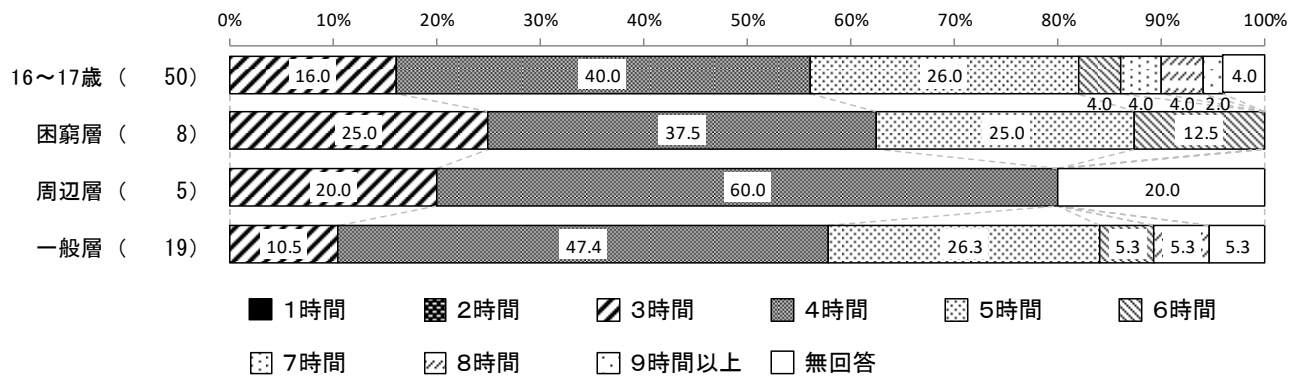
図表 2-6-8-1-3 1週間当たりの就労日数：生活困難度別



④1日当たりの就労時間

現在就労している 16～17 歳の 1 日当たりの就労時間について、「4 時間」が困窮層で 37.5%、周辺層で 60.0%、一般層で 47.4%と最も高くなっています。

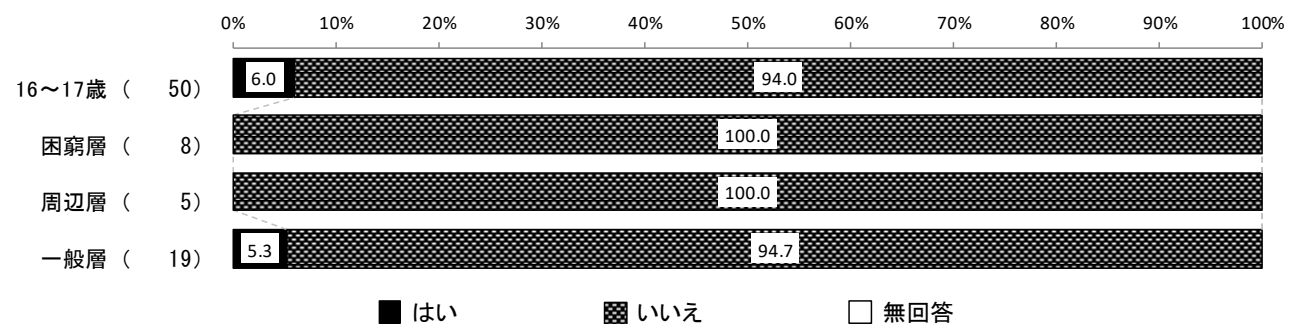
図表 2-6-8-1-4 1 日当たりの就労時間：生活困難度別



⑤生活費を家族に渡しているか

生活費を家族に渡しているかについて、「はい」と回答した割合は、一般層で 5.3%となっています。

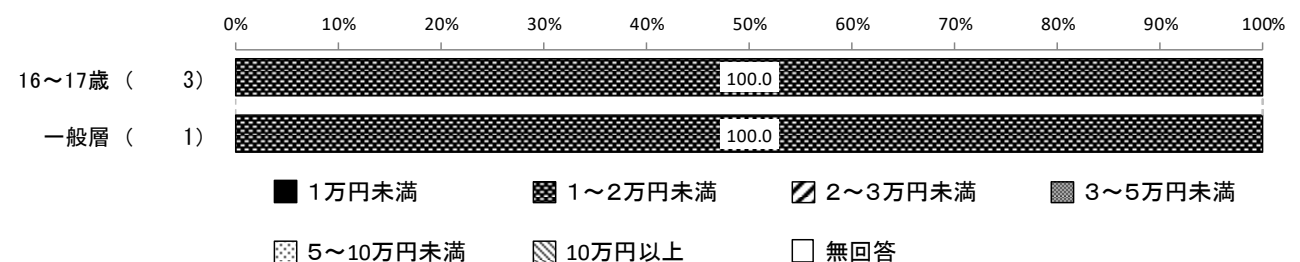
図表 2-6-8-1-5 生活費を家族に渡しているか：生活困難度別



⑥平均して毎月どれくらい家族に渡しているか

平均して毎月どれくらい家族に渡しているかについて、サンプル数は少ないものの「1～2 万円未満」と回答した割合は、一般層で 100.0%となっています。

図表 2-6-8-1-6 平均して毎月どれくらい家族に渡しているか：生活困難度別



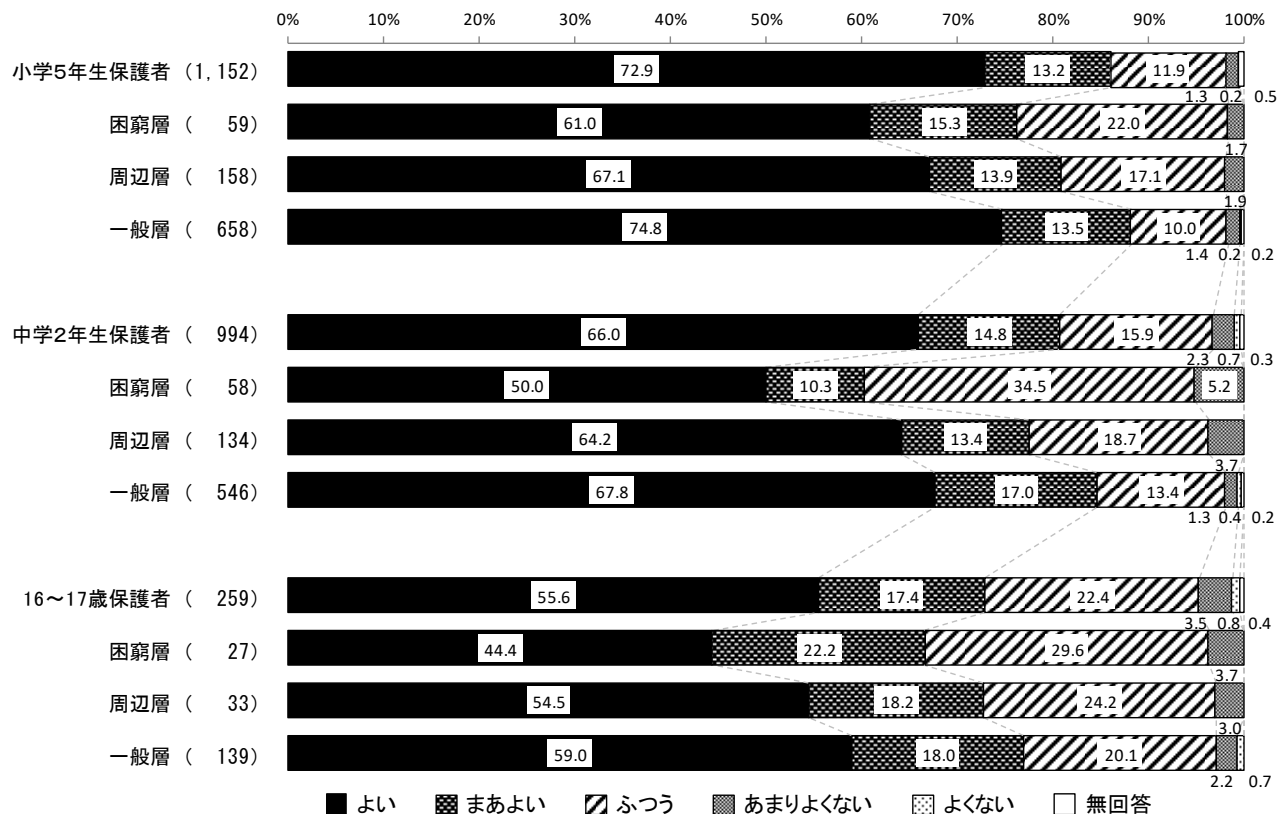
第7章 子どもの健康と自己肯定感

1. 子どもの健康状態

(1) 保護者からみた子どもの健康状態

保護者からみた子どもの健康状態について、「よい」「まあよい」を合わせた割合は、小学5年生の困窮層で 76.3%、周辺層で 81.0%、一般層で 88.3%、中学2年生の困窮層で 60.3%、周辺層で 77.6%、一般層で 84.8%、16～17歳の困窮層で 66.6%、周辺層で 72.7%、一般層で 77.0%となっています。

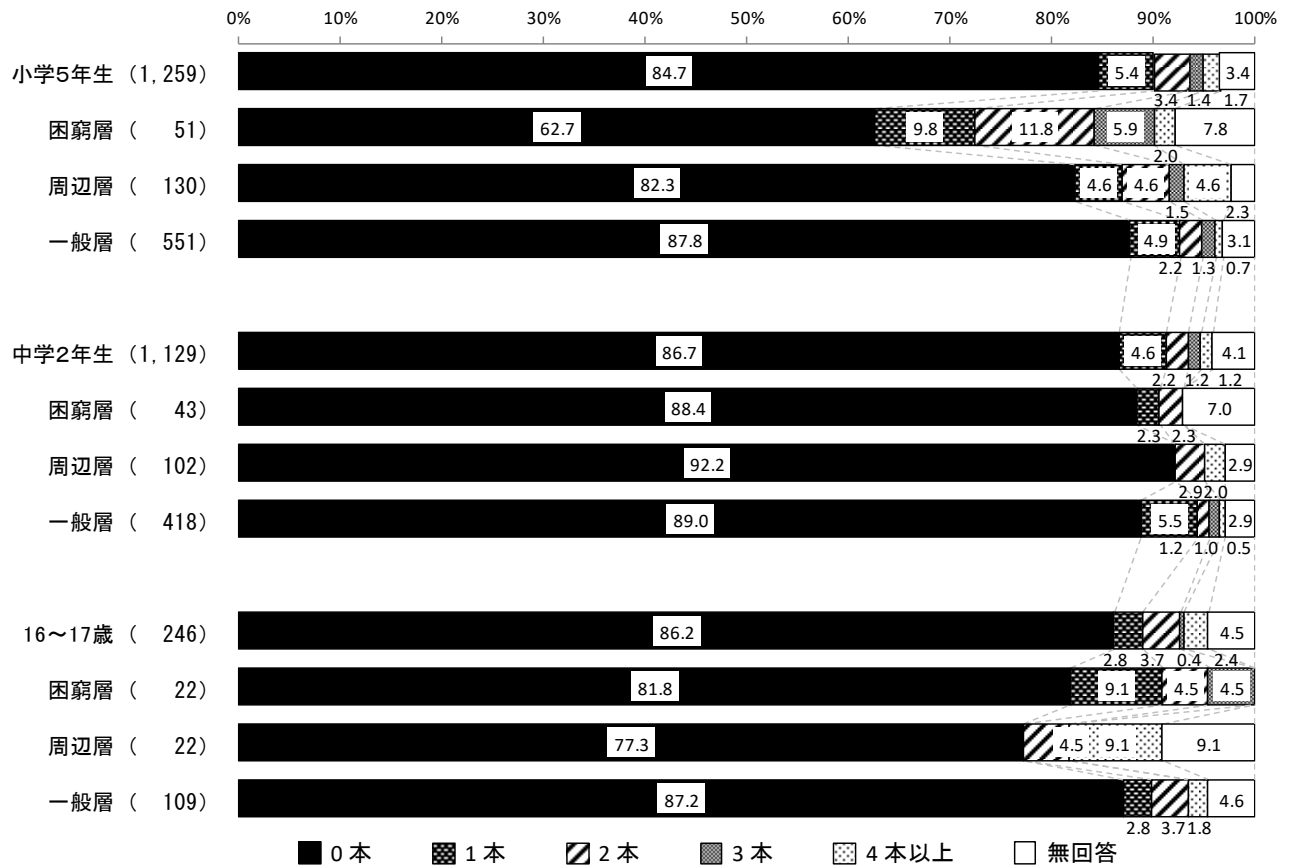
図表 2-7-1-1 保護者からみた子どもの健康状態：生活困難度別



(2) むし歯の本数

子ども自身が回答したむし歯の本数について、「0本」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で62.7%、周辺層で82.3%、一般層で87.8%、中学2年生の困窮層で88.4%、周辺層で92.2%、一般層で89.0%、16～17歳の困窮層で81.8%、周辺層で77.3%、一般層で87.2%となっています。

図表 2-7-1-2 むし歯の本数：生活困難度別

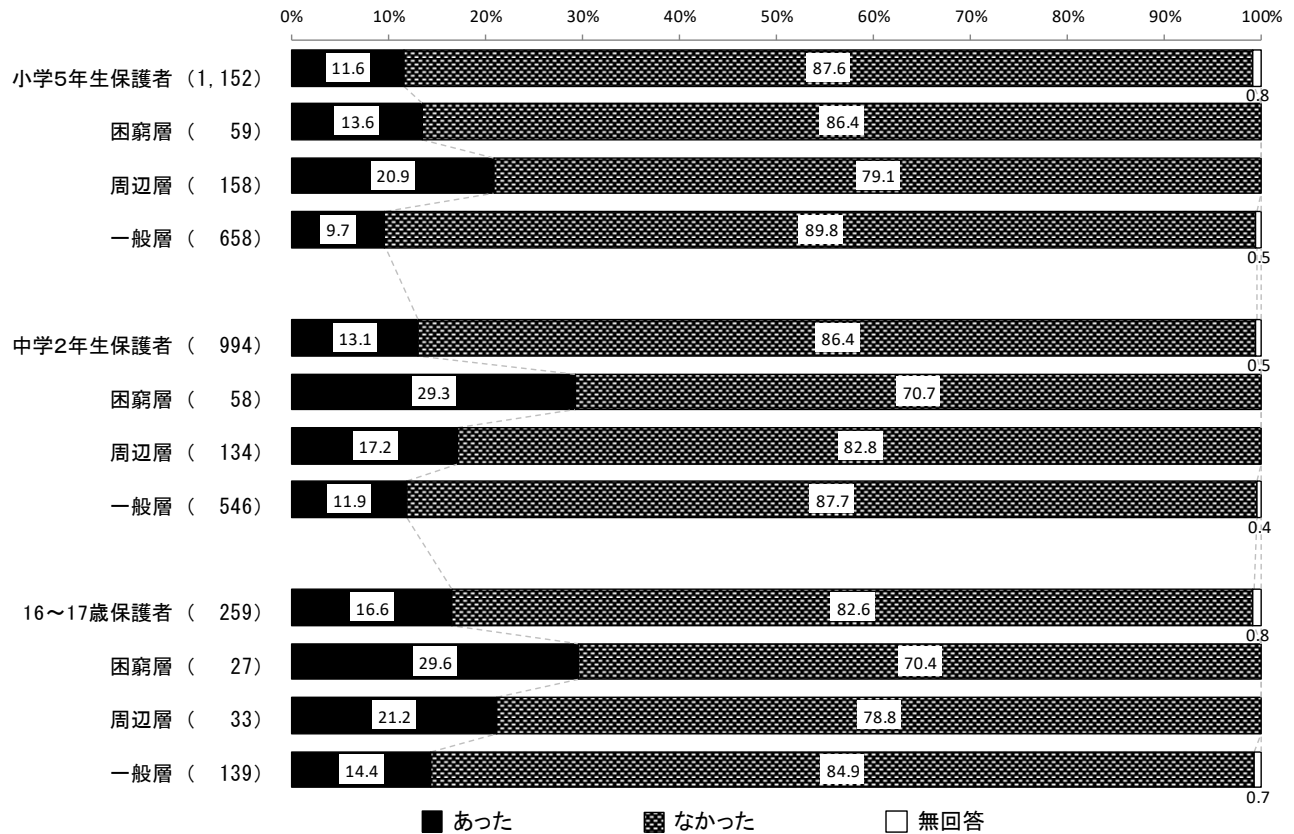


(3) 子どもの医療受診抑制経験とその理由

①医療受診抑制経験の有無

受診させた方が良かったにもかかわらず、子どもを受診させなかった経験について、「あった」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 13.6%、周辺層で 20.9%、一般層で 9.7%、中学2年生の困窮層で 29.3%、周辺層で 17.2%、一般層で 11.9%、16～17歳の困窮層で 29.6%、周辺層で 21.2%、一般層で 14.4%となっています。

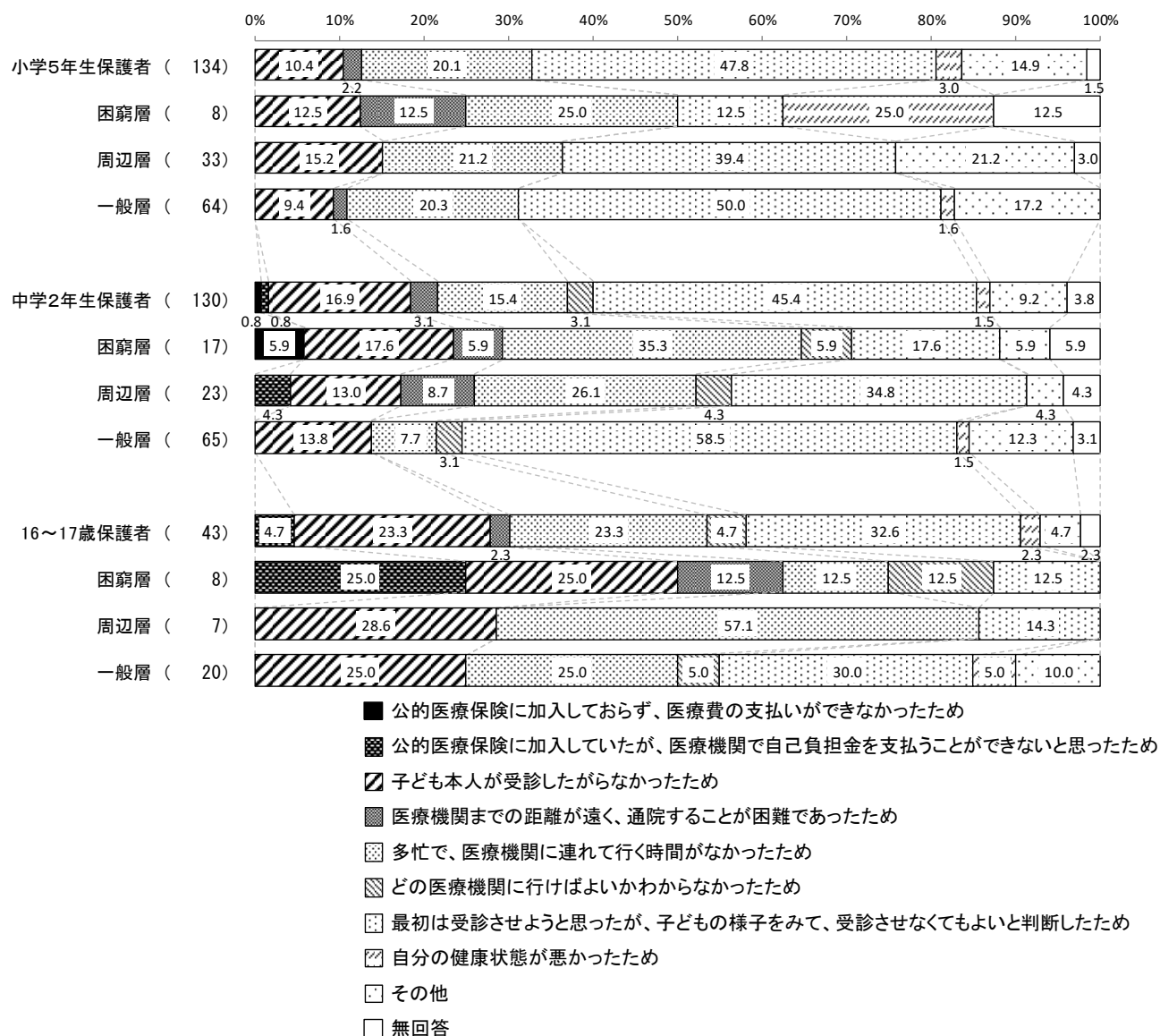
図表 2-7-1-3-1 医療受診抑制経験の有無：生活困難度別



②受診させなかった理由

受診させなかった理由について、「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてよいと判断したため」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で12.5%、周辺層で39.4%、一般層で50.0%、中学2年生の困窮層で17.6%、周辺層で34.8%、一般層で58.5%、16～17歳の困窮層で12.5%、周辺層で14.3%、一般層で30.0%となっています。

図表 2-7-1-3-2 受診させなかった理由：生活困難度別

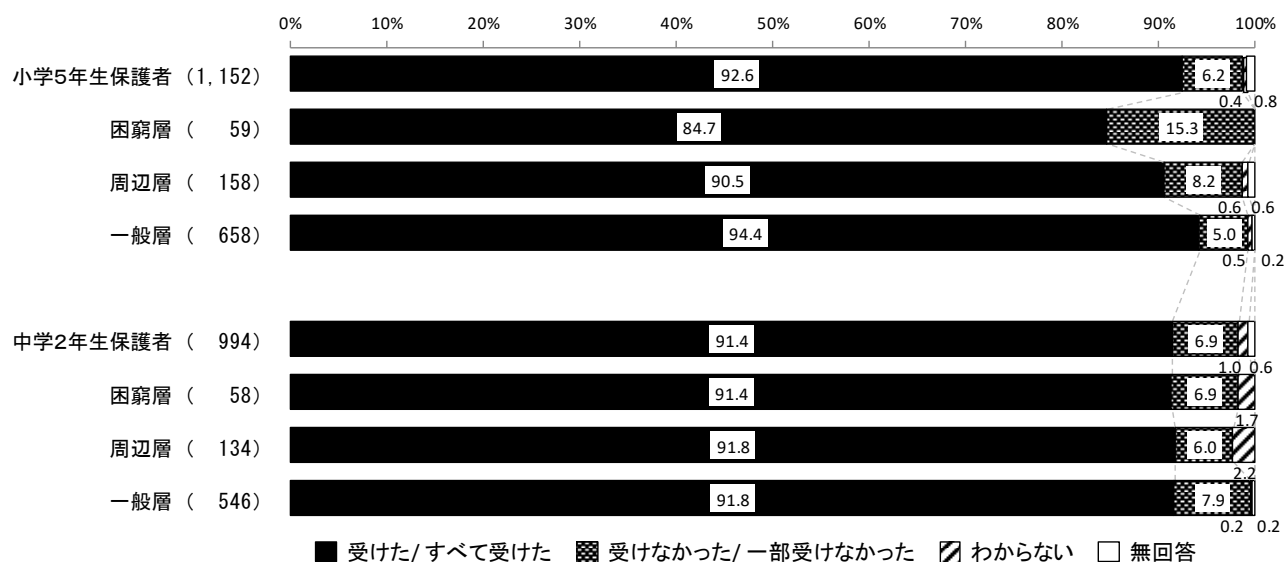


(4) 予防接種の受診状況

①定期予防接種

定期予防接種の受診状況について、「受けた／すべて受けた」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 84.7%、周辺層で 90.5%、一般層で 94.4%、中学2年生の困窮層で 91.4%、周辺層で 91.8%、一般層で 91.8%となっています。

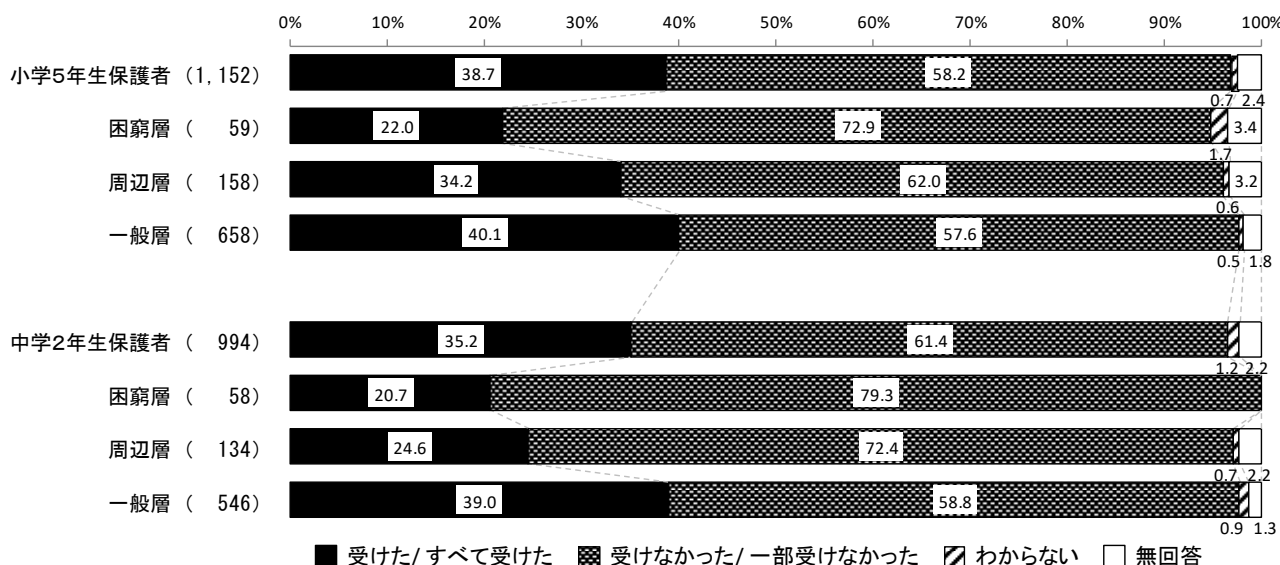
図表 2-7-1-4-1 定期予防接種の摂取状況：生活困難度別



②任意接種（インフルエンザ）

任意接種（インフルエンザ）の受診状況について、「受けた／すべて受けた」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 22.0%、周辺層で 34.2%、一般層で 40.1%、中学2年生の困窮層で 20.7%、周辺層で 24.6%、一般層で 39.0%となっています。

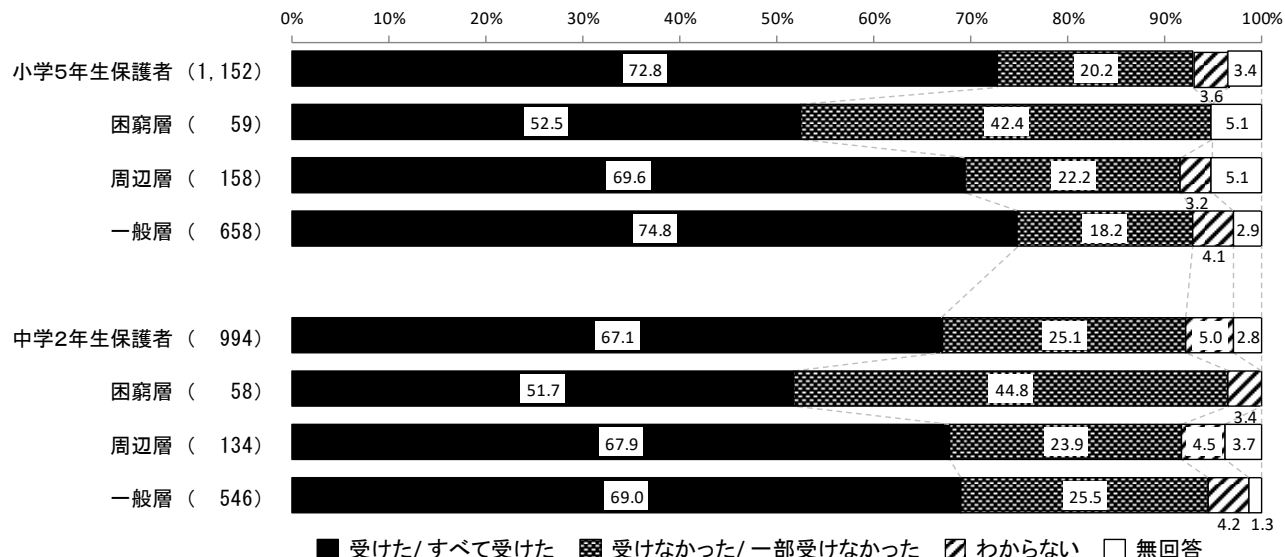
図表 2-7-1-4-2 任意接種（インフルエンザ）の摂取状況：生活困難度別



③任意接種（おたふくかぜ）

任意接種（おたふくかぜ）の受診状況について、「受けた／すべて受けた」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で52.5%、周辺層で69.6%、一般層で74.8%、中学2年生の困窮層で51.7%、周辺層で67.9%、一般層で69.0%となっています。

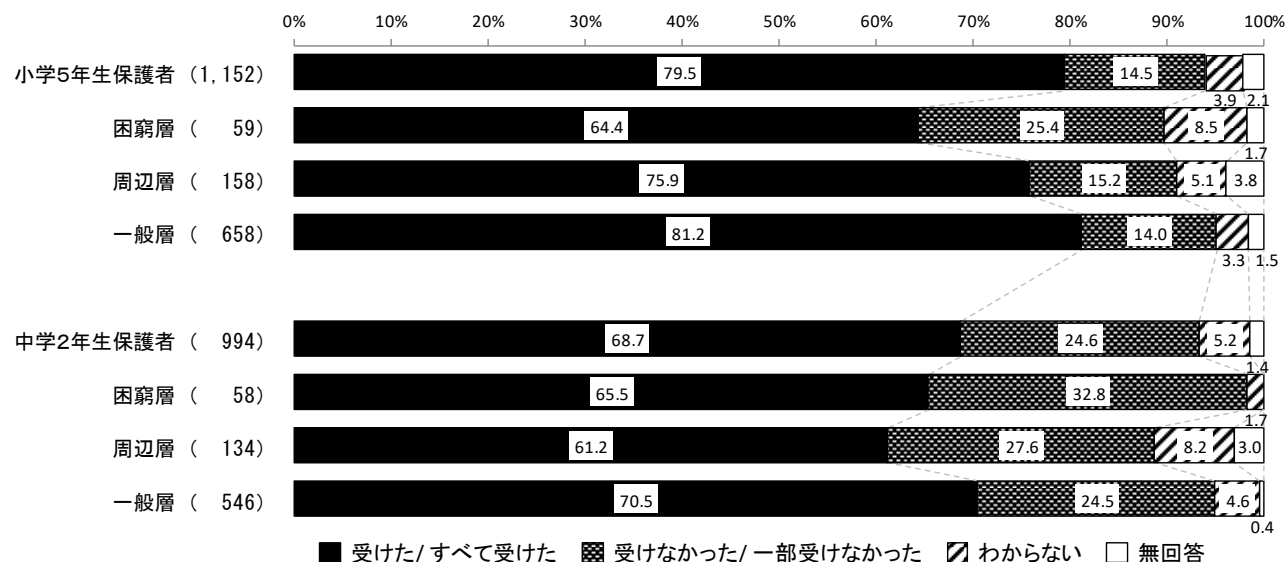
図表 2-7-1-4-3 任意接種（おたふくかぜ）の摂取状況：生活困難度別



④任意接種（水ぼうそう）

任意接種（水ぼうそう）の受診状況について、「受けた／すべて受けた」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で64.4%、周辺層で75.9%、一般層で81.2%、中学2年生の困窮層で65.5%、周辺層で61.2%、一般層で70.5%となっています。

図表 2-7-1-4-4 任意接種（水ぼうそう）の摂取状況：生活困難度別

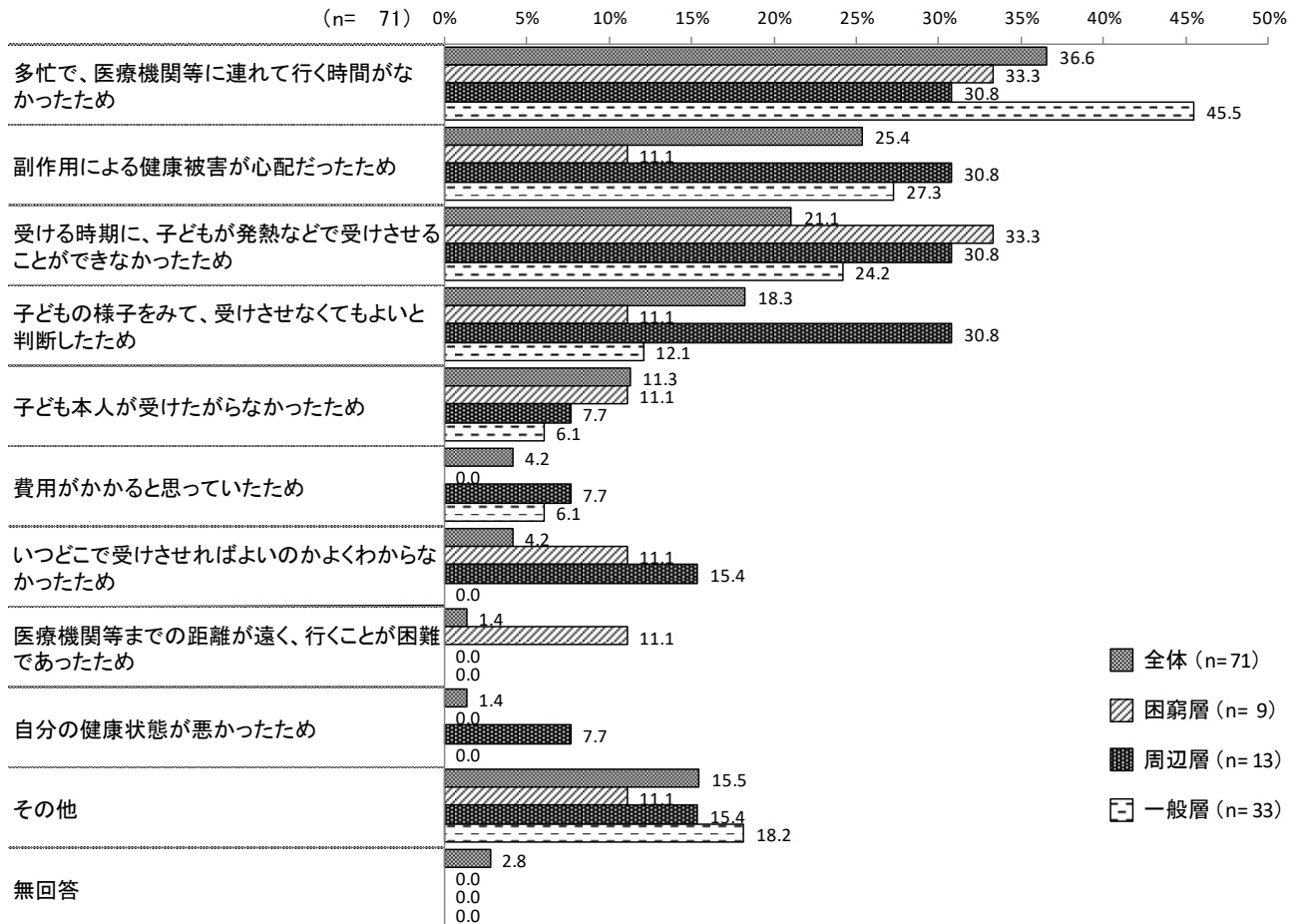


(5) 定期予防接種を受けないことがあった理由

小学5年生の定期予防接種を受けないことがあった理由について、「多忙で、医療機関等に連れて行く時間がなかったため」と回答した割合は、困窮層で 33.3%、周辺層で 30.8%、一般層で 45.5% となっています。

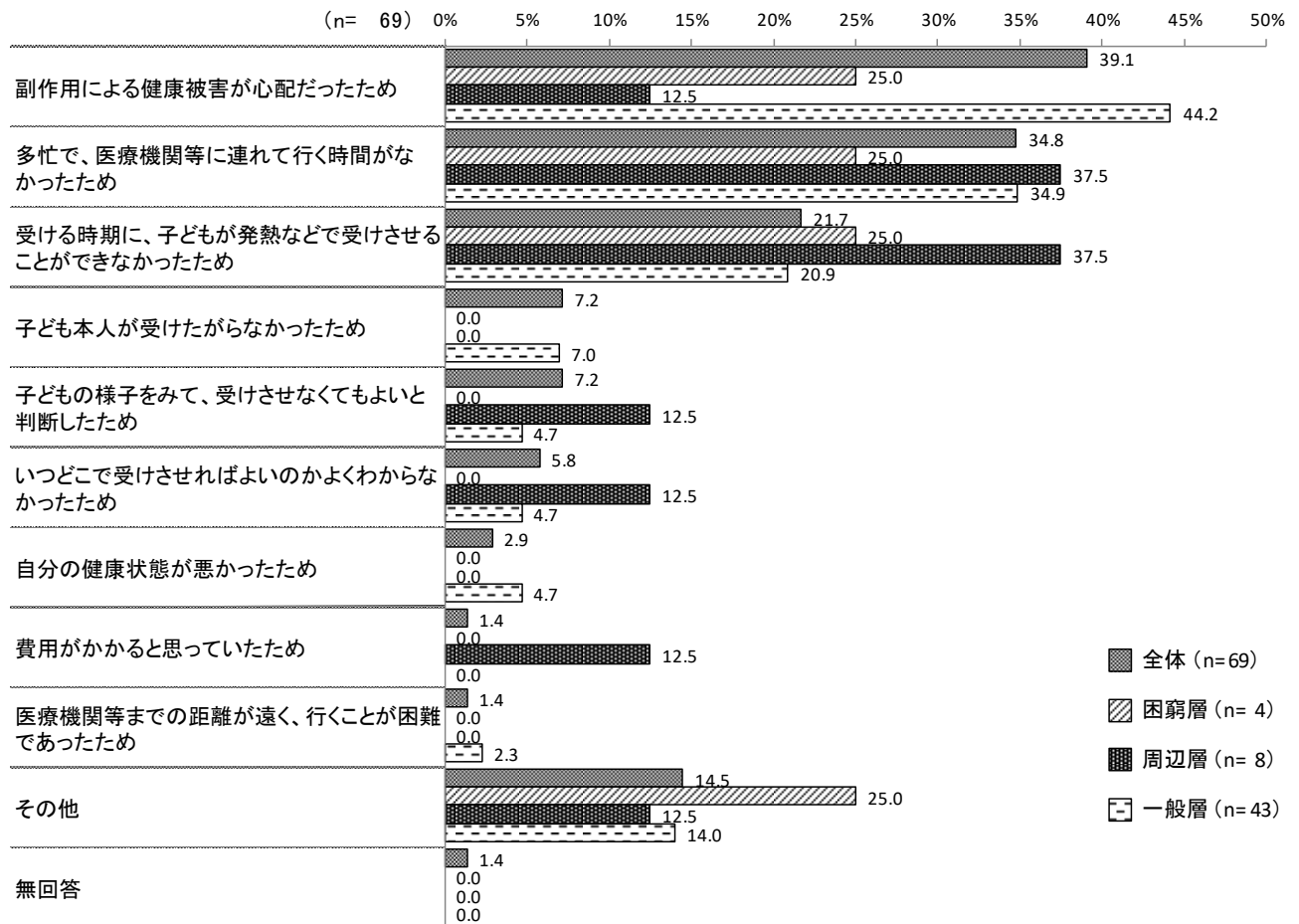
図表 2-7-1-5-1 定期予防接種を受けないことがあった理由（複数回答）（小学5年生）

：生活困難度別



中学2年生の「副作用による健康被害が心配だったため」と回答した割合は、困窮層で25.0%、周辺層で12.5%、一般層で44.2%となっています。

図表 2-7-1-5-2 定期予防接種を受けないことがあった理由（複数回答）（中2年生）
：生活困難度別



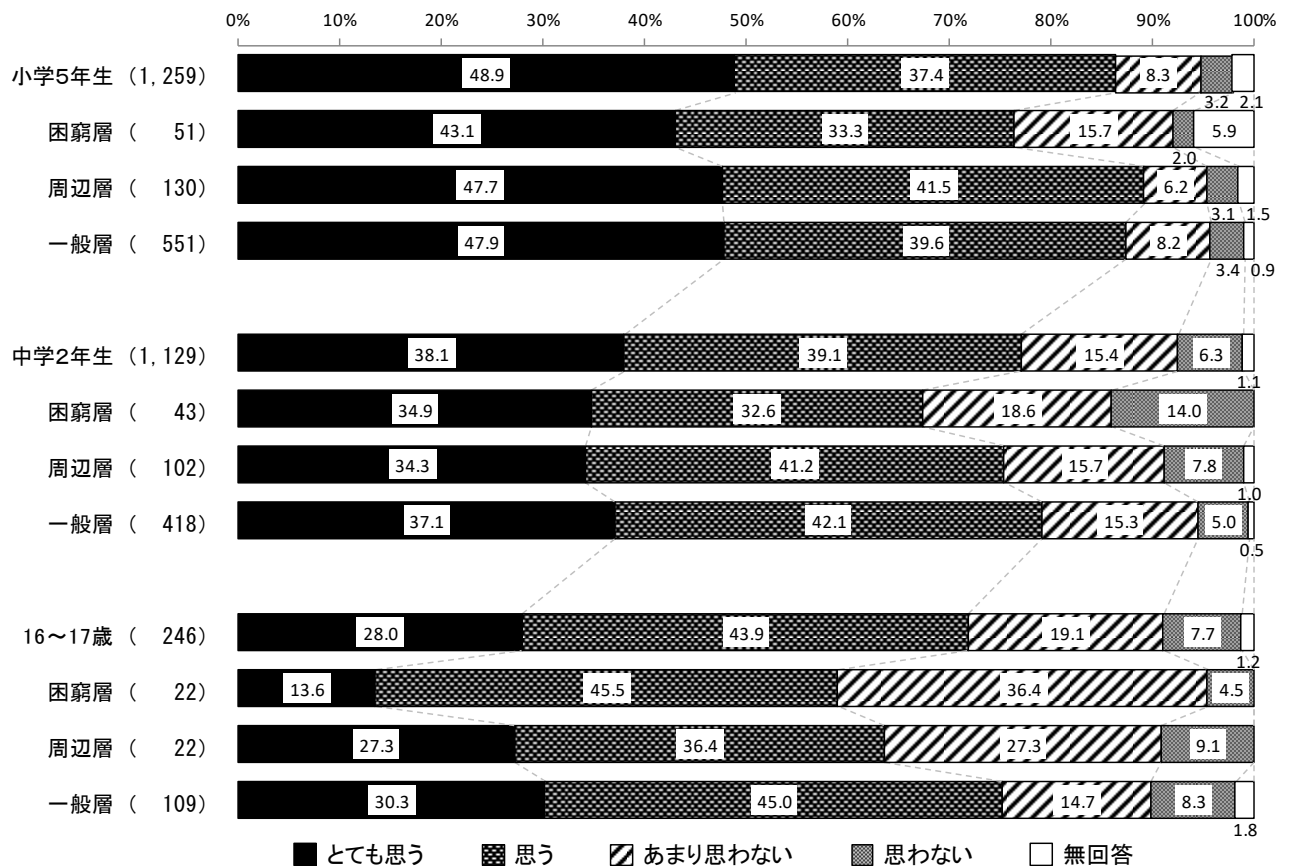
2. 自己肯定感

(1) 思いや気持ちについて

①がんばれば、むくわれると思う

「がんばれば、むくわれる」と思うかについて、「あまり思わない」「思わない」を合わせた『思わない』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 17.7%、周辺層で 9.3%、一般層で 11.6%、中学2年生の困窮層で 32.6%、周辺層で 23.5%、一般層で 20.3%、16～17歳の困窮層で 40.9%、周辺層で 36.4%、一般層で 23.0%となっています。

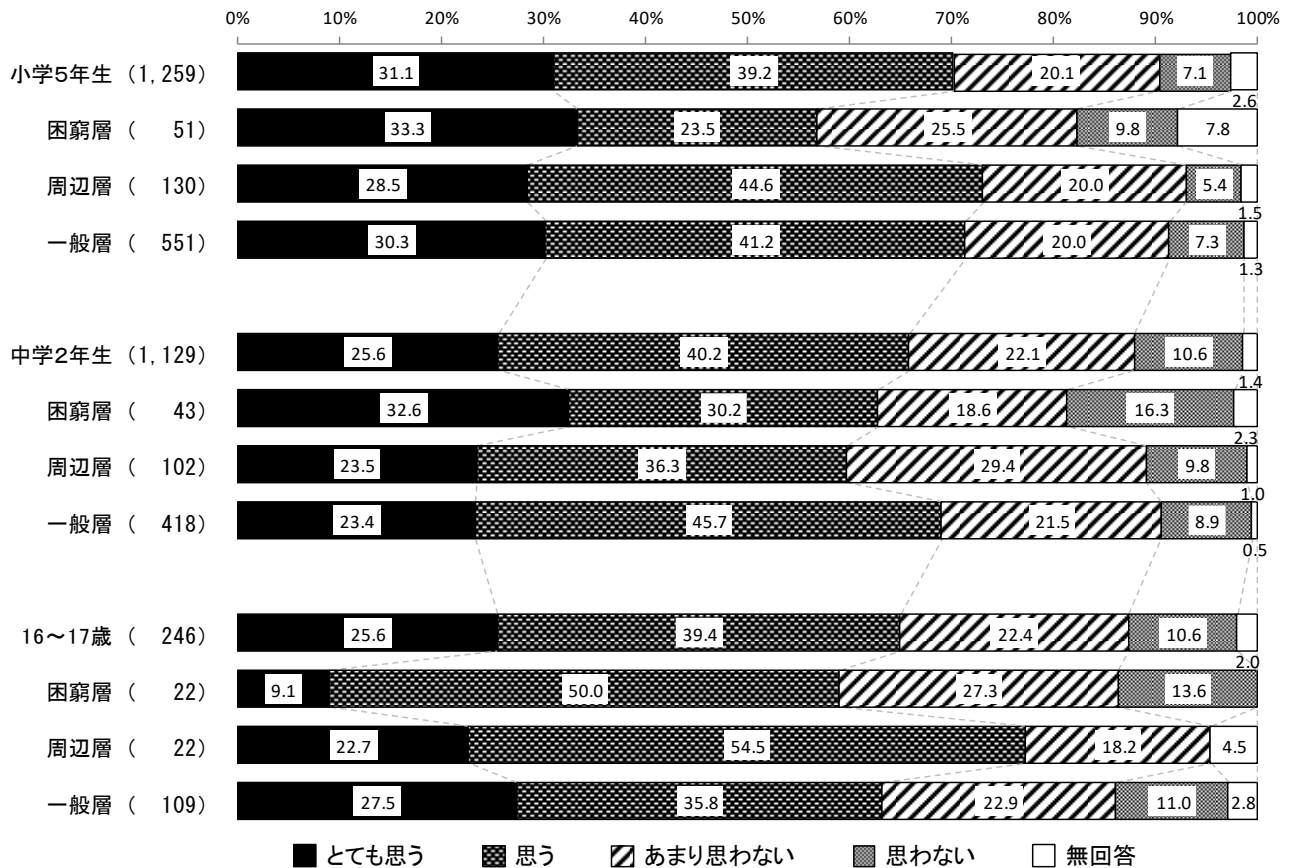
図表 2-7-2-1-1 思いや気持ちについて／がんばれば、むくわれると思う：生活困難度別



②自分は価値のある人間だと思う

「自分は価値のある人間だ」と思うかについて、「あまり思わない」「思わない」を合わせた『思わない』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で35.3%、周辺層で25.4%、一般層で27.3%、中学2年生の困窮層で34.9%、周辺層で39.2%、一般層で30.4%、16～17歳の困窮層で40.9%、周辺層で18.2%、一般層で33.9%となっています。

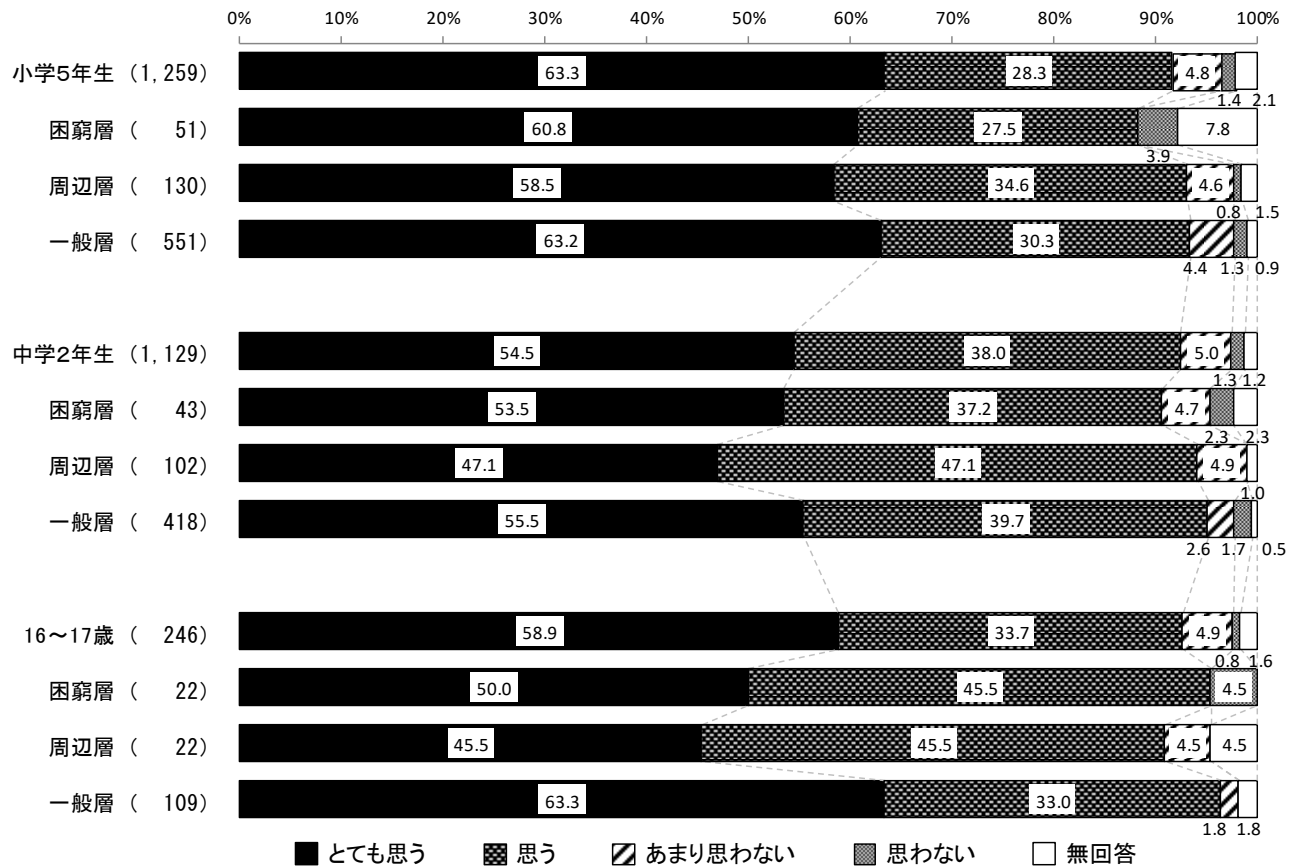
図表 2-7-2-1-2 思いや気持ちについて／自分は価値のある人間だと思う：生活困難度別



③自分は家族に大事にされていると思う

「自分は家族に大事にされている」と思うかについて、「とても思う」「思う」を合わせた『思う』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 88.3%、周辺層で 93.1%、一般層で 93.5%、中学2年生の困窮層で 90.7%、周辺層で 94.2%、一般層で 95.2%、16～17歳の困窮層で 95.5%、周辺層で 91.0%、一般層で 96.3%となっています。

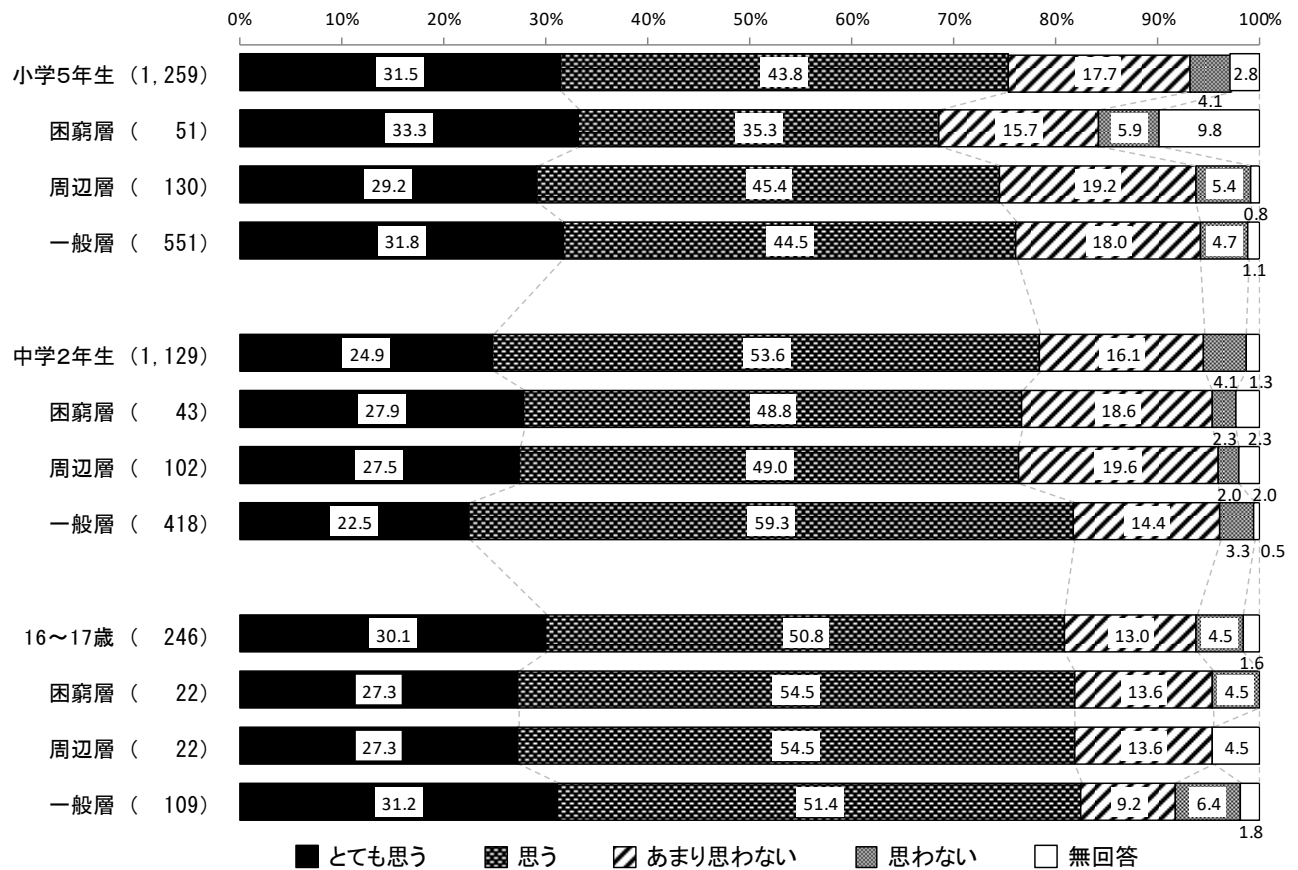
図表 2-7-2-1-3 思いや気持ちについて／自分は家族に大事にされていると思う：生活困難度別



④自分は友だちに好かれていると思う

「自分は友だちに好かれている」と思うかについて、「とても思う」「思う」を合わせた『思う』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 68.6%、周辺層で 74.6%、一般層で 76.3%、中学2年生の困窮層で 76.7%、周辺層で 76.5%、一般層で 81.8%、16～17歳の困窮層で 81.8%、周辺層で 81.8%、一般層で 82.6%となっています。

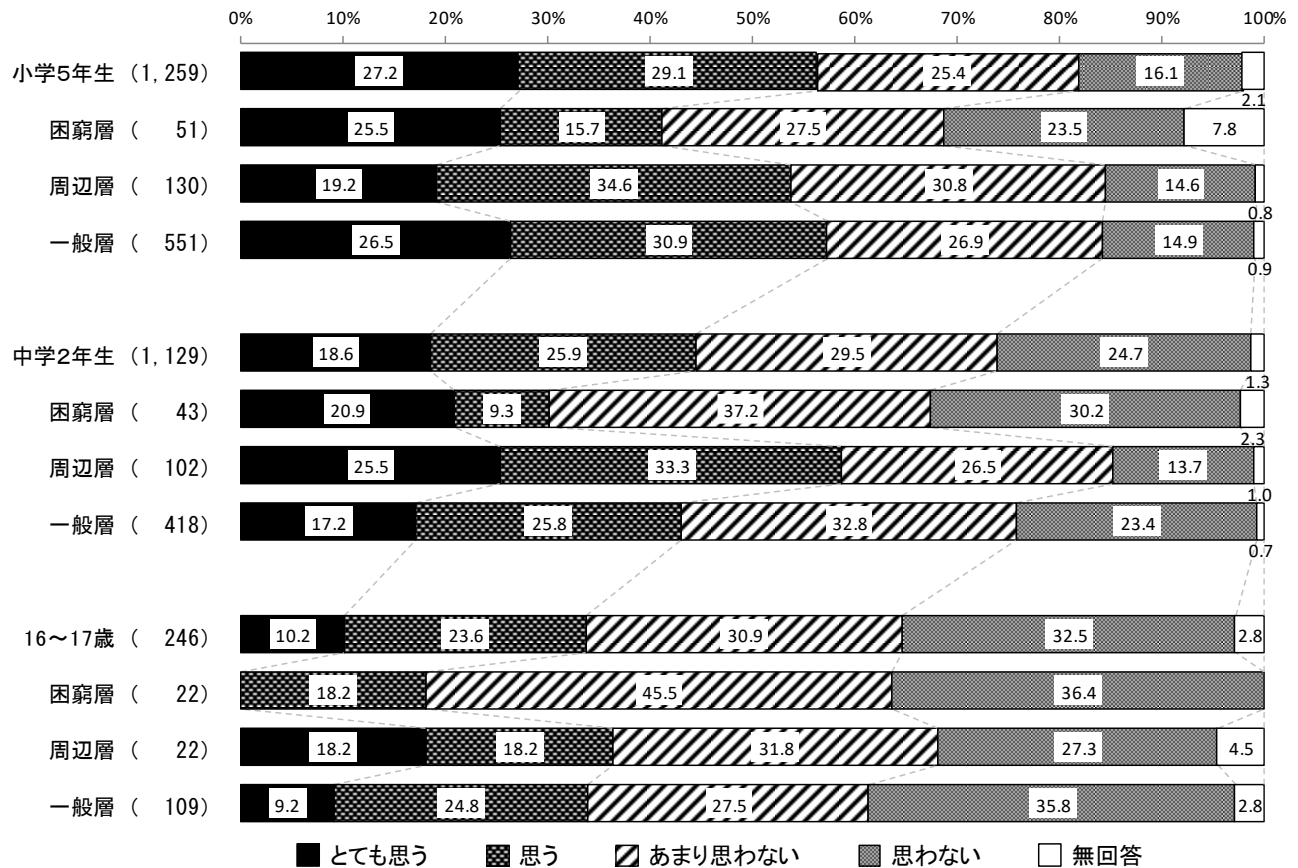
図表 2-7-2-1-4 思いや気持ちについて／自分は友だちに好かれていると思う：生活困難度別



⑤不安に感じることはないと思う

「不安に感じることはない」と思うかについて、「とても思う」「思う」を合わせた『思う』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で41.2%、周辺層で53.8%、一般層で57.4%、中学2年生の困窮層で30.2%、周辺層で58.8%、一般層で43.0%、16～17歳の困窮層で18.2%、周辺層で36.4%、一般層で34.0%となっています。

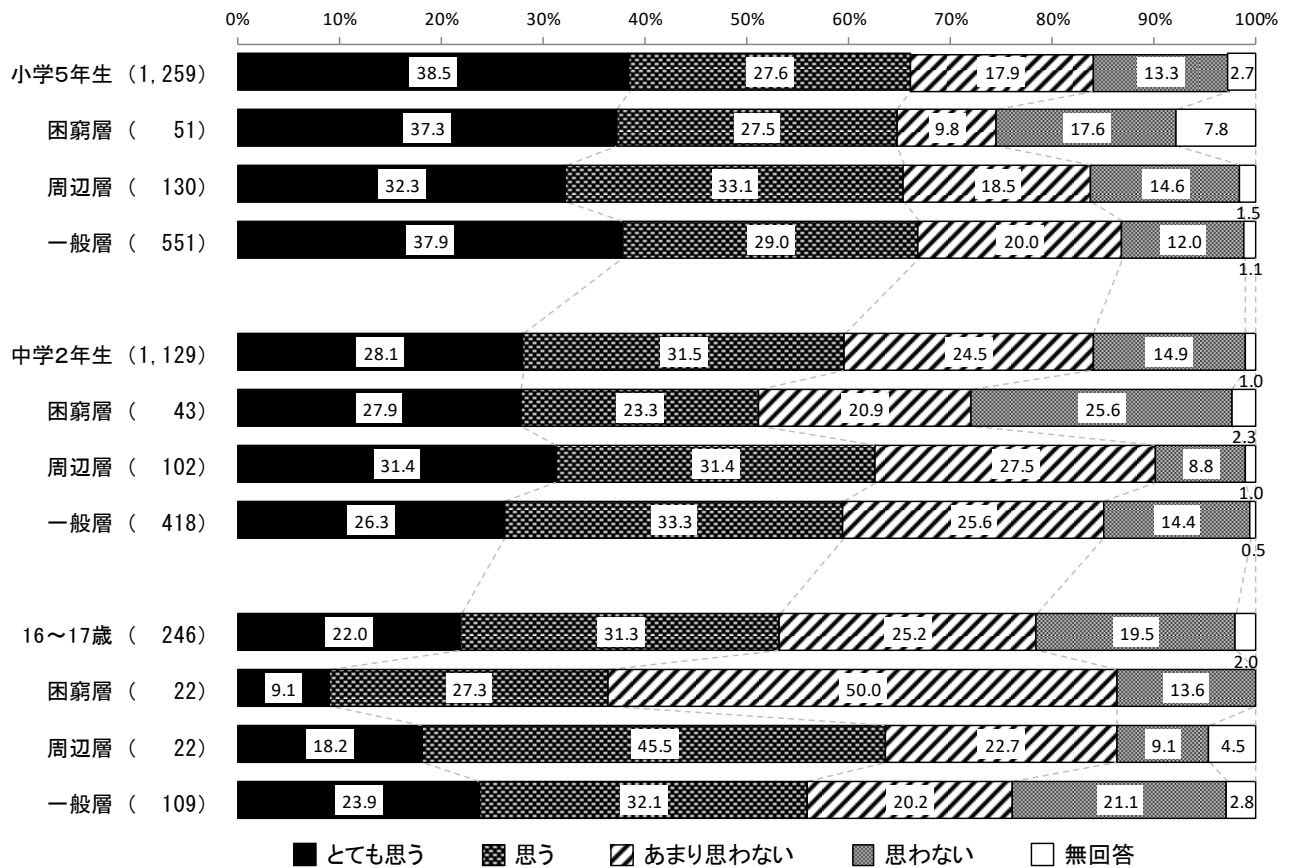
図表 2-7-2-1-5 思いや気持ちについて／不安に感じることはないと思う：生活困難度別



⑥孤独を感じることはないと思う

「孤独を感じることはない」と思うかについて、「とても思う」「思う」を合わせた『思う』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で64.8%、周辺層で65.4%、一般層で66.9%、中学2年生の困窮層で51.2%、周辺層で62.8%、一般層で59.6%、16～17歳の困窮層で36.4%、周辺層で63.7%、一般層で56.0%となっています。

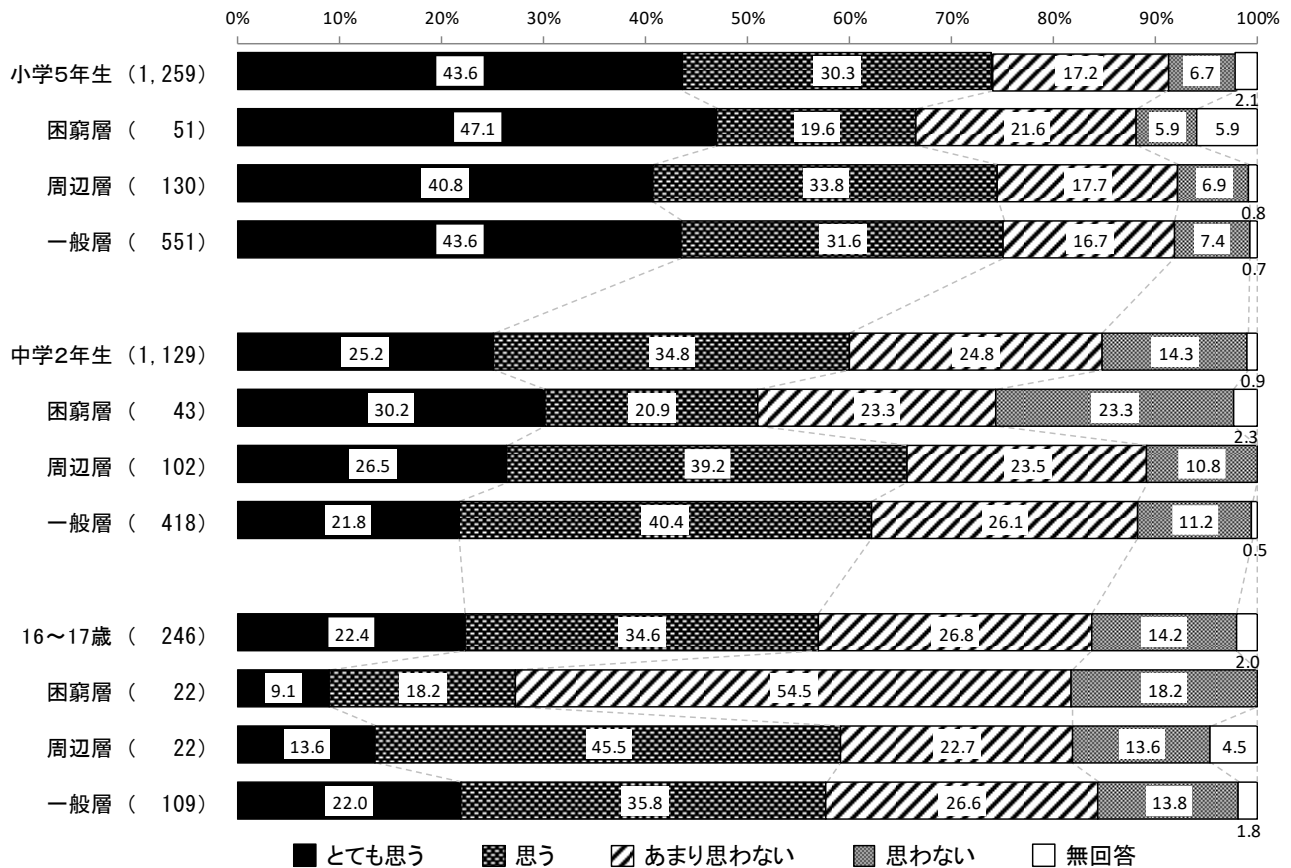
図表 2-7-2-1-6 思いや気持ちについて／孤独を感じることはないと思う：生活困難度別



⑦自分の将来が楽しみだと思う

「自分の将来が楽しみだ」と思うかについて、「とても思う」「思う」を合わせた『思う』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で66.7%、周辺層で74.6%、一般層で75.2%、中学2年生の困窮層で51.1%、周辺層で65.7%、一般層で62.2%、16～17歳の困窮層で27.3%、周辺層で59.1%、一般層で57.8%となっています。

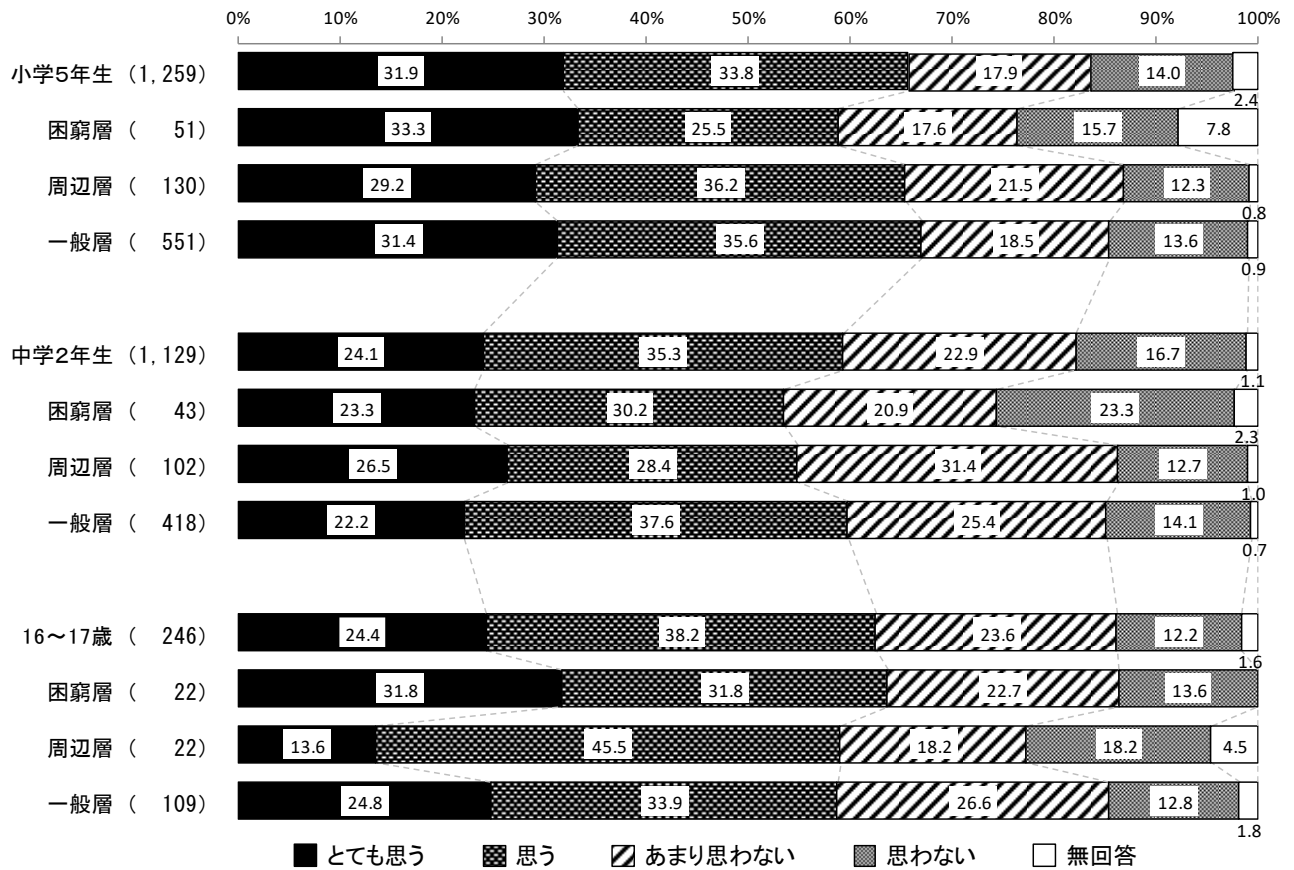
図表 2-7-2-1-7 思いや気持ちについて／自分の将来が楽しみだと思う：生活困難度別



⑧自分のことが好きだと思う

「自分のことが好きだ」と思うかについて、「とても思う」「思う」を合わせた『思う』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 58.8%、周辺層で 65.4%、一般層で 67.0%、中学2年生の困窮層で 53.5%、周辺層で 54.9%、一般層で 59.8%、16～17歳の困窮層で 63.6%、周辺層で 59.1%、一般層で 58.7%となっています。

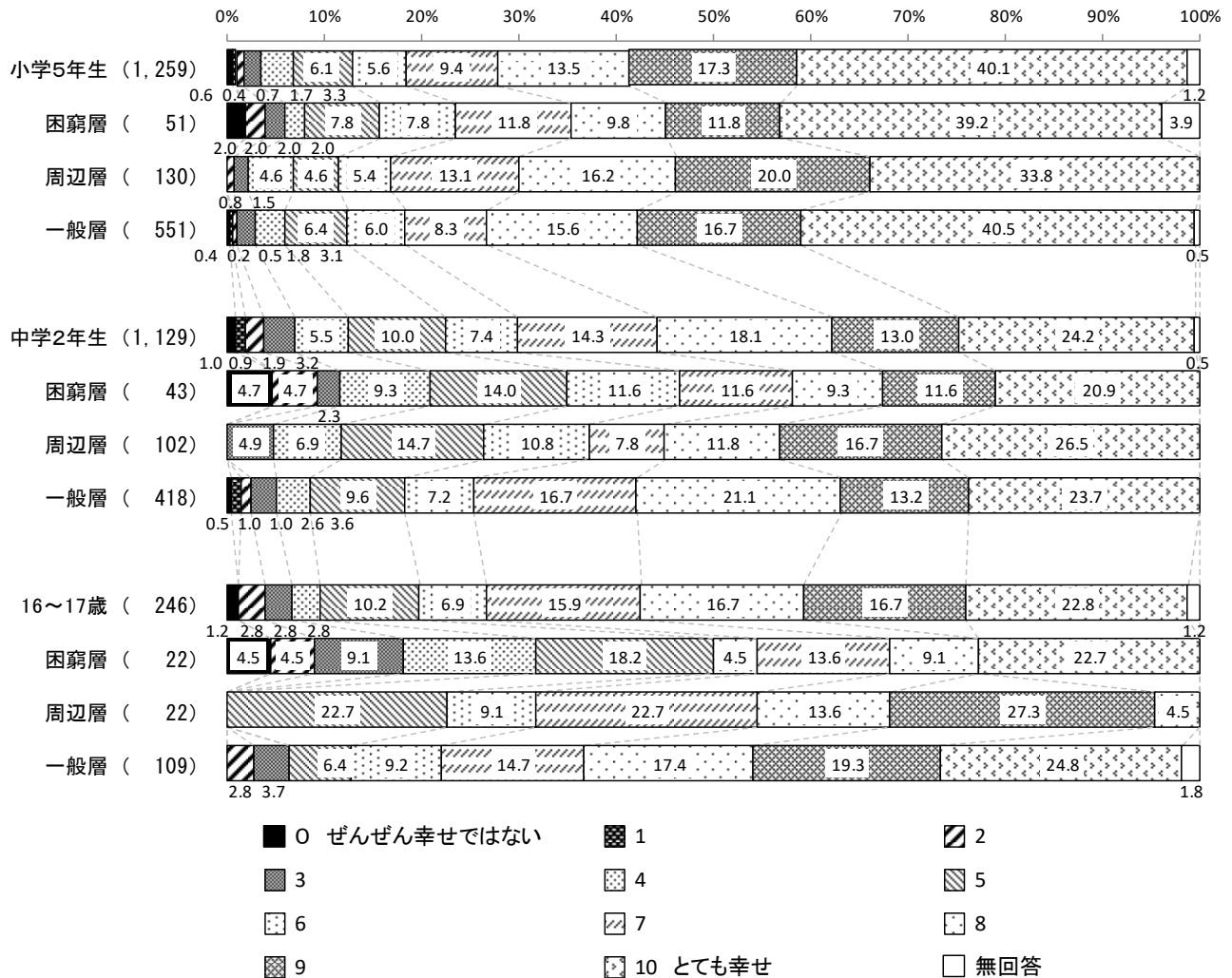
図表 2-7-2-1-8 思いや気持ちについて／自分のことが好きだと思う：生活困難度別



(2) 幸福度

この1年を振り返っての幸福度を10段階で回答してもらいました。中央の「5」よりも小さい「0（とても不幸）」、「1」「2」「3」「4」を合わせた『不幸』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で8.0%、周辺層で6.9%、一般層で6.0%、中学2年生の困窮層で21.0%、周辺層で11.8%、一般層で8.7%、16～17歳の困窮層で31.7%、周辺層で0.0%、一般層で6.5%となっています。

図表 2-7-2-2 幸福度：生活困難度別



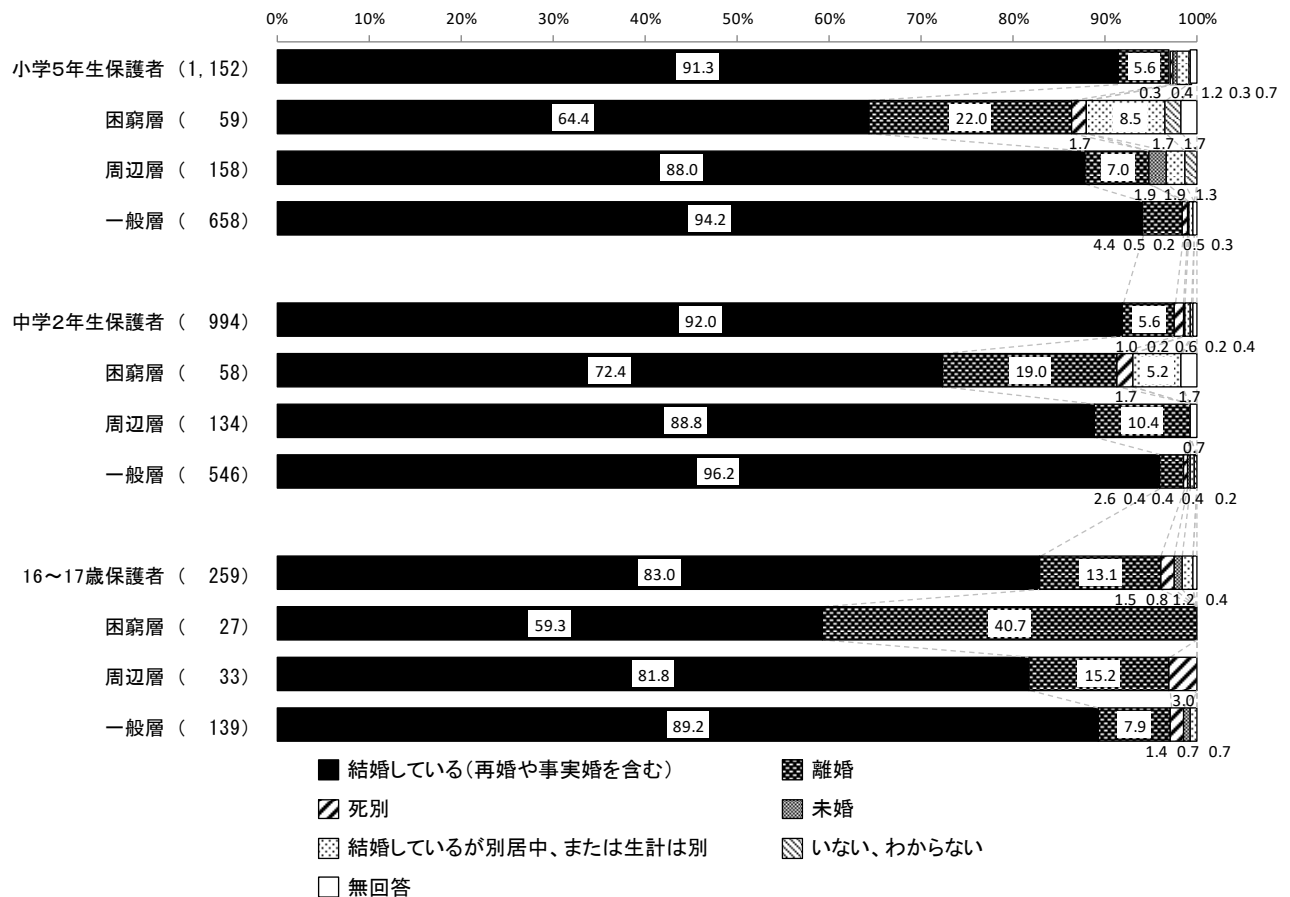
第8章 保護者の状況

1. 回答者の状況

(1) 婚姻状況

保護者の婚姻状況について、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で64.4%、周辺層で88.0%、一般層で94.2%、中学2年生の困窮層で72.4%、周辺層で88.8%、一般層で96.2%、16～17歳の困窮層で59.3%、周辺層で81.8%、一般層で89.2%となっています。

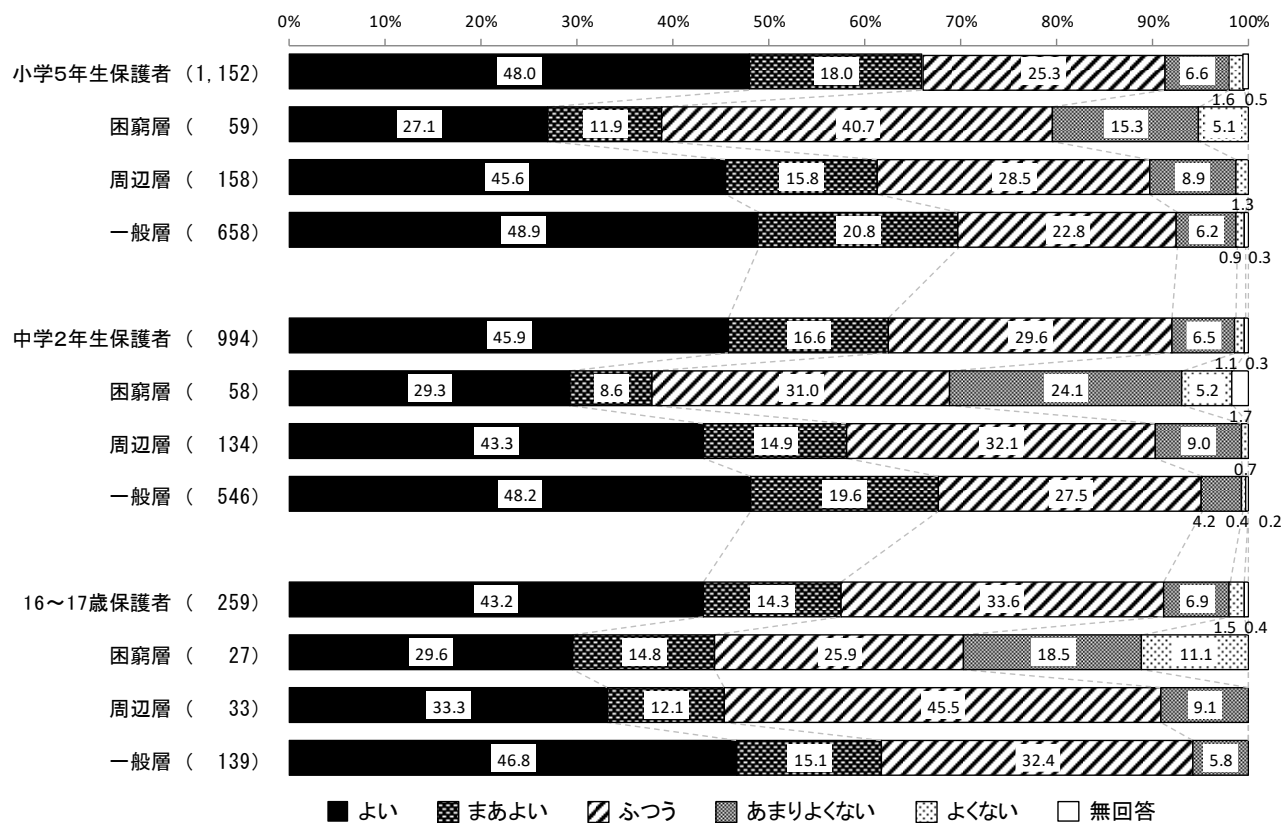
図表 2-8-1-1 婚姻状況：生活困難度別



(2) 健康状態

保護者の主観的な健康状態について、「よい」「まあよい」を合わせた割合は、小学5年生の困窮層で39.0%、周辺層で61.4%、一般層で69.7%、中学2年生の困窮層で37.9%、周辺層で58.2%、一般層で67.8%、16～17歳の困窮層で44.4%、周辺層で45.4%、一般層で61.9%となっています。

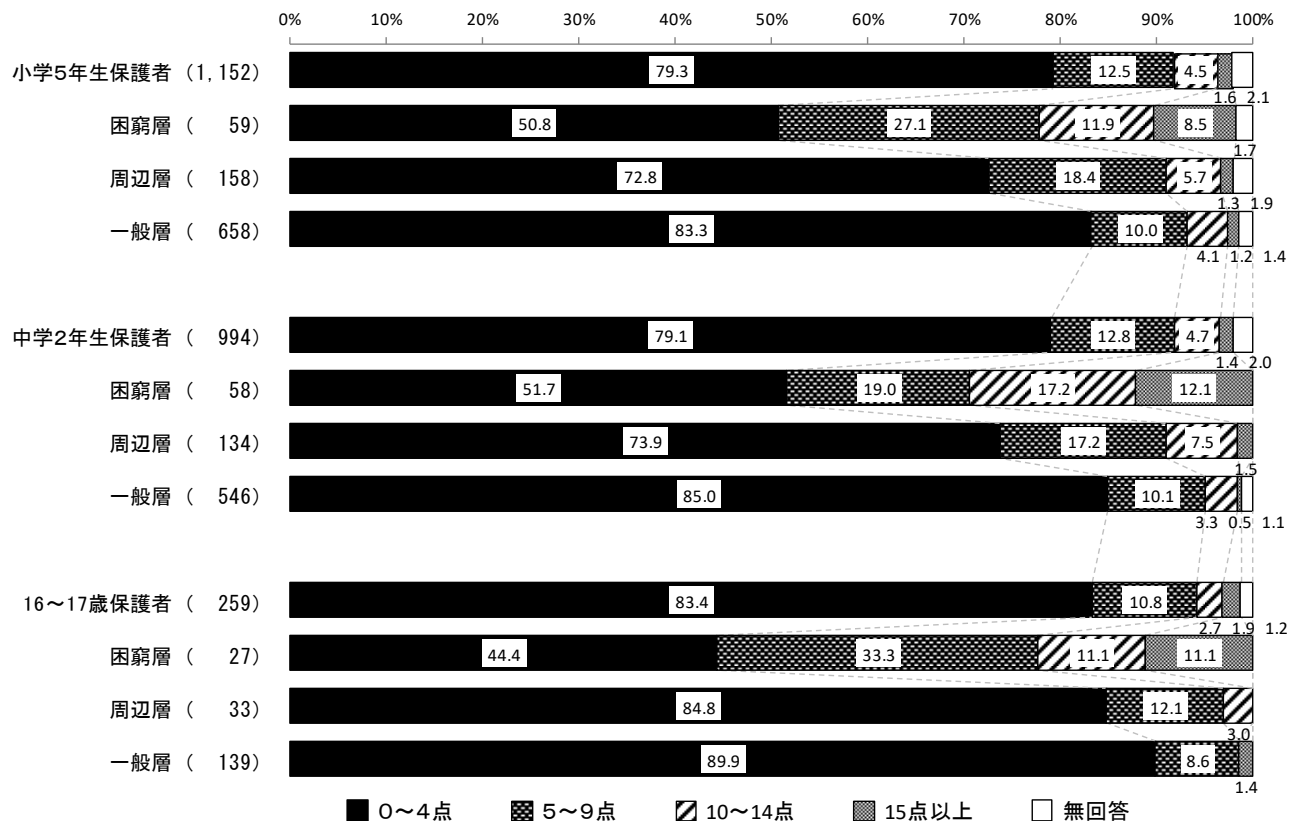
図表 2-8-1-2 健康状態：生活困難度別



(3) 抑うつ傾向

一般的にうつ傾向をはかり指標として普及している K6 指標を用いて保護者の抑うつ傾向を量った結果、抑うつ傾向がないと判断できる「0～4点」は、小学5年生の困窮層で 50.8%、周辺層で 72.8%、一般層で 83.3%、中学2年生の困窮層で 51.7%、周辺層で 73.9%、一般層で 85.0%、16～17歳の困窮層で 44.4%、周辺層で 84.8%、一般層で 89.9%となっています。

図表 2-8-1-3 抑うつ傾向：生活困難度別



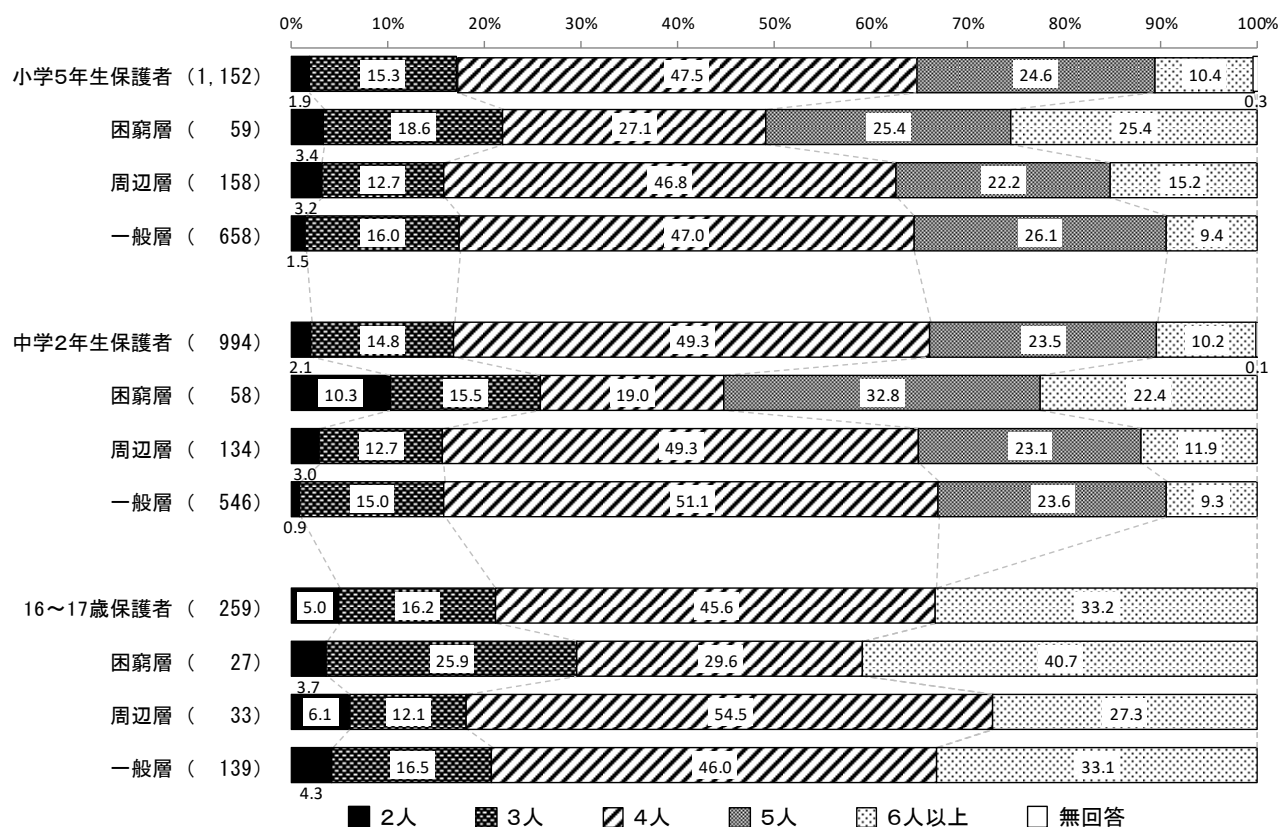
【参考】 K6 における6つの設問：直近1か月で以下を感じたかどうかを
「いつも／たいてい／ときどき／少しだけ／全くない」の5段階で回答してもらう。
A 神経過敏に感じました
B 絶望的だと感じた
C そわそわ、落ち着かなく感じた
D 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた
E 何をするもの面倒だと感じた
F 自分は価値のない人間だと感じた

2. 家族のこと

(1) 同居人数

子どもを含む同居家族の人数は、いずれの年齢層においても「4人」が最も多い割合となっています。中学2年生の困窮層では「2人」が10.3%、16～17歳の困窮層では「3人」が25.9%となっており、いずれも他の年齢層や生活困難度の層と比べて高くなっています。

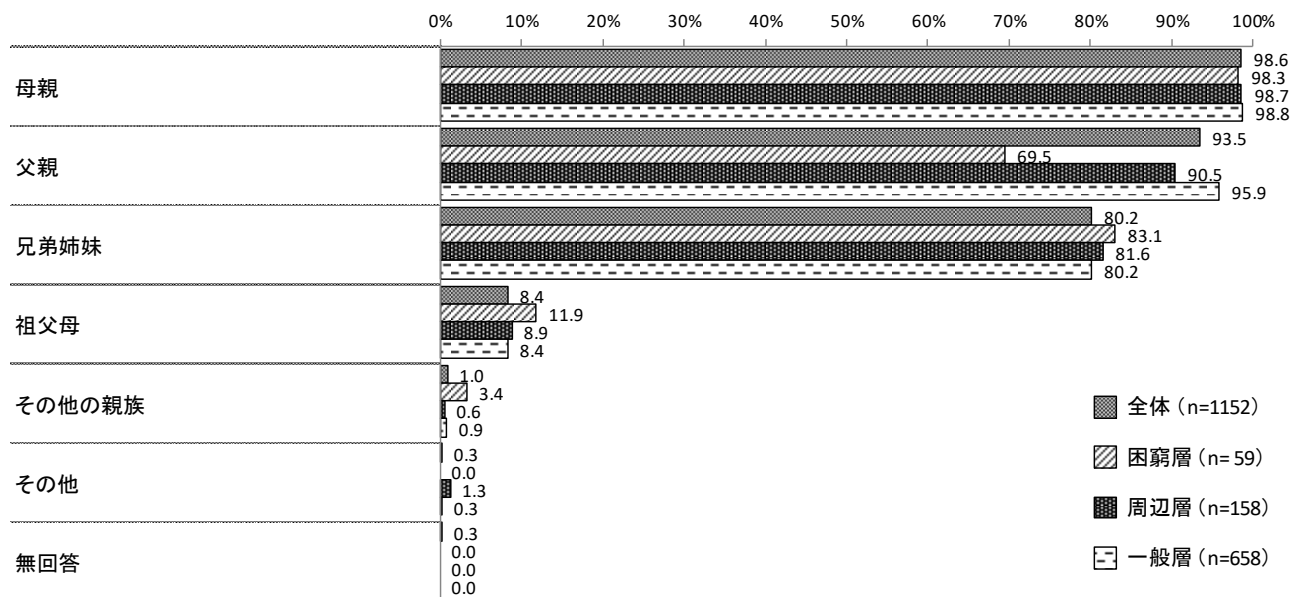
図表 2-8-2-1 同居人数：生活困難度別



(2) 世帯構成

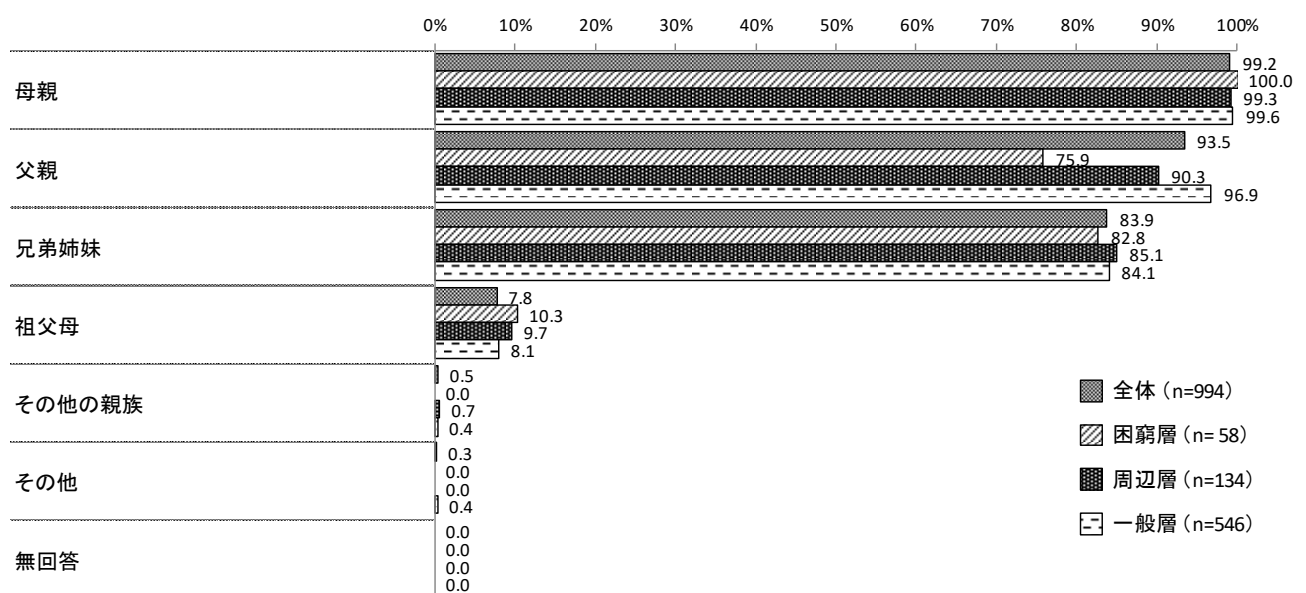
小学5年生では、父親と同居している割合について、困窮層は 69.5%となっており、周辺層の 90.5%、一般層の 95.9%と比べて割合が低くなっています。

図表 2-8-2-2-1 同居している家族（複数回答）（小学5年生）：生活困難度別



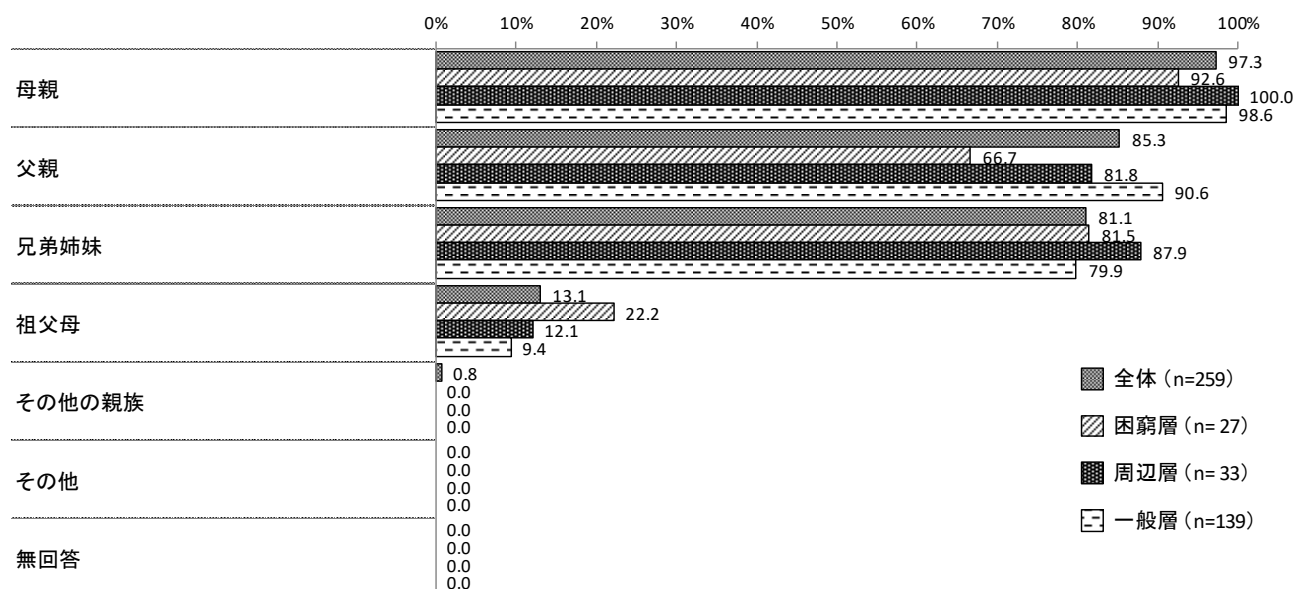
中学2年生では、父親と同居している割合について、困窮層は 75.9%となっており、周辺層の 90.3%、一般層の 96.9%と比べて割合が低くなっています。

図表 2-8-2-2-2 同居している家族（複数回答）（中学2年生）：生活困難度別



16～17 歳では、父親と同居している割合について、困窮層は 66.7%と、周辺層の 81.8%、一般層の 90.6%と比べて割合が低くなっています。

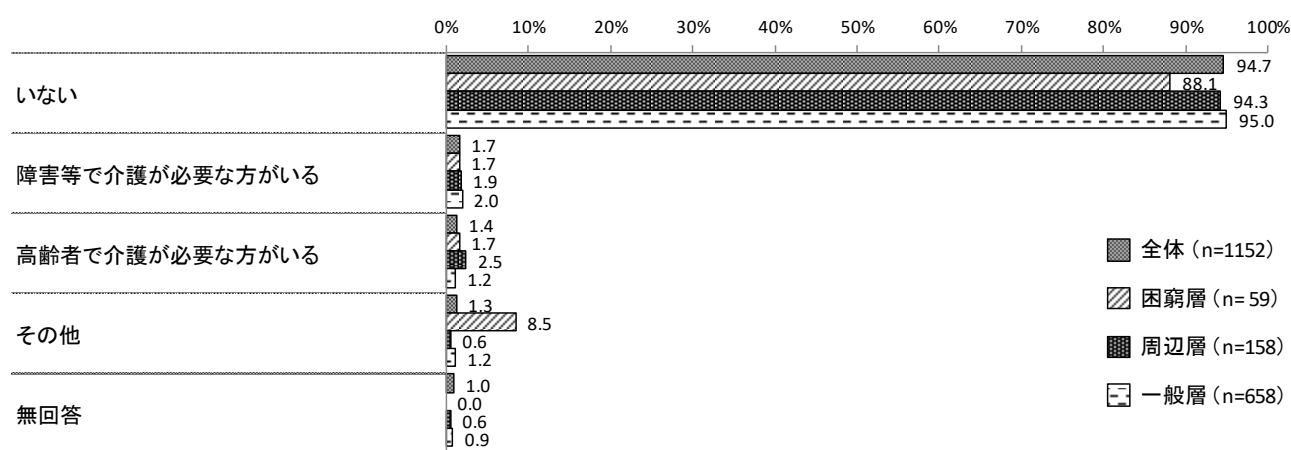
図表 2-8-2-2-3 同居している家族（複数回答）（16～17 歳）：生活困難度別



(3) 介護が必要な同居家族の有無

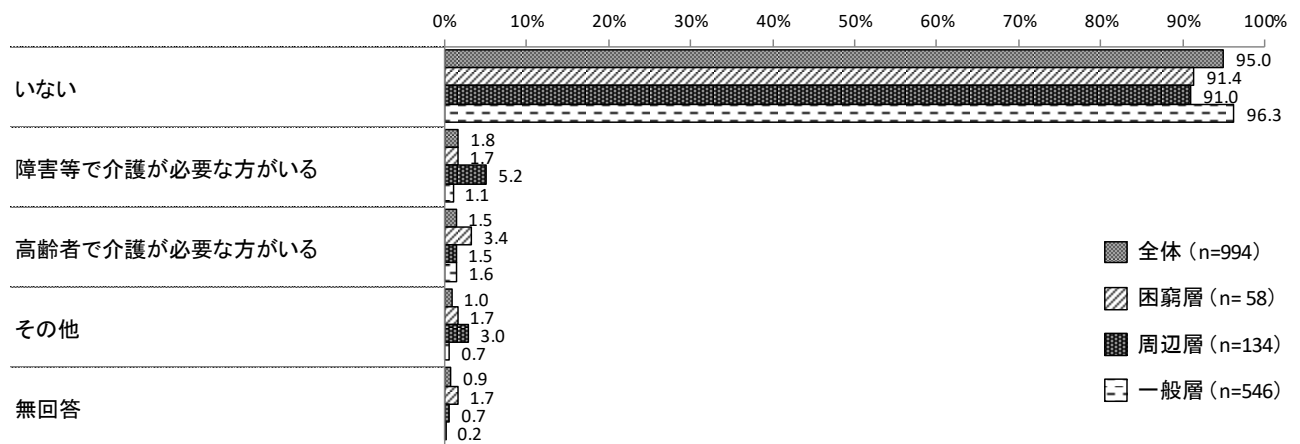
介護が必要な同居家族の有無について、複数回答で聞いたところ、小学5年生では「いない」と回答した割合は、困窮層で 88.1%、周辺層で 94.3%、一般層で 95.0%となっています。

図表 2-8-2-3-1 介護が必要な同居家族の有無（複数回答）（小学5年生）：生活困難度別



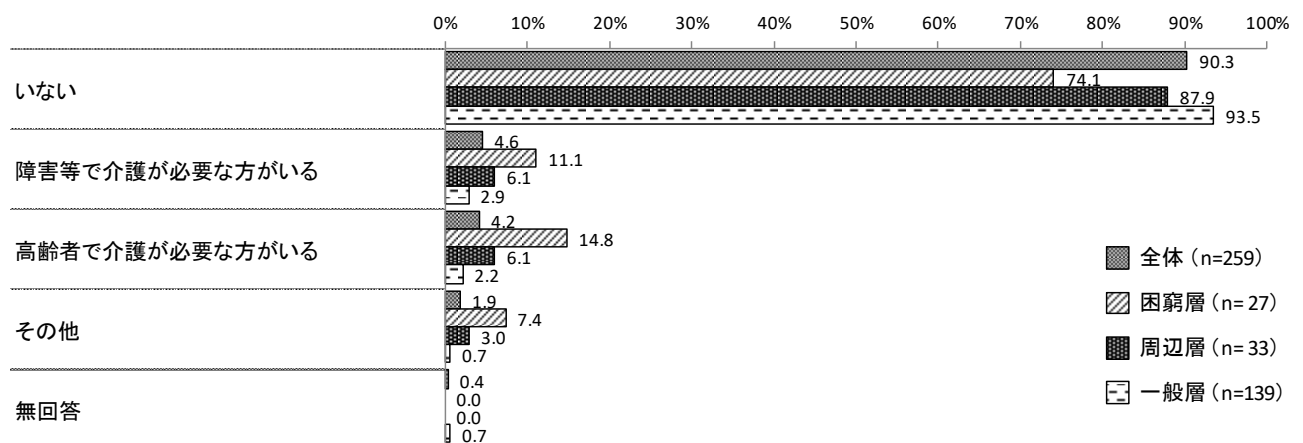
介護が必要な同居家族の有無について、複数回答で聞いたところ、中学2年生では「いない」と回答した割合は、困窮層で91.4%、周辺層で91.0%、一般層で96.3%となっています。

図表 2-8-2-3-2 介護が必要な同居家族の有無（複数回答）（中学2年生）：生活困難度別



介護が必要な同居家族の有無について、複数回答で聞いたところ、16-17歳では「いない」と回答した割合は、困窮層で74.1%、周辺層で87.9%、一般層で93.5%となっています。

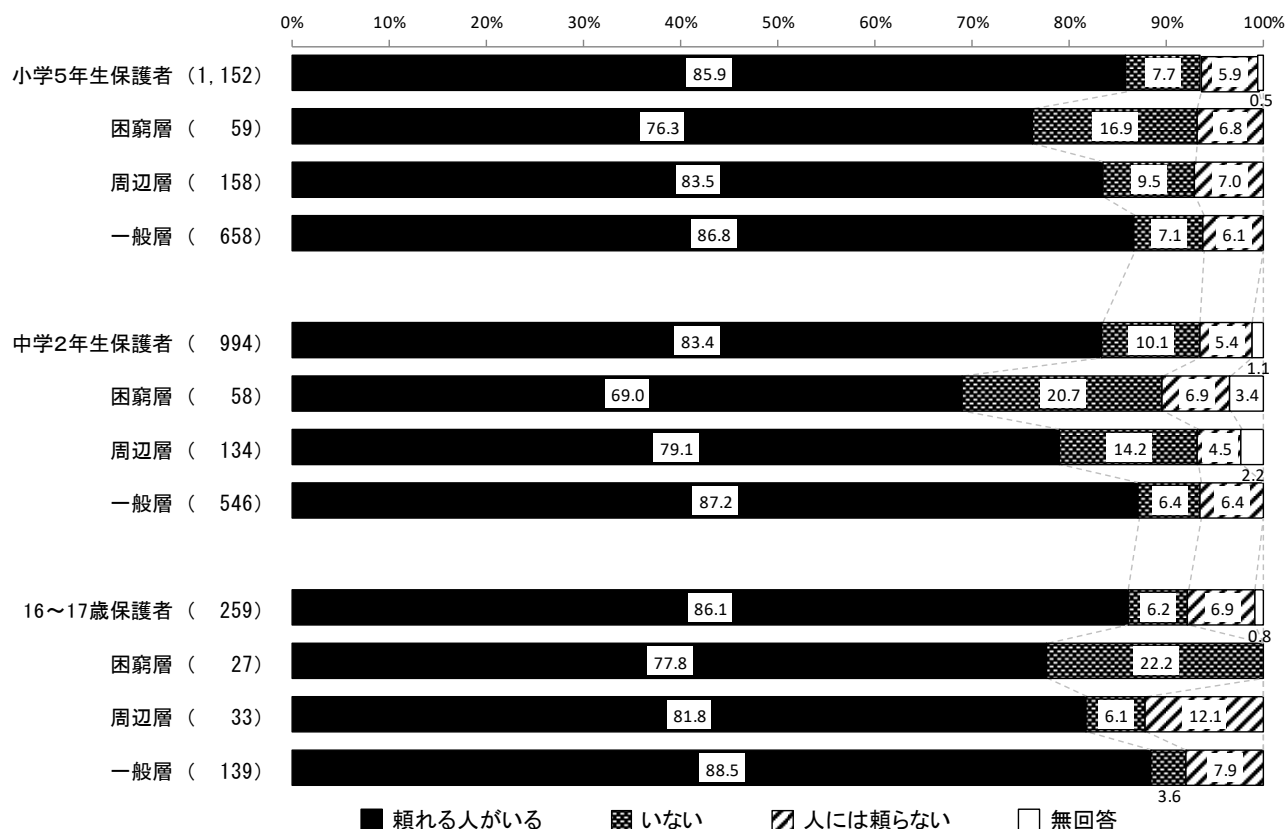
図表 2-8-2-3-3 介護が必要な同居家族の有無（複数回答）（16-17歳）：生活困難度別



(4) 子育てに関する相談相手の有無とその相手

子育てに関する相談相手の有無について、「頼れる人がいる」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 76.3%、周辺層で 83.5%、一般層で 86.8%、中学2年生の困窮層で 69.0%、周辺層で 79.1%、一般層で 87.2%、16～17歳の困窮層で 77.8%、周辺層で 81.8%、一般層で 88.5%となっています。

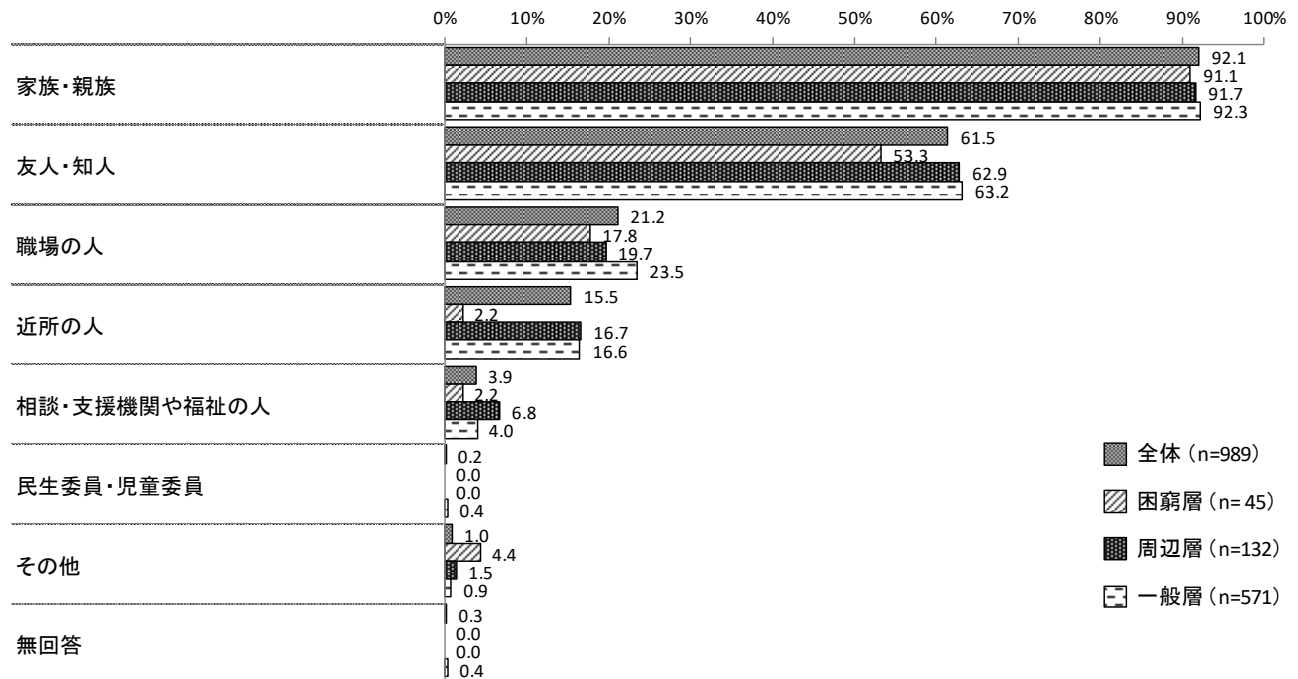
図表 2-8-2-4-1 子育てに関する相談相手の有無：生活困難度別



第2部 子ども・若者の意識と生活に関する調査

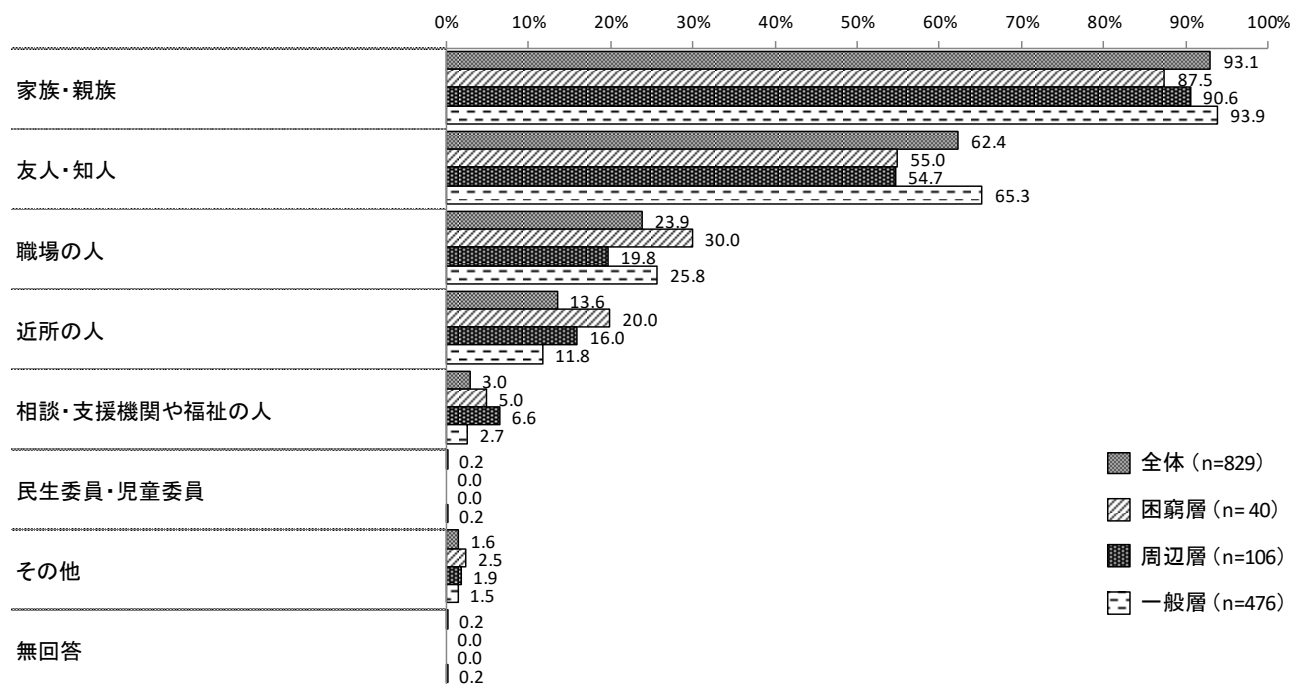
子育てに関する相談相手について複数回答で聞いたところ、小学5年生では「家族・親族」と回答した割合は、困窮層で91.1%、周辺層で91.7%、一般層で92.3%となっています。

図表 2-8-2-4-2 子育てに関する相談相手（複数回答）（小学5年生）：生活困難度別



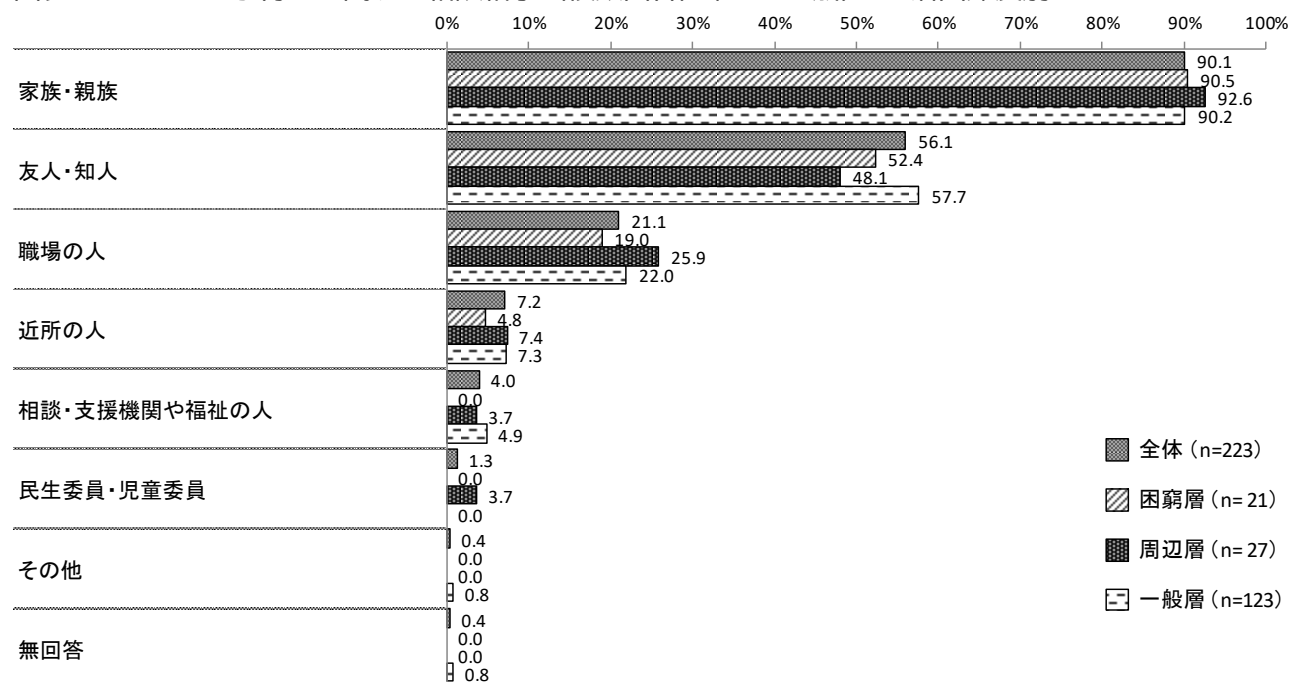
子育てに関する相談相手について複数回答で聞いたところ、中学2年生では「家族・親族」と回答した割合は、困窮層で87.5%、周辺層で90.6%、一般層で93.9%となっています。

図表 2-8-2-4-3 子育てに関する相談相手（複数回答）（中学2年生）：生活困難度別



子育てに関する相談相手について複数回答で聞いたところ、16～17 歳では「家族・親族」と回答した割合は、困窮層で 90.5%、周辺層で 92.6%、一般層で 90.2%となっています。

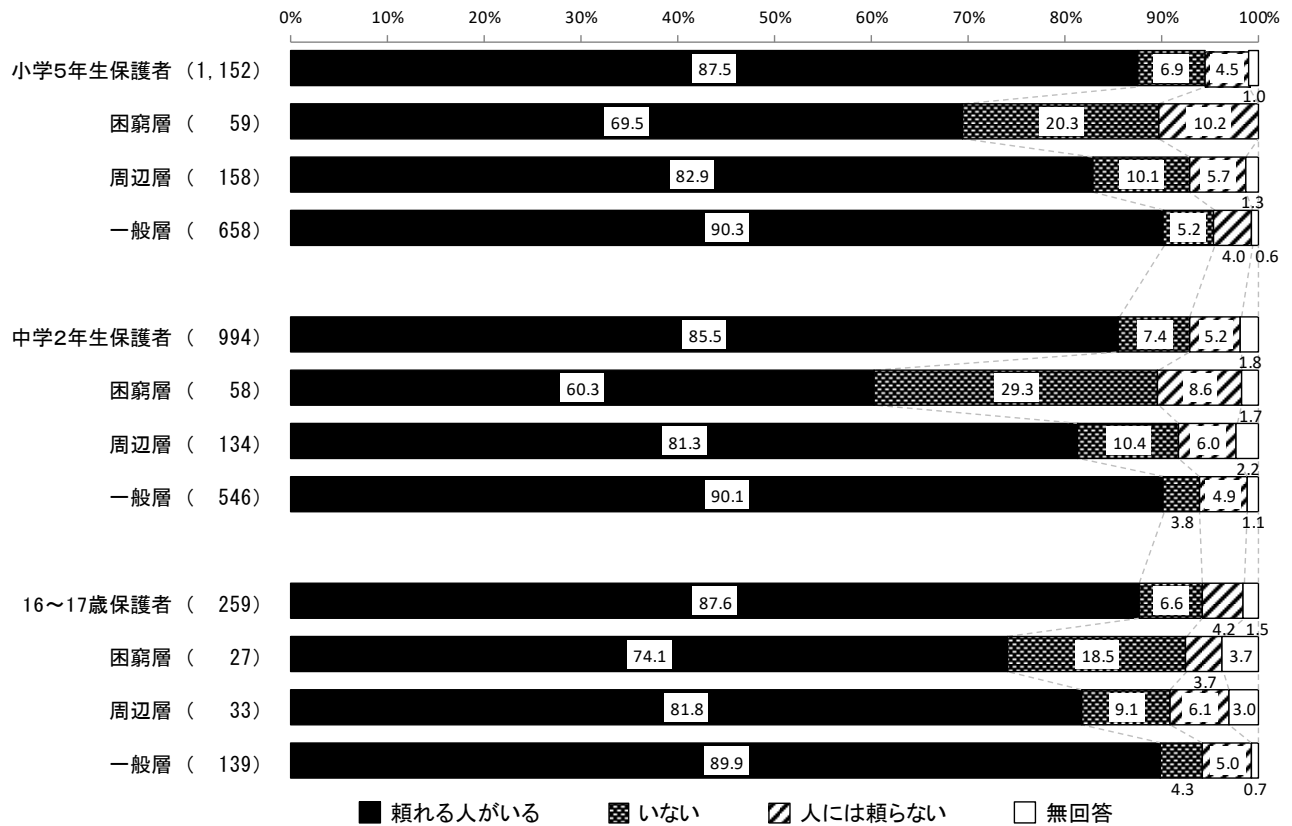
図表 2-8-2-4-4 子育てに関する相談相手（複数回答）（16～17 歳）：生活困難度別



(5) 重要な事柄に関する相談相手の有無とその相手

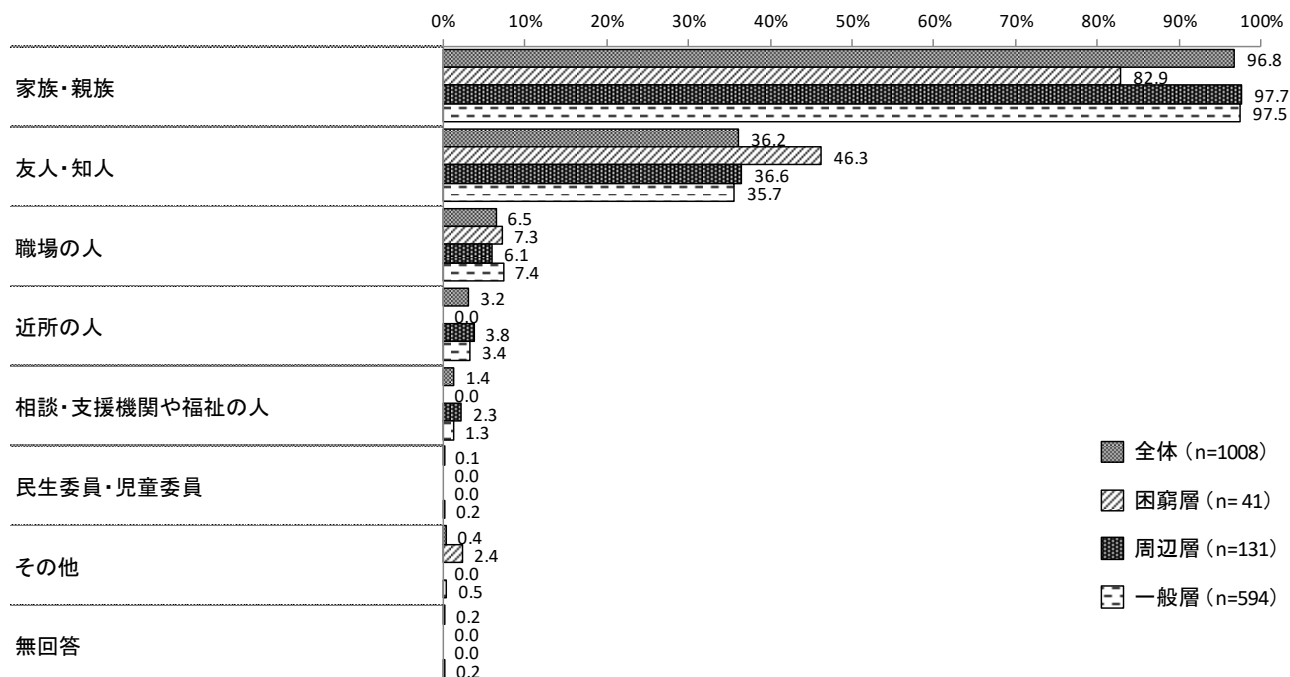
重要な事柄に関する相談相手の有無について、「頼れる人がいる」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 69.5%、周辺層で 82.9%、一般層で 90.3%、中学2年生の困窮層で 60.3%、周辺層で 81.3%、一般層で 90.1%、16～17歳の困窮層で 74.1%、周辺層で 81.8%、一般層で 89.9%となっています。

図表 2-8-2-5-1 重要な事柄に関する相談相手の有無：生活困難度別



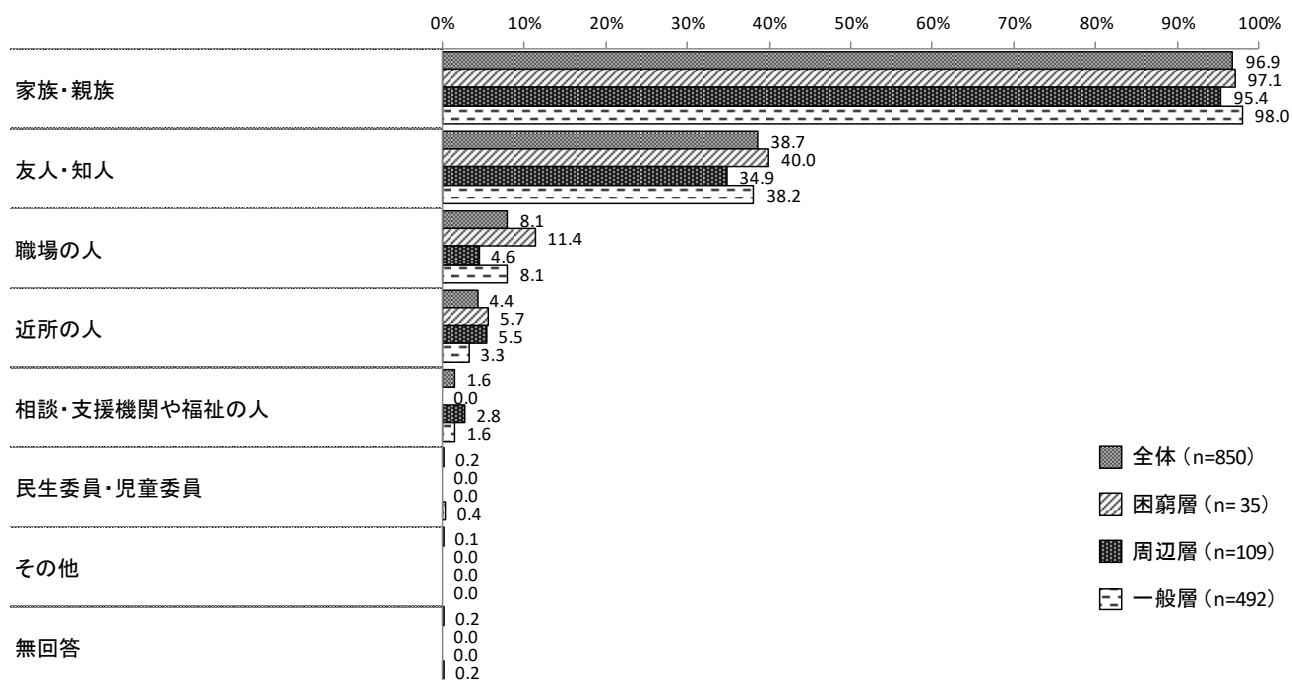
重要な事柄に関する相談相手について複数回答で聞いたところ、小学5年生では「家族・親族」と回答した割合は、困窮層で82.9%、周辺層で97.7%、一般層で97.5%となっています。

図表 2-8-2-5-2 重要な事柄に関する相談相手（複数回答）（小学5年生）：生活困難度別



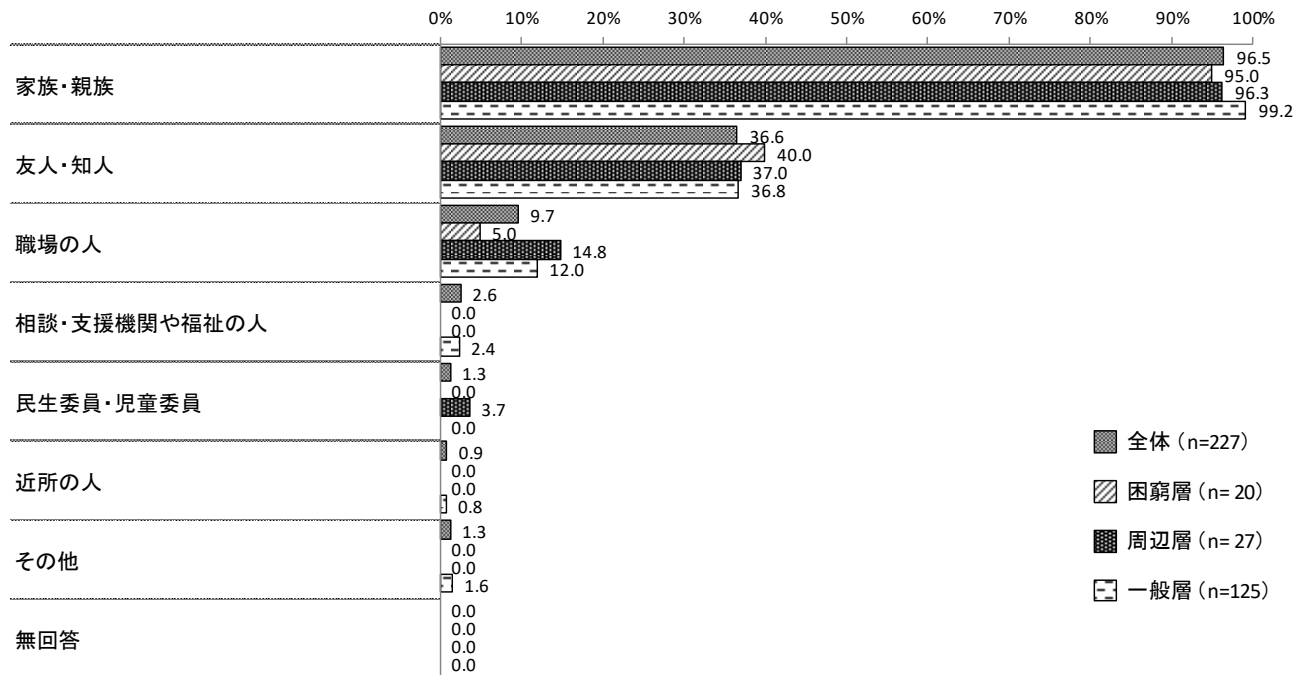
重要な事柄に関する相談相手について複数回答で聞いたところ、中学2年生では「家族・親族」と回答した割合は、困窮層で97.1%、周辺層で95.4%、一般層で98.0%となっています。

図表 2-8-2-5-3 重要な事柄に関する相談相手（複数回答）（中学2年生）：生活困難度別



重要な事柄に関する相談相手について複数回答で聞いたところ、16～17 歳では「家族・親族」と回答した割合は、困窮層で 95.0%、周辺層で 96.3%、一般層で 99.2%となっています。

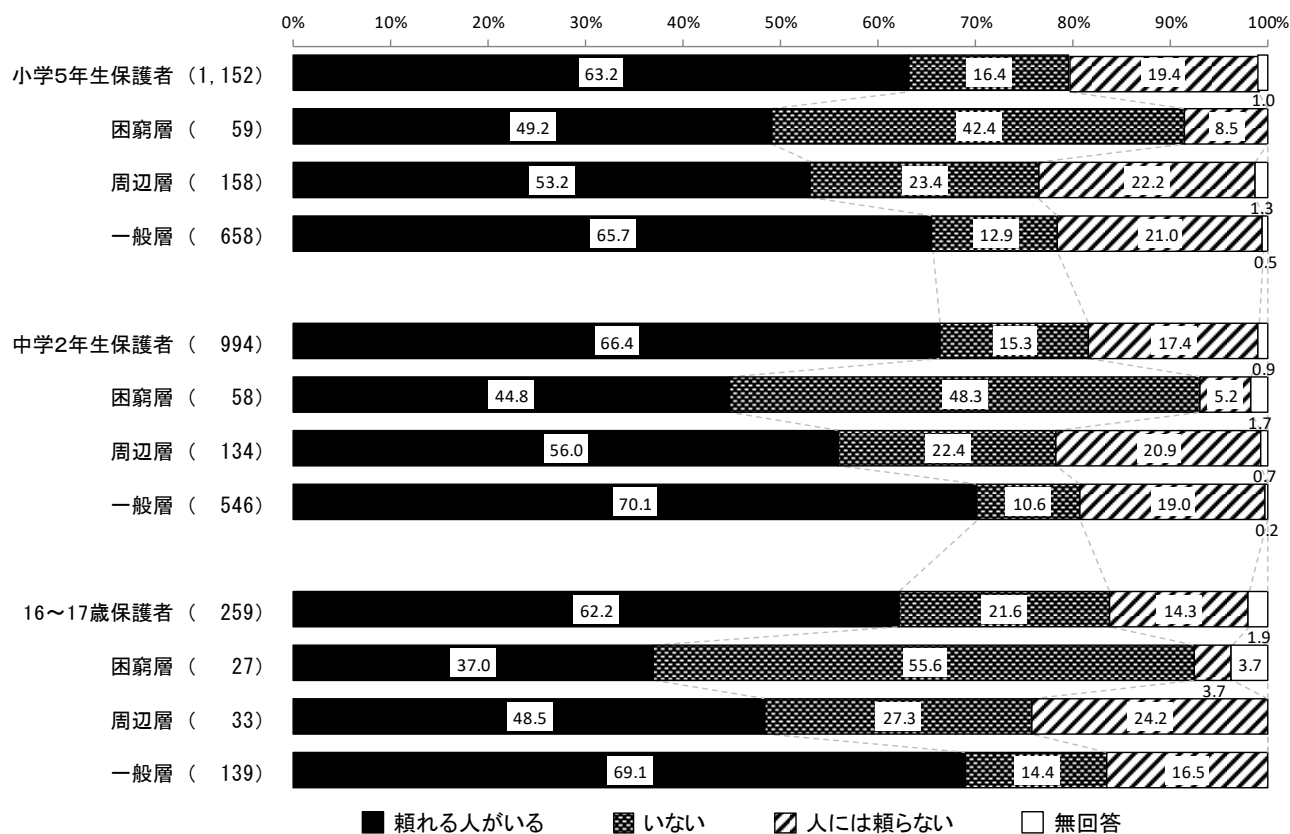
図表 2-8-2-5-4 重要な事柄に関する相談相手（複数回答）（16～17 歳）：生活困難度別



(6) いざという時のお金の援助に関する相談相手の有無とその相手

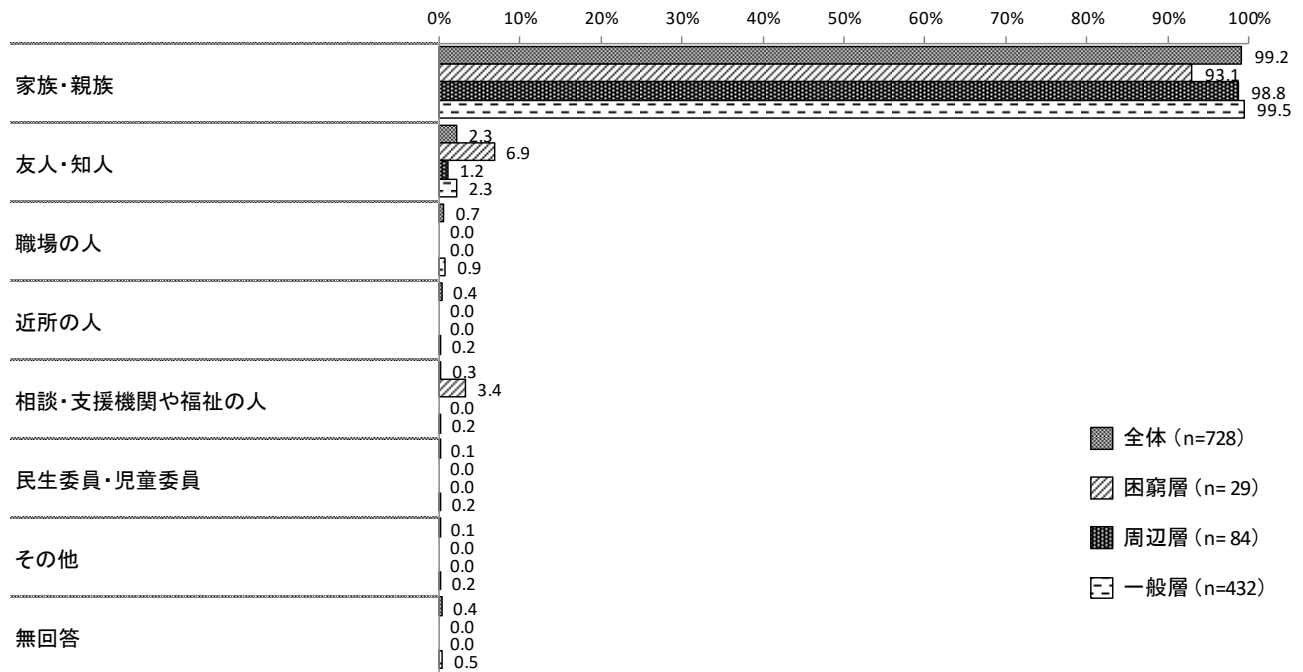
いざという時のお金の援助に関する相談相手の有無について、「頼れる人がある」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 49.2%、周辺層で 53.2%、一般層で 65.7%、中学2年生の困窮層で 44.8%、周辺層で 56.0%、一般層で 70.1%、16～17 歳の困窮層で 37.0%、周辺層で 48.5%、一般層で 69.1%となっています。

図表 2-8-2-6-1 いざという時のお金の援助に関する相談相手の有無：生活困難度別



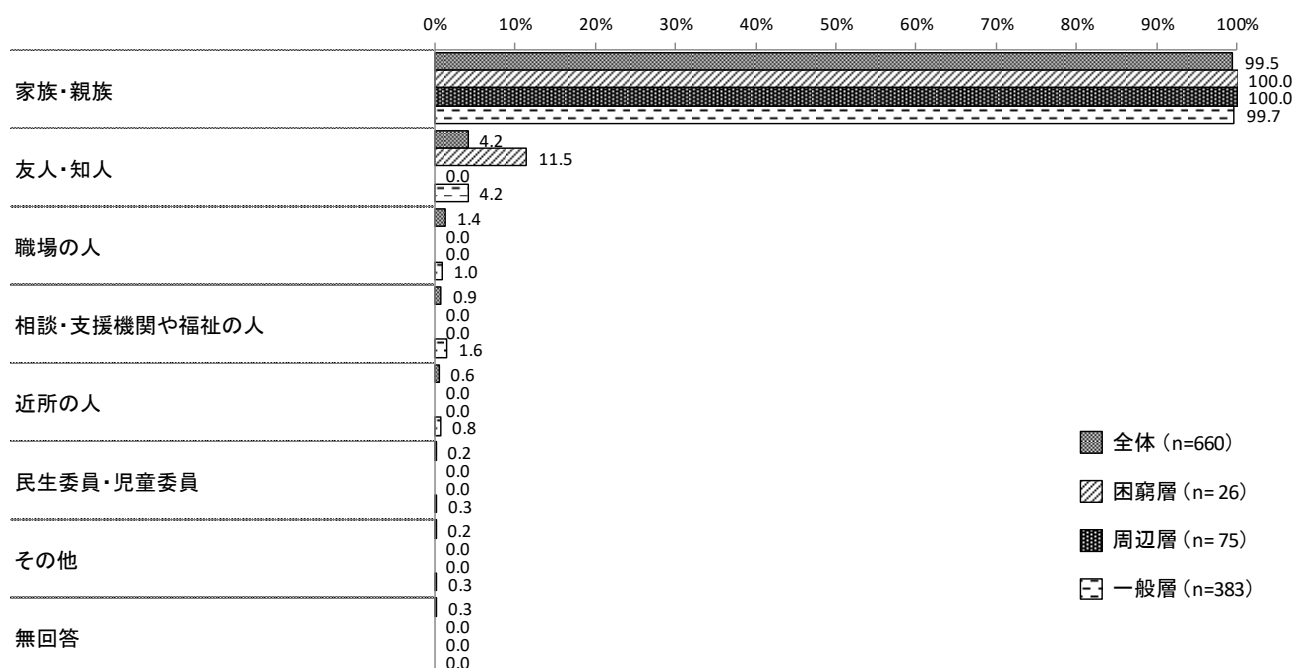
いざという時のお金の援助に関する相談相手について複数回答で聞いたところ、小学5年生では「家族・親族」と回答した割合は、困窮層で 93.1%、周辺層で 98.5%、一般層で 99.5%となっています。

図表 2-8-2-6-2 いざという時のお金の援助に関する相談相手（複数回答）（小学5年生）
：生活困難度別



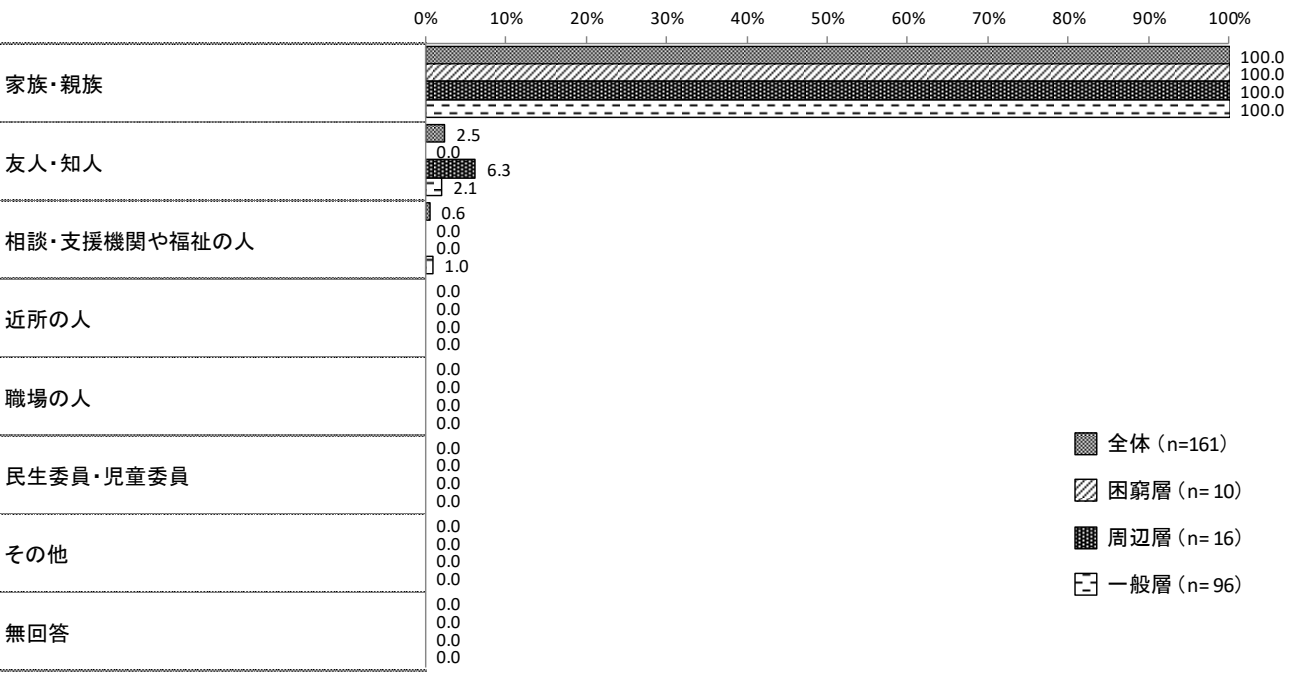
いざという時のお金の援助に関する相談相手について複数回答で聞いたところ、中学2年生では「家族・親族」と回答した割合は、困窮層で 99.5%、周辺層で 100%、一般層で 99.7%となっています。

図表 2-8-2-6-3 いざという時のお金の援助に関する相談相手（複数回答）（中学2年生）
：生活困難度別



いざという時のお金の援助に関する相談相手について複数回答で聞いたところ、16～17 歳では「家族・親族」と回答した割合は、すべての層で 100%となっています。

図表 2-8-2-6-4 いざという時のお金の援助に関する相談相手（複数回答）（16～17 歳）
：生活困難度別



3. 保護者の就労状況

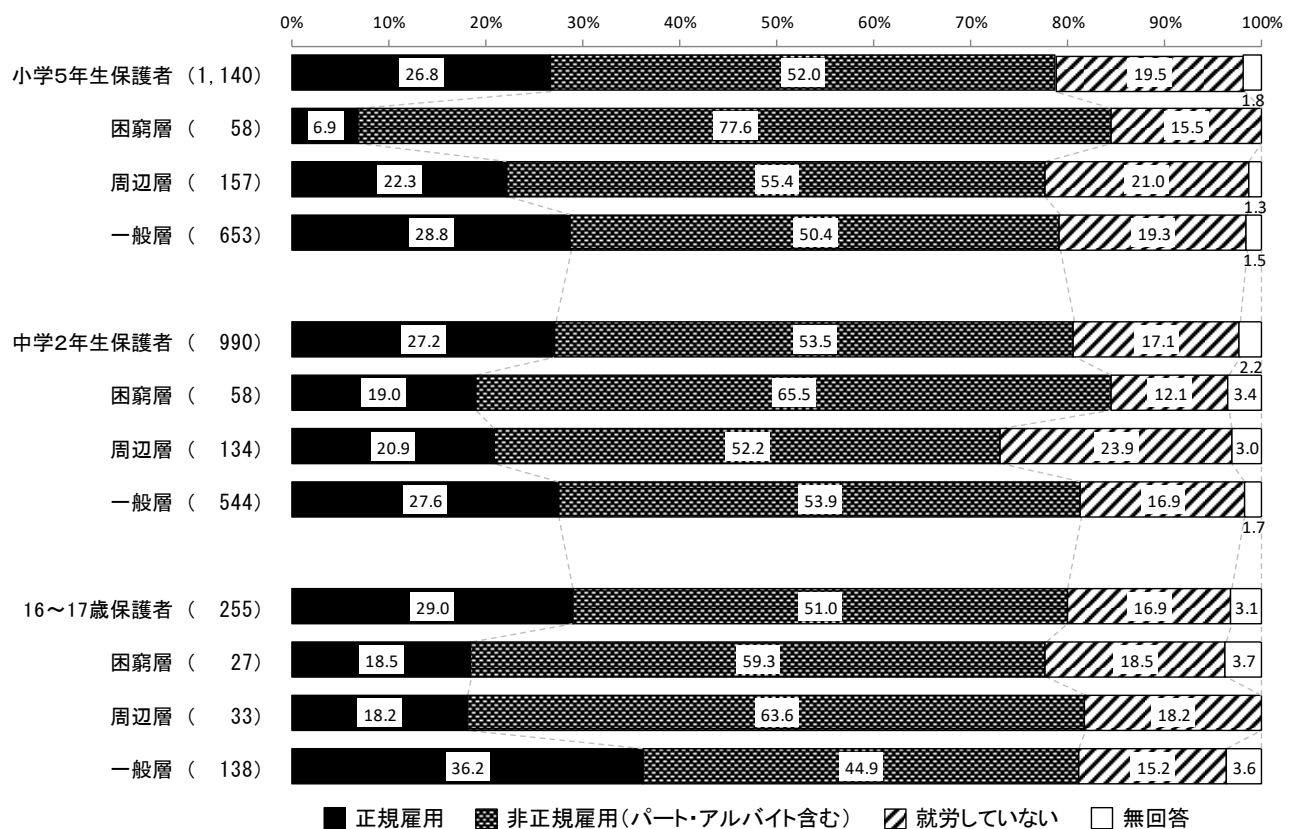
(1) 保護者の就労形態

※保護者の就労状況については、母親、父親、及びその他（父母以外の方）について質問していますが「その他」と回答した方は小学5年生で5人、中学2年生で1人、16～17歳で3人しかいないため、本報告書では割愛しています。

①母親

母親の就労形態について、すべての年代保護者のすべての層で「非正規雇用」が最も高くなっています。小学5年生では困窮層が77.6%と特に高く、周辺層で55.4%、一般層で50.4%、中学2年生では困窮層で65.5%、周辺層で52.2%、一般層で53.9%、16～17歳では困窮層で59.3%、周辺層で63.6%、一般層で44.9%となっています。「正規雇用」は小学5年生の困窮層で6.9%と特に低くなっています。

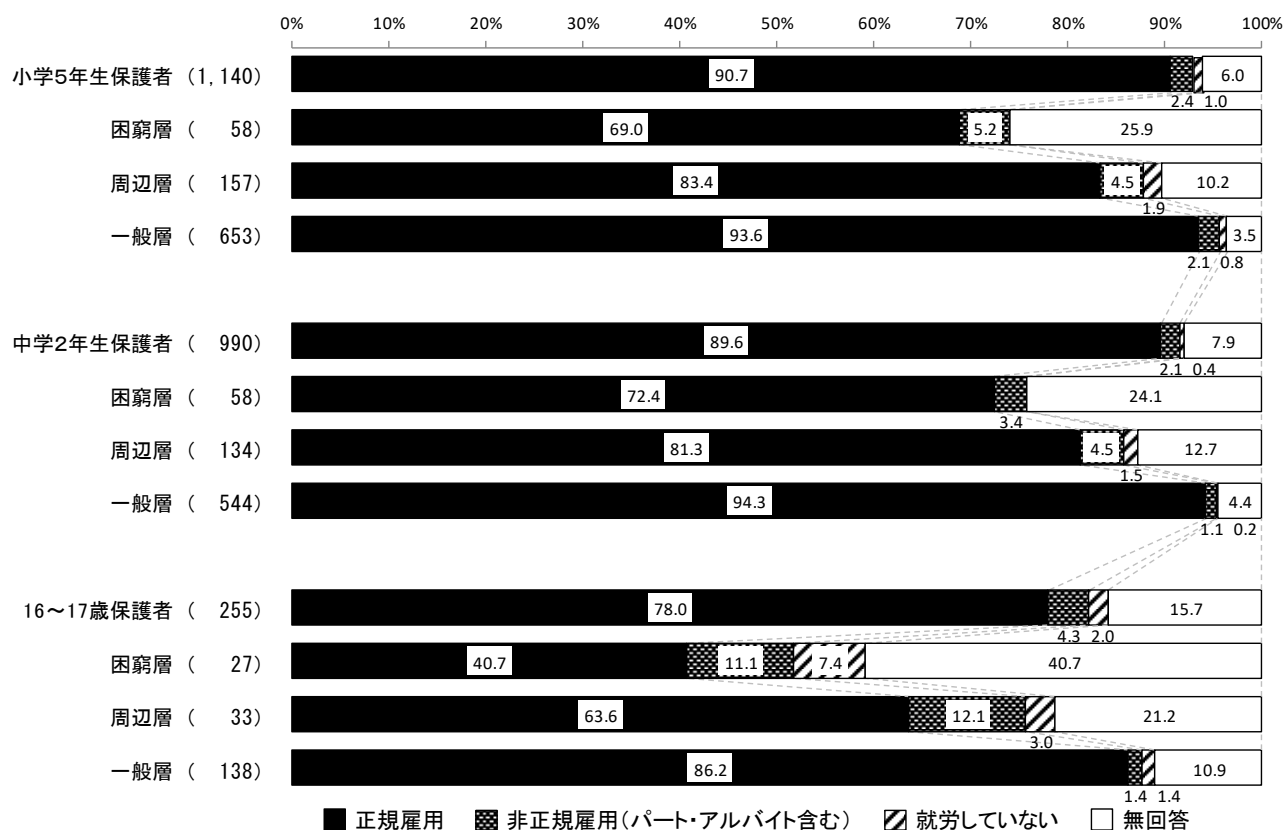
図表 2-8-3-1-1 母親の就労形態：生活困難度別



②父親

父親の就労形態について、すべての年代の保護者と層で「正規雇用」が最も高く、また層別の高さでは一般層・周辺層・困窮層の順になっています。小学5年生では困窮層で69.0%、周辺層で83.4%、一般層で93.6%、中学2年生では困窮層で72.4%、周辺層で81.3%、一般層で94.3%、16～17歳では困窮層で40.7%、周辺層で63.6%、一般層で86.2%となっています。16～17歳の困窮層は40.7%と唯一半数に満たず、特に低くなっています。

図表 2-8-3-1-2 父親の就労形態：生活困難度別

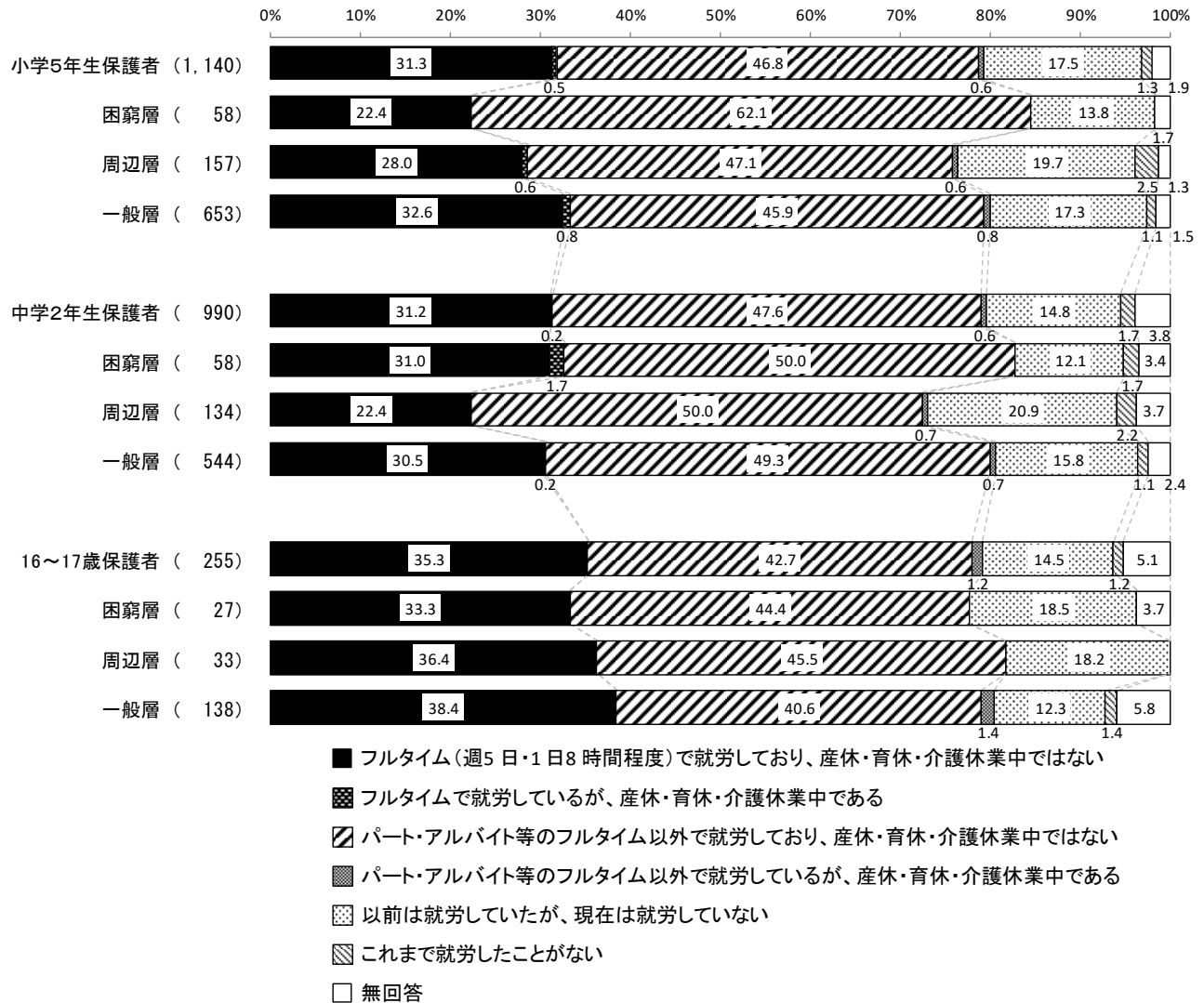


(2) 保護者の就労状況

①母親

母親の就労状況について、すべての年代の保護者と層で「パート・アルバイト等のフルタイム以外で就労」が最も高くなっています。小学5年生では困窮層が62.1%、周辺層で47.1%、一般層で45.9%、中学2年生では困窮層で50.0%、周辺層で50.0%、一般層で49.3%、16～17歳では困窮層で44.4%、周辺層で45.5%、一般層で40.6%となっています。

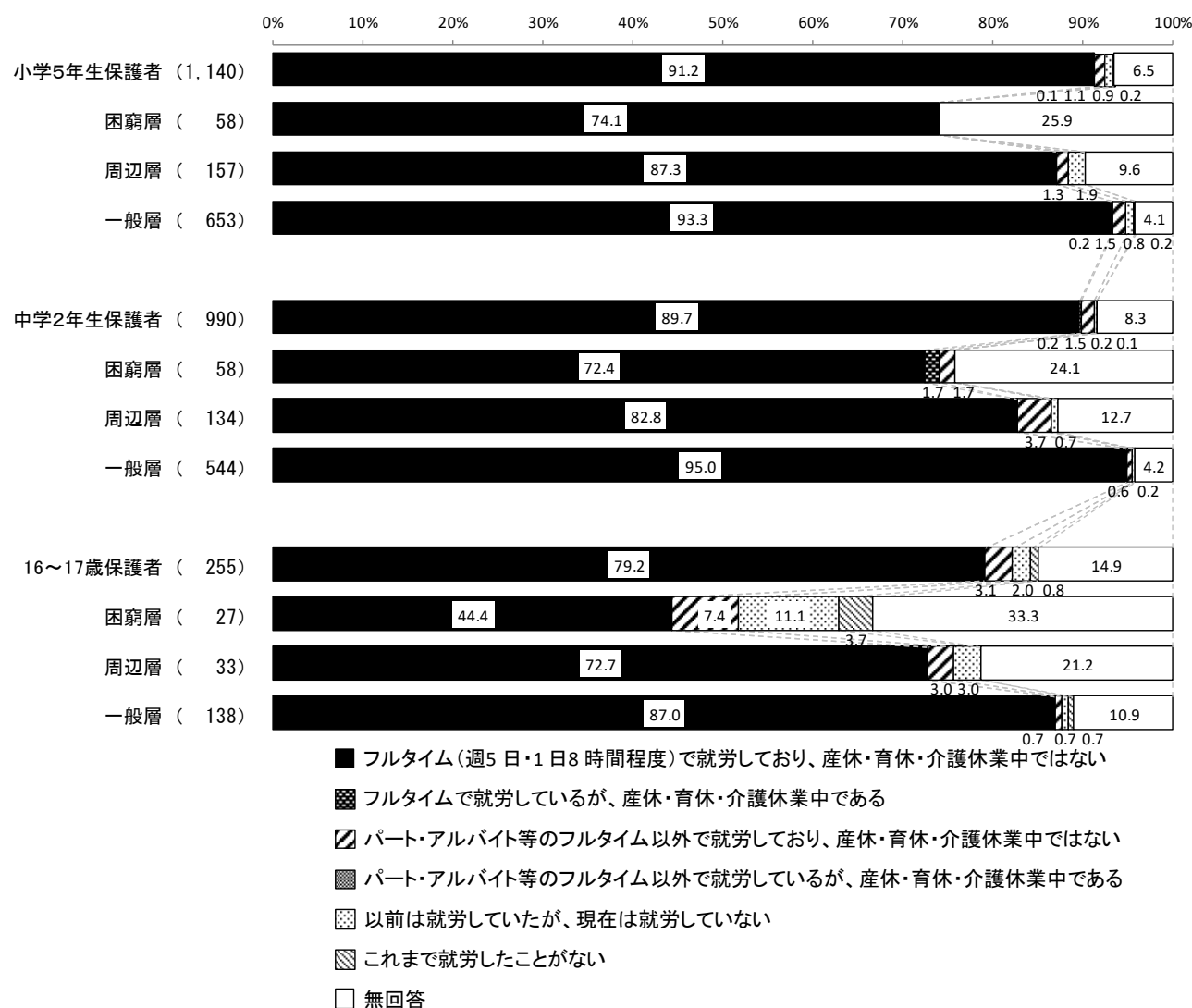
図表 2-8-3-2-1 母親の就労状況：生活困難度別



②父親

父親の就労状況について、すべての年代保護者と層で「フルタイムで就労」が最も高く、また層別の高さでは一般層・周辺層・困窮層の順になっています。小学5年生では困窮層で74.1%、周辺層で87.3%、一般層で93.3%、中学2年生では困窮層で72.4%、周辺層で82.8%、一般層で95.0%、16～17歳では困窮層で44.4%、周辺層で72.7%、一般層で87.0%となっています。16～17歳の困窮層は44.4%と唯一半数に満たず、特に低くなっています。

図表 2-8-3-2-2 父親の就労状況：生活困難度別

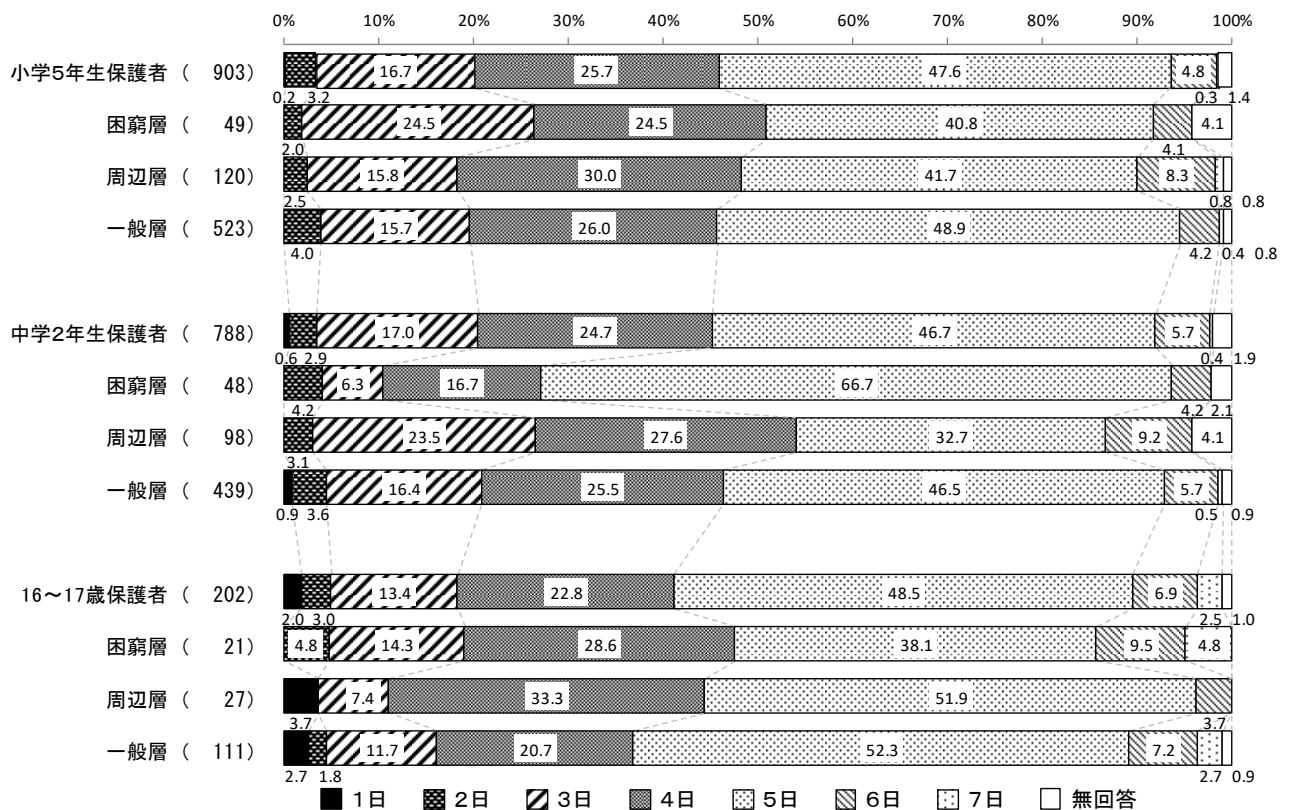


(3) 1週間当たりの就労日数、土日就労日数、1日当たりの就労時間

①母親

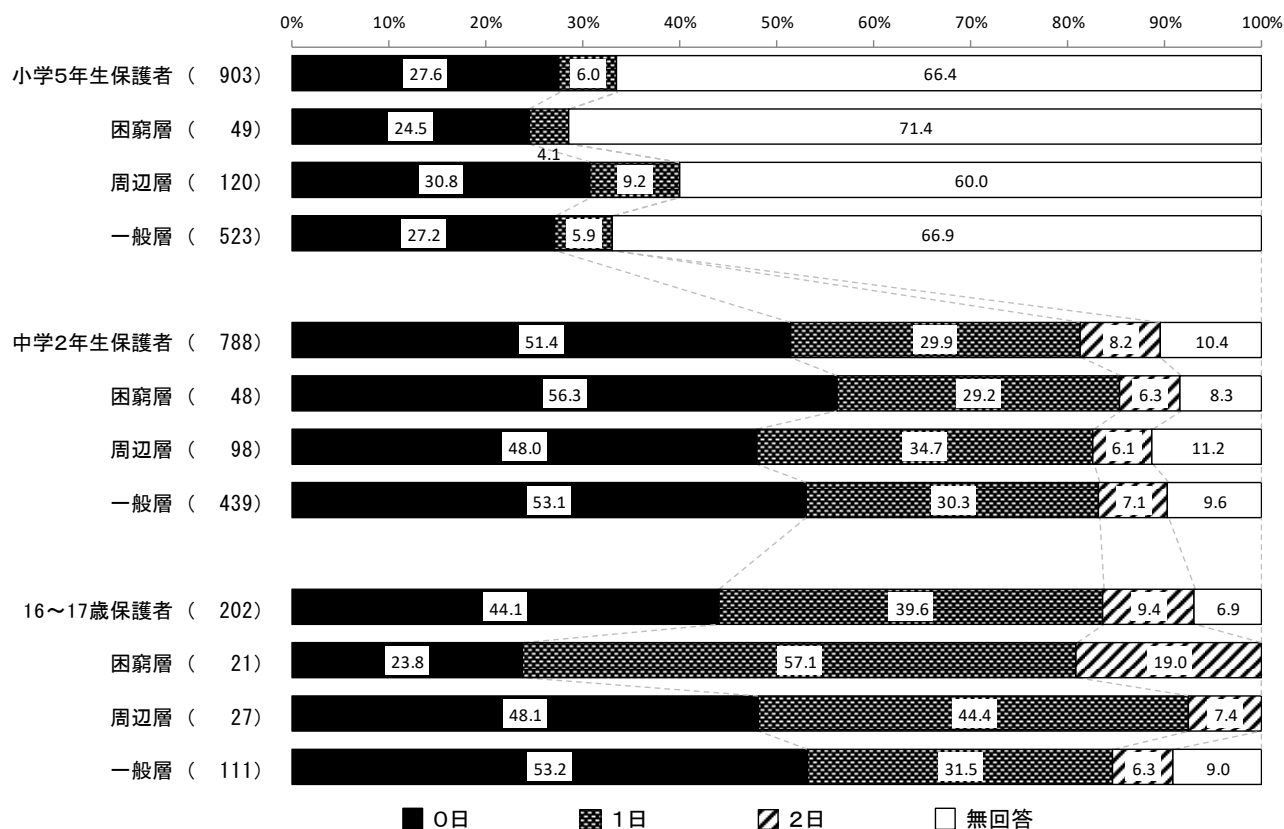
現在就労している母親の1週間当たりの就労日数について、すべての年代の保護者と層で「5日」が最も高くなっています。小学5年生では全体で47.6%、困窮層が40.8%、周辺層で41.7%、一般層で48.9%、中学2年生では全体で46.7%、困窮層で66.7%と特に高く、周辺層で32.7%、一般層で46.5%、16～17歳では全体で48.5%、困窮層で38.1%、周辺層で51.9%、一般層で52.3%となっています。

図表 2-8-3-3-1 母親の1週間当たりの就労日数：生活困難度別



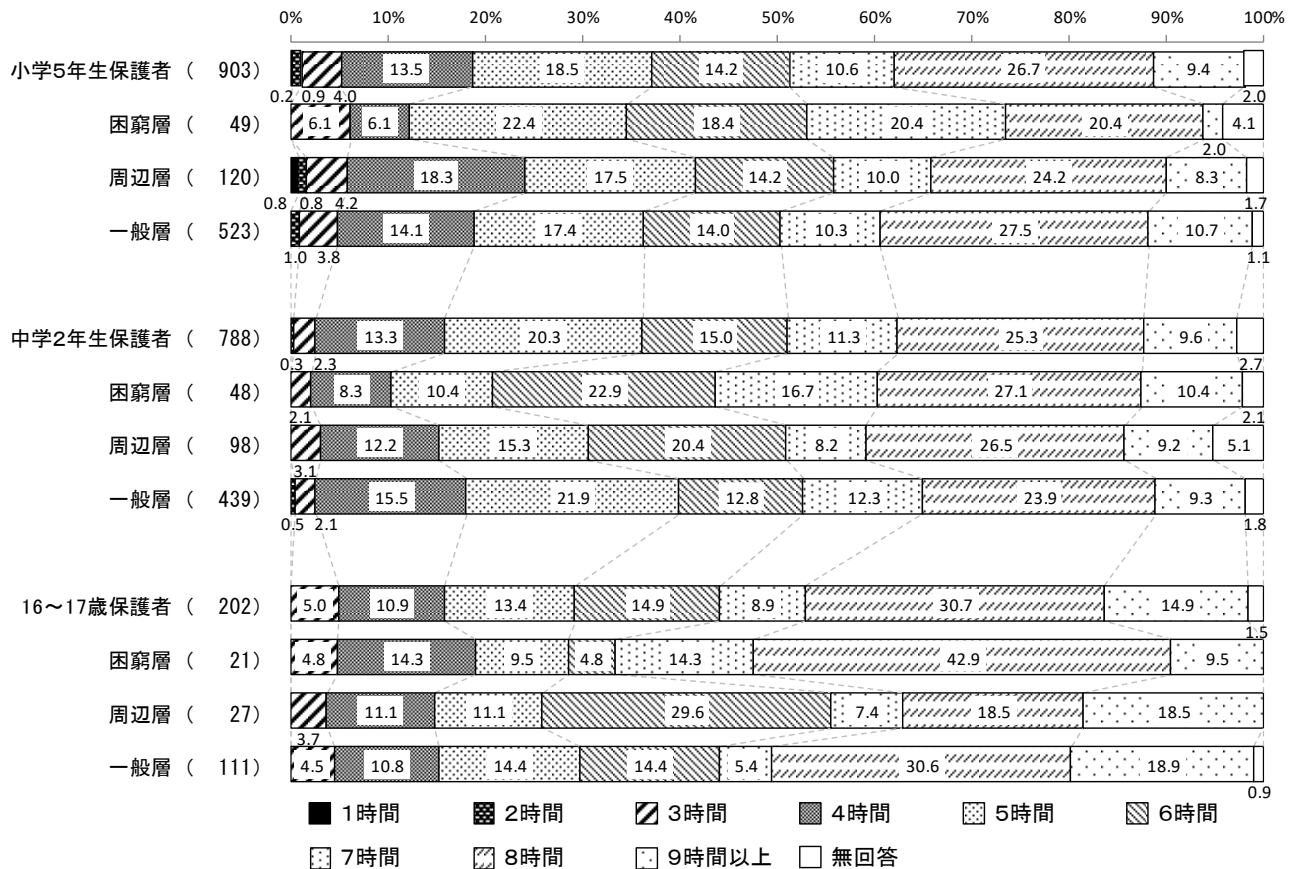
現在就労している母親の1週間当たりの土日就労日数について、無回答を除くとほとんどの年代と層で「0日」が最も高くなっています。小学5年生では全体で27.6%、困窮層が24.5%、周辺層で30.8%、一般層で27.2%、中学2年生では全体で51.4%、困窮層で56.3%と特に高く、周辺層で48.0%、一般層で53.1%、16～17歳では全体で44.1%、周辺層で48.1%、一般層で53.2%となっています。ただし16～17歳の困窮層だけは23.8%で、「1日」の57.1%より低くなっています。

図表 2-8-3-3-2 母親の1週間当たりの土日就労日数：生活困難度別



現在就労している母親の1日当たりの就労時間（残業時間を含む）について、小学5年生では困窮層で「5時間」が22.4%、周辺層で「8時間」が24.2%、一般層で「8時間」が27.5%で最も高くなっています。中学2年生ではいずれの層でも「8時間」が最も高く、困窮層で27.1%、周辺層で26.5%、一般層で23.9%となっています。16～17歳では困窮層で「8時間」が42.9%、周辺層で「6時間」が29.6%、一般層で「8時間」が30.6%で最も高くなっています。

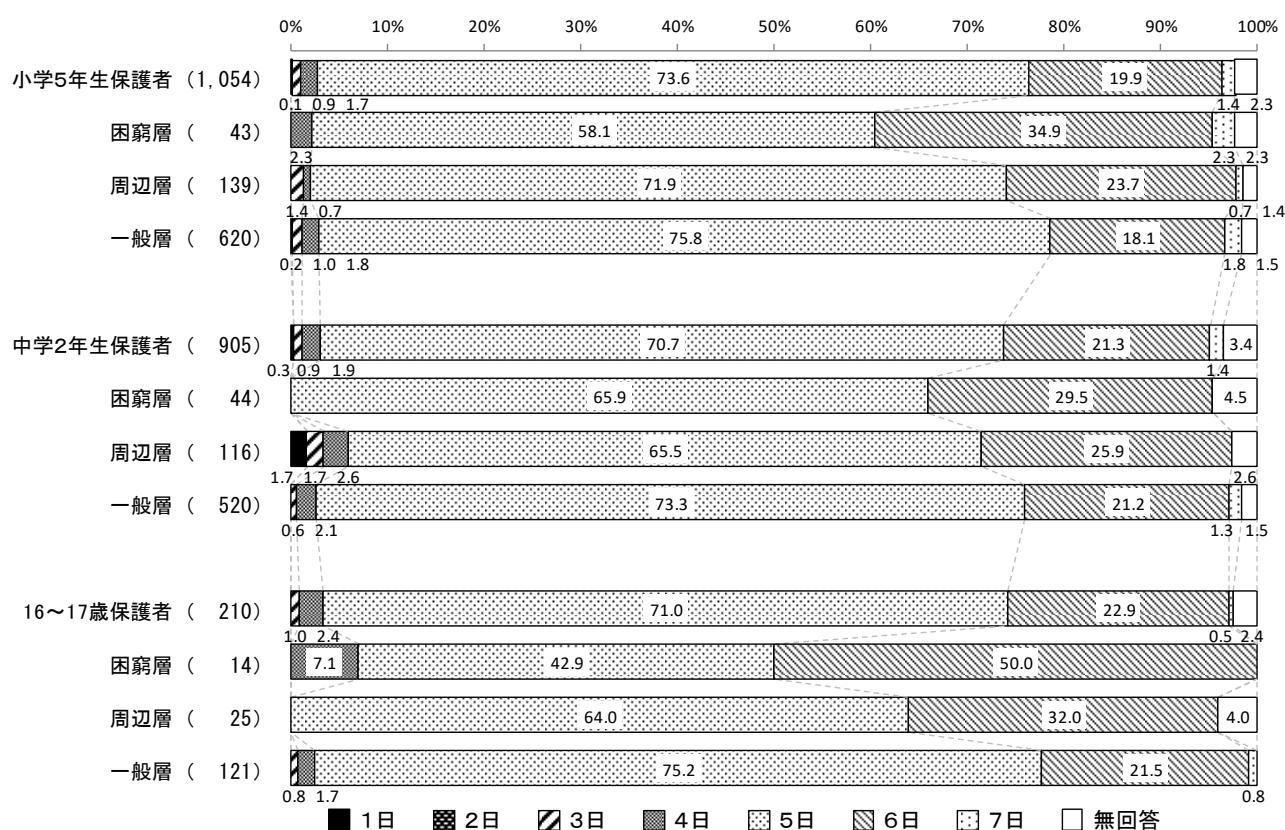
図表 2-8-3-3-3 母親の1日当たりの就労時間（残業時間を含む）：生活困難度別



②父親

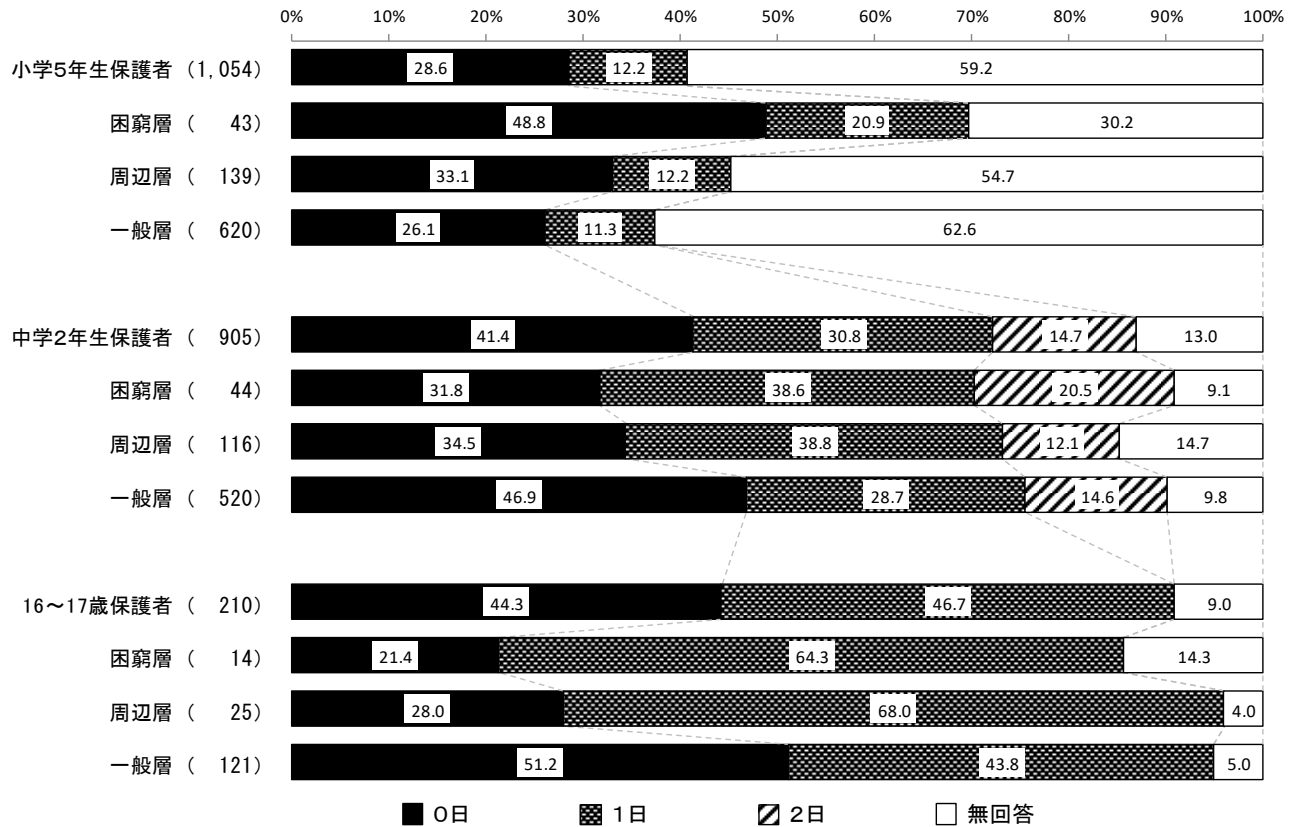
現在就労している父親の1週間当たりの就労日数について、ほとんどの年代・層で「5日」が最も高くなっています。小学5年生では全体で73.6%、困窮層が58.1%、周辺層で71.9%、一般層で75.8%、中学2年生では全体で70.7%、困窮層で65.9%、周辺層で65.5%、一般層で73.3%、16～17歳では全体で71.0%、周辺層で64.0%、一般層で75.2%となっています。唯一16～17歳の困窮層だけは「5日」が42.9%で、「6日」の50.0%より低くなっています。すべての年代で「6日」以上の回答は困窮層が最も高く、次いで周辺層・一般層の順になっています。

図表 2-8-3-3-4 父親の1週間当たりの就労日数：生活困難度別



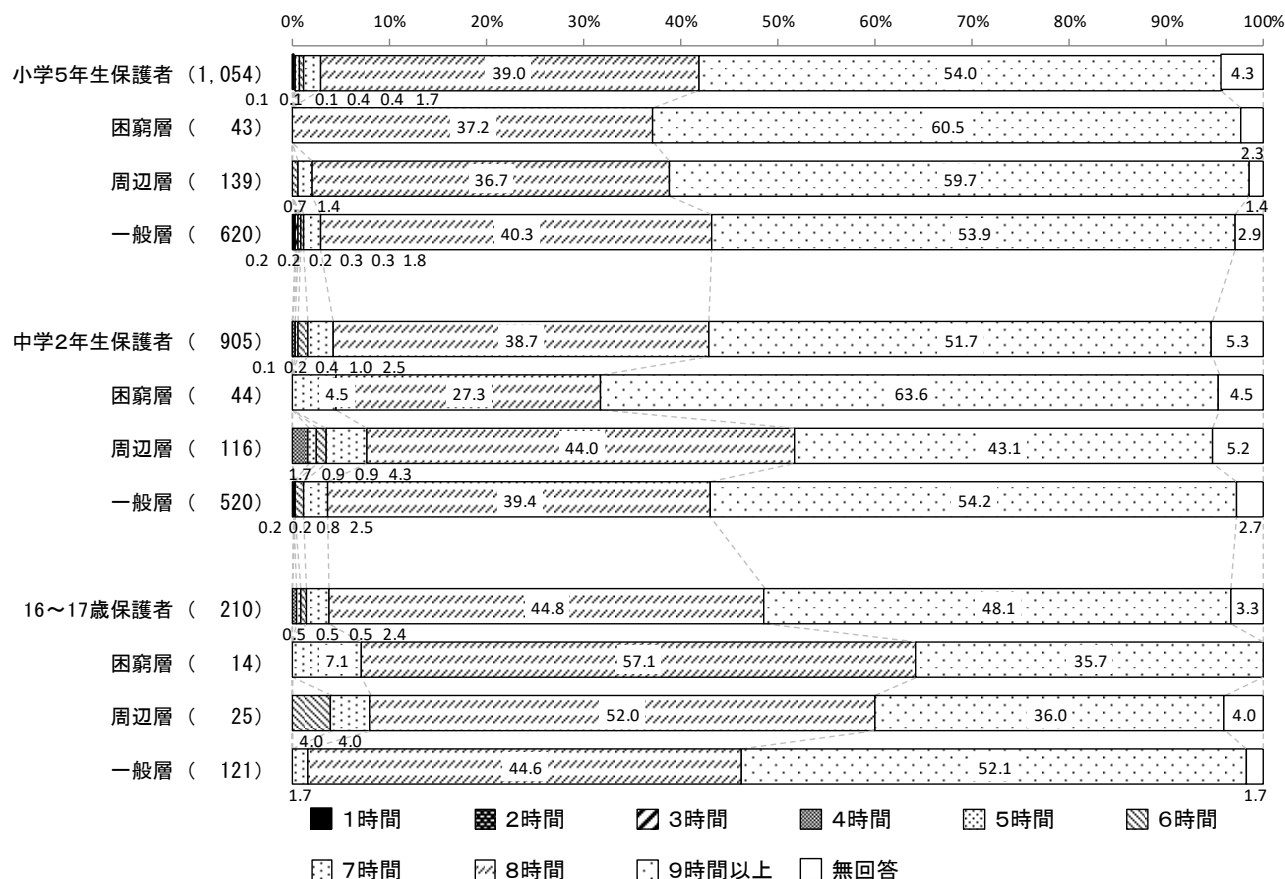
現在就労している父親の1週間当たりの土日就労日数について、無回答を除くと、小学5年生ではすべての層で「0日」が最も高く、全体で28.6%、困窮層が48.8%、周辺層で33.1%、一般層で26.1%、中学2年生では全体で「0日」が41.4%、困窮層で「1日」が38.6%、周辺層で「1日」が38.8%、一般層で「0日」が46.9%で最も高くなっています。16～17歳では全体で「1日」が46.7%、困窮層で「1日」が64.3%、周辺層で「1日」が68.0%、一般層で「0日」が51.2%で最も高くなっています。年代が高くなるにつれ、「1日」「2日」の割合が高くなる傾向にあります。

図表 2-8-3-3-5 父親の1週間当たりの土日就労日数：生活困難度別



現在就労している父親の1日当たりの就労時間（残業時間を含む）について、小学5年生ではすべての層で「9時間以上」が最も高く、困窮層で60.5%、周辺層で59.7%、一般層53.9%となっています。中学2年生では困窮層で「9時間以上」が63.6%、周辺層で「8時間」が44.0%、一般層で「9時間以上」が54.2%と最も高くなっています。16～17歳では困窮層で「8時間」が57.1%、周辺層で「8時間」が52.0%、一般層で「9時間以上」が52.1%で最も高くなっています。

図表 2-8-3-3-6 父親の1日当たりの就労時間（残業時間を含む）：生活困難度別

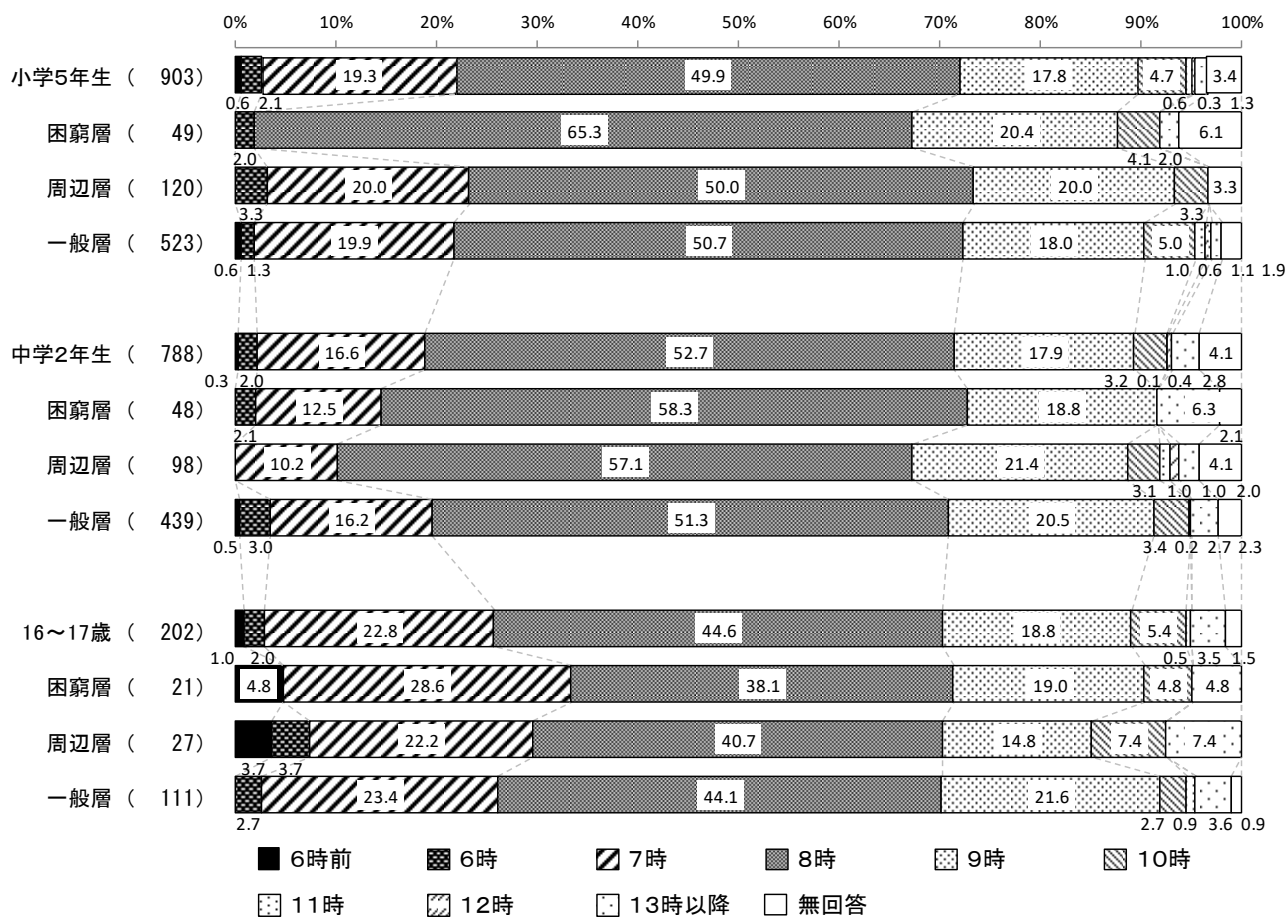


(4) 就労している保護者の家を出る時刻と帰宅時刻

①母親

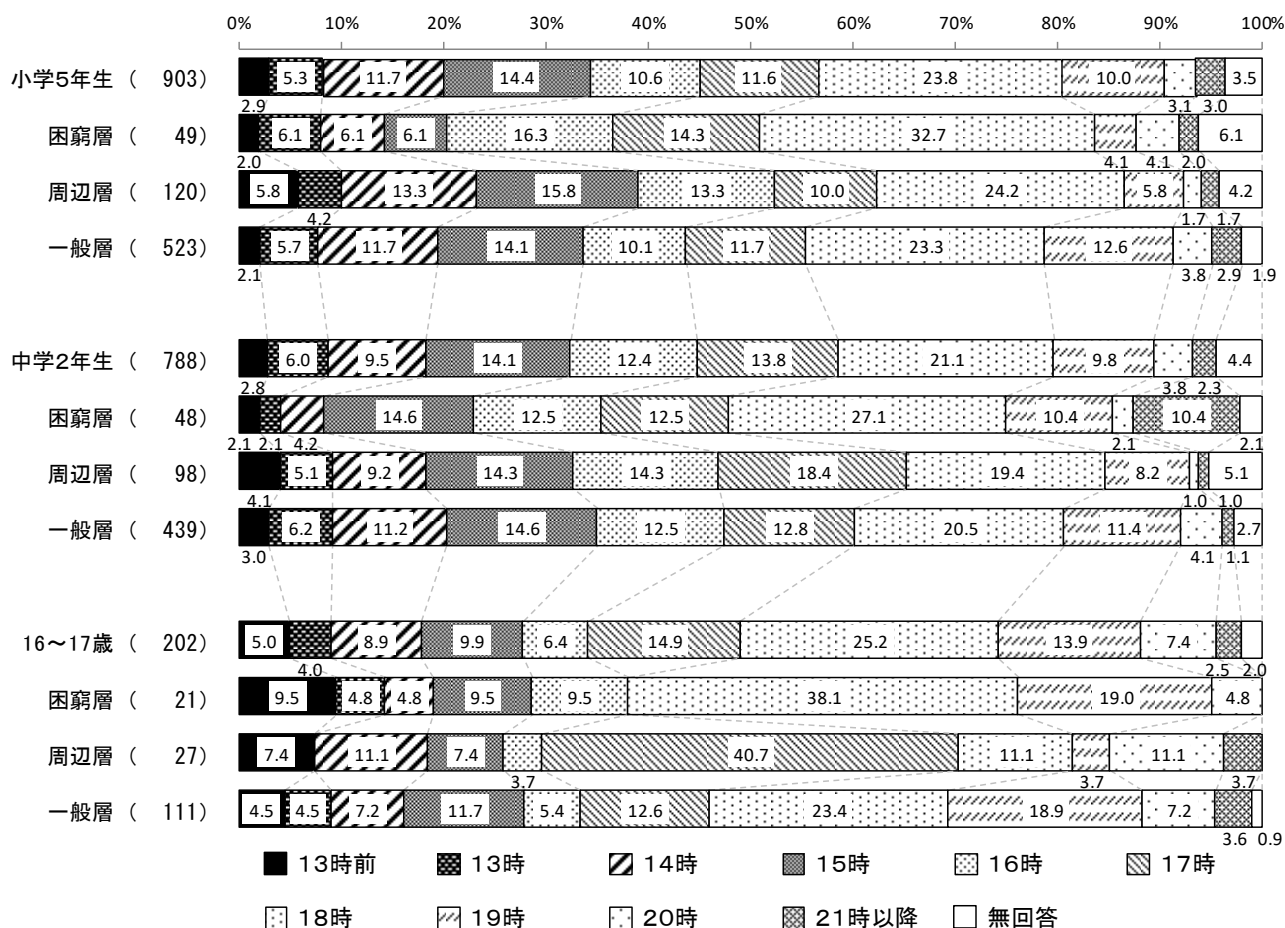
現在就労している母親の家を出る時刻について、すべての年代と層で「8時」が最も高く、小学5年生の困窮層で65.3%、周辺層で50.0%、一般層で50.7%、中学2年生では困窮層で58.3%、周辺層で57.1%、一般層で51.3%、16～17歳では困窮層で38.1%、周辺層で40.7%、一般層で44.1%となっています。

図表 2-8-3-4-1 母親の家を出る時刻：生活困難度別



現在就労している母親の帰宅時刻について、ほとんどの年代と層で「18時」が最も高くなっています。小学5年生では全体で23.8%、困窮層が32.7%、周辺層で24.2%、一般層で23.3%、中学2年生では全体で21.1%、困窮層で27.1%、周辺層で19.4%、一般層で20.5%、16～17歳では全体で25.2%、困窮層で38.1%、一般層で23.4%となっています。唯一16～17歳の周辺層だけは「18時」が11.1%で、「17時」の40.7%より低くなっています。

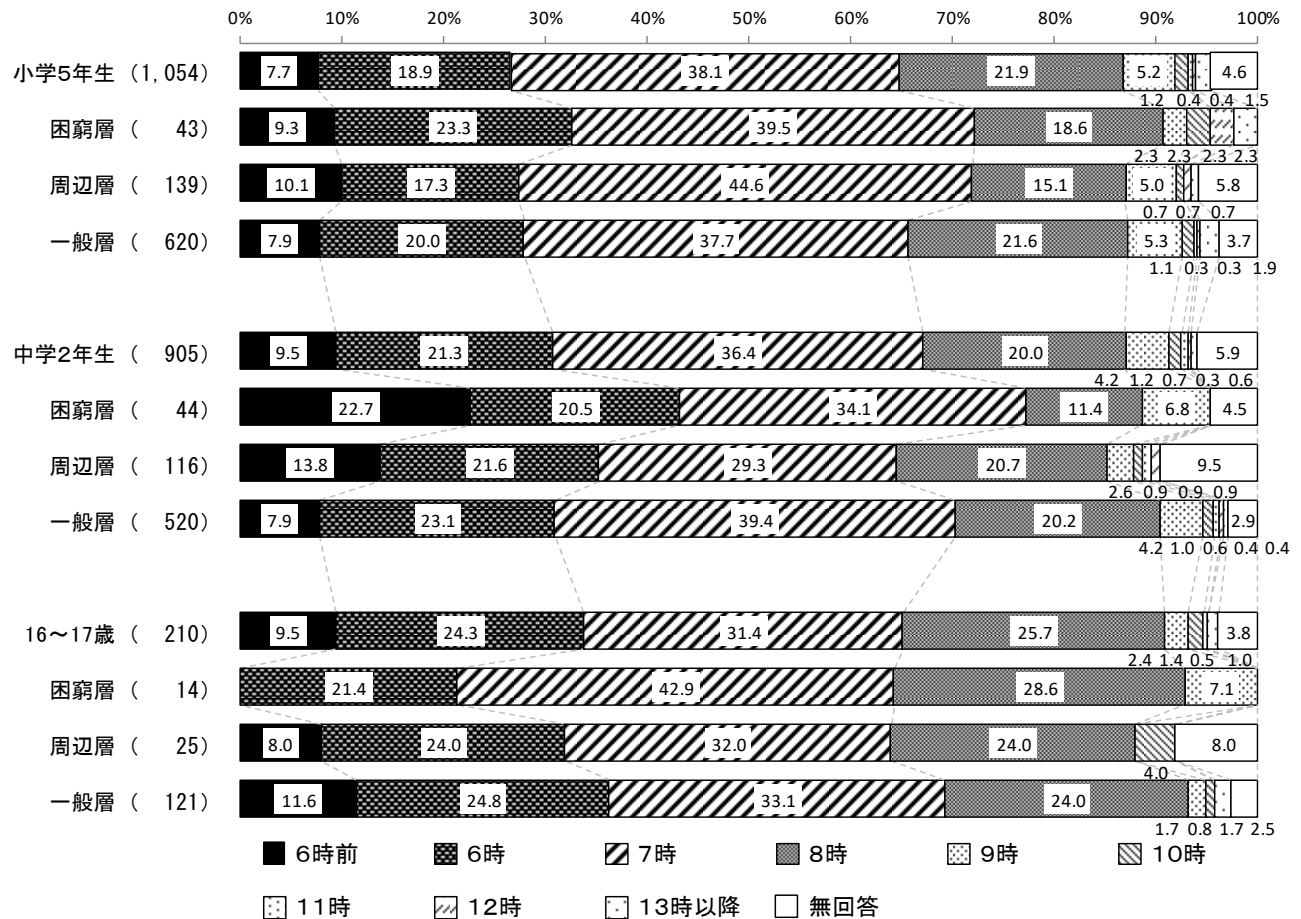
図表 2-8-3-4-2 母親の帰宅時刻：生活困難度別



②父親

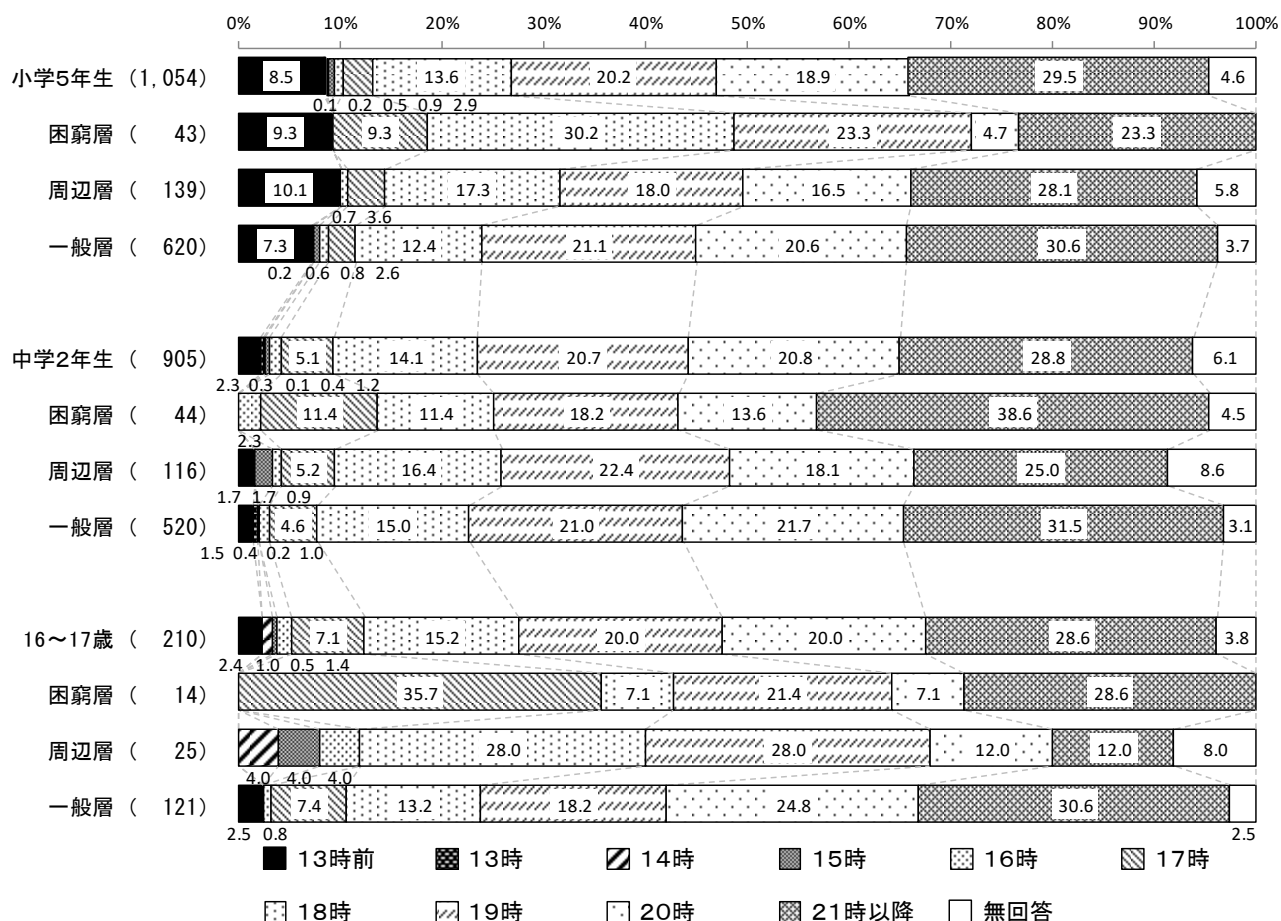
現在就労している父親の家を出る時刻について、すべての年代と層で「7時」が最も高く、小学5年生の困窮層で39.5%、周辺層で44.6%、一般層で37.7%、中学2年生では困窮層で34.1%、周辺層で29.3%、一般層で39.4%、16～17歳では困窮層で42.9%、周辺層で32.0%、一般層で33.1%となっています。

図表 2-8-3-4-3 父親の家を出る時刻：生活困難度別



現在就労している父親の帰宅時刻について、小学5年生では困窮層で「18時」が30.2%、周辺層で「21時以降」が28.1%、一般層で「21時以降」が30.6%で最も高くなっています。中学2年生ではすべての層で「21時以降」が最も高く、困窮層で38.6%、周辺層で25.0%、一般層で31.5%となっています。16～17歳では困窮層で「17時」が35.7%、周辺層で「18時」と「19時」が28.0%、一般層で「21時以降」が30.6%で最も高くなっています。

図表 2-8-3-4-4 父親の帰宅時刻：生活困難度別

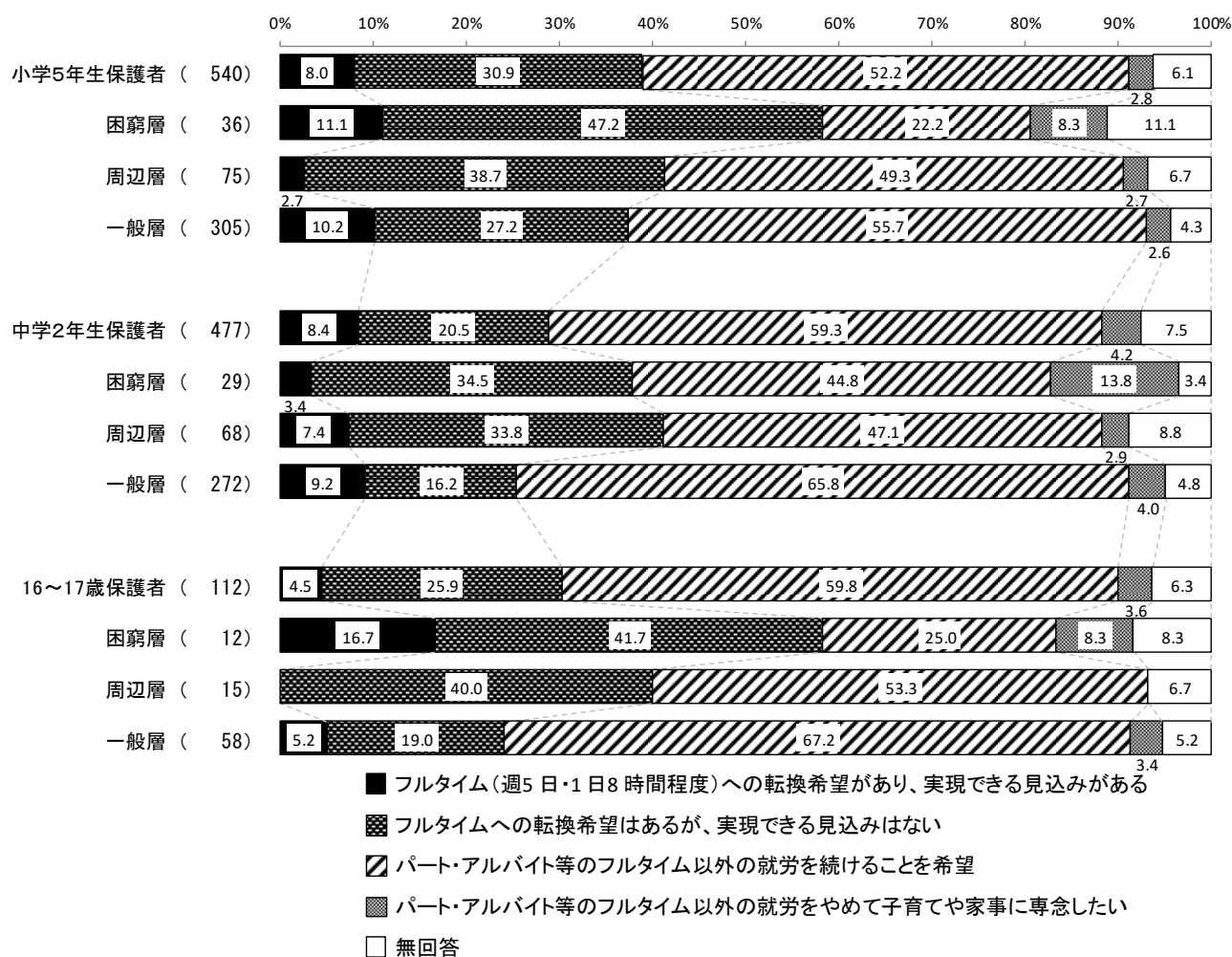


(5) フルタイムへの転換希望

①母親

フルタイム以外で就労している母親のフルタイムへの転換希望について、小学5年生では困窮層で「フルタイムへの転換希望はあるが実現できる見込みはない」が47.2%、周辺層と一般層で「パート・アルバイト等のフルタイム以外の就労を続けることを希望」がそれぞれ49.3%、55.7%と最も高くなっています。中学2年生ではすべての層で「パート・アルバイト等のフルタイム以外の就労を続けることを希望」が最も高くなっています。16～17歳では困窮層で「フルタイムへの転換希望はあるが実現できる見込みはない」が41.7%、周辺層と一般層で「パート・アルバイト等のフルタイム以外の就労を続けることを希望」がそれぞれ53.3%、67.2%と最も高くなっています。

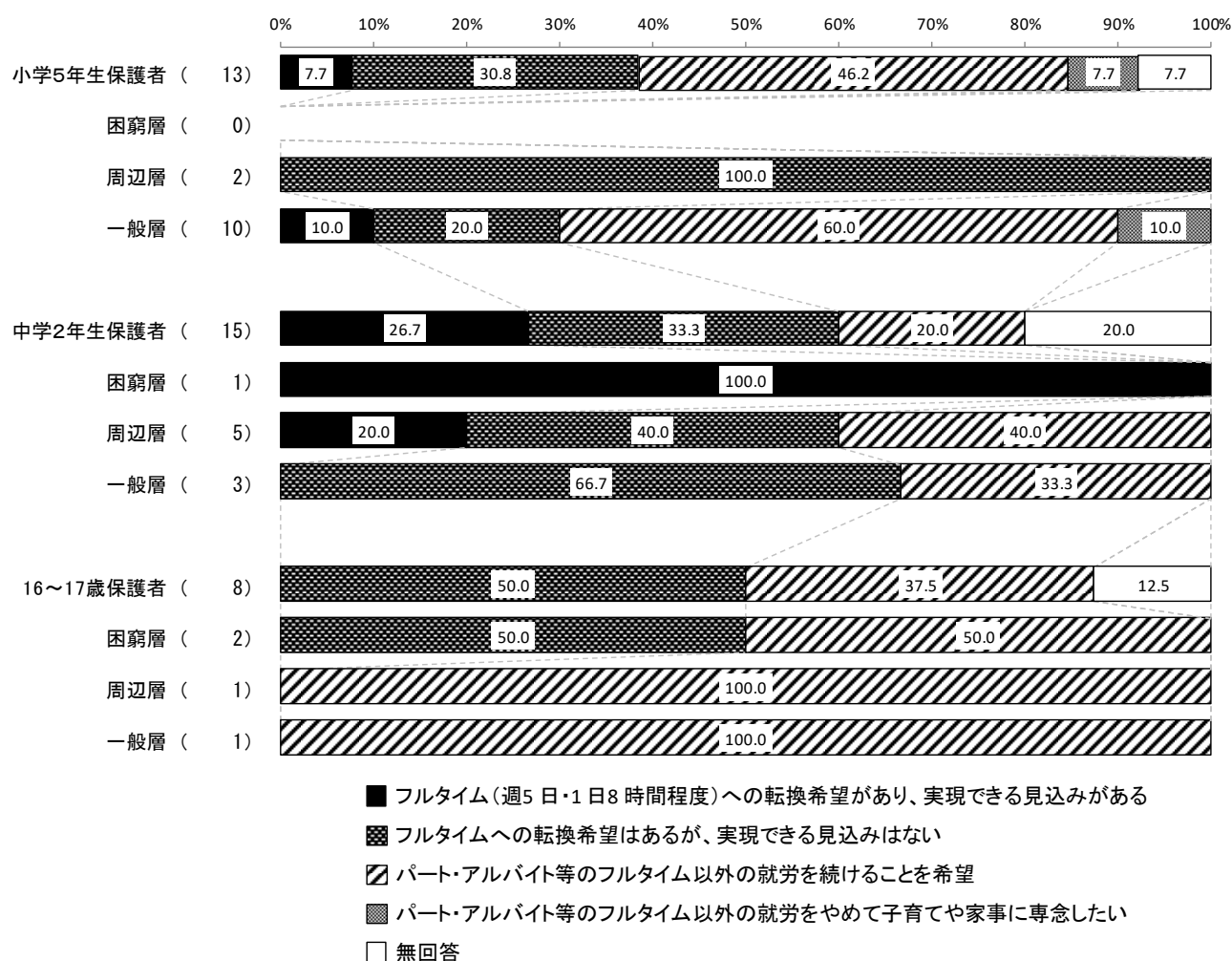
図表 2-8-3-5-1 フルタイムへの転換希望：生活困難度別



②父親

フルタイム以外で就労している父親のフルタイムへの転換希望については、サンプル数が30未満のため、参考としてグラフを掲載します。

図表 2-8-3-5-2 フルタイムへの転換希望：生活困難度別

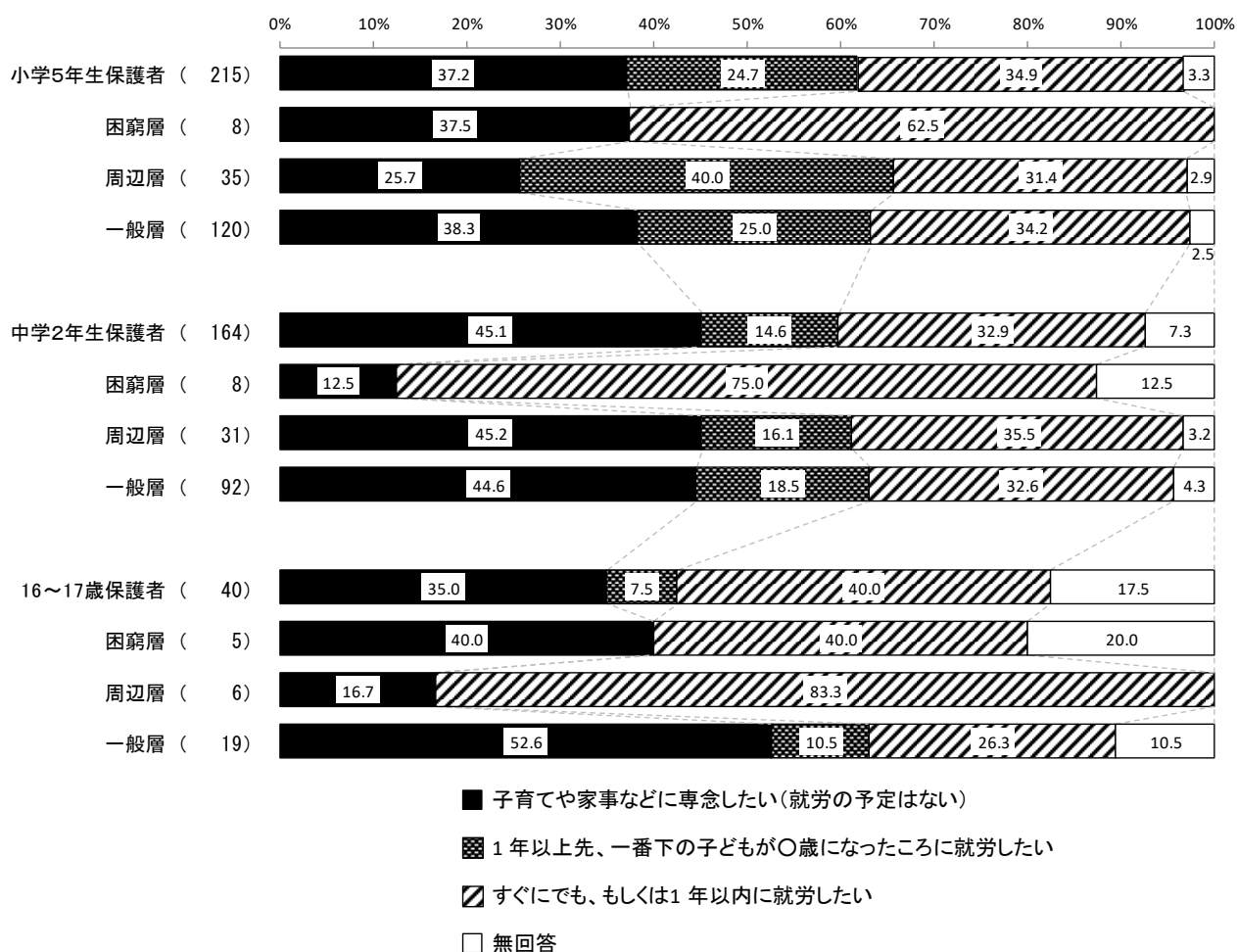


(6) 就労していない人の就労希望

①母親

現在就労していない母親の就労希望について、小学5年生では困窮層で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が62.5%、周辺層で「1年以上先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」が40.0%、一般層で「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が38.3%で最も高くなっています。中学2年生では困窮層で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が75.0%、周辺層と一般層で「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」がそれぞれ45.2%、44.6%と最も高くなっています。16～17歳では困窮層で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と「1年以上先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」が40.0%、周辺層で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が83.3%、一般層で「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が52.6%で最も高くなっています。

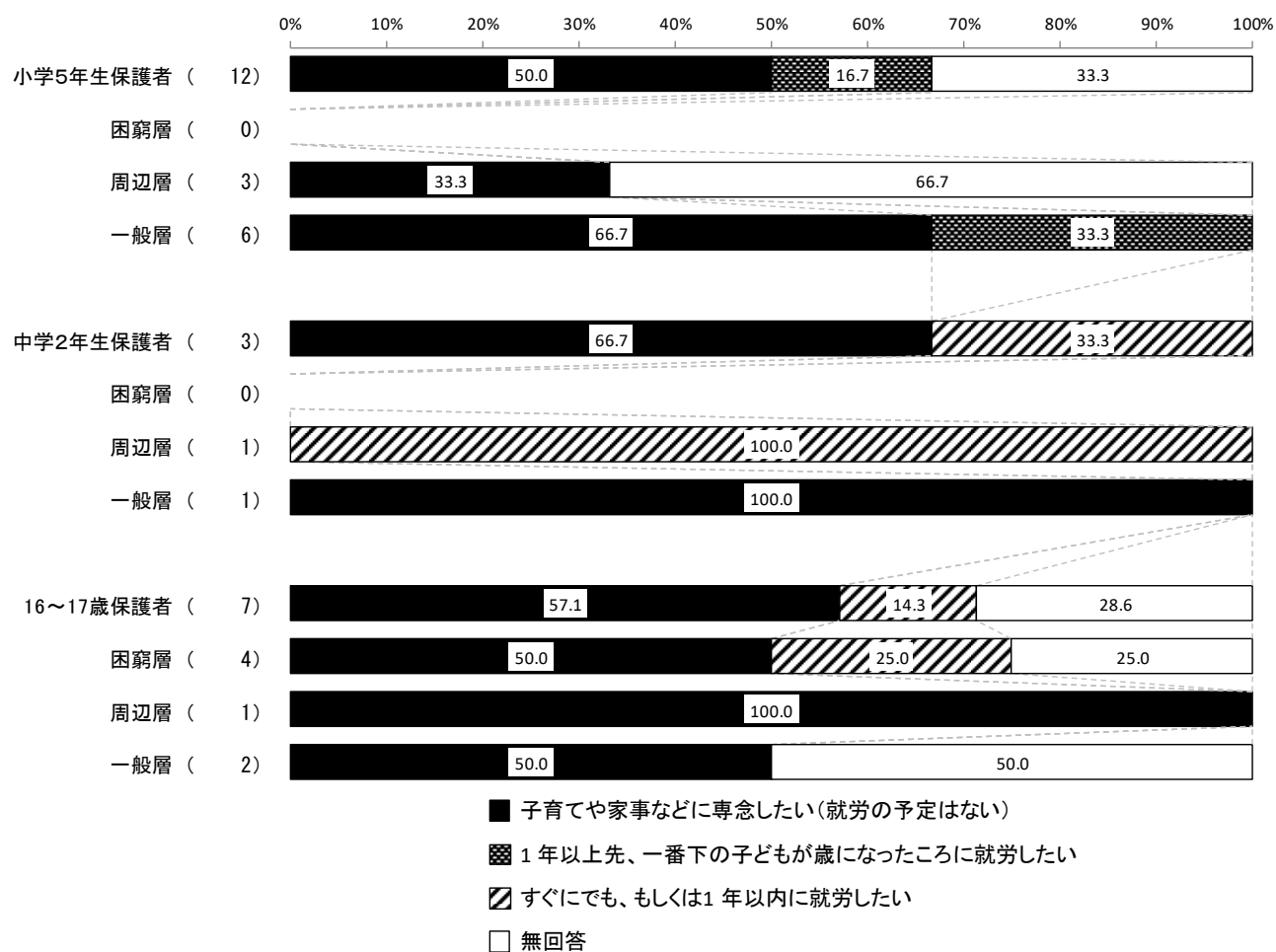
図表 2-8-3-6-1 就労していない母親の就労希望：生活困難度別



②父親

現在就労していない父親の就労希望については、サンプル数が30未満のため、参考としてグラフを掲載します。

図表 2-8-3-6-2 就労していない父親の就労希望：生活困難度別



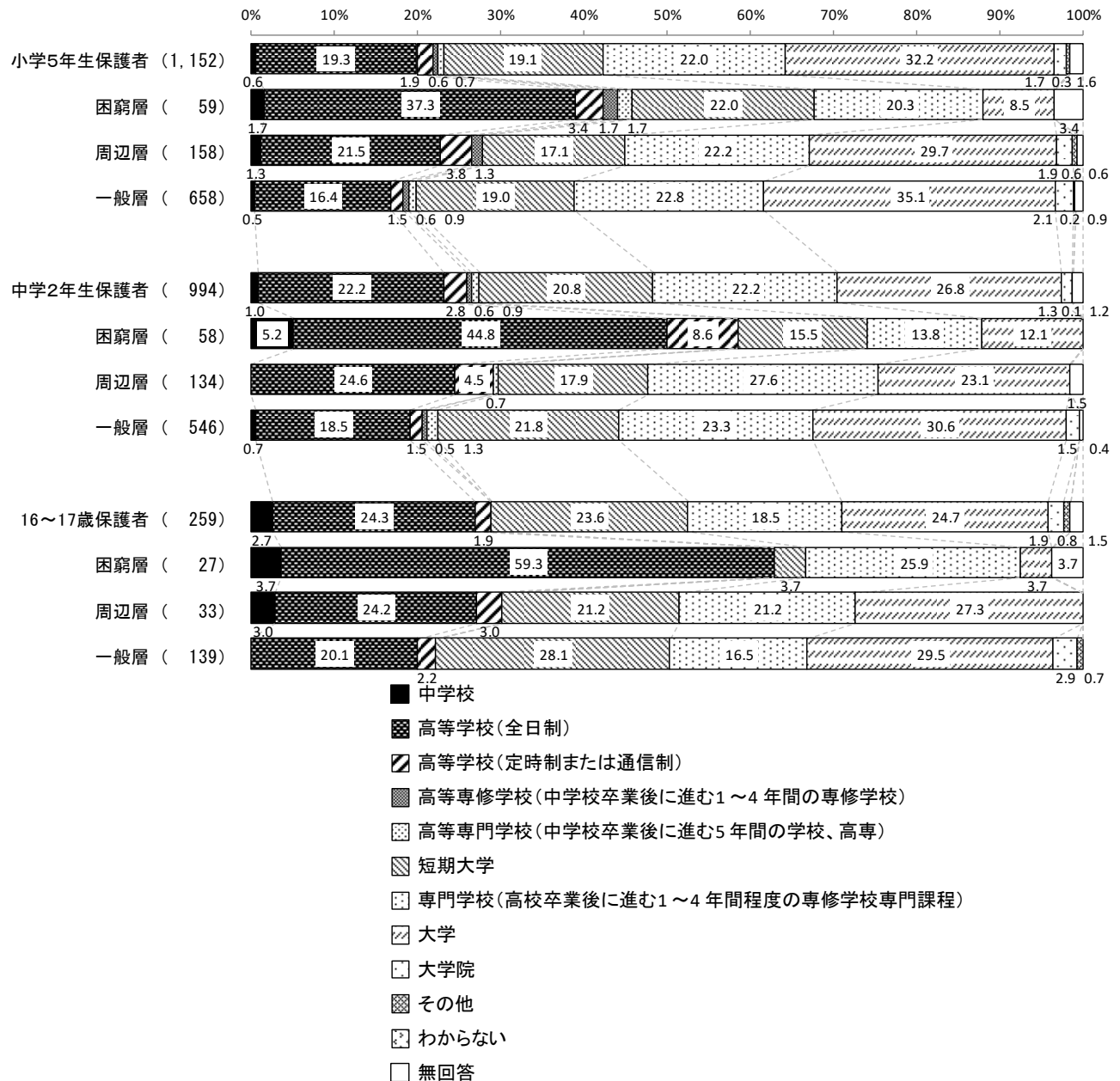
4. 保護者の体験

(1) 保護者の最終学歴

①母親

母親の最終学歴について、いずれの年代でも生活困難度が高いほど「中学校」「高等学校（全日制）」を合わせた割合が高くなり、生活困難度が低いほど「短期大学」「専門学校（高校卒業後に進む1～4年程度の専門学校専修課程）」「大学」を合わせた割合が高くなっています。

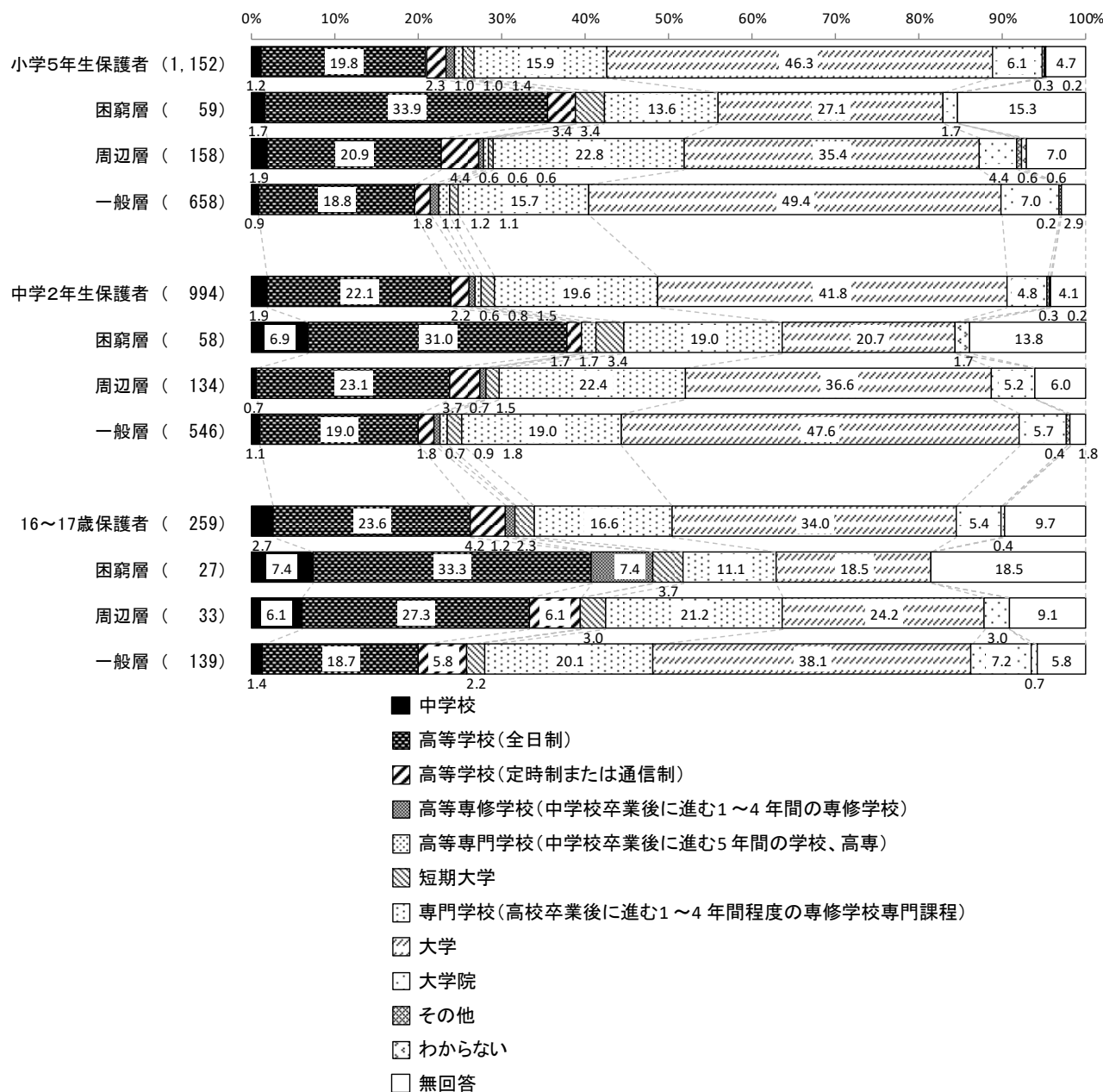
図表 2-8-4-1-1 母親の最終学歴：生活困難度別



②父親

父親の最終学歴について、いずれの年代でも生活困難度が高いほど「中学校」「高等学校（全日制）」を合わせた割合が高くなり、生活困難度が低いほど「専門学校（高校卒業後に進む1～4年程度の専門学校専修課程）」「大学」を合わせた割合が高くなっています。

図表 2-8-4-1-2 父親の最終学歴：生活困難度別

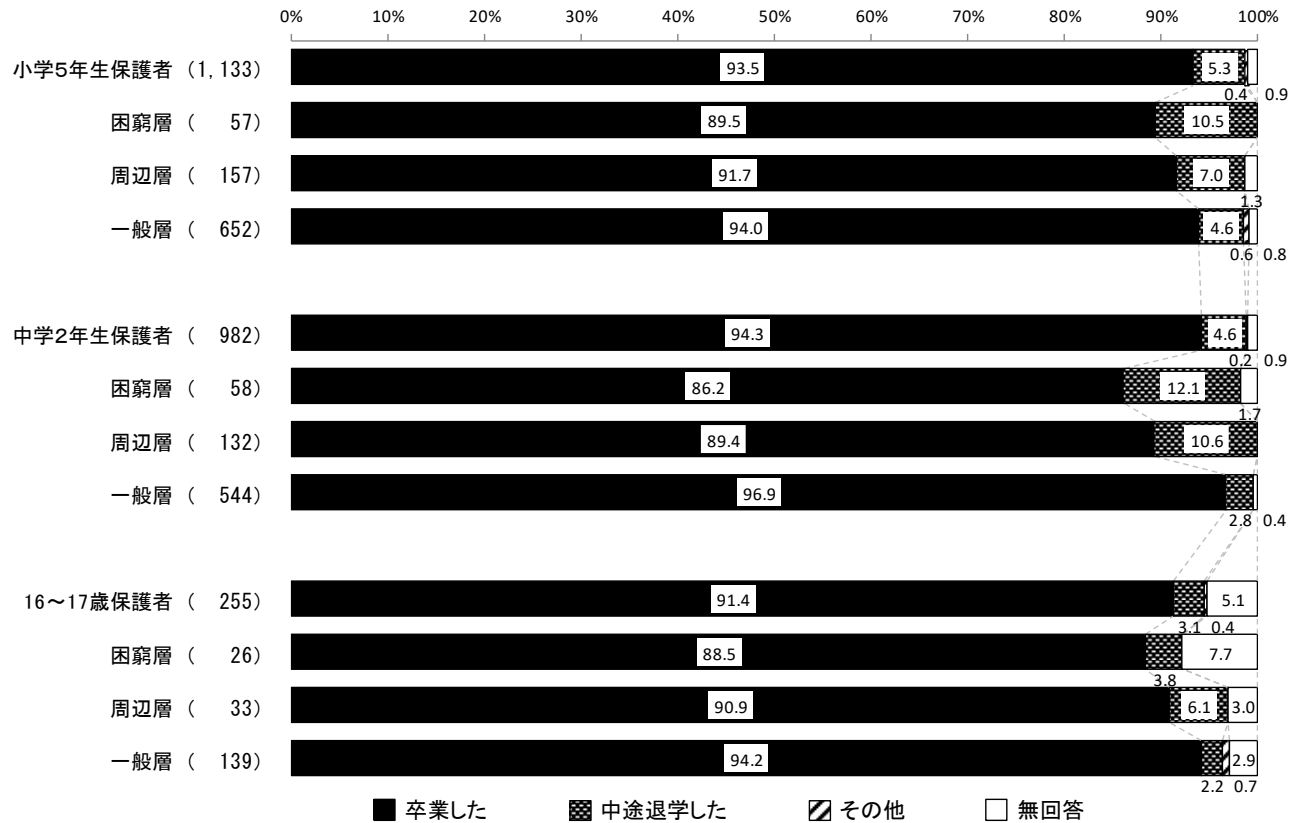


(2) 最終学校の卒業の有無

①母親

母親の最終学校の卒業の有無について、「中途退学した」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で10.5%、周辺層で7.0%、一般層で4.6%、中学2年生の困窮層で12.1%、周辺層で10.6%、一般層で2.8%、16～17歳の困窮層で3.8%、周辺層で6.1%、一般層で2.2%となっています。

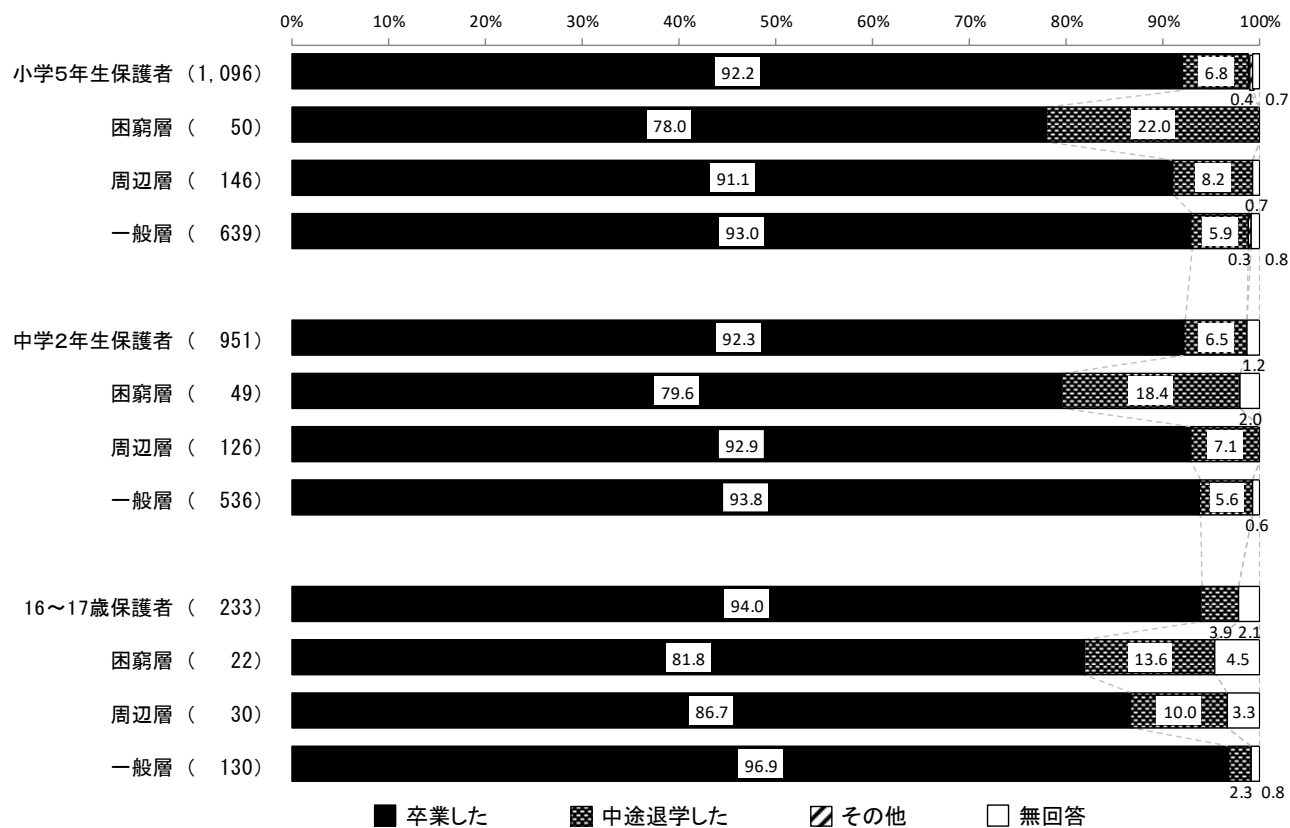
図表 2-8-4-2-1 母親の最終学校の卒業の有無：生活困難度別



②父親

父親の最終学校の卒業の有無について、「中途退学した」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で22.0%、周辺層で8.2%、一般層で5.9%、中学2年生の困窮層で18.4%、周辺層で7.1%、一般層で5.6%、16～17歳の困窮層で13.6%、周辺層で10.0%、一般層で2.3%となっています。

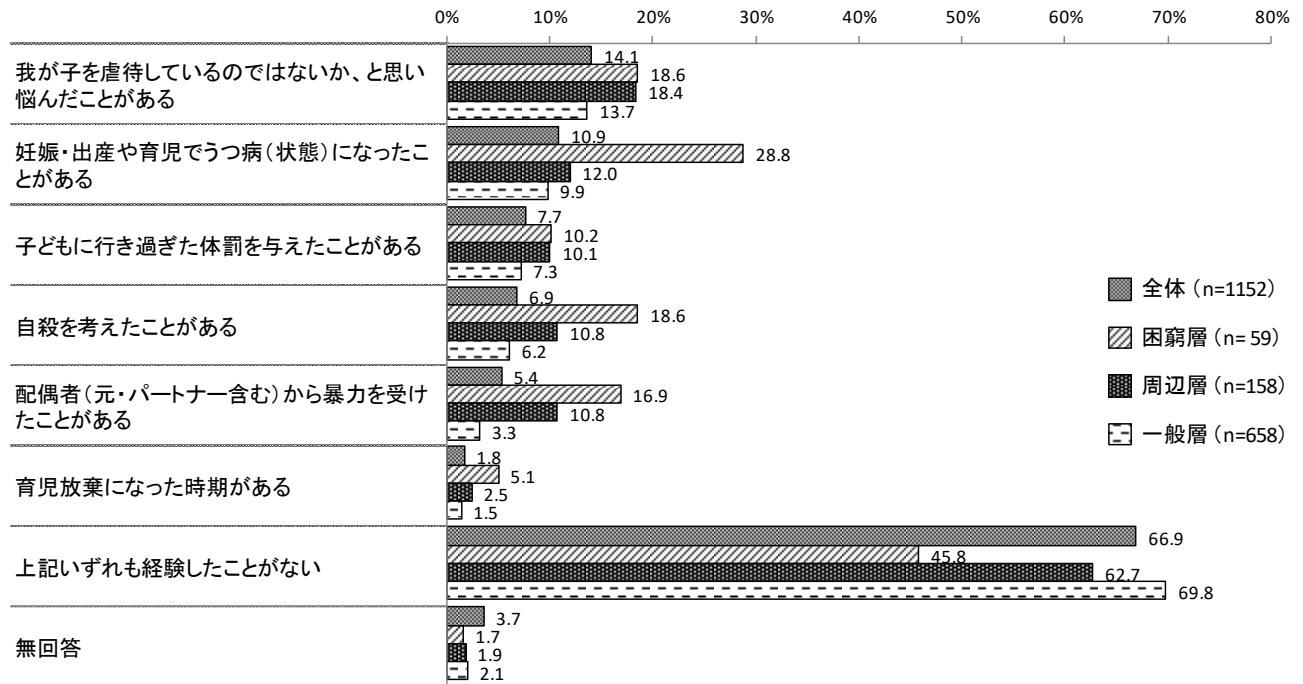
図表 2-8-4-2-2 父親の最終学校の卒業の有無：生活困難度別



(3) 子どもをもてからの経験

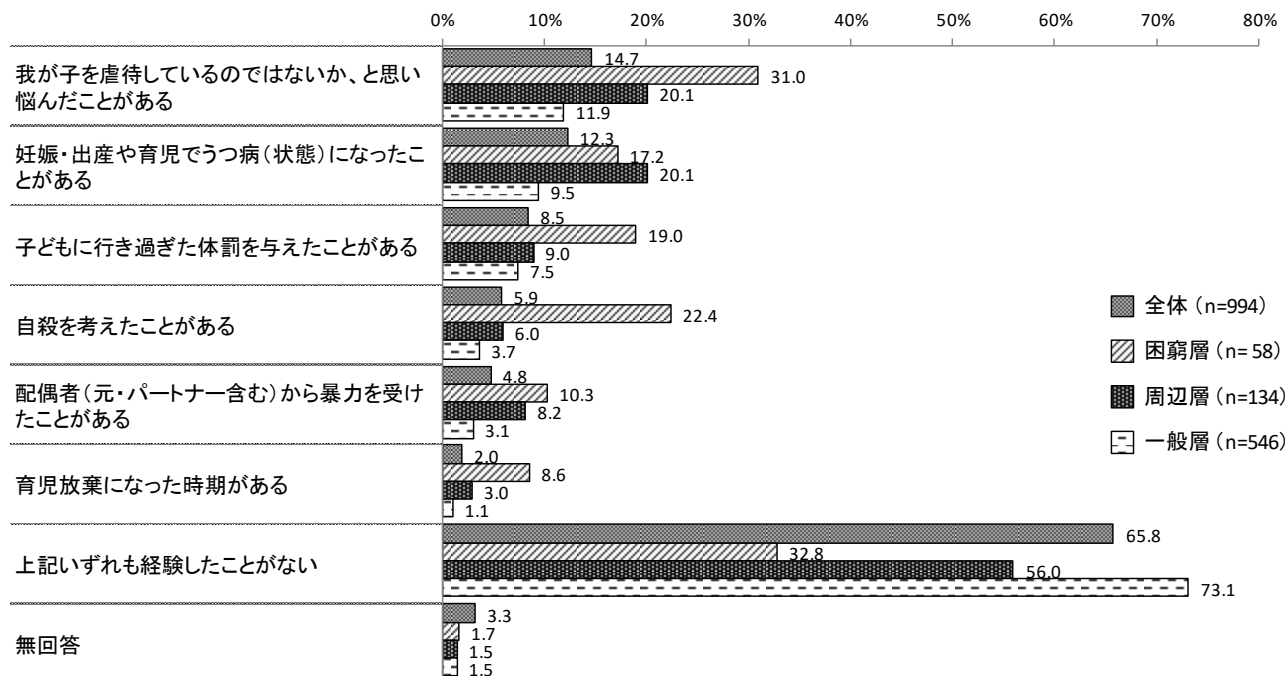
小学5年生の保護者に子どもをもてからの経験について複数回答で聞いたところ、「妊娠・出産や育児でうつ病（状態）になったことがある」と回答した割合は、困窮層で 28.8%、周辺層で 12.0%、一般層で 9.9%となっています。「上記いずれも経験したことがない」と回答した割合は、困窮層で 45.8%、周辺層で 62.7%、一般層で 69.8%となっています。

図表 2-8-4-3-1 子どもをもてからの経験（複数回答）（小学5年生）：生活困難度別



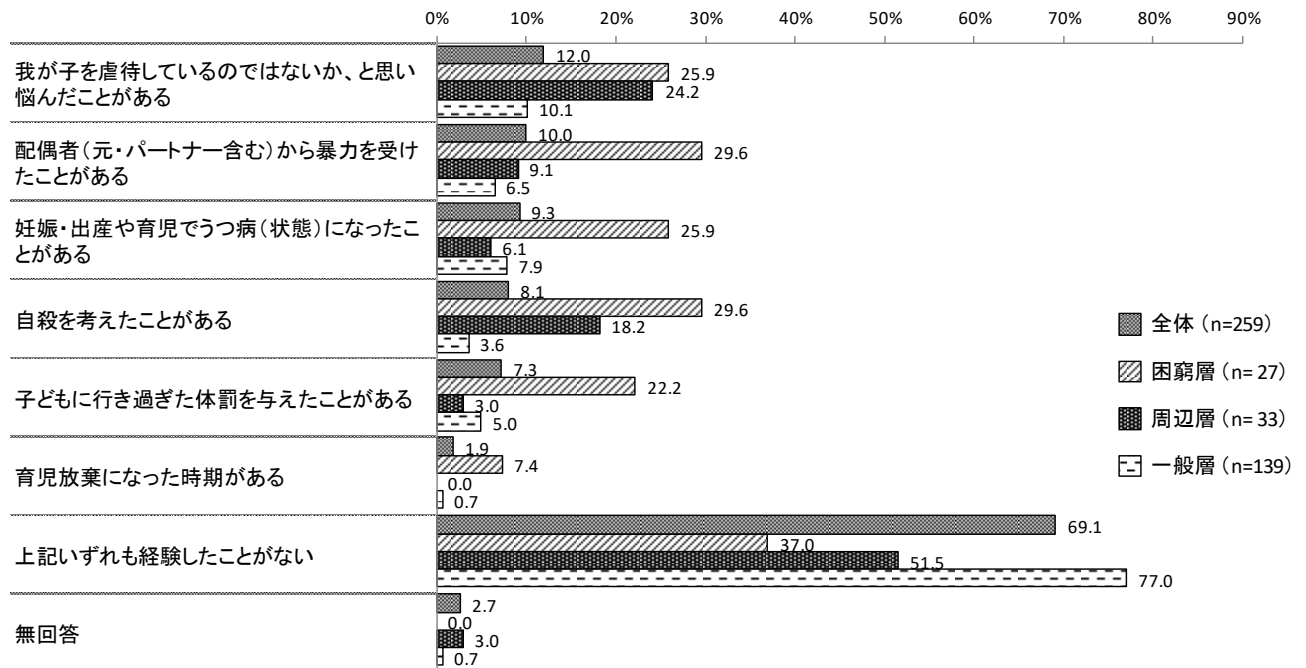
中学2年生の保護者に子どもをもつてからの経験について複数回答で聞いたところ、「我が子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」と回答した割合は、困窮層で31.0%、周辺層で20.1%、一般層で11.9%となっています。「上記いずれも経験したことがない」と回答した割合は、困窮層で32.8%、周辺層で56.0%、一般層で73.1%となっています。

図表 2-8-4-3-2 子どもをもつてからの経験（複数回答）（中学2年生）：生活困難度別



16～17歳の保護者に子どもをもってからの経験について複数回答で聞いたところ、「自殺を考えたことがある」と回答した割合は、困窮層で29.6%、周辺層で18.2%、一般層で3.6%となっています。「上記いずれも経験したことがない」と回答した割合は、困窮層で37.0%、周辺層で51.5%、一般層で77.0%となっています。

図表 2-8-4-3-3 子どもをもってからの経験（複数回答）（16～17歳）：生活困難度別



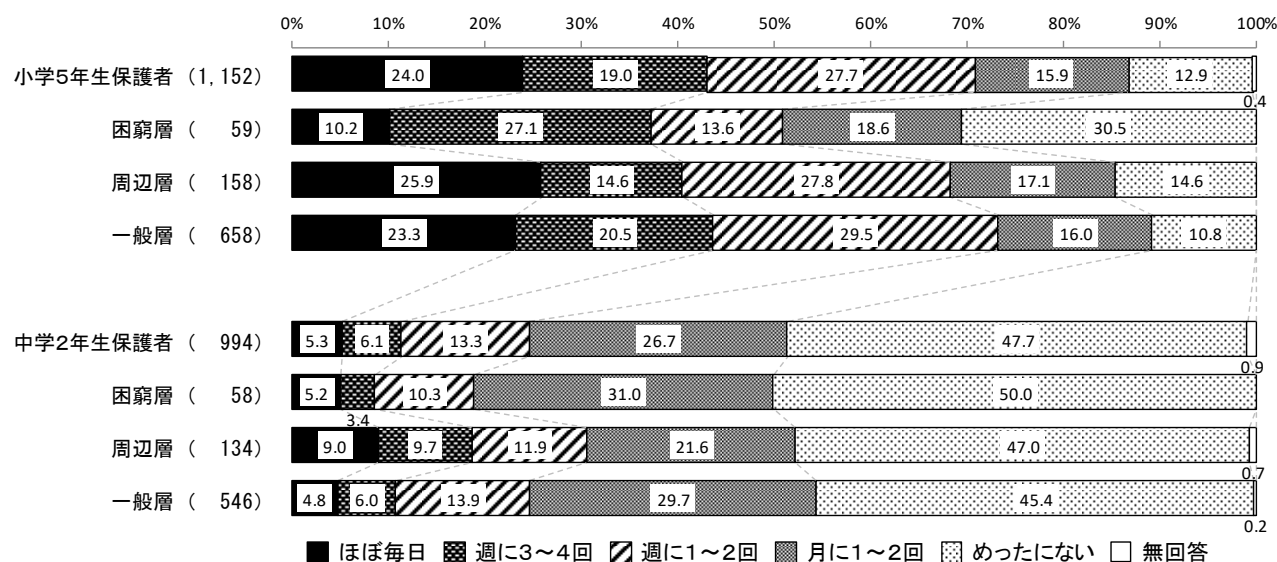
5. 子どもとのかかわり

(1) 子どもと関わる頻度

①勉強をみる

子どもの勉強をみることについて、「ほぼ毎日」「週に3～4回」を合わせた割合は、小学5年生の困窮層で37.3%、周辺層で40.5%、一般層で43.8%、中学2年生の困窮層で8.6%、周辺層で18.7%、一般層で10.8%となっています。全体的に小学5年生で割合が高くなっています。

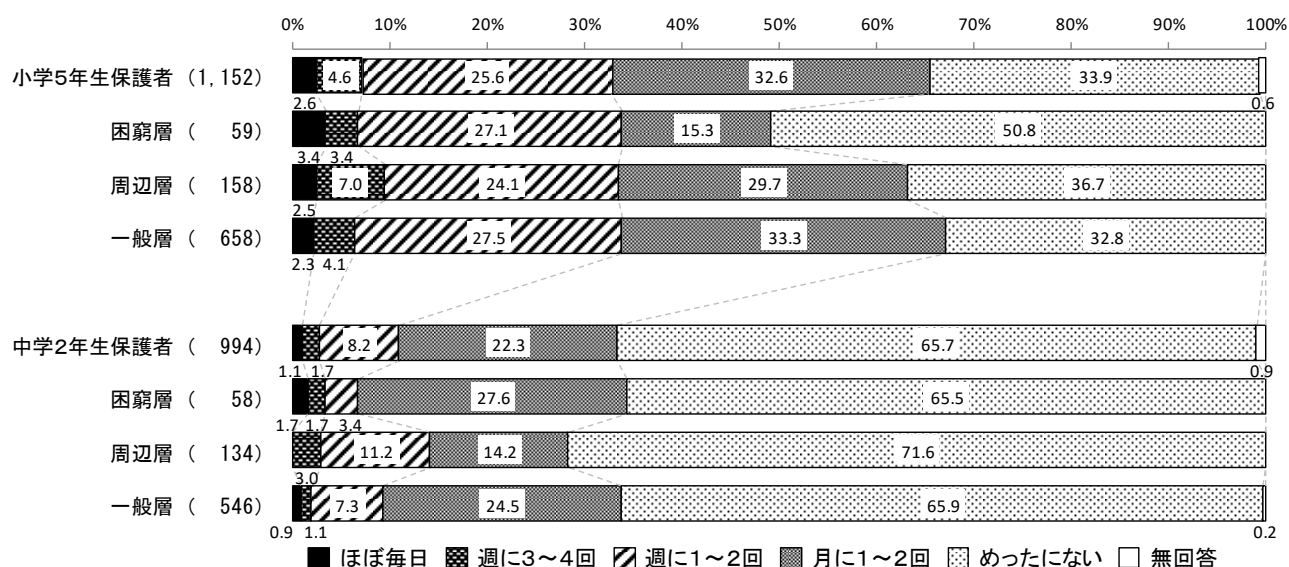
図表 2-8-5-1-1 子どもと関わる頻度／勉強をみる：生活困難度別



②からだを動かして遊ぶ（キャッチボールなど）

子どもとからだを動かして遊ぶことについて、「ほぼ毎日」「週に3～4回」を合わせた割合は、小学5年生の困窮層で6.8%、周辺層で9.5%、一般層で6.4%、中学2年生の困窮層で3.4%、周辺層で3.0%、一般層で2.0%となっています。中学2年生では「めったにない」が多くなっています。

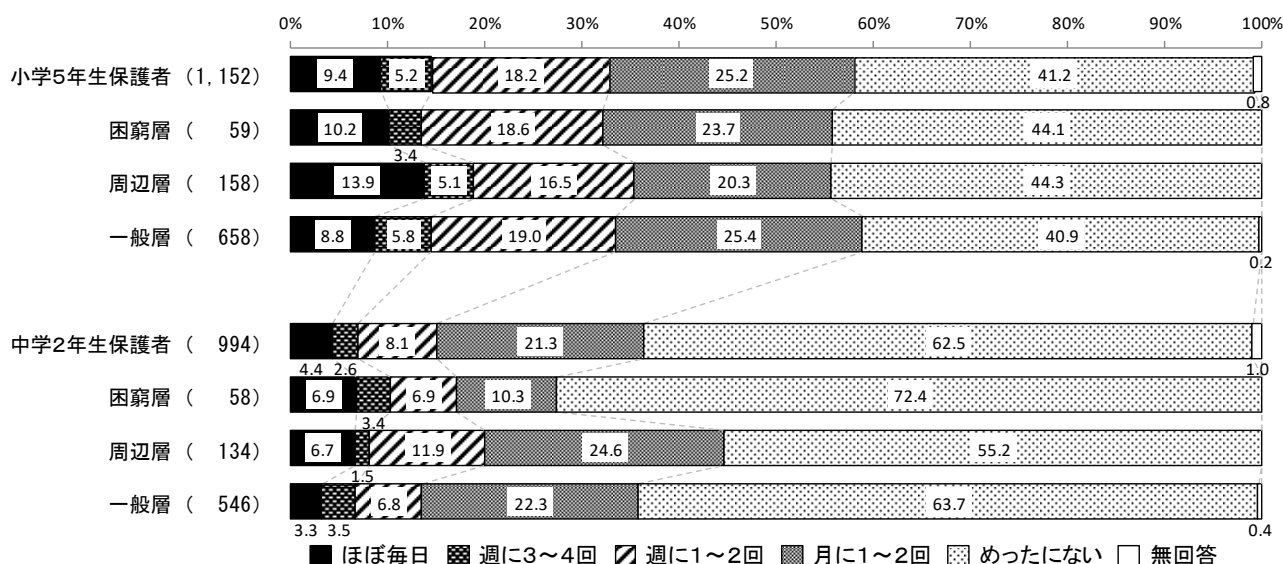
図表 2-8-5-1-2 子どもと関わる頻度／からだを動かして遊ぶ（キャッチボールなど）：生活困難度別



③コンピュータゲームで遊ぶ（テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲームなど）

子どもとコンピュータゲームで遊ぶことについて、「ほぼ毎日」「週に3～4回」を合わせた割合は、小学5年生の困窮層で13.6%、周辺層で19.0%、一般層で14.6%、中学2年生の困窮層で10.3%、周辺層で8.2%、一般層で6.8%となっています。

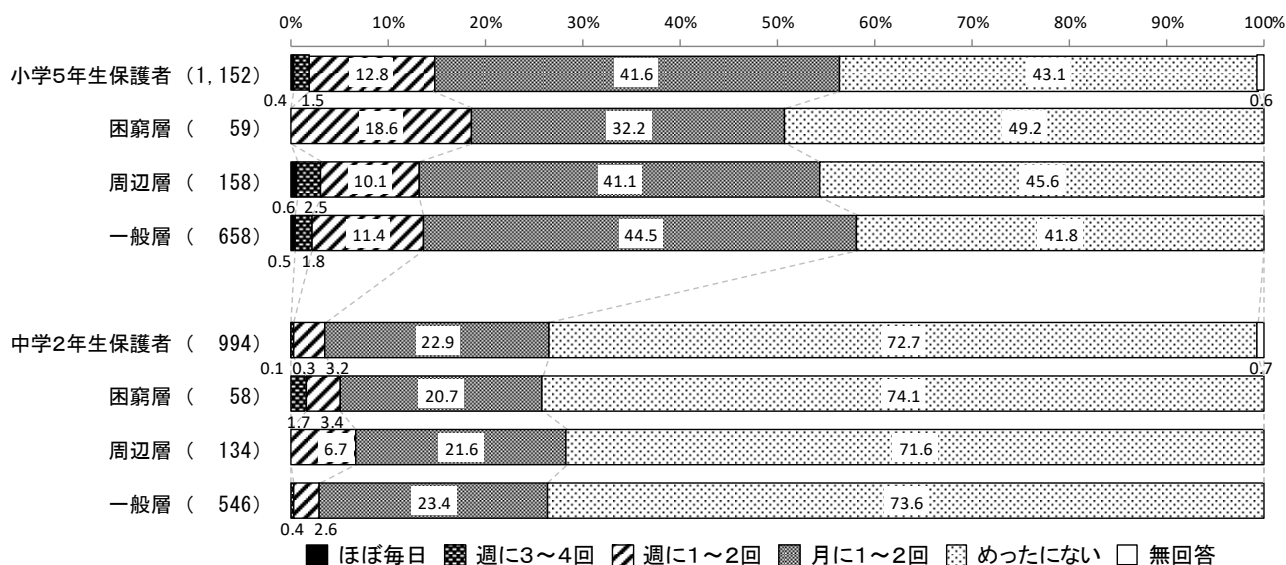
図表 2-8-5-1-3 子どもと関わる頻度／コンピュータゲームで遊ぶ（テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲームなど）：生活困難度別



④カードゲームなどで遊ぶ（トランプ・ボードゲーム・将棋など）

子どもとカードゲームなどで遊ぶことについて、「ほぼ毎日」「週に3～4回」を合わせた割合は、小学5年生の困窮層で0.0%、周辺層で3.1%、一般層で2.3%、中学2年生の困窮層で1.7%、周辺層で0%、一般層で0.4%となっています。「ほぼ毎日」はいずれの年齢層・生活困難度でもコンピュータゲームと比べると少なくなっています。

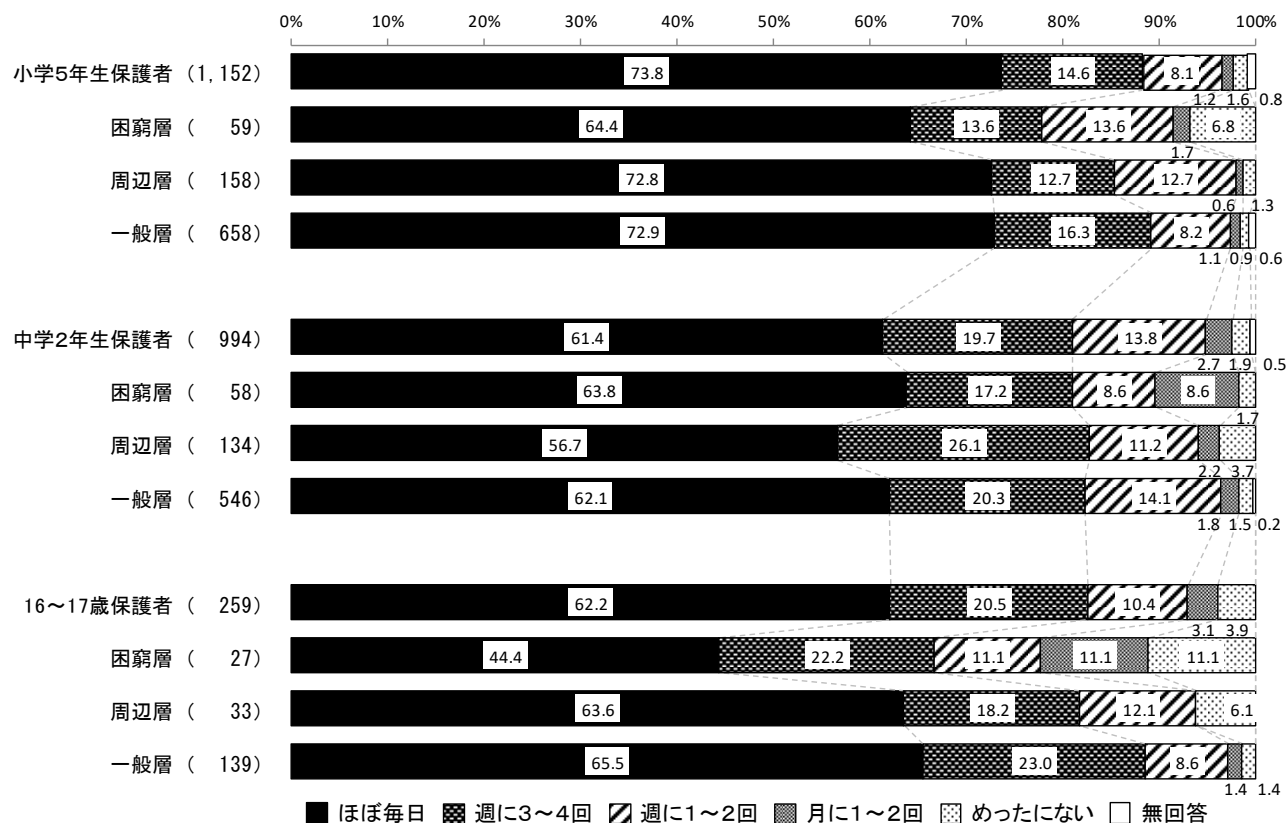
図表 2-8-5-1-4 子どもと関わる頻度／カードゲームなどで遊ぶ（トランプ・ボードゲーム・将棋など）：生活困難度別



⑤学校生活の話をする

子どもと学校生活の話をするについて、「ほぼ毎日」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で64.4%、周辺層で72.8%、一般層で72.9%、中学2年生の困窮層で63.8%、周辺層で56.7%、一般層で62.1%、16～17歳の困窮層で44.4%、周辺層で63.6%、一般層で65.5%となっています。

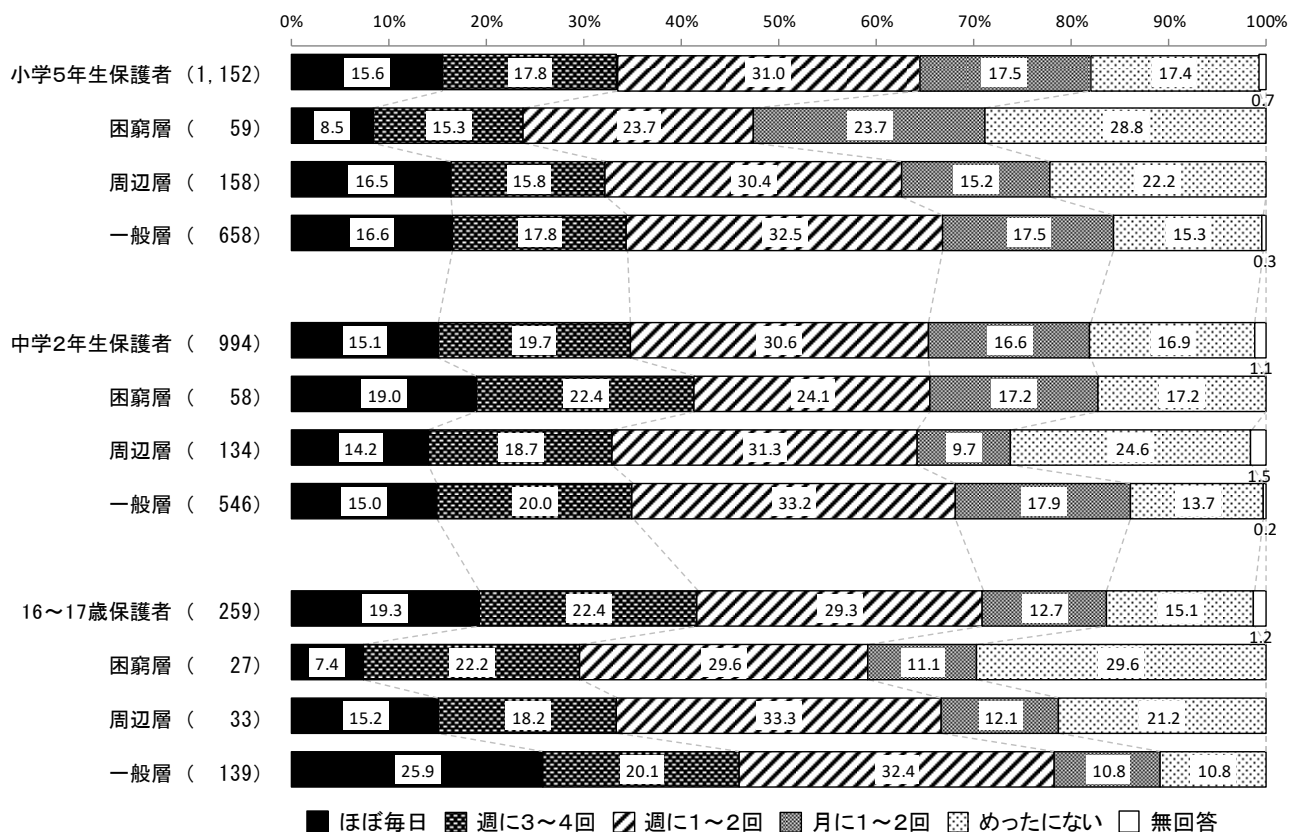
図表 2-8-5-1-5 子どもと関わる頻度／学校生活の話をする：生活困難度別



⑥政治経済・社会問題などのニュースの話をする

子どもと政治経済・社会問題などのニュースの話をすることについて、「ほぼ毎日」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 8.5%、周辺層で 16.5%、一般層で 16.6%、中学2年生の困窮層で 19.0%、周辺層で 14.2%、一般層で 15.0%、16～17歳の困窮層で 7.4%、周辺層で 15.2%、一般層で 25.9%となっています。

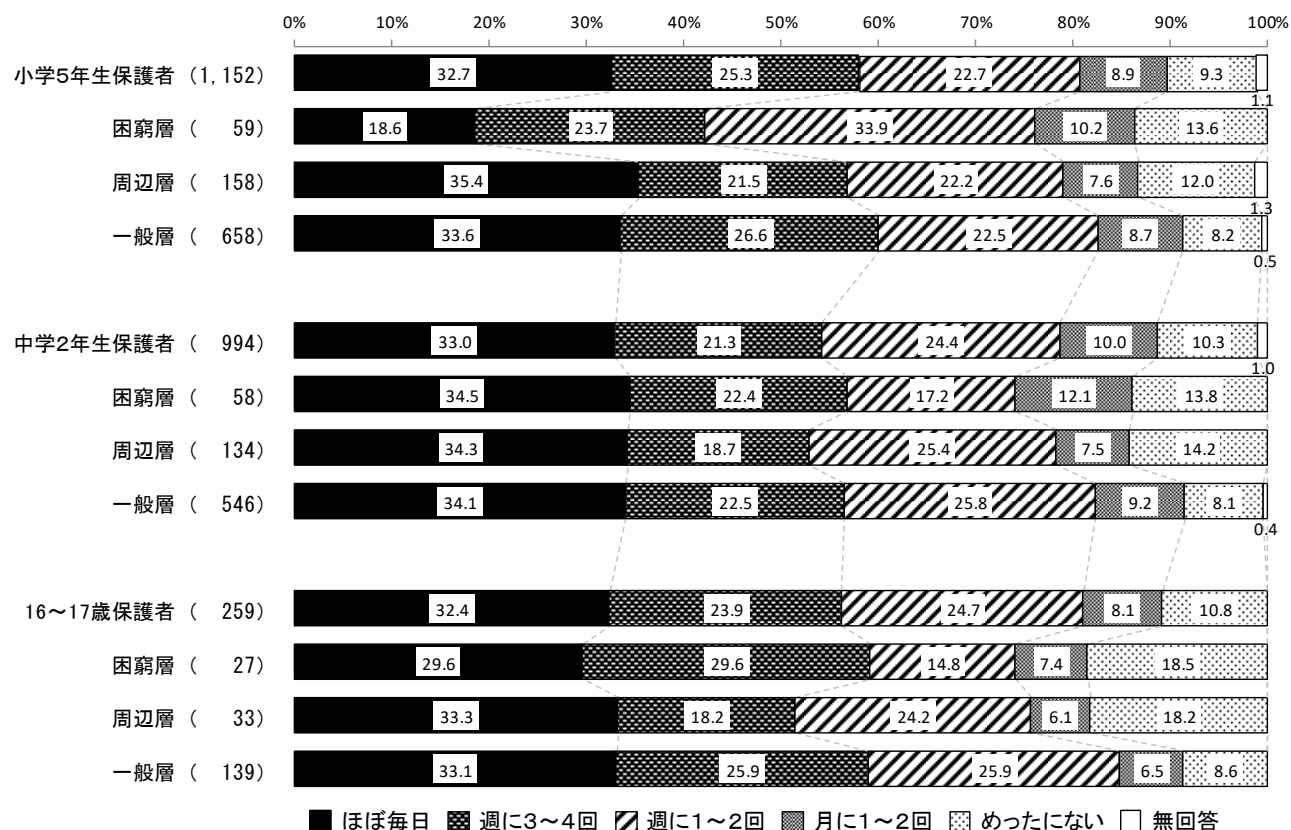
図表 2-8-5-1-6 子どもと関わる頻度／政治経済・社会問題などのニュースの話をする
：生活困難度別



⑦テレビ番組（ニュースを除く）の話をする

子どもとテレビ番組（ニュースを除く）の話をすることについて、「ほぼ毎日」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で18.6%、周辺層で35.4%、一般層で33.6%、中学2年生の困窮層で34.5%、周辺層で34.3%、一般層で34.1%、16～17歳の困窮層で29.6%、周辺層で33.3%、一般層で33.1%となっています。

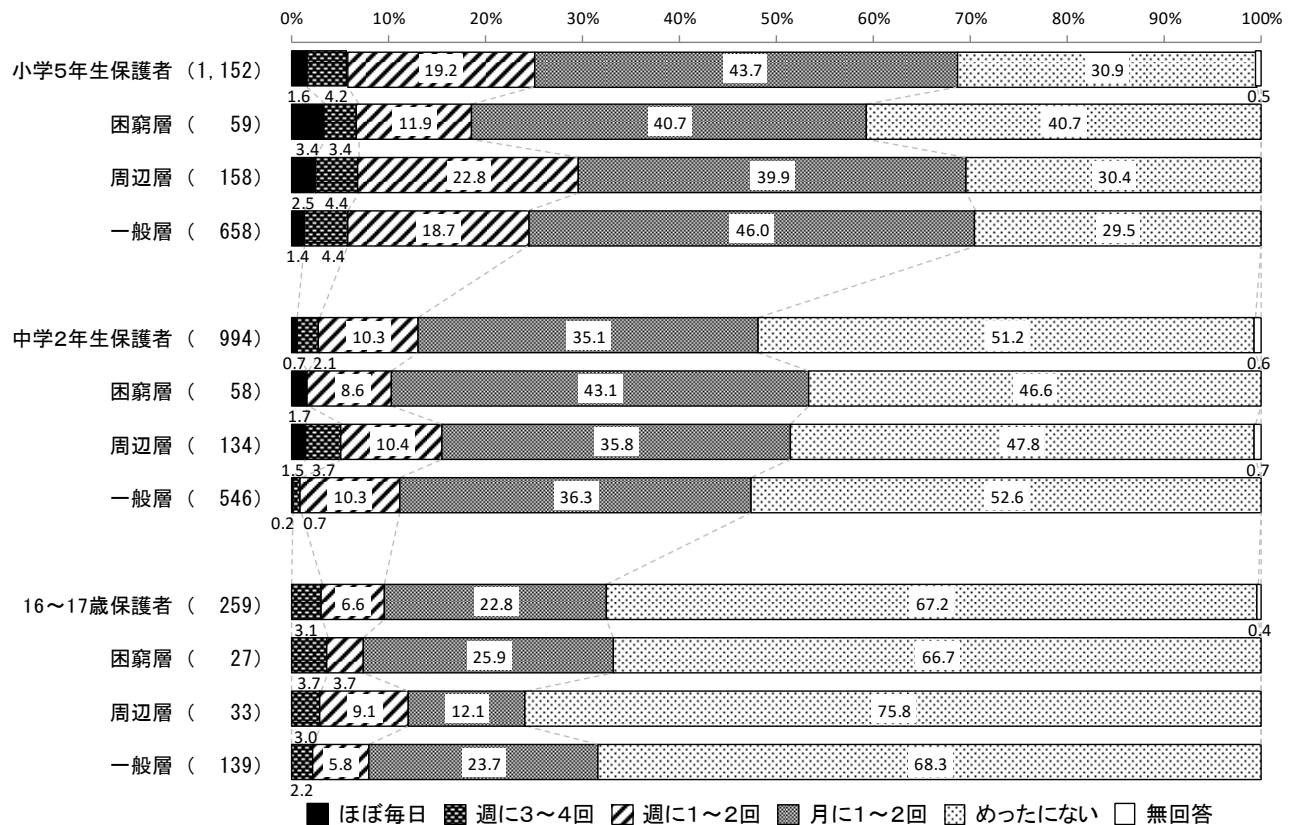
図表 2-8-5-1-7 子どもと関わる頻度／テレビ番組（ニュースを除く）の話をする：生活困難度別



⑧一緒に料理をする

子どもと一緒に料理をすることについて、「月に1～2回」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で40.7%、周辺層で39.9%、一般層で46.0%、中学2年生の困窮層で43.1%、周辺層で35.8%、一般層で36.3%、16～17歳の困窮層で25.9%、周辺層で12.1%、一般層で23.7%となっています。全体的に子どもの年齢があがるほど一緒に料理をする割合は低くなっています。

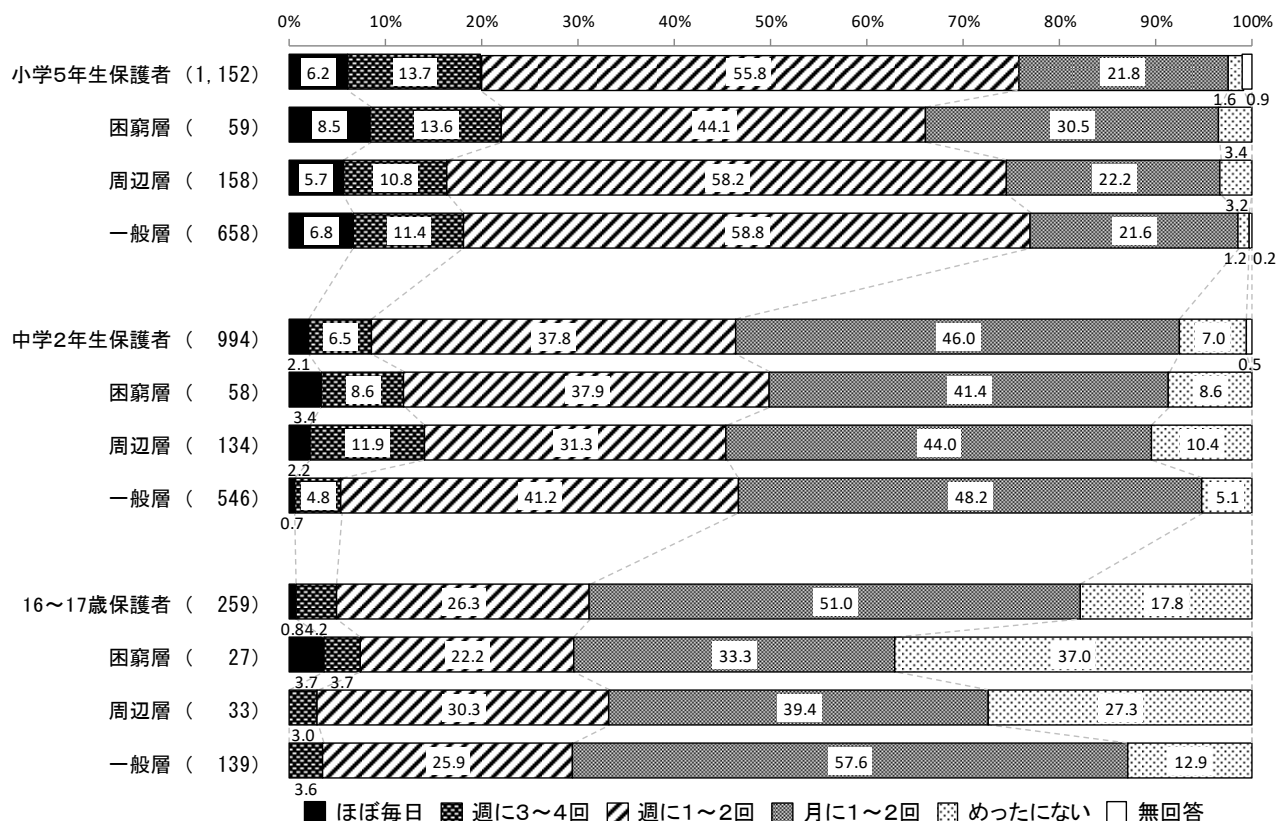
図表 2-8-5-1-8 子どもと関わる頻度／一緒に料理をする：生活困難度別



⑨一緒に外出をする

子どもと一緒に外出をすることについて、「週に1～2回」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で44.1%、周辺層で58.2%、一般層で58.8%、中学2年生の困窮層で37.9%、周辺層で31.3%、一般層で41.2%、16～17歳の困窮層で22.2%、周辺層で30.3%、一般層で25.9%となっています。全体的に子どもの年齢があがるほど子どもと一緒に外出の機会は減っています。

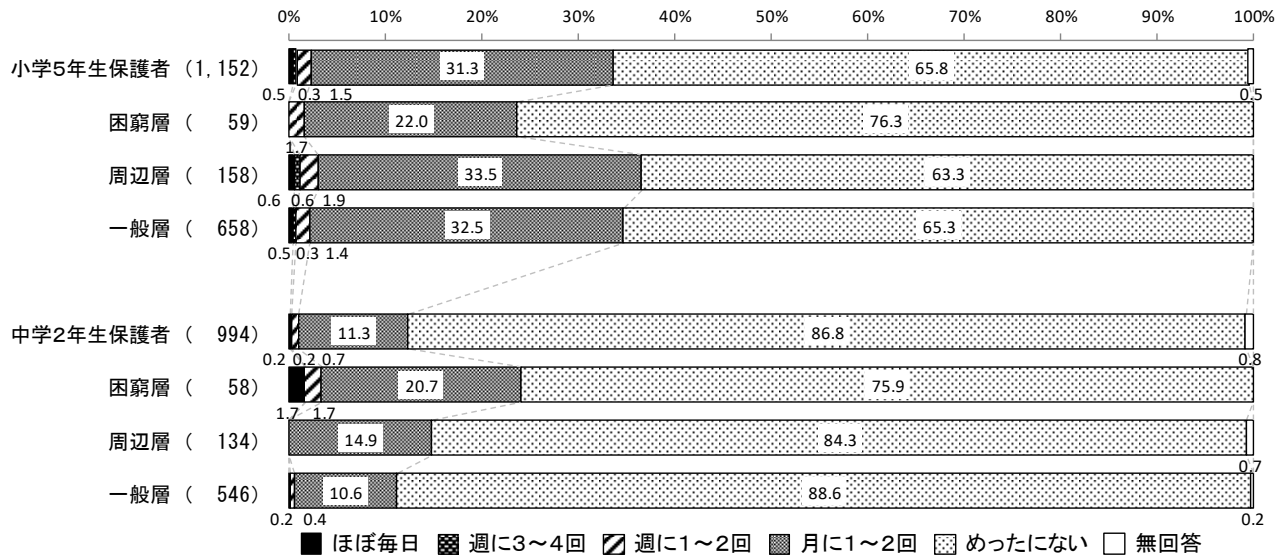
図表 2-8-5-1-9 子どもと関わる頻度／一緒に外出をする：生活困難度別



⑩一緒に、住んでいる地域の行事に参加する

子どもと一緒に、住んでいる地域の行事に参加することについて、「月に1～2回」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で22.0%、周辺層で33.5%、一般層で32.5%、中学2年生の困窮層で20.7%、周辺層で14.9%、一般層で10.6%となっています。全体的に子どもの年齢があがるほど住んでいる地域の行事に参加する機会は減っています。

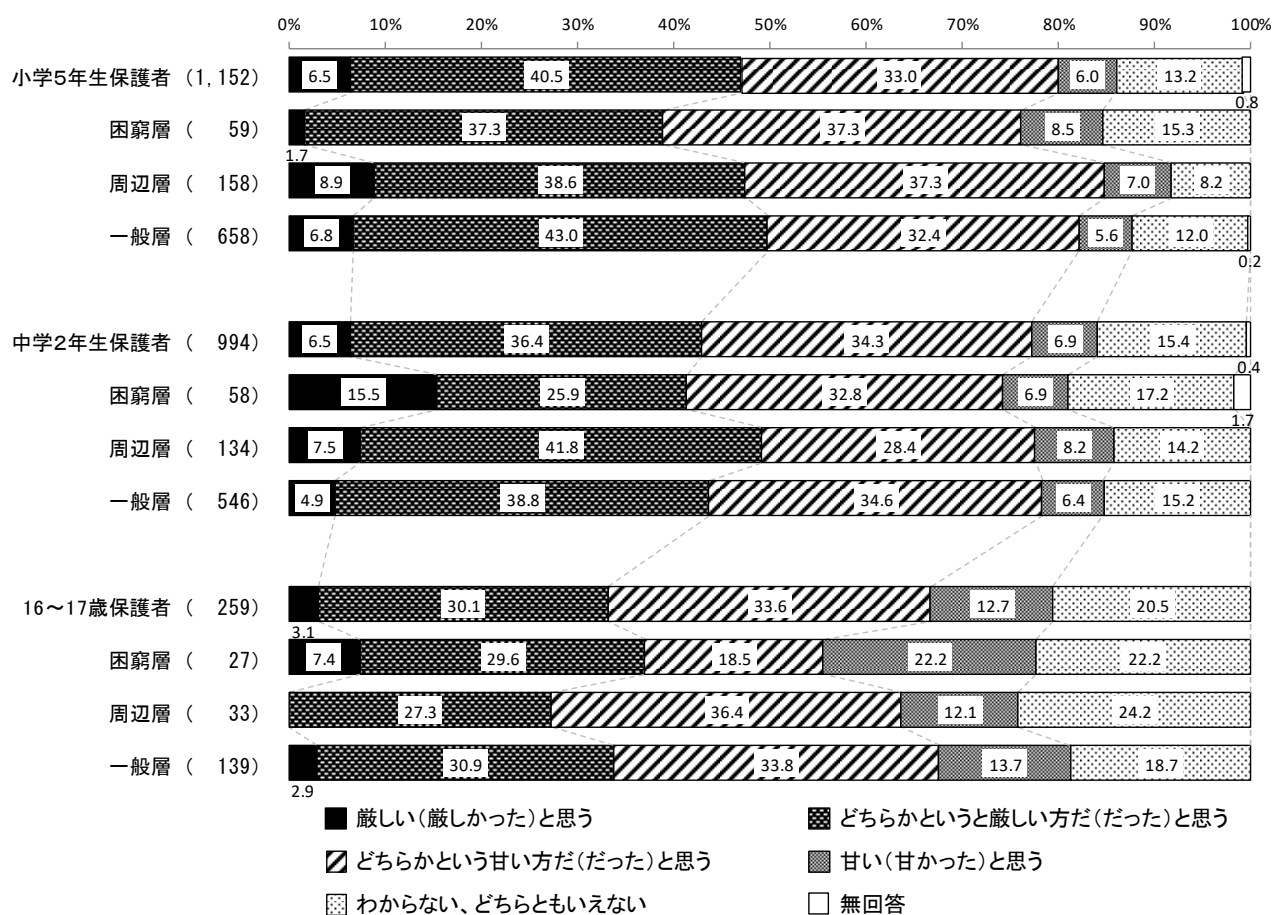
図表 2-8-5-1-10 子どもと関わる頻度／一緒に、住んでいる地域の行事に参加する
：生活困難度別



(2) 子どもに対するしつけ

子どもに対するしつけについて、「厳しい（厳しかった）と思う」「どちらかというと厳しい方だ（だった）と思う」を合わせた『厳しいと思う』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 39.0%、周辺層で 47.5%、一般層で 49.8%、中学2年生の困窮層で 41.4%、周辺層で 49.3%、一般層で 43.7%、16～17歳の困窮層で 37.0%、周辺層で 27.3%、一般層で 33.8%となっています。

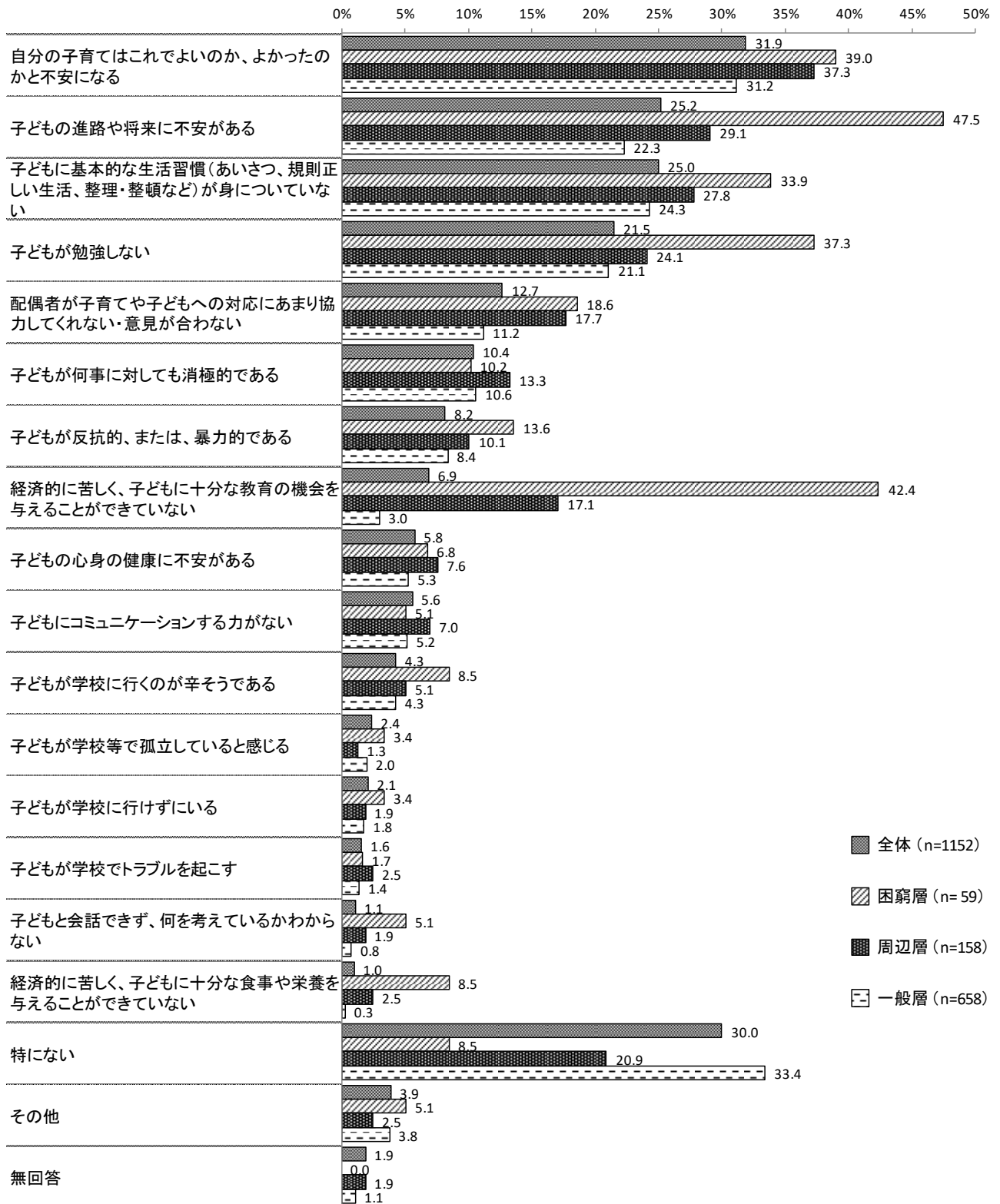
図表 2-8-5-2 子どもに対するしつけ：生活困難度別



(3) 子どもについての悩み

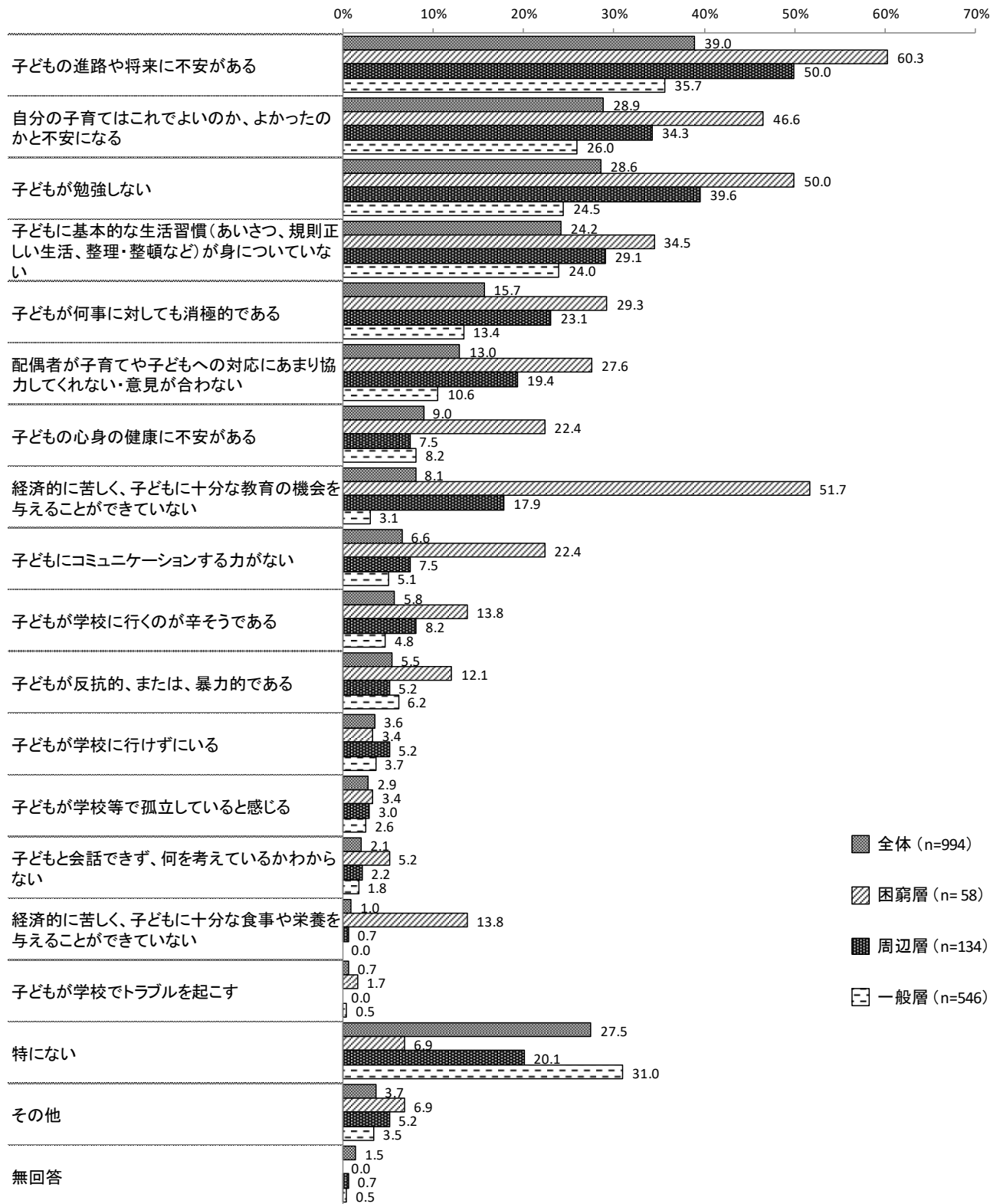
小学5年生の保護者に子どもに関する悩みについて複数回答で聞いたところ、「経済的に苦しく、子どもに十分な教育の機会を与えることができていない」と回答した割合は、困窮層で 42.4%、周辺層で 17.1%、一般層で 3.0%となっています。「特にない」と回答した割合は、困窮層で 8.5%、周辺層で 20.9%、一般層で 33.4%となっています。

図表 2-8-5-3-1 子どもについての悩み（複数回答）（小学5年生）：生活困難度別



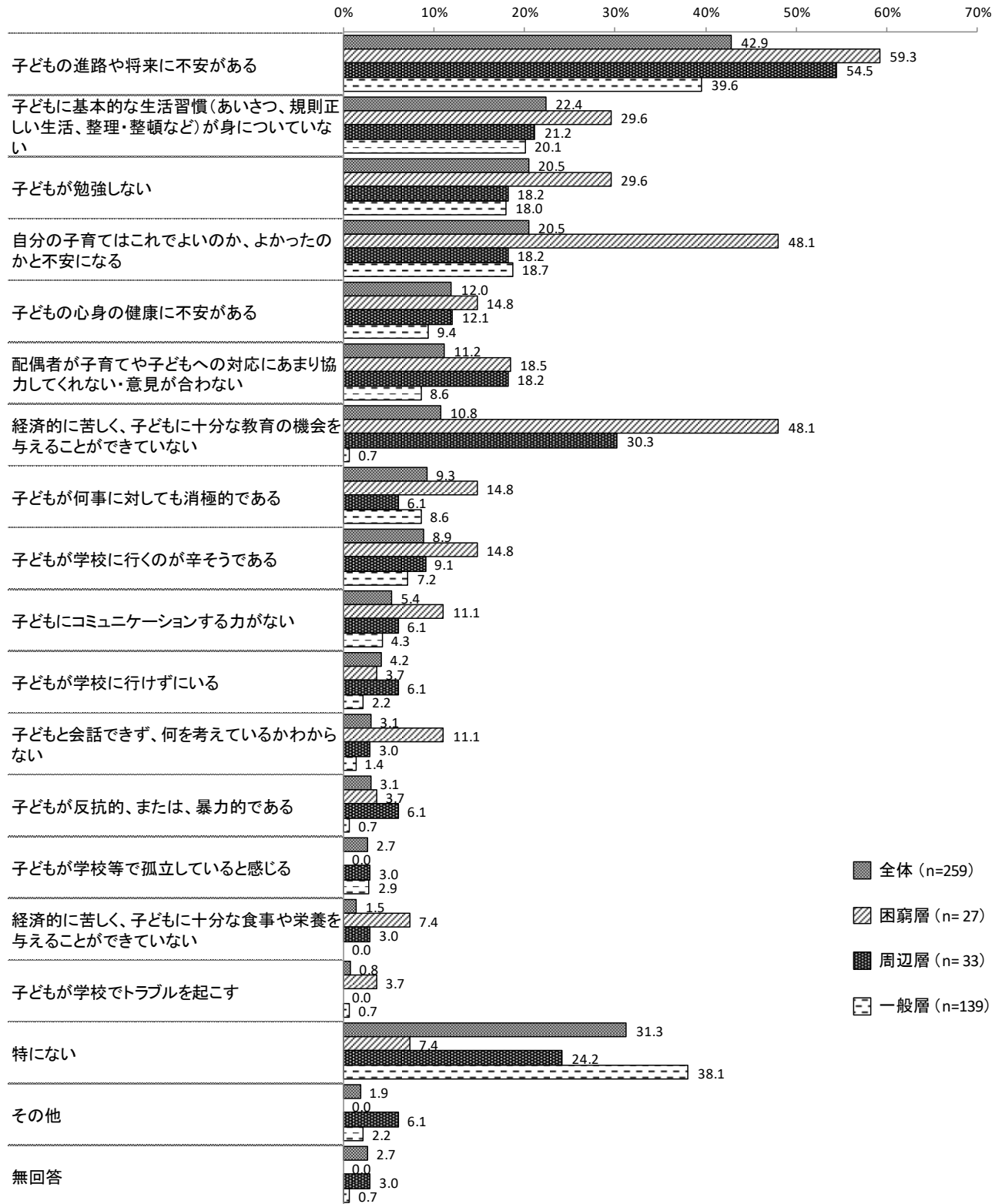
中学2年生の保護者に子どもに関する悩みについて複数回答で聞いたところ、「経済的に苦しく、子どもに十分な教育の機会を与えることができていない」と回答した割合は、困窮層で 51.7%、周辺層で 17.9%、一般層で 3.1%となっています。「特にない」と回答した割合は、困窮層で 6.9%、周辺層で 20.1%、一般層で 31.0%となっています。

図表 2-8-5-3-2 子どもについての悩み（複数回答）（中学2年生）：生活困難度別



16～17歳の保護者に子どもに関する悩みについて複数回答で聞いたところ、「経済的に苦しく、子どもに十分な教育の機会を与えることができていない」と回答した割合は、困窮層で48.1%、周辺層で30.3%、一般層で0.7%となっています。「特にない」と回答した割合は、困窮層で7.4%、周辺層で24.2%、一般層で38.1%となっています。

図表 2-8-5-3-3 子どもについての悩み（複数回答）（16～17歳）：生活困難度別



第9章 制度・サービスの利用

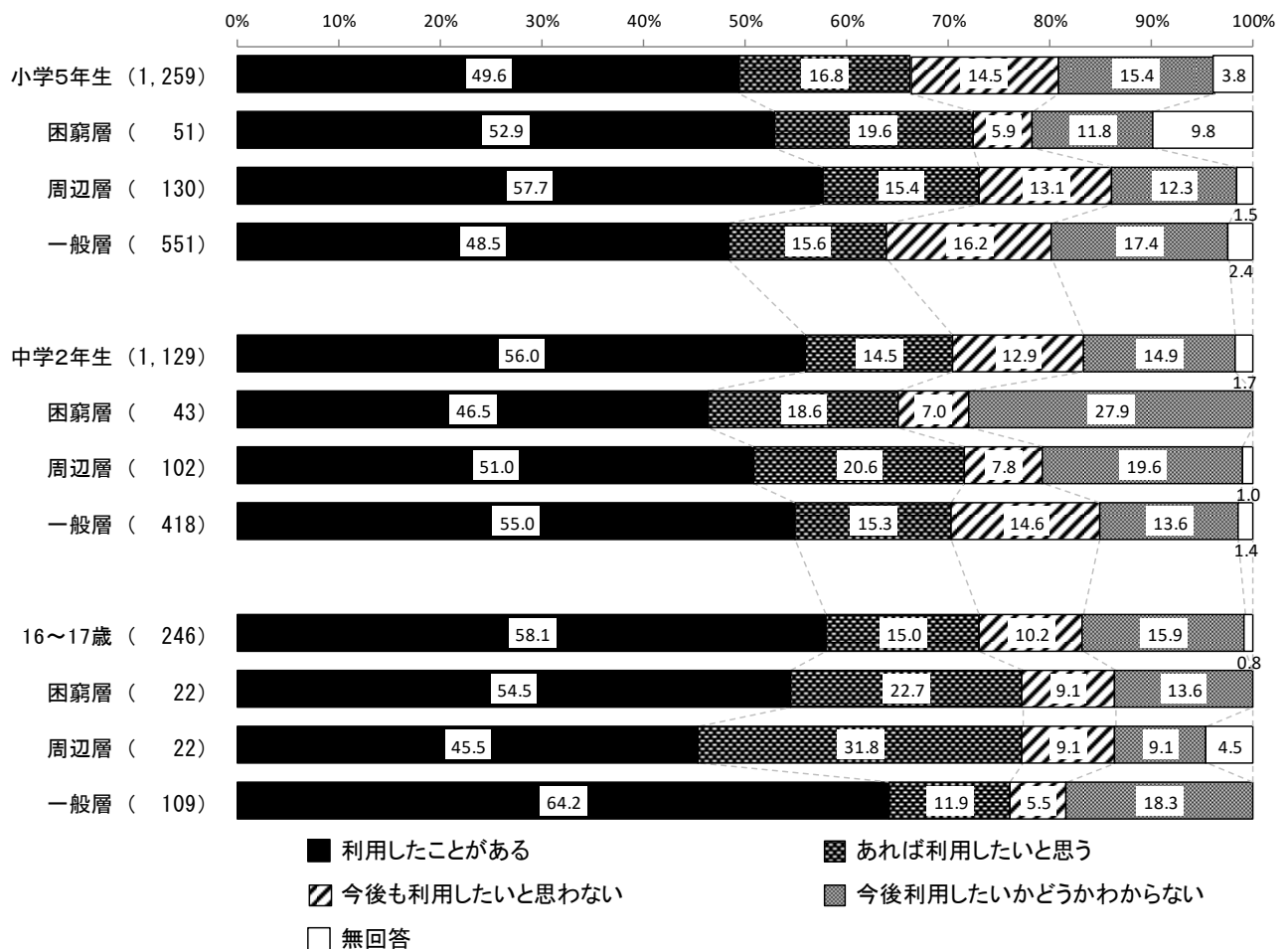
1. 子ども本人の支援サービスの利用状況

(1) 支援サービスの利用状況と利用意向

① 平日の放課後（自由時間）や休日を過ごすことができる場所

平日の放課後（自由時間）や休日を過ごすことができる場所について、「利用したことがある」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 52.9%、周辺層で 57.7%、一般層で 48.5%、中学2年生の困窮層で 46.5%、周辺層で 51.0%、一般層で 55.0%、16～17歳の困窮層で 54.5%、周辺層で 45.5%、一般層で 64.2%となっています。「あれば利用したい」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 19.6%、周辺層で 15.4%、一般層で 15.6%、中学2年生の困窮層で 18.6%、周辺層で 20.6%、一般層で 15.3%、16～17歳の困窮層で 22.7%、周辺層で 31.8%、一般層で 11.9%となっています。

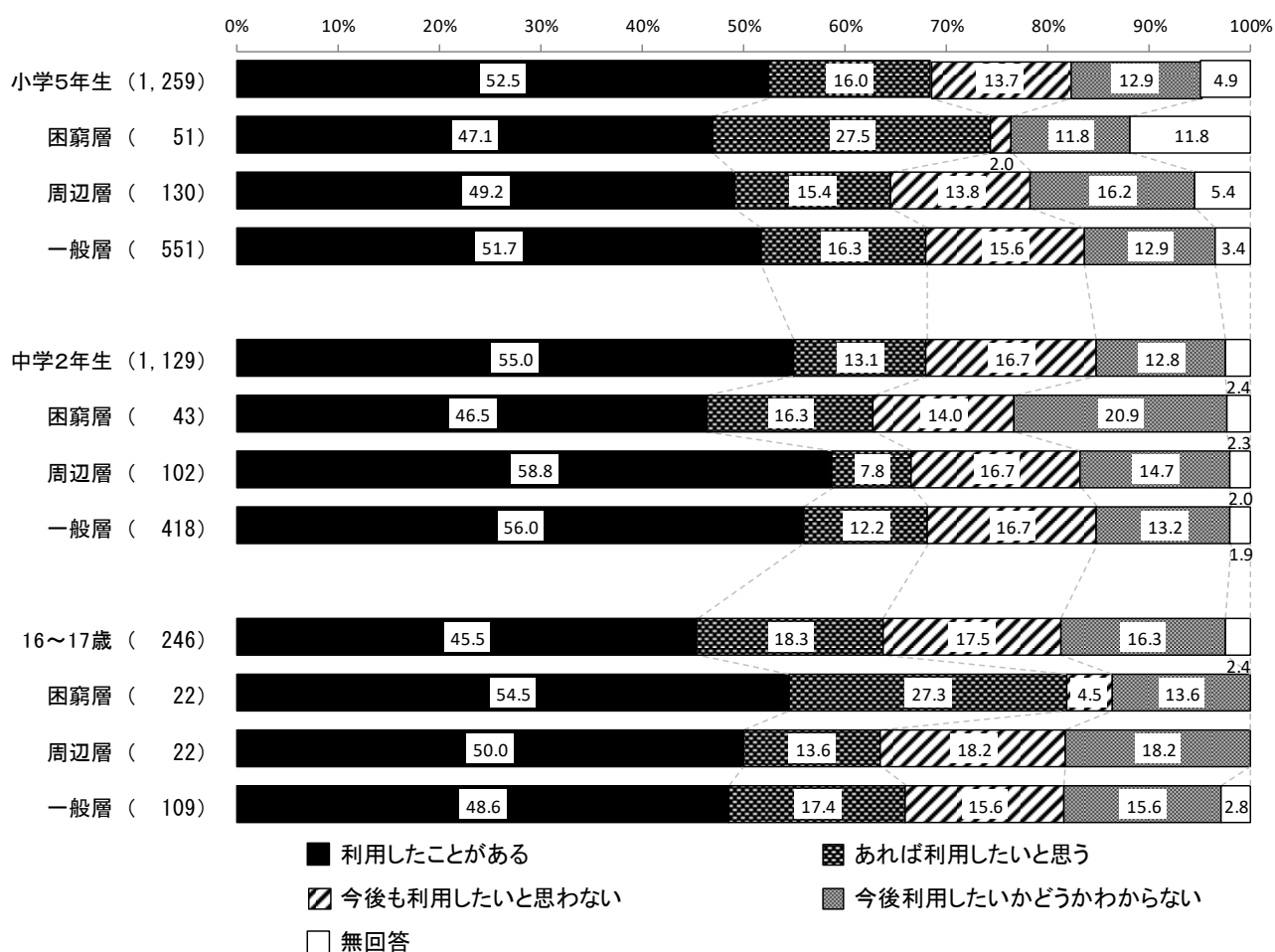
図表 2-9-1-1-1 支援サービスの利用状況と利用意向／平日の放課後（自由時間）や休日を過ごすことができる場所：生活困難度別



②平日の放課後（自由時間）や休日にスポーツ（ボールを使うものを含む）ができる場所

平日の放課後（自由時間）や休日にスポーツ（ボールを使うものを含む）ができる場所について、「利用したことがある」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 47.1%、周辺層で 49.2%、一般層で 51.7%、中学2年生の困窮層で 46.5%、周辺層で 58.8%、一般層で 56.0%、16～17 歳の困窮層で 54.5%、周辺層で 50.0%、一般層で 48.6%となっています。「あれば利用したい」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 27.5%、周辺層で 15.4%、一般層で 16.3%、中学2年生の困窮層で 16.3%、周辺層で 7.8%、一般層で 12.2%、16～17 歳の困窮層で 27.3%、周辺層で 13.6%、一般層で 17.4%となっています。

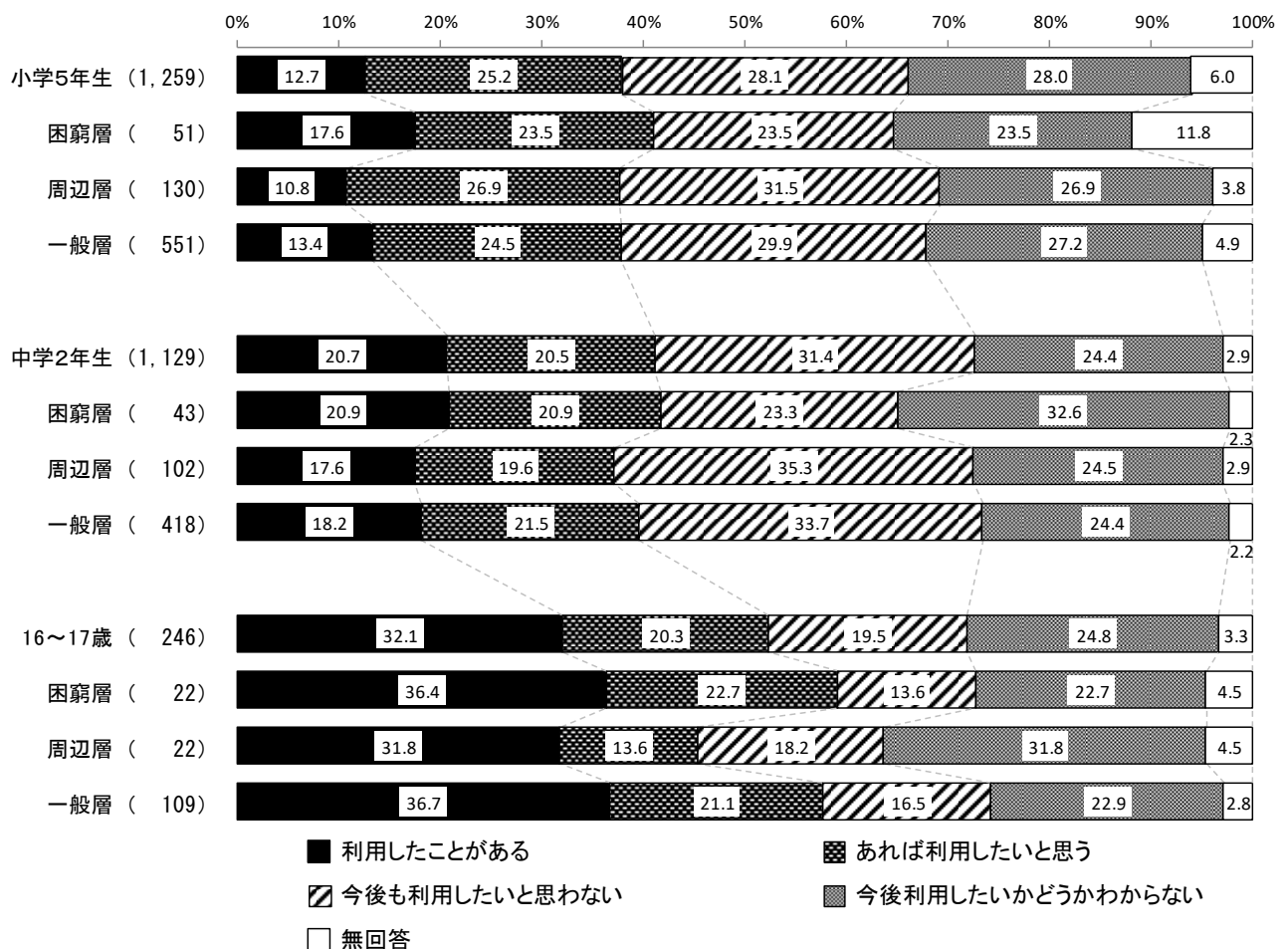
図表 2-9-1-1-2 支援サービスの利用状況と利用意向／平日の放課後（自由時間）や休日にスポーツ（ボールを使うものを含む）ができる場所：生活困難度別



③平日の放課後（自由時間）や休日に音楽（歌や演奏）ができる場所

平日の放課後（自由時間）や休日に音楽（歌や演奏）ができる場所について、「利用したことがある」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 17.6%、周辺層で 10.8%、一般層で 13.4%、中学2年生の困窮層で 20.9%、周辺層で 17.6%、一般層で 18.2%、16～17歳の困窮層で 36.4%、周辺層で 31.8%、一般層で 36.7%となっています。「あれば利用したい」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 23.5%、周辺層で 26.9%、一般層で 24.5%、中学2年生の困窮層で 20.9%、周辺層で 19.6%、一般層で 21.5%、16～17歳の困窮層で 22.7%、周辺層で 13.6%、一般層で 21.1%となっています。

図表 2-9-1-1-3 支援サービスの利用状況と利用意向／平日の放課後（自由時間）や休日に音楽（歌や演奏）ができる場所：生活困難度別

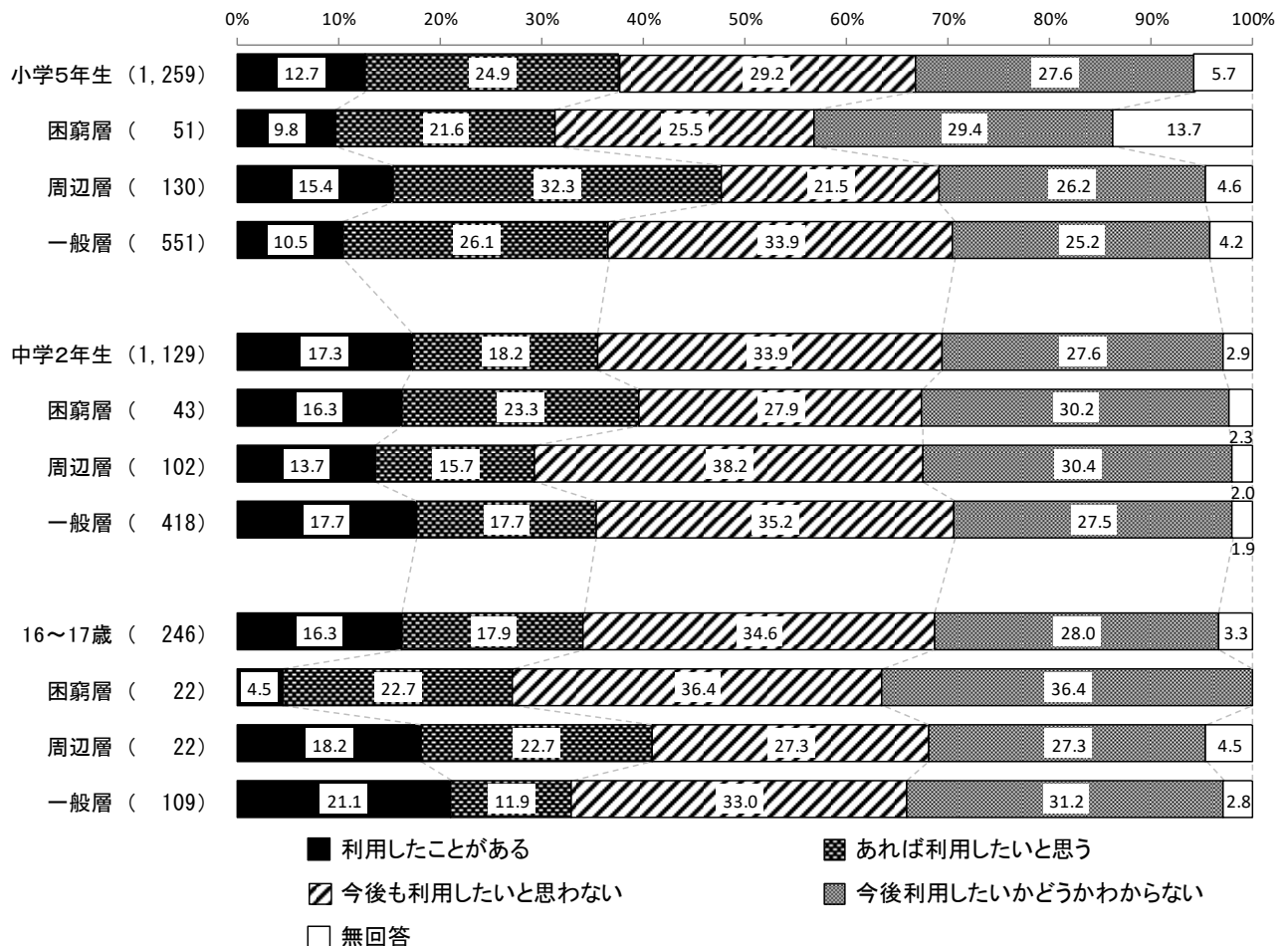


④食事を出してもらえる場所

食事を出してもらえる場所について、「利用したことがある」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で9.8%、周辺層で15.4%、一般層で10.5%、中学2年生の困窮層で16.3%、周辺層で13.7%、一般層で17.7%、16～17歳の困窮層で4.5%、周辺層で18.2%、一般層で21.1%となっています。

「あれば利用したい」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で21.6%、周辺層で32.3%、一般層で26.1%、中学2年生の困窮層で23.3%、周辺層で15.7%、一般層で17.7%、16～17歳の困窮層で22.7%、周辺層で22.7%、一般層で11.9%となっています。

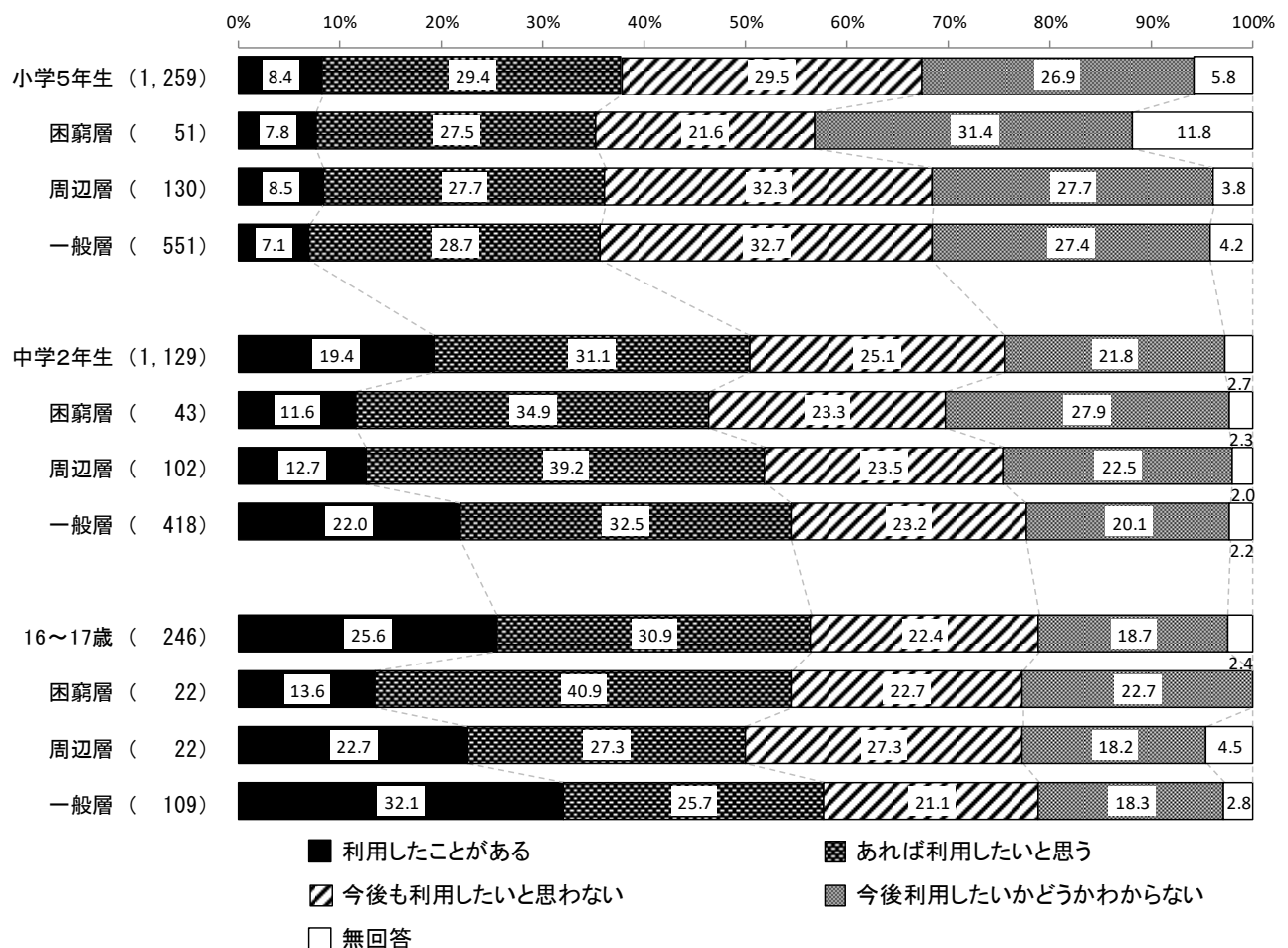
図表 2-9-1-1-4 支援サービスの利用状況と利用意向／食事を出してもらえる場所：生活困難度別



⑤静かに勉強ができる場所、大学生などが勉強を無料でみてくれる場所

静かに勉強ができる場所、大学生などが勉強を無料でみてくれる場所について、「利用したことがある」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 7.8%、周辺層で 8.5%、一般層で 7.1%、中学2年生の困窮層で 11.6%、周辺層で 12.7%、一般層で 22.0%、16～17歳の困窮層で 13.6%、周辺層で 22.7%、一般層で 32.1%となっています。「あれば利用したい」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 27.5%、周辺層で 27.7%、一般層で 28.7%、中学2年生の困窮層で 34.9%、周辺層で 39.2%、一般層で 32.5%、16～17歳の困窮層で 40.9%、周辺層で 27.3%、一般層で 25.7%となっています。

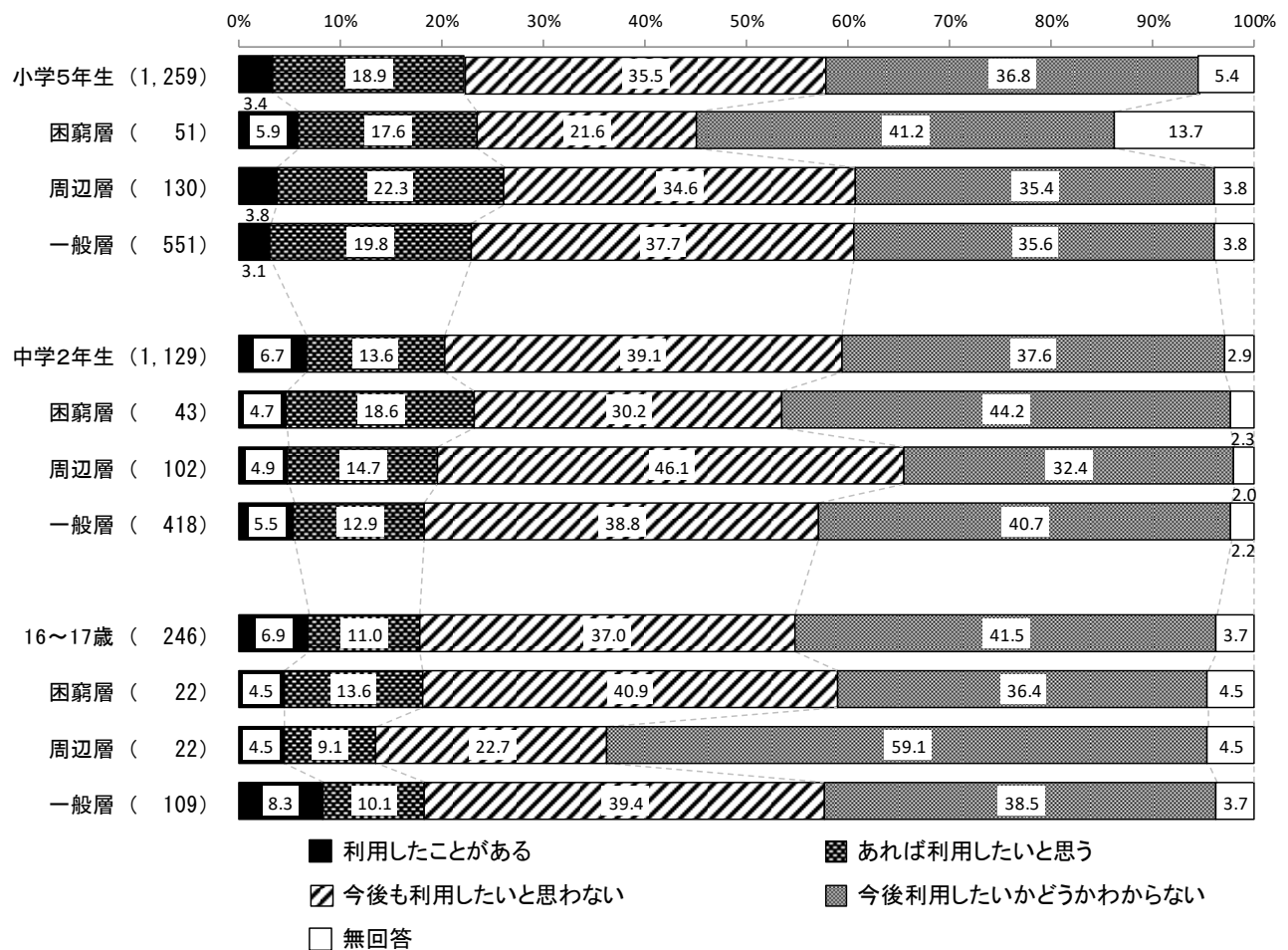
図表 2-9-1-1-5 支援サービスの利用状況と利用意向／静かに勉強ができる場所、大学生などが勉強を無料でみてくれる場所：生活困難度別



⑥（家や学校以外で）何でも相談できる場所

（家や学校以外で）何でも相談できる場所について、「利用したことがある」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で5.9%、周辺層で3.8%、一般層で3.1%、中学2年生の困窮層で4.7%、周辺層で4.9%、一般層で5.5%、16～17歳の困窮層で4.5%、周辺層で4.5%、一般層で8.3%となっています。「あれば利用したい」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で17.6%、周辺層で22.3%、一般層で19.8%、中学2年生の困窮層で18.6%、周辺層で14.7%、一般層で12.9%、16～17歳の困窮層で13.6%、周辺層で9.1%、一般層で10.1%となっています。

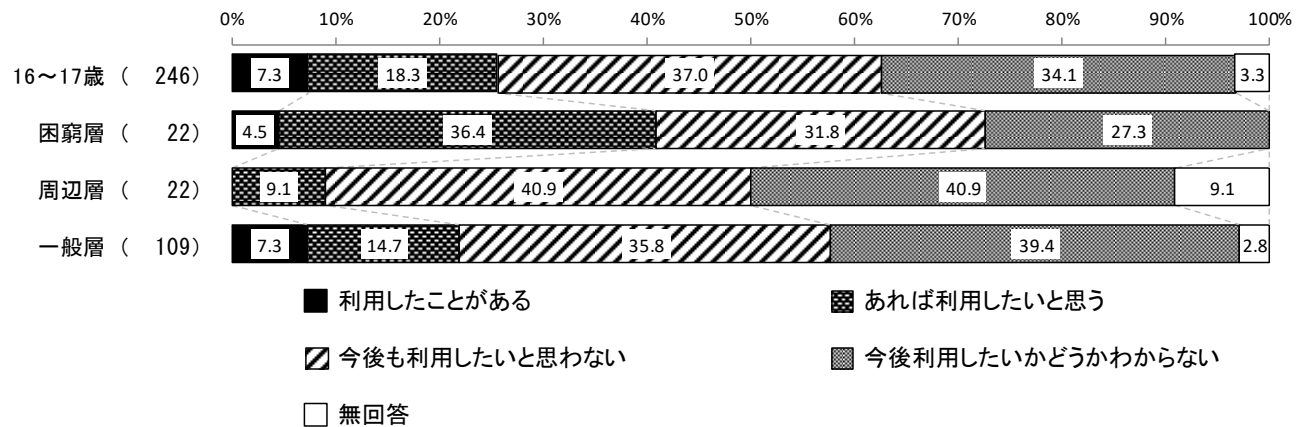
図表 2-9-1-1-6 支援サービスの利用状況と利用意向／（家や学校以外で）何でも相談できる場所：生活困難度別



⑦低額・無料で、通信教育が受けられるサービス

低額・無料で、通信教育が受けられるサービスについて、「利用したことがある」と回答した割合は、16～17歳の困窮層で4.5%、周辺層で0.0%、一般層で7.3%となっています。「あれば利用したい」と回答した割合は、16～17歳の困窮層で36.4%、周辺層で9.1%、一般層で14.7%となっています。

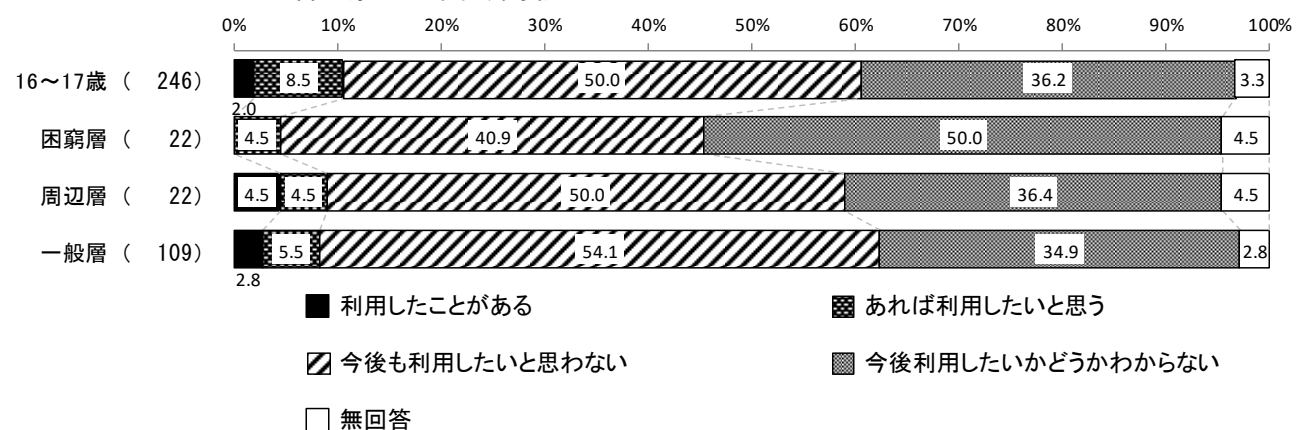
図表 2-9-1-1-7 支援サービスの利用状況と利用意向／低額・無料で、通信教育が受けられるサービス：生活困難度別



⑧家から出て学校に通うことができる低額・無料の寮

家から出て学校に通うことができる低額・無料の寮について、「利用したことがある」と回答した割合は、16～17歳の困窮層で0.0%、周辺層で4.5%、一般層で2.8%となっています。「あれば利用したい」と回答した割合は、16～17歳の困窮層で4.5%、周辺層で4.5%、一般層で5.5%となっています。

図表 2-9-1-1-8 支援サービスの利用状況と利用意向／家から出て学校に通うことができる低額・無料の寮：生活困難度別



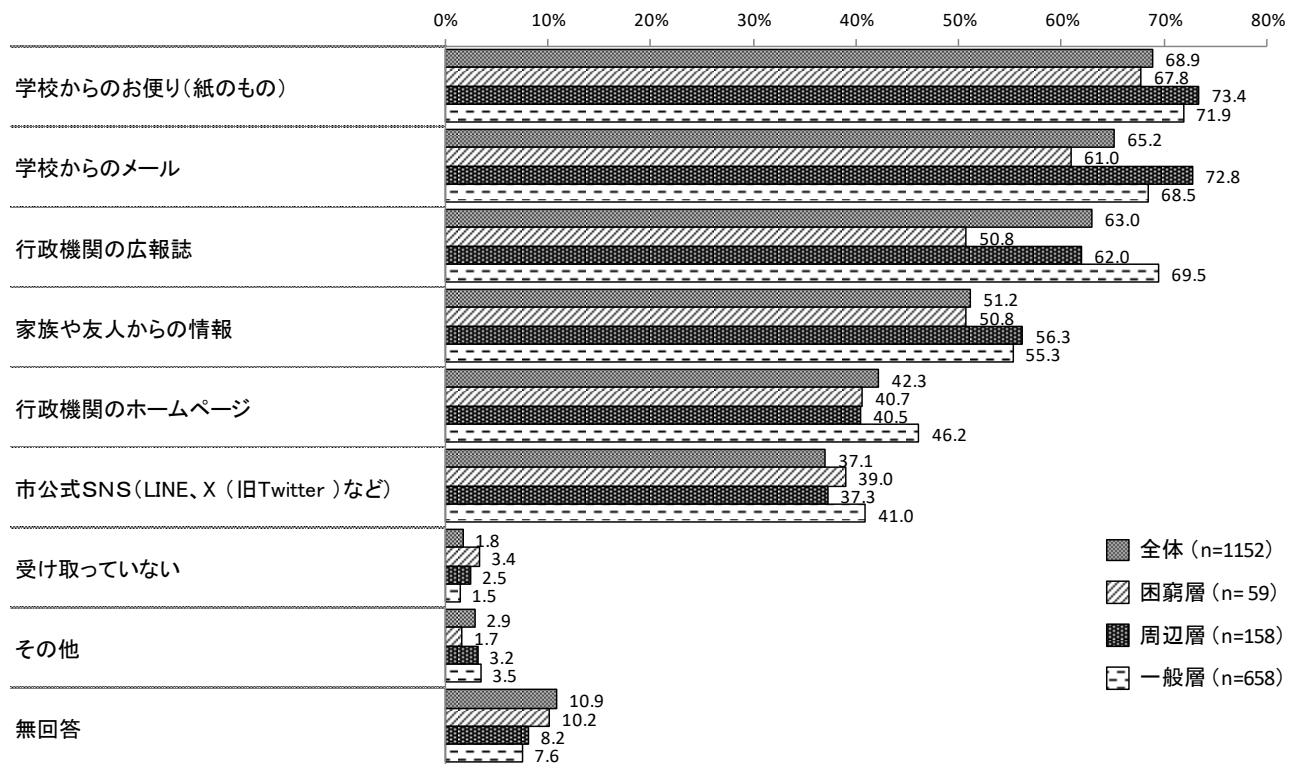
2. 制度・サービスの利用

(1) 子どもに関する情報における入手方法の現状と今後の意向

①現在の受け取り方法

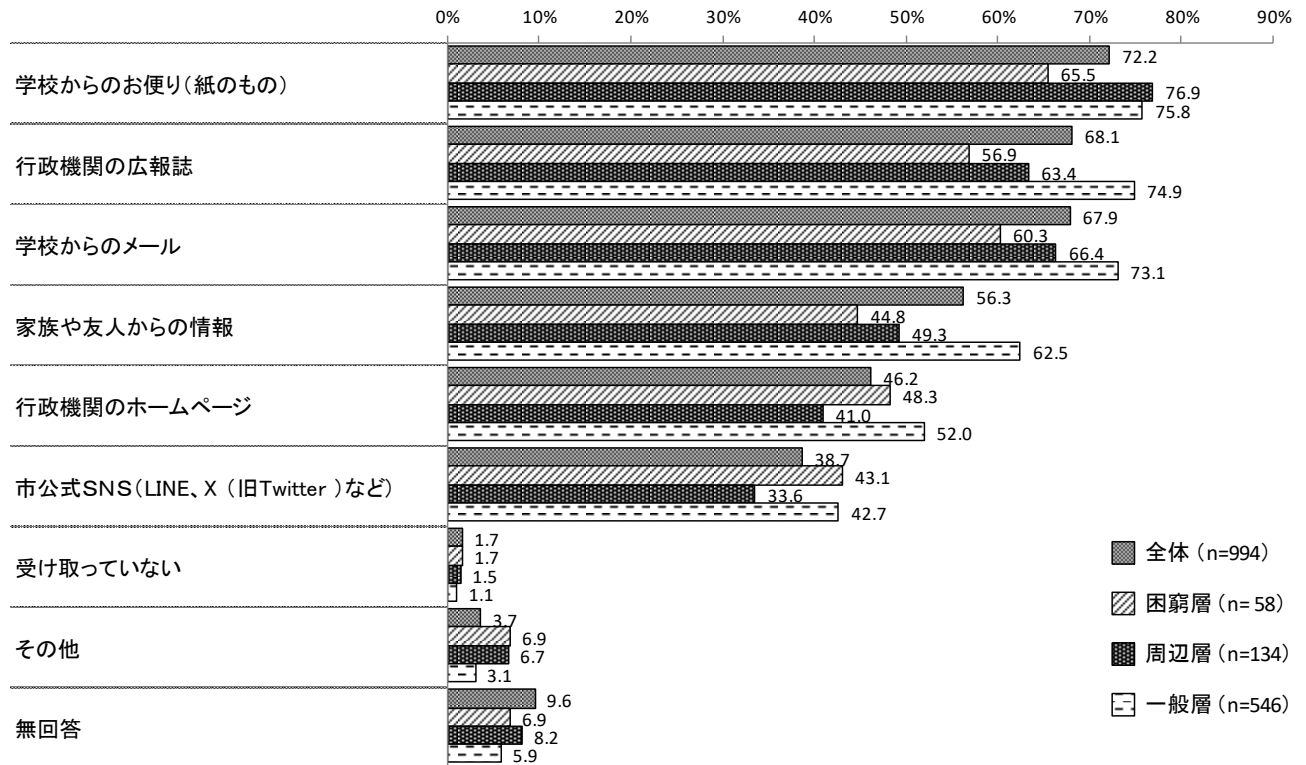
小学5年生の保護者に子どもに関する情報の現在の受け取り方法について複数回答で聞いたところ、いずれの層でも「学校からのお便り（紙のもの）」が最も高い割合となっています。「行政機関からの広報誌」と回答した割合は、困窮層で50.8%、周辺層で62.0%、一般層で69.5%となっています。

図表 2-9-2-1-1 子どもに関する情報の現在の受け取り方法（複数回答）（小学5年生）
：生活困難度別



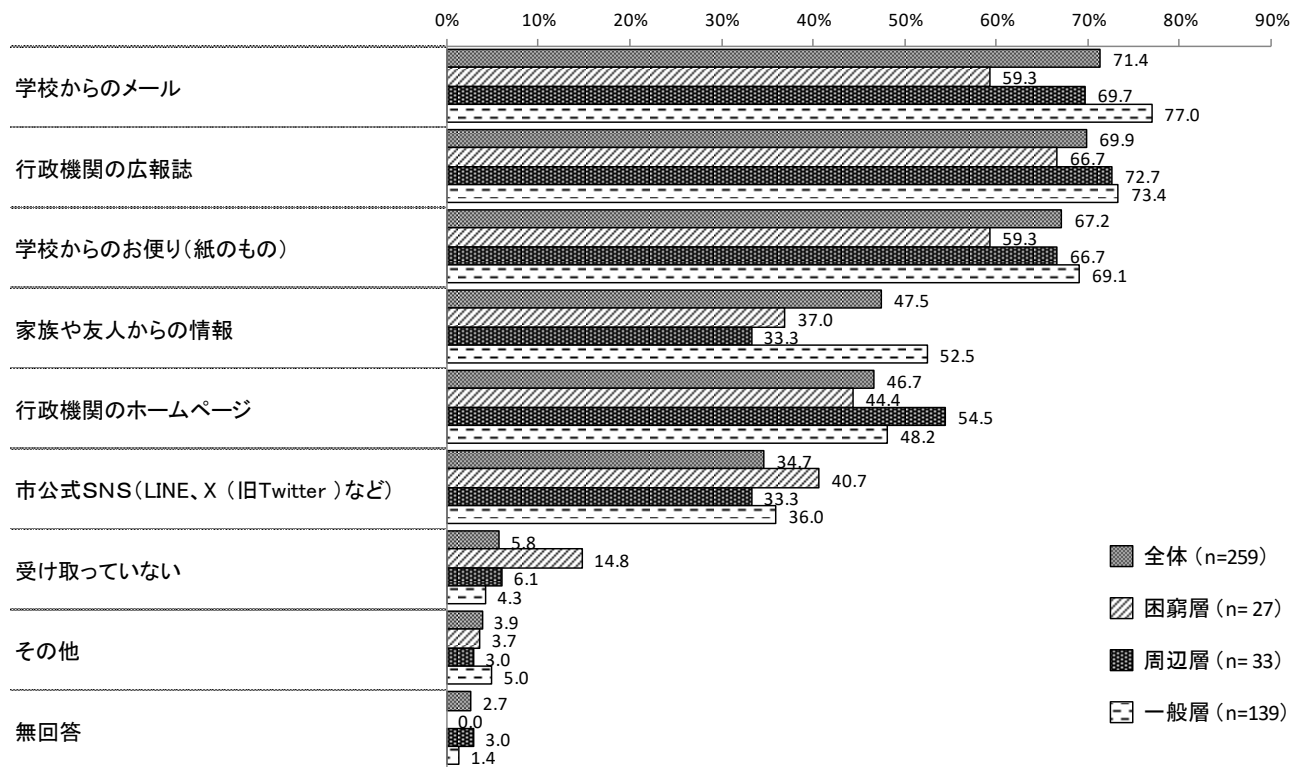
中学2年生の保護者に子どもに関する情報の現在の受け取り方法について複数回答で聞いたところ、いずれの層でも「学校からのお便り（紙のもの）」が最も高い割合となっています。「行政機関からの広報誌」と回答した割合は、困窮層で56.9%、周辺層で63.4%、一般層で74.9%となっています。

図表 2-9-2-1-2 子どもに関する情報の現在の受け取り方法（複数回答）（中学2年生）
：生活困難度別



16～17歳の保護者に子どもに関する情報の現在の受け取り方法について複数回答で聞いたところ、「学校からのメール」と回答した割合は、困窮層で59.3%、周辺層で69.7%、一般層で77.0%となっています。「行政機関からの広報誌」と回答した割合は、困窮層で66.7%、周辺層で72.7%、一般層で73.4%となっています。「学校からのお便り（紙のもの）」と回答した割合は、困窮層で59.3%、周辺層で66.7%、一般層で69.1%となっています。

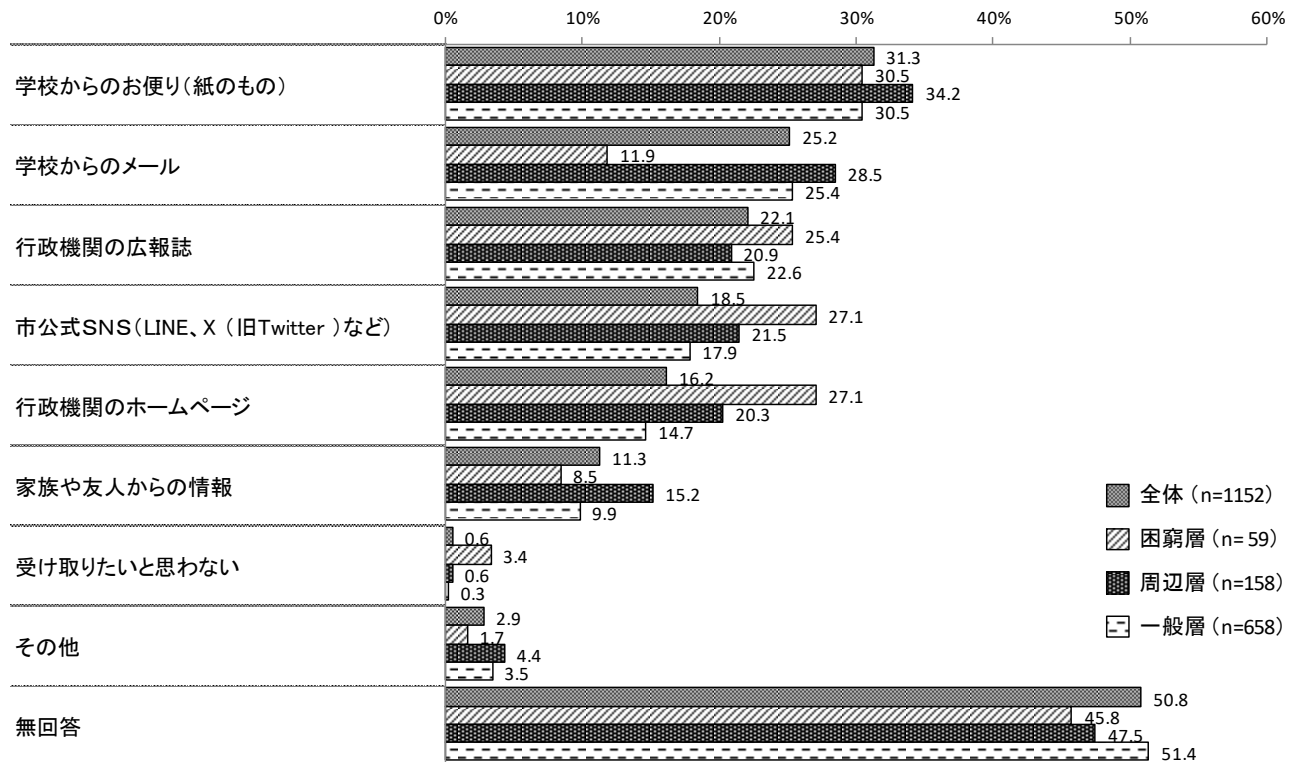
図表 2-9-2-1-3 子どもに関する情報の現在の受け取り方法（複数回答）（16～17歳）
：生活困難度別



②今後、受け取りたい方法

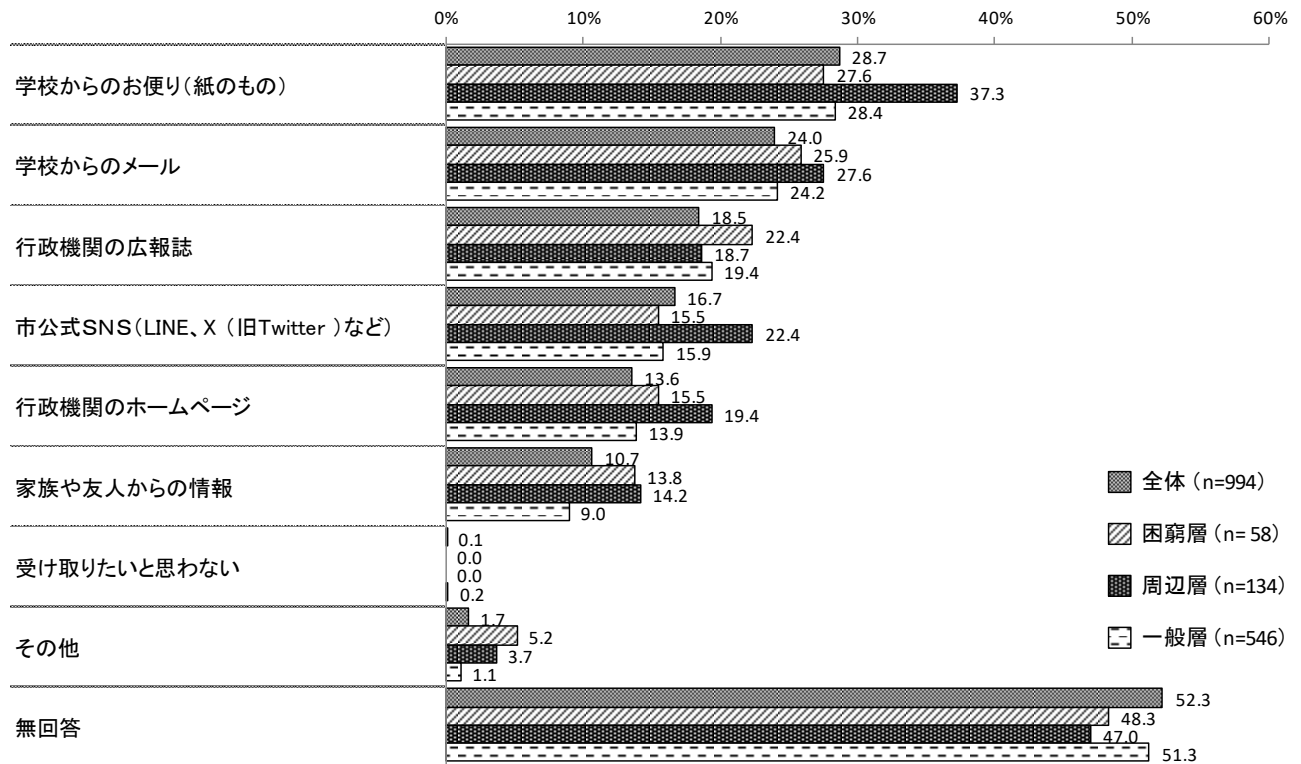
小学5年生の保護者に子どもに関する情報について、今後、受け取りたい方法を複数回答で聞いたところ、「学校からのお便り（紙のもの）」と回答した割合は、困窮層で 30.5%、周辺層で 34.2%、一般層で 30.5%となっています。「学校からのメール」と回答した割合は、困窮層で 11.9%、周辺層で 28.5%、一般層で 25.4%となっています。

図表 2-9-2-1-4 子どもに関する情報の今後、受け取りたい方法（複数回答）（小学5年生）
：生活困難度別



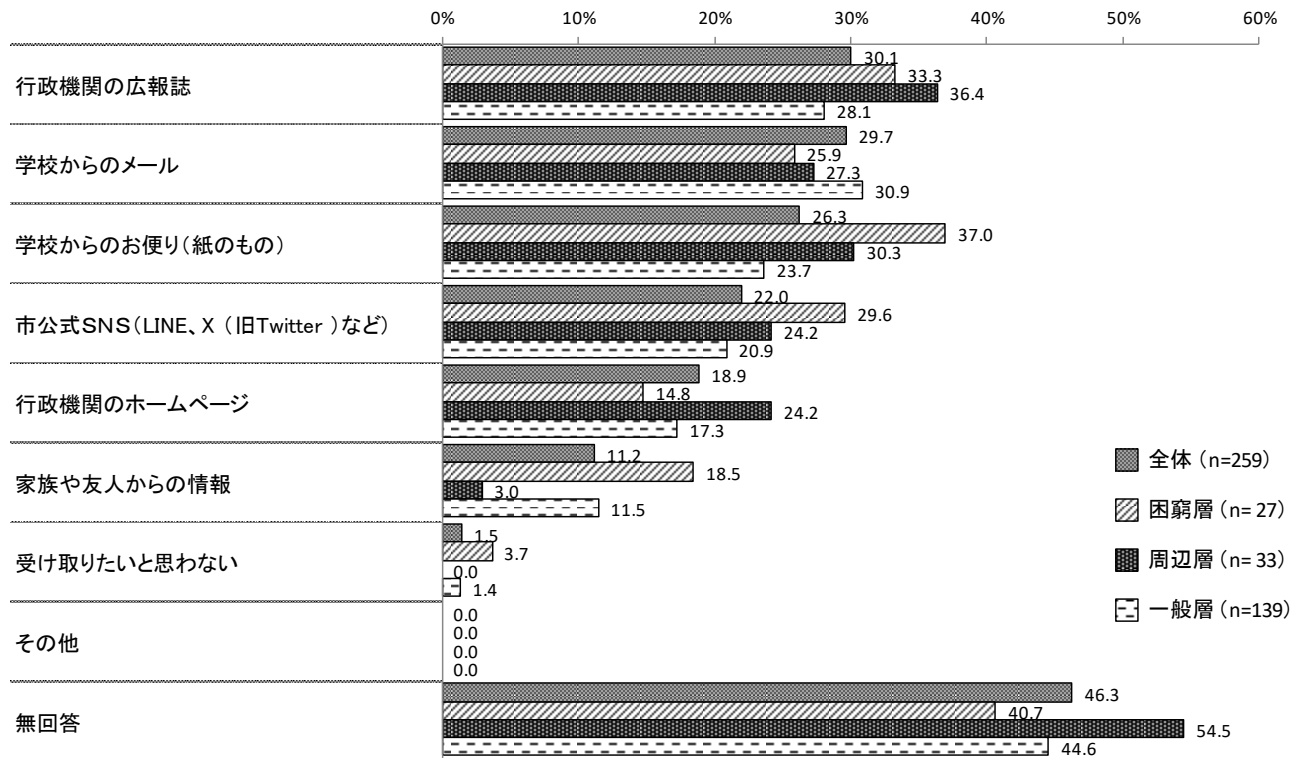
中学2年生の保護者に子どもに関する情報について、今後、受け取りたい方法を複数回答で聞いたところ、「学校からの郵便（紙のもの）」と回答した割合は、困窮層で 27.6%、周辺層で 37.3%、一般層で 28.4%となっています。「学校からのメール」と回答した割合は、困窮層で 25.9%、周辺層で 27.6%、一般層で 24.2%となっています。

図表 2-9-2-1-5 子どもに関する情報の今後、受け取りたい方法（複数回答）（中学2年生）
：生活困難度別



16～17歳の保護者に子どもに関する情報について、今後、受け取りたい方法を複数回答で聞いたところ、「行政機関の広報誌」と回答した割合は、困窮層で33.3%、周辺層で36.4%、一般層で28.1%となっています。「学校からのメール」と回答した割合は、困窮層で25.9%、周辺層で27.3%、一般層で30.9%となっています。

図表 2-9-2-1-6 子どもに関する情報の今後、受け取りたい方法（複数回答）（16～17歳）
：生活困難度別

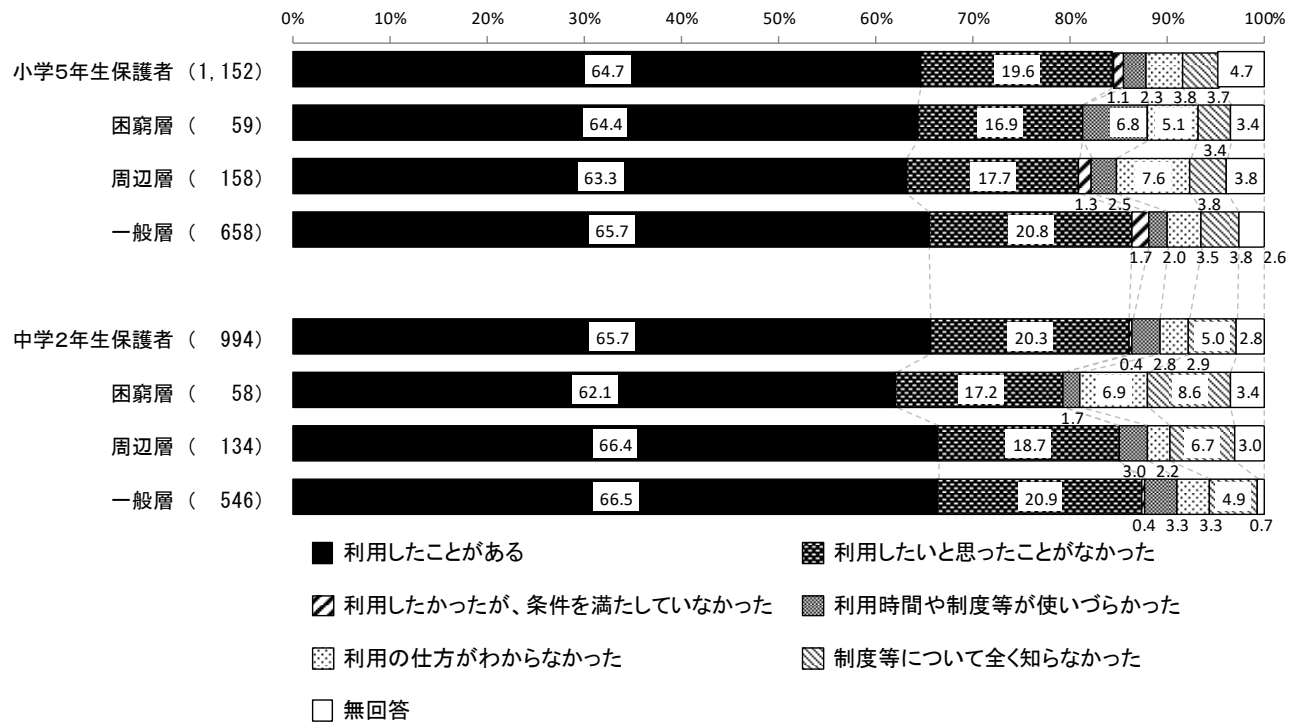


(2) 小中学生の子育て支援制度等の利用経験

①子育て支援施設

子育て支援施設（子育て支援センター、つどいの広場、わくわく広場等）について、「利用したことがある」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で64.4%、周辺層で63.3%、一般層で65.7%、中学2年生の困窮層で62.1%、周辺層で66.4%、一般層で66.5%となっています。

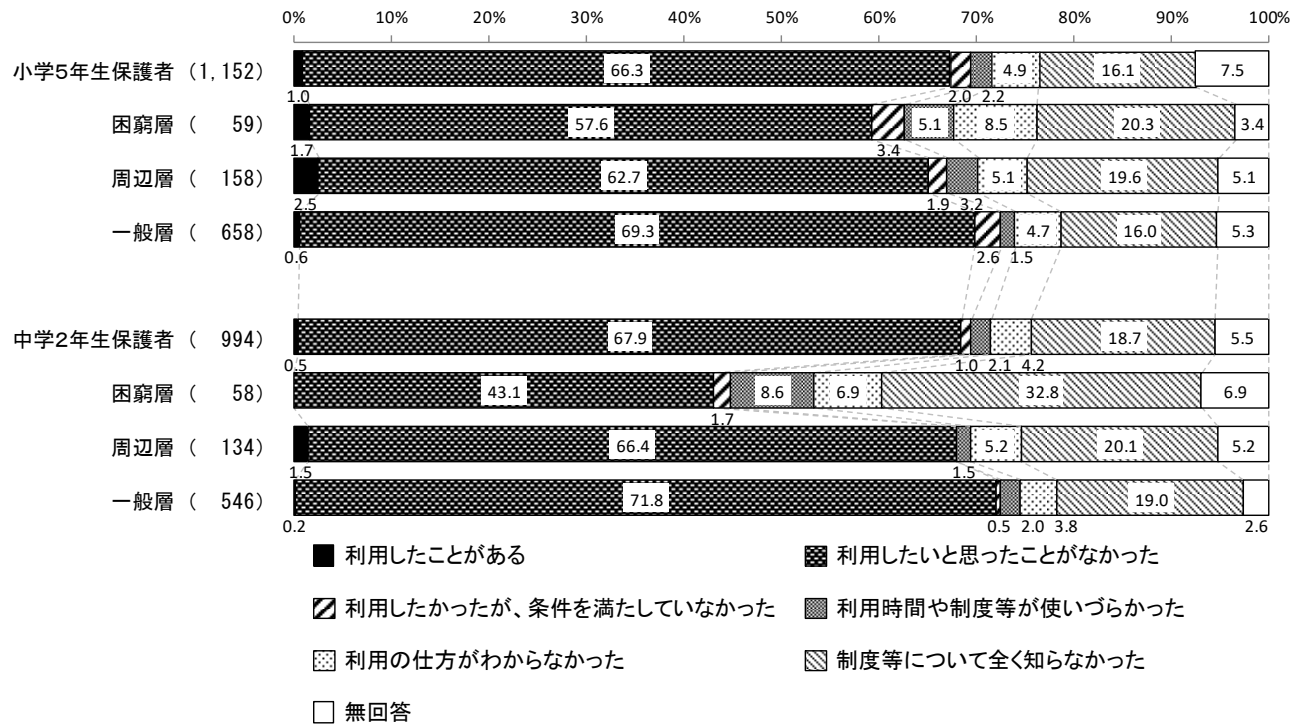
図表 2-9-2-2-1 子育て支援制度等の利用経験／子育て支援施設（子育て支援センター、つどいの広場、わくわく広場等）：生活困難度別



②ショートステイ

ショートステイについて、「利用したいと思ったことがなかった」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 57.6%、周辺層で 62.7%、一般層で 69.3%、中学2年生の困窮層で 43.1%、周辺層で 66.4%、一般層で 71.8%となっています。

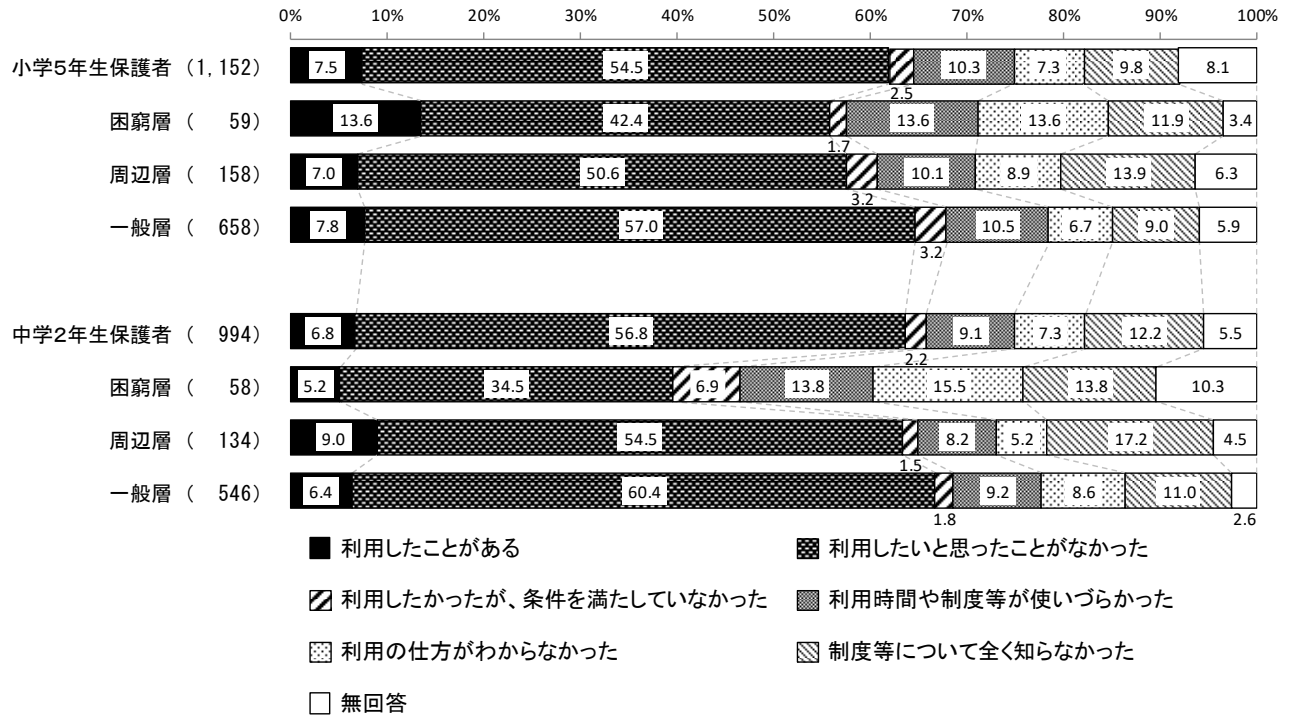
図表 2-9-2-2-2 子育て支援制度等の利用経験／ショートステイ：生活困難度別



③ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターについて、「利用したいと思ったことがなかった」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 42.4%、周辺層で 50.6%、一般層で 57.0%、中学2年生の困窮層で 34.5%、周辺層で 54.5%、一般層で 60.4%となっています。

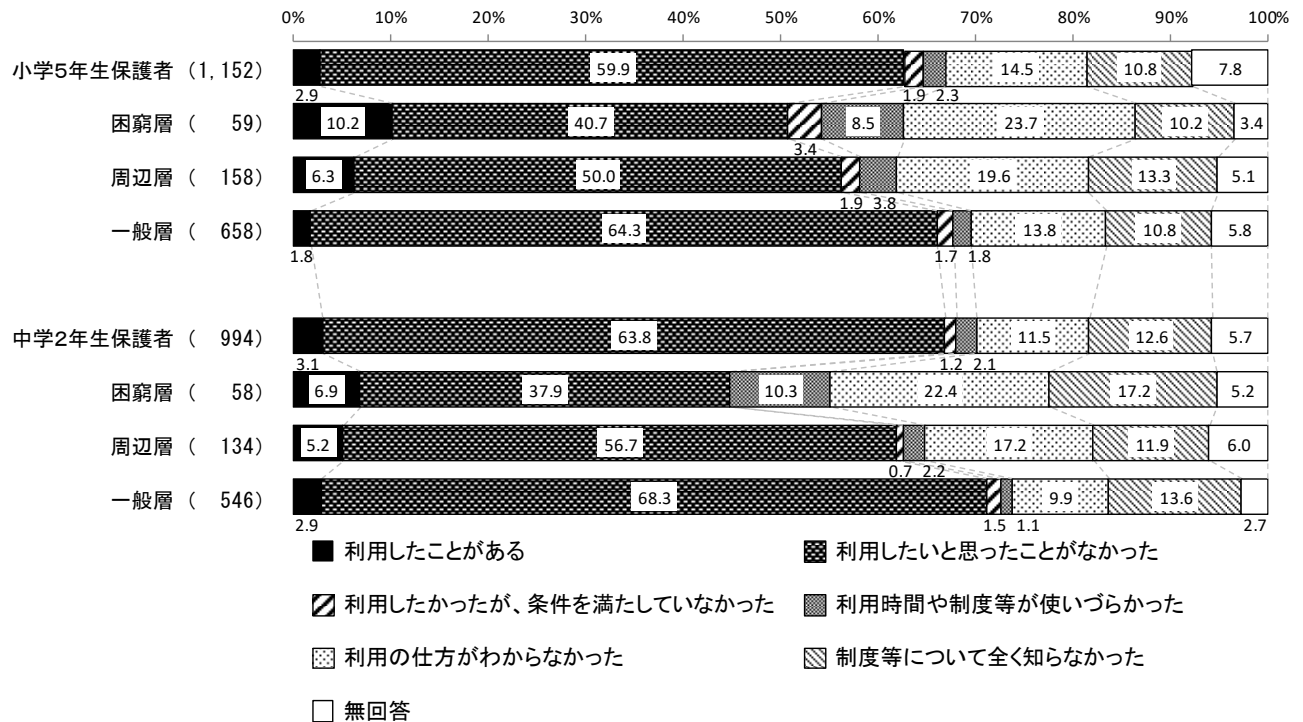
図表 2-9-2-2-3 子育て支援制度等の利用経験／ファミリー・サポート・センター：生活困難度別



④子ども食堂

子ども食堂について、「利用したいと思ったことがなかった」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で40.7%、周辺層で50.0%、一般層で64.3%、中学2年生の困窮層で37.9%、周辺層で56.7%、一般層で68.3%となっています。

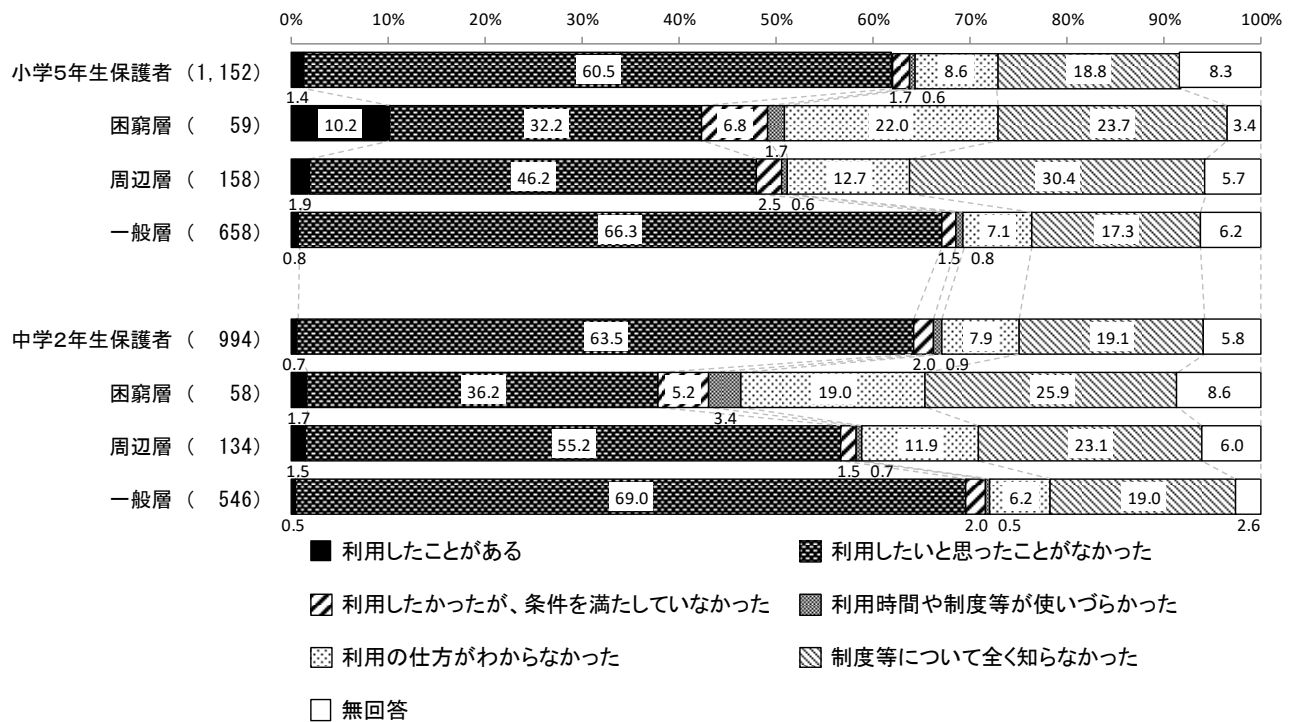
図表 2-9-2-2-4 子育て支援制度等の利用経験／子ども食堂：生活困難度別



⑤フードパントリーによる食糧支援

フードパントリーによる食糧支援について、「利用したいと思ったことがなかった」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 32.2%、周辺層で 46.2%、一般層で 66.3%、中学2年生の困窮層で 36.2%、周辺層で 55.2%、一般層で 69.0%となっています。

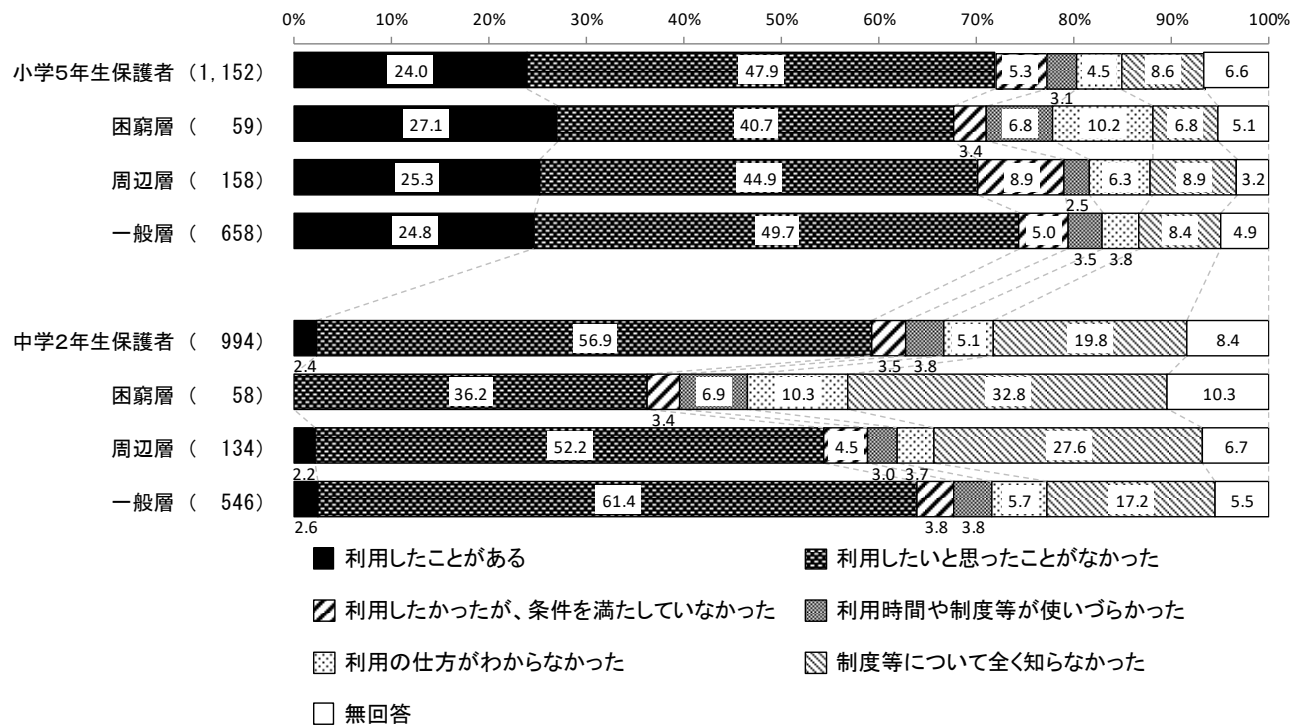
図表 2-9-2-2-5 子育て支援制度等の利用経験／フードパントリーによる食糧支援：生活困難度別



⑥小学高学年も利用できる児童館や放課後児童クラブ（学童保育）・中学生以上（卒業後）の子どもが自由に時間を過ごせる場所

小学高学年も利用できる児童館や放課後児童クラブ（学童保育）・中学生以上（卒業後）の子どもが自由に時間を過ごせる場所について、「利用したことがある」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 27.1%、周辺層で 25.3%、一般層で 24.8%、「利用したいと思ったことがなかった」と回答した割合は、中学2年生の困窮層で 36.2%、周辺層で 52.2%、一般層で 61.4%となっています。

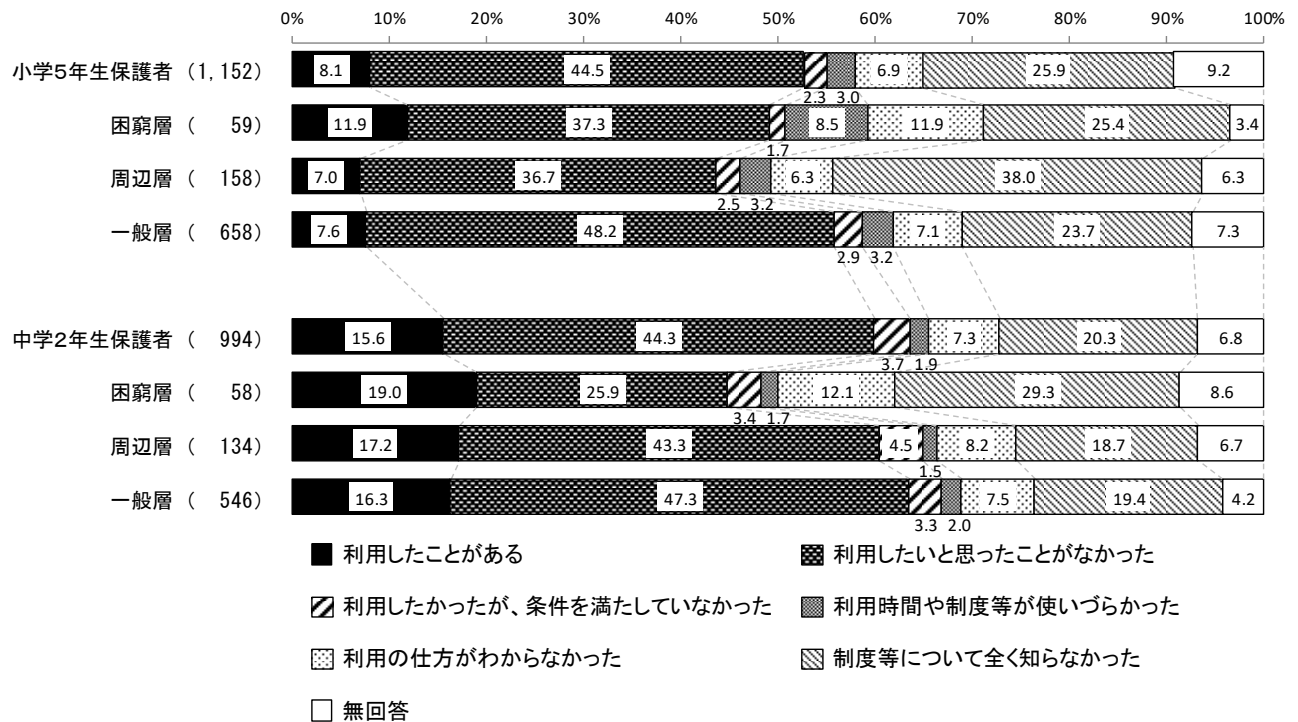
図表 2-9-2-2-6 子育て支援制度の等の利用経験／小学高学年も利用できる児童館や放課後児童クラブ：生活困難度別



⑦学校が実施する補講（夏休みなど）

学校が実施する補講（夏休みなど）について、「利用したいと思ったことがなかった」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で37.3%、周辺層で36.7%、一般層で48.2%、中学2年生の困窮層で25.9%、周辺層で43.3%、一般層で47.3%となっています。

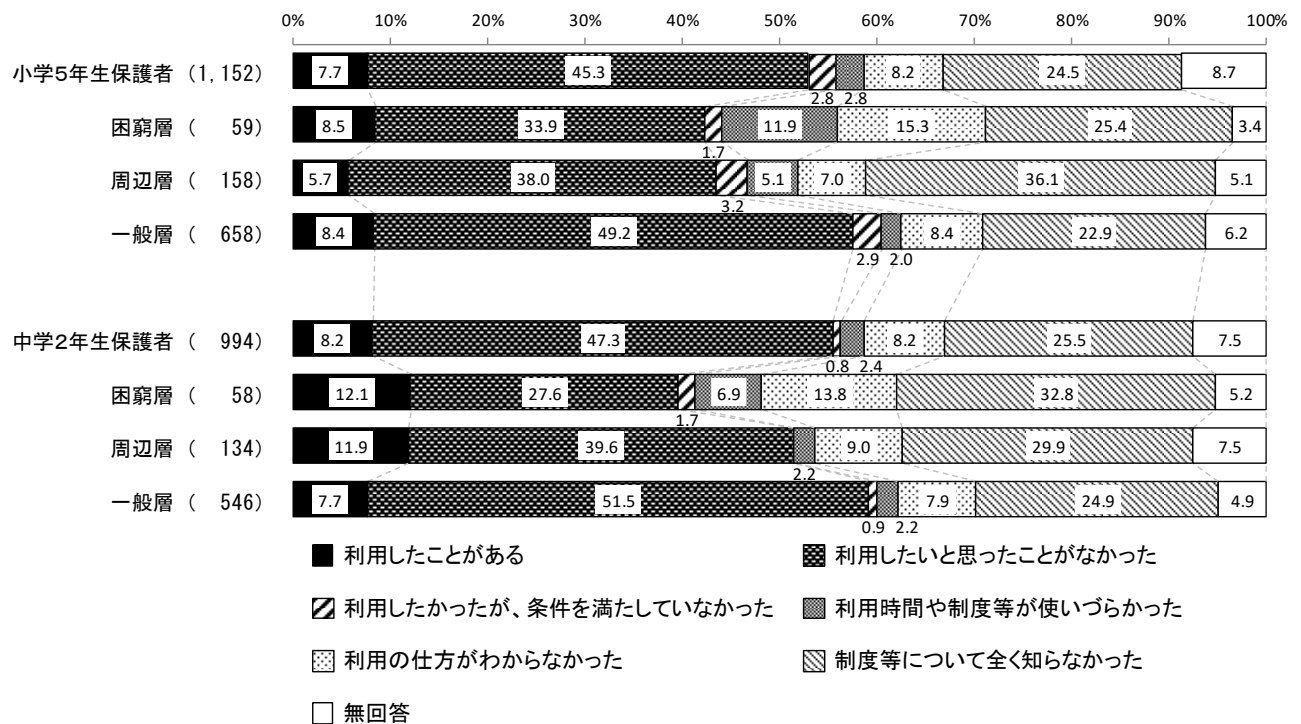
図表 2-9-2-2-7 子育て支援制度の等の利用経験／学校が実施する補講（夏休みなど）
：生活困難度別



⑧学校以外が実施する学習支援

学校以外が実施する学習支援について、「利用したいと思ったことがなかった」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で33.9%、周辺層で38.0%、一般層で49.2%、中学2年生の困窮層で27.6%、周辺層で39.6%、一般層で51.5%となっています。

図表 2-9-2-2-8 子育て支援制度等の利用経験／学校以外が実施する学習支援：生活困難度別

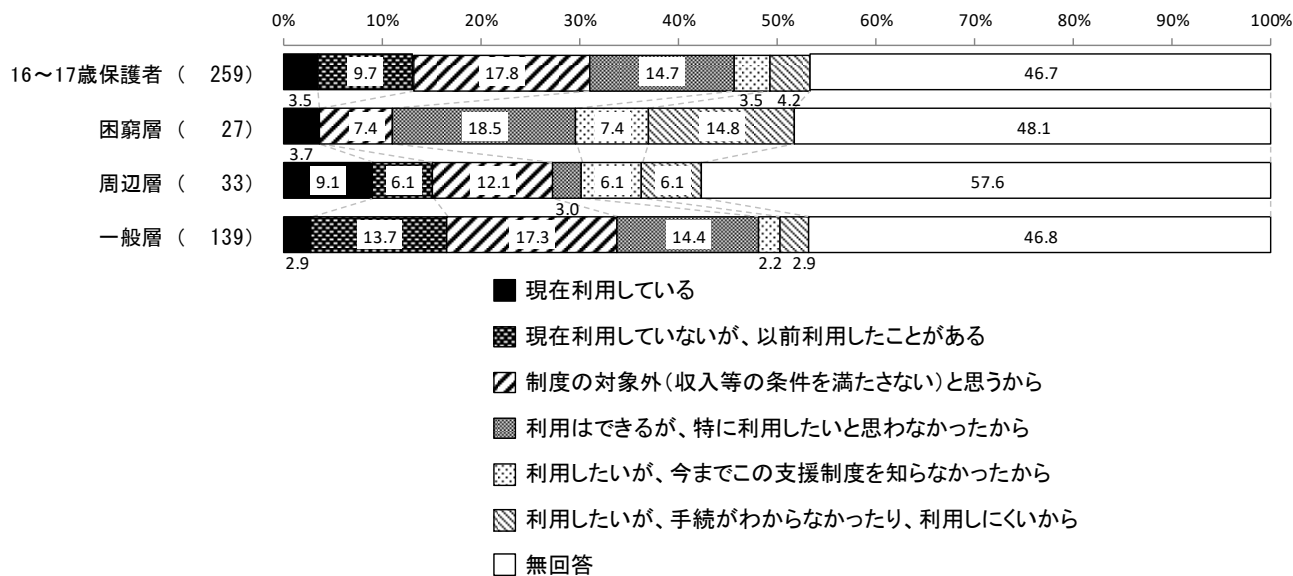


(3) 16～17歳の子育て支援制度等の利用経験と今後の利用意向

①（学校以外で）子どもについて、何でも相談できる場所

（学校以外で）子どもについて、何でも相談できる場所について、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」と回答した割合は、困窮層で 18.5%、周辺層で 3.0%、一般層で 14.4% となっています。また、「現在利用している」と「現在利用していないが、以前利用したことがある」を合わせた現在・過去の利用実績をみると、周辺層が 15.2%と一般層が 16.6%なのに対し、困窮層では 3.7%とあきらかな差異がみられます。

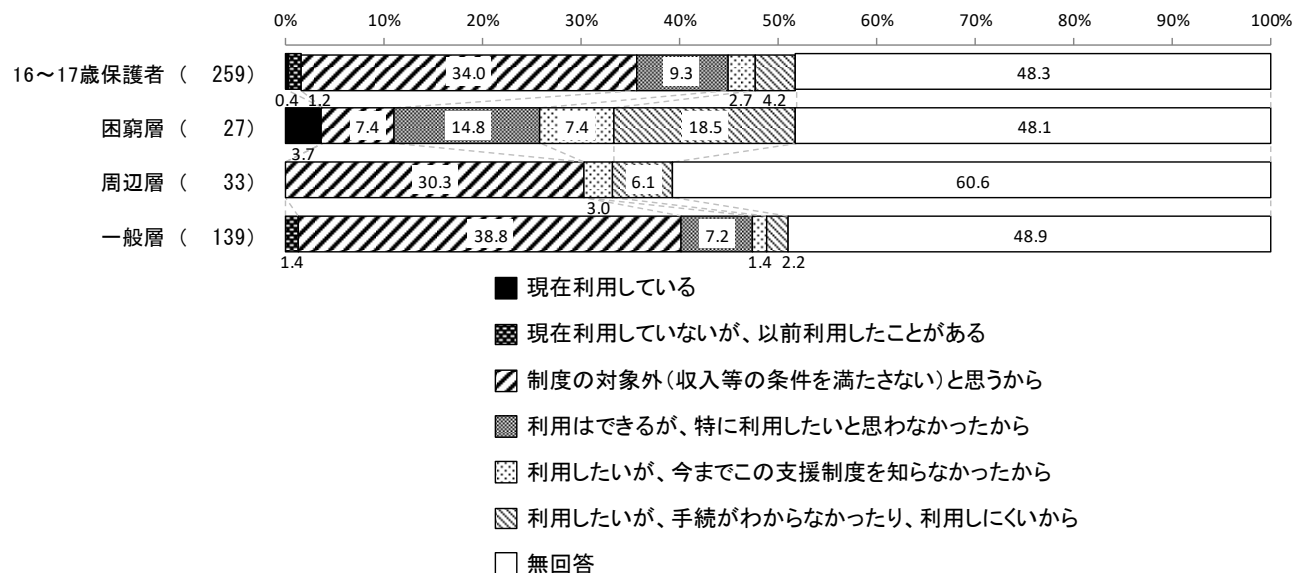
図表 2-9-2-3-1 子育て支援制度等の利用経験／（学校以外で）子どもについて、何でも相談できる場所：生活困難度別



②子ども食堂

子ども食堂について、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）と思うから」と回答した割合は、周辺層が 30.3%と一般層が 38.8%なのに対し、困窮層は 7.4%と比較的低くなっています。逆に「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」は、周辺層が 6.1%と一般層が 2.2%なのに対し、困窮層は 18.5%と比較的高くなっています。

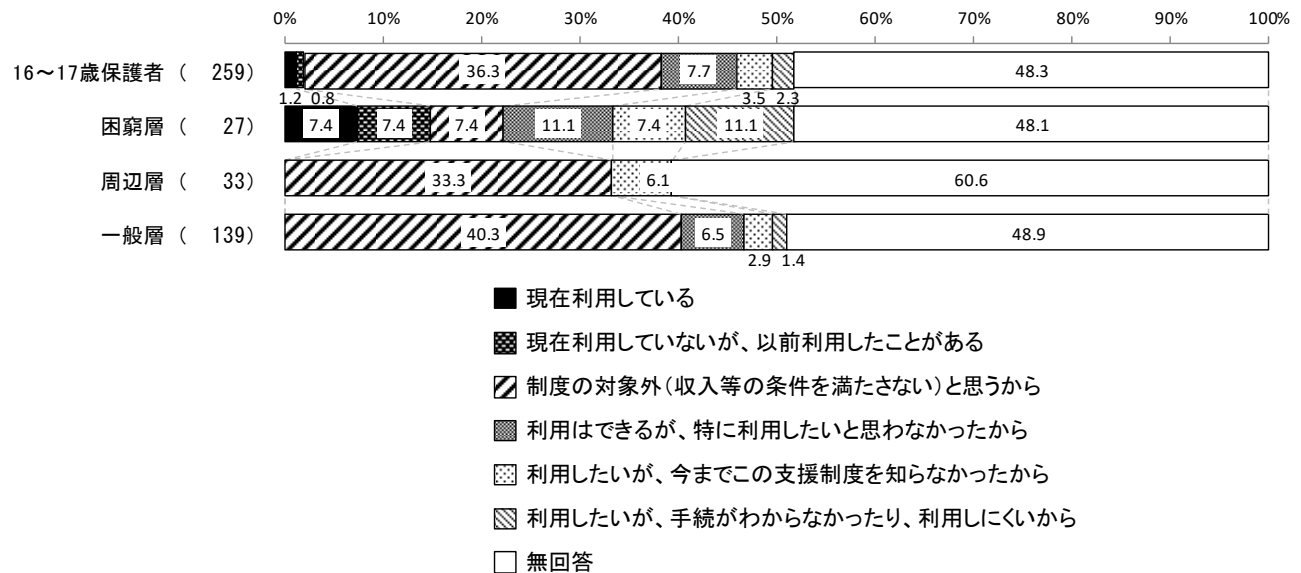
図表 2-9-2-3-2 子育て支援制度等の利用経験／子ども食堂：生活困難度別



③フードバンクによる食糧支援

フードバンクによる食糧支援について、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）と思うから」と回答した割合は、周辺層が 33.3%と一般層が 40.3%なのに対し、困窮層は 7.4%と比較的低くなっています。その一方で困窮層では「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が 11.1%と比較的高くなっています。

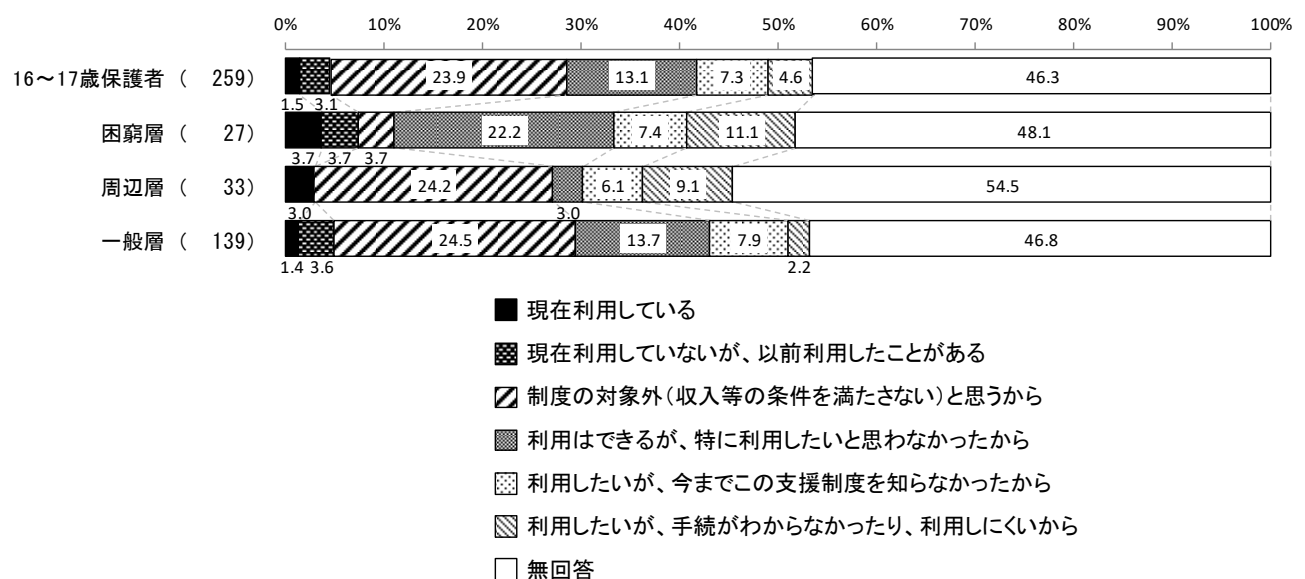
図表 2-9-2-3-3 子育て支援制度等の利用経験／フードバンクによる食糧支援：生活困難度別



④中学校卒業後の子どもが自由に時間を過ごせる場所（公共施設など）

中学校卒業後の子どもが自由に時間を過ごせる場所（公共施設など）について、「現在利用している」と「現在利用していないが、以前利用したことがある」を合わせた現在・過去の利用実績をみると、困窮層で 7.4%、周辺層で 3.0%、一般層で 5.0%となっています。

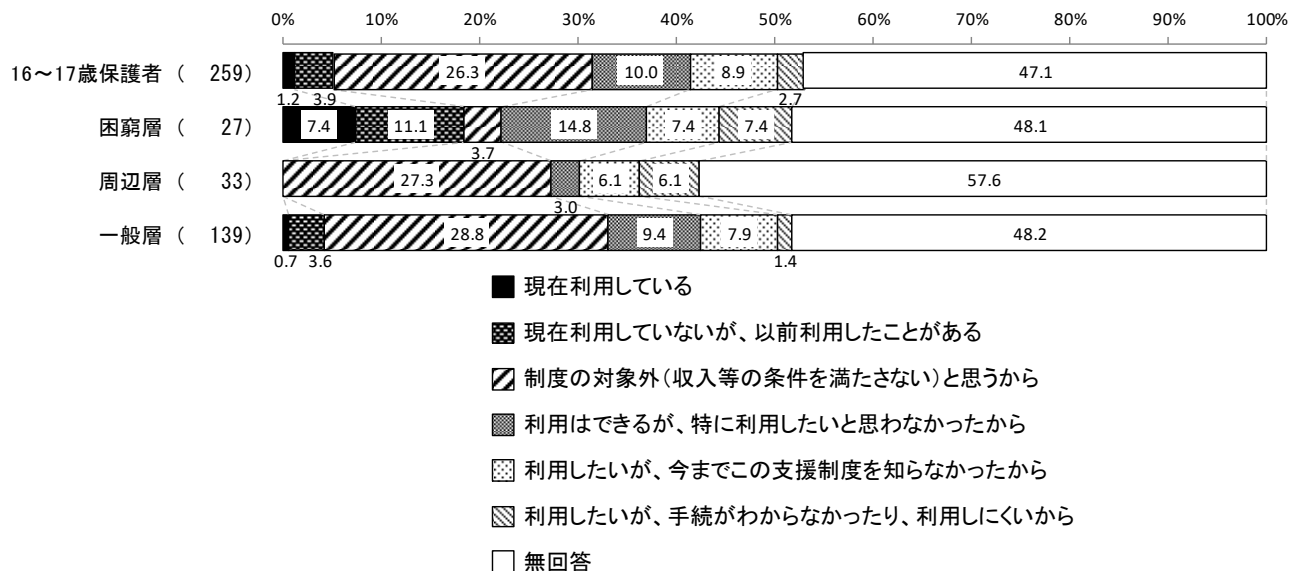
図表 2-9-2-3-4 子育て支援制度等の利用経験／中学校卒業後の子どもが自由に時間を過ごせる場所（公共施設など）：生活困難度別



⑤学校以外が実施する学習支援

学校以外が実施する学習支援について、「現在利用している」と「現在利用していないが、以前利用したことがある」を合わせた現在・過去の利用実績をみると、周辺層で 0.0%と一般層で 4.3%なのに対し、困窮層では 18.5%と比較的高くなっています。

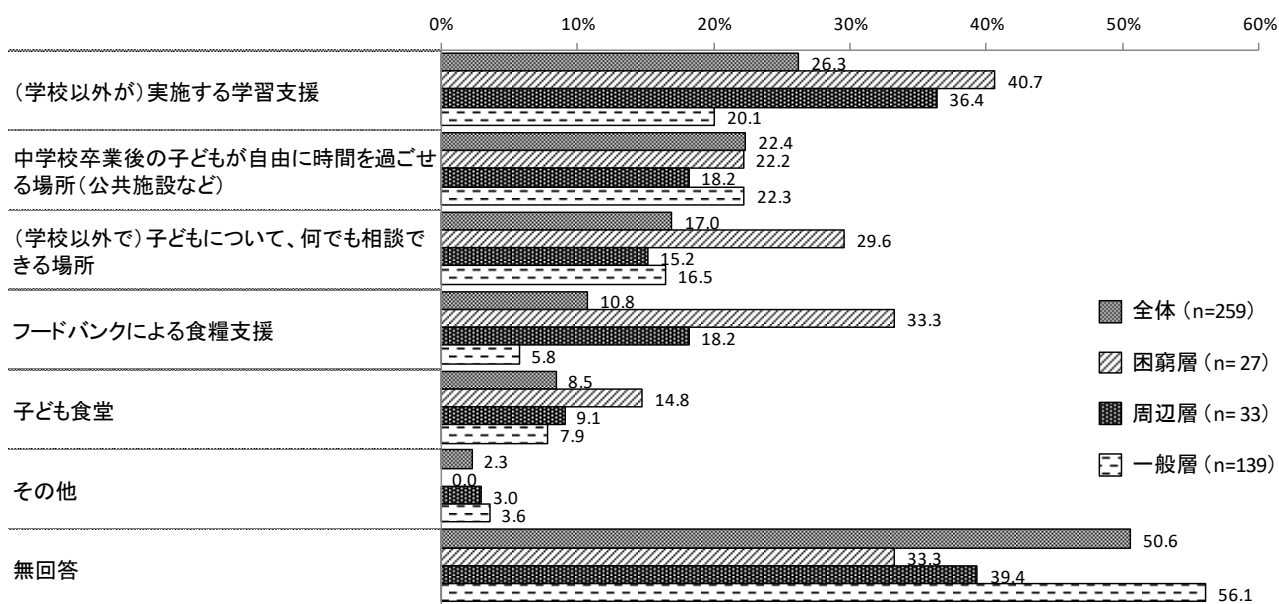
図表 2-9-2-3-5 子育て支援制度等の利用経験／学校以外が実施する学習支援：生活困難度別



⑥今後の支援制度の利用意向

16～17歳の保護者に今後の支援制度の利用意向について複数回答で聞いたところ、「(学校以外が)実施する学習支援」と回答した割合は、困窮層で 40.7%、周辺層で 36.4%、一般層で 20.1%となっています。「(学校以外で)子どもについて、何でも相談できる場所」と回答した割合は、困窮層で 29.6%、周辺層で 15.2%、一般層で 16.5%となっています。どちらも困窮層が比較的高くなっています。

図表 2-9-2-3-6 今後の支援制度の利用意向：生活困難度別

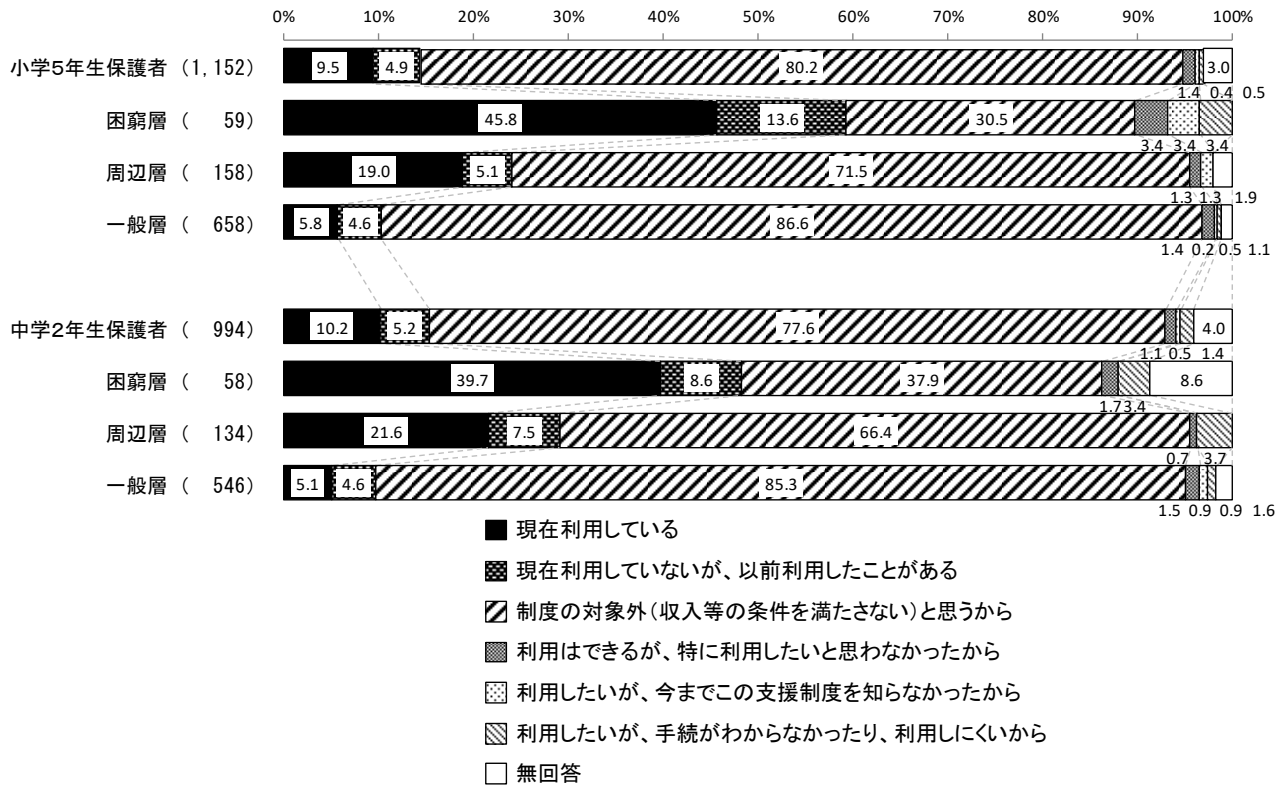


(4) 経済的支援の利用経験

①就学援助

就学援助の利用状況について、「現在利用している」と「現在利用していないが、以前利用したことがある」を合わせた現在・過去の利用実績をみると、小学5年生の困窮層で 59.4%、周辺層で 24.1%、一般層で 10.4%、中学2年生の困窮層で 48.3%、周辺層で 29.1%、一般層で 9.7%となっています。層別で大きな差異がみられます。

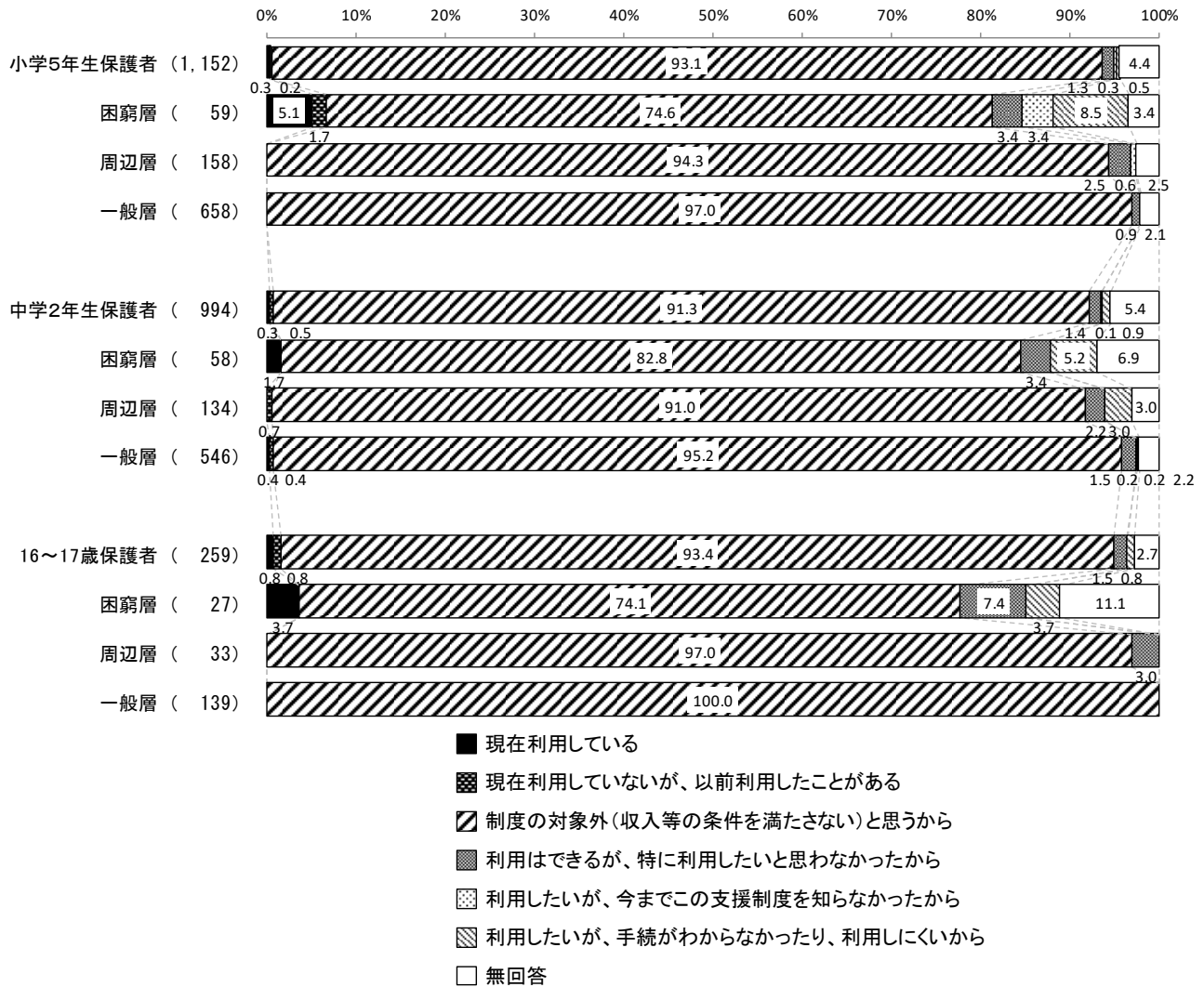
図表 2-9-2-4-1 支援制度等の利用状況／就学援助：生活困難度別



②生活保護

生活保護の利用状況について、「現在利用している」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で5.1%、中学2年生の困窮層で1.7%、16～17歳の困窮層で3.7%となっています。

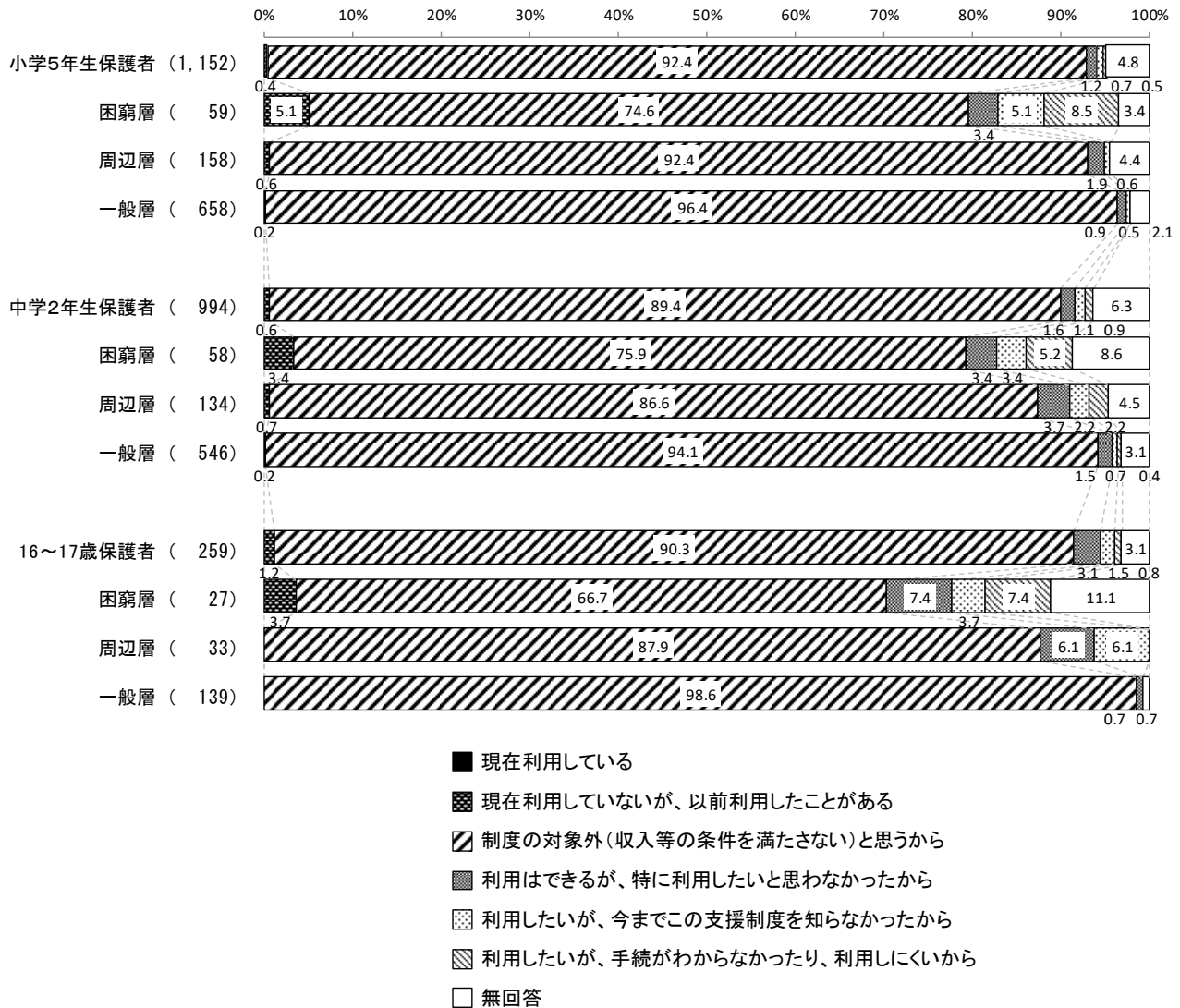
図表 2-9-2-4-2 支援制度等の利用状況／生活保護：生活困難度別



③生活福祉資金

生活福祉資金の利用状況について、すべての年代と層で「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）と思うから」と回答した割合が、過半数となりかなり高くなっていますが、各年代とも困窮層では若干低くなっています。

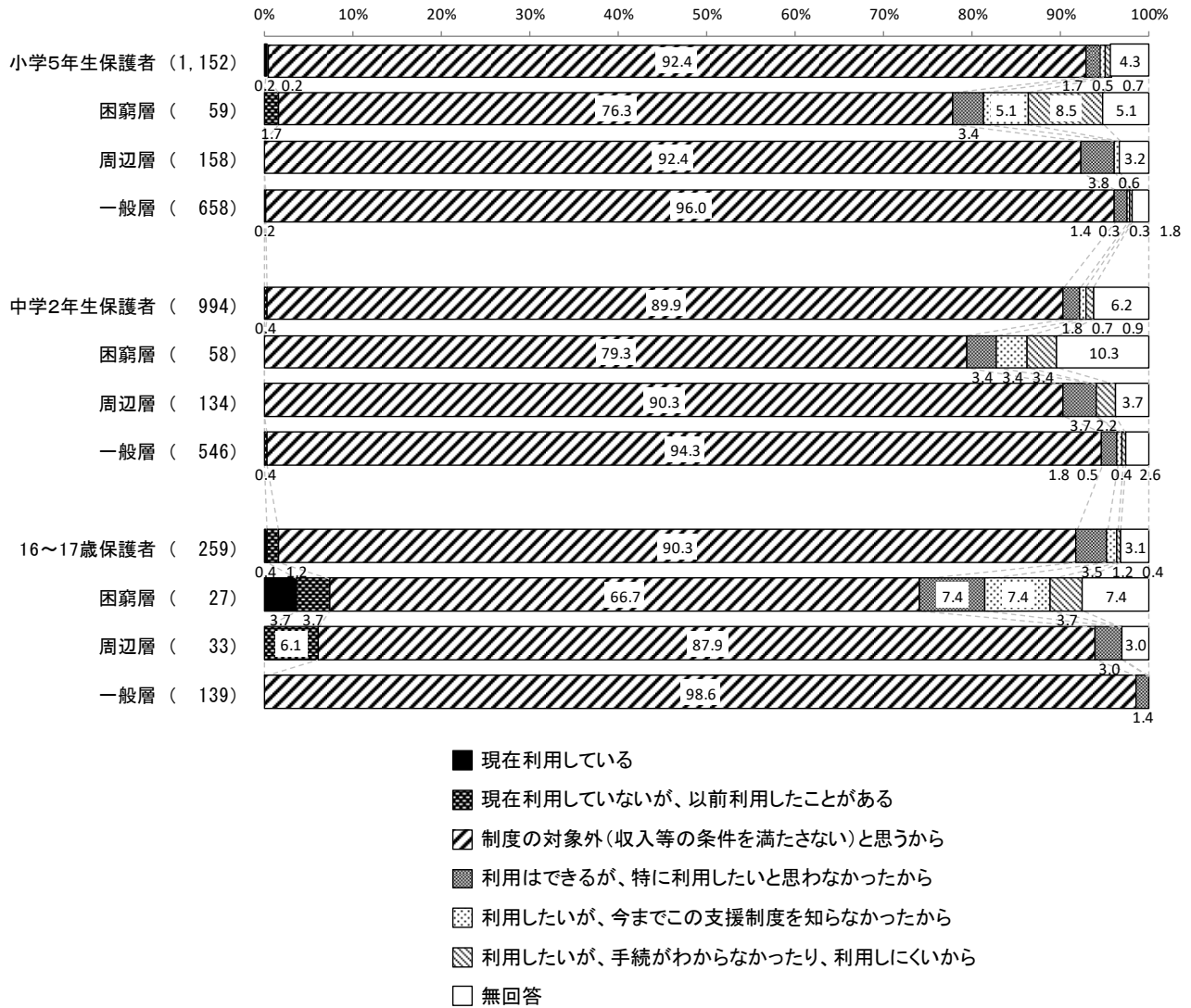
図表 2-9-2-4-3 支援制度等の利用状況／生活福祉資金：生活困難度別



④母子父子寡婦福祉資金

母子父子寡婦福祉資金の利用状況について、すべての年代と層で「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）と思うから」と回答した割合が、過半数となりかなり高くなっていますが、各年代とも困窮層では若干低くなっています。

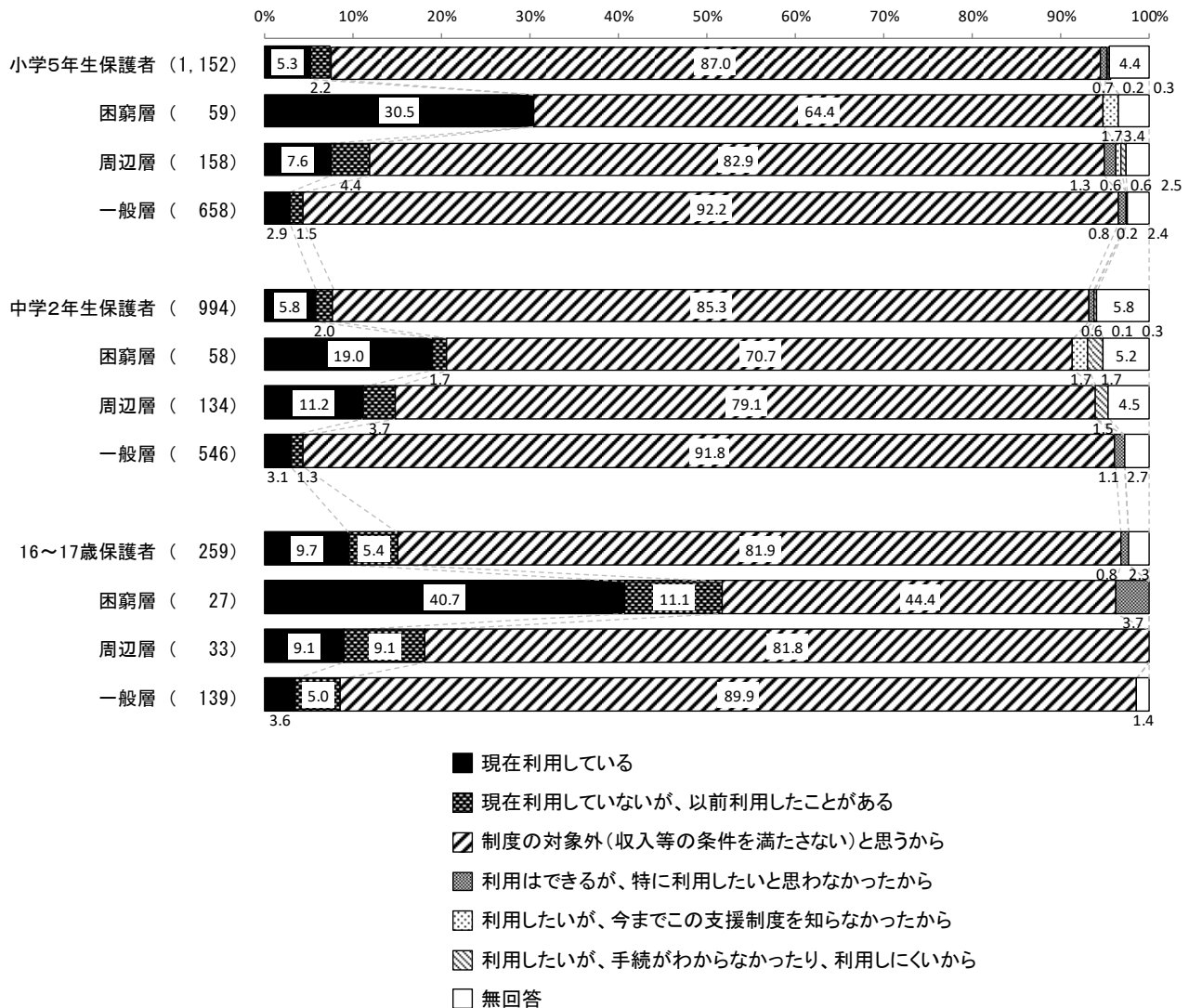
図表 2-9-2-4-4 支援制度等の利用状況／母子父子寡婦福祉資金：生活困難度別



⑤児童扶養手当

児童扶養手当の利用状況について、「現在利用している」と「現在利用していないが、以前利用したことがある」を合わせた現在・過去の利用実績をみると、小学5年生の困窮層で 30.5%、周辺層で 12.0%、一般層で 4.4%、中学2年生の困窮層で 20.7%、周辺層で 14.9%、一般層で 4.4%、16～17歳の困窮層で 51.8%、周辺層で 18.2%、一般層で 8.6%となっています。層別で大きな差異がみられます。

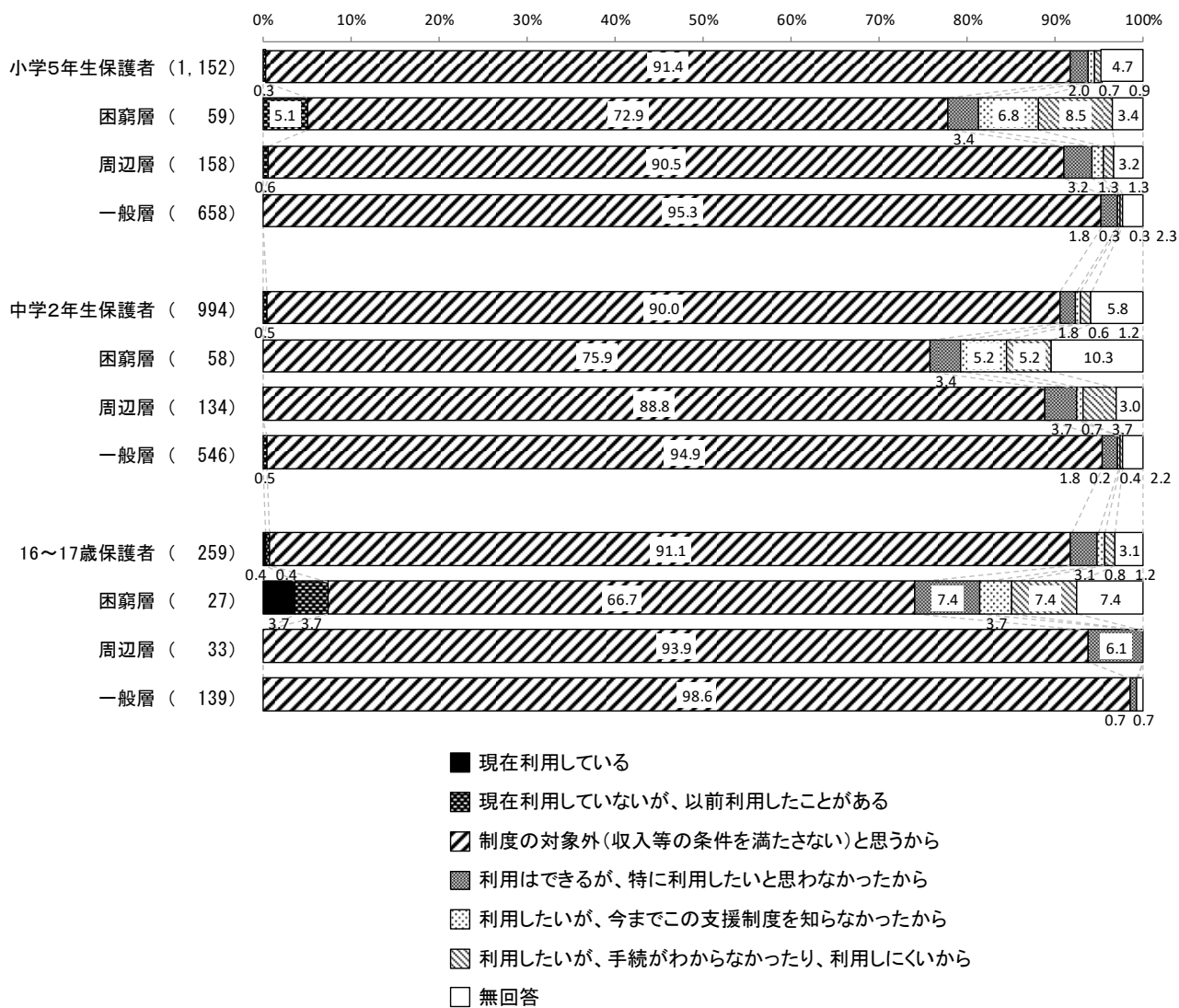
図表 2-9-2-4-5 支援制度等の利用状況／児童扶養手当：生活困難度別



⑥生活困窮者の自立支援相談窓口

生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況について、すべての年代と層で「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）と思うから」と回答した割合が、過半数となりかなり高くなっています。「現在利用している」と「現在利用していないが、以前利用したことがある」を合わせた現在・過去の利用実績をみると、小学5年生の困窮層で5.1%、16～17歳の困窮層で7.4%となっています。

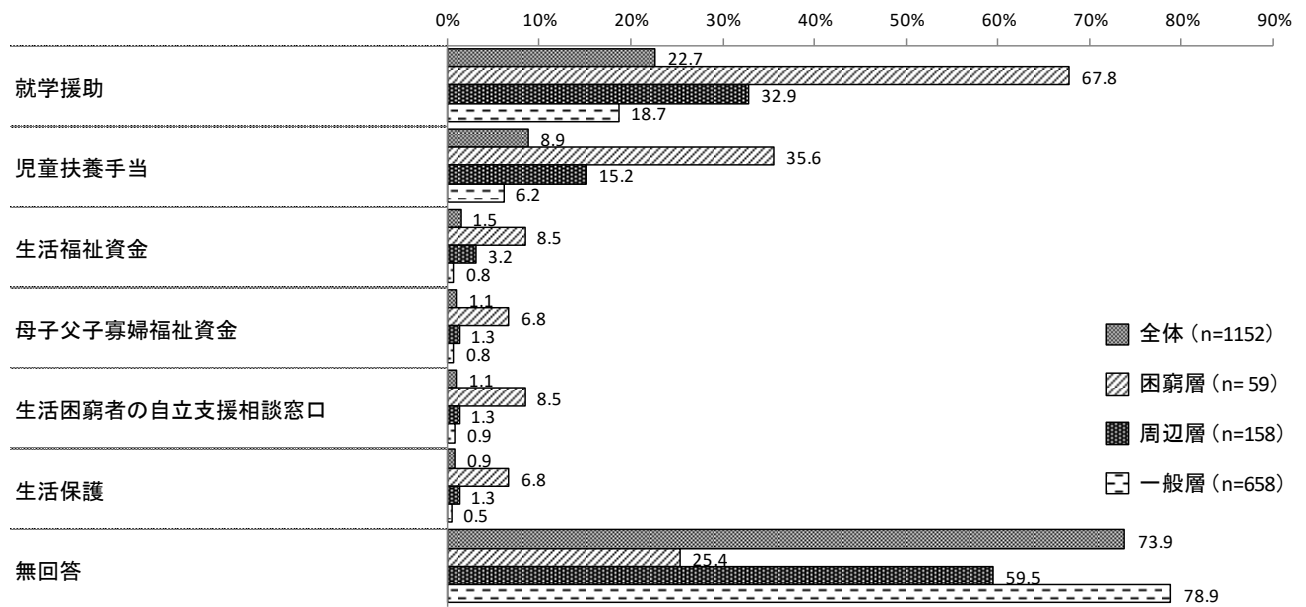
図表 2-9-2-4-6 支援制度等の利用状況／生活困窮者の自立支援相談窓口：生活困難度別



(5) 支援制度等の今後の利用意向

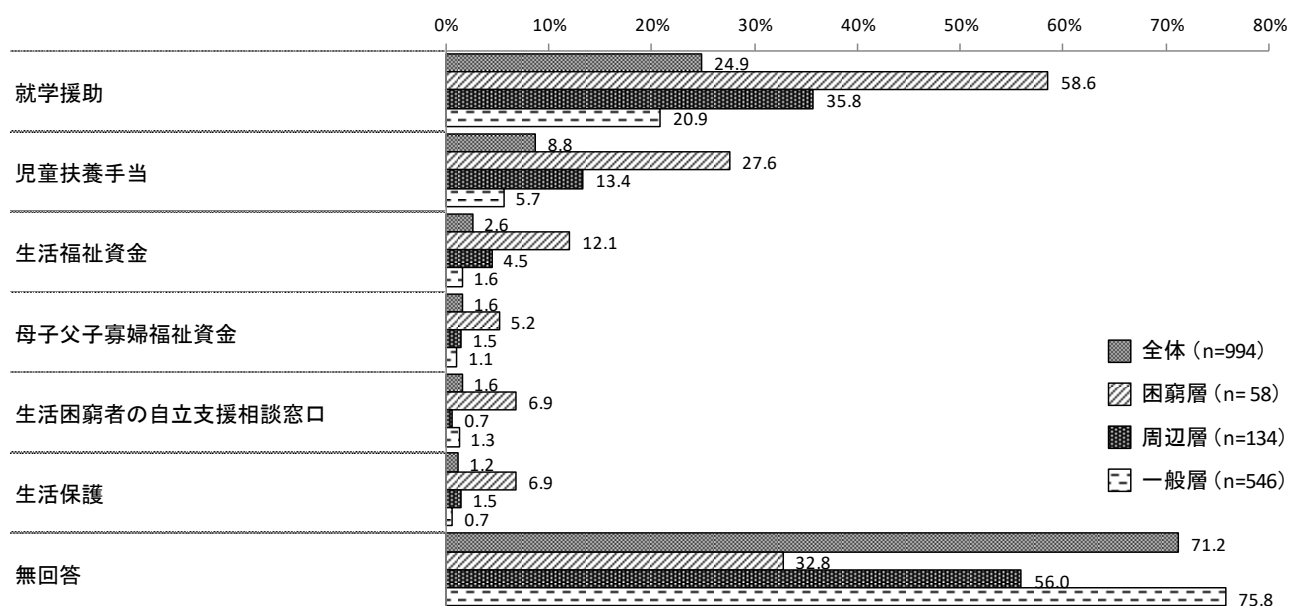
小学5年生の保護者に支援制度等の今後の利用意向について複数回答で聞いたところ、「就学援助」と回答した割合は、困窮層で 67.8%、周辺層で 32.9%、一般層で 18.7%となっています。「児童扶養手当」と回答した割合は、困窮層で 35.6%、周辺層で 15.2%、一般層で 6.2%となっています。層別で大きな差異がみられます。

図表 2-9-2-5-1 支援制度等の今後の利用意向（複数回答）（小学5年生）：生活困難度別



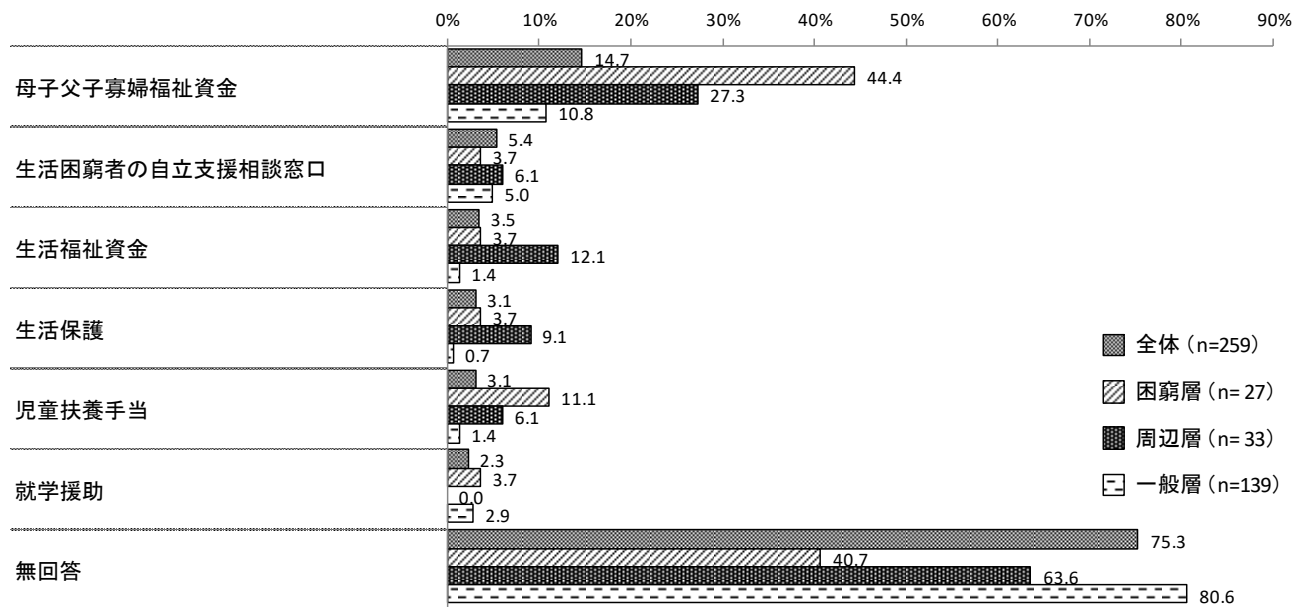
中学2年生の保護者に支援制度等の今後の利用意向について複数回答で聞いたところ、「就学援助」と回答した割合は、困窮層で 58.6%、周辺層で 35.8%、一般層で 20.9%となっています。「児童扶養手当」と回答した割合は、困窮層で 27.6%、周辺層で 13.4%、一般層で 5.7%となっています。層別で大きな差異がみられます。

図表 2-9-2-5-2 支援制度等の今後の利用意向（複数回答）（中学2年生）：生活困難度別



16～17歳の保護者に支援制度等の今後の利用意向について複数回答で聞いたところ、「母子父子寡婦福祉資金」と回答した割合は、困窮層で44.4%、周辺層で27.3%、一般層で10.8%となっています。「生活困窮者の自立支援相談窓口」と回答した割合は、困窮層で3.7%、周辺層で6.1%、一般層で5.0%となっています。

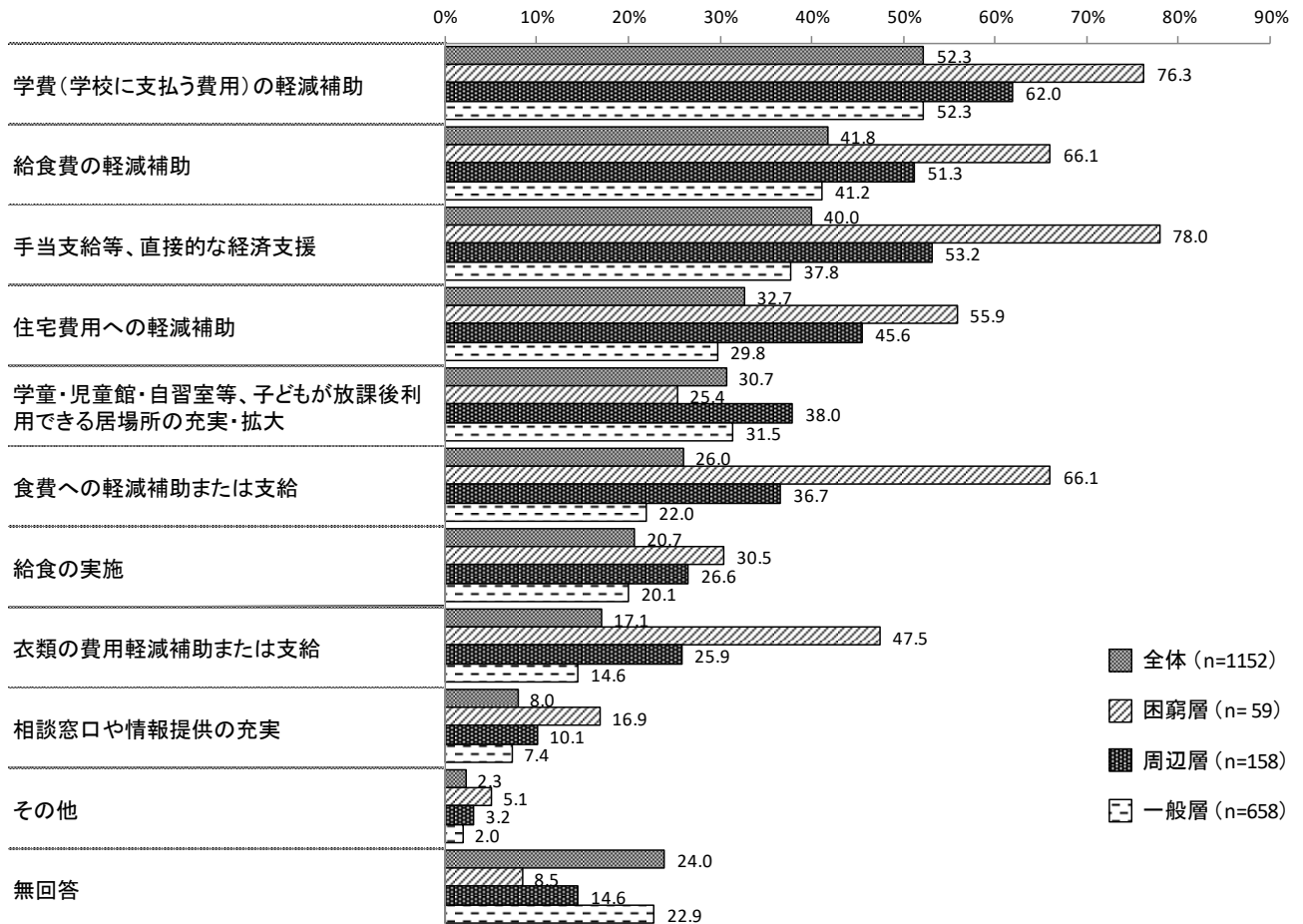
図表 2-9-2-5-3 支援制度等の今後の利用意向（複数回答）（16～17歳）：生活困難度別



(6) その他の支援等の利用意向

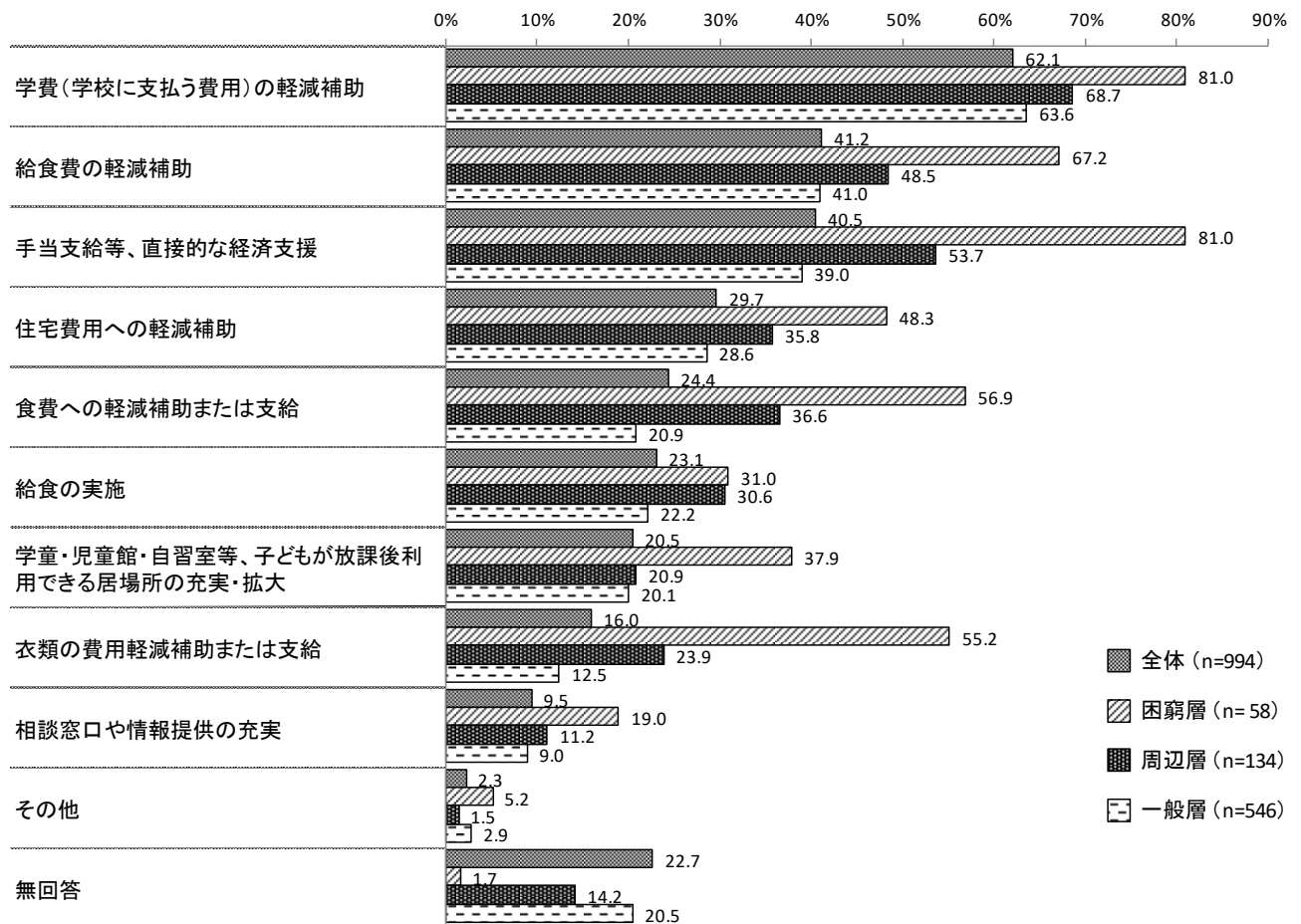
小学5年生の保護者にその他の支援等の利用意向について複数回答で聞いたところ、「学費（学校に支払う費用）の軽減補助」と回答した割合は、困窮層で76.3%、周辺層で62.0%、一般層で52.3%となっています。「給食費の軽減補助」と回答した割合は、困窮層で66.1%、周辺層で51.3%、一般層で41.2%となっています。

図表 2-9-2-6-1 その他の支援等の利用意向（複数回答）（小学5年生）：生活困難度別



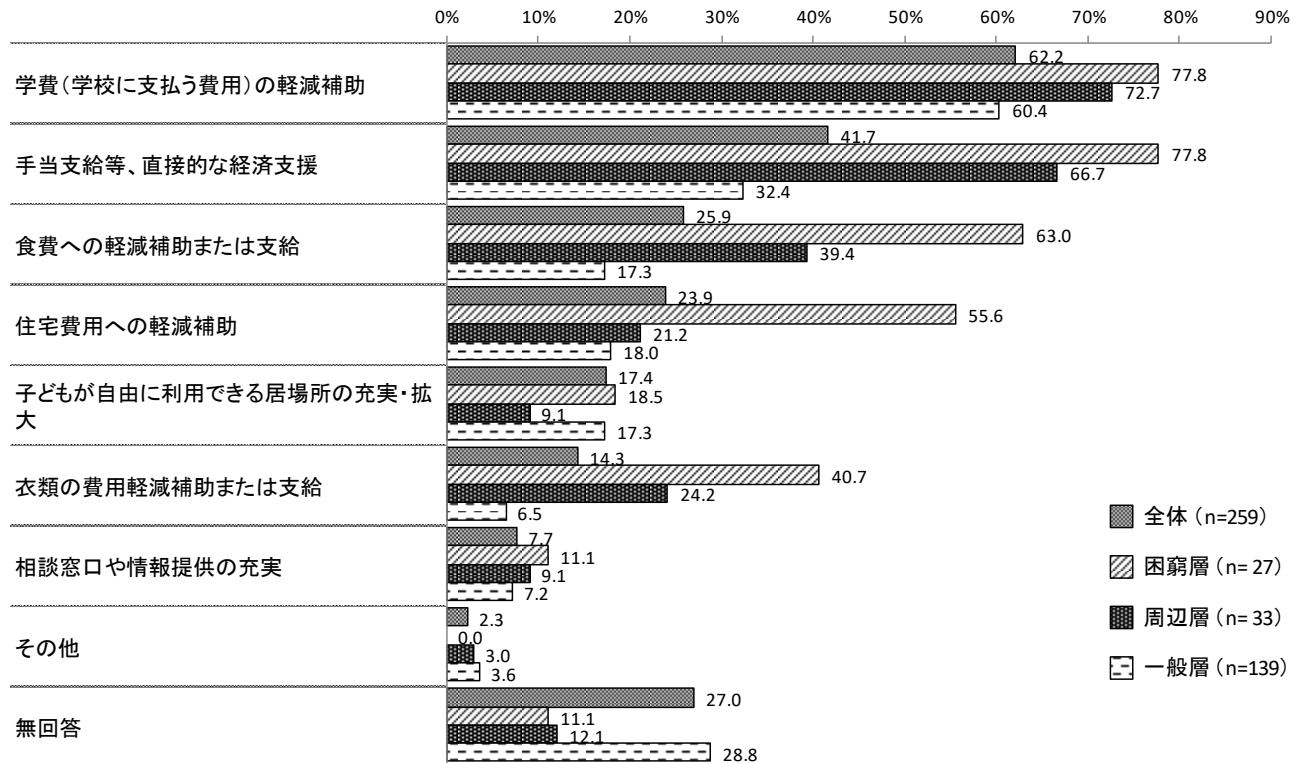
中学2年生の保護者にその他の支援等の利用意向について複数回答で聞いたところ、「学費（学校に支払う費用）の軽減補助」と回答した割合は、困窮層で81.0%、周辺層で68.7%、一般層で63.6%となっています。「給食費の軽減補助」と回答した割合は、困窮層で67.2%、周辺層で48.5%、一般層で41.0%となっています。

図表 2-9-2-6-2 その他の支援等の利用意向（複数回答）（中学2年生）：生活困難度別



16～17歳の保護者にその他の支援等の利用意向について複数回答で聞いたところ、「学費（学校に支払う費用）の軽減補助」と回答した割合は、困窮層で77.8%、周辺層で72.7%、一般層で60.4%となっています。「手当支給等、直接的な経済支援」と回答した割合は、困窮層で77.8%、周辺層で66.7%、一般層で32.4%となっています。

図表 2-9-2-6-3 その他の支援等の利用意向（複数回答）（16～17歳）：生活困難度別



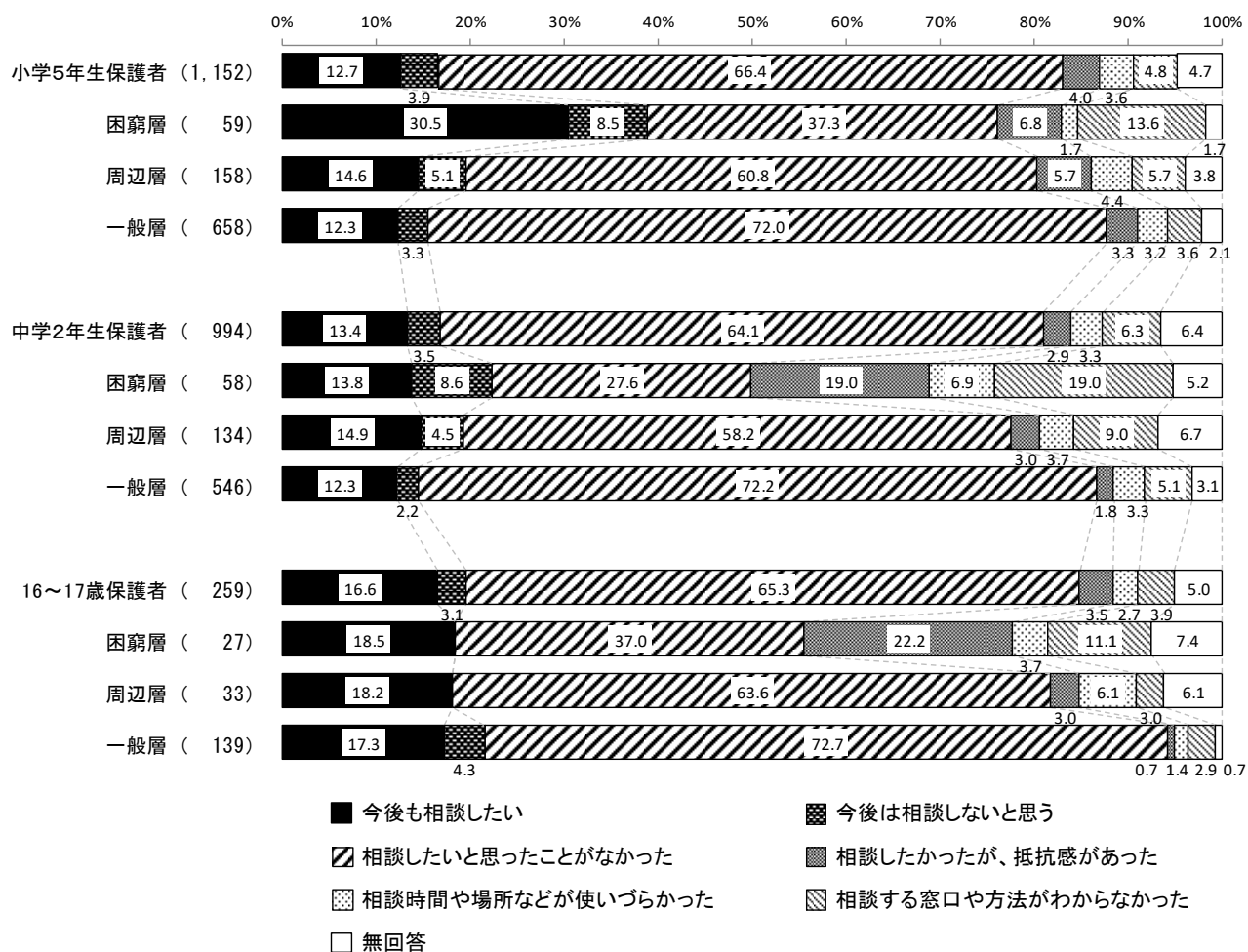
3. 相談窓口の利用状況

(1) 公的相談機関の利用経験

①市役所の窓口

市役所の窓口について、すべての年代と層で「相談したいと思ったことがなかった」が最も高くなっています。「今後も相談したい」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で30.5%、周辺層で14.6%、一般層で12.3%、中学2年生の困窮層で13.8%、周辺層で14.9%、一般層で12.3%、16～17歳の困窮層で18.5%、周辺層で18.2%、一般層で17.3%となっています。「相談したかったが、抵抗感があった」と回答した割合は、中学2年生の困窮層で19.0%、16～17歳の困窮層で22.2%と比較的高くなっています。

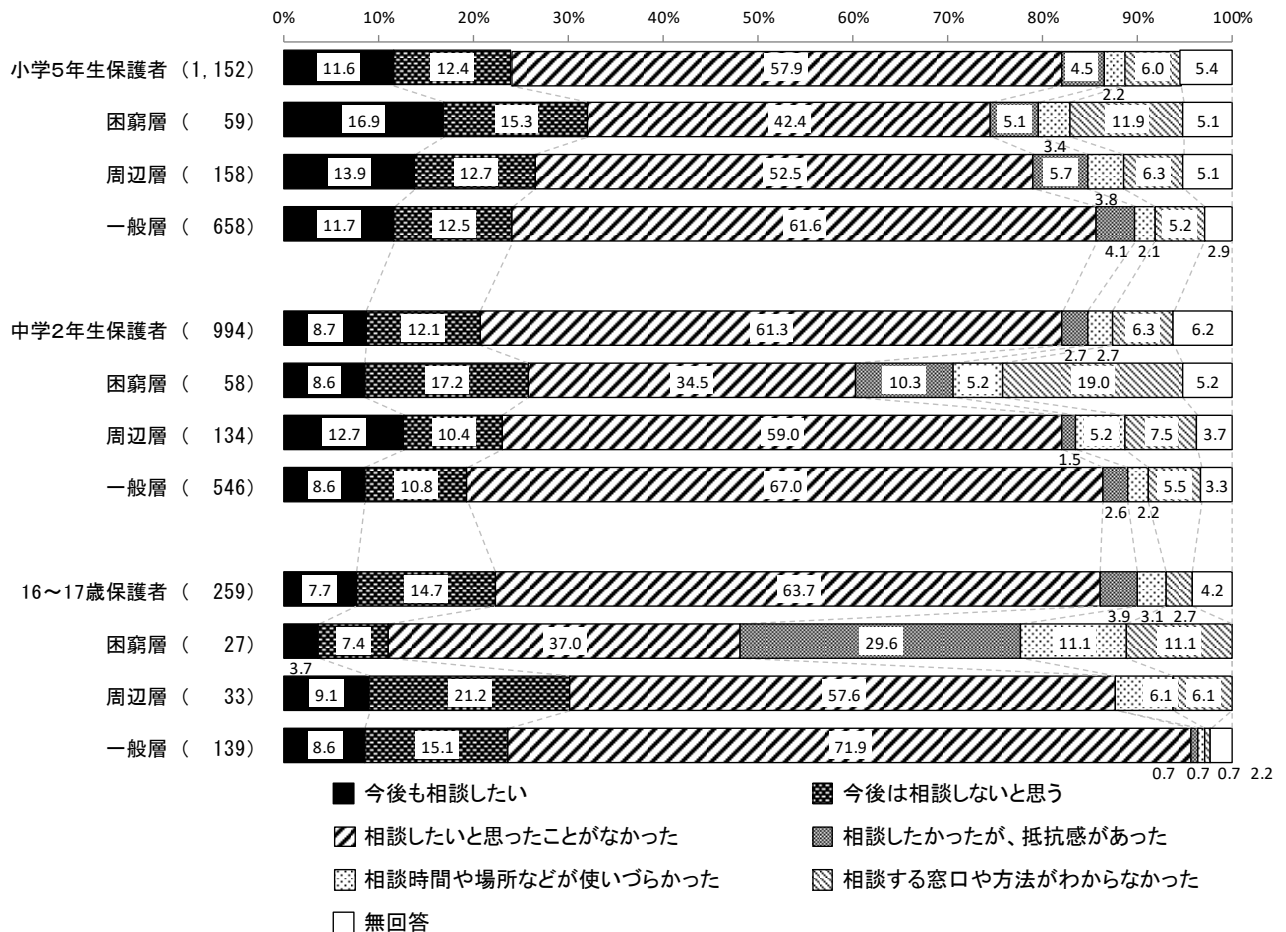
図表 2-9-3-1 公的相談機関の利用経験／市役所の窓口：生活困難度別



②子育て支援センター

子育て支援センターについて、すべての年代と層で「相談したいと思ったことがなかった」が最も高くなっています。「今後も相談したい」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で16.9%、周辺層で13.9%、一般層で11.7%、中学2年生の困窮層で8.6%、周辺層で12.7%、一般層で8.6%、16～17歳の困窮層で3.7%、周辺層で9.1%、一般層で8.6%となっています。「相談したかったが、抵抗感があった」と回答した割合は、16～17歳の困窮層で29.6%と比較的高くなっています。

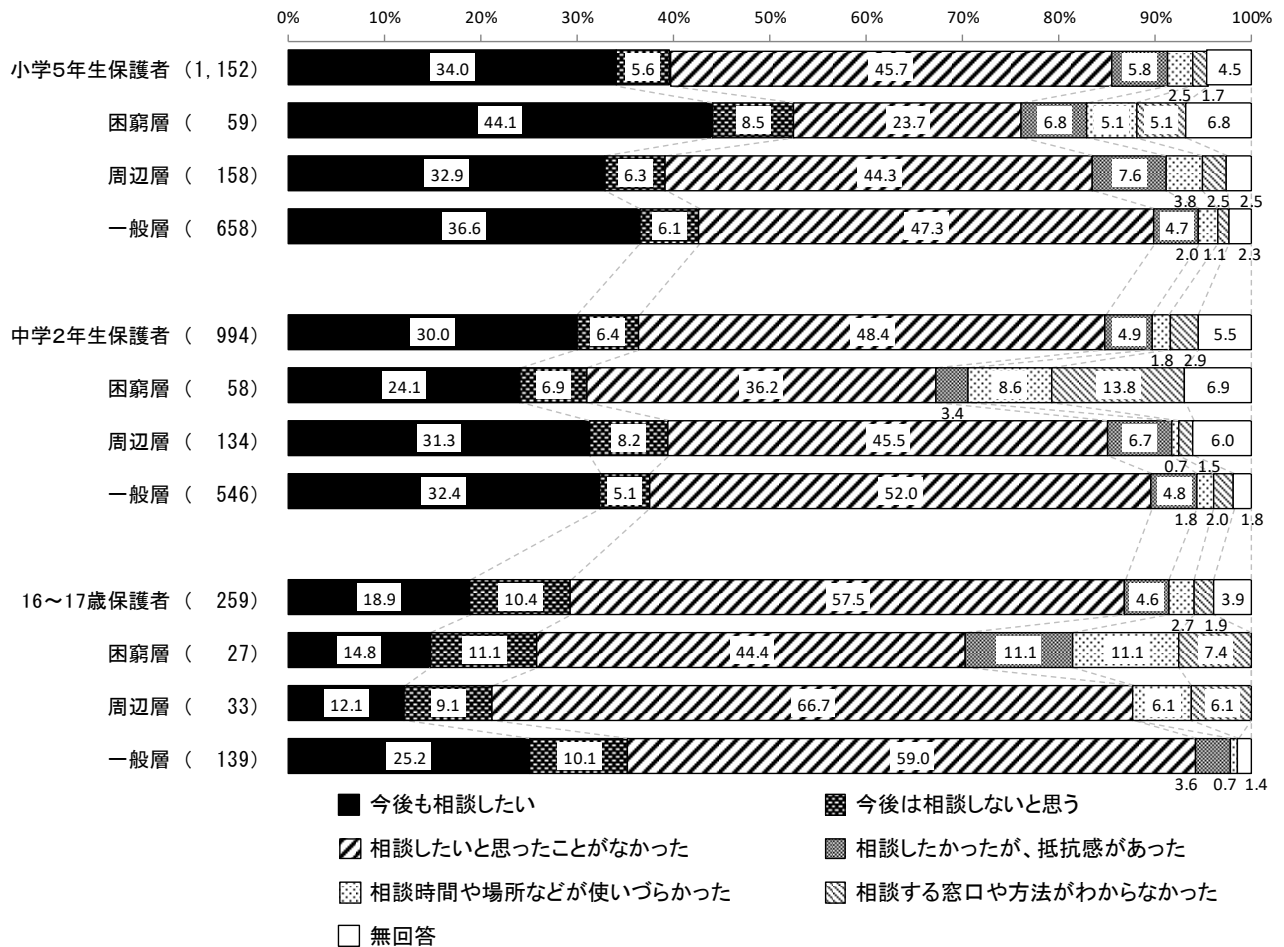
図表 2-9-3-2 公的相談機関の利用経験／子育て支援センター：生活困難度別



③学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど

学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなどについて、「今後も相談したい」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で44.1%、周辺層で32.9%、一般層で36.6%、中学2年生の困窮層で24.1%、周辺層で31.3%、一般層で32.4%、16～17歳の困窮層で14.8%、周辺層で12.1%、一般層で25.2%となっています。「相談する窓口や方法がわからなかった」と回答した割合は、中学2年生の困窮層で13.8%と比較的高くなっています。

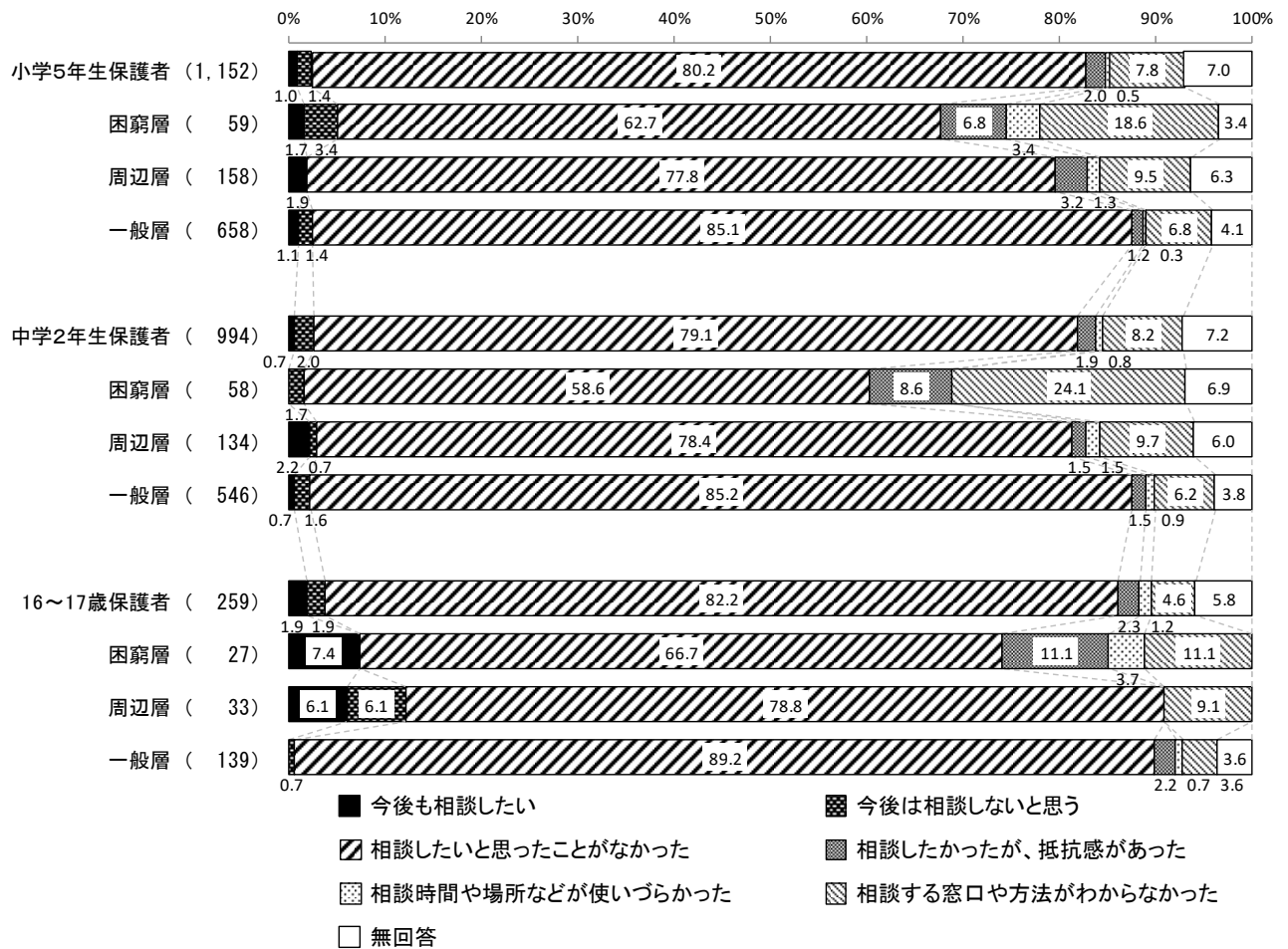
図表 2-9-3-3 公的相談機関の利用経験／学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど：生活困難度別



④民生委員・児童委員

民生委員・児童委員について、すべての年代と層で「相談したいと思ったことがなかった」が過半数で最も高くなっています。「今後も相談したい」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で1.7%、周辺層で1.9%、一般層で1.1%、中学2年生の周辺層で2.2%、一般層で0.7%、16～17歳の困窮層で7.4%、周辺層で6.1%となっています。「相談する窓口や方法がわからなかった」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で18.6%、中学2年生の困窮層で24.1%と比較的高くなっています。

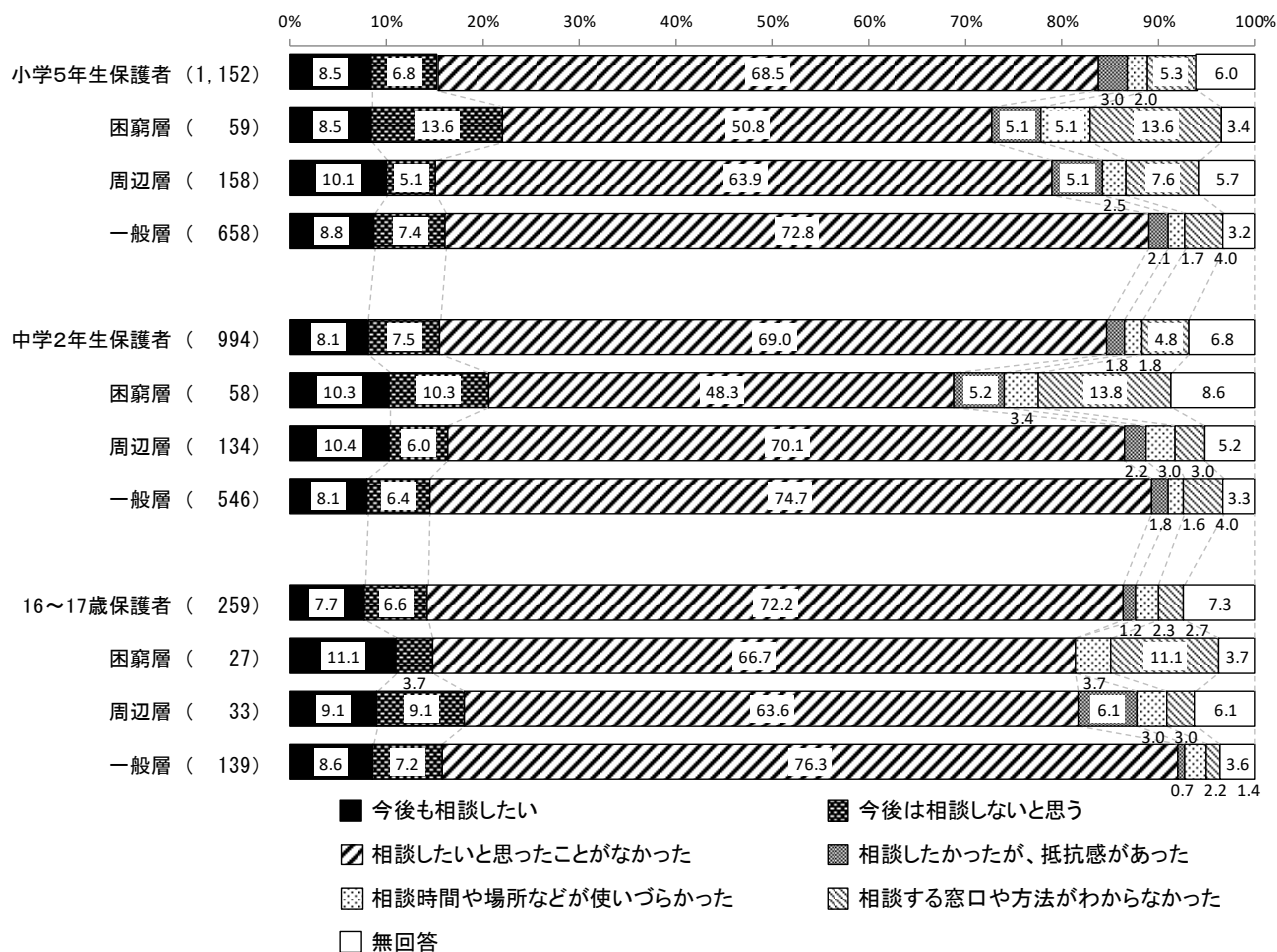
図表 2-9-3-4 公的相談機関の利用経験／民生委員・児童委員：生活困難度別



⑤保健所（保健センター）

保健所（保健センター）について、すべての年代と層で「相談したいと思ったことがなかった」が最も高くなっています。「今後も相談したい」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 8.5%、周辺層で 10.1%、一般層で 8.8%、中学2年生の困窮層で 10.3%、周辺層で 10.4%、一般層で 8.1%、16～17歳の困窮層で 11.1%、周辺層で 9.1%、一般層で 8.6%となっています。「相談する窓口や方法がわからなかった」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で 13.6%、中学2年生の困窮層で 13.8%、16～17歳の困窮層で 11.1%と比較的高くなっています。

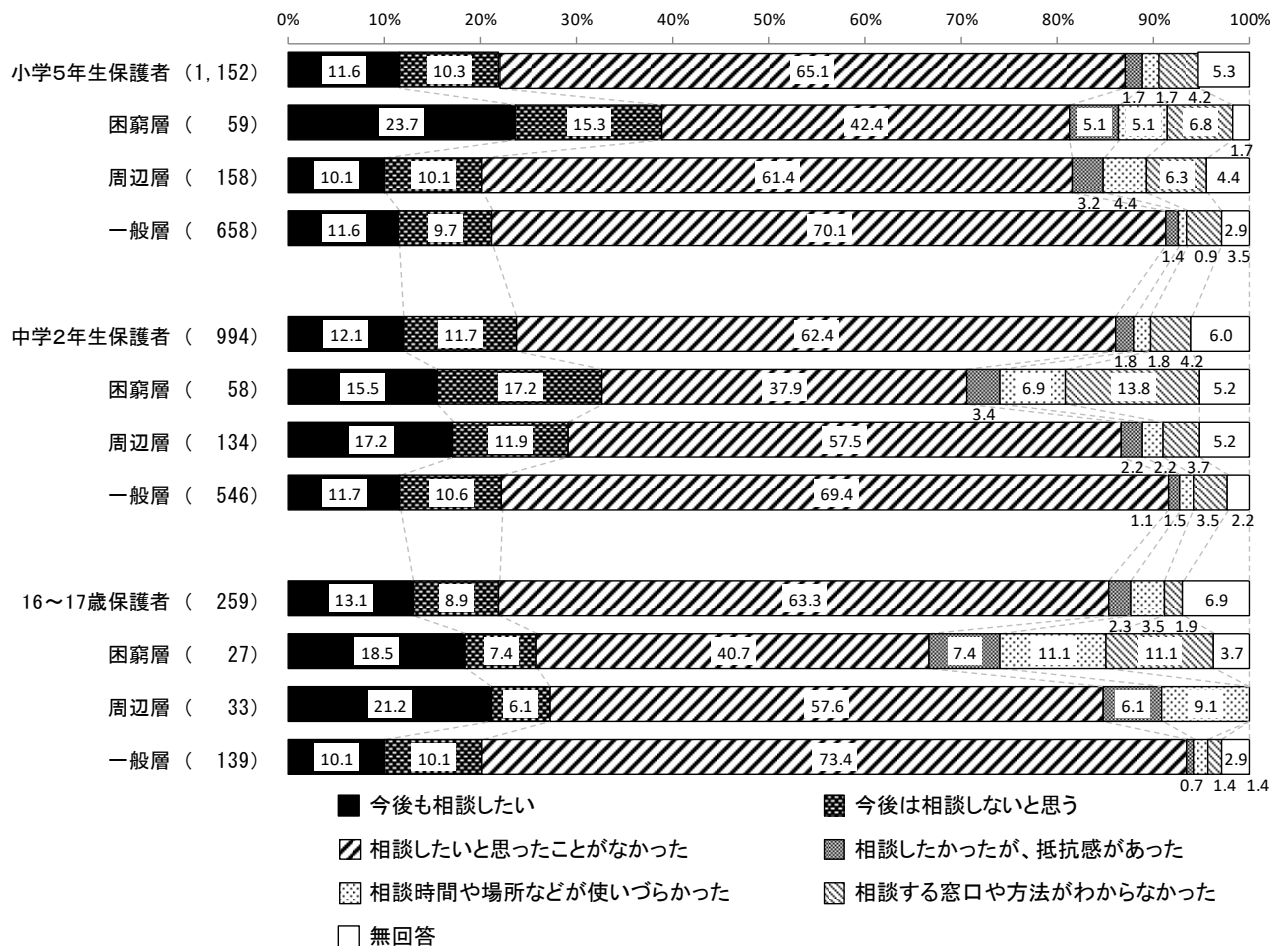
図表 2-9-3-5 公的相談機関の利用経験／保健所（保健センター）：生活困難度別



⑥ハローワーク

ハローワークについて、すべての年代と層で「相談したいと思ったことがなかった」が最も高くなっています。「今後も相談したい」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で23.7%、周辺層で10.1%、一般層で11.6%、中学2年生の困窮層で15.5%、周辺層で17.2%、一般層で11.7%、16～17歳の困窮層で18.5%、周辺層で21.2%、一般層で10.1%となっています。「相談する窓口や方法がわからなかった」と回答した割合は、中学2年生の困窮層で13.8%、16～17歳の困窮層で11.1%と比較的高くなっています。

図表 2-9-3-6 公的相談機関の利用経験／ハローワーク：生活困難度別

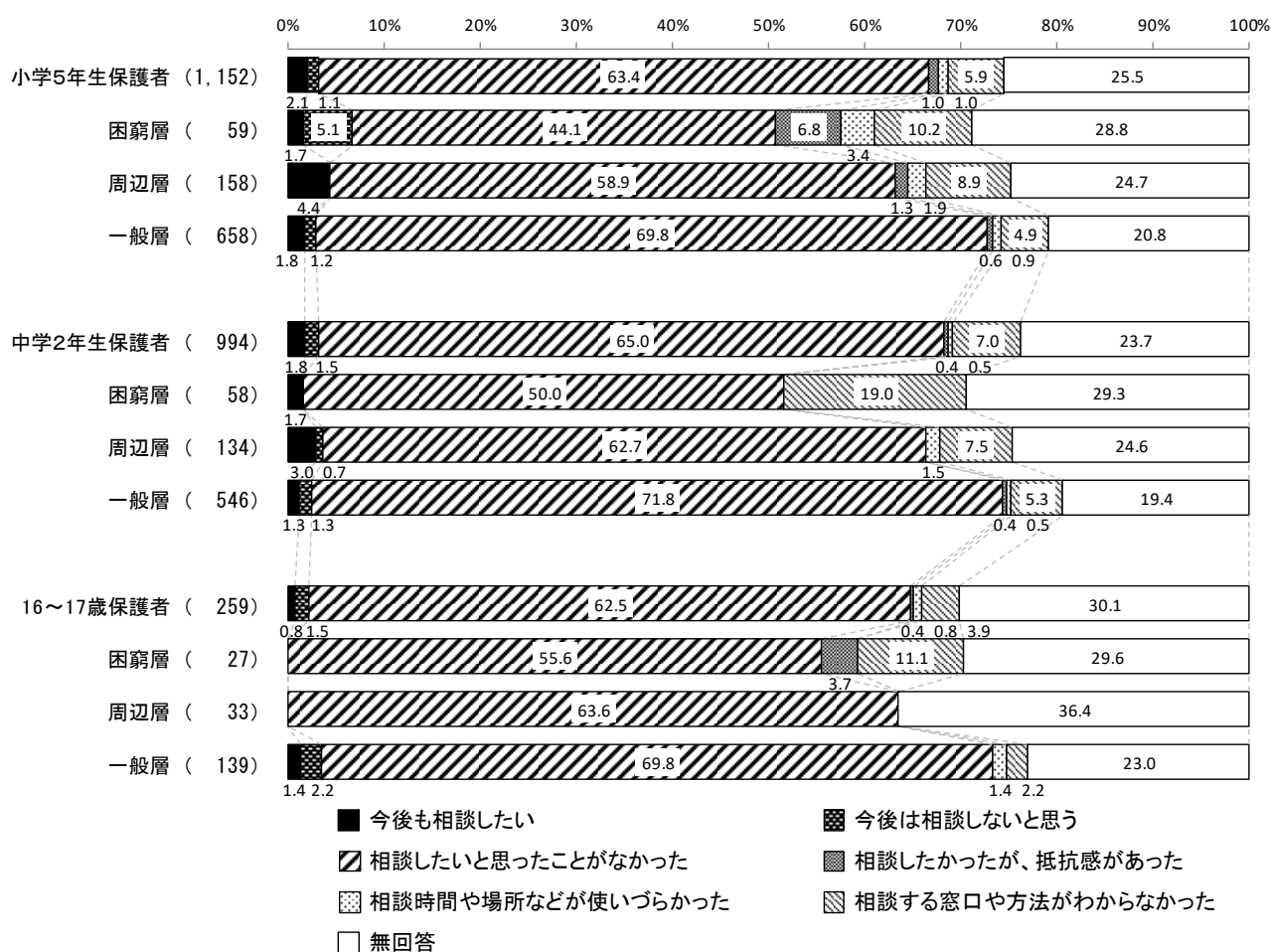


⑦その他の公的機関

その他の公的機関について、すべての年代と層で「相談したいと思ったことがなかった」が最も高くなっています。「今後も相談したい」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で1.7%、周辺層で4.4%、一般層で1.8%、中学2年生の困窮層で1.7%、周辺層で3.0%、一般層で1.3%、16～17歳の一般層で1.4%となっています。「相談する窓口や方法がわからなかった」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で10.2%、中学2年生の困窮層で19.0%、16～17歳の困窮層で11.1%と比較的高くなっています。

具体的な機関名として、「リベラ」「児童相談所」「ファミリー・サポート・センター」などが挙げられました。

図表 2-9-3-7 公的相談機関の利用経験／その他の公的機関：生活困難度別



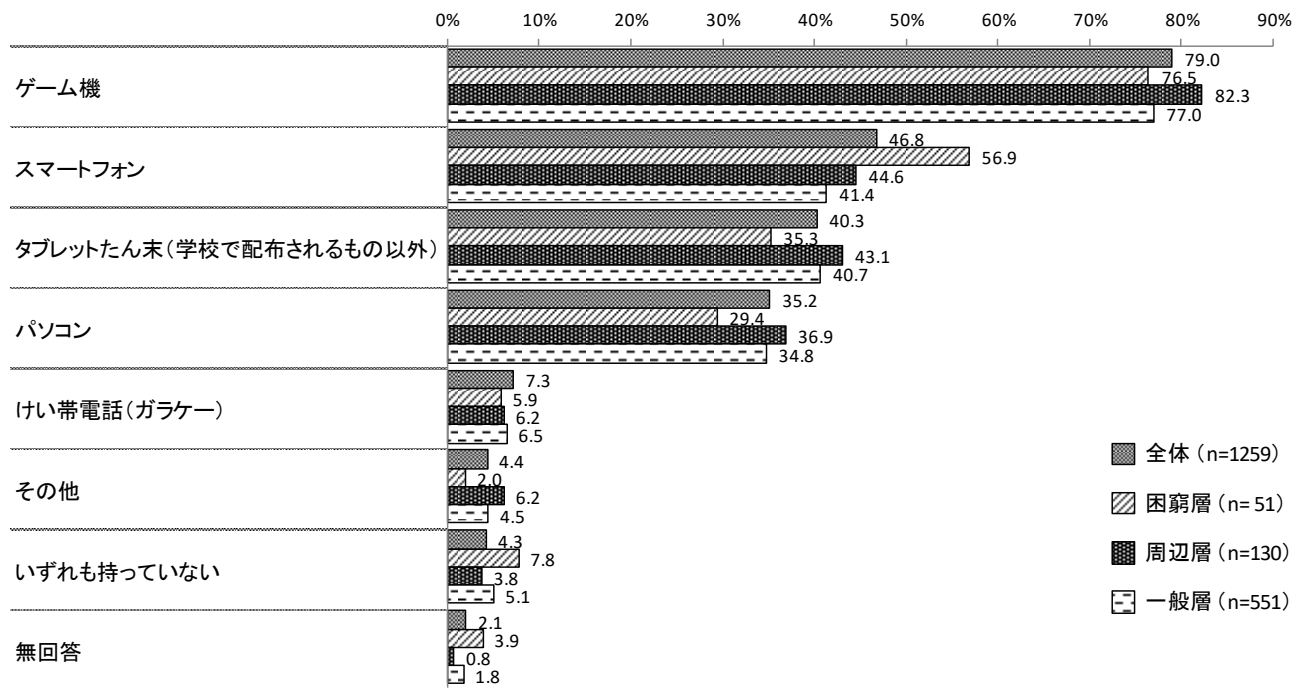
第10章 インターネットの利用状況

1. インターネットの利用状況について

(1) 持っているインターネットにつながる機器

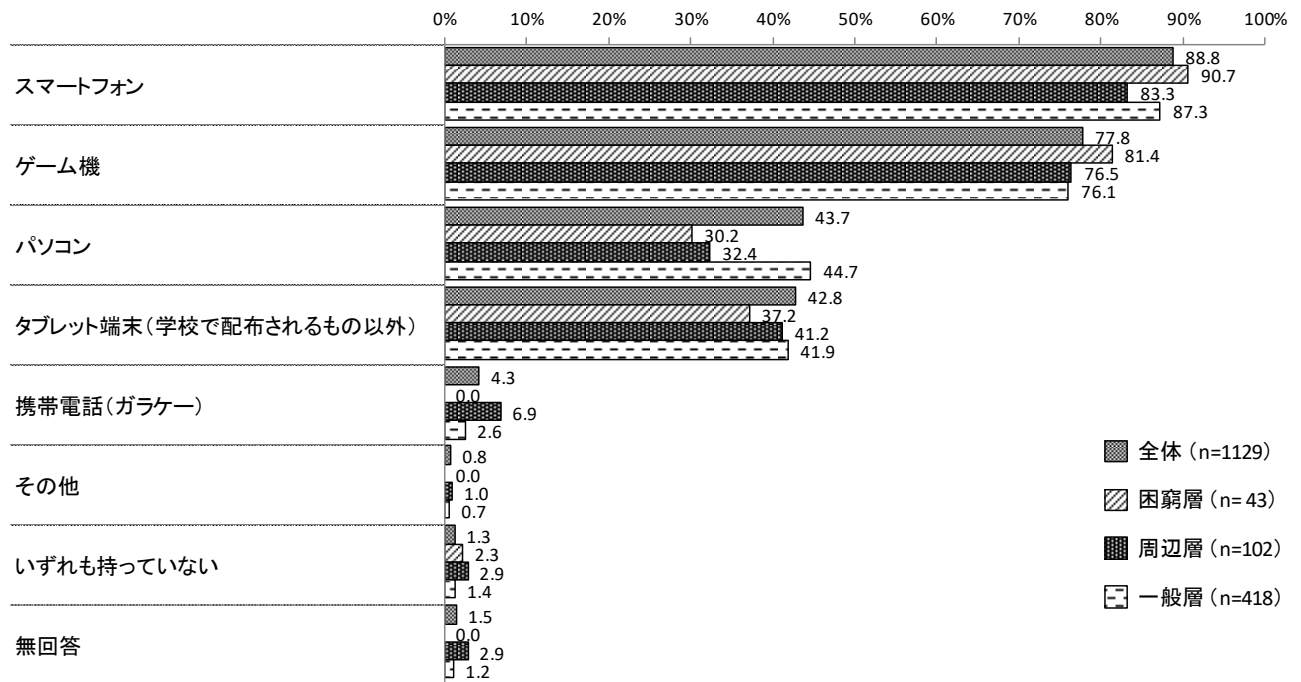
小学5年生にインターネットにつながる機器を持っているか複数回答で聞いたところ、「ゲーム機」と回答した割合は、困窮層で76.5%、周辺層で82.3%、一般層で77.0%となっています。

図表 2-10-1-1-1 持っているインターネットにつながる機器（複数回答）（小学5年生）
：生活困難度別



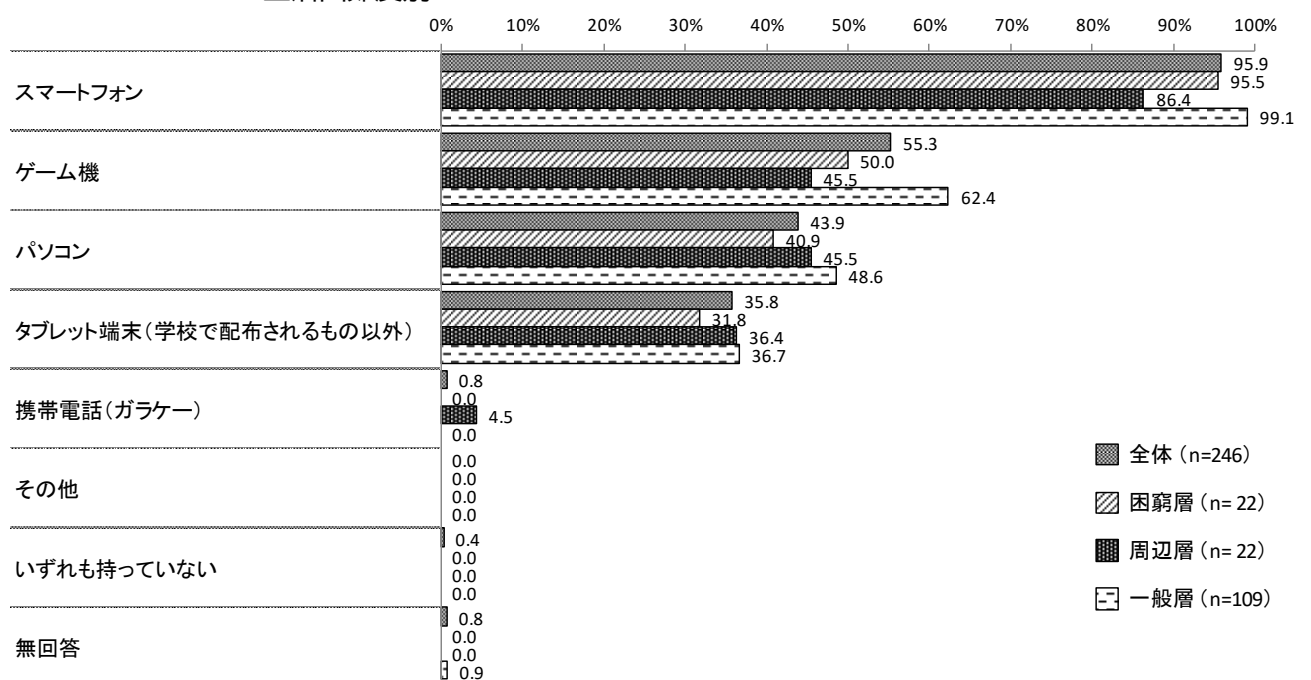
中学2年生にインターネットにつながる機器を持っているか複数回答で聞いたところ、「スマートフォン」と回答した割合は、困窮層で 90.7%、周辺層で 83.3%、一般層で 87.3%となっています。「ゲーム機」と回答した割合は、困窮層で 81.4%、周辺層で 76.5%、一般層で 76.1%となっています。

図表 2-10-1-1-2 持っているインターネットにつながる機器（複数回答）（中学2年生）
：生活困難度別



16～17 歳にインターネットにつながる機器を持っているか複数回答で聞いたところ、「スマートフォン」と回答した割合は、困窮層で 95.5%、周辺層で 86.4%、一般層で 99.1%となっています。

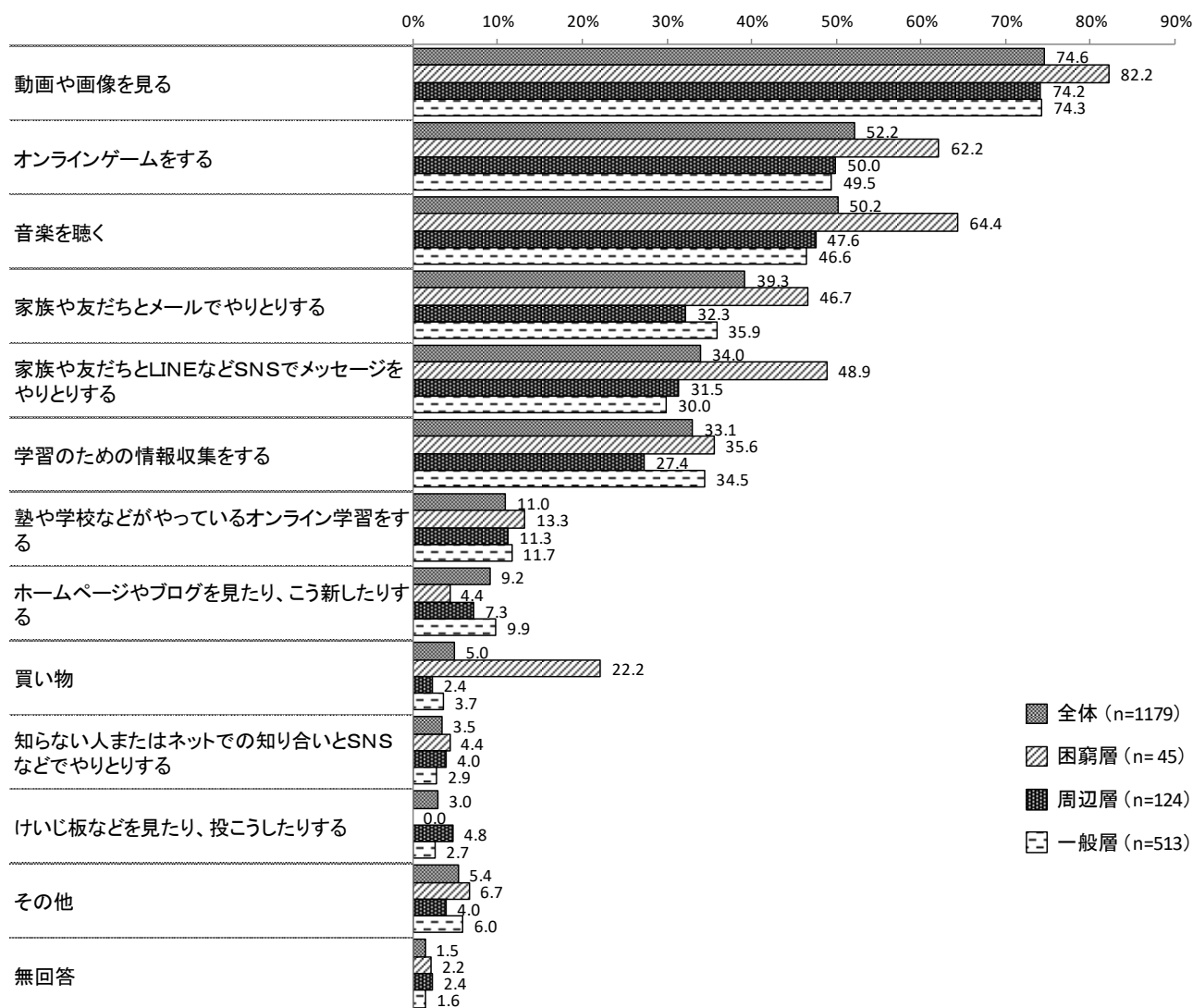
図表 2-10-1-1-3 持っているインターネットにつながる機器（複数回答）（16～17 歳）
：生活困難度別



(2) インターネットを利用する目的

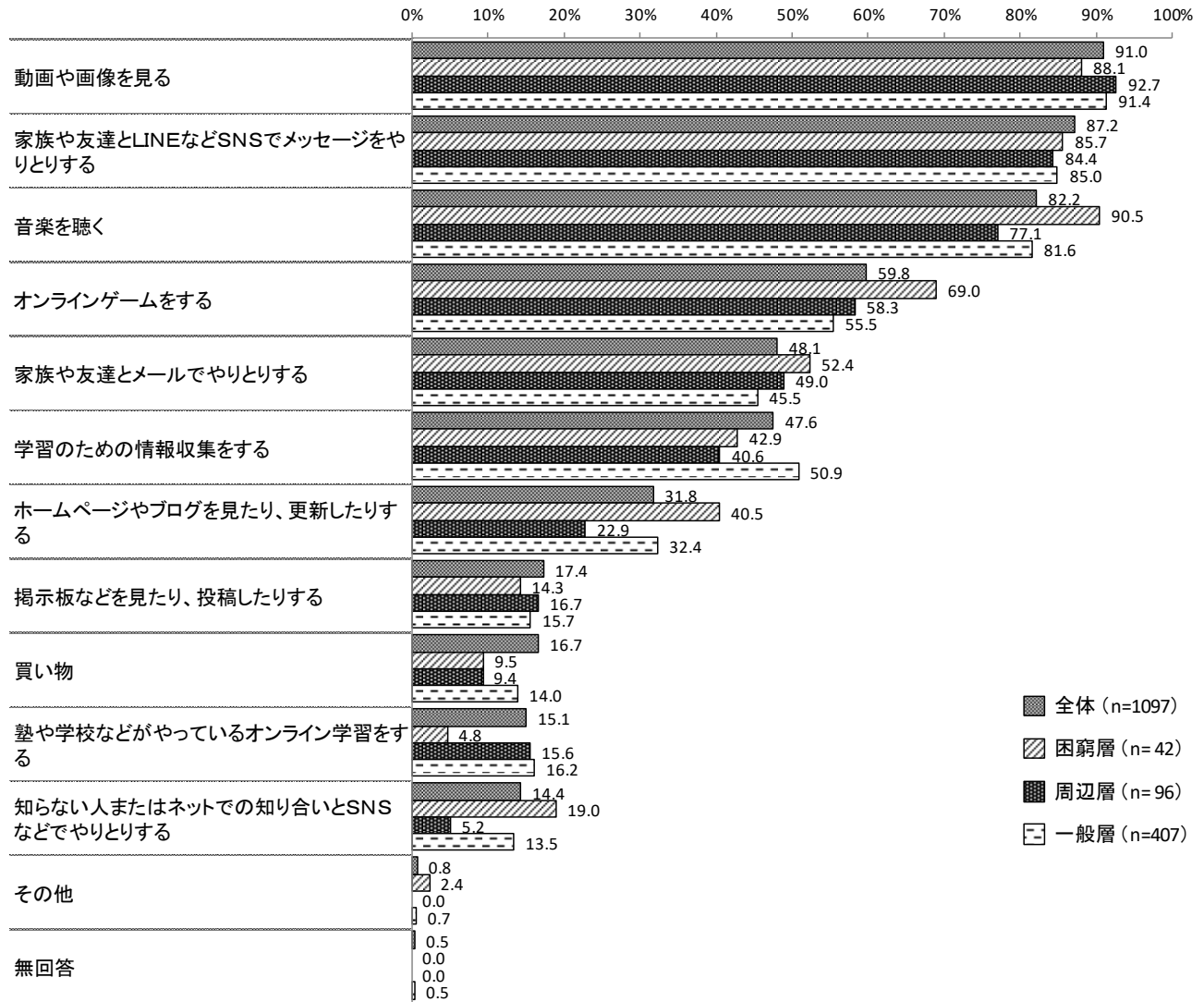
小学5年生に学校以外でインターネットを利用する目的について複数回答で聞いたところ、「動画や画像を見る」と回答した割合は、困窮層で 82.2%、周辺層で 74.2%、一般層で 74.3%となっています。「オンラインゲームをする」と回答した割合は、困窮層で 62.2%、周辺層で 50.0%、一般層で 49.5%となっています。

図表 2-10-1-2-1 インターネットを利用する目的（複数回答）（小学5年生）：生活困難度別



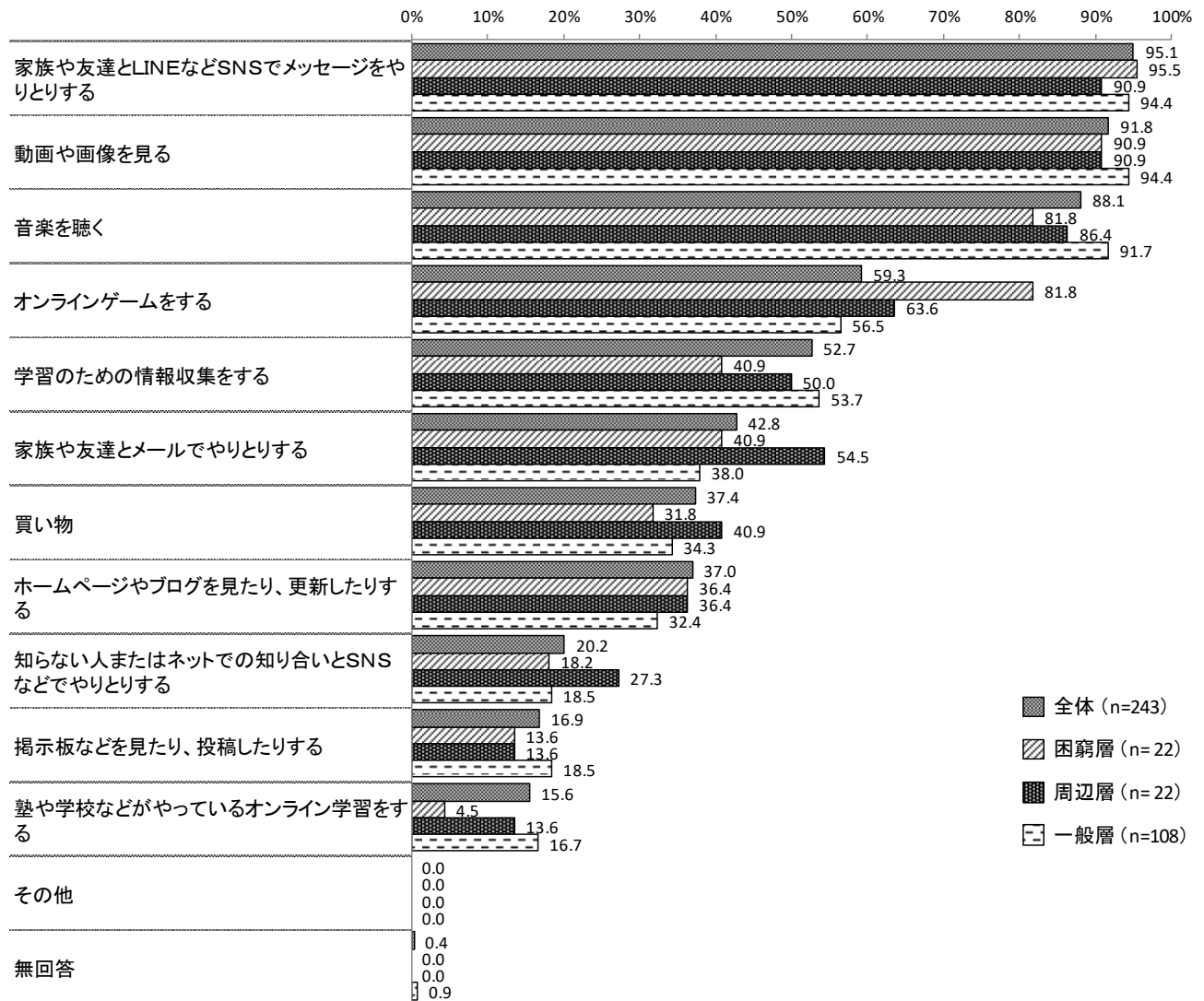
中学2年生に学校以外でインターネットを利用する目的について複数回答で聞いたところ、「動画や画像を見る」と回答した割合は、困窮層で88.1%、周辺層で92.7%、一般層で91.4%となっています。「家族や友達とLINEなどSNSでメッセージをやりとりする」と回答した割合は、困窮層で85.7%、周辺層で84.4%、一般層で85.0%となっています。

図表 2-10-1-2-2 インターネットを利用する目的（複数回答）（中学2年生）：生活困難度別



16～17 歳に学校や仕事以外でインターネットを利用する目的について複数回答で聞いたところ、「家族や友達とLINEなどSNSでメッセージをやりとりする」と回答した割合は、困窮層で 95.5%、周辺層で 90.9%、一般層で 94.4%となっています。「動画や画像を見る」と回答した割合は、困窮層で 90.9%、周辺層で 90.9%、一般層で 94.4%となっています。

図表 2-10-1-2-3 インターネットを利用する目的（複数回答）（16～17 歳）：生活困難度別



(3) 1日当たりのインターネット利用時間

1日当たりのインターネット利用時間について、「30分より少ない」「30分以上1時間より少ない」「1時間以上2時間より少ない」を合わせた『2時間以内』と回答した割合は、小学5年生の困窮層で37.7%、周辺層で49.2%、一般層で60.3%、中学2年生の困窮層で21.4%、周辺層で34.4%、一般層で40.6%、16～17歳の困窮層で22.7%、周辺層で13.6%、一般層で19.5%となっています。

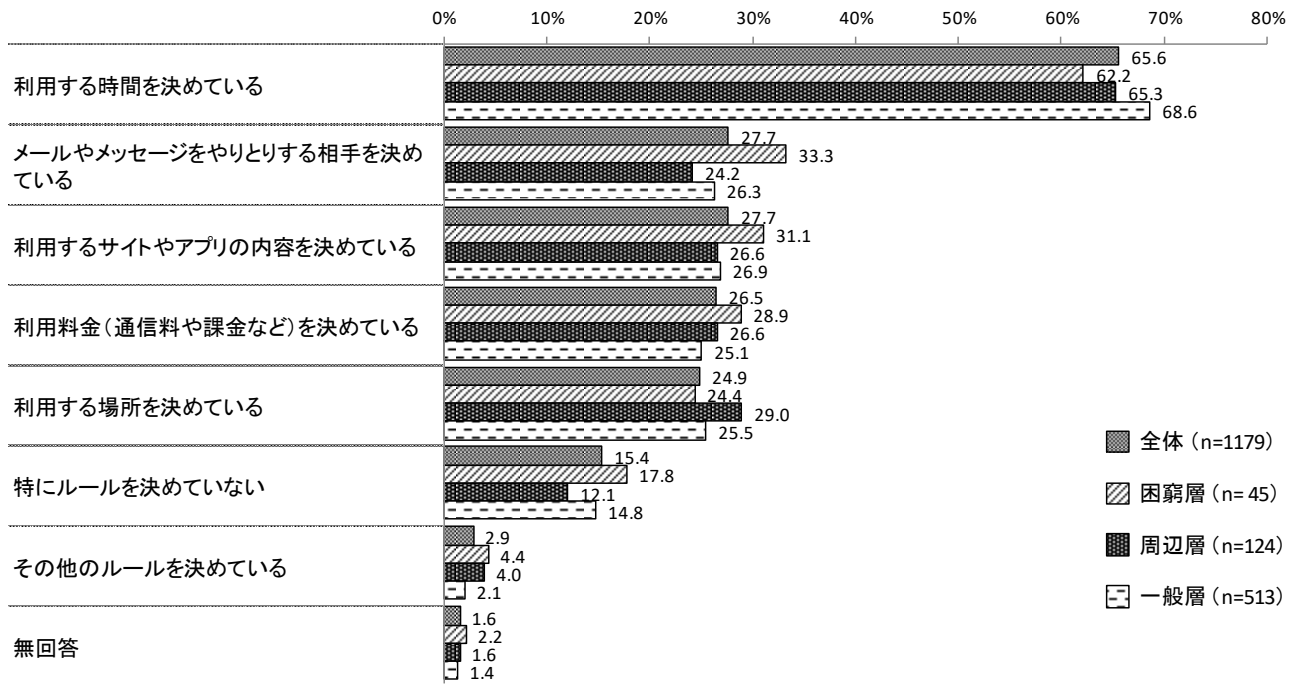
図表 2-10-1-3 1日当たりのインターネット利用時間：生活困難度別



(4) インターネットの利用にあたってのルール

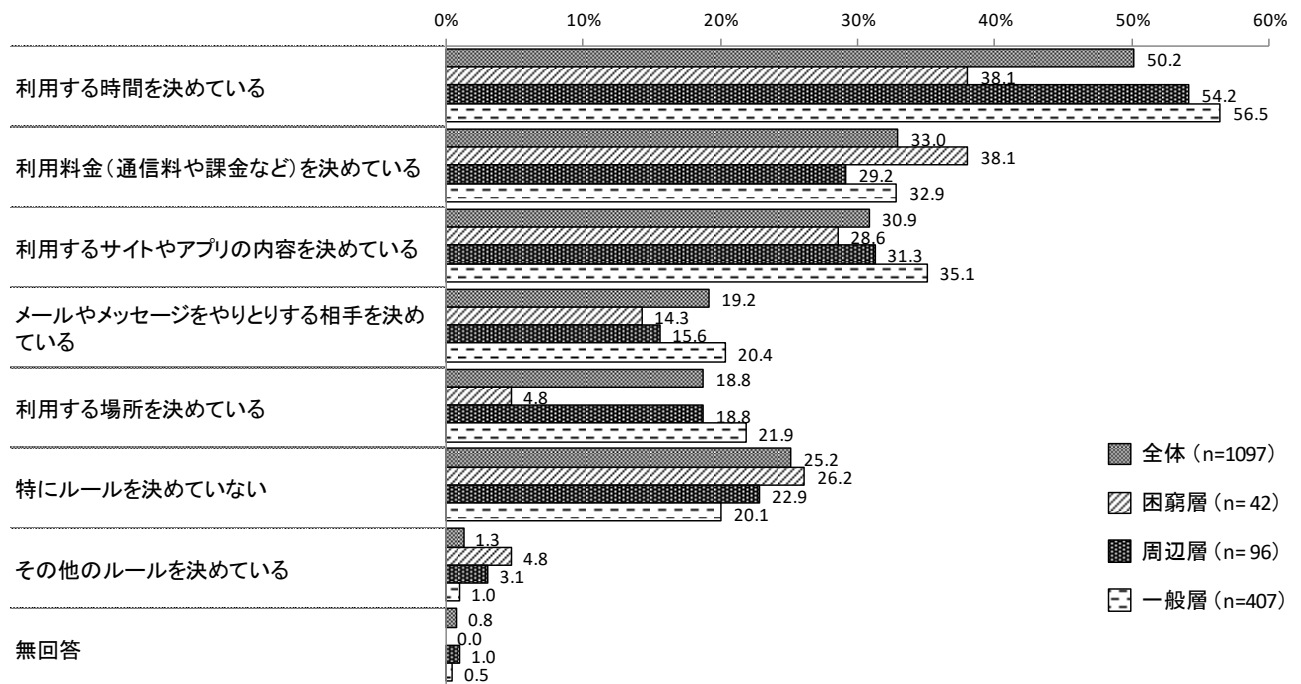
小学5年生にインターネットの利用にあたってのルールについて複数回答で聞いたところ、「利用する時間を決めている」と回答した割合は、困窮層で 62.2%、周辺層で 65.3%、一般層で 68.6%となっています。「特にルールを決めていない」と回答した割合は、困窮層で 17.8%、周辺層で 12.1%、一般層で 14.8%となっています。

図表 2-10-1-4-1 インターネットの利用にあたってのルール（複数回答）（小学5年生）
：生活困難度別



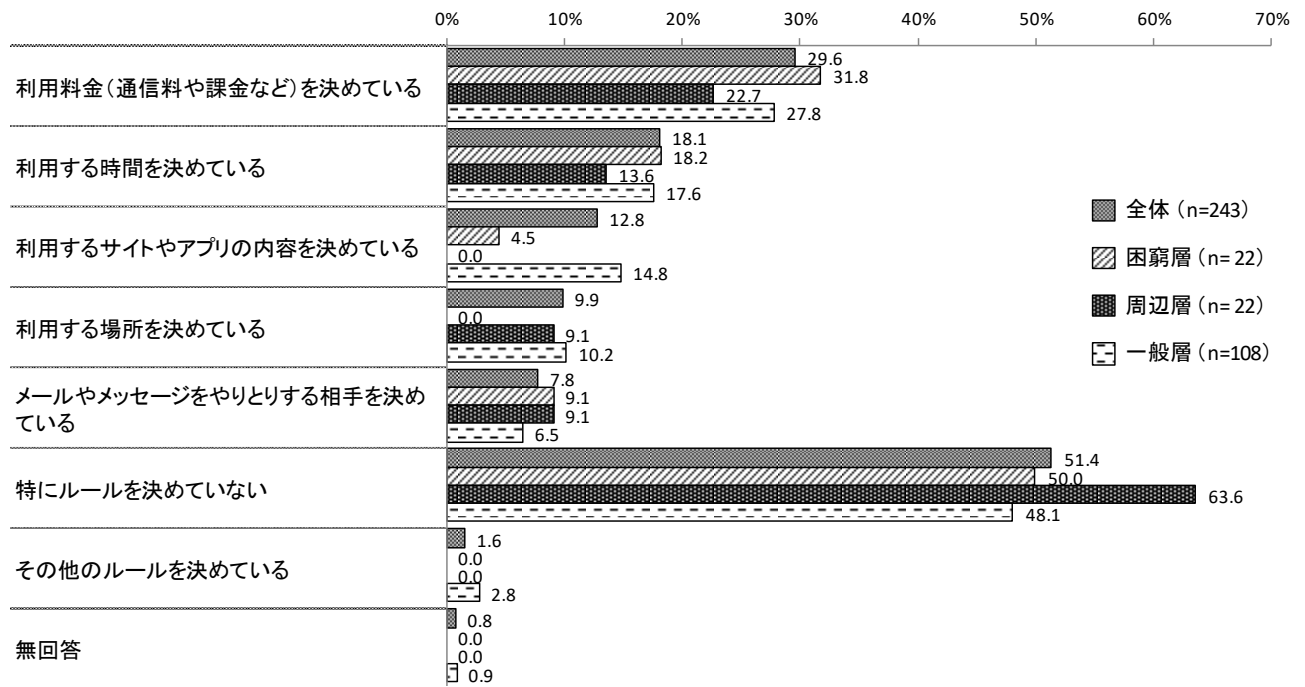
中学2年生にインターネットの利用にあたってのルールについて複数回答で聞いたところ、「利用する時間を決めている」と回答した割合は、困窮層で38.1%、周辺層で54.2%、一般層で56.5%となっています。「特にルールを決めていない」と回答した割合は、困窮層で26.2%、周辺層で22.9%、一般層で20.1%となっています。

図表 2-10-1-4-2 インターネットの利用にあたってのルール（複数回答）（中学2年生）
：生活困難度別



16～17 歳にインターネットの利用にあたってのルールについて複数回答で聞いたところ、「利用料金（通信料や課金など）を決めている」と回答した割合は、困窮層で 31.8%、周辺層で 22.7%、一般層で 27.8%となっています。「特にルールを決めていない」と回答した割合は、困窮層で 50.0%、周辺層で 63.6%、一般層で 48.1%となっています。

図表 2-10-1-4-3 インターネットの利用にあたってのルール（複数回答）（16～17 歳）
：生活困難度別



第11章 調査結果から見えてきた状況と課題

1. 川越市の状況

(1) 支援が必要な世帯と子どもの存在

今回の調査では、川越市において困窮層にあると思われる家庭の割合が小学5年生で 6.7%、中学2年生で 7.9%、16～17 歳で 13.6%となりました。また、周辺層の家庭は小学5年生で 18.1%、中学2年生で 18.2%、16～17 歳で 16.6%となっています。

川越市において支援を必要とする生活困難な世帯と子どもが存在することがわかりました。

【第2章3（3）生活困難層の割合】

(2) 生活困難度と世帯タイプの関連性

生活困難の状況には世帯タイプとの関連性がみられる。小学5年生、中学2年生、16～17 歳のいずれの年齢層でも、ひとり親（二世帯・三世帯）では、ふたり親（二世帯・三世帯）に比べて困窮層の割合が高くなっています。一人の保護者が生活のために働き手と親の役割を担わざるを得ないひとり親家庭に対し、学習支援、就労支援、相談・講習などの各種支援が行われているものの、その重要性が今回の調査でも明らかになりました。【第2章2（3）生活困難層の割合】

2. 子どもについてわかった課題

(1) 自宅・学校以外の「居場所」

平日の放課後を週に3～4日以上過ごす場所としては、すべての年齢層で第1位が「自分の家」となっています。また小学5年生の 7.5%、中学2年生の 12.8%、16～17 歳の 18.3%は平日の放課後を一人で過ごしています。一方中学2年生や 16～17 歳はクラブ活動（部活）への参加率が高いですが、16～17 歳の生活困難度の高い子どもはクラブ活動（部活）により放課後を学校で過ごすことが少なくなっています。

【第6章3（1）平日の放課後を過ごす場所と頻度】

子ども本人の支援サービスの利用意向で回答割合が高いものとしては、「静かに勉強ができる場所、大学生などが勉強を無料でみてる場所」が困窮層の中学2年生で 34.9%、16～17 歳の 40.9%、周辺層の中学2年生で 39.2%、「低額・無料で、通信教育が受けられるサービス」が困窮層の 16～17 歳で 36.4%となっています。生活困難度の高い子ども本人のサービス利用意向は学習環境を向上させるサービスが高くなっており、支援の方向性として重要度が高いと考えられます。

【第9章1 子ども本人の支援サービスの利用状況】

(2) 一緒に過ごす人と過ごし方

「一緒に過ごすことが一番多い人」では、平日の放課後は「学校の友だち」が多く、各年齢層で約2割から3割以上を占めているが、学校のない日、つまり「休日」では小学5年生で「学校の友だち」と過ごす割合が全体で 5.5%と少なくなっています。中学2年生や 16～17 歳では「学校の友だち」は休日でも約2割となっていますが、そこには部活で過ごすことが含まれます。また部活動に参加しない理由では「塾や習い事が忙しい」が困窮層で 33.3%、周辺層で 40.0%、一般層で 47.8%と生活困難度が高いほど少なくなっています。【第6章3（3）放課後・自由時間を一緒に過ごす人】【第6章4（2）休日を一緒に過ごす人】【第6章5（5）部活動に参加しない理由】

自宅で過ごすことや一人で過ごすこと自体が問題とは言えませんが、平日の放課後、休日などに過ごせる場所がないため、あるいは生活困難や特に母親の就労状況との兼ね合いで他者との交流が行われないとすれば、子どもたちの居場所を準備することは課題の一つとなります。どのような居場所が求められているかは、利用してみたい事業の回答に現れています。

（３）求められる「居場所・サービス」の内容

子どもが求める支援サービスの利用意向では、「静かに勉強ができる場所、大学生などが勉強を無料でみてくれる場所」「平日の放課後（自由時間）や休日に音楽（歌や演奏）ができる場所」について、「あれば利用したいと思う」との回答がすべての年齢層で2割以上となっています。

一方「(家や学校以外で)何でも相談できる場所」と16～17歳の「低額・無料で、通信教育が受けられるサービス」については、「あれば利用したいと思う」が他の利用率の高いサービスと近い回答割合にもかかわらず「今後利用したいかどうかわからない」がいずれも3割以上と他のサービスと比較し高くなっているため、サービス内容に加えて利用できるか否かの目安等の周知も重要と考えられます。【第9章1子ども本人の支援サービスの利用状況】

子どもたちの居場所については、単に時間を過ごせる場所ではなく、そこで子どもたちに何が提供されるかも重要です。

居場所について子どもたちが求めているものは、必ずしも「学習の場」「食事の提供」という具体的なサービス提供のみではないことも推察できます。

（４）教育、学習環境の不足と、授業の理解度の低下

学校の授業以外での勉強方法では、小学5年生、中学2年生とも「塾で勉強する」は生活困難度が高いほど回答割合が低くなっています。【第5章3（3）学校の授業以外での勉強方法】

授業の理解度について、「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた回答割合は年齢が上がるほど低くなっています【第5章2（1）授業の理解度】

生活の状況により学習意欲や理解度の低下が考えられる子どもへの学習面での支援などが求められます。

（５）子どもの生活環境改善と精神的サポートの強化

食や栄養の面でみると、困窮層では子ども・保護者とも朝食を摂らないことが多くなっています。栄養群の摂取状況では、小学5年生と中学2年生では、生活困難度が高いほど野菜を「毎日食べる」が少なくなっており、小学5年生では、生活困難度が高いほど、カップめん・インスタントめん及びコンビニのおにぎり・お弁当を「1週間に2～3日」以上食べる割合が高くなっています。16～17歳の夕食の内容では、コンビニなどで購入したもの、ファストフードとも平日週1回以上の頻度の回答割合は2割未満になっています。【第3章3子どもの食と栄養】

健康面では、困窮層ほど主観的健康状態を「よい」「まあよい」とする割合は低く、むし歯がある子どもは多くなっています。精神面では、年齢が上がるほど自己肯定感が低く、不幸と感じる割合が高くなっています。【第7章子どもの健康と自己肯定感】

家以外の環境でも、子どもたちの健康面や精神面をサポートする周囲の支えが重要と考えられます。生活環境の改善については、子ども本人への支援と併せて、保護者へのサポートが重要になると思われます。

（６）インターネットの利用状況と子どもの年齢、生活困難度

インターネット利用状況で、持っているインターネットにつながる機器のうち回答割合の高いゲーム機やスマートフォンについては生活困難度間で大きな違いはないようにみられますが、タブレット端末（学校で配布されるもの以外）とパソコンについてはすべての年齢層で困窮層の回答割合が低くなっています。

インターネットを利用する目的で、回答割合が高い項目では「オンラインゲームをする」がすべての年齢層で生活困難度が高いほど回答割合が高くなっています。回答割合が低い項目では、「買い物」が小学5年生の困窮層で高くなっています。

また上記以外の回答割合が低い項目のひとつである「塾や学校などがやっているオンライン学習をする」では、小学5年生では生活困難度による大きな違いはみられませんが、中学2年生と16～17歳では困窮層のみ回答割合が低くなっています。前述の子ども本人の支援サービスの利用意向において「低額・無料で、通信教育が受けられるサービス」が困窮層の16～17歳で高いことと同様の傾向ではないかと考えられます。

1日当たりのインターネット利用時間について回答割合の高い項目ではないものの「5時間以上」は年齢が上がるほど割合が高くなっています。また、インターネットの利用にあたってのルールにおいても「利用する時間を決めている」はすべての生活困難度で年齢が上がるほど回答割合が低くなっており同様の傾向ではないかと考えられます。

3. 保護者についてわかった課題

(1) 生活困難の状況や保護者の体験が及ぼす子どもへの影響

過去1年間に食料が買えなかった経験で、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」を合わせた『あった』の回答が、小学5年生の困窮層で64.4%、中学2年生の困窮層で70.7%、16～17歳の困窮層で74.0%となっています。衣類が買えなかった経験での『あった』は、小学5年生の困窮層で72.8%、中学2年生の困窮層で84.5%、16～17歳の困窮層で92.5%となっています。これらの家庭の状況が子どもの栄養状態や健康、幸福感などに影響を及ぼすことは想像に難くないです。

【第3章1生活困窮の状況】

また、子育てにおける保護者の経験で「わが子を虐待しているのではないかと、と思い悩んだことがある」や「自殺を考えたことがある」との回答はいずれの年齢層の保護者でも生活困難度が高いほどで割合が高く、生活困難度が子どもへの深刻な影響を及ぼしている可能性があります。

【第8章4(3)子どもをもってからの経験】

生活困難な状況への対応として、経済的な支援だけでなく、生活困難な状況の背景にあると考えられる保護者の孤立感や悩みを軽減させる方策や、支援を必要とする家庭にそれらが認知されることが重要です。また、市の相談窓口はもちろんのこと、地域における社会資源を活用した支援等の提供体制が有効に働くための方策を考えることこそ重要だと考えられます。さらに、それらは生活困難な状況にある家庭や子どものみならず、すべての子どものために用意されるべきものと考えられます。

(2) 進学に関わる意向の連鎖

子どもに受けさせたい教育段階について、「大学またはそれ以上」と回答した割合は、小学5年生の困窮層で30.5%、周辺層で44.9%、一般層で62.9%、中学2年生の困窮層で43.1%、周辺層で53.0%、一般層で69.0%、16～17歳の困窮層で55.6%、周辺層で63.6%、一般層で75.5%となっています。中学卒業を控えた中学2年生で、将来の進学希望を「高校・高等専門学校」と回答した割合は、困窮層で18.6%、周辺層で14.7%、一般層で10.0%となっています。「短期大学・大学」または「大学院」と回答した割合は、困窮層で21.0%、周辺層で45.1%、一般層で61.2%となっています。【第5章1(3)子どもに希望する進学段階】【第5章4(7)中学生の将来の進学希望】

このように、保護者と子どもの将来的な進学の希望には生活困難度との関連がみられるが、子どもの意向に関しては自身の価値観もさることながら保護者の日ごろの言動や意向が影響を及ぼしていることも考えられます。保護者の自由意見では、子どもが成長するにしたがっての教育費等の負担増を

心配するものも見受けられ、そのような心配を軽減させることが、子ども自身が希望する教育段階まで進学しようとするためには重要と思われます。

（３）保護者の健康状態と孤立感

保護者の健康状態と精神的ストレスは困窮層ほど状況が悪くなっています。

保護者が困ったときに相談する相手については、「いない」と回答した保護者の割合が困窮層ほど高くなっています。【第8章2（4）子育てに関する相談相手の有無とその相手】

（４）相談窓口の利用

前項のとおり、困窮層ほど健康状態の悪化と精神的ストレスを抱え、しかも相談相手がおらず社会的に孤立しやすい傾向があると考えられることから、保護者の悩みをすくい上げる相談体制の強化が重要な課題と考えられます。

保護者票では、公的相談機関の利用経験を聞いています。「市役所の窓口」「子育て支援センター」「学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど」への相談状況について、利用したことがない保護者の、利用を阻害している要因と捉えられる「相談したかったが、抵抗感があった」「相談時間や場所などが使いづらかった」「相談する窓口や方法がわからなかった」の状況を生活困難度別にみると、全体的に困窮層では「相談したかったが、抵抗感があった」と「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が一般層と比べて高くなっています。【第9章3 相談窓口の利用状況】

相談は、各種支援の起点ともなる重要なポイントであり、「相談する窓口や方法がわからなかった」については、支援を必要とする人への窓口等の確実な周知が必要と考えられます。

また、「相談したかったが、抵抗感があった」に対しては、利用者が屈辱感や劣等感など、いわゆるスティグマを感じないようにする工夫も必要と考えられます。

（５）支援やサービスの周知と提供体制の強化

保護者の、支援サービスの今後の利用意向は、小学5年生と中学2年生で「就学援助」が最も高く、次いで「児童扶養手当」が高くなっています。【第9章2（5）支援制度等の今後の利用意向】

市には様々な施策や民間による支援活動が存在するものの、それらを知らないことにより利用に至っていないケースがあると思われます。小学5年生と中学2年生では「学校が実施する補講（夏休みなど）」と「学校以外が実施する学習支援」について、知らないため利用されていない割合が2割以上みられました。【第9章2（2）小中学生の子育て支援制度等の利用経験】

